ISSN 2185-4130

OUT&SAFE

No.65

２０１３（平成25年）

全日本大学準硬式野球連盟

OUT &SAFE

No.65 2013

第65回全日本大学準硬式野球選手権大会

平成25年８月23日～　東 京 都

優　勝　関 西 大 学

準優勝　甲 南 大 学

第65回全日本大学準硬式野球選手権大会

平成25年８月23日～　東 京 都

開　　会　　式

選 手 宣 誓

優勝旗授与

閉　　会　　式

第65回全日本大学準硬式野球選手権大会

平成25年８月23日～　東 京 都

清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会

平成25年8月16日～　宮 城 県

優　勝　明 治 大 学

清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会

平成25年8月16日～　宮 城 県

主　将　会　議

開　　会　　式

選　手　宣　誓

優 勝 杯 返 還

清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会

平成25年8月16日～　宮 城 県

第31回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会

平成25年11月15日～　佐 賀 県

開　　会　　式

選　手　宣　誓

第31回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会

平成25年11月15日～　佐 賀 県

目　　次

第65回全日本大学準硬式野球選手権大会 …… 2

清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会 …… 16

第31回全日本大学９ブロック対抗準硬式野球大会 …… 25

北海道地区平成25年度大会成績 …… 33

東 北 地 区　　〃 …… 41

関 東 地 区　　〃 …… 53

北信越地区　　〃 …… 119

東 海 地 区　　〃 …… 123

関 西 地 区　　〃 …… 139

中 国 地 区　　〃 …… 173

四 国 地 区　　〃 …… 181

九 州 地 区　　〃 …… 187

平成25年度加盟校一覧表 …… 218

学連出身高校野球指導者一覧表 …… 220

全日本大学準硬式野球選手権大会戦績表 …… 223

清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会戦績表 …… 227

全日本大学９ブロック対抗準硬式野球大会戦績表 …… 230

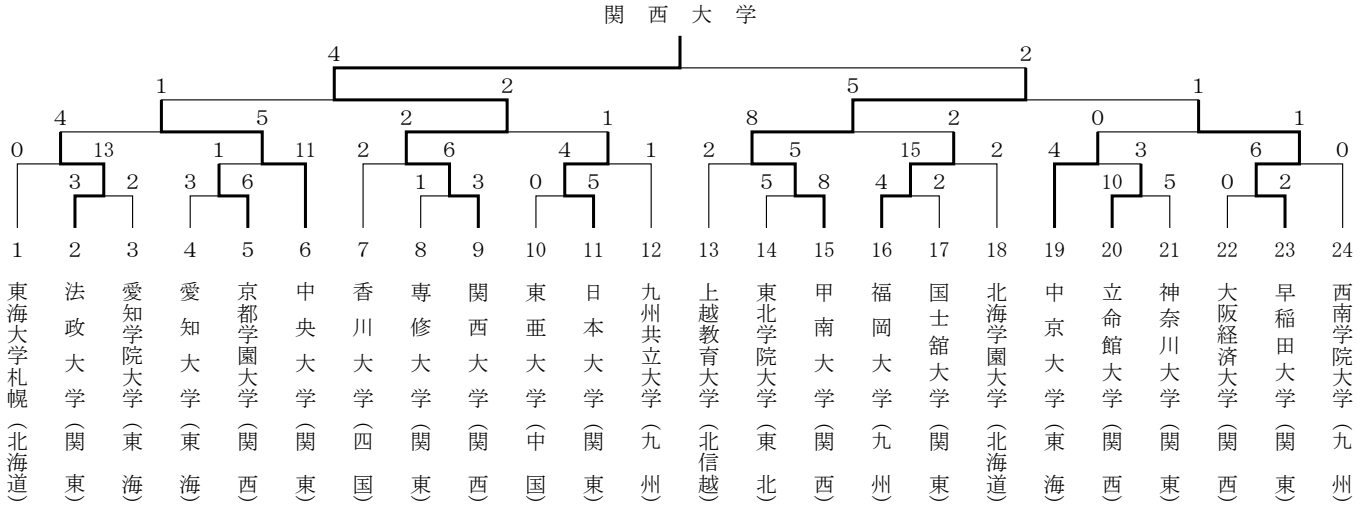
平成25年度役員名簿 …… 232

全日本大学軟式野球協会規約 …… 233

全日本大学準硬式野球連盟規約 …… 235

第65回全日本大学準硬式野球選手権大会

会期：平成25年８月23日(日)～27日(火)
会場：昭島市民球場、八王子市民球場
立川公園野球場、上柚木公園野球場



◎８月23日　昭島市民球場

第１試合

法政大学	０	０	３	０	０	０	０	０	０	**３**
愛知学院大学	０	０	２	０	０	０	０	０	０	**２**

（法）大谷・安本－佐藤
（愛）小松・藤吉－平林
☆三塁打　橘（法）
☆二塁打　新美・鈴木（愛）

法政大学	打	安	点	振	球
⑦ 中村	4	1	0	1	0
⑧ 縣	4	2	0	0	1
⑨ 宮川	4	0	0	0	0
⑤ 茨田	4	0	0	0	1
5 森	0	0	0	0	0
⑥ 橘	4	2	3	0	0
③ 舟木	4	0	0	1	0
② 佐藤	4	0	0	0	1
④ 佐野	4	0	0	0	0
① 大谷	2	2	0	0	0
H 落合	1	0	0	0	0
1 安本	0	0	0	0	0
計	35	7	3	2	3

投手	回	打	安	三	四	責
大谷	6	29	9	4	2	2
安本	3	11	2	4	1	0

愛知学院大学	打	安	点	振	球
⑧ 尾関	3	0	0	0	0
H 園野	1	0	0	0	0
8 土屋	0	0	0	0	0
H 手嶋	1	0	0	0	0
⑨ 三輪	5	1	0	0	2
⑤ 新美	5	1	0	2	0
② 平林	5	2	1	2	0
⑦ 浦川	4	2	1	0	0
7 小浜	0	0	0	0	0
④ 鈴木	4	2	0	0	1
③ 田保	3	0	0	2	0
H３ 伊東宗志	1	0	0	0	0
① 小松	3	1	0	0	0
H 宮崎	1	0	0	0	1
1 藤吉	0	0	0	0	0
⑥ 上原	4	2	0	0	1
計	40	11	2	6	5

投手	回	打	安	三	四	責
小松	8	32	6	2	3	3
藤吉	1	3	0	0	0	0

（戦評）開幕戦となった法政大学対愛知学園大学の一戦は法政大学が１点差で逃げ切った。３回表、法政大学は５番・橘が左中間へ３点タイムリーを放ち先制。愛知学院大学は直後の３回裏、平林・浦川の連続タイムリーで２点を返す。その後、再三チャンスを作るものの、あと一本が出ず敗戦。法政大学の先発・大谷は被安打９ながら粘りのピッチングで愛知学院大学の反撃を封じた。

第２試合

愛知大学	０	０	０	１	０	０	０	２	０	**３**
京都学園大学	５	０	０	０	０	０	０	０	１×	**６**

（愛）池田・平通－倉知
（京）高月－片山
☆三塁打　加藤（愛）、高岡（京）
☆二塁打　川満・倉知（愛）
竹林・片山（京）

愛知大学	打	安	点	振	球
⑨ 小澤	5	0	0	1	0
④ 里園	4	0	0	3	0
4 桂木	0	0	0	0	0
H 石原	1	0	0	0	0
③ 加藤	4	2	0	0	0
⑦ 高岸	4	1	1	1	1
⑧ 長田	3	0	0	0	1
8 恩田	1	1	0	0	0
⑥ 川満	4	1	1	0	0
⑤ 犬飼	2	0	0	0	1
H５ 谷口	2	1	1	0	0
① 池田	3	0	0	1	0
H 難波	1	0	0	0	0
1 平通	0	0	0	0	0
② 倉知	4	2	0	0	0
計	38	8	3	6	3

投手	回	打	安	三	四	責
池田	8	33	6	8	6	5
平通	1	7	2	2	1	1

京都学園大学			打	安	点	振	球
⑧	原	澤	5	1	0	1	1
⑥	松	尾	5	0	0	1	3
⑨	小	松	5	2	1	0	0
①	高	月	5	1	0	2	0
③	黒	田	3	0	0	1	1
3	石	田	1	0	0	1	0
⑤	竹	林	3	1	0	2	0
H	照	井	1	0	0	0	0
5	竹	内	0	0	0	0	0
⑦	山	本	3	1	2	1	0
H7	高	岡	1	1	0	0	0
②	片	山	4	1	2	1	1
④	小	川	4	0	0	0	1
計			40	8	5	10	7

投手	回	打	安	三	四	責
高　月	9	38	8	6	3	3

（戦評）京都学園大学は初回、打者10人の猛攻で一挙５得点を挙げ序盤に試合を決めた。愛知大学は４回に１点、８回に恩田・川満・谷口の３連続安打で２点を返すが反撃及ばず敗戦。

◎８月23日　八王子市民球場

第１試合

専修大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	**1**
関西大学	1	0	0	0	0	0	2	0	×	**3**

（専）高橋（陽）・渡邊－植田

（関）森本－上総

☆二塁打　板谷・吉田（専）

専修大学			打	安	点	振	球
⑥	山	岡	4	0	0	3	0
⑧	板	谷	4	1	1	1	0
③	椎	谷	4	2	0	0	0
⑦9	吉	田	4	1	0	0	0
②	植	田	4	0	0	0	0
④	渥	美	3	0	0	2	0
⑨	牧		2	1	0	1	0
H7	金	子	1	0	0	0	0
⑤	高	本	3	1	0	1	0
①	高橋(陽)		2	1	0	0	0
1	渡	邊	0	0	0	0	0
計			31	7	1	8	0

投手	回	打	安	三	四	責
高橋(陽)	6 2/3	29	5	2	1	1
渡　邊	1 1/3	4	0	2	0	0

関西大学			打	安	点	振	球
⑧	野	田	3	1	0	0	1
③	雀	部	3	1	0	0	0
⑤	川	嶋	4	2	1	1	0
⑨	菅	原	4	1	1	1	0
⑥	深	井	4	0	0	1	0
④	倉	井	4	0	0	1	0
②	上	総	3	0	0	0	0
①	森	本	3	0	0	0	0
⑦	井	出	3	0	0	0	0
計			31	5	2	4	1

投手	回	打	安	三	四	責
森　本	9	32	7	8	0	0

（戦評）専修大学は１点ビハインドの３回３本のヒットを集め同点とした。チャンスを作るもなかなか得点できずにいた関西大学は７回相手のミスにより２点を勝ち越した。両チーム投手がよく踏ん張ってきたが、専修大学は勝負所でのミスが響いた。

第２試合

東亜大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
日本大学	2	1	0	2	0	×				**5**

（降雨６回コールド）

（東）幸地－上ツ路

（日）保母－今駒

☆三塁打　鹿田（日）

☆二塁打　加藤（日）

東亜大学			打	安	点	振	球
⑥	末	廣	2	1	0	1	1
②	上ツ	路	3	0	0	2	0
⑦	松	本	3	0	0	1	0
①	幸	地	2	0	0	2	0
③	江	藤	2	0	0	0	0
⑨	奥	山	2	0	0	2	0
④	安	藤	1	0	0	0	0
H	銅	城	1	1	0	0	0
4	池	上	0	0	0	0	0
⑤	田	村	2	0	0	1	0
⑧	坂	口	2	0	0	0	0
計			20	2	0	9	1

投手	回	打	安	三	四	責
幸　地	5	27	8	5	2	4

日本大学			打	安	点	振	球
④	鹿	田	3	1	0	0	0
⑥	槙	原	2	0	0	2	1
⑦	二	瓶	3	1	1	1	0
⑧	大	崎	3	1	0	0	0
⑨	竹	林	3	2	2	0	0
③	加	藤	3	2	1	1	0
3	齋	藤	0	0	0	0	0
⑤	石	原	2	0	0	0	1
②	今	駒	3	1	0	0	0
①	保	母	2	0	0	1	0
			24	8	4	5	2

投手	回	打	安	三	四	責
保　母	6	21	2	9	1	0

（戦評）日本大学は初回４本のヒットを集中させ２点を先制した。反撃したい東亜大学だあったが日本大学先発の保母に散発２本に抑えられてしまった。６回表が終了と同時に雨脚が強くなり降雨コールドとなった。

◎８月23日　立川公園球場

第１試合

東北学院大学	0	0	0	1	1	1	0	2	0	**5**
甲南大学	0	6	2	0	0	0	0	0	×	**8**

（東）高橋・前田・佐藤・小畑－水戸・菅原

（甲）香川・東川・宮脇－土居

☆三塁打　渡邊尚（東）、鈴木彰２（甲）

☆二塁打　佐藤・尾池（東）

香川・小林弘（甲）

東北学院大学			打	安	点	振	球
④	高橋(拓)		5	0	0	2	0
⑧	渡邊(尚)		5	2	1	2	1
③1	小	畑	5	1	0	0	1
⑤	信	夫	4	2	1	0	0
⑦	小	野	2	0	0	2	0
H	藤	田	1	1	0	0	0
R7	尾	池	1	1	1	0	0
⑨	大	友	4	1	1	0	1
②	水	戸	1	0	0	0	0
2	菅	原	3	0	0	1	0
①	高橋(挙)		0	0	0	0	0
1	前	田	1	0	0	0	0
1	佐	藤	2	1	0	0	0
3	後	藤	1	0	0	0	0
⑥	高橋(巧)		3	1	0	0	0
H	三	浦	1	0	0	0	0
計			39	10	4	7	3

投手	回	打	安	三	四	責
高橋(挙)	1 0/3	9	4	0	3	5
前　田	2	9	6	1	0	3
佐　藤	3	11	1	1	2	0
小　畑	2	6	0	2	1	0

甲南大学			打	安	点	振	球
⑦	鈴木(彰)		5	2	3	0	2
⑥	山	川	4	1	0	0	1
②	土	居	4	1	0	1	0
⑨	家	門	4	1	1	0	0
9	下	根	0	0	0	0	0
⑧	西	山	4	0	0	1	1
③	小林(弘)		4	2	0	0	1
④	川	嶋	4	1	0	1	1
①	香	川	2	1	1	0	0
1	東	川	1	0	0	0	0
1	宮	脇	1	0	0	0	0
⑤	石	原	4	2	2	0	0
計			37	11	7	3	6

投手	回	打	安	三	四	責
香　川	4	16	1	5	3	1
東　川	2	11	4	1	0	2
宮　脇	3	13	5	1	0	2

（戦評）　２回裏甲南大学は相手のワイルドピッチで先制すると、その後タイムリーヒットなどで一挙６点を挙げる。つづく３回裏にも９番石原１番鈴木（彰）の連続タイムリーで２点を追加する。８対０と大きく離された東北学院大学は４回表４番信夫のタイムリーで１点返すと、つづく５回６回と１点ずつ追加する。さらに８回表５番尾池のタイム

リー、６番大友の犠飛で２点追加。しかし東北学院大学の反撃もここまで、８対５で甲南大学が勝利した。

第２試合

国士舘大学	１	０	０	１	０	０	０	０	**２**
福岡大学	１	０	１	０	０	０	０	０	**４**

（国）小熊・鈴木（龍）－清水
（福）西依－笠井
☆本塁打　河野（福）
☆二塁打　野村（国）、河野（福）

国士舘大学	打	安	点	振	球
⑦ 荒川	4	2	0	1	0
② 清水	4	0	0	0	0
④ 永田	3	0	0	2	0
H 小岩井	1	0	0	0	0
4 水垣	0	0	0	0	0
③ 宮井	4	2	1	0	0
⑤ 箱田	4	2	0	1	0
⑧ 河野	4	1	0	1	0
⑨ 増田	4	1	0	2	0
① 小熊	2	0	0	1	0
H 松井	1	0	0	1	0
1 鈴木(龍)	0	0	0	0	0
H 鈴木(翔)	1	1	0	0	0
R 青山	0	0	0	0	0
⑥ 野村	3	2	1	1	0
H 小笠	1	0	0	1	0
計	36	11	2	11	0

投手	回	打	安	三	四	責
小熊	6	25	5	0	2	2
鈴木(龍)	2	10	3	1	1	2

福岡大学	打	安	点	振	球
⑥ 西田	4	0	0	0	0
④ 河野	4	2	1	0	0
⑨ 西勇治	4	1	1	0	3
R 林	0	0	0	0	0
7 日高	0	0	0	0	0
③ 仲間	4	2	0	0	0
⑧ 大久保	4	1	1	0	0
⑦9 久貝	4	0	0	0	0
② 笠井	4	0	0	1	0
① 西依	4	1	1	0	0
⑤ 高井	3	1	0	0	0
計	35	8	4	1	3

投手	回	打	安	三	四	責
西依	9	36	11	11	0	2

（戦評）１回表、国士舘大学は４番宮井のタイムリーヒットで先制。しかし直後の１回裏、福岡大学は３番西のタイムリーヒットで同点に追いつく。さらに３回裏、２番河野のホームランで逆転に成功する。５回表、１点ビハインドの国士舘大学は９番野村のタイムリー２ベースで同点に追いつく。同点のまま迎えた８回裏、福岡大学は５番大久保８番西依のタイムリーで２点を挙げ逆転に成功しそのままゲームセット。４対２で福岡大学が勝利した。

◎8月23日　上柚木球場

第１試合

立命館大学	０	３	２	３	０	２	０	０	**10**
神奈川大学	０	０	０	０	０	５	０	０	**５**

（立）小田・西村－福井
（神）阿部・中村祐・阿部－鳥取・渡辺
☆三塁打　小平（立）
☆二塁打　堀井・畑谷２・福井（立）
鈴木・森住・阿部（神）

立命館大学	打	安	点	振	球
⑨ 堀井	6	1	3	2	0
③ 柴田	6	1	0	0	0
⑤ 畑谷	4	3	0	1	0
5 大角	1	1	0	0	0
⑦ 内山	5	2	4	1	0
⑥ 山下	5	3	0	0	0
⑧ 小平	5	2	2	0	1
② 福井	5	1	0	0	0
④ 森	5	0	0	1	2
① 小田	3	1	0	1	0
H 中小路	1	1	0	0	0
1 西村	1	0	0	1	0
計	47	16	9	7	3

投手	回	打	安	三	四	責
小田	6	29	9	4	1	4
西村	3	12	1	2	2	0

神奈川大学	打	安	点	振	球
⑧ 鈴木	5	3	1	0	0
⑤ 深澤	5	1	0	2	0
④ 中村正	5	1	0	0	0
③ 高村	5	0	0	0	1
⑨7 9 田中	5	2	0	0	1
⑦ 嵩原	1	0	0	1	0
1 中村祐	1	0	0	1	0
9 國分	0	0	0	0	0
H 野並	1	0	0	0	0
R 木村鋭	1	0	0	1	0
⑥ 森住	4	1	0	0	0
② 鳥取	2	0	0	1	0
H 瀬水	1	0	0	0	0
R 石渡	0	0	0	0	0
2 渡辺	1	1	0	0	0
①9 1 阿部	4	1	3	1	0
計	41	10	4	7	2

投手	回	打	安	三	四	責
阿部	6 2/3	37	13	6	3	7
中村(祐)	2 1/3	10	3	1	0	2

（戦評）立命館大学は、２回に４本のヒットで３点を先制するとその後も、集中打と相手の失策につけこみ６回までに10点差をつける。６回裏に神奈川大学は打者一巡の攻撃で５点を返すものの序盤の大量失点が響いた。

第２試合

大阪経済大学	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**
早稲田大学	１	０	０	１	０	０	０	０	**２**

（大）生田－小川
（早）石田－木藤
☆二塁打　栗田（早）

大阪経済大学	打	安	点	振	球
④ 上田	4	0	0	2	0
⑦ 福井	3	0	0	2	0
⑨3 山本貴紀	3	0	0	1	0
③ 大本	3	2	0	0	0
R 小林	0	0	0	0	0
9 浅野	0	0	0	0	0
⑥ 田中	3	0	0	0	0
⑧ 大西	3	0	0	0	0
⑤ 原	3	0	0	0	2
① 生田	3	0	0	0	1
② 小川	3	0	0	0	0
計	28	2	0	5	3

投手	回	打	安	三	四	責
生田	8	39	6	7	9	1

早稲田大学	打	安	点	振	球
④ 駒田	5	2	0	0	2
R 松本	0	0	0	0	0
⑧ 松井	2	0	0	1	0
H 休波	1	0	0	0	0
R8 橋口	2	0	0	1	0
⑨ 上野	5	0	0	0	1
⑥ 嘉悦	4	1	1	1	0
⑤ 栗田	4	1	0	1	0
③ 南	4	1	0	0	3
② 木藤	4	1	0	1	0
① 石田	4	0	0	2	0
⑦ 児玉	4	0	0	0	3
計	39	6	1	7	9

投手	回	打	安	三	四	責
石田	8	28	3	5	3	0

（戦評）早稲田大学は、初回からチャンスを作ると４番のタイムリーで主導権を握る。４回にも１点を追加すると投手を中心とする堅い守りでリードを守り完封で勝利した。大阪経済大学の生田も粘り強く投げたが、要所で四死球と味方の失策が失点に絡み惜敗した。

◎８月24日　上柚木球場

第１試合

法政大学	０	０	０	１	１	０	０	２	13
東海大学札幌	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（７回コールド）

（法）松田－佐藤

（東）浜田・島津・方波見・秋葉・浜田・関口－高橋・名取

☆三塁打　茨田（法）

☆二塁打　宮川・舟木・佐藤（法）

法政大学	打	安	点	振	球
⑦ 中村	4	1	0	0	1
H 小野	1	0	0	0	0
7 豊瀬	0	0	0	0	0
⑧ 縣	4	1	0	0	0
9 横山	1	0	0	0	1
⑨8 宮川	5	1	0	1	2
⑤ 茨田	5	2	3	1	1
⑥ 橘	5	0	0	0	2
③ 舟木	5	1	2	0	2
② 佐藤	5	1	2	0	2
④ 佐野	3	1	0	0	0
H4 坂元	2	0	0	0	0
① 松田	4	1	1	0	0
計	44	9	8	2	11

投手	回	打	安	三	四	責
松田	7	32	9	7	4	0

東海大学札幌	打	安	点	振	球
⑧1 関口	4	1	0	1	0
⑨79 島川	4	1	0	1	1
④ 唐津	4	2	0	1	1
③52 名取	4	0	0	0	1
⑦3 沼田	3	1	0	2	0
7 大井	1	0	0	0	0
② 高橋	2	0	0	0	0
H5 宇野	1	1	0	0	0
①91 浜田	3	1	0	0	0
8 佐々木	0	0	0	0	0
⑥ 工藤	3	1	0	0	0
⑤ 久保田	1	0	0	0	1
1 島津	0	0	0	0	0
1 方波見	0	0	0	0	0
1 秋葉	0	0	0	0	0
H 兜	1	0	0	1	0
73 本間	1	1	0	0	0
計	32	9	0	6	4

投手	回	打	安	三	四	責
浜田	5 2/3	32	4	2	9	6
島津	0 0/3	3	1	0	2	3
方波見	0 2/3	7	4	0	0	4
秋葉	0 1/3	1	0	0	0	0
関口	0 1/3	1	0	0	0	0

（戦評）３回まで両チーム堅い守りで締まった試合となったが、法政大学が４回に１点を先制すると５回には打者13人７本のヒットを含む攻撃で突き放し勝利した。東海大学札幌は、９本のヒットで再三チャンスを作ったもののあと１本が出ず得点できなかった。

第２試合

京都学園大学	０	０	１	０	０	０	０	０	１
中央大学	０	０	０	６	０	１	３	１x	11

（８回コールド）

（京）笠継・保坂－福澤

（中）高月・石田－片山

☆三塁打　児玉（中）

☆二塁打　赤嶺（中）

京都学園大学	打	安	点	振	球
⑧ 原澤	3	0	0	0	0
⑥ 松尾	3	0	0	1	0
⑨ 小松	3	0	0	1	0
③1 石田	3	1	0	1	0
1 高月	2	0	0	0	0
3 黒田	1	0	0	0	0
⑤ 竹林	2	0	0	0	1
H 河野	1	0	0	0	0
5 竹内	0	0	0	0	0
⑦ 山本	2	1	0	0	0
H7 高岡	1	0	0	0	0
② 片山	3	1	0	0	0
④ 小川	3	0	0	0	0
計	27	3	0	3	1

投手	回	打	安	三	四	責
高月	4	25	5	1	5	5
石田	3 2/3	21	6	1	5	5

中央大学	打	安	点	振	球
⑨ 児玉	6	2	1	0	2
⑦ 藤倉	5	0	1	0	2
8 崎山	0	0	0	0	0
③ 萩原	5	2	1	0	1
⑥ 高野	5	1	1	0	3
⑧7 赤嶺	5	2	4	0	0
⑤ 原田	5	3	1	1	0
② 福澤	4	1	0	0	2
H 福島	1	0	0	0	0
④ 大湾	4	1	0	0	0
H 比志	1	0	0	0	1
R 遁田	0	0	0	0	0
① 笠継	2	0	1	0	0
H 松嶋	1	0	0	0	0
1 保坂	1	0	0	1	0
H 小貫	1	0	0	0	0
R 小池	0	0	0	0	0
計	46	12	10	2	11

投手	回	打	安	三	四	責
笠継	5	18	2	3	1	0
保坂	3	9	1	1	0	0

（戦評）京都学園は、３回にヒットと相手の失策で先制するものの、４回に四死球や野選が絡むなど打者９人で６失点。四死球とヒットで効率よく点を取った中央大学が８回コールドで勝利した。

◎８月24日　立川公園球場

第１試合

香川大学	０	０	１	０	０	０	０	１	０	２
関西大学	２	１	１	０	０	０	２	０	×	６

（香）能塚・辻－上総

（関）川上・山内－岡田

☆二塁打　林（香）、雀部・小寺（関）

香川大学	打	安	点	振	球
④ 河上	5	1	0	1	1
⑤ 林	4	2	1	0	1
⑨ 倉本	4	2	1	0	0
② 岡田	4	1	0	0	1
①7 川上	4	0	0	0	0
⑥ 福田(晋)	4	0	0	1	0
③ 清水	4	0	0	2	0
⑧ 久山	4	0	0	1	2
⑦ 青地	3	0	0	0	0
1 山内	0	0	0	0	0
H 須本	1	0	0	0	0
計	37	6	2	5	5

投手	回	打	安	三	四	責
川上	5	24	8	2	1	3
山内	3	13	4	2	0	0

関西大学	打	安	点	振	球
⑧ 野田	4	3	0	0	0
H 小寺	1	0	0	0	0
8 濱名	0	0	0	0	0
③ 雀部	4	2	1	0	0
⑤ 川嶋	4	1	1	0	0
5 堀田	0	0	0	0	0
⑨ 菅原	4	1	0	1	0
9 栗田	0	0	0	0	0
④ 倉井	3	1	1	0	1
H 土川	1	0	0	0	0
4 清水	0	0	0	0	0
⑥ 深井	4	2	0	0	0
6 横井	0	0	0	0	0
② 上総	4	0	1	1	0
① 能塚	2	1	0	0	0
H 水津	1	0	0	0	0
1 辻	1	0	0	1	0
⑦ 井手	3	1	0	1	0
H7 猪田	1	0	0	0	0
計	33	12	4	4	1

投手	回	打	安	三	四	責
能塚	6	24	5	4	3	1
辻	3	13	2	1	2	1

（戦評）１回裏、関西大学は３番川嶋５番倉井のタイムリーヒットで２点を先制する。３対０として３回表、香川大学は２番林のタイムリー２ベースで１点を返す。しかしその裏、関西大学は１点を追加すると７回にも２点追加。香川大学は８回表に１点を返すものの反撃及ばずゲームセット。６対２で関西大学が勝利した。

第２試合

日 本 大 学　０１００００２１００｜４
九州共立大学　０００００００１００｜１

（日）山崎・保母－今駒・加藤・今駒
（九）笠井－村上
☆三塁打　鹿田（日）
☆二塁打　大崎･加藤２（日）､新垣（九）

日本大学	打	安	点	振	球
④ 鹿田	5	1	0	0	0
⑥ 槙原	5	0	1	0	0
⑦ 三瓶	5	1	0	1	0
⑧ 大崎	4	2	0	0	1
⑨ 竹林	4	0	0	2	0
③２３ 加藤	4	3	2	1	0
R 牛谷	0	0	0	0	0
3 斉藤	0	0	0	0	0
⑤ 石原	2	0	0	0	0
H５ 細野	2	0	0	1	0
5 古田	0	0	0	0	0
②３２ 今駒	4	2	1	0	0
① 山崎	3	0	0	1	0
H 宗像	1	0	0	0	0
1 保母	0	0	0	0	0
計	39	9	4	6	1

投手	回	打	安	三	四	責
山崎	7	28	6	8	0	1
保母	2	6	1	3	0	0

九州共立大学	打	安	点	振	球
⑧ 岡田	4	0	0	1	0
⑤ 新垣	4	1	0	1	0
④ 津久江	4	0	0	1	0
⑦ 小山	4	0	0	4	0
3 長門	0	0	0	0	0
⑨ 西田	4	3	0	0	0
⑥ 青柳	4	1	0	0	0
② 村上	4	1	0	1	0
① 笠井	3	0	0	3	0
③ 椎原	2	1	0	0	0
H７ 笹富	1	0	1	0	0
計	34	7	1	11	0

投手	回	打	安	三	四	責
笠井	9	39	9	6	1	3

（戦評）２回表、日本大学は８番今駒のタイムリーヒットで先制する。さらに６回表、６番加藤の２点タイムリー２ベースで２点追加。つづく７回表にも１点を追加する。九州共立大学は７回裏に１点を返すものの反撃及ばずゲームセット。４対１で日本大学が勝利した。

◎８月24日　八王子市民球場

第１試合

甲 南 大 学　１０１００３０００｜５
上越教育大学　０００１００１００｜２

（甲）鈴木（岳）・東川・香川－土居
（上）佐藤・柳澤－鈴木・林
☆本塁打小林（甲）、大谷（上）
☆二塁打家門（甲）、橋本（上）

甲南大学	打	安	点	振	球
⑦ 鈴木(彰)	4	0	0	1	0
⑥ 山川	4	3	0	0	1
⑨ 家門	3	1	1	0	1
② 土居	3	0	0	0	0
⑧ 西山	4	2	2	1	0
③ 小林	4	1	1	1	0
④ 川嶋	4	1	0	0	0
① 鈴木(岳)	1	0	0	0	0
1 東川	2	0	0	0	0
1 香川	1	0	0	0	0
⑤ 石原	4	2	0	0	0
計	34	10	4	3	2

投手	回	打	安	三	四	責
鈴木(岳)	2	8	1	2	1	0
東川	5 1/3	22	7	5	2	2
香川	1 2/3	6	0	4	0	0

上越教育大学	打	安	点	振	球
② 鈴木	4	0	0	0	0
2 林	0	0	0	0	0
⑦ 亀井	4	1	0	1	0
④ 橋本	4	2	0	2	0
⑤ 大谷	4	2	1	1	0
⑥ 田川	2	1	0	1	2
6 水野	0	0	0	0	0
⑨ 山下	4	1	0	2	0
9 田中	0	0	0	0	0
① 佐藤	2	0	0	1	1
1 柳澤	1	0	0	0	0
③ 本庄	3	1	1	0	0
R３ 櫻井	1	0	0	1	0
⑧ 丸山	3	0	0	2	0
8 黒崎	1	0	0	0	0
計	33	8	2	11	3

投手	回	打	安	三	四	責
佐藤	7	30	8	2	1	5
柳澤	2	8	2	1	1	0

（戦評）甲南大学は１点リードの６回６番小林のホームランなどで３点を奪い上越教育大学を突き放した。上越教育は再三チャンスを作るも甲南大学の３投手を打ち崩すことはできなかった。

第２試合

福 岡 大 学　００５７３００｜15
北海学園大学　００００１１０｜２

（７回コールド）
（福）倉田・平野・山長・西（直）－笠井・松永・辰野
（北）斉藤（敢）・中村・堀田・森・蜂谷－蜂谷・桑原
☆三塁打　久貝（福）、杉岡（北）
☆二塁打　河野（福）

福岡大学	打	安	点	振	球
⑥ 西田	2	1	0	1	0
H６ 竹本	2	0	0	2	0
④ 河野	4	2	0	0	0
4 日高(将)	0	0	0	0	1
⑨ 西（勇）	4	1	0	0	0
R 豊福	0	0	0	0	0
9 大坂谷	1	0	0	1	0
③ 仲間	4	1	1	0	1
⑧ 大久保	5	1	1	2	0
⑦ 久貝	3	2	2	0	0
H 岩田	2	1	1	0	0
7 日高(洋)	0	0	0	0	0
② 笠井	1	0	0	0	1
H 田中	1	1	1	0	0
R 林	0	0	0	0	0
2 松永	1	1	0	0	1
① 倉田	3	2	0	0	0
R 藤田	0	0	0	0	0
1 平野	0	0	0	0	1
H 辰野	1	0	0	0	0
1 山長	0	0	0	0	0
1 西（直）	0	0	0	0	0
⑤ 高井	1	1	2	0	3
5 原口	1	0	0	0	0
計	36	14	8	6	8

投手	回	打	安	三	四	責
倉田	4	13	1	3	1	0
平野	1	5	1	1	1	0
山長	1	6	3	0	1	1
西	1	3	0	3	0	0

北海学園大学	打	安	点	振	球
④ 林	2	0	0	1	1
⑧ 磯田	2	0	0	0	0
H 小泉	1	0	0	0	0
7 尾崎	0	0	0	0	0
⑤ 鷲見	1	0	0	1	1
5 土井	1	1	0	0	0
③ 佐々木	3	1	0	0	0
⑨ 杉岡	3	1	0	1	0
②1 蜂谷	2	1	1	0	1
⑦8 岡本	2	1	0	0	0
H 米野	1	0	0	1	0
⑥ 木村	1	0	0	1	0
6 宮越	0	0	0	0	0
H 吉田	0	0	0	1	0
① 斉藤(敢)	1	0	0	0	0
H 斉藤(正)	1	0	0	0	0
1 中村	0	0	0	0	0
1 堀田	0	0	0	0	0
1 森	0	0	0	0	0
2 桑原	0	0	0	0	0
H 佐藤	1	0	0	1	0
計	22	5	1	7	3

投手	回	打	安	三	四	責
斉藤(敢)	3 0/3	18	5	2	3	4
中村	1	9	6	1	0	3
堀田	1	9	3	1	2	2
森	1	4	0	1	2	0
蜂谷	1	5	0	1	1	0

（戦評）福岡大学は３、４日回に相手のミスに付け込みヒットを集中させ12点を奪い試合を決めた。北海学園大学は福岡大学の４投手の前にチャンスを作ることが出来なかった。７回でコールドゲームとなった。

◎８月24日　昭島市民球場

第１試合

中京大学	1	1	0	0	2	0	0	0	0	**4**
立命館大学	0	0	0	1	2	0	0	0	0	**3**

（中）間瀬－小倉

（立）堺・古賀・西村・小田－福井

☆二塁打　鈴木（中）、柴田・内山・森（立）

中京大学	打	安	点	振	球
③ 増谷	4	1	0	1	0
H3 三好	1	0	0	0	0
⑥ 鈴木	3	1	0	0	2
⑤ 宮澤	3	1	0	0	1
⑨ 蔭山	4	1	1	0	0
⑧ 浅野	3	0	0	1	1
② 小倉	4	1	0	0	0
④ 大角	2	1	0	0	0
① 間瀬	4	1	1	1	0
⑦ 望月	3	0	0	0	1
計	31	7	2	3	5

投手	回	打	安	三	四	責
間瀬	9	38	6	5	4	1

立命館大学	打	安	点	振	球
⑤ 畑谷	4	1	0	1	0
③ 柴田	4	2	0	0	1
⑥ 山下	3	1	0	0	1
⑦ 内山	3	1	2	0	0
⑧ 小平	4	0	0	1	0
② 福井	3	0	0	0	1
⑨ 堀井	4	1	0	2	0
④ 森	4	1	0	1	0
① 堺	1	0	0	0	0
1 古賀	0	0	0	0	0
H 北倉	1	0	0	0	0
1 西村	0	0	0	0	0
H 中小路	0	0	0	0	1
R 大平	0	0	0	0	0
1 小田	0	0	0	0	0
H 森本	1	1	0	0	0
計	32	8	2	5	4

投手	回	打	安	三	四	責
堺	4 0/3	20	7	2	3	2
古賀	1	4	0	0	0	0
西村	2	7	0	1	1	0
小田	2	7	0	0	1	0

（戦評）中京大学は初回、４番・蔭山のタイムリーで先制。続く二回にも８番・間瀬のタイムリーで１点を追加。追う展開となった立命館大学は４回裏に１点を返すと、五回裏にエラーと犠牲フライで１点差へ詰め寄ったが、その後、中京大学の先発・間瀬の前に一本が出ず敗戦。中京大学は５回表にノーヒットで２点を奪うなど、効率の良い攻撃で立命館大学に競り勝った。

第２試合

西南学院大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
早稲田大学	0	2	0	1	0	0	1	2	×	**6**

（西）師岡・内山・財前－藤田

（早）河合・向江・沼座－木藤

☆二塁打　児玉（早）

西南学院大学	打	安	点	振	球
④ 大津留	4	1	0	2	0
⑥ 杉谷	4	1	0	1	0
⑦ 饒平名	4	2	0	0	0
R 末松	0	0	0	0	0
⑨ 吉柳	3	0	0	0	0
③ 伊東	1	0	0	0	0
⑧ 吉木	3	0	0	1	0
H 松崎	1	0	0	0	0
② 藤田	3	0	0	1	1
① 師岡	2	0	0	1	0
H 本田	1	0	0	0	0
1 内山	0	0	0	0	0
1 財前	0	0	0	0	0
⑤ 江頭	3	1	0	0	0
計	29	5	0	6	1

投手	回	打	安	三	四	責
師岡	7	34	8	0	4	2
内山	0/3	2	1	0	1	2
財前	1	4	0	0	1	0

早稲田大学	打	安	点	振	球
④ 駒田	5	1	2	0	1
⑧ 松井	3	0	0	0	1
H 衛藤	1	0	0	0	0
8 橋口	1	0	0	0	1
⑨ 上野	5	1	0	0	1
⑥ 嘉悦	5	0	0	0	0
⑤ 栗田	4	3	0	0	0
③ 南	4	1	1	0	0
② 木藤	4	1	0	0	0
① 河合	3	0	0	0	1
1 向江	0	0	0	0	0
H 休波	1	0	0	0	1
R 堂園	0	0	0	0	0
1 沼座	0	0	0	0	0
⑦ 児玉	4	2	0	0	0
7 土屋	0	0	0	0	0
計	40	9	3	0	6

投手	回	打	安	三	四	責
河合	7	25	4	6	1	0
向江	1	4	1	0	0	0
沼座	1	4	1	0	0	0

（戦評）３投手の継投で西南学院大学打線を無失点に抑えた早稲田大学が圧勝。２回裏、ヒットと四球で作ったチャンスに相手のエラーが絡み２得点を挙げると、その後駒田のタイムリーなどで着実に加点。先発の河合は三塁を踏ませないピッチングで７回４安打無失点と好投した。西南学院大学は饒平名が２安打と活躍したが、早稲田大学の堅い守備に得点をすることができなかった。

◎８月25日　昭島市民球場

第１試合

法政大学	2	0	0	0	0	0	1	1	1	**4**
中央大学	0	3	0	0	0	0	2	0	×	**5**

（法）末次・大谷－佐藤

（中）小河原・清水・笠継－福澤・勝又

☆三塁打　橘・中村（法）

☆二塁打　宮川・佐藤（法）

原田・勝山（中）

法政大学	打	安	点	振	球
⑦ 中村	5	1	0	0	0
⑧ 縣	5	1	0	0	1
⑨ 宮川	5	3	1	0	0
⑤ 茨田	5	0	0	1	1
⑥ 橘	4	2	2	0	0
③ 舟木	4	1	0	2	0
② 佐藤	4	1	1	3	0
④ 佐野	4	0	0	1	0
① 末次	1	1	0	0	0
H 小野	1	0	0	1	0
1 大谷	1	0	0	1	0
H 宇賀神	1	0	0	1	0
計	40	10	4	10	2

投手	回	打	安	三	四	責
末次	4	21	7	1	3	3
大谷	5	18	4	2	1	2

中央大学	打	安	点	振	球
⑨ 児玉	5	2	1	0	1
⑧ 崎山	4	2	0	1	0
H7 藤倉	1	0	0	1	0
③ 萩原	5	2	0	0	0
⑥ 高野	4	0	0	0	0
⑦8 赤嶺	4	0	0	0	0
⑤ 原田	4	2	0	0	1
② 福澤	3	0	0	0	0
H 松嶋	1	1	2	0	0
R 延田	0	0	0	0	0
2 勝又	0	0	0	0	0
④ 大湾	4	0	0	1	1
① 小河原	0	0	0	0	0
H 勝山	1	1	2	0	0
1 清水	3	1	0	0	1
1 笠継	0	0	0	0	0
計	39	11	5	3	3

投手	回	打	安	三	四	責
小河原	2	10	3	2	1	2
清水	5 1/3	28	7	7	1	2
笠継	2/3	2	0	1	0	0

（戦評）法政大学は、初回２点を先制するも、すぐさま中央大学に逆転を許す。順調に加点した中央大学が終盤追い上げた法政大学を振り切り、次戦に駒を進めた。

第２試合

日本大学	０	０	０	０	０	０	１	０	０	**１**
関西大学	１	１	０	０	０	０	０	０	×	**２**

（日）岡島・山崎・保母－今駒
（関）森本－上総

日本大学	打	安	点	振	球
④ 鹿田	4	0	0	0	1
⑥ 槙原	4	0	0	1	0
⑦ 二瓶	4	0	0	2	0
⑧ 大崎	4	1	0	0	0
⑨ 竹林	4	1	0	0	1
③ 加藤	4	0	0	0	0
⑤ 東條	3	0	0	0	0
H 宗像	1	1	1	0	0
5 古田	0	0	0	0	0
② 今駒	3	0	0	1	1
① 岡島	0	0	0	0	0
H 石原	1	0	0	1	0
1 山崎	1	0	0	1	0
H 斉藤	1	0	0	0	0
1 保母	0	0	0	0	0
計	34	3	1	6	3

投手	回	打	安	三	四	責
岡島	2	9	3	2	0	1
山崎	4	13	1	5	0	0
保母	2	6	0	1	0	0

関西大学	打	安	点	振	球
⑧ 野田	4	1	0	1	0
③ 雀部	3	1	0	0	0
⑤ 川嶋	3	0	1	0	0
⑨ 菅原	3	0	0	3	0
④ 倉井	3	0	0	0	0
⑥ 深井	3	1	0	1	0
② 上総	3	1	0	0	0
① 森本	3	0	0	2	0
⑦ 井手	3	0	0	1	0
計	28	4	1	8	0

投手	回	打	安	三	四	責
森本	9	33	3	6	3	1

（戦評）関西大学は初回、野田・雀部の連続安打でチャンスを作ると３番川嶋のスクイズで先制。２回にも相手のミスで得点を加え２点をリードする。追う日本大学は７回表、大崎・竹林連続安打でチャンスを作り代打・宗像がレフトへタイムリーを放ち１点差へ詰め寄る。しかし、関西大学の先発・森本の前にあと一本が出ず敗戦。

◎８月25日　八王子市民球場

第１試合

福岡大学	０	０	０	１	０	０	０	０	１	**２**
甲南大学	０	０	０	０	４	０	１	３	×	**８**

（福）西依・倉田・西（直）・平野－笠井
（甲）香川－土居
☆二塁打　西（勇）・仲間・久貝（福）
山川・西山・小林（弘）（甲）

福岡大学	打	安	点	振	球
⑥ 西田	3	1	0	0	1
④ 河野	3	0	0	0	1
⑨ 西（勇）	4	1	0	2	0
③ 仲間	4	2	1	0	0
R 豊福	0	0	0	0	0
⑧ 大久保	4	0	0	0	0
⑦ 久貝	4	1	0	0	0
② 笠井	3	0	0	0	0
H 松永	1	0	0	1	0
① 西依	2	0	0	2	0
1 倉田	0	0	0	0	0
H 田中	1	1	0	0	0
R 林	0	0	0	0	0
1 西（直）	0	0	0	0	0
1 平野	0	0	0	0	0
H 藤田	1	0	0	0	0
⑤ 高井	3	0	0	0	0
計	33	6	1	5	2

投手	回	打	安	三	四	責
西依	4 2/3	23	7	3	2	3
倉田	2 1/3	9	3	1	0	1
西（直）	0/3	3	2	0	1	2
平野	1	5	0	0	2	0

甲南大学	打	安	点	振	球
⑦ 鈴木(彰)	5	2	1	0	1
⑥ 山川	4	2	1	0	1
⑨ 家門	3	0	0	0	0
9 下根	0	0	0	0	0
② 土居	5	1	0	1	0
⑧ 西山	4	2	2	1	0
③ 小林(弘)	3	1	0	0	1
R 三原	0	0	0	0	0
④ 川嶋	3	0	0	1	1
① 香川	4	3	2	1	0
⑤ 石原	1	1	0	0	1
計	32	12	6	4	5

投手	回	打	安	三	四	責
香川	9	35	6	5	2	1

（戦評）甲南大学は１点ビハインドの５回、ヒットを５本集中させ一挙に４点を挙げ勝ち越した。追いつきたい福岡大学であったが、甲南大学先発の西依にヒット５本に抑え込まれ逆転することが出来なかった。

第２試合

中京大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**
早稲田大学	０	０	０	０	０	０	０	０	１	**１**

（中）西崎－小倉
（早）石田－木藤
☆二塁打　嘉悦（早）

中京大学	打	安	点	振	球
③ 三好	3	0	0	1	0
⑥ 鈴木	3	1	0	0	1
⑤ 宮澤	4	0	0	3	0
⑨ 陰山	4	2	0	2	0
⑧ 浅野	4	0	0	2	0
② 小倉	3	0	0	1	1
④ 大角	3	1	0	0	0
① 西崎	2	0	0	1	0
⑦ 望月	3	2	0	0	0
計	29	6	0	10	2

投手	回	打	安	三	四	責
西崎	8 2/3	37	11	3	1	1

早稲田大学	打	安	点	振	球
④ 駒田	5	2	1	1	0
⑧9 上野	4	1	0	0	0
⑤ 栗田	4	0	0	0	0
⑥ 嘉悦	4	2	0	0	0
③ 南	3	1	0	0	1
② 木藤	4	3	0	1	0
R 橋口	0	0	0	0	0
⑨7 堂園	3	0	0	1	0
① 石田	3	1	0	0	0
H 休汲	1	1	0	0	0
R 野村	0	0	0	0	0
⑦ 児玉	2	0	0	0	0
⑧ 松井	0	0	0	0	0
H 衛藤	1	0	0	0	0
計	34	11	1	3	1

投手	回	打	安	三	四	責
石田	9	33	6	9	2	0

（戦評）両チームの投手が持ち味を発揮し、息詰まる投手戦となった。９回早稲田大学は２死１、３塁から１番の駒田がサヨナラヒットでゲームを決めた。

◎８月26日　昭島市民球場

第１試合

中央大学	０	１	０	０	０	０	０	０	０	**１**
関西大学	１	０	０	１	０	０	０	０	×	**２**

（中）笠継・清水－福澤

（関）森本－上総

☆三塁打　深井（関）

☆二塁打　福澤（中）、川嶋・菅原（関）

中央大学	打	安	点	振	球
⑨ 児玉	4	1	0	1	0
⑧ 崎山	3	0	0	2	0
H 松嶋	1	0	0	1	0
7 藤倉	0	0	0	0	0
③ 萩原	4	0	0	0	0
⑥ 高野	4	0	0	0	0
⑦8 赤嶺	4	0	0	1	1
⑤ 原田	3	1	0	0	0
④ 大湾	3	0	0	1	0
② 福澤	3	1	0	0	0
① 笠継	2	0	0	0	0
H 勝山	1	0	0	0	0
1 清水	0	0	0	0	0
計	32	3	0	6	1

投手	回	打	安	三	四	責
笠継	7	28	6	1	1	2
清水	1	3	0	0	0	0

関西大学	打	安	点	振	球
⑧ 野田	4	0	0	0	0
③ 雀部	4	0	0	0	0
⑤ 川嶋	4	2	0	0	0
⑨ 菅原	4	1	1	0	0
④ 倉井	3	1	0	0	0
⑥ 深井	3	2	1	1	0
② 上総	3	0	0	0	0
① 森本	3	0	0	0	0
⑦ 井手	3	0	0	0	1
計	31	6	2	1	1

投手	回	打	安	三	四	責
森本	9	32	3	6	1	0

（戦評）中央大学と関西大学の一戦は息の詰まる投手戦となった。関西大学は初回、川嶋・菅原の連続二塁打で１点を先制。直後の２回表に中央大学は相手のエラーを絡め同点とする。均衡が破れたのは４回裏、関西大学・深井の打球はセンターオーバーのタイムリー３塁打となり１点を勝ち越す。この１点を関西大学の先発・森本が守り切り見事勝利。

第２試合

甲南大学	０	０	０	１	０	０	４	０	０	**５**
早稲田大学	０	１	０	０	０	０	０	０	０	**１**

（甲）香川・東川－土居

（早）河合・向江・沼座－木藤

☆二塁打　家門（甲）、嘉悦・栗田（早）

甲南大学	打	安	点	振	球
⑦ 鈴木彰博	5	1	0	0	0
⑥ 山川	5	1	0	1	1
⑨ 家門	4	1	1	0	0
R9 下根	1	1	0	0	0
② 土居	4	0	2	0	1
⑧ 西山	4	0	0	0	1
③ 小林弘昌	4	1	0	0	0
④ 川嶋	4	3	1	0	0
① 香川	4	0	0	1	0
1 東川	0	0	0	0	0
⑤ 石原	4	1	0	0	0
計	39	9	4	2	3

投手	回	打	安	三	四	責
香川	8	33	9	4	2	1
東川	1	4	1	2	0	0

早稲田大学	打	安	点	振	球
④ 駒田	5	2	0	1	1
⑧ 松井	4	1	0	0	0
⑨ 上野	4	1	0	0	0
⑥ 嘉悦	4	1	0	0	0
⑤ 栗田	4	2	0	0	1
③ 南	4	1	0	1	0
② 木藤	4	1	1	0	0
① 河合	2	0	0	1	0
1 向江	0	0	0	0	0
H 土屋	1	0	0	0	0
1 沼座	0	0	0	0	0
H 市堰	1	0	0	1	0
⑦ 児玉	2	0	0	2	0
H 休波	1	1	0	0	0
R７ 橋口	1	1	0	0	0
計	37	11	1	6	2

投手	回	打	安	三	四	責
河合	6 1/3	30	7	1	3	4
向江	2/3	2	1	0	0	0
沼座	2	7	0	1	0	0

（戦評）１－１の同点で迎えた７回表に甲南大学の９番・石原がライト前を放つと、鈴木彰博・山川・家門・土居と５打者連続安打で一挙４点を奪い試合を決めた。早稲田大学は毎回ランナーを出すものの、３併殺など甲南大学の堅守に阻まれ得点をあげることができなかった。

◎８月27日　昭島市民球場

第１試合

関西大学	０	０	０	０	１	１	０	０	２	**４**
甲南大学	１	０	０	０	１	０	０	０	０	**２**

（関）森本・能塚・辻－上総

（甲）宮脇・東川－土居

☆二塁打　深井（関）、鈴木彰博（甲）

関西大学	打	安	点	振	球
⑧ 野田	4	0	0	0	0
③ 雀部	4	1	0	1	0
⑤ 川嶋	4	0	0	0	1
⑨ 菅原	4	0	0	0	0
④ 倉井	4	1	1	1	0
⑥ 深井	4	1	1	1	0
② 上総	4	2	1	0	0
① 森本	3	0	0	1	0
1 能塚	0	0	0	0	0
H 土川	1	0	0	0	0
1 辻	0	0	0	0	0
⑦ 井手	3	2	0	0	0
計	35	7	3	4	1

投手	回	打	安	三	四	責
森本	7 2/3	33	9	4	2	1
能塚	1/3	1	0	0	0	0
辻	1	4	2	0	0	0

甲南大学	打	安	点	振	球
⑦ 鈴木彰博	5	3	0	0	0
⑥ 山川	5	2	0	0	0
⑨ 家門	4	0	1	2	0
② 土居	4	2	1	0	1
⑧ 西山	4	1	0	1	1
③ 小林弘昌	4	1	0	0	0
④ 川嶋	4	1	0	0	0
① 宮脇	2	0	0	0	0
H 三原	1	0	0	0	0
1 東川	0	0	0	0	0
H 川本	1	1	0	0	0
R 下根	0	0	0	0	0
⑤ 石原	4	0	0	1	0
計	38	11	2	4	2

投手	回	打	安	三	四	責
宮脇	6	23	6	1	1	2
東川	3	12	2	3	0	1

（戦評）甲南大学は初回、４番・土居の内野安打で１点を先制。１点を追う関西大学は５回表、相手のエラーを絡め１点をもぎ取り同点とする。しかし直後に甲南大学・家門の犠牲フライですぐさま１点を勝ち越す。６回表には関西大学が倉井のタイムリーで再び同点とする。同点のまま迎えた９回表、関西大学は深井・上総の連続タイムリーで２点を奪いそのまま試合を決めた。

全日本大会優勝校コメント

関西大学準硬式野球部

監督　永岡　哲史

まずはじめに、関西六大学準硬式野球春季リーグ戦を始め、今大会において、関西大学を応援して下さった方々、本当にありがとうございました。みなさまの応援があってこその優勝だと思います。

今大会において、関西大学は初めての優勝を収めることができました。過去に、準優勝を収めたことはありました。そのときに、主将を務めていたのが私です。どのチームにも負けないほどの努力をし、試合でも120パーセントの力を出しました。そして、全国の決勝という舞台までたどり着きましたが、惜しくも敗れ準優勝に終わりました。力を出し切ったので悔いはありませんでしたが、いつかリベンジしてくれることを願っていました。それが、今回ついに叶いました。主将の川嶋を中心に、本当によく頑張ったと思います。正直、まとまりのないチームでした。意見は喰い違い、チームがバラバラになりそうな時もありました。しかし、４回生を中心にミーティングを繰り返し、お互いの気持ちを確認し、理解し合いました。すると、４回生の意識が変わり、練習中からプレーや声でチームを盛り上げてくれました。下級生たちもそれについていき、チームの雰囲気は厳しくもあり、楽しくもあり、いや、どちらかというと厳しさの方が大きかったかもしれません。笑　それでも最後まで頑張ったからこそ、成し遂げられた日本一だと思います。本当によくやってくれました。４回生はこれで引退ですが、準硬式野球を通じて学んだことを活かし、社会ではたくさんの壁にぶつかるとは思いますが、決して下を向かず、前を向いて進み続けてください。

新チームは、本当に貴重な経験ができました。普段試合をすることがない、関西以外のチームと試合をし、野球のプレーやプレー以外の面からもたくさん学ばせていただきました。しっかり吸収し、今後の活動に学んだことを活かしていきます。そして、来年も岡山で開催される全日本大学準硬式野球選手権大会に出場し、２連覇を目指します。

最高のプロセスを通して、最高の結果で今大会を終わることができ、本当に幸せな想いができました。冒頭にも申し上げましたように、応援して下さったたくさんの方々の支えがあってこそ生まれた結果です。心より感謝いたします。本当にありがとうございました。これからもご期待に応えられるように頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。

全日本大会優勝校コメント

関西大学準硬式野球部

主将　川嶋　　拓

まさか優勝出来るとは思いませんでした。それが正直な感想です。優勝した瞬間はあまり優勝した実感はなかったですが、日に日に実感が沸いてきました。上の代が引退し新チームを迎えた時はチームはバラバラで本当にこのメンバーで勝ち進めるのか、全国大会で結果を残せるのか不安でした。しかし今となってはこのチームだからこそ優勝という結果を残せたのではないかと思っています。投手は辻、森本を中心に本当によく投げ抜いてくれました。しっかりと結果を残すことで後輩たちにもいい影響を与えることが出来たと思っています。また、後輩をよく見てくれていた中島などのおかげで投手陣はしっかりとまとまっていたと思います。内野手は清水孝祐、横井を中心にまとまっていたと思います。メンバー外の練習を仕切ってくれた築島らには本当に感謝しています。外野手は井手、野田、菅原の三人が引っ張ってくれ、いい見本になっていました。こういった四回生が個々に動いてくれたおかげで、チームをまとめやすくなりました。

全国大会では、初戦の専修大学との試合で上手く流れに乗ることが出来たと思います。甲南、中央、日大と本当に強い相手でしたが、投手を中心に粘り強く守り抜き、相手よりも多く点を取る。そして、１回から９回までベンチ、スタンドからの声で関大の雰囲気を作る関大らしさを全面に出すことが出来たことが優勝に繋がったと思います。試合の中では「自分達は挑戦者である。」という気持ちを常に忘れずに思いきってプレーしていこう。とずっと言い聞かせていました。ベンチの雰囲気も土川、清水遼を中心に盛り上げることが出来ました。監督があまり練習に来ない分、自分達で考えて練習し、自分達で考えてプレーすることが関大の強みです。後輩には２年連続全国優勝目指すというプレッシャーをかけたかもしれませんが、そんなプレッシャーを吹き飛ばしてくれるくらいのチームを作って欲しいと思います。関大準硬式野球部としての初の全国優勝で大変嬉しく思います。先輩や後輩、同級生に本当に恵まれた四年間で、学生生活最後の野球人生を全国制覇という最高の形で、しかも主将として終えられたことを本当に嬉しく思います。ありがとうございました！

第65回全日本選手権大会を主管して

関東地区大学準硬式野球連盟

理事長　中畑　　稔

第65回全日本選手権権大会を関東地区連盟が主管して開催することになり、関東地区５連盟の役員、学生の協力を得て、一年以上も前から球場の確保や自治体・宿泊先等との折衝から始まり、直前の広報活動まで幾多の準備を行ってまいりました。

とくに、大会使用予定球場が今年の国民体育大会の軟式野球競技の使用球場となるなどの問題がありましたが、各自治体の協力を得て神宮球場で開催した第25回大会以来40年ぶりの東京都開催の実現に漕ぎ付けることができました。

又、準硬式野球の広報強化の観点から、学生から募集したキャッチフレーズ『魅せろ!!準硬魂』をパンフレットなどに積極的に表示してPRいたしました。なかでも、一般の市民の皆さんが球場へ足を運び準硬式野球の理解を深めることを目的に、初めての試みとして新聞折り込みチラシ４千枚の球場周辺住民への配布と関係先へのポスター百枚の掲示を実施しました。結果としては、これを見て来てみましたとの市民の話がかなり耳に入ってきたことは、多少なりとも効果があったのではないかと、喜んでいます。

開会式も、神奈川連盟所属「防衛大学校準硬式野球部」学生の立派なプラカード行進と、練馬駐屯地の「陸上自衛隊第一音楽隊」による見事なブラスバンド演奏が全般を盛り上げて、高い評価を頂きましたが、快く全面的に協力頂いた２組織に感謝しております。

準備から閉会式まで期待以上の働きをして無事に大会運営を遂行した、池田学生委員長を始めとした学生諸君にも、お礼を言いたいと思います。最後に全大会日程の順調な進行に協力いただいたすべての関係者に厚く感謝の意を表します。

全日本大会を主管して

関東地区大学準硬式野球連盟
学生委員長　池田　卓也

「本当にお疲れ様」

全日本大会後、多くの方々からかけていただいた言葉です。大会一か月前からは日々仕事をこなすのに一日を費やしたと言っても過言ではありません。感謝の言葉が全力で大会を運営してきて本当に良かったという気持ちにさせてくれています。

今思い返すと本大会は様々な人の力によって支えられていました。学生には難しい仕事を理事の方々が取り組んで下さりました。学生委員は必死に知恵を絞ってくれました。自校が出場しているのにもかかわらず、全面的に協力してくれた学生委員もいます。40年ぶりに東京で開催された全日本大会は様々な想いがこもっていました。

私は今回の全日本大会を「生涯記憶に残る思い出の大会」にすることを目標としていました。まずはプレーをしていて障害を感じない環境作りに注力しました。一番苦労したのが、開会式におけるバスの発着です。メイン球場の昭島市民球場にはバスを大量に許容するスペースがありません。遠方からくる各校へ時間差をつけて到着させる計画を立てましたが、成功するかどうかは現場の学生役員にかかっていました。当日は学生役員を中心に何とか発着を切り抜けましたが、昭島市民球場職員の皆様の手厚いフォローなしに成功することは考えられませんでした。この場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。

加えて、運営する学生役員が大会後、「運営に参加できてよかった」と言えるような環境も作りたいと考えていました。その中で、ある学生役員に対して、所属校が開会式に出ているにもかかわらず、同一時間帯で他球場での仕事を任せる決断をしたことがありました。全日本大会は簡単に出られる大会ではありません。常連校でも毎年メンバーは変わります。一年間の努力が結集した大切な時間を奪うことは、悩ましい決断でした。しかしながら、その学生役員は文句を一切言わず、任務を遂行してくれました。あらゆる仕事で精神的につらいこともありましたが、他スタッフの苦労を考えると弱音は吐いている時間は微塵もありませんした。一例しかご紹介することができませんが、一緒に仕事をしてくれた学生役員スタッフには感謝してもしきれません。大会は終了しましたが、生涯の付き合いにしていきたいと考えております。

最後とはなりますが、本大会にご尽力くださった全ての関係者の方に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

参加者名簿

東海大学札幌

氏　名	学年	学部	高　校
水谷　大地	4	国際文化	北照　監督
鹿内　和樹	3	国際文化	東海大四　コーチ
岸川　颯馬	3	国際文化	東海大四　コーチ
加藤　孝弘	4	国際文化	東海大四　マネージャー
田村　悠果	2	国際文化	札幌創成　スコアラー
島津　唯一	4	国際文化	函館工業
浜田　和弥	3	国際文化	東海大四
方波見将士	2	生物理系	駒大岩見沢
秋葉　勇輝	2	国際文化	東海大四
池田　　龍	2	国際文化	東海大四
名取　宏晃	4	国際文化	東海大三
高橋　功典	2	国際文化	東海大四
和野　　涼	1	国際文化	東海大四
村山　翔一	1	国際文化	函館水産
唐澤　央樹	4	国際文化	東海大三
宇野　　壮	4	国際文化	北照
原　　尚輝	3	国際文化	旭川実業
兜　　駿輝	2	国際文化	東海大四
島川　　岳	2	国際文化	東海大四
久保田雄飛	2	国際文化	旭川工業
工藤　直大	2	国際文化	東海大四
大松澤泰聖	2	生物理系	東北学院榴ヶ岡
外谷　和輝	1	国際文化	久慈
本間　泰士	4	国際文化	東海大三
沼田　泰輝	4	国際文化	北星大学附属
関口　大輝	4	国際文化	千葉明徳
三好　大地	3	国際文化	東海大四
渡部　裕貴	2	国際文化	旭川東栄
大井　謙汰	2	国際文化	東海大四
佐々木嘉寿	1	国際文化	不来方

法 政 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
坂本　　勝		法政大学	部長
本間　隆洋		法政大学	監督
丸山　竜二		法政大学	コーチ
青井　知子	3	社　会	岡山朝日　マネージャー
佐藤　瑠璃	2	社　会	松本県ヶ丘　スコアラー
大谷　亘輝	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康	塔南
安本　剛史	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康	日立第一
松田　知行	3	経　済	日本文理
阿部春太郎	2	経　済	大館鳳鳴
末次慶一郎	1	社　会	佐賀北
山路　脩平	3	経　済	静岡
佐藤　裕太	2	経　済	藤代
森　　直樹	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康	法政大学第二
舟木　大河	4	社　会	星稜
坂元　　頌	4	社　会	報徳学園
茨田　桂太	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康	法政大学第二
落合　大泰	3	法	静岡
天海　貴裕	3	社　会	小山西
永井　貴亮	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康	桐蔭学園
佐野　健太	2	社　会	静岡
橘　　廉	2	社　会	花巻東
永田　　直	1	経　済	桐蔭学園
宮川　拓実	4	経　済	千葉経済大学附属
宇賀神勇人	4	経　済	作新学院
縣　　悠太	4	社　会	掛川西
横山　　翔	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康	法政
豊瀬　有剛	4	社　会	法政大学第二
長田　悠志	2	社　会	遊学館
小野　慶典	1	経　済	静岡
中村　聖弥	1	経　済	藤代

愛知学院大学

氏　名	学年	学部	高　校
片山　和男		部長	
伊藤　孝真		監督	
外山　裕友	4	心身科学	聖隷　コーチ
寺田　彩乃	4	総合政策	東邦　マネージャー
奥山　由佳	2	心身科学	名古屋西　スコアラー
團野　貴大	4	経　営	福井商業
小松　亮平	4	商	静岡商業
藤吉　正大	3	商	岐阜城北
平林　一浩	4	商	県立岐阜商業
白谷　彰吾	3	心身科学	愛知
新美　　徹	4	心身科学	大府
田保　智也	4	商	福井商業
宮下　洋平	4	心身科学	東浦
上原　弘誉	4	商	聖隷
近藤　隆道	3	商	東邦
堂園　和貴	3	商	県立岐阜商業
伊藤　宏徳	2	経　営	星城
鈴木　健太	3	経　営	愛産大三河
伊東　宗志	3	経　営	愛産大三河
吉田　季流	1	経　営	大府
小浜　　瞭	4	心身科学	掛川西
宮崎　　謙	4	商	静岡
手嶋　　新	4	総合政策	愛知啓成
浦川　晃史	4	商	愛産大三河
貞包　大輝	3	法	栄徳
三輪　剛士	3	総合政策	春日ヶ丘
尾関　駿介	3	経　営	県立岐阜商業
杉浦　大輝	2	経　営	愛知啓成
新海　剛志	3	商	寒川
土屋　喬悠	2	経　営	寒川

愛 知 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
松岡　弘記		中京大学	部長・監督
田代　大介		愛知大学	コーチ
野村　冬稀	4	法	愛知啓成　コーチ
加藤すみれ	4	経　営	吉城　マネージャー
鈴木　晶子	4	経　営	横須賀　スコアラー
匂坂　秀樹	1	経　済	常葉菊川
池田　浩士	3	経　営	東邦
平通　義晃	2	経　営	大垣日大
岡田　雄樹	2	法	享栄
内藤　寛弥	1	現代中国	大垣日大
西村　友希	1	経　済	高蔵寺
古屋　　賢	2	法	享栄
倉知　克彰	2	法	昭和
岡田　朋樹	1	経　営	名古屋国際
谷口　雄士	4	経　営	東邦
川満　裕太	4	経　営	東邦
桂木　貴将	4	経　営	福井商業
犬飼　将登	3	経　営	桑名西
里園　公基	2	経　営	東邦

加藤	健祐	2	法	中京
北河	俊佑	2	法	各務原西
澤入	康平	4	経　営	静岡商業
佐々木	涼	1	経　営	高蔵寺
恩田	英臣	3	経　営	県立岐阜商業
高岸	弘卓	3	経　営	静岡商業
小澤賢之助		3	経　営	東邦
難波	潮紀	2	法	東邦
石原	知輝	2	経　済	東邦
長田	卓弥	1	経　営	東邦
峯	健太	1	経　営	享栄

京都学園大学

氏　名	学年	学部	高　校
加藤 祐一	京都産業大学	部長	
北島 隆大	京都学園大学	監督	
森山 智大	京都学園大学	コーチ	
徳田恵里菜	4	ﾊﾞｲｵ環境	西宇治　ﾏﾈｰｼﾞｬｰ
小倉 早織	4	人間文化	藤枝西　ｽｺｱﾗｰ
高月伸太郎	4	法	花園
井ノ口友飛	1	経　営	河瀬
片山 康宏	4	経　営	城陽
阪口 輝	1	法	向陽
石田 健人	4	経　済	須崎
竹林 優治	4	経　営	明豊
小川 大輔	3	法	尾道
河野 辰	3	経　営	福井工業大学付属福井
松尾 有基	3	経　営	東山
宇都宮 将	2	経　済	京都文教
黒田 賢一	2	法	相可
竹内 司	2	経　営	京都成章
照井 亨	1	法	専修大学北上
中村 謙太	1	経　営	屋久島おおぞら
原澤 翔太	4	法	花園
山本 卓矢	3	経　営	延岡学園
新井 盛志	3	経　営	滋賀学園
小松 誠弥	2	法	東山
高岡 大士	2	法	北大津
藤木 貴悠	2	経　済	洛北
堀江 貴大	1	法	京都明徳

中 央 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
柳川 重規	中央大学	部長	
池田 浩二	中央大学	監督	
池田 走	中央大学	コーチ	
小泉 友哉	中央大学	コーチ	
延田 寛基	3	商	報徳学園　ﾏﾈｰｼﾞｬｰ
新本 征司	2	商	呉商業　ｽｺｱﾗｰ
笠継 泰成	4	商	佐賀商業
清水 彰仁	4	商	甲府商業
小河原謙哉	3	文	甲府南
保坂 祐樹	2	商	能代商業
勝又 駿	4	文	掛川西
鈴木 悠介	4	経　済	水戸商業
松嶋 真樹	3	経　済	高岡商業
福澤 開	3	商	甲府商業
高野 桂	4	商	前橋商業
若菜 祐大	4	経　済	呉商業
大湾 圭人	3	商	興南
勝山 大輝	3	経　済	前橋商業
萩原 大貴	3	法	浦和学院
小貫 慧太	2	商	大館鳳鳴
小池優太郎	2	商	健大高崎
江間 奨平	2	商	甲府商業
福島 慎平	2	総合政策	日川
原田 大輝	1	商	水戸商業
緑川皐太朗	1	経　済	浦和学院
赤嶺 廉	4	商	作陽
崎山 優貴	4	商	八重山商工
藤倉 一平	4	総合政策	報徳学園
児玉健一郎	3	商	県立岐阜商業
延田 寛基	3	商	報徳学園
比志 和博	2	文	日川

香 川 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
金沢 忠信	東京大学	部長	
渡部 聖志	香川大学	監督	
沖原 瑛子	4	経　済	松山東　ﾏﾈｰｼﾞｬｰ
大塚 春菜	3	経　済	愛媛大学附属　ｽｺｱﾗｰ
山内 弘樹	4	農	大阪学芸館
川上 温嗣	3	経　済	総社南
中本 創	3	工	倉敷天城
高重 至成	3	農	舟入
福田 健太	2	工	鳳
森園 拓哉	1	工	岡山大安寺
小佐々 薫	1	工	西陵
岡田 拓門	3	工	浜田
東 英和	2	教　育	岡山芳泉
清水 陽平	4	農	金沢二水
矢野 寛典	3	法	富岡西
田中 将之	3	法	脇町
河上 浩三	3	教　育	総社南
福田晋太郎	3	経　済	岡山芳泉
青地 一賢	3	工	岡山芳泉
林 宏輔	3	工	呉宮原
重松 大智	2	経　済	岡山芳泉
指宿 聖也	1	経　済	朝日塾
須本賢太朗	4	工	八幡南
久山 諒	3	法	岡山城東
福島 敬紘	3	経　済	高松第一
倉本 圭輔	2	経　済	岡山芳泉
犬飼 康貴	2	経　済	岡山大安寺
藤本 佑稀	1	経　済	三木

専 修 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
菱山 淳	部長		
海老原康彦	監督		
藤田 博行	コーチ		
佐藤 拓己	4	経　営	佼成学園　ﾏﾈｰｼﾞｬｰ
斎藤 綾乃	4	文	作新学院　ｽｺｱﾗｰ
髙橋 陽一	3	経　営	静岡商業
渡邉 貴一	2	経　営	専大松戸
藤後 彰太	1	経　営	県立岐阜商業
植田 博貴	3	商	広陵
髙橋 寛礼	2	法	桐蔭学園
白井 優也	1	経　済	専大松戸
山岡 大輝	4	経　営	常総学院
吉田 拓矢	4	商	広陵
渥美 利紀	3	法	掛川西
髙本 駿	3	商	福岡舞鶴
飯野 祐樹	3	経　済	浦和実業
富田 一貴	2	法	松本第一
椎谷 祐貴	2	経　営	県立岐阜商業
萩野 貴斗	1	法	横浜
大信 翼	1	法	新潟明訓
民谷 拓郎	1	経　済	専大松戸
牧 康二	4	法	宗像
池田 大樹	4	経　営	長崎海星
石坂 和也	4	経　営	沼田
板谷 雄太	3	文	横浜隼人
岩越 駿介	3	商	県立岐阜商業
河口紀世仁	2	経　営	専大松戸
金子 翔馬	1	法	新潟明訓
畔上 翔人	1	文	多摩大聖ヶ丘
猪股 瑛司	1	商	専大松戸

関 西 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
亀井 克之	大阪外国語大学	部長	
永岡 哲史	関西大学	監督	
丸山 和大	関西大学	コーチ	
竹中 千尋	4	社　会	城南菱創　ﾏﾈｰｼﾞｬｰ
竹内 陽香	4	社　会	大阪学芸　ｽｺｱﾗｰ
辻 大貴	4	社　会	金沢錦丘
森本 文也	4	総合情報	東山
猪田 健太	4	政策創造	光泉
能塚 勇輔	1	文	桜宮
兼俊 尚幸	4	政策創造	関大一
上総 優希	3	人間健康	塔南
小寺 一輝	4	経　済	桜宮
川嶋 拓	4	経　済	三田学園
築島 裕信	4	文	関大一
清水 孝祐	4	人間健康	岡山城東
清水 遼	4	経　済	岡山城東
土川 貴大	4	人間健康	市立伊丹
横井 俊樹	4	社　会	関大一
雀部 浩宜	3	法	雲雀丘学園
倉橋 知也	3	商	桜塚
森 健太	3	政策創造	堀川
堀田 正嘉	3	人間健康	草津
倉井 久樹	2	社　会	皇學館
深井 翔平	2	商	西城陽
井手 岳志	4	政策創造	乙訓
野田 暁	4	経　済	大分豊府
菅原 惇	4	工	関大一
栗田 大貴	3	政策創造	乙訓
水津 健	2	総合情報	豊田西
濱名 透	2	社会安全	関大一

東 亜 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
古満 伊里	部長		
中野 瞳	3	医　療	福山明王台　ﾏﾈｰｼﾞｬｰ
兼城 寿栄	1	医　療	普天間　ｽｺｱﾗｰ
幸地 貴弥	4	人間科学	読谷
三ヶ島尚亮	3	人間科学	大川樟風
西之原啓士朗	1	人間科学	小林
上川路悠佑	3	人間科学	鹿児島工業
鶴 康佑	1	人間科学	輝翔館
末廣 翔三	4	人間科学	中津商業

田村	拓也	4	人間科学	東鷹
東	真司	4	人間科学	徳之島
池上	雄亮	4	人間科学	青豊
西	悠道	3	人間科学	大川樟風
丸塚	寛明	3	人間科学	西田川
伊藤	裕大	3	人間科学	東鷹
江藤	雅彦	3	人間科学	東海大学付属第五
銅城	敬大	2	医　療	柳ヶ浦
安藤	昇平	1	人間科学	英明
松本	行正	4	人間科学	浜松商業
奥山	利彦	4	人間科学	中央学院
坂口	隆大	3	人間科学	鹿児島工業
加茂川	篤	3	人間科学	広島観音
穴井	宏哉	3	人間科学	日田
鈴木	和樹	2	人間科学	東鷹
沼田	忠彦	2	人間科学	広島観音
竹馬	涼	1	人間科学	慶成
浜崎	裕也	1	人間科学	宇部西

日 本 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
草間　貞		日本大学	部長
米﨑　寛		日本大学	監督
羽川　亮司		日本大学	コーチ
杉山　智広		日本大学	コーチ
伊藤　卓也	4	文　理	函館中部　マネージャー
高林　夏希	4	文　理	日本大学鶴ヶ丘　スコアラー
山崎　佑樹	4	文　理	藤代
大野　隼斗	1	商	日本大学豊山
岡島　和毅	3	経　済	掛川西
保母孔士郎	3	商	佐野日本大学
加藤　大地	4	経　済	浜名
今駒　城太	3	法	掛川西
安治川　優	2	経　済	日本大学鶴ヶ丘
平澤　昌宗	2	経　済	藤枝明誠
古田　卓馬	4	法	掛川西
伊藤　卓也	4	文　理	函館中部
宗像　祐太	4	文　理	日本大学東北
槙原　崇志	4	文　理	日本大学鶴ヶ丘
安藤　直樹	2	商	日本大学鶴ヶ丘
鹿田浩太郎	3	文　理	長崎日本大学
石原　智哉	3	商	群馬中央
東條　勝成	3	文　理	茂原
齊藤　康介	2	経　済	静岡商業
細野　郁也	2	法	日本大学鶴ヶ丘
大崎　敦	4	文　理	土浦湖北
片山　龍賢	4	経　済	静岡
文　翔太	4	商	日本大学第二
牛谷　良悟	4	経　済	宮崎日本大学
二瓶　直人	3	法	作新学院
竹林聡一郎	2	文　理	日本大学鶴ヶ丘
大和田良太	1	経　済	日本大学鶴ヶ丘

九州共立大学

氏　名	学年	学部	高　校
梨羽　茂		筑波大学	監督
西野　弘佑		倉敷古城池	コーチ
吉松　俊輔	4	スポーツ	宮崎日大　コーチ
遠矢　朗子	2	スポーツ	鹿児島実業　マネージャー
三浦　敬洋	4	スポーツ	大分鶴崎　スコアラー
吉岡新一郎	1	スポーツ	祐誠
上岡　勝美	3	経　済	樟南第二
笠井　良平	2	スポーツ	八幡南
濵松　駿平	1	スポーツ	延岡
村上　昌平	2	スポーツ	祐誠
那須　勇哉	1	スポーツ	高鍋
福島　彰隆	4	スポーツ	日田
松本　大	4	経　済	水俣
志田原栄樹	4	スポーツ	福山明王大
長門　祐紀	4	スポーツ	長崎日大
津久江公章	3	経　済	薩摩中央
井崎　奨	3	スポーツ	東福岡
青柳　政潔	2	スポーツ	博多青松
新垣　優斗	2	スポーツ	浦添
金子　亮太	1	スポーツ	熊本西
笹冨　友宏	4	スポーツ	三養基
西田　圭甫	4	スポーツ	武庫之荘総合
岡田　築	4	経　済	丹原
寺岡　祥平	4	スポーツ	純真
小山清志郎	2	スポーツ	九州学院
末次　雄	1	スポーツ	東福岡
椎原　良介	1	スポーツ	鳥栖商業
山下　雄太	1	スポーツ	沖学園
山本　洋平	1	スポーツ	西京
平田　優作	1	スポーツ	八代南

上越教育大学

氏　名	学年	学部	高　校
中川　仁		部長	
池田　果穂	1	学校教育	富山東　マネージャー
中田　明莉	2	学校教育	富山東　スコアラー
千田　雄貴	4	学校教育	高田北城
西川　武秀	4	学校教育	武生東
佐藤　康平	3	学校教育	川越
柳澤　悠	1	学校教育	上田
鈴木聡一郎	3	学校教育	沼津東
林　敬人	1	学校教育	金沢桜丘
仲島　健太	4	学校教育	七尾
中谷　佑司	4	学校教育	小松明峰
本庄　隆之	3	学校教育	羽咋
田川　雄貴	3	学校教育	羽水
大谷航太郎	3	学校教育	須坂
橋本　天哉	2	学校教育	羽水
水野　詳太	1	学校教育	三島北
櫻井　亮仁	1	学校教育	花巻北
馬場遼太郎	1	学校教育	金沢錦丘
山岸　大起	4	学校教育	金沢桜丘
亀井　順平	3	学校教育	羽咋
山下　諒	2	学校教育	高田北城
丸山　晃平	2	学校教育	高田北城
黒崎　幹	1	学校教育	長岡
田中　康寛	1	学校教育	作新学院

東北学院大学

氏　名	学年	学部	高　校
三條　秀夫		部長	
伏見　善成		監督	
荒井　晶		コーチ	
中野　裕太	4	経　済	東北学院榴ヶ岡　コーチ
遠藤　早紀	1	経　営	仙台三桜　マネージャー
小山　祥英	3	法	東北学院榴ヶ岡　スコアラー
高橋　拳嗣	4	法	利府
前田　陣	3	経　済	大崎中央
佐藤　弘和	3	教　養	弘前南
小畑　貴寛	3	経　済	利府
近藤　祐介	2	文	仙台西
水戸優太郎	4	教　養	東北学院榴ヶ岡
菅原奨太郎	3	経　営	仙台商業
渡邊　雅也	2	経　済	仙台商業
藤田　潤	4	経　済	一関学院
高橋　巧	4	経　営	大河原商業
遠藤　準也	3	法	東北学院榴ヶ岡
高橋龍太郎	3	経　営	仙台商業
信夫　弘至	3	教　養	東北学院
本間　直樹	2	経　営	仙台
後藤　尚宏	2	教　養	東北
高橋　拓裕	1	経　済	利府
木村　聡志	2	教　養	弘前南
庄子　直哉	1	経　済	仙台
小野　優哉	4	法	角田
渡邊　尚道	4	経　済	利府
三浦　信也	4	法	名取北
村上　優太	3	経　済	聖光学院
赤間　建太	2	経　済	東北
大友　周平	2	経　済	仙台商業
尾池　紘矢	1	経　営	聖和学園

甲 南 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
西村　順二		神戸大学	部長
山下　昌起		甲南大学	監督
岸野　雄太		甲南大学	コーチ
王子　喜章		甲南大学	コーチ
辻　麻美	4	文	県立芦屋　マネージャー
向山早衣子	3	経　済	笠田　スコアラー
阪本　寛	4	経　営	甲南
宮脇　健二	4	知能情報	東海大仰星
鈴木　岳樹	3	理　工	北摂三田
東川　航己	2	文	尼崎北
香川　知正	1	経　済	尽誠学園
土居　保輝	4	経　営	高松商業
川本　猛仁	4	文	伊川谷北
大路　健登	4	経　済	英数学館
石原　輝樹	3	法	県立芦屋
小林　弘昌	3	経　営	岡山東商業
三原　郷史	3	経　済	市立尼崎
山川　雄大	3	経　済	神港学園
川嶋　航	2	経　済	三田学園
芝好　凌	2	経　済	甲南
佐藤　晋也	1	理　工	滝川第二
小林　大貴	1	文	金光大阪
岡田　康佑	4	経　営	県立西宮
鈴木　彰博	4	経　営	甲南
西山　竜太	4	法	観音寺第一
木下　直樹	3	経　済	西宮今津
下根　佑弥	3	経　済	県立芦屋
中島　悠太	3	経　済	六甲アイランド
本郷　和希	3	経　済	西宮今津
高見　一樹	2	法	関大北陽
家門　倖佑	1	経　済	英明

福 岡 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
藤田　　隆		福岡大学	部長
横山　武雄		福岡大学	監督
西　　昭徹	4	経　済	白石　コーチ
土本　匡人	4	ｽﾎﾟｰﾂ科	安佐北　コーチ
松本　健一	4	ｽﾎﾟｰﾂ科	益田　マネージャー
沖中　友香	4	ｽﾎﾟｰﾂ科	岩国　スコアラー
山長　恵輔	4	ｽﾎﾟｰﾂ科	下松
平野　雄己	4	商	鳥栖
西依　俊哉	3	経　済	鳥栖
倉田　爽平	3	法	田川
西　　直樹	2	人　文	光陵
笠井　亮佑	4	法	華陵
松永　将平	3	経　済	佐賀北
辰野　裕康	3	ｽﾎﾟｰﾂ科	松山東
仲間　俊貴	4	人　文	宮古
竹本　雄人	4	ｽﾎﾟｰﾂ科	武蔵台
高井　航平	4	法	長崎西
田中　裕輝	3	法	三池
日高　将輝	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	岩国
原口　俊介	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	川棚
西田　侑矢	2	経　済	佐賀北
河野　　雄	2	商	大分豊府
豊福　康太	2	経　済	新宮
西　　勇治	4	ｽﾎﾟｰﾂ科	東福岡
大坂谷貴史	4	経　済	福大大濠
岩田　尚樹	3	法	九州学院
日高洋次郎	3	経　済	興南
大久保賢太郎	3	経　済	龍谷
林　　竜司	3	経　済	柏陵
藤田　佳大	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	小野田
久貝　　信	2	人　文	宮古

国 士 舘 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
角田　直也		中京大学大学院	部長
平塚　和也		国士舘大学大学院	監督
大野　裕太		国士舘大学	コーチ
岩城　翔平		国士舘大学	コーチ
島田　幸夫	4	体　育	北部　マネージャー
並木　綾香	4	体　育	都立昭和　スコアラー
芦田　大介	4	体　育	総合工科
柳内　　翼	4	体　育	常総学院
小熊陽太郎	4	体　育	常総学院
鈴木龍之介	3	体　育	国士舘
滝本　　陽	1	体　育	常総学院
佐藤　雅人	4	体　育	国士舘
清水　耕平	3	体　育	常総学院
水垣　昭人	4	体　育	常総学院
高橋　佑典	4	21世紀ｱｼﾞｱ	市立柏
矢沢　　凌	4	体　育	国士舘
池田　昂平	4	体　育	浦和実業
宮井　　翔	4	体　育	日本大学第三
小笠　　拳	3	体　育	利根商業
野村　　悠	3	体　育	日本大学第三
鈴木　翔平	3	体　育	常総学院
箱田　昌太	3	体　育	前橋商業
永田　智大	3	体　育	聖望学園
増田　純也	4	体　育	浦和学院
荒川　健人	3	21世紀ｱｼﾞｱ	本庄第一
青山　生夢	3	体　育	ＰＬ学園
小岩井和貴	2	体　育	木更津総合
川浦　拓哉	1	体　育	高崎商業
森　　圭祐	2	21世紀ｱｼﾞｱ	木更津総合
吉原　　良	1	21世紀ｱｼﾞｱ	日本大学第三
河野　利彰	1	体　育	健大高崎

北海学園大学

氏　名	学年	学部	高　校
増地あゆみ		北海道大学	部長
山崎　康太	4	経　営	奈井江商業　監督
難波　良介	4	経　済	北海道尚志学園　コーチ
馬場　彩美	4	法	北海　マネージャー
森谷　杏理	3	法	旭川北　スコアラー
齋藤　　敢	4	経　済	札幌創成
堀田　裕哉	4	経　営	旭川北都商業
中村　　隆	2	法	苫小牧東
森　　正太	1	経　済	札幌静修
蜂谷　由朗	2	人　文	北海道栄
尾崎　隆太	1	人　文	苫小牧東
木村　徳修	4	経　済	北海
佐々木　瞭	3	経　済	北海
吉田　　晴	3	人　文	東海大四
宮越　慶祐	3	経　済	札幌真栄
六田　正嗣	2	法	札幌新川
土井　寛貴	2	工	札幌西陵
桑原　夢冬	2	法	北海道尚志学園
鷲見　雄大	2	経　営	札幌光星
林　　祐希	1	人　文	北海道栄
種田　裕一	1	工	札幌新川
佐藤　拓弥	4	経　済	北海道尚志学園
杉岡　　優	4	人　文	中標津
米野　勝信	4	経　済	立命館慶祥
小泉　海斗	4	経　済	帯広北
齋藤　正実	4	工	小樽桜陽
岡本　啓介	2	法	札幌第一
川村　拓也	2	経　済	札幌丘珠
磯田　功洋	2	経　営	北海
前田　圭澄	1	経　営	北海

中 京 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
猪俣　公宏		フロリダ大学大学院	部長
中野　　将		中京大学	監督
鈴木　陵太	4	体　育	中京大中京　コーチ
椎名　亮太	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	富士宮西　コーチ
梅木　厚輝	4	体　育	中京大中京　マネージャー
中村亜沙子	4	体　育	豊橋東　スコアラー
間瀬　　翼	4	体　育	成章
西崎　正純	4	体　育	成章
横島　　剛	4	体　育	掛川西
長嶺　敬太	3	ｽﾎﾟｰﾂ科	八重山
細江　　丞	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	福井商業
小倉　　凌	3	ｽﾎﾟｰﾂ科	福井商業
大石　悠貴	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	静岡
三川　功耀	1	ｽﾎﾟｰﾂ科	大府
宮澤　拓巳	4	体　育	中京大中京
松下　祐樹	4	体　育	静岡
福井　健治	4	体　育	中京
鈴木　仁偲	4	現代社会	豊明
増谷　大輔	4	体　育	福井商業
大角　健斗	4	現代社会	掛川西
小林　幹弥	3	ｽﾎﾟｰﾂ科	中京大中京
横田　拓郎	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	中京大中京
石丸　裕司	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	美方
三好　巧真	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	福井商業
望月　功騎	4	ｽﾎﾟｰﾂ科	富士宮西
蔭山　和哉	4	体　育	福井商業
浅野　泰樹	4	体　育	静岡商業
内田　壮一	3	ｽﾎﾟｰﾂ科	福井商業
村瀬　量一	3	ｽﾎﾟｰﾂ科	掛川西
大柳　智暉	2	ｽﾎﾟｰﾂ科	掛川西
鰐淵　翔太	1	ｽﾎﾟｰﾂ科	福井商業

立 命 館 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
原　　陽一		部長	
芝田　勝利		監督	
菅原　紘司	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康	東明館　コーチ
伊藤　弘太	4	経　営	春日井　コーチ
宮永　莉香	3	産業社会	西脇　マネージャー
横場　郁湖	3	文	聖母女学院　スコアラー
西村　　駿	4	法　学	福岡大大濠
小田　健史	3	産業社会	福井商業
古賀　真之	3	産業社会	池田
堺　　浩貴	3	政　策	立命館宇治
福井　貴之	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康	高津
大平　航輔	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康	横浜栄
中小路　駿	1	法	比叡山
木津　雄貴	4	産業社会	立命館宇治
森　　飛鳥	4	産業社会	立命館宇治
森本　祥平	4	経　営	比叡山
山下　公輔	4	文	福岡大大濠
柴田　篤人	3	文	愛工大名電
畑谷　大志	3	産業社会	立命館慶祥
吉田　啓一	3	映　像	済美
大角　元輝	2	法	福井商業
中西　託丈	2	経　済	北嵯峨
北倉　久義	4	経　営	八重山商工
内山　直哉	4	法	掛川西
喜畑　裕矢	4	産業社会	立命館宇治
松本　慎平	3	経　営	加古川西
小平　　凌	3	経　営	明石商業
堀井　大輝	3	文	明石
本庄　良仁	3	産業社会	立命館宇治
谷口　　滉	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康	阪南大付属
崎嶋　宏斗	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康	桃山

神 奈 川 大 学

氏　名	学年	学部	高　校
上沼　克徳		部長	
相良　秀生		監督	
浅野　宏人	4	法	伊勢崎　コーチ
飯田　三代		コーチ	
篠崎　彩香	3	人間科学	横浜隼人　マネージャー
鈴木　美樹	1	経　済	中央大学横浜山手　スコアラー
阿部　直晃	4	工	深沢
中村　健太	1	経　済	都立杉並
中村祐太郎	1	人間科学	都立桜町
高山　　航	1	法	東北工業大学
長富　大輔	4	経　済	横浜隼人
渡辺　　陽	2	経　済	座間

鳥取　信吾	1	人間科学	作新学院	
馬場謙太郎	4	人間科学	伊志田	
瀬水　　竣	4	経　済	長岡向陵	
丸山　大斗	3	外国語	足利清風	
中村　正太	3	経　済	湘南工科大学付属	
井上　啓太	2	人間科学	大和西	
深澤　大輝	2	工	川崎北	
森住　勇祐	2	工	座間	
木村　知賢	2	経　済	仙台商業	
高村　悠斗	2	工	桜美林	
砂田　祥宏	1	法	宇都宮南	
石渡　雅也	1	法	横須賀明光	
木村　鋭人	1	人間科学	焼津中央	
野並　真人	4	経　済	横浜	
國分　秀作	4	人間科学	東北学院榴ヶ岡	
鈴木　隼人	4	人間科学	横浜商業	
田中　宏嗣	2	人間科学	厚木北	
嵩原悠太郎	2	経　済	那覇	
大畑　圭祐	1	経　済	沼津東	

大阪経済大学

氏　名	学年	学部	高　校
山田　文明		大阪経済大	部長
稲田　敏修		大阪経済大	監督
小西　紀行		大阪経済大	コーチ
加藤　　淳	3	経　済	旭野　コーチ
中谷　智子	4	経営情報	東百舌鳥　マネージャー
吉里　彩香	4	人間科学	千里青雲　スコアラー
生田　岳暉	4	経営2部	京都すばる
佐川　直紀	1	人間科学	華陵
小川　和也	4	経　済	上宮
岩崎　滉大	1	人間科学	華陵
原　　明大	4	経　営	岡山東商業
佐々木麗二	4	経　済	北陽
上田　陽亮	4	経営情報	高田商業
池澤光太郎	4	人間科学	浪速
大本健太郎	3	人間科学	西城陽
三宅　　駿	3	人間科学	倉敷商業
花村　裕介	3	人間科学	大阪産業大学付属
枡谷　健詞	2	経　済	桜宮
山本　　武	2	経　営	東海大仰星
田中　大毅	2	経　済	北嵯峨
物部　翔麿	2	経　営	岡山東商業
長田　恭典	4	人間科学	枚方なぎさ
志水　啓起	3	人間科学	布施
福井　直之	3	経　済	奈良大付属
小林　祐介	3	経　済	倉敷
芝　　雄太	3	経　済	市立尼崎
脇本　晃汰	3	経　済	神戸甲北
浅野　　慎	2	経　済	上宮
山本　貴紀	2	人間科学	加古川北
大西　祐輝	1	人間科学	興譲館
杉浦　裕馬	1	人間科学	浪速

早稲田大学

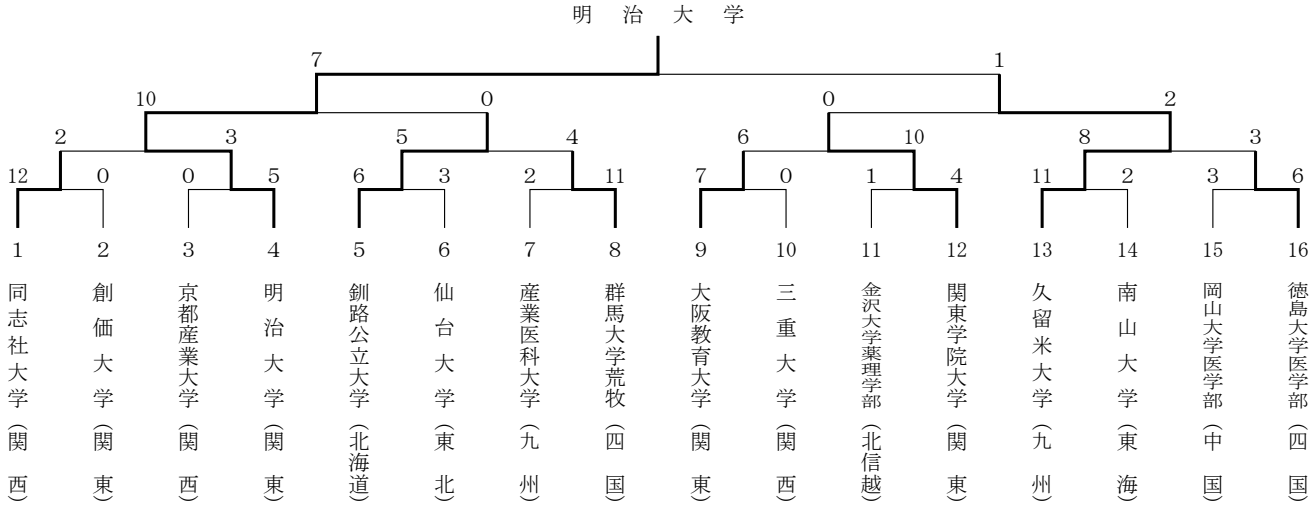
氏　名	学年	学部	高　校
大月　博司		早稲田大学	部長
畑中　秀之		早稲田大学	監督
川崎　博達		早稲田大学	コーチ
櫻井　雄祐	3	人間科学	桐蔭学園　コーチ
末岡　邦明	4	政治経済	広島県立三原　マネージャー
庄司　希江	4	文化構想	大阪府立三国ヶ丘　スコアラー
石田　翔太	4	ｽﾎﾟｰﾂ科学	川和
原田　　颯	4	ｽﾎﾟｰﾂ科学	桜美林
福田　太郎	4	ｽﾎﾟｰﾂ科学	鳥栖
秋元　佑介	2	ｽﾎﾟｰﾂ科学	青稜
向江　洋光	2	人間科学	大分上野丘
市堰　啓嗣	4	ｽﾎﾟｰﾂ科学	佼成学園
木藤　俊英	3	ｽﾎﾟｰﾂ科学	時習館
松下　和樹	2	先進理工	掛川西
休波　　隼	2	ｽﾎﾟｰﾂ科学	日立第一
駒田　　開	4	ｽﾎﾟｰﾂ科学	修猷館
嘉悦　崇将	4	人間科学	大分上野丘
栗田　拓磨	4	人間科学	水戸第一
佐々木雄太	4	ｽﾎﾟｰﾂ科学	桐光学園
南　　貴文	3	ｽﾎﾟｰﾂ科学	加古川西
松本憲太郎	2	ｽﾎﾟｰﾂ科学	筑紫丘
大塚　　成	2	文	長崎西
野村　裕之	2	人間科学	土佐
衛藤　直道	1	商	大分舞鶴
上野　雅之	4	ｽﾎﾟｰﾂ科学	県立岐阜
松井　克成	3	ｽﾎﾟｰﾂ科学	早稲田実業
堂園　武史	3	人間科学	大分上野丘
橋口　　寛	3	ｽﾎﾟｰﾂ科学	岡山城東
児玉　恵佑	3	ｽﾎﾟｰﾂ科学	県立長野
土屋　　聡	2	ｽﾎﾟｰﾂ科学	磐田南
沼座　翔平	3	ｽﾎﾟｰﾂ科学	広島なぎさ

西南学院大学

氏　名	学年	学部	高　校
中島　和男		西南学院大学	部長
木村　　洋		西南学院大学	監督
秋山　典彦		西南学院大学	コーチ
菅　　千春	4	人間科	佐伯鶴城　マネージャー
田中　千絵	3	人間科	山口　スコアラー
内山　将太	4	商	福岡
師岡　　慎	4	人間科	小郡
竹原　佑樹	3	法	小郡
山崎　貴智	3	商	加治木
財前　勇也	2	法	大分藤蔭
中村　理人	1	商	九州国際大学付属
伊東　滉治	4	法	神埼
野口　　諒	3	経　済	龍谷
藤田　弘顕	1	経　済	必由館
江頭　悠介	4	商	光陵
杉谷　紀行	4	経　済	佐賀北
大津留拓己	3	法	春日
吉柳　諒一	3	法	筑紫中央
大園　大樹	2	経　済	門司学園
松崎　純平	2	商	玄界
西依　拓真	1	法	鳥栖
饒平名　航	4	人間科	宮古
居福　純也	4	経　済	筑紫
末松　幹雄	4	法	小郡
平山　崇裕	3	法	小郡
美崎　将吾	3	人間科	福翔
本田安希登	3	法	小郡
吉木　祝雄	2	人間科	福翔
田中　　佑	2	経　済	福岡大学付属大濠
高野　郁史	1	経　済	春日

清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会

会期：平成25年８月16日㈮～20日㈫
会場：仙台市民球場、名取市民球場
　　日本製紙クリネックススタジアム宮城



◎８月17日　仙台市民球場
第１試合

創価大学	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**
同志社大学	２	１	０	５	１	３	×		**12**

（創）鳥井・星・市川－神野
（同）川添・下田・長谷川－松本
☆本塁打　岡本（同）
☆二塁打　岡本（同）

創価大学	打	安	点	振	球
⑧ 和田	3	0	0	1	0
⑥ 正司	3	0	0	2	0
6 小屋敷	0	0	0	0	0
⑨ 澤田	3	0	0	1	0
⑤ 高橋	3	0	0	1	0
⑦ 乙井	2	0	0	0	0
③ 三成	2	1	0	0	0
② 神野	2	0	0	1	0
① 鳥井	1	1	0	0	0
H 星	1	0	0	0	0
1 市川	0	0	0	0	0
④ 小林	1	0	0	1	0
H 志垣	1	0	0	0	0
4 武富	0	0	0	0	0
計	22	2	0	7	0

投手	回	打	安	三	四	責
鳥井	4	27	4	1	11	8
星	1	5	2	0	0	1
市川	1	8	3	0	3	3

同志社大学	打	安	点	振	球
⑤ 末澤	3	1	0	0	2
④ 中黒	2	1	1	0	2
⑨ 松田	3	3	0	0	2
9 鈴木	0	0	0	0	0
⑦ 山崎	3	0	3	0	2
③ 岡本	4	2	5	0	0
⑥ 森	0	0	0	0	4
② 松本	2	1	0	0	1
⑧ 清瀬	2	1	3	0	1
① 川添	2	0	0	1	0
1 下田	0	0	0	0	0
H 篠原	1	1	0	0	0
R 里原	0	0	0	0	0
1 長谷川	0	0	0	0	0
計	22	10	12	1	14

投手	回	打	安	三	四	責
川添	5	16	2	6	0	0
下田	1	3	0	0	0	0
長谷川	1	3	0	1	0	0

（戦評）同志社大学は初回、５番岡本のタイムリーツーベースと相手のエラーで２点先制。４回には５番岡田の満塁ホームランがとびだした。一方の創価大学は２回までランナーを出すことができず、３回に初ヒットをあげるものの得点なし。その後も点数をとることができず、結果12対０の７回コールドゲームとなった。

◎８月17日　仙台市民球場
第２試合

明治大学	０	０	０	１	０	１	１	２	０	**５**
京都産業大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**

（明）赤尾－古川
（京）川口・東島－深井
☆二塁打　橋本２（明）

明治大学	打	安	点	振	球
⑥ 船木	5	1	1	0	0
⑨ 酒井	4	0	0	0	0
⑧ 加藤	4	2	1	1	1
② 伊藤	5	0	0	1	0
④ 橋本	4	2	0	0	1
⑦ 寶田	2	0	0	0	0
③ 吉田	2	0	1	0	1
⑤ 三浦	3	1	0	0	0
H 成田	1	1	0	0	0
⑤ 風岡	0	0	1	0	0
① 赤尾	3	2	0	0	1
計	33	9	4	2	4

投手	回	打	安	三	四	責
赤尾	9	36	7	5	2	0

京都産業大学		打	安	点	振	球
⑧	増　田	4	0	0	0	0
④	松　田	3	0	0	1	1
⑦	岡　田	2	0	0	0	0
7	橋　本	1	1	0	0	0
⑨	山　本	2	0	0	1	1
H	篠　原	1	1	0	0	0
9	藤　部	0	0	0	0	0
③	藤　村	3	3	0	0	0
H	萩　原	1	0	0	1	0
3	江　藤	0	0	0	0	0
②	深　井	4	0	0	0	0
⑤	中　田	3	1	0	1	0
H	前　田	1	0	0	0	0
①	川　口	3	0	0	0	0
1	東　島	1	0	0	0	0
⑥	今　竹	3	1	0	0	0
H	石　川	1	0	0	1	0
計		33	7	0	5	2

投手	回	打	安	三	四	責
川　口	7	30	8	1	1	3
東　島	2	11	1	1	3	2

（戦評）明治大学は４回、ワンアウト３塁のチャンスを作ると７番吉田の犠牲フライで先制し、その後も得点を重ね８回までに５点を奪った。京都産業大学はチャンスを作るものの、得点を奪えず明治大学が５－０で勝利した。

◎８月17日　仙台市民球場
第３試合

釧路公立大学	０２００００４０００	6
仙　台　大　学	０００２００１００	3

（釧）伊藤・山村－古川
（仙）高崎・須藤－鈴木（翔）
☆三塁打　岩本・安部(仙)

釧路公立大学		打	安	点	振	球
④	釜　菟	4	1	0	0	0
⑤	八木澤	5	3	0	0	0
⑥	火　石	3	0	0	0	1
③	玉　澤	5	1	0	0	0
⑨1	山　村	3	1	0	0	1
⑦	高　橋	4	0	1	1	0
⑧	山　田	4	0	1	1	0
②	古　川	3	1	2	0	1
①9	伊　藤	4	2	1	0	0
計		35	9	5	2	3

投手	回	打	安	三	四	責
伊　藤	7	27	4	3	2	3
山　村	2	7	0	0	0	0

仙台大学		打	安	点	振	球
⑧	小　山	4	0	0	1	0
⑥	戸　石	4	0	0	1	0
④	鈴木(郁)	3	0	0	0	1
③	西　内	4	1	0	0	0
⑨	岩　本	3	1	0	0	0
⑦	安　部	4	1	3	0	0
②	鈴木(翔)	4	0	0	0	0
①	高　崎	0	0	0	0	1
H	草　野	1	0	0	1	0
1	須　藤	0	0	0	0	0
H	関　根	1	1	0	0	0
1	佐　藤	0	0	0	0	0
⑤	山　本	3	0	0	0	0
計		31	4	3	3	2

投手	回	打	安	三	四	責
高　崎	5	20	5	2	2	2
須　藤	2	12	2	0	1	4
佐　藤	2	8	2	0	0	0

（戦評）釧路公立大学は２回ワイルドピッチとショートへの内野安打で２点を先制する。仙台大学は４回フォアボールとヒットで出たランナーを置いて安部のライトオーバー３ベースヒットで同点に追いつく。しかし６回釧路公立大学は相手の守備の乱れと８番古川のタイムリーで一挙４得点を奪い、伊藤から山村への継投でその後の仙台大学の反撃を内野ゴロ間の１点におさえ初戦突破。

◎８月17日　日本製紙クリネックススタジアム宮城
第１試合

群馬大学荒牧	１２００００１３１３	11
産業医科大学	０００００００２０	2

（群）大竹・三上－中野・本間
（産）岸上－森
☆三塁打　吉田（群）
☆二塁打　吉田（群）、森（産）

群馬大学荒牧		打	安	点	振	球
9	渋　澤	4	1	1	0	1
2	中　野	4	0	1	0	0
PH	櫻井(陽)	1	0	0	0	0
2	本　間	0	0	0	0	0
4	藤　生	4	2	1	0	0
PH	綿　貫	1	0	0	0	0
4	小　島	0	0	0	0	0
8	関　口	5	1	2	0	0
5	山　下	4	1	0	0	1
3	小　林	3	0	1	1	1
PH・3	丸　橋	1	0	0	1	0
1・7	大　竹	3	1	0	0	1
7	木　口	2	1	1	0	0
PH・7	茂木(秀)	1	0	0	0	1
1	三　上	0	0	0	0	0
6	吉　田	5	4	4	0	0
計		38	11	11	2	5

投手	回	打	安	三	四	責
大　竹	8	30	8	6	0	2
三　上	1	5	1	2	1	0

産業医科大学		打	安	点	振	球
9・8	齋　藤	3	1	0	0	0
PH	藤　瀬	1	0	1	0	0
6･4･6	眞鍋(尭)	4	0	1	1	0
8・6	瀧　川	3	0	0	2	0
PH・8	樋　上	1	0	0	0	0
2	森	3	1	0	0	1
7	日　下	3	2	0	1	0
PR	富　田	0	0	0	0	0
7	平　吹	1	0	0	0	0
1	岸　上	3	1	0	0	0
PH	鈴　木	1	1	0	0	0
3	御　厨	2	0	0	0	0
PH・3	西　尾	1	1	0	0	0
PR	花　田	0	0	0	0	0
PH	梶　山	1	0	0	1	0
5	丸　野	1	1	0	0	0
PH	有　冨	1	0	0	1	0
5	眞鍋(舜)	2	1	0	1	0
4	平　川	2	0	0	1	0
9	今　野	1	0	0	0	0
計		34	9	2	8	1

投手	回	打	安	三	四	責
岸　上	9	47	11	2	5	8

（戦評）昨年度第44回大会優勝校の群馬大学荒牧が優位に試合を進めた。初回、先頭打者の渋澤が四球で出塁し、確実に送りバントにて進塁。２アウトから４番関口がレフト前にタイムリーを放ち、先制した。２回表にも連続四球からチャンスをつくり、この日４安打を放った９番吉田の好打で３－０とした。中盤は両チーム落ち着きを見せたものの、６回以降、産業医科大の守りのミスが響き、群大荒牧に勢いを与える結果となった。

◎８月17日　日本製紙クリネックススタジアム宮城
第２試合

大阪教育大学	１０１０２０００３	7
三　重　大　学	０００００００００	0

（大）大串・西本－田名瀬
（三）浅井・田中（智）・後藤・川合－松井
☆二塁打　田名瀬・井上（大）

大阪教育大学		打	安	点	振	球
8・7	長　尾	4	3	0	1	1
5	八　木	3	2	0	0	1
6	北　田	1	1	0	0	3
2	田名瀬	5	3	3	1	0
3	大　津	4	0	2	0	0
PH・3	西　村	1	1	1	0	0
4	山　口	4	1	1	1	0
9・8	井　上	5	1	0	2	0
7	安　藤	2	0	0	1	0
PH	喜　納	1	1	0	0	0
PR・9	下　田	1	0	0	0	0
1	大　串	2	0	0	0	0
PH	徳　田	1	0	0	0	0
1	西　本	1	0	0	0	0
計		35	13	7	6	5

投手	回	打	安	三	四	責
大串	5	20	4	2	1	0
西本	4	14	1	1	2	0

三重大学	打	安	点	振	球
2 松井	4	1	0	1	0
8 白井	4	0	0	0	0
4・5 尾関	3	1	0	1	1
6 籾山	4	1	0	0	0
1 浅井	2	0	0	1	0
1 田中(智)	0	0	0	0	0
PH 前田(耕)	1	0	0	0	0
1 後藤	0	0	0	0	0
1 川合	0	0	0	0	0
PH 貫井	1	0	0	0	0
9 余語	3	0	0	0	0
PH 市川	1	1	0	0	0
PR 前田(泰)	0	0	0	0	0
3 山口	2	0	0	0	1
PH 田中(雅)	1	0	0	0	0
7 濱田	1	0	0	0	1
7 西田	1	0	0	0	0
5 原田	3	1	0	0	0
計	31	5	0	3	3

投手	回	打	安	三	四	責
浅井	5	25	9	3	1	4
田中(智)	1	3	1	1	0	0
後藤	2	8	1	1	1	0
川合	1	7	2	1	3	3

（戦評）大教大が、三重大に対し完封勝利した。大教大は初回、１番長尾がセンター前にヒットを放ち出塁、その後送りバントとヒット、失策で先制した。以降、２回と７回を除いて先頭打者が出塁する展開をつくり効果的に加点した。三重大は、大教大先発の大串、西本の前に５安打したが、ワンチャンスをものにできず、得点には至らなかった。

◎８月17日　日本製紙クリネックススタジアム宮城
第３試合

金沢大学薬理学部	００１０００００	１
関東学院大学	０００１３０００×	４

（金）五十嵐－棚橋
（関）戸津・太田－石塚（裕）
☆本塁打　高橋（関）

金沢大学薬理学部	打	安	点	振	球
9 玉舘	3	0	0	0	1
4 多保田	4	1	1	0	0
7 寺崎	4	0	0	3	0
6 下井	4	2	0	0	0
8 岩本	3	0	0	1	0
3 西川	3	0	0	1	0
3 和田	1	0	0	1	0
5 高岡	3	1	0	1	0
5 兀橋	1	0	0	0	0
1 五十嵐	3	1	0	1	0
2 棚橋	2	0	0	1	0
計	31	5	1	9	1

投手	回	打	安	三	四	責
五十嵐	8	36	8	8	3	4

関東学院大学	打	安	点	振	球
9 柴田	4	0	0	0	0
4 扇	3	1	0	2	1
2 石塚(裕)	3	1	0	0	1
3 市川	3	0	0	3	0
7 高橋	2	1	3	1	1
1 太田	0	0	0	0	0
5 小林	4	1	0	0	0
8 阿蘇	3	0	0	0	0
1・7 戸津	4	2	1	1	0
6 立和田	3	2	0	1	0
計	29	8	4	8	3

投手	回	打	安	三	四	責
戸津	6	23	4	7	0	1
太田	3	11	1	2	1	0

（戦評）関東学院大が、５番主将の高橋の３ランHRで試合を制した。３回の表、金沢大学薬理学部が８番の五十嵐がヒットで出塁、送りバント後、１番玉舘は失策で出塁し２番多保田のタイムリーで先制した。しかし、４回裏、関東学院大はすかさずタイムリーで同点に追いついた。５回裏、ヒットと四球で１アウト２・３塁で、５番高橋が右中間に見事なHRで逆転し、勝利した。

◎８月17日　名取市民球場
第１試合

久留米大学	０１０３２０２０３	11
南山大学	０００００００２０	２

（久）田代・中村－松元
（南）青山・利光・谷口－廣瀬
☆三塁打　松元（久）

久留米大学	打	安	点	振	球
⑦ 吉松	6	3	2	2	0
7 高木	0	0	0	0	0
④ 上野	2	0	0	0	0
H４ 原	3	1	0	0	0
③ 牧山	4	3	0	0	0
H3 高木	1	0	0	0	0
⑨ 島崎	4	2	1	0	0
R８ 山口	0	0	0	0	1
⑤ 青佐	3	1	1	0	1
H２ 七種	1	1	0	0	0
⑧ 山路	5	4	4	0	0
9 山下	0	0	0	0	0
⑥ 西山	3	1	0	0	1
H６ 森岡	0	0	0	0	1
② 松元	3	2	2	0	1
H５ 井上	1	0	0	0	0
① 田代	2	1	1	0	0
H１ 中村	3	0	0	2	0
計	41	19	11	4	5

投手	回	打	安	三	四	責
田代	5	16	3	8	0	0
中村	4	18	8	1	0	2

南山大学	打	安	点	振	球
⑨ 梶原	4	0	1	1	0
⑥ 立松	4	2	1	1	0
6 土井	0	0	0	0	0
⑧ 山本	4	0	0	1	0
⑤ 兵藤	4	3	0	0	0
⑦ 森（裕）	1	0	0	1	0
H 西山	1	1	0	0	0
R 森（匠）	0	0	0	0	0
7 小島	1	0	0	0	0
H 大久保	1	1	0	0	0
③ 水野	2	0	0	2	0
1 谷口	1	0	0	0	0
H 吉村	1	0	0	0	0
② 廣瀬	4	2	0	1	0
④ 桑原	2	1	0	0	0
① 青山	1	0	0	1	0
1 利光	0	0	0	0	0
H３ 山田	2	1	0	1	0
計	33	11	2	9	0

投手	回	打	安	三	四	責
青山	4	19	9	0	1	4
利光	2	9	4	1	0	2
谷口	3	19	6	3	4	5

（戦評）久留米大の左腕田代の好投が光る試合だった。久留米大の打線は長打ではないものの足を絡めての攻撃で11得点で、南山大に勝利した。

◎８月17日　名取市民球場
第２試合

徳島大学医学部	０００００４１１００	６
岡山大学医学部	０００００１０２０	３

（徳）福良－石谷
（岡）島崎・宮脇－長田
☆三塁打　坂本（岡）
☆二塁打　石谷（徳）、三井（岡）

徳島大学医学部	打	安	点	振	球
⑧ 河合	4	3	1	0	1
④ 松尾	5	1	0	2	0
① 福良	5	2	0	0	0
② 石谷	4	2	3	0	1
⑤ 金澤	5	0	0	3	0
⑨ 早澤	3	2	0	0	1
⑥ 三原	3	0	1	0	1
⑦ 中川	4	2	1	1	0
7 花畑	0	0	0	0	0
③ 日笠	4	1	0	1	1
計	37	13	6	7	5

投手	回	打	安	三	四	責
福良	9	37	11	3	0	3

岡山大学医学部			打	安	点	振	球
⑧	三	井	5	1	0	1	0
④	井	上	4	1	0	0	0
⑥	尾	下	4	1	0	0	0
③1	宮	脇	4	3	1	0	0
⑨	坂	本	4	1	2	0	0
9	大	倉	0	0	0	0	0
②	長	田	4	1	0	1	0
⑤	根ケ山		3	1	0	0	0
H	日	吉	1	1	0	0	0
R	平	野	0	0	0	0	0
①9	嶋	崎	4	0	0	1	0
⑦	片	山	2	0	0	0	0
H	住	井	1	1	0	0	0
計			36	11	3	3	0

投手	回	打	安	三	四	責
嶋崎	8	41	12	7	5	6
宮脇	1	4	1	0	0	0

（戦評）両チームの投手が好投を続け、投手戦が予想されたが、徳島大医学部が５回２アウト満塁から４番石谷がライト線を抜ける走者一掃のツーベースで３点を入れ、その後も着々と点数を重ね徳島大医学部が勝利した。

◎８月18日　日本製紙クリネックススタジアム宮城
第１試合

明治大学	0	0	0	1	0	0	1	1	0	**3**
同志社大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	**2**

（明）小田・小出・赤尾－伊藤
（同）川添・長谷川－松本
☆本塁打　橋本（明）
☆二塁打　橋本（明）、松田・山崎（同）

明治大学			打	安	点	振	球
6	船	木	4	0	0	1	0
9	酒	井	4	0	0	1	0
8	加	藤	3	1	0	0	1
2	伊	藤	3	1	1	0	0
4	橋	本	4	2	2	2	0
7	寶	田	4	1	0	1	0
3	吉	田	4	1	0	2	0
5	三	浦	1	0	0	1	1
1	小	田	2	0	0	0	0
PH	熱	海	1	0	0	0	0
1	小	出	0	0	0	0	0
1	赤	尾	1	0	0	0	0
計			31	6	3	8	2

投手	回	打	安	三	四	責
小田	6	23	4	1	1	2
小出	1 2/3	2	2	0	0	0
赤尾	1 1/3	1	1	0	1	0

同志社大学			打	安	点	振	球
5	末	澤	4	1	0	0	0
4	中	黒	3	1	0	1	0
9	松	田	4	2	0	0	0
7	山	崎	2	1	2	0	1
PR	黒	村	0	0	0	0	0
7	鈴	木	0	0	0	0	0
3	岡	本	4	0	0	0	0
6	森		4	1	0	0	0
2	松	本	3	1	0	0	0
8	清	瀬	2	0	0	0	0
PH	篠	原	1	0	0	0	0
1	川	添	1	0	0	0	1
PH	河	野	1	0	0	0	0
1	長谷川		0	0	0	0	0
PH	嶋	中	1	0	0	0	0
計			30	7	2	1	2

投手	回	打	安	三	四	責
川添	7	28	4	5	1	1
長谷川	2	8	2	3	1	1

（戦評）両チーム譲らない１点を争う試合展開だった。同志社大の先発川添、明治大先発の小田、両投手は３回までノーヒットピッチと素晴らしい立ち上がりを見せた。４回表には明治大が先制するも、その裏に同志社大もすぐさま同点とする。その後も取られたら取り返すという展開で同点のまま後半を迎えた。８回表、明治大は２アウトから4番伊藤がヒットで出塁、前打席HRの５番橋本が左中間にタイムリーを放ち、試合を制した。

◎８月18日　日本製紙クリネックススタジアム宮城
第２試合

群馬大学荒牧	0	0	0	3	0	0	0	0	1	**4**
釧路公立大学	2	0	0	0	0	0	3	0	×	**5**

（群）茂木（孝）・茂木（良）－中野
（釧）伊藤・山村－古川
☆本塁打　茂木（良）（群）
☆三塁打　茂木（孝）（群）
☆二塁打　山下（群）
釜菟･火石･山村２･古川（釧）

群馬大学荒牧			打	安	点	振	球
9	渋	澤	5	2	0	0	0
2	中	野	5	1	0	1	0
4	藤	生	3	0	0	0	1
8	関	口	4	1	0	0	0
5	山	下	2	2	1	0	2
3	小	林	4	2	0	0	0
1	茂木(孝)		2	1	2	0	0
1	茂木(良)		2	1	1	0	0
7	木	口	3	1	0	0	0
PH	田	代	1	0	0	0	0
PR	茂木(秀)		0	0	0	0	0
6	吉	田	4	0	0	0	0
計			35	11	4	1	3

投手	回	打	安	三	四	責
茂木(孝)	3	14	4	1	1	2
茂木(良)	5	23	7	6	1	3

釧路公立大学			打	安	点	振	球
4	釜	菟	5	4	0	0	0
5	八木澤		4	1	0	0	0
6	火	石	4	1	2	0	0
3	玉	澤	3	0	0	0	0
9・1	山	村	4	3	3	0	0
8	山	田	2	0	0	1	2
7	高	橋	3	0	0	2	0
2	古	川	4	1	0	2	0
1・9	伊	藤	2	1	0	0	0
PH・9	松	舘	2	0	0	2	0
計			33	11	5	7	2

投手	回	打	安	三	四	責
伊藤	6	24	7	1	2	3
山村	3	15	4	0	1	1

（戦評）釧路公立大が、１点差を逃げ切る逆転勝利。初回、釧路公大は、１番釜菟の2BHから流れを掴み２点を先制した。一方、群大荒牧は、４回表２アウト２塁から３連打で３点を奪い逆転。しかし７回裏に釧路公大は、１アウト後、１番釜菟から５番山村まで連打と犠打でつなぎ再逆転に成功した。９回表、追う群大荒牧は先頭の茂木(良)がHRで１点差とし、さらには失策で１アウト２・３塁をつくるも後続を打ち取られた。

◎８月18日　仙台市民球場
第１試合

関東学院大学	0	3	1	0	0	1	0	4	1	**10**
大阪教育大学	0	1	1	0	0	1	1	0	2	**6**

（関）本間・太田－石塚
（大）山口・西本－田名瀬
☆三塁打　扇（関）
☆二塁打　柴田（関）、八木（大）

関東学院大学			打	安	点	振	球
⑨	柴	田	6	5	2	0	0
④	扇		2	0	0	1	0
H	荒	井	1	1	0	0	0
R	寺	西	2	2	1	0	0
②	石	塚	6	2	0	0	0
③	市	川	6	3	1	1	0
⑦	高	橋	5	2	1	0	0
7	石塚俊		0	0	0	0	0
⑤	小	林	4	2	0	0	0
⑧	阿	蘇	5	0	0	0	0
①	本	間	1	0	0	0	1
1	太	田	0	0	0	0	0
1	戸	津	2	1	0	0	0
⑥	立和田		4	2	1	0	0
計			44	20	6	2	1

投手	回	打	安	三	四	責
本間	4	18	4	2	2	2
太田						

大阪教育大学	打	安	点	振	球
④8 長　尾	5	1	0	0	0
⑤ 八　木	4	2	0	1	0
⑥ 北　田	3	0	0	1	1
② 田名瀬	5	2	1	0	0
③ 大　津	4	0	1	1	0
①4 山　口	4	2	0	0	0
⑦ 安　藤	3	1	1	1	1
⑨ 下　田	2	0	0	1	0
H 嘉　納	2	1	0	1	0
⑧ 井　上	1	0	0	1	0
H 波　尻	1	0	0	0	0
1 西　本	2	1	0	0	0
計	36	10	3	7	2

投手	回	打	安	三	四	責
山　口						
西　本						

（戦評）２回、関東学院大学が、柴田のタイムリーなどで３点を先制。

◎８月18日　仙台市民球場

徳島大学医学部　２００００１００｜３
久留米大学　１２４０００００１×｜８

（徳）福良－石谷
（久）投手－松元
☆三塁打　山路（久）
☆二塁打　石谷（徳）
山路・御厨・吉松（久）

徳島大学医学部	打	安	点	振	球
⑧ 河　合	2	0	0	1	3
④ 松　尾	4	0	0	0	0
① 福　良	3	1	0	1	2
② 石　谷	5	4	1	0	0
⑤ 金　澤	4	3	1	0	1
⑨ 早　澤	5	1	0	1	0
⑥ 三　原	3	0	0	0	0
H 中　野	2	0	0	0	0
⑦ 中　川	2	0	0	2	0
H 鳥　山	1	0	0	0	0
7 秋　元	1	0	0	0	0
③ 日　笠	3	1	0	1	1
計	35	10	2	6	7

投手	回	打	安	三	四	責
福　良	9	41	12	0	3	9

久留米大学	打	安	点	振	球
⑦ 吉　松	5	2	2	0	0
⑤ 井　上	4	0	0	0	0
③ 牧　山	3	1	1	0	1
6 西　山	0	0	0	0	0
H 高　木	1	0	0	0	0
6 原	0	0	0	0	0
⑨ 島　崎	3	1	0	0	1
9 山下仁	1	1	1	0	0
⑥3 森　岡	4	0	0	0	1
⑧ 山　路	4	2	2	0	0
8 山口桂	0	0	0	0	0
④ 河　村	4	0	0	0	0
② 松　元	4	3	3	0	0
① 小　野	0	0	0	0	0
1 御　厨	2	2	0	0	0
H 七　種	1	0	0	0	0
1 中　村	1	0	0	0	0
計	37	12	9	0	3

投手	回	打	安	三	四	責
小　野	2 1/3	10	2	0	4	2
御　厨	5 2/3	25	5	5	2	1
中　村	2	10	3	1	1	0

（戦評）相手投手の立ち上がりを攻め徳島大医学部が先制するも、久留米大学が４本のツーベースを含む12安打で９点をとり、

◎８月19日　仙台市民球場
第１試合

明治大学　４０３１１１１０｜10
釧路公立大学　００００００００｜０

（明）小田・小崎・小出－伊藤
（釧）八木澤・山村・伊藤－古川
☆三塁打　橋本（明）
☆二塁打　吉田２（明）
玉澤・高橋（釧）

明治大学	打	安	点	振	球
⑥ 船　木	5	3	1	0	0
⑨ 酒　井	4	0	1	0	1
⑧ 加　藤	1	0	2	0	3
② 伊　藤	3	1	1	1	1
④ 橋　本	4	2	2	0	0
⑦ 寶　田	4	1	0	0	0
③ 吉　田	4	3	2	0	0
⑤ 三　浦	2	0	1	0	1
H 成　田	0	0	0	0	1
5 風　岡	0	0	0	0	0
① 小　田	2	1	0	0	0
H 萩　谷	1	0	0	0	0
1 小　崎	0	0	0	0	0
1 小　出	0	0	0	0	1
計	30	11	10	1	8

投手	回	打	安	三	四	責
小　田	4	15	3	3	0	0
小　崎	1	3	1	0	0	0
小　出	2	7	1	2	0	0

釧路公立大学	打	安	点	振	球
⑤4 釜　菟	3	0	0	0	0
④9 松　舘	2	1	0	0	0
9 藤　村	1	0	0	0	0
⑥ 火　石	3	0	0	0	0
③ 玉　澤	3	1	0	1	0
⑨1 山　村	2	1	0	0	0
1 伊　藤	0	0	0	0	0
7 林	1	0	0	1	0
①5 八木澤	3	0	0	2	0
⑦4 高　橋	3	2	0	2	0
② 古　川	3	0	0	0	0
⑧ 山　田	2	0	0	0	0
計	26	5	0	6	0

投手	回	打	安	三	四	責
八木澤	3	20	9	0	3	7
山　村	1	4	0	1	1	1
伊　藤	3	14	2	0	4	2

（戦評）明治大学は初回に５番橋本が３点タイムリースリーベースを放つと、続く６番寶田もレフト前にタイムリーを放ち、４点を先制した。３回にも２本のタムリーで３点を追加すると、その後、４回、５回、６回と１点ずつ得点を重ね、計10得点を奪った。一方、釧路公立大学は散発５安打で無得点に終わり、10－０の７回コールドで明治大学が勝利した。

◎８月19日　仙台市民球場
第２試合

久留米大学　０００００２００｜２
関東学院大学　０００００００００｜０

（久）田代－松元
（関）上津－石塚裕

久留米大学	打	安	点	振	球
⑦ 吉　松	4	2	2	0	0
④ 上　野	3	1	0	1	0
⑧ 山　路	4	1	0	1	0
⑨ 島　崎	4	1	0	0	0
⑤ 青　佐	3	0	0	1	0
③ 森　岡	4	0	0	2	0
⑥ 西　山	3	1	0	1	1
② 松　元	4	0	0	2	0
① 田　代	3	1	0	0	0
計	32	7	2	8	1

投手	回	打	安	三	四	責
田　代	9	33	4	4	4	0

関東学院大学	打	安	点	振	球
⑨ 柴　田	4	0	0	0	0
④ 扇	4	1	0	1	0
② 石塚裕	2	0	0	0	2
③ 市　川	3	0	0	0	1
⑦ 高　橋	4	0	0	2	0
⑤ 小　林	4	2	0	0	0
⑧ 阿　蘇	1	0	0	0	0
① 上　津	3	1	0	0	0
⑥ 立和田	2	0	0	1	1
計	27	4	0	4	4

投手	回	打	安	三	四	責
上津	9	35	7	8	1	2

（戦評）両チーム無得点のまま迎えた７回、久留米大学は２アウト満塁のチャンスを作ると、１番吉松の打球をファーストがファーストが弾く間にランナー二人が帰り、２点を先制した。関東学院大学はその後も、ランナーは出るものの得点は奪えず、そのまま２－０で久留米大学が勝利した。

◎８月20日　仙台市民球場
第１試合

明治大学	１	１	２	０	１	０	０	２	０	**７**
久留米大学	０	０	０	０	０	０	０	１	０	**１**

（明）小田・赤尾・小山－伊藤
（久）御厨・中村・田代－松元
☆三塁打　酒井（明）
☆二塁打　加藤２（明）

明治大学	打	安	点	振	球
⑥ 船木	5	1	0	0	1
⑨ 酒井	3	1	0	0	0
⑧ 加藤	4	2	2	0	1
② 伊藤	3	1	0	0	1
④ 橋本	5	1	1	0	0
⑦ 寶田	3	1	0	0	2
③ 吉田	5	2	1	2	0
⑤ 三浦	4	2	1	0	1
① 小田	4	1	1	0	0
1 赤尾	0	0	0	0	0
H 岡田	1	0	0	0	0
1 小山	0	0	0	0	0
計	37	12	6	2	6

投手	回	打	安	三	四	責
小田	7	26	3	7	3	0
赤尾	1	5	2	0	0	1
小山	1	5	2	1	1	0

久留米大学	打	安	点	振	球
⑦ 吉松	4	1	0	2	0
④ 上野	4	2	0	1	0
⑧ 山路	4	1	1	2	0
⑨ 島路	4	0	0	0	0
⑤ 青佐	3	1	0	1	1
③ 森岡	3	0	0	0	0
H 高木	1	1	0	0	0
⑥ 西山	2	0	0	1	2
② 松元	4	1	0	0	1
① 御厨	2	0	0	1	0
1 中村	0	0	0	0	0
H 河村	1	0	0	0	0
1 田代	0	0	0	0	0
H 原	1	0	0	0	0
計	33	7	1	8	4

投手	回	打	安	三	四	責
御厨	2 0/3	12	3	1	3	3
中村	6	31	9	1	3	4
田代	1	3	0	0	0	0

（戦評）８回まで圧倒的に明治大学が試合を進め、久留米大も８回裏に１点を返すも及ばず明治が強さを見せつけて優勝を飾った。

清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会を振り返って

明治大学体育会準硬式野球部
主将　船木　翼

第45回全国選抜準硬式野球清瀬杯に出場し優勝することができました。明治大学としては、初優勝です。これも仙台の皆様のご支援、ご声援があったからこその結果です。本当にありがとうございました。

清瀬杯優勝を果たしましたが、チームの目標は全日本優勝でした。ですが予選で敗戦し、清瀬杯という自分達に野球がさせてもらえるチャンスを頂きました。新チームになり私が主将を務めることが決まった日から、不安ばかりでした。昨年は全日本大会ベスト８という結果で終わりましたが、正直、昨年よりもチーム力は落ち、主軸も抜けたこのチームで勝てるのか、と思っていました。ですが昨年よりも辛い練習、実戦練習の内容、チームでのミーティングの量を増やしコミュニケーションを図りました。他大学と何も変わらない練習方法でしたが、その練習での質、内容にこだわってきた結果が出た大会でした。私にとってこの大会は一生心に残る思い出となりました。

また、私達が所属する東京六大学リーグでは野球は勿論のこと、マナーの面でも日本一を目指しています。清瀬杯では六大学を代表して他大学の模範となるよう心掛けました。大会終了後にはお褒めの言葉を頂くことができ、とても誇らしく思いました。

この大会を通して、チームの絆がより一層深まりました。後輩達にも優勝という経験をさせてあげられたことを誇りに思い、来年は今年よりも良い結果が残せられる様、４年生を中心に下級生のサポートをしながら秋のリーグ戦に、挑戦者の気持ちで頑張りたいと思います。

最後になりましたが大会関係者の方々、本当にありがとうございました。明治大学が１つになれた優勝です。これからも、野球が皆様のおかげでできる事に感謝をして頑張って行きたいと思います。

参加者名簿

同志社大学

氏名	学年	学部	出身校
龍城　正明	部長		
奥野　彰二	監督		
垂水　健	コーチ		
下井田匡史	コーチ		
中小路　鈴	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	三島　マネージャー
西山　恭世	4	心理	同志社　スコアラー
長谷川直也	4	商	中京
川添　良平	4	経済	東福岡
福留　達努	3	社会	大阪市立
下田　巧	2	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	中京
西垣　宏祐	3	経済	春日丘
雲戸　和輝	3	社会	泉陽
松本　憲信	2	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	光星学院
熊代　大地	2	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	田辺
中黒　峻	4	経済	金沢桜丘
藤井　文典	4	法	川越
嶋中　謙	3	政策	春日丘
今田　良	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	布施
末澤　拓也	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	加古川西
内山　僚	3	商	福井商業
篠原　克尚	2	商	中京
森　貴弘	2	商	北海
岡本　拓朗	1	商	三重
福井　真吾	1	商	近江
山崎　尽	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	桜美林
河野　翔平	3	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	松山東
鈴木　翔介	3	経済	清教学園
清瀬　良太	3	政策	星稜
星島　光陽	3	社会	中京
松田　湧人	3	商	中京
里村　雄己	3	商	同志社
山下　貴也	1	心理	加古川西
山中　政樹	4	商	浪速
西岡　純平	4	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	同志社国際
橋本　尚弥	3	法	三田学園
佐藤　陽介	2	社会	能代

創価大学

氏名	学年	学部	出身校
光永　勝紀	部長		創価大学
善利　洋	3	経営	関西創価　コーチ
佐野　将也	3	文	関西創価　コーチ
駒木久美子	2	文	半田東　ﾏﾈｰｼﾞｬｰ
仲　由紀子	3	法	中津南　スコアラー
柴　敏昭	3	教育	東海大仰星
藤田伶於奈	3	文	関西創価
近藤　大樹	3	経済	静岡東
市川龍之介	3	教育	創価
星　直道	3	法	会津学鳳
小野　伸一	2	教育	豊橋南
鳥井　正明	1	法	関西創価
神野　貴彰	3	経営	関西創価
井上　尚也	3	工	桜井
上原孝太朗	2	経営	東村山西
志垣　文太	2	法	関西創価
武富　健太	3	教育	関西創価
田村　光一	3	文	創価

三成	敦	3	文	創価
小林	翔	3	教育	水城
小屋敷隆二		3	経営	筑紫
高橋	広海	3	文	水戸桜ノ牧
藤本	晃平	2	経営	関西創価
川東	啓太	2	法	関西創価
正司	貴久	2	法	桜宮
大原	凌	2	経営	関西創価
和田	清	4	文	関西創価
高山	義博	4	工	橿原
佐伯	大輔	4	経営	関西創価
澤田	亮平	3	法	関西創価
乙井	幸介	3	法	関西創価
酒本真一郎		3	経営	岡山東商業
小谷	秀行	3	教育	瀬戸
山下	正明	2	法	創価
内田	匠	1	教育	郡山

京都産業大学

氏名	学年	学部	出身校
吉野 秋二	部長		京都大学
西尾 渓	4	文化	星稜高　マネージャー
生友 杏奈	3	法	小野高　スコアラー
川口 拓輝	4	経済	新見高
東島 銀次	4	外国語	枚方津田高
南出 龍哉	2	経済	金津高
深井 陽平	4	理	乙訓高
小谷 真功	3	経営	鳥羽高
萩原 康介	4	経済	岡崎西高
前田 奨貴	4	経営	京都すばる高
松田 悠陽	4	経営	東山高
藤村 宗範	4	経済	福井高
中田 共哉	3	経営	桂高
今竹 広至	2	文化	南丹高
黒川 真由	2	経営	鳥羽高
小濱正太郎	2	法	東山高
山浦 衛	2	経済	伊奈学園高
山谷 友希	2	法	北陸高
石川 敦啓	4	経営	浜松西高
篠原 佑介	4	経済	渋谷高
橋本 監	4	経済	飯田風越高
増田 景介	4	経済	履正社高
山本 航己	4	経済	育英高
江藤 俊輔	3	経済	西城陽高
斉藤 一真	3	経済	島田高
藤部 慎也	3	法	北条高
平原 匠	3	経営	光泉高
岡田 晃汰	2	経済	京都成章
西川 直樹	2	経済	羽咋高
宮﨑 公介	2	外国語	鳥羽高
井上 大希	3	経済	東山高
菰渕 超也	3	法	高松桜井高
麻生 一起	3	経済	光泉高

明治大学

氏名	学年	学部	出身校
大友 純	部長		古川
大竹 宏幸	監督		仙台第三
清水 賢司	コーチ		明大中野
今村 直伸	コーチ		広陵
中島 夏子	4	政治経済	市立千葉　マネージャー
高原 眞衣	3	文	女子学院　スコアラー
酒井 一輝	4	商	明大明治
小崎 将徳	4	法	掛川西
小出 啓介	4	経営	明大中野八王子
田中 康寛	4	理工	秦野
赤尾 裕希	3	文	錦城
小田 敏大	1	経営	明大中野八王子
伊藤晋太郎	4	経営	千葉経済大付属
滝沢 周平	4	法	明大明治
三浦 周	4	商	掛川西
成田 翔平	4	政治経済	能代
露木 拓郎	4	経営	静岡
市嶋 英晃	4	商	明大中野八王子
船木 翼	4	農	広陵
風岡 厚志	3	理工	川和
豊田 貴光	3	経営	広陵
橋本 健史	3	商	明大中野八王子
吉田 由宇	2	法	日本文理
薄田 寛也	1	農	日本文理
萩谷 直斗	1	経営	水城
岡田 将昂	4	農	明大明治
山田裕太郎	4	政治経済	明大中野八王子
潮田 真也	4	文	サレジオ学院
加藤 直紀	3	商	明大中野八王子
寶田慎太郎	2	経営	東北
酒井 翔弥	1	法	東北
由川 文登	3	経営	昭和秀英
渡辺 誠人	3	政治経済	明大中野八王子
菊池 秀之	3	農	新田
熱海 伯	3	商	明大中野八王子
岸川 晴紀	3	商	城南

釧路公立大学

氏名	学年	学部	出身校
萩原 充	部長		
三橋 あい	3	経済	釧路江南　マネージャー
平内さとみ	3	経済	札幌清田　スコアラー
山村 拓夢	4	経済	札幌東陵
菊池 祐輔	3	経済	金ヶ崎
伊藤 優真	2	経済	宮古
古川 義紀	3	経済	六戸
槻舘 慶匠	1	経済	福岡
新里 宜樹	4	経済	久慈
大内 雄貴	3	経済	新得
木村 裕介	3	経済	札幌新川
玉澤 優作	2	経済	久慈
松舘 聖徳	2	経済	久慈
八木澤隆清	2	経済	久慈
火石 正太	2	経済	久慈
釜菟 陸	2	経済	千葉磯辺
境澤 大揮	1	経済	福岡
小野寺 陽	1	経済	福岡
高橋 壱成	3	経済	高田
山田 佳晃	3	経済	久慈
藤村 佳輝	3	経済	帯広緑陽
林 諒	2	経済	甲府西
和田 勇大	1	経済	一戸
中上 圭秀	1	経済	久慈
中村 大輝	1	経済	福岡
菅野凜太郎	1	経済	久慈

仙台大学

氏名	学年	学部	出身校
田中 智仁		体育	東洋大学　部長
設楽 理紗	2	体育	須賀川　マネージャー
拝原 千里	2	体育	泉松陵　スコアラー
佐藤 純平	3	体育	光南
関根 敏樹	3	体育	須賀川桐陽
増尾 晃太	2	体育	日立北
高崎 翔大	2	体育	登米
須藤 徳仁	1	体育	喜多方
鈴木 翔太	4	体育	多賀城
矢吹 信輔	1	体育	光南
千葉 勇貴	4	体育	登米
戸石 大紀	4	体育	明野
西内 大樹	3	体育	原町
澁谷 誠	3	体育	古川学園
関根 悠記	3	体育	須賀川
鈴木 郁也	3	体育	光南
山本 大貴	3	体育	山田
草野 和弥	1	体育	光南
坂本 佑也	1	体育	光南
佐々木皓平	4	体育	古川学園
安部 庄太	4	体育	米沢中央
土肥 広	4	体育	苫小牧南
小山 泰幸	3	体育	気仙沼向洋
中村 悠也	3	体育	千葉北
永澤 仁	3	体育	青森西
岩本 力也	3	体育	多賀城
石橋 永仲	2	体育	八戸工業大学第二
中畑 龍征	1	体育	光南
草刈 琢麻	3	体育	上山明新館
鈴木 優樹	1	体育	利府
黄海 悠馬	1	体育	古川学園
本田 一眞	3	体育	聖和学園
小林 翔汰	2	体育	白石

産業医科大学

氏名	学年	学部	出身校
田中 良哉	部長		
井上 夏希	3	産業保健	宗像　マネージャー
圓島 瞳実	3	医	徳山　スコアラー
岸上 赳大	6	医	東筑
鈴木 貴博	3	医	東大寺
森 貴大	6	医	東筑
日下 勝秀	4	医	仙台第二
奥田 裕文	2	医	高田
丸野 裕季	6	医	智辯和歌山
御厨 幸治	5	医	関西創価
平川 潤	3	医	長崎西
眞鍋 尭彦	3	医	修猷館
眞鍋 舜彦	2	医	西南学院
甘崎 誠史	2	医	呉三津田
中保 良太	1	医	滝川
梅川 剛	1	医	岡山白陵
瀧川 友哉	6	医	奈良
平吹 一訓	6	医	水戸第一
有冨 貴史	5	医	城南
西尾 公佑	5	医	洛南
今野 陽介	5	医	仙台第二
富田 章仁	5	医	大成
樋上 翔大	4	医	長崎東

梶山	健太	3	医	明治学園
藤瀬	智也	3	医	東筑
花田	駿	2	医	明治学園
齋藤	尭也	1	医	徳島北
山城	正喬	1	医	昭和薬科大学附属

群馬大学荒牧

氏名	学年	学部	出身校
上條 隆	部長		松商学園
上條 隆	監督		松商学園
松島 梨奈	4	医	前橋南 マネージャー
松島 梨奈	4	医	前橋南 スコアラー
伊藤 純也	4	教育	中央
土山 修平	4	教育	宇都宮
茂木 良太	4	教育	高経大附属
茂木 孝倫	3	工	渋川
大竹 侑希	2	医	高崎
三上 悠規	1	教育	前橋
中野 健太	3	教育	前橋
本間 祥太	1	医	巻
小島 隆明	4	社会情報	県立福島
深澤 大介	4	教育	桐生
小林 竜成	4	教育	太田
丸橋 弘弥	3	教育	太田
吉田 卓矢	3	教育	太田
山下 耕平	3	教育	高崎
櫻井 慎也	2	教育	高崎
藤生 健寛	2	教育	太田
綿貫 諒太	1	教育	沼田
秋田 英樹	1	教育	水海道第一
佐藤 彰彦	1	教育	前橋東
櫻井 陽希	1	教育	高崎
関口 典亮	4	教育	太田
田代 優大	4	社会情報	前橋商業
木口 泰隆	3	教育	太田
渋澤 雅貴	3	医	高崎
茂木 秀倫	2	教育	渋川

大阪教育大学

氏名	学年	学部	出身校
白石 龍生	部長		大阪教育大学
松尾 美門	監督		大阪教育大学
井上 晋平	コーチ		大阪教育大学
秦野 結衣	4	教育	池田高 マネージャー
高木 里奈	2	教育	県立芦屋国際中等教育学校 スコアラー
西本 将彰	4	教育	桜塚高
大串 空太	2	教育	北須磨高
喜納 寛貴	2	教育	球陽高
吉光 淳	2	教育	高津高
田名瀬雅史	4	教育	市立西宮高
下田晋太郎	1	教育	長田高
安藤 洋平	4	教育	住吉高
大津 卓也	3	教育	大阪学芸高
西村 達哉	3	教育	開智高
八木 祐輔	3	教育	長田高
北田 智樹	2	教育	倉吉東高
長尾 拓巳	2	教育	国泰寺高
波尻 晋也	2	教育	菟道高
山口 雅貴	2	教育	八頭高
吉村 理宏	1	教育	茨木高
小林 孝徳	4	教育	富田林高
砂 竜一	4	教育	東大寺学園
池尾 康太	3	教育	星稜高
吉田 尚弘	3	教育	四條畷高
井上 航	2	教育	富田林高
徳田 侑哉	2	教育	富田林高
浜崎 将熙	2	教育	旭高
平竹 剛	2	教育	洛北高
山本 和貴	1	教育	寝屋川高
渡邉 秀聡	1	教育	近畿大学附属高
岩永 琢磨	1	教育	八尾高

三 重 大 学

氏名	学年	学部	出身校
加治佐隆光	部長		
小川 美香	4	教育	一宮興道 マネージャー
小林 祐奈	4	教育	五条 スコアラー
浅井 翔	4	生物資源	西春
川合 正浩	4	工	一宮南
田中 智士	4	生物資源	石山
山本 健太	2	工	新川
後藤 真人	1	工	川越
前田 泰希	1	生物資源	時習館
田中 雅人	2	工	高田
松井 公宏	1	教育	豊田西
尾関 謙	4	教育	西春
籾山 功士	4	工	知立東
山口 勇峻	4	生物資源	長崎東
貫井 景介	3	工	南山
原田 知季	3	工	聖隷クリストファー
前田 耕良	3	工	姫路東
水谷 弘司	3	教育	桑名
小山 智久	2	教育	伊勢
山本 俊孝	1	工	四日市
濱田 真輔	4	生物資源	豊岡
余語 幹夫	4	教育	名古屋
惣坊 誠太	3	教育	津東
市川 敬介	2	工	四日市南
牛場 達仁	2	教育	皇學館
猪野 拓也	1	教育	一宮南
白井 尚貴	1	教育	松陰
棚江 潤	1	生物資源	西春
谷川健太郎	1	工	韮山
西田 裕典	1	生物資源	一宮
松尾 龍二	3	教育	宇治山田

金沢大学薬理

氏名	学年	学部	出身校
中垣 良一	部長		
長野真奈美	2	理工	網干 マネージャー
富永 真央	3	保健	徳島北 スコアラー
五十嵐孝哉	3	理工	鶴岡南
棚橋 良将	2	理工	大垣北
西川 泰良	3	理工	大門
和田 侑也	3	理工	斐太
多保田一真	2	理工	小松
下井 将輝	1	理工	飯田
高岡 祐太	1	理工	高岡
高屋 智嗣	1	理工	岐阜北
高橋 情二	2	理工	本巣松陽
玉舘 知也	2	理工	帯広三条
兀橋大二郎	2	理工	大聖寺
寺崎 祥真	1	理工	富山
正元 巌大	1	理工	金沢二水
岩本 敬行	1	理工	金沢泉丘

関東学院大学

氏名	学年	学部	出身校
富岡幸一郎	部長		中央大学
成瀬 承司	監督		関東学院大学
佐野 充	コーチ		関東学院大学
吉田 朋央	コーチ		関東学院大学
濱崎 優季	2	経済	横浜隼人 マネージャー
澁谷 海岬	1	文	日体荏原 スコアラー
神尾 一輝	4	工	前橋育英
杉山 幸司	3	経済	掛川西
渡邉 浩平	3	経済	富士宮西
本間 理泰	3	経済	日本文理
戸津 由博	2	経済	雪谷
五十嵐史弥	1	人間環境	横浜
玉村 優多	1	文	文教大学付属
石塚 裕之	3	文	横浜隼人
市川 拓弥	3	経済	逗葉
金児 佳亮	2	経済	横浜隼人
高橋 卓也	4	文	横浜桜陽
平田 俊輔	3	文	大阪産業大学付属
安部川勇哉	3	文	深沢
扇 惇平	2	文	瓊浦
立和田航平	2	経済	関東第一
中沢 啓茂	2	経済	関東学院六浦
小林 哲也	2	経済	烏山
寺西 伸介	1	文	東海大高輪台
稲葉 孝貴	1	文	横浜隼人
阿蘇 貴大	4	経済	関東学院六浦
荒井 拓海	4	経済	前橋育英
柴田恭史郎	4	工	瓊浦
山上 拓斗	2	文	橘学苑
柳田 徳哉	1	文	瓊浦
石塚 俊行	1	工	商工
太田健一郎	1	経済	藤枝明誠
荒 悠介	1	経済	日大豊山
荒浪 魁	1	経済	常葉学園橘
山地 宏亮	1	経済	高松北
中村 駿佑	2	法	高浜

久 留 米 大 学

氏名	学年	学部	出身校
浦田 隆広	部長		久留米大学
溝口 準也	監督		久留米大学
関 健太郎	コーチ		久留米大学
毛利祐仁史	コーチ		久留米大学
竹田百合菜	3	法	中津北 マネージャー
松本 佳乃	3	法	南筑 スコアラー
中村 優佑	4	商	佐賀商業
御厨 厚志	2	経済	小城
田代 貴裕	2	経済	久留米
山口 陽樹	1	経済	伊万里
小野滉士郎	1	経済	日向
松元 貴志	4	法	小林西
高木 恵太	3	法	講倫館
岩本 滉大	1	法	ルーテル学院
七種 裕大	1	経済	猶興館
河村 宏樹	4	法	小倉東

西山　直樹	4	法	佐世保北
上野　諒介	3	法	小郡
青佐　陽仁	2	文	九州
森岡　　渉	2	商	長崎西
井上　直人	2	経　済	杵築
牧山　大輔	2	文	有明
原　　大悟	1	商	伊万里
山下裕太郎	1	経　済	宇土
山路　敏展	3	経　済	藤蔭
島崎　悠太	3	経　済	佐賀商業
吉松　謙太	2	経　済	西京
山下　　仁	2	法	筑紫中央
山口　桂司	1	商	佐賀商業

南 山 大 学

氏　名	学年	学部	出身校
中村　和彦	部長		
鋤柄　鮎子	3	経　済	島田　マネージャー
鳥山　瑞季	3	法	南山国際　スコアラー
青山　晃丈	3	理　工	川越
大久保卓哉	3	総合政策	大府
谷口　幸喜	2	経　営	桜台
多田　昇司	3	総合政策	清林館
廣瀬　悠人	1	経　営	岡崎商業
水野　佑記	3	総合政策	松陰
西山　靖祐	3	総合政策	横須賀
立松　寛規	3	総合政策	南山国際
兵藤　大樹	3	総合政策	刈谷
利光　良太	3	総合政策	昭和
森岡　朗久	3	総合政策	横須賀
森　　匠平	3	法	松陰
吉村　知樹	3	総合政策	高岡第一
土井　郁弥	2	経　営	新川
神野　貴大	2	総合政策	日進西
岩井　大輝	2	経　営	桜台
山本　拓哉	2	経　済	斐太
桑原　大輝	2	経　済	名古屋
山田　竜也	3	理　工	津島東
山本　大智	3	理　工	可児
小島　豊大	3	総合政策	東海南
梶原　祥吾	2	総合政策	横須賀
新井　健太	2	経　営	昭和
沖　　隼介	2	経　営	高蔵寺
森　　裕隆	1	経　営	高蔵寺
伊神　将也	2	総合政策	名東
小笠原裕吾	2	経　営	東海南
永田　幸希	1	経　済	県立岐阜商業
村井　　樹	1	経　済	市立岐阜商業
牟禮光一郎	1	経　営	桑名

岡山大学医学部

氏　名	学年	学部	出身校
谷本　光音	部長		
薬師　　彩	4	医	林野　マネージャー
田中　真乃	4	医	姫路飾西　スコアラー
平野秀一郎	5	医	岡山
宮脇　規寿	3	医	白陵
嶋崎　　岳	3	医	鳥取西
清水　彰人	1	医	岡山朝日
石原　健嗣	1	医	岡山城東
長田　真二	6	医	淳心
岡田　尚大	5	医	岡山白陵
住井　遼平	2	医	広島学院
吉田　有佑	6	医	龍野
大倉　友博	5	医	岡山朝日
花本　昌紀	5	医	修道
井上　智博	4	医	倉敷青稜
尾下　　遼	3	医	岡山城東
高山　　伸	2	医	岡山朝日
松田　大樹	2	医	高槻
日吉　俊晴	1	医	延岡
近藤　宏也	6	医	岡山白陵
石井　雅人	5	医	岡山
片山　哲也	5	医	広島学院
西　　成寛	5	医	志學館
坂本　洋輔	4	医	鳥取東
三井　将雄	4	医	滝川
吉川　知輝	4	医	洛南
根ヶ山　諒	4	医	高松
河口　達登	3	医	鳥取西
皆木　仁志	1	医	津山
妹尾　友哉	1	医	岡山
佐々木啓太	1	医	香川大手前
石村　昂誠	1	医	香川大手前
奈田　知明	1	医	築紫丘

徳島大学医学部

氏　名	学年	学部	出身校
島田　光生	部長		九州大学
矢野　勇大	監督		徳島大学医学部
國宗葉奈絵	3	医	高松北　マネージャー
古谷　　光	3	医	八幡浜　スコアラー
神保　祐介	5	医	小石川
福良　亮介	4	医	徳島市立
鳥山　貴裕	3	医	岡山白陵
中川　慎也	2	医	伊丹北
石谷　祐記	5	医	徳島文理
早澤　寛章	1	医	徳島城南
武田　貴志	5	医	高松
金澤　慶祐	4	薬	徳島市立
松尾　　将	4	医	唐津東
吉田　朋広	4	医	徳島城北
土井　拓矢	3	医	滝川第二
中野　勇希	3	医	徳島文理
日笠　雄太	3	医	長田
三原　光平	3	医	福岡
太田　和馬	1	医	姫路西
栗栖　達也	1	医	益田
鈴木　　亮	1	医	サレジオ学院
藤沢　聖哉	1	医	清風南海
黒田　一駿	5	医	徳島文理
佐藤　裕一	5	医	徳島城北
花畑　佑輔	3	医	三田学園
本城　勇樹	3	医	鳥取西
宮高　紘輔	3	医	徳島文理
秋本　雄祐	2	医	徳島城ノ内
河合　　燦	2	医	金沢大学附属

第31回
全日本大学９ブロック対抗準硬式野球大会

会　期：平成25年11月15日㈮～11月17日㈰
会　場：嬉野市みゆき球場・鹿島市民球場
　　伊万里市国見台球場
主　管：九州地区大学準硬式野球連盟

【予選リーグ】11月16日㈯

嬉野市みゆき球場

A	東　北	関　西	北信越	勝点	得点	失点	順位
東　北		●0－6	○5－4	2	5	10	2
関　西	○6－0		○9－1	4	15	1	1
北信越	●4－5	●1－9		0	5	14	3

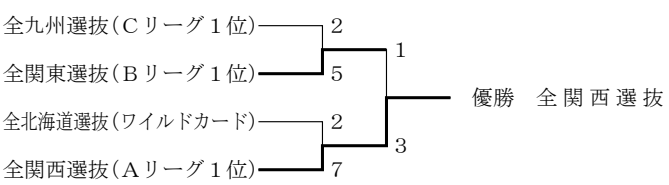
鹿島市民球場

B	関　東	東　海	四　国	勝点	得点	失点	順位
関　東		○4－2	○5－0	4	9	2	1
東　海	●2－4		○8－1	2	10	5	2
四　国	●0－5	●1－8		0	1	13	3

伊万里市国見台球場

C	九　州	北海道	中　国	勝点	得点	失点	順位
九　州		○5－4	○7－0	4	12	4	1
北海道	●4－5		○11－1	2	16	6	2
中　国	●0－7	●1－11		0	1	18	3

【決勝トーナメント】11月17日㈰



◎予選Aリーグ
11月16日　嬉野市みゆき球場
第一試合

全関西選抜	0	0	0	0	0	1	3	0	2	**6**
全東北選抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**

（関）堺・東川・越智－小林・財前
（東）小畑・緑川・高崎・小野寺－菅原・福田
☆三塁打　田中（関）
☆二塁打　木村（東）、松田（関）

関西選抜		打	安	点	振	球
⑼	松　田	4	1	1	1	0
打	田　中	1	1	1	0	0
⑷	山　川	5	1	0	1	0
⑻	小　平	5	1	1	1	0
⑵・3	小　林	5	1	0	0	0
⑶	柴　田	4	1	0	2	0
2	財　前	0	0	0	0	0
⑽	岡　本	4	1	0	1	0
打・DH	中小路	1	1	0	0	0
⑺	堀　井	3	0	0	0	0
打・7	岡　田	1	0	0	0	0
⑹	土　川	4	0	0	1	0
⑸	大　角	4	2	1	0	0
計		41	10	4	7	0

投手	回	打	安	三	四	責
堺	6	23	2	6	4	0
東　川	2	6	0	3	0	0
越　智	1	5	1	1	1	0

東北選抜		打	安	点	振	球
⑻	小　原	3	0	0	1	0
⑶	後　籐	2	0	0	2	0
打・3	信　夫	1	0	0	1	0
打・3	中　坂	1	0	0	0	0
⑸	大　村	4	2	0	0	0
⑹	高　橋	2	1	0	0	2
⑽	佐　藤	2	0	0	1	2
9	大　友	4	0	0	0	0
⑺	照　井	4	0	0	1	0
⑵	菅　原	2	0	0	0	0
打・2	福　田	1	0	0	1	0
⑷	村　上	3	0	0	2	0
計		29	3	0	9	4

投手	回	打	安	三	四	責
小　畑	6 1/3	28	5	5	0	2
緑　川	2/3	2	0	1	0	0
高　崎	1	8	3	1	0	1
小野寺	1	2	0	0	0	0

（戦評）堺（関西）、小畑（東北）の両先発投手の投げ合いで始まった試合は６回、全関西選抜が３番小平の適時打で先制、７回には大角、松田の適時打などで３点を挙げ、試合を決めた。

第二試合

全北信越選抜	2	1	0	0	0	0	0	0	1	**4**
全東北選抜	0	0	1	0	0	1	2	1	×	**5**

（北）五十嵐・大久保－和田
（東）信夫・和田・前田－氏家
☆三塁打　高橋（東）
☆二塁打　田中（北）、木村２（東）

北信越選抜		打	安	点	振	球
⑻	玉　舘	5	2	0	2	0
⑷	多保田	4	1	0	1	1
4	石　田	0	0	0	0	1
⑽	新　井	4	2	1	1	0
⑶	田　上	5	2	0	1	0
⑼	田　中	4	1	2	0	1
⑵	和　田	5	2	0	2	0
⑹	澤　田	5	1	0	1	0
6	的　場	0	0	0	0	0
⑸	亀　田	5	2	1	0	0
⑺	神　田	4	0	0	3	1
計		41	12	4	11	4

投手	回	打	安	三	四	責
五十嵐	5	22	2	4	4	1
大久保	3	18	4	3	3	2

東北選抜	打	安	点	振	球
⑻ 大友	3	0	0	1	0
8 小原	2	0	0	0	0
⑷ 高橋	5	2	0	0	0
⑺ 杉本	0	0	0	1	2
打・7 小畑	3	0	1	0	0
(DH) 高橋	1	0	1	0	1
打・DH 村上	3	0	1	0	0
⑸ 信夫	2	0	0	0	0
打・5 木村	2	2	1	0	0
⑶ 中坂	3	0	0	2	0
9 佐藤康	0	0	0	0	1
⑼ 佐藤惇	3	0	0	2	0
3 後藤	0	0	0	0	1
⑵ 氏家	1	1	0	0	1
2 菅原	1	0	0	0	0
2 福田	1	0	0	1	0
⑹ 石川	4	1	0	0	0
計	34	6	4	7	6

投手	回	打	安	三	四	責
佐藤(涼)	2	14	6	2	2	3
和田	3	13	3	5	0	0
前田	2	6	0	1	0	0
緑川	1	7	1	1	1	0
小野寺	1	6	3	1	0	1

（戦評）序盤は全北信越選抜が５番田中の２点適時打などで試合を優位に進めたが、全東北選抜は７回、４番村上、５番木村の連続適時打で逆転、９回には、ショート石川のファインプレーで全北信越選抜の反撃を１点で止め、試合を制した。全北信越選抜は９回２死から１点を返したが、逆転の好機を生かせなかった。

第三試合

全北信越選抜	０００００１０００	１
全関西選抜	００２００７００×	９

（北）久保田・西川・澤田・五十嵐－高崎
（東）能塚・山口・東川・香川－堀口
☆二塁打　土川（関）、高崎（北）

北信越選抜	打	安	点	振	球
⑹ 山本	3	1	0	0	0
6 的場	1	0	0	0	0
⑼ 木下	4	1	0	1	0
⑷ 小野	3	0	0	1	0
4 石田	1	0	0	0	0
⑺ 岸	4	0	0	1	0
⑶ 出村	4	0	0	0	0
⑻ 澤邉	4	0	0	1	0
(DH) 田村	4	1	0	0	0
⑸ 羽根	3	0	0	2	1
⑵ 高崎	3	2	1	0	0
計	34	5	1	6	1

投手	回	打	安	三	四	責
久保田	3	14	4	3	1	2
西川	2	10	3	2	0	4
澤田	1	9	2	1	1	2
五十嵐	2	6	0	3	0	0

関西選抜	打	安	点	振	球
⑹ 土川	5	2	0	2	0
⑼ 下根	2	1	0	1	0
打 末澤	1	0	0	0	0
走・9 堀井	1	0	0	0	0
⑶ 柴田	4	1	2	0	0
5 大角	1	0	0	1	2
(DH) 小林	4	1	2	0	2
⑺ 岡田	3	1	1	0	0
⑵ 堀口	4	2	1	0	0
⑻ 田中	2	0	0	2	0
8 小平	2	1	1	0	0
⑸ 大石	3	0	1	1	0
3 岡本	1	0	0	1	0
⑷ 森	2	0	0	1	0
4 山川	1	0	0	1	0
計	36	9	8	10	4

投手	回	打	安	三	四	責
能塚	5	20	5	3	1	1
山口	2	9	1	1	0	0
東川	1	3	0	1	0	0
香川	1	3	0	2	0	0

（戦評）前半戦は両投手陣の力投によるシーソーゲームとなったが、６回裏、全関西選抜は５番岡田の適時打を皮切りに、３連続適時打やスクイズなどで一挙７点を挙げ試合を決めた。

◎予選Ｂリーグ
11月16日　鹿島市民球場
第一試合

全関東選抜	００２０００２００	４
全東海選抜	０００００００２００	２

（関）戸津・大谷・石田－清水
（東）岡田・池田・細江－小倉
☆二塁打　箱田（関）

関東選抜	打	安	点	振	球
⑷ 駒田	4	2	0	0	1
⑼ 澤田	4	1	0	0	0
⑻ 竹林	3	0	0	2	1
⑸ 箱田	2	1	2	0	2
走・5 栗田	0	0	0	0	0
(DH) 嘉悦	2	0	0	2	2
打・DH 平田	2	0	0	2	2
⑹ 橘	4	0	0	1	0
⑶ 市川	2	0	0	0	0
3 秋本	2	0	0	1	0
⑵ 清水	2	0	0	1	0
打・⑵ 木藤	1	0	0	2	1
⑺ 寶田	3	0	0	1	1
計	31	4	2	12	10

投手	回	打	安	三	四	責
戸津	4	13	3	1	0	0
大谷	2	7	1	2	0	0
石田	3	13	2	3	3	2

東海選抜	打	安	点	振	球
⑻ 原田	4	1	0	1	0
⑸ 横田	4	1	0	0	0
⑷ 坂口裕	3	0	0	1	1
⑺ 高岸	3	0	0	0	1
(DH) 坂口将	2	0	0	1	0
打・DH 尾関	2	1	0	1	0
⑶・9 小澤	3	1	1	1	1
⑵ 小倉	3	0	0	1	0
⑹ 安福	2	1	0	0	0
打・3 三好	0	0	1	0	0
⑼ 村瀬	1	0	0	0	0
9 樽谷	1	0	0	1	0
打 加藤	1	0	0	0	0
6 川上	0	0	0	0	0
計	29	5	2	7	3

投手	回	打	安	三	四	責
岡田	3	14	2	3	2	2
池田	4	16	2	2	3	2
細江	2	7	0	1	1	0

（戦評）全関東選抜は３回、４番箱田の一打で２点を先制し、投げては戸津、大谷、石田の３投手が全東海選抜打線を２点に抑え勝利した。全東海選抜は、７回裏に２点を返すものの、その後のチャンスであと一打がでなかった。

第二試合

全四国選抜	１０００００００	１
全東海選抜	１０３０１３００×	８

（四）尾崎・五藤・福田・河崎－石橋・鮫島・岡田
（東）藤吉・中田・繁竹・片山－金子・山中
☆本塁打　高岸（東）
☆二塁打　横田・三好・藤田（東）

四国選抜	打	安	点	振	球
⑼ 河合	4	1	0	0	0
⑷ 船越	3	0	0	1	0
⑻ 三重野	4	1	0	1	0
⑺ 中野	3	0	0	0	1
⑸ 早澤	3	2	0	0	0
5 辻	1	0	0	0	0
⑵ 石橋	2	1	0	0	0
走 黒河	0	0	0	0	0
2 鮫島	1	0	0	0	0
2 岡田	1	0	0	0	0
(DH) 川上	2	0	0	0	0
打・DH 澤田	2	0	0	1	0
⑹ 松岡	3	0	0	0	0
6 大城	0	0	0	0	0
⑶ 増羽	3	0	0	2	0
計	32	5	0	5	1

投手	回	打	安	三	四	責
尾崎	5	27	9	3	2	4
五藤	0 1/3	5	1	0	3	3
福田	1 2/3	6	0	0	2	0
河崎	1	5	0	2	1	0

東海選抜		打	安	点	振	球
⑻	原田	4	1	0	0	1
⑸	横田	1	1	0	0	1
5	加藤	1	0	0	0	1
⑶	三好	3	2	2	0	2
⑺	高岸	5	3	4	0	0
(DH)	小澤	1	0	0	1	0
打・DH	藤田	2	1	1	1	2
走・DH	樽谷	0	0	0	0	0
⑷	坂口	3	1	0	0	1
4	川上	2	0	0	1	0
⑼	村瀬	3	1	1	0	0
9	尾関	1	0	0	1	1
⑹	安福	2	0	0	1	0
6	堂園	1	0	0	0	0
⑵	金子	2	0	0	0	0
2	山中	2	0	0	0	0
計		33	10	8	5	9

投手	回	打	安	三	四	責
藤吉	4	17	3	2	1	0
中田	2	7	1	0	0	0
繁竹	1	3	0	2	0	0
片山	2	7	1	0	0	0

（戦評）全東海選抜は、高岸の３ランホームランを含む10安打８得点で全四国選抜を圧倒した。全四国選抜は、初回に先制するものの試合を優位に進めることができなかった。

第三試合

全四国選抜　０００００００００｜０
全関東選抜　００１００３１０×｜５

（四）川上・掛本－岡田
（関）赤尾・大竹・石田・河合－石塚・木藤
☆二塁打　竹林・嘉悦（関）

四国選抜		打	安	点	振	球
⑹	大城	4	0	0	0	0
⑸	宮城	3	1	0	1	0
⑻	幸良	3	0	0	1	0
(DH)	澤田	3	0	0	0	0
⑵	岡田	3	0	0	1	0
⑷	河上	3	0	0	0	0
⑶	林	3	0	0	2	0
⑼	倉本	3	2	0	1	0
⑺	黒河	2	0	0	0	0
計		27	3	0	6	0

投手	回	打	安	三	四	責
川上	6	28	6	1	2	2
掛本	2	9	2	1	1	1

関東選抜		打	安	点	振	球
⑷	鹿田	5	1	0	0	0
⑼	田中	4	2	0	0	0
⑻	竹林	4	2	0	0	0
8	寶田	0	0	0	0	0
(DH)	箱田	4	2	1	0	0
⑹	嘉悦	4	1	1	0	0
⑸	栗田	2	1	0	0	0
5	平田	1	0	0	1	1
⑶	片山	1	0	0	1	1
3	秋本	1	0	0	0	0
⑵	石塚	3	0	0	0	0
2	木藤	1	0	0	0	0
⑺	荒川	3	0	0	0	1
計		33	9	2	2	3

投手	回	打	安	三	四	責
赤尾	3	9	1	1	0	0
大竹	2	6	0	2	0	0
石田	2	8	2	1	0	0
河合	2	6	0	2	0	0

（戦評）　試合序盤は両チームの投手の好投により１点を争う緊迫したゲーム展開となったが、中盤以降は全関東選抜の打線が全四国選抜の投手川上を攻略し勝利を納めた。

◎予選Ｃリーグ
11月16日　伊万里市国見台球場
第一試合

全九州選抜　２０００００１００２｜５
全北海道選抜　０４００００００００｜４

（九）松尾・岩井・田代－村上
（北）浜田・伊藤優－蜂谷
☆三塁打　大津留（九）、蜂谷（北）
☆二塁打　林（北）

九州選抜		打	安	点	振	球
⑹	美口	3	0	0	2	1
⑸	青佐	5	2	0	0	0
⑼	中島	3	0	0	0	0
打	林田	0	0	0	0	1
走・8	大久保	1	0	0	1	0
(DH)	宮本	5	2	2	1	0
⑻	山路	3	0	0	2	0
打	河野	1	0	0	0	0
9	島崎	1	1	0	0	0
⑺	池田	1	1	0	0	3
走・9	吉松	0	0	0	0	0
⑶	森岡	4	0	0	0	0
打・3	大津留	1	1	2	0	0
⑵	村上	5	1	0	0	0
⑷	上野	2	1	0	1	1
計		35	9	4	7	6

投手	回	打	安	三	四	責
松尾	3 1/3	14	5	2	1	3
岩井	5 1/3	22	4	9	2	0
田代	1 1/3	4	0	2	0	0

北海道選抜		打	安	点	振	球
⑸	及川	5	1	1	0	0
⑷	林	5	1	0	2	0
⑶	敬礼	5	0	0	2	0
⑹	沼口	4	1	0	2	1
(DH)	石津	2	0	1	1	1
打・DH	原	1	0	1	0	0
⑼	渡辺	1	1	0	0	1
9	佐々木	2	1	0	1	0
⑻	安井	4	0	0	3	0
⑵	蜂谷	4	2	3	2	0
⑺	島川	4	2	0	0	0
計		37	9	6	13	3

投手	回	打	安	三	四	責
浜田	4	22	4	3	4	0
伊藤(優)	5	22	5	3	3	3

（戦評）４対３で迎えた９回に全九州選抜は２死１、３塁から主将大津留がセンターオーバーのタイムリースリーベースを打ち逆転し、試合を決めた。

第二試合

全中国選抜　００００００１０｜１
全北海道選抜　５０２３００１×｜11

（７回コールド）

（中）上田・三ヶ島・三田－花岡・川津
（北）銭谷・西村－橋本
☆二塁打　及川・沼口・安井・伊藤・橋本（北）、花岡（中）

中国選抜		打	安	点	振	球
⑸	持田	3	0	0	0	1
⑷	小笠原	4	0	0	0	0
⑺	辻	3	0	0	1	0
⑶	河野	3	1	0	0	0
⑻	高垣	3	1	0	0	0
⑹	末廣	3	2	1	0	0
(DH)	指方	3	0	0	0	0
⑵	花岡	2	1	0	0	1
走・2	河津	0	0	0	0	0
⑼	奥山	1	0	0	0	0
打・9	松本	2	0	0	1	0
計		27	5	1	2	2

投手	回	打	安	三	四	責
上田	1	9	4	1	1	3
三ヶ島	2 2/3	16	4	0	1	5
三田	2 2/3	13	2	0	2	1

北海道選抜	打	安	点	振	球
⑷ 林	3	0	0	1	0
4 木下	1	1	0	0	1
⑸ 及川	3	2	0	0	0
打・5 石橋	1	0	0	0	0
⑼ 佐々木	2	1	1	0	0
打・9 柳川	0	0	0	0	1
⑹ 沼口	4	1	0	0	0
⑶ 敬礼	0	0	0	0	1
打・3 伊藤	2	1	1	0	1
(DH) 原	4	1	0	1	0
⑵ 橋本	4	3	5	0	0
⑻ 安井	4	2	2	0	0
⑺ 島川	2	0	0	0	0
打・7 管沼	2	1	0	0	0
計	32	13	9	2	4

投手	回	打	安	三	四	責
銭谷	5	20	3	0	1	0
西村	2	9	2	2	1	1

（戦評）序盤からペースを掴んだ全北海道選抜が11得点を挙げ勝利した。投げては上田、三ヶ島、三田のリレーで７回１失点に抑えた。

第三試合

全中国選抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全九州選抜	2	0	0	1	0	0	0	3	×	6

（中）幸地・丸尾・岩崎－上川路・河津
（九）平倉・御厨・野口・西依－河村・村上
☆三塁打　河野・大津留（九）
☆二塁打　大津留（九）

中国選抜	打	安	点	振	球
(DH) 末廣	4	0	0	2	0
⑹ 持田	2	0	0	0	0
3 高田	1	0	0	0	0
走・7 坂口	1	0	0	0	0
⑺・3 辻	3	1	0	1	1
⑶・6 河野	3	0	0	0	1
⑻ 高垣	3	0	0	0	1
⑼ 松本	1	0	0	1	0
9 浜本	1	0	0	1	0
打 古山	1	0	0	0	0
9 奥山	1	0	0	0	0
⑵ 上川路	2	0	0	1	0
2 河津	1	0	0	0	0
⑸ 中川	3	0	0	0	0
⑷ 宇都宮	3	1	0	1	0
計	30	2	0	7	3

投手	回	打	安	三	四	責
幸地	4	23	9	4	2	3
丸尾	2	9	1	1	1	1
岩崎	2	10	3	2	0	2

九州選抜	打	安	点	振	球
⑹ 大津留	4	3	2	1	0
⑺ 吉松	4	4	0	0	1
⑸ 宮本	5	1	0	2	0
⑶ 島崎	4	0	0	1	1
⑷ 河野	5	2	1	0	0
⑼ 林田	3	0	1	1	0
8 山路	2	0	0	1	0
(DH) 美口	2	0	0	0	1
打 松永	1	0	0	1	0
⑻・9 大久保	4	2	0	1	0
2 村上	0	0	0	0	0
⑵ 河村	3	1	0	1	0
打・9 中島	1	1	0	0	0
計	38	14	4	9	3

投手	回	打	安	三	四	責
平倉	6	22	1	6	2	0
御厨	1	4	0	0	1	0
野口	1	3	0	1	0	0
西依	1	4	1	0	0	0

（戦評）先取点、中押し、ダメ押しと理想な形で点を取っていった全九州選抜が、計13本のヒットを放ち勝利した。投げては、先発の平倉を初めとする４人の投手が被安打２本の完封リレーで抑えた。

◎決勝トーナメント
11月17日　鹿島市民球場
準決勝第一試合

全関西選抜	3	0	0	0	1	0	2	1	0	7
全北海道選抜	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

（関）越智・小田・山口・東川－小林・中小路・財前
（北）西村・伊藤・齋藤・松元・浜田－蜂谷・高橋
☆三塁打　島川（北）
☆二塁打　堀井２（関）

関西選抜	打	安	点	振	球
⑻ 小平	5	3	0	0	0
⑷ 山川	2	0	0	0	2
⑶・2 中小路	4	2	0	0	0
2 最前	0	0	0	0	0
⑵・3 小林	4	3	3	0	1
(DH) 岡田	4	1	0	0	1
⑺ 堀井	5	4	2	0	0
⑼ 松田	4	1	1	0	1
⑸ 大石	3	0	0	2	0
打・6 土川	0	0	0	0	0
⑹・5 大角	5	2	0	0	0
計	36	16	6	2	5

投手	回	打	安	三	四	責
堺	5	20	3	3	3	0
小田	1	6	3	2	0	2
山口	2	6	0	0	0	0
東川	1	3	0	2	1	0

北海道選抜	打	安	点	振	球
⑻ 安井	4	1	0	1	0
⑸ 及川	2	0	0	0	2
6 安藤	0	0	0	0	0
⑼ 佐々木	1	0	0	0	0
打・9 渡辺	1	1	0	0	1
⑹・5 沼口	4	1	0	2	0
⑶ 原	2	0	0	1	0
打・3 敬礼	1	1	0	0	0
打・3 石津	1	0	0	1	0
(DH) 橋本	3	0	0	1	0
打 伊藤	1	0	0	0	0
⑺ 管沼	2	0	0	1	0
7 島川	1	1	2	0	0
打 柳川	1	0	0	1	0
⑵ 蜂谷	4	0	0	0	0
2 高橋	0	0	0	0	0
⑷ 木下	2	0	0	0	1
4 石橋	0	0	0	0	0
計	30	5	2	8	4

投手	回	打	安	三	四	責
西村	4	18	8	1	1	2
伊藤	2	10	4	0	1	1
齋藤	1/3	3	0	0	2	2
松元	2/3	3	1	0	0	0
浜田	2	11	3	1	1	1

（戦評）　初回、全関西選抜は６者連続安打で３点を先制すると中盤、終盤も得点を重ね７得点を挙げ勝利した。全北海道選抜は２点を返すものの、全関西選抜の投手陣を打ち崩すことができなかった。

準決勝第二試合

全関東選抜	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
全九州選抜	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

（関）赤尾・石田・大竹・河合－石塚
（九）田代・的野・西依－河村・松永

関東選抜	打	安	点	振	球
⑺ 荒川	5	1	2	1	0
⑼ 田中	5	1	2	1	0
⑻ 竹林	5	1	0	0	0
(DH) 箱田	2	0	0	0	1
打 嘉悦	1	0	0	0	0
⑹ 橘	4	0	1	1	0
⑸ 栗田	3	2	0	1	0
打・5 平田	1	0	0	0	0
⑶ 片山	3	1	0	0	0
3 市川	0	0	0	0	0
打・3 秋本	1	1	0	0	0
⑵ 石塚	2	0	0	1	1
打・2 木藤	1	0	0	0	0
⑷ 鹿田	2	0	1	0	2
計	35	7	6	5	4

投手	回	打	安	三	四	責
赤尾	4	15	3	3	0	0
石田(哲)	1	3	0	2	0	0
大竹	2	9	1	3	2	2
河合	1	8	0	0	1	0

九州選抜		打	安	点	振	球
(4)	河野	3	1	0	0	1
(7)	吉松	2	0	0	0	0
(6)	大津留	4	1	2	1	0
(DH)	池田	3	0	0	2	0
打	林田	1	0	1	0	0
(3)	島崎	4	0	0	2	0
(5)	宮本	3	1	0	1	0
打	美口	0	0	0	0	1
(8)	山路	4	1	0	0	0
(9)	大久保	3	0	0	2	0
(2)	河村	2	0	0	0	1
2	松永	0	0	0	0	0
計		29	4	3	8	3

投手	回	打	安	三	四	責
田代	2	13	5	3	3	5
的野	6	22	2	1	2	0
西依	1	4	0	0	0	0

（戦評）全関東選抜は２回に全九州選抜の投手田代を攻め一挙５得点を挙げ、投げては赤尾、石田、大竹、河合が好投をみせ、全九州選抜を抑え勝利した。全九州選抜は２回以降０点に抑え、２点を返すも一歩及ばなかった。

決勝

全関東選抜	０００００００１０	１
全関西選抜	１００００１１０×	３

（関東）戸津・石田・大谷－清水・石塚
（関西）能塚・越智・香川－堀口

関東選抜		打	安	点	振	球
(4)	駒田	3	0	0	1	2
(9)	澤田	4	1	0	0	0
(8)	竹林	5	0	0	0	0
(5)	箱田	5	1	0	2	0
(6)	嘉悦	3	1	0	1	1
(DH)	荒川	2	0	0	1	0
打	栗田	2	0	0	0	0
(3)	市川	4	2	0	1	0
(2)	清水	3	1	0	0	0
打	片山	1	1	1	0	0
2	石塚	0	0	0	0	0
(7)	寶田	4	0	0	1	0
計		36	7	1	7	3

投手	回	打	安	三	四	責
戸津	4	17	3	5	1	1
石田(翔)	2	10	1	2	3	2
大谷	2	7	0	1	0	0

関西選抜		打	安	点	振	球
(8)	小平	4	1	0	1	0
(4)	山川	3	0	0	2	0
(3)・2	中小路	3	0	0	0	1
(DH)	小林	3	0	1	1	1
(7)	堀井	3	1	0	0	0
(9)	松田	3	0	0	1	0
(2)	堀口	2	0	0	2	0
打・3	柴田	2	0	0	1	0
(6)	土川	2	0	0	0	0
5	大石	0	0	0	0	1
(5)・6	大角	2	1	0	1	1
計		27	3	1	9	4

投手	回	打	安	三	四	責
能塚	6	27	6	3	1	0
越智	1	4	0	0	1	0
小田	1	5	1	2	1	1
香川	1	4	1	2	0	0

（戦評）両チームとも１点を争う緊迫したゲーム展開の中で、全関西選抜は中盤にスクイズや相手のエラーで追加点を挙げると、最後は香川投手が０点で抑え４年ぶり６度目の優勝を勝ち取った。全関東選抜は、チャンスを作るもあと一打がでず３連覇を逃した。

◎表彰
優　勝　全関西選抜
準優勝　全関東選抜

みんなで掴んだ優勝！

全関西選抜チーム
主将　小林　弘昌（甲南大学）

今夏の全日本選手権の結果から、注目されるなかでの試合となりました。また、最近の９ブロック大会では、決勝リーグやトーナメントに進みながら、あと一歩で「優勝」を逃すという悔しい結果に終わっていたので、今年こそはという思いで臨んだ大会でもありました。

今年の全関西選抜チームは、半数近くが１・２回生という若くフレッシュなチームでした。まとまれば強いチームになると思いましたが、それまでに時間が多少掛かること、チームの精神的な支えになる選手を作ることが出来るかが鍵になると考えていました。そこで、先ずチーム結成後すぐにミーティングを開き、練習会の最中でも互いの意見を交換する場を作るなど、コミュニケーションを取ることを重視し、チーム作りをしていきました。それらのことが今回の優勝に繋がったと思います。

また、首脳陣、マネージャーやトレーナーなどプレー以外で関わっていただいた方々の支援のおかげで、私達も野球に集中することができました。選手だけでなく裏方として支えてくださった方々にも感謝しています。来年以降も関西のチームワークで活躍を期待したいと思います。

ありがとうございました。

参加者名簿

全北海道選抜

氏名	学年	大学	高校
児玉　正輝	監督	北海道大学	
林和　範	コーチ	札幌大学	
小原　佳恵	3	北海道教育大函館校　八戸南高　マネージャー	
川崎　亜美	3	札幌大学　札幌東商業高　スコアラー	
齋藤　文明	3	札幌大学	札幌龍谷高
浜田　和弥	3	東海大学札幌	東海大四高
松本　喜幸	3	北海道大学	土浦第一高
伊藤　優真	2	釧路公立大学	宮古高
西村　和真	1	北海道教育大函館校	手稲高
橋本　健斗	3	北海道教育大函館校	市立函館高
高橋　功典	3	東海大学札幌	東海大四高
蜂谷　由朗	3	北海学園大学	北海道栄高
原尚　輝東	3	海大学札幌	旭川実業高
石津　帆高	3	北海道大学医学部	北嶺高
佐々木　瞭	3	北海学園大学	北海高
及川　晃	2	北海道教育大函館校	花巻北高
沼口　京介	2	北海道大学医学部	札幌南高
敬礼　達也	2	北海道教育大函館校	宮古高
安藤　祐貴	2	北海道教育大函館校	小樽潮陵高
林　祐希	1	北海学園大学	北海道栄高
木下　敦仁	1	北海道教育大函館校	海南高
伊藤　亮佑	1	札幌大学	清田高
中村　大輝	1	釧路公立大学	福岡高
安井悠太郎	4	北海道大学医学部	旭川東高
銭谷　実	3	北海道教育大函館校	浜松南高
菅沼　俊甫	3	北海道大学	時習館高
渡辺　建	3	札幌大学	釧路商業高
柳川　康貴	3	北海道大学	佐倉高
島川　岳	2	東海大学札幌	東海大四高

全東北選抜

氏名	学年	大学	高校
澁谷　隆	団長	東北学院大学	
高橋　直樹	監督	富士大学	
武田　亮	コーチ	富士大学	
桜井　直喜	コーチ	青森大学	
菊池　秀佳	4	富士大学　遠野緑峰高　マネージャー	
鈴木　将和	2	富士大学　日本大学山形高　スコアラー	
前田　陣	3	東北学院大学	大崎中央高
和田　大輔	3	富士大学	花巻東高
小畑　貴寛	3	東北学院大学	利府高
佐藤　涼平	2	富士大学	寒河江工業高
緑川　英将	2	福島大学	磐城桜丘高
高崎　翔太	2	仙台大学	登米高
小野寺健太	2	岩手大学	盛岡第一高
福田　純平	3	仙台大学	矢板中央高

菅原奨太郎	3	東北学院大学	仙台商業高
氏家　和希	1	富士大学	水沢第一高
信夫　弘至	3	東北学院大学	東北学院高
石川　大湖	3	青森大学	青森山田高
村上　　蓮	3	富士大学	専修大学北上高
村上　優太	3	東北学院大学	聖光学院高
高橋　　友	1	富士大学	花巻東高
中坂　陣兵	1	富士大学	専修大学北上高
高橋　拓裕	1	東北学院大学	利府高
木村　　隼	1	富士大学	花巻東高
小原　史也	3	富士大学	花巻東高
佐藤　惇也	3	富士大学	羽黒高
佐藤　康平	3	青森大学	大湊高
照井　英人	2	富士大学	花巻東高
杉本　亮介	2	岩手大学	盛岡第三高
後藤　尚宏	2	東北学院大学	東北高
大友　周平	2	東北学院大学	仙台商業高

全関東選抜

氏　名	学年	大　学	高　校
今泉　　博	団	長	
畑中　秀之	監	督	早稲田大学
平塚　和也	コーチ		国士舘大学
杉山　幸司	3	関東学院大学　掛川西高　マネージャー	
飯田　裕貴	3	日本社会事業大学　長岡大手高　スコアラー	
大谷　亘輝	4	法政大学	塔南高
石田　翔太	4	早稲田大学	川和高
河合　亮太	3	早稲田大学	茗溪学園高
赤尾　裕希	3	明治大学	錦城高
石田　哲也	3	日本大学理工学部	日本大学藤沢高
戸津　由博	2	関東学院大学	東京都立雪谷高
大竹　侑希	2	群馬大学荒牧	高崎高
清水　耕平	3	国士舘大学	常総学院高
木藤　俊英	3	早稲田大学	時習館高
石塚　裕之	3	関東学院大学	横浜隼人高
嘉悦　崇将	4	早稲田大学	大分上野丘高
栗田　拓磨	4	早稲田大学	水戸第一高
駒田　　開	4	早稲田大学	修猷館高
片山　　泰	4	慶應大学	慶應義塾高
秋本　和敏	3	国学院大学	日本大学第二高
鹿田浩太郎	3	日本大学	長崎日大高
市川　拓弥	3	関東学院大学	逗葉高
箱田　昌太	3	国士舘大学	前橋商業高
平田　俊輔	3	関東学院大学	大阪産業大学附属高
橘　　廉	2	法政大学	花巻東高
澤田　亮平	3	創価大学	関西創価高
荒川　健人	3	国士舘大学	本庄第一高
寶田慎太郎	2	明治大学	東北高
竹林聡一郎	2	日本大学	日大鶴ヶ丘高
田中　宏嗣	2	神奈川大学	厚木北高

全北信越選抜

氏　名	学年	大　学	高　校
近藤　真貴	監	督	金沢大学
宮野　元作	コーチ		新潟大学
長野真奈美	2	金沢大学　網干高　マネージャー	
桐山　明奈	2	金沢工業大学　大垣西高　スコアラー	
出村　匡輝	3	富山大学	高岡西高
五十嵐孝哉	3	金沢大学	鶴岡南高
大久保翔太	3	金沢大学	富山高
澤田　浩太	2	新潟大学	青森東高
西川　尚志	1	金沢大学	彦根東高
久保田匡彦	1	新潟大学	新発田高
和田　征己	3	金沢大学	大野高
高崎　大将	3	新潟大学	富山高
田上光太郎	3	信州大学	知立東高
山野　　晃	3	金沢大学	高岡西高
八島　慶宜	3	金沢工業大学	伏木高
山本　祐大	3	金沢大学	桜井高
石田　幸蒔	3	新潟大学	福島成蹊高
的場　巧真	3	金沢工業大学	耐久高
田村　宏海	2	金沢大学	柏崎高
多保田一真	2	金沢大学	小松高
羽根　将貴	1	金沢大学	高岡高
亀田　翔平	1	富山大学	野々市明倫高
神田　　怜	5	金沢大学	仙台第二高
田中　翔也	3	金沢星稜大学	大野高
新井　　諒	3	金沢工業大学	上越総合高
澤邉　大成	2	金沢星稜大学	鶴来高
木下　雅史	2	金沢大学	小松高
玉舘　知也	2	金沢大学	帯広三条高
岸　　巧樹	1	金沢大学	敦賀高

全東海選抜

氏　名	学年	大　学	高　校
鈴木　眞雄	団	長	
中野　　将	監	督	
田代　大介	コーチ		
三村　優易	コーチ		

五十嵐彩花	3	名古屋商科大学　須坂商業高　マネージャー	
森沙　耶香	2	中京大学　豊橋東高　スコアラー	
池田　浩士	3	愛知大学	東邦高
藤吉　正大	3	愛知学院大学	岐阜城北高
中田　和弥	2	中部大学	ＰＬ学園高
片山　頌太	2	名城大学	至学館高
繁竹　洋輔	2	愛知教育大学	清水東高
細江　　丞	2	中京大学	福井商業高
岡田　雄樹	2	愛知大学	享栄高
金子　徳真	3	名古屋商科大学	土岐商業高
山中雄一郎	3	名城大学	豊田西高
小倉　　凌	3	中京大学	福井商業高
坂口　裕輝	3	名古屋商科大学	成章高
川上雄太郎	3	名城大学	都城西高
安福　毅人	3	名古屋商科大学	土岐商業高
小澤賢之助	3	愛知大学	東邦高
堂園　和貴	3	愛知学院大学	県立岐阜商業高
三好　巧真	2	中京大学	福井商業高
横田　拓郎	2	中京大学	中京大中京高
加藤　健祐	2	愛知大学	中京高
藤田悠太郎	2	愛知教育大学	姫路西高
高岸　弘卓	3	愛知大学	静岡商業高
村瀬　量一	3	中京大学	掛川西高
原田　拓弥	3	名古屋商科大学	愛知商業高
尾関　駿介	3	愛知学院大学	県立岐阜商業高
坂口　将也	3	中京大学	掛川西高
樽谷　哲幸	2	愛知教育大学	成章高

全関西選抜

氏　名	学年	大　学	高　校
芝田　勝利	団	長	立命館大学
芳田　茂樹	監	督	大手前大学
川端　浩一	コーチ		龍谷大学
王子　喜章	コーチ		甲南大学
中村　音々	3	関西大学　花園高　マネージャー	
宮永　莉香	3	立命館大学　西脇高　スコアラー	
小田　健史	3	立命館大学	福井商業高
堺　　浩貴	3	立命館大学	立命館宇治高
東川　航己	2	甲南大学	尼崎北高
能塚　勇輔	1	関西大学	桜宮高
山口　瑞喜	1	龍谷大学	鳥羽高
越智　俊貴	1	大阪商業大学	西条高
香川　知正	1	甲南大学	尽誠学園高
堀口　拓矢	3	近畿大学	上宮高
財前　弘治	3	大阪産業大学	県尼崎高
小林　弘昌	3	甲南大学	岡山東商業高
中小路　駿	1	立命館大学	比叡山高
山川　雄大	3	甲南大学	神港学園神港高
柴田　篤人	3	立命館大学	愛知工業大学名電高
末澤　拓也	3	同志社大学	加古川西高
森　　貴弘	2	同志社大学	北海高

大石　麻貴	2	龍谷大学	東山高
大角　元輝	2	立命館大学	福井商業高
土川　公平	2	奈良教育大学	県伊丹高
岡本　拓朗	1	同志社大学	三重高
下根　佑弥	3	甲南大学	県芦屋高
堀井　大輝	3	立命館大学	明石高
小平　　凌	3	立命館大学	明石商業高
松田　湧人	3	同志社大学	中京高
田中　雄大	2	大阪産業大学	北陸高
岡田　晃汰	2	京都産業大学	京都成章高

全中国選抜

氏　名	学年	大　学	高　校
馬場　　明	団	長	
榊原　康史	監	督	
内野　真秀	4	下関市立大学	袋井高　コーチ
福原　康起	4	広島修道大学	広島国泰寺高　コーチ
佐藤恵里奈	4	下関市立大学	竹田高　マネージャー
日野　友華	4	下関市立大学	杵築高　スコアラー
幸地　貴弥	4	東亜大学	読谷高
三ヶ島尚亮	3	東亜大学	大川樟風高
丸尾　元気	3	下関市立大学	津山東高
三田　勇嗣	3	下関市立大学	宇部商業高
上田　将平	2	下関市立大学	八幡高
岩崎　将也	2	岡山大学	姫路高
花岡　宏輝	4	広島修道大学	沼田高
上川路悠佑	3	東亜大学	鹿児島工業高
河津　隆哉	1	下関市立大学	日向高
末廣　翔三	4	東亜大学	中津商業高
河野　義貴	4	下関市立大学	下関工業高
宇都宮佑亮	4	岡山大学	八幡浜高
高田　陵平	3	岡山大学	姫路東高
中川　兼一	3	広島修道大学	三原高
持田　大聖	2	広島修道大学	尽誠学園高
辻　　翔太	2	広島修道大学	広島観音高
指方　大輔	1	岡山大学	岡山操山高
小笠原一秀	1	下関市立大学	西条高
松本　行正	4	東亜大学	浜松商業高
奥山　利彦	4	東亜大学	中央学院高
高垣　和征	4	広島修道大学	広島観音高

坂口　隆大	3	東亜大学	鹿児島工業高
古山　太一	3	下関市立大学	長崎日大高
豊原　拓也	3	広島修道大学	園北高
浜本健太郎	1	広島修道大学	武田高

全四国選抜

氏　名	学年	大　学	高　校
丸吉　　章	団	長	
渡部　聖志	監	督	
高橋隆之介	4	四国学院大学	高松南高　コーチ
大西　智之	4	松山大学	松山中央高　コーチ
宇恵　　希	2	徳島大学医学部	倉敷天城高　マネージャー
高津絵梨香	2	徳島大学医学部	都立武蔵高　スコアラー
川上　温嗣	3	香川大学	総社南高
福田　健太	2	香川大学	鳳高
河崎　　侑	2	愛媛大学	賀茂高
五藤　凌志	2	愛媛大学医学部	宇和島東高
掛本　真治	1	香川大学医学部	広大付属福山高
尾崎　一規	1	高知大学医学部	高知追手前高
岡田　拓門	3	香川大学	浜田高
石橋　優太	2	愛媛大学	広高
鮫島　僚佑	2	高知県立大学	米原高
早澤　寛章	1	徳島大学医学部	徳島城南高
宮城　陽平	3	徳島文理大学	浦添高
林　　宏輔	3	香川大学	呉宮原高
河上　浩三	3	香川大学	総社南高
大城　斉也	3	徳島文理大学	興南高
増羽　達則	2	松山大学	松山北高
船越　健人	2	松山大学	徳島市立高
松岡　祐輝	1	四国学院大学	津田高
辻　　大興	1	香川大学医学部	岐阜高
中野　良哉	3	徳島文理大学	富岡西高
幸良　　倫	3	徳島文理大学	興南高
澤田　貴虎	3	愛媛大学医学部	大洲高
三重野渥祥	2	松山大学	臼杵高
河合　　燦	2	徳島大学医学部	金沢大学附属高
黒河　　司	2	愛媛大学医学部	西条高
倉本　圭輔	2	香川大学	岡山芳泉高

全九州選抜

氏　名	学年	大　学	高　校
横山　武雄	団	長	
横山　武雄	監	督	
溝口　準也	コーチ		
今熊　尚紀	3	福岡大学	小郡高　コーチ
川田　美咲	3	福岡大学Ⅱ部	宇美商業高　マネージャー
小坂いちこ	2	久留米大学	宮崎南高　スコアラー
平倉　伸太	3	九州産業大学	佐世保実業高
岩井　竜次	3	九州産業大学	壱岐商業高
西依　俊哉	3	福岡大学	鳥栖高

松尾　昂輝	2	長崎県立大学	長崎商業高
田代　貴裕	2	久留米大学	久留米高
野口　竜次	2	九州産業大学	鎮西学院高
御厨　厚志	2	久留米大学	小城高
的野　長将	1	福岡大学	光陵高
松永　将平	3	福岡大学	佐賀北高
河村　隆太	3	九州産業大学	南陽工業高
村上　昌平	2	九州共立大学	祐誠高
美口　拓哉	3	福岡大学Ⅱ部	宇美商業高
大津留拓己	3	西南学院大学	春日高
上野　諒介	3	久留米大学	小郡高
森岡　　渉	2	久留米大学	長崎西高
青佐　陽仁	2	久留米大学	九産大九州高
河野　　雄	2	福岡大学	大分豊府高
宮本　　輝	1	熊本学園大学	出水中央高
大久保賢太郎	3	福岡大学	龍谷高
島崎　悠太	3	久留米大学	佐賀商業高
山路　敏展	3	久留米大学	日田藤蔭高
池田　飛鳥	2	九州産業大学	九州学院高
吉松　謙太	2	久留米大学	西京高
林田　憲典	2	九州産業大学	長崎日大高
中島　達矢	1	佐賀大学	鹿島高

第31回 全日本大学 9ブロック対抗準硬式野球大会

会　期

平成25年11月15日(金)～17日(日)
※予備日11月18日(月)

嬉野市みゆき球場

伊万里市国見台球場

鹿島市民球場

主　催　全日本大学準硬式野球連盟
主　管　九州地区大学準硬式野球連盟
後　援　文部科学省／佐賀県／佐賀県スポーツコミッション／嬉野市／伊万里市／鹿島市／全日本軟式野球連盟／佐賀県軟式野球連盟／全日本大学軟式野球協会／西日本新聞社／佐賀新聞社他
協　賛　ナガセケンコー／内外ゴム／共同写真企画／ミズノ／ゼット／ＳＳＫ／アシックス／デサント／ルイスビルスラッガージャパン／ローリングスジャパンＬＬＣ

平成25年度
北海道地区大会成績

北海道地区大学準硬式野球春季大会

一部リーグ

○６月12日～16日
○札幌市円山球場

１日目
◎６月12日
北海道大学　１０２１０００００｜４
札幌大学　０００００１０００｜１
（北）榎本・廣濱－松元
（札）斉藤・大野雄－大野貴
☆三塁打　樋渡（札）
北海学園大学　０００００１０１｜２
東海大学札幌　００２７３０×｜12
※７回コールド
（学園）斉藤・堀田・森－蜂谷
（東海）浜田・秋葉－名取・高橋
☆三塁打　原（東）
☆二塁打　蜂谷（学）
札幌医科大学　０００００００００｜０
釧路公立大学　００１００２０２×｜５
（札医）銭谷・鈴木（琢）－藤野
（釧公）伊藤－古川

２日目
◎６月13日
札幌大学　０１０００００｜１
釧路公立大学　３４００００1x｜８
（札）中川・大野（裕）・樋渡－大野（貴）
（釧）山村－古川
☆三塁打　火石（釧）
☆二塁打　玉澤２・中村大（釧）
中村和（札）
札幌医科大学　０００００２０００｜２
東海大学札幌　０００４０１０１×｜６
（札）戸田－蜂谷
（東）浜田－名取・水谷
☆三塁打　名取（東）
☆二塁打　宇野・沼田・原（東）
北海道大学　１０３０００００｜４
北海学園大学　１１０２２００４×｜10
（北）松本・廣濱－松元
（学）須田－蜂谷
☆本塁打　菅沼（北）
☆三塁打　林（学）
☆二塁打　寺西（北）

３日目
◎６月14日
東海大学札幌　０００３０３００３｜９
釧路公立大学　０００００００００｜０
（東）秋葉・池田・方波見－高橋
（釧）伊藤・八木澤－古川
☆三塁打　関口・唐澤・大野（東）
☆二塁打　高橋（東）
札幌大学　００４００２０００｜６
北海学園大学　０００００４１０2x｜７
（札大）斉藤・樋渡・大野雄－大野貴
（学園）森・中村隆・斉藤－蜂谷
☆三塁打　渡辺２（札）
☆二塁打　杉岡（学）
北海道大学　００１３１２０｜７
札幌医科大学　００００００００｜０
※７回コールド
（北）榎本－柳川
（札）玉田・戸田－藤野
☆三塁打　吉村・菅沼（北）
☆二塁打　吉村（北）

４日目
◎６月15日
北海道大学　２２０１００００５｜５
東海大学札幌　０１２０００１００｜４
（北）榎本－松元
（東）浜田－水谷
☆三塁打　沼田（東）
☆二塁打　吉村（北）、原（東）
札幌大学　０００００３０００１｜４
札幌医科大学　０００００００３０｜３
（札）斉藤－大野
（医）銭谷－藤野
☆三塁打　渡辺（札大）
☆二塁打　伊勢、若木（北大）
北海学園大学　００２０２００１０｜５
釧路公立大学　００００００００１０｜１
（学）斉藤－蜂谷
（釧）山村・伊藤－古川
☆二塁打　岡本（学）

５日目
◎６月16日
札幌医科大学　００００００００｜０
北海学園大学　１０２０３１×｜７
※７回コールド
（札）戸田－藤野
（学）須田・堀田－蜂谷
☆三塁打　佐々木（学）
☆二塁打　佐々木（学）
北海道大学　００００３０２００｜５
釧路公立大学　１００２２００１×｜６
（北）松本喜・榎本－松元
（釧）伊藤－古川
☆三塁打　釜泡（釧）
☆二塁打　八木澤・火石（釧）
吉村（北）
東海大学札幌　１０１１０１０００｜４
札幌大学　０００１００００００｜１
（東）浜田・池田・方波見－名取・水谷
（札）樋渡・斉藤－大野貴
☆三塁打　島川・原（東）
☆二塁打　原・沼田（東）

	釧公大	東海大	札医大	北　大	札　大	学園大	勝点	総失点	総得点	順位
釧公大		0－9 ●	5－0 ○	6－5 ○	8－1 ○	1－5 ●	9	20	20	3
東海大	9－0 ○		6－2 ○	4－5 ●	4－1 ○	10－2 ○	12	10	33	1
札医大	0－5 ●	2－6 ●		0－7 ●	3－4 ●	0－7 ●	0	29	5	6
北　大	5－6 ●	5－4 ○	7－0 ○		4－1 ○	4－10 ●	9	21	25	4
札　大	1－8 ●	1－4 ●	4－3 ○	1－4 ●		6－7 ●	3	26	13	5
学園大	5－1 ○	2－10 ●	7－0 ○	10－4 ○	7－6 ○		12	21	31	2

※１、２位及び３、４位の順位は大会規定による

優　勝　東海大学札幌　４勝１敗
準優勝　北海学園大学　４勝１敗
第三位　釧路公立大学　３勝２敗
第四位　北海道大学　３勝２敗
第五位　札幌大学　１勝４敗
第六位　札幌医科大学　０勝５敗
※順位は大会実施要項による

《最優秀選手賞》
浜田　和弥（東海大学札幌）
《優秀選手賞》
須田　貴一（北海学園大学）
《優秀選手賞》
伊藤　優馬（釧路公立大学）
《打撃賞》
寺西　拓也（北海道大学）
打率0.529（17打数９安打）

《ベストナイン》
投　手　榎本　太郎（北海道大学）
捕　手　蜂谷　由朗（北海学園大学）
一塁手　原　尚輝（東海大学札幌）
二塁手　林　祐希（北海学園大学）
三塁手　八木澤隆清（釧路公立大学）
遊撃手　木村　徳修（北海学園大学）
外野手　関口　大輝（東海大学札幌）
外野手　吉村　勇（北海道大学）
外野手　渡辺　建（札幌大学）

二部リーグ

○６月９日～13日
○札幌市麻生球場

◎６月９日

北海道教育大学函館校	３	００	１	００	１	４	９
札幌学院大学	０	００	０	１	００	１	１

※８回コールド

（函）銭谷－橘
（札）萩野－小武海
☆本塁打　三國（函）
☆三塁打　奥村（函）
☆二塁打　三國（函）

北海道教育大学釧路校	００	２	００	１	０	３
旭川医科大学	４	１	０	２	０２	1x	10

※７回コールド

（釧）山本・高野－鈴木
（旭）前川－入部
☆本塁打　別所（旭）
☆二塁打　斉藤・別所・千葉２（旭）
　　鈴木（釧）

北海道大学医学部	３	００	３	００	００	６
北星学園大学	００	１	２	１	１	００	２x	7x

（医）沼口－藤井
（星）冨樫－都
☆三塁打　大澤（星）
☆二塁打　山崎・冨樫（星）

◎６月10日

札幌学院大学	０	００	１	００	００	１	００	２
北星学園大学	１	００	１	００	００	００	００	２

※延長11回

（札）西田－小武海
（北）中銭－都
☆二塁打　尾山（学）、中銭（北）

北海道大学医学部	０	４	０	１	００	００	１	６
北海道教育大学釧路校	４	２	０	１	００	０	１x	８

（医）石橋－藤井
（釧）平山（直）－鈴木
☆本塁打　沼口（医）
☆二塁打　前田（医）
　　平山(純)２・鈴木・岩崎（釧）

北海道教育大学函館校	０	１	００	００	１	０２	４
旭川医科大学	２	００	００	０	１	０２x	５

（函）西村－橘
（旭）前川－入部
☆三塁打　斉藤（旭）
☆二塁打　銭谷・千葉（函）
　　別所・奥原（旭）

◎６月11日

北海道教育大学釧路校	０	１	００	１	００	００	００	００	１	３
北星学園大学	０	００	２	００	００	００	００	００	０	２

※延長12回

（釧）山本－鈴木
（北）冨樫・匂坂－都
☆二塁打　鈴木（釧）

札幌学院大学	０	１	００	００	１	０	２
旭川医科大学	１	４	３	００	１	×	９

※７回コールド

（札）川村・原島－小武海
（旭）奥原・林－入部
☆二塁打　小武海（札）、岩田（旭）

北海道大学医学部	００	１	００	００	００	１
北海道教育大学函館校	００	２	０３	００	０	×	５

（医）田村・石橋－藤井
（函）銭谷－橘
☆本塁打　津坂（医）
☆二塁打　千葉（函）

◎６月12日

北海道教育大学釧路校	０	１	００	００	００	１	０	２
北海道教育大学函館校	００	０	３	００	００	０	×	３

（釧）平山（直）－鈴木
（函）銭谷・奥村・西村－橘
☆三塁打　堤内（釧）、橋本（函）
☆二塁打　平山（釧）

北海道大学医学部	００	１	２	０	７	０	10
札幌学院大学	２	００	００	００	０	１	３

※７回コールド

（北）沼口－藤井
（札）萩野－小武海・池田

旭川医科大学	０	００	００	００	００	００	０
北星学園大学	００	１	１	０	４	００	×	６

（旭）前川・林－入部
（北）木島・冨樫－都
☆二塁打　都・佐々木（駿）
　　中銭・山崎（北）

◎６月13日

旭川医科大学	００	１	００	１	０００	２
北海道大学医学部	０	００	２	１	０	１	０	×	４

（旭）前川－竹吉
（北）沼口－藤井
☆三塁打　沼口（北）

北星学園大学	０	００	６	００	０	１	０	７
北海道教育大学函館校	０	００	００	００	０	２	０	２

（北）中銭－都
（函）奥村・西村－橘
☆二塁打　西村（函）

札幌学院大学	０	００	００	００	００	００	０
北海道教育大学釧路校	０	００	００	００	４	０	×	４

（札）西田・川崎－池田
（釧）高野－鈴木
☆二塁打　山田（釧）

優　勝　北星学園大学　３勝１敗１分
準優勝　旭川医科大学　３勝２敗
第三位　北海道教育大学函館校　３勝２敗
第四位　北海道教育大学釧路校　３勝２敗
第五位　北海道大学医学部　２勝３敗
第６位　札幌学院大学　０勝０敗１分
※順位は大会実施要項による

《最優秀選手賞》
中銭　　峻（北星学園大学）
《優秀選手賞》
前川　浩毅（旭川医科大学）
《優秀選手賞》
銭谷　　実（北海道教育大学函館校）
《打撃賞》
千葉　貴大（北海道教育大学函館校）
　　打率0.444（18打数８安打）

	函教大	釧教大	北大医	北星大	学院大	旭医大	勝点	総失点	総得点	順位
函　教　大		３－２○	５－１○	２－７●	９－１○	４－５●	9	16	23	3
釧　教　大	２－３●		８－５○	３－２○	４－０○	３－10●	9	20	20	4
北　大　医	１－５●	５－８●		６－７●	10－３○	４－２○	6	25	26	5
北　星　大	７－２○	２－３●	７－６○		２－２△	６－０○	10	13	24	1
学　院　大	１－９●	０－４●	３－10●	２－２△		２－９●	4	34	8	6
旭　医　大	５－４○	10－３○	２－４●	０－６●	９－２○		9	19	26	2

※２、３、４位の順位は大会規定による

三部リーグ

○６月19日～23日
○北広島市緑葉公園野球場

予選リーグ
◎６月19日
室蘭工業大学　００２００００｜２
北海道薬科大学　００２０１６×｜９
※７回コールド
（室）竹森・菅原－鈴木
（薬）伊原・山田－高野
☆二塁打　阿部（室）、高野２・伊藤（薬）
小樽商科大学　０００００００００｜０
北海道医療大学　００３００００４ｘ｜７ｘ
※８回コールド
（樽）山口・梅野－三浦
（医）渡邊－小林俊
☆三塁打　小林将（医）
☆二塁打　山内（商）、川代（医）
東京農業大学　１０２３０２０１０｜９
北海道教育大学札幌校　０６２０００３０×｜11
（東）杉山・阿部－吉見
（札）玉谷・金吉－佐藤
☆三塁打　三上（東）、佐藤（札）
☆二塁打　阿部・小林・杉山（農）
蟹谷・川浪・小野・佐藤（札）

◎６月20日
酪農学園大学　００２３１０11｜17
小樽商科大学　０１０００００｜１
※７回コールド
（酪）石田－友部
（樽）渡部－三浦
☆本塁打　友部（酪）
☆二塁打　友部２・山中・安藤・時田（酪）
北海道教育大学札幌校　１０００００２１０｜４
室蘭工業大学　００１００２０００｜３
（札）中村－佐藤
（室）竹森－鈴木
☆本塁打　東（室）
☆三塁打　山田（札）
☆二塁打　山崎（札）、菅原（室）

◎６月21日
北海道薬科大学　３００３１０２００｜９
北海道教育大学札幌校　１３００００１００｜５
（薬）工藤－高野
（札）柳川・金吉－佐藤
☆本塁打　葉山（薬）
☆二塁打　中道・吉田（酪）
金・柳川（札）

東京農業大学　３０００４６｜13
室蘭工業大学　０１０００１｜２
※６回コールド
（東）杉山－吉見
（室）菅原・中村・石黒－石黒・中村
☆二塁打　三上（農）

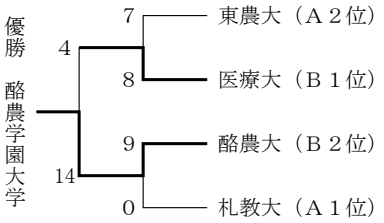
◎６月22日
東京農業大学　４８００３２０１｜18
北海道薬科大学　０８２０１０００｜11
※８回コールド
（東）片山－吉見
（薬）丸田・葉山・工藤－高野
☆本塁打　吉見（東）
☆三塁打　千田・佐藤・多間（薬）
☆二塁打　大聖・多間・葉山・佐藤２（薬）
北海道医療大学　０５４０２４｜15
酪農学園大学　３０１０００｜４
※６回コールド
（医）喜多・内沢－濱屋
（酪）石田・高橋－友部
☆本塁打　田丸（医）
☆三塁打　川代（医）
☆二塁打　武田（医）、山中（酪）

決勝トーナメント
◎６月23日
準決勝第１試合
北海道教育大学札幌校　００００００００｜０
酪農学園大学　００２２３２×｜９
※７回コールド
（札）金吉・玉谷－佐藤
（酪）石田－友部
☆本塁打　石田（酪）
☆二塁打　山崎（札）
友部・石田・安藤・柳沼（酪）

準決勝第２試合
東京農業大学　００３００００１０２１｜７
北海道医療大学　１０００２０２１０２ｘ｜８ｘ
※延長10回
（東）杉山・阿部・片山－吉見
（医）渡邊・小林将－小林俊
☆本塁打　三上（東）
☆二塁打　阿部（東）
川代・小林将２・武田（医）

決勝
酪農学園大学　４０２００４０４｜14
北海道医療大学　０００４００００｜４
※８回コールド
（酪）吉田－友部
（医）渡邊・内沢・喜多－小林俊
☆三塁打　川中（医）
☆二塁打　石田・中道（酪）

《最優秀選手賞》
石田総一郎（酪農学園大学）
《優秀選手賞》
渡邉　康介（北海道医療大学）
《優秀選手賞》
金　　啓太（北海道教育大学札幌校）
《打撃賞》
友部　力一（酪農学園大学）
打率0.538（13打数７安打）



Ａグループ	室工大	道薬科	札教大	東農大	勝点	総失点	総得点	順位
室工大		2－9 ●	3－4 ●	2－13 ●	0	26	7	4
道薬科	9－2 ○		9－5 ○	11－18 ●	6	25	29	3
札教大	4－3 ○	5－9 ●		11－9 ○	6	21	20	1
東農大	13－2 ○	18－11 ○	9－11 ●		6	24	40	2

※１、２、３位の順位は大会規定による

Ｂグループ	樽商大	医療大	酪農大	勝点	総失点	総得点	順位
樽商大		0－7 ●	1－17 ●	0	24	1	3
医療大	7－0 ○		15－4 ○	6	4	22	1
酪農大	17－1 ○	4－15 ●		3	16	21	2

春季入れ替え戦

○６月29日、30日
○野幌総合運動公園硬式野球場

１日目
◎６月29日
北星学園大学　１０００００００１０｜２
札幌医科大学　１００００３００×｜４
（北）富樫・木島－都
（札）銭谷－藤野
☆三塁打　森本（北）
札幌学院大学　００２０１０６０１｜10
酪 農 大 学　００２００１０１０｜４
（学）西田－小武
（酪）石田・高橋－友部
☆三塁打　瀬川・照井（学）
柳沼・高橋（酪）
☆二塁打　佐橋・居石・小野・山崎（学）

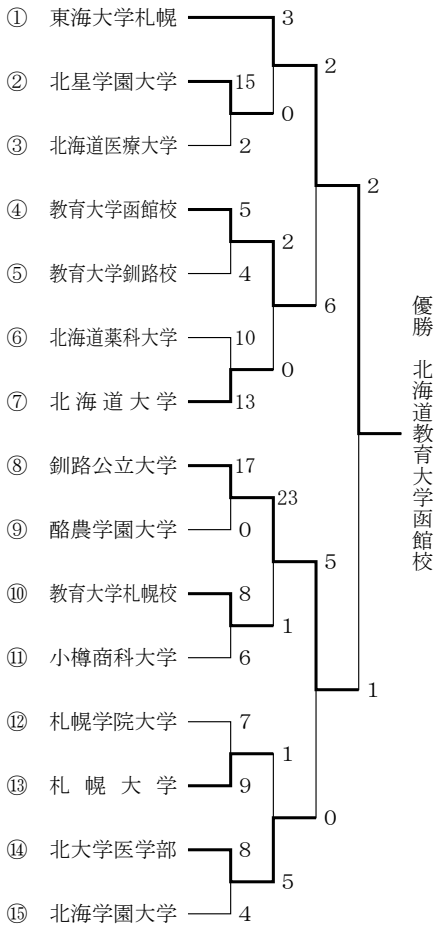
札幌医科大学　０１１０１０００００｜３
北星学園大学　００１０００００１２ｘ｜４
（札）戸田－藤野
（北）中銭－都
☆二塁打　桐澤（札）

２日目
◎６月30日
札幌学院大学　１０００００３００｜４
酪 農 大 学　０００１１０１００｜３
（学）萩野・川崎－小武
（酪）吉田－友部
北星学園大学　０２００００００００｜２
札幌医科大学　２３１００１００×｜７
（北）富樫・木島－都
（札）銭谷－藤野
☆二塁打　濱岡２（札）、相良（北）

以上の結果、札幌医科大学は１部に、北星学園大学、札幌学院大学は２部に、酪農学園大学は３部に残留となりました。

北海道地区大学準硬式野球秋季大会

○９月６日～９月８日
○野幌総合運動公園硬式野球場
野幌総合運動公園軟式野球場
北広島市緑葉公園野球場



１日目
◎９月６日　野幌総合運動公園硬式野球場
北海道医療大学　２００００｜２
北星学園大学　２２８３×｜15
※５回コールド
（医）川代・小林・柳田・内沢－小野寺
（北）勾坂・近藤・木島－田村
☆本塁打　田村（北）
北海道教育大学函館校　１２００００１００１｜５
北海道教育大学釧路校　００１００００３０００｜４
※延長10回
（函）銭谷・西村－橋本
（釧）平山－澤村
☆三塁打　富田（釧）
☆二塁打　敬礼・千葉（函）
高橋謙・千葉（釧）
北 海 道 大 学　００８０００２０３｜13
北海道薬科大学　１００２０２２３０｜10
（北）萩原・太田・松本－松元
（薬）工藤－伊藤
☆本塁打　菊池（北）
☆二塁打　前川２・松元・艸場（北）
多間・中辻・大聖（薬）

◎９月６日　野幌総合運動公園軟式野球場
釧路公立大学　７２３４１｜17
酪農学園大学　００００００｜０
※５回コールド
（釧）伊藤・中上・中村－小野寺
（酪）安藤・青野－友部
☆三塁打　火石２・和田（釧）、青野（酪）
☆二塁打　八木澤・和田・伊藤・林・
中上（釧）、友部（酪）
小樽商科大学　５０００００００１０｜６
北海道教育大学札幌校　４３０００１００×｜８
（樽）土肥・山口・梅野－山口・平野・山本
（札）中村－伊藤
☆二塁打　山口（樽）

◎９月６日　北広島市緑葉公園野球場
札 幌 大 学　０２１００２４００｜９
札幌学院大学　１２１１０１１００｜７
（札）樋渡・大野－中村
（院）西田・萩野－池田
☆本塁打　渡辺（札）、佐橋（院）
☆二塁打　伊藤（札）
中嶋・佐橋・平井・三浦（院）
北海道大学医学部　０００００００３１４｜８
北海学園大学　００２００１００１０｜４
※延長10回
（医）田村・石橋・沼口－藤井
（学）中村隆・中村綾・森・蜂谷－蜂谷・尾崎
☆本塁打　沼口２（医）
☆二塁打　沼口（医）
蜂谷・岡本・尾崎（学）

２日目
◎９月７日　野幌総合運動公園硬式野球場
釧路公立大学　２４１４３０｜23
北海道教育大学札幌校　１００００｜１
※５回コールド
（釧）伊藤・中上－小野寺・槻舘
（札）大塚・柳川・蟹谷・玉谷－佐藤
☆三塁打　火石・小野寺・玉澤（釧）
☆二塁打　伊藤・中村２・玉澤・小野寺（釧）
長野（札）
北海道大学医学部　０００００３０１１｜５
札 幌 大 学　０００００００１００｜１
※５回コールド
（医）沼口・石橋－藤井
（札）斎藤・大野－中村
☆二塁打　安井・熊谷・石津・河野（医）

◎９月７日　野幌総合運動公園軟式野球場
北星学園大学　０００００００００｜０
東海大学札幌　０２０００１０００｜３
（北）木島－田村
（東）芦野・浜田－高橋
☆本塁打　高橋（東）
☆三塁打　久保田（東）
☆二塁打　高橋（東）
北海道教育大学函館校　１０００００００１０｜２
北 海 道 大 学　０００００００００｜０
（函）西村－橋本
（北）松本－松元
☆二塁打　銭谷（函）

◎９月８日　野幌総合運動公園硬式野球場
準決勝
北 海 道 大 学　０００００００００｜０
釧路公立大学　０００００３００１×｜４
（北）榎本・福島－松元
（釧）菊池－古川
☆二塁打　八木澤・釜萢（釧）

◎９月８日　野幌総合運動公園軟式野球場
準決勝
北海道教育大学函館校　４０００１０００１｜６
東海大学札幌　０００００２０００｜２
（函）銭谷・西村－橋本・大里
（東）浜田・池田・方波見－高橋
☆三塁打　敬礼・関口（函）
☆二塁打　敬礼・橋本・及川（函）
準決勝
釧路公立大学　０００２２０００１｜５
北海道大学医学部　０００００００００｜０
（釧）伊藤－小野寺
（医）田村・石橋－藤井
☆二塁打　釜萢２・玉澤（釧）
決勝
北海道教育大学函館校　１０００００１００｜２
釧路公立大学　０００００００１０｜１
（函）銭谷・西村－橋本
（釧）伊藤－小野寺
☆二塁打　敬礼（函）、中村・中上（釧）

【優　勝】北海道教育大学函館校
【準優勝】釧路公立大学
【第３位】東海大学札幌、北海道大学医学部

【個人賞】
最優秀選手賞：西村　和真
（北海道教育大学函館校）
優 秀 選 手 賞：伊藤　優真（釧路公立大学）
優 秀 選 手 賞：敬礼　達也
（北海道教育大学函館校）
打　撃　賞：火石　正太（釧路公立大学）
14打数７安打
打率５割　打点９

平成25年度
東 北 地 区 大 会 成 績

全東北選抜

春季リーグ戦　仙台リーグ

◎４月13日　東北学院笠神球場
第１試合
東北薬科大学　０００１０｜１
富 士 大 学　６１４０×｜11
（５回コールド）
（東薬）佐藤（陽）・太田－赤石
（富士）佐藤・熊谷・○和田－菊池・氏家
☆本塁打　村上（祐）（富）
☆三塁打　小原×２（富）
☆二塁打　佐藤（惇）・石川（富）
（戦評）終始富士大学が流れをつかんだ試合になった。初回に６点を奪うなど怒涛の攻撃を見せた。東北薬科大学も４回に１点を返すも５回コールドゲームとなった。

第２試合
東 北 大 学　１０００１５００１｜８
福 島 大 学　０００４０２００３x｜９
（東北）山本－中野
（福島）工藤・○緑川－小池
☆二塁打　吉井（東）、東海林・大槻（福）
（戦評）中盤に大きく試合が動いた。福島大学の先発工藤が捕まるも二番手の緑川が粘りのピッチングを見せた。２点を追う９回にチャンスをものにし逆転サヨナラ勝ちとした。東北大学の山本は最後まで投げきるが、最後に力尽きた。

第３試合
東北学院大学　００３０００００１｜４
仙 台 大 学　２０００３０１０×｜６
（学院）前田・高橋（拳）・小畑－水戸・渡邊
（仙台）○高崎－鈴木
☆三塁打　高橋（巧）（学）
☆二塁打　大友・藤田（学）、小山（仙）
（戦評）仙台大学が初回に先制し、その後も中押し、ダメ押し点を取るなど理想的な展開で勝利をつかんだ。

◎４月14日　東北学院笠神球場
第１試合
富 士 大 学　100３００｜13
東北薬科大学　０００２１x｜３
（５回コールド）
（富士）中坂・千葉・○小池－氏家・田頭
（東薬）三橋・太田－赤石
☆三塁打　氏家（富）
☆二塁打　伊藤×２・中坂（富）
片岡（薬）
（戦評）この試合も富士大学の先制攻撃が試合を決定づけた。初回に10点を奪うと危な気ない試合運びで２連勝とし、勝ち点を得た。

第２試合
福 島 大 学　１１６００２９｜19
東 北 大 学　４００００００x｜４
（７回コールド）
（福島）○緑川－小池
（東北）永久・山崎・永久－中野
☆三塁打　小池（福）
☆二塁打　菅原・東海林×２・小野寺・大槻（福）、吉井・永久（東）
（戦評）前日とは打って変わって大味な試合となった。福島大学が大量19点を奪っての大勝。東北大学は初回に４点を奪うも後が続かなかった。

第３試合
仙 台 大 学　０２０３０２０００｜７
東北学院大学　０００２００００｜２
（仙台）○関根（敏）・佐藤（純）－鈴木（翔）
（学院）小畑・高橋（拳）－水戸
☆三塁打　鈴木（郁）（仙）、大友（学）
（戦評）この試合も仙台大学が終始流れをつかんだ試合となった。東北学院大学はちぐはぐな攻撃が多く、手痛い連敗となった。

◎４月20日　クリネックススタジアム宮城
第１試合
東 北 大 学　０００３０００００｜３
東北学院大学　０００００１５８x｜14
（８回コールド）
（東北）山本・永久－今井
（学院）高橋（拳）・○小畑－水戸・菅原
☆三塁打　谷島（東）、高橋（拓）（学）
☆二塁打　清水（東）
小畑・尾池・村上（学）
（戦評）この日はクリネックススタジアム宮城での試合。東北大学が４回に３点を先制するも、その後東北学院大学が怒涛の反撃、終わってみれば８回コールドゲームで東北学院大学が今季初勝利を収めた。

第２試合
東北薬科大学　１０００１００００｜２
福 島 大 学　２０００２１２０×｜７
（東薬）柏倉・太田－赤石
（福島）工藤・○緑川－小池・坂本
☆三塁打　佐藤（薬）
☆二塁打　東海林（福）
（戦評）福島大学が工藤・緑川の継投で手堅く勝利をものにした。東北薬科大学は初回に先制するも、福島大学を打ち崩すことができなかった。

第３試合
富 士 大 学　０００００２００１０｜３
仙 台 大 学　１００００３１０×｜５
（富士）渡辺・和田・中坂－氏家
（仙台）○高崎・佐藤（純）－鈴木
☆三塁打　高橋（富）、小山・岩本（仙）
☆二塁打　山内
（戦評）仙台大学が効果的に得点を重ねて勝利を手にした。富士大学は５回に逆転するも、投手陣が踏ん張ることができなかった。

◎４月22日　東北学院笠神球場
第１試合
福 島 大 学　２００１１４０｜８
東北薬科大学　０００００００x｜０
（７回コールド）
（福島）○上林・沢里・上林－坂本
（東薬）佐藤－赤石
☆二塁打　工藤・坂本（福）
片岡・小野（薬）
（戦評）福島大学が３人の継投で東北薬科大学を０点に抑え、打線も６回までに８点を奪い快勝した。

第２試合
仙 台 大 学　０００４００２｜６
富 士 大 学　２４４１０１１x｜13
（７回コールド）
（仙台）関根・佐藤（純）－鈴木
（富士）○佐藤（涼）－氏家
☆本塁打　小山・岩本（仙）
村上×２・高橋・照井（富）
☆二塁打　佐藤（純）（仙）
小原・石川・氏家・佐藤(涼)（富）
（戦評）前日とは打って変わって富士大学が試合を支配した。３回までに10点を奪い試合を決定づけた。

◎４月27日　東北学院笠神球場
第１試合
仙 台 大 学　５００３１１４｜14
東北薬科大学　０００００１００x｜１
（７回コールド）
（仙台）増尾・○高崎・佐藤（純）－鈴木
（東薬）小野・柏倉－赤石
☆本塁打　西内（仙）
☆三塁打　小山（仙）
☆二塁打　山本・佐藤（純）（仙）
小野寺（薬）
（戦評）仙台大学が終始試合を支配する展開となった。攻撃陣が大量点を取り、投手陣は継投で計１失点。手堅く勝利した。

第２試合
東 北 大 学　００００００｜０
富 士 大 学　３００２５x｜10
（５回コールド）
（東北）永久－今井
（富士）○渡辺－氏家
（戦評）初回に３点を奪った富士大学がそのまま流れをつかんだ。４回と５回に計７点を奪い５回コールドゲームとなった。

第３試合
東北学院大学　００３１００６２５｜17
福 島 大 学　３１００００２００｜６
（学院）○前田・小畑－菅原
（福島）工藤・緑川－坂本
☆本塁打　作間（学）、東海林（福）
☆三塁打　菅原（学）、大槻（福）
☆二塁打　作間・高橋（拓）・大友（学）
木内・東海林（福）
（戦評）序盤は両チームともに点を取り合う展開だったが、終盤３イニングで東北学院大学が集中力を見せて福島大学を突き放した。

◎４月28日　東北学院笠神球場

第１試合

東北薬科大学	４	３	２	１	０	０	０	０		10
仙台大学	２	１	０	１	３	０	０	０	２x	18

（８回コールド）

（東薬）太田・柏倉－赤石

（仙台）関根（敏）・佐藤・増尾・山本・関根（悠）－鈴木・阿部・西内

☆本塁打　小木-仙

☆三塁打　三橋・片岡（薬）、土肥（仙）

☆二塁打　片岡（薬）、土肥（仙）

（戦評）東北薬科大学が４回までに10点を取る猛攻を見せたが、その後は仙台大学の継投の前に沈んだ。仙台大学は２回に大量10点で試合を決定づけた。

第２試合

富士大学	１	０	０	０	０	１	２	０	５	９
東北大学	３	０	０	０	０	０	０	０	０	３

（富士）鈴木（克）・和田－氏家

（東北）山本－中野

☆本塁打　中野・富田（東）

☆三塁打　和田（富）

☆二塁打　氏家・小原（富）

（戦評）両チームともに点を取り合う展開のなか、富士大学が最終回に５点を取り突き放した。東北大学は２本の本塁打を放つなど地力を見せるが最後に力尽きた。

第３試合

福島大学	０	０	０	０	０	０	３	０	０	３
東北学院大学	０	１	４	０	１	２	０	０	０	８

（福島）緑川－小池

（学院）高橋（拳）－水戸

☆二塁打　菅原・小畑×２・作間（学）小野寺（福）

（戦評）東北学院大学が序盤に福島大学先発の緑川を攻略して勝利した。

◎４月29日　東北学院笠神球場

第１試合

東北学院大学	１	０	０	０	２	２	２			7
東北大学	０	０	０	０	０	０	０			0

（７回コールド）

（学院）前田－水戸

（東北）山崎・永久－中野

☆三塁打　高橋（巧）（学）

☆二塁打　大友（学）

（戦評）東北学院大学が盤石の試合運びで勝利した。打撃陣が先制中押しダメ押しを決め、投げては先発の前田が完封勝利。

第２試合

富士大学	１	０	０	０	０	０	０	０	０	1
仙台大学	０	０	０	０	１	１	０	０	×	2

（富士）佐藤・中坂－氏家

（仙台）高崎－鈴木

☆二塁打　氏家（富）

（戦評）非常に引き締まった試合となった。中盤のワンチャンスをものにした仙台大学に軍配が上がった。

◎５月４日　東北学院笠神球場

第１試合

東北薬科大学	０	０	０	０	０	０	０	０		0
東北大学	０	２	１	３	２	１	×			9

（７回コールド）

（東薬）柏倉・太田－赤石

（東北）山本－中野

☆三塁打　清水（東）

☆二塁打　中村・山本・清水（東）小野（薬）

（戦評）東北大学が初回以外の全イニングで得点する猛攻を見せ勝利した。

第２試合

仙台大学	０	１	０	２	１	１	０	０	０	5
福島大学	０	０	２	１	２	０	０	０	１x	6

（仙台）高崎－鈴木（翔）

（福島）工藤・緑川－小池・坂本

☆三塁打　高崎・戸石（仙）

☆二塁打　木内・東海林（福）

（戦評）両チームともに点を取り合った一戦。最後は福島大学がサヨナラで勝利をもぎ取った。

第３試合

東北学院大学	０	１	２	１	０	０	０	０	０	4
富士大学	０	０	０	１	０	０	２	０	０	3

（学院）高橋（拳）・小畑－水戸・菅原

（富士）中坂・渡辺－氏家

（戦評）この試合も前の試合と同じく一点を争う試合となった。序盤に奪った４点を守り切った東北学院が制した。

◎５月５日　東北学院笠神球場

第１試合

東北大学	１	０	０	０	３	１	５			10
東北薬科大学	２	０	０	０	０	０	０			2

（７回コールド）

（東北）山崎・永久－中野

（東薬）小野・佐藤－赤石

☆二塁打　中野・谷島・永久（東）片岡（薬）

（戦評）５回からの３イニングに９点を奪った東北大学が試合を制した。

第２試合

福島大学	０	０	０	０	０	４	０	０	０	０	３	7
仙台大学	１	１	０	０	１	０	１	０	０	０	２	6

（延長12回）

（福島）工藤・緑川－小池・坂本

（仙台）関根(敏)・須藤・佐藤－鈴木（翔）

☆本塁打　大槻（福）

☆三塁打　工藤・大槻（福）

☆二塁打　東海林（福）、戸石（仙）

（戦評）前日に引き続き一点を争い延長戦の戦い。12回に均衡が破れ、福島大学が熱戦を制した。

第３試合

富士大学	０	０	１	０	１	０	０	０	１	3
東北学院大学	０	０	０	１	０	０	０	０	１	2

（富士）佐藤（涼）－氏家

（学院）前田・小畑－水戸・菅原

☆二塁打　小原・村上（祐）（富）小畑（学）

（戦評）互いに少ないチャンスのなかで、その１点を守った富士大学が勝利。前日に引き続き１点差の試合となった。

◎５月６日

東北学院大学	１	２	０	３	０	０	０	１	１	8
富士大学	０	１	０	０	０	１	０	１	０	3

（学院）高橋（拳）・小畑－水戸・菅原

（富士）渡辺・和田－氏家

☆本塁打　小野（学）

☆三塁打　高橋拓・小畑（学）

☆二塁打　小畑・信夫・藤田・大友（学）

（戦評）東北学院大学が５回まで毎回安打で６点をとった。富士大学も反撃するも及ばず、学院大学の勝利。

◎５月11日

第１試合

東北薬科大学	２	０	０	０	３					5
東北学院大学	５	５	０	２	３					15

（５回コールド）

（東薬）牟田、太田－赤石

（学院）佐藤、高橋（拳）－渡邊、水戸

☆二塁打尾池（学）、水戸（学）

（戦評）東北学院大学が10安打15得点で５回コールドと強さを見せつけた。

	富士大	福島大	学院大	東北大	仙台大	薬科大	勝敗	勝点率	順位
富士大		16－5○ 7－0○	3－4● 3－2○ 3－8●	10－0○ 9－3○	3－5● 13－6○ 1－2●	11－1○ 13－3○	８勝４敗	3 0.666	3
福島大	5－16● 0－7●		6－17● 3－8●	9－8○ 19－4○	6－5○ 7－6○	7－2○ 8－0○	６勝４敗	3 0.600	4
学院大	4－3○ 2－3● 8－3○	17－6○ 8－3○		14－3○ 7－0○	4－6● 2－7●	15－5○ 15－0○	８勝３敗	4 0.727	1
東北大	0－10● 3－9●	8－9● 4－19●	3－14● 0－7●		2－10● 4－11●	9－0○ 10－2○	２勝８敗	1 0.200	5
仙台大	5－3○ 6－13● 2－1○	5－6● 6－7●	6－4○ 7－2○	10－2○ 11－4○		14－1○ 18－10○	８勝３敗	4 0.727	2
薬科大	1－11● 3－13●	2－7● 0－8●	5－15● 0－15●	0－9● 2－10●	1－14● 10－18●		０勝10敗	0.000	6

第２試合
仙 台 大 学　５３１１０００｜10
東 北 大 学　０００２０００｜２
（７回コールド）
（仙台）関根・佐藤－鈴木
（東北）永久・名越－中野
☆三塁打　元由（東）
☆二塁打　谷島・中村（東）
（戦評）東北大学の投手陣が踏ん張れず四死球を多く出し、７回コールドとなった。

第３試合
富 士 大 学　２０１０１１５６｜16
福 島 大 学　００３０００２０｜５
（８回コールド）
（富士）佐藤涼、渡辺－氏家
（福島）工藤・緑川・市村－小池・坂本
☆三塁打　小原・室・石川・佐藤惇（富）
☆二塁打　小原２・村上祐（富）
菅原・三浦（福）
（戦評）富士大学が７回と８回に猛攻を見せて16点を奪い勝利。

◎５月12日
第１試合
東北学院大学　13０２００｜15
東北薬科大学　００００００｜０
（５回コールド）
（学院）前田・高橋（拳）－水戸・菅原
（東薬）柏倉・太田－赤石
☆二塁打　高橋拓・小野・水戸（学）
（戦評）東北学院大学が１回に13点をとる猛攻で試合を確定させた。

第２試合
東 北 大 学　０２１１０００｜４
仙 台 大 学　３２２２２０×｜11
（７回コールド）
（東北）名越・山本－中野
（仙台）佐藤－鈴木
☆三塁打　山本（東）
☆二塁打　吉井・中村・山本（東）
小山・鈴木・山本（仙）
（戦評）仙台大学が５回まで毎回得点で11点を奪い７回コールドとなった。

第３試合
福 島 大 学　０００００００｜０
富 士 大 学　０００１０１１４｜７
（８回コールド）
（福島）工藤・緑川－小池・坂本
（富士）和田－氏家
☆二塁打　村上蓮（富）
（戦評）富士大学が８回に５連打で４点をとり８回コールドになった。

◎５月18日
東北学院大学　０１０１０００１３｜６
仙 台 大 学　０００００１００３０｜４
（東学）高橋（拳）・小畑－水戸・菅原・渡邊
（仙台）高崎－鈴木（翔）
☆二塁打　高橋拓（学）
小山２、鈴木郁（仙）
（戦評）東北学院大学が８回までにそつなく攻め３－１でリードした８回裏、サードの２つのエラーで逆転を許す。９回表のツーアウトから東北学院大学は逆転に成功。仙台大学は一歩及ばず東北学院大学の勝利。

春季リーグ戦　東北リーグ一部

◎４月13日　涌谷球場
学院工　０００００９２｜11
東北医　０００００１０｜１（６回コールド）
（東）吉田・阿部－杉山
（医）荒川・藤沢・岡本－加藤
岩手大　０００００００｜０
青森大　００３５００×｜８
（７回コールド）
（岩）小野寺－渡部
（青）泉谷・澤田・木村－川村
☆三塁打　石川・渋谷（青）

◎４月14日　東北学院工学部グラウンド
青森大　５４２３０｜14
岩手大　００００１｜１（５回コールド）
（青）藤沢・澤田・菅野・樋口－川村
（岩）加藤－渡部
☆本塁打　渡辺（青）
☆二塁打　石川・渡邉（青）、加藤（岩）
東北医　０１２０４０２１１｜11
学院工　０４２２０００２２｜12
（医）田崎・荒川－加藤
（学）阿部・吉田－杉山
☆三塁打　那波・齊藤・加藤（医）
☆二塁打　那波・加藤（医）、杉山（学）

◎４月20日　涌谷球場
学院工　２００３００３００｜８
青森大　２３１２１０００×｜９
（学）阿部－木村
（青）泉谷・木村・藤沢－川村
☆三塁打　菅原・佐藤駿（学）
佐藤・川村（青）
☆二塁打　木村（学）、石川（青）
東北医　００１００２２１０｜６
福島医　０００００２１２０｜５
（医）加藤－田崎
（福）大貫・町野－高崎
☆三塁打　兼子・大貫（福）
☆二塁打　藤澤（医）

◎４月27日　福島県立医科大学グラウンド
学院工　０１１０１０００１１｜５
福島医　０００００００２２０｜４
（学）吉田－杉山
（福）佐藤・福田・町野－高崎
☆本塁打　佐藤隼・杉山・吉田（学）
☆二塁打　越後・菅原・吉田・和田（学）
町野・大貫（福）
岩手大　００００２０｜２
東北医　０３５２２｜12（５回コールド）
（岩）加藤・鈴木－渡部
（医）田崎－加藤
☆本塁打　渡部（岩）
荒川・力山・那波（医）
☆二塁打　田崎・壽（岩）
杉本・佐藤将（医）

◎４月28日　福島県立医科大学グラウンド
福島医　０１０００２０３０｜６
学院工　００１０２０１００｜４
（福）大貫・桐花・福田－高崎
（学）阿部・吉田・越後－杉山
☆本塁打　大貫・桐花（福）
佐藤琢（学）
☆二塁打　町野（福）、小池（学）
東北医　２００３０００｜５
岩手大　３０４１０２０２｜12
（７回コールド）
（医）荒川・田崎－加藤
（岩）小野寺－渡部
☆本塁打　齊藤・鈴木（医）
☆二塁打　小野寺（岩）、杉本・藤澤（医）

◎５月５日　玉松台野球場
福島医　１０００００００｜１
岩手大　３００２０３×｜８
（７回コールド）
（福）佐藤・大貫－高崎・高橋
（岩）小野寺－渡部
☆二塁打　渡部・松田（岩）
青森大　３０２１２３｜11
東北医　０００００００｜０（６回コールド）
（青）泉谷－川村
（医）田崎・荒川－加藤
☆二塁打　渡辺（青）、力山（医）

◎５月11日　玉松台野球場
岩手大　２１２０００４０２｜11
学院工　００４０００００２｜６
（岩）小野寺－渡部
（学）阿部・越後－飯田
☆三塁打　田嶋・松田（岩）
☆二塁打　杉本・田嶋・小野寺・松田２・
神馬（岩）、越後（学）
福島医　２３１４００２０｜12
青森大　０５０１００３10｜19
（８回コールド）
（福）福田・大貫・佐藤・桐花－高橋
（青）藤沢・樋口―川村
☆本塁打　渋谷（青）
☆三塁打　高橋・渡邉（福）
☆二塁打　兼子・福田（福）
渡邉・岩谷（青）

◎５月12日　玉松台野球場
青森大　１１０６１１２｜12
福島医　０００１００２｜３
（７回コールド）
（青）泉谷－川村
（医）大貫－高橋
☆三塁打　石川（青）
☆二塁打　渡辺（青）、大貫・渡邉（福）
学院工　１００２０００｜３
岩手大　２４２２００×｜10
（７回コールド）
（学）小池・阿部・吉田－飯田
（岩）加藤－渡部
☆三塁打　神馬（岩）
☆二塁打　飯田・佐藤隼（学）
鈴木・小野寺（岩）

◎５月18日　南郷球場

福島医	００１００２６	９
東北医	０２０００００×	２

（８回コールド）

（福）大貫－高橋
（医）田崎・藤澤・荒川－加藤
☆本塁打　田崎（医）
☆二塁打　兼子・町野（福）、田崎（医）

青森大	２１２３３	11
学院工	００００１	１（５回コールド）

（青）藤沢－佐藤
（学）越後－杉山
☆三塁打　岩谷（青）
☆二塁打　渋谷（青）

◎５月19日　南郷球場

東北医	２００００	２
青森大	００10０２	12（５回コールド）

（医）荒川－辻
（青）泉谷－川村
☆本塁打　齊藤（医）
☆二塁打　渋谷・横谷（青）

岩手大	０００００００２	２
福島医	００２０００００１	３

（岩）小野寺－渡部
（福）兼子・福田－高橋
☆二塁打　阿部（福）

○表彰選手
最優秀選手　泉谷　優斗（青森大）
最優秀投手　泉谷　優斗（青森大）
敢　闘　賞　吉田　　峻（学院工）
　　大貫　祐輝（福島医）
首 位 打 者　岩谷　挙悟　.529（青森大）

○ベストナイン
投　手　泉谷　優斗（青森大）
捕　手　川村　栄貴（青森大）
一塁手　松田　和也（岩手大）
二塁手　壽　　悠貴（岩手大）
三塁手　神馬　良典（岩手大）
遊撃手　石川　大湖（青森大）
外野手　岩谷　挙悟（青森大）
外野手　渋谷　隆広（青森大）
外野手　力山　真樹（東北医）

春季リーグ戦を振り返って

青森大学準硬式野球部
主将　泉谷　優斗

新チームになり、新たな主将が決まる瞬間、私の名前が上がり、その時の気持ちは正直「嘘だろ！自分で本当に良いのか」という気持ちと主将になったからにはチームをまとめなければいけないという責任の重さで不安の気持ちがいっぱいでした。新チームの初めての試合は秋季リーグ戦でした。秋季リーグ戦は、４勝０敗で優勝することができました。しかし、次の関口杯のトーナメントでは、仙台大に初戦コールド負け、また２年連続の初戦負けと非常に悔しい思いをしました。その時に感じたことは、主将としてもっとチームをまとめることと、もっと必死に練習をしなければいけないということでした。

青森の長い冬の間、初心に戻り１から自分たちを見つめなおし、基礎の徹底を中心に工夫をして練習に取り組みました。また、監督さんから、「新チーム当初に比べると、チームとしてまとまってきた」と言われ、主将として嬉しかったのと同時にチームとしても雰囲気に変化が見られるようになりました。

春季リーグ戦開幕の４月、例年にないほどの豪雪でグラウンドの雪が解けず、思うような練習はできませんでした。その中でも学校の駐車場でのキャッチボールやノック、雪の上でのバッティングやノックと工夫を凝らしながら練習を行いました。実践型式や連係プレー等の不安があったままのリーグ戦開幕で、危なげない試合もあったものの優勝し全日本の代表決定戦へ出場することができました。代表決定戦では、東北学院に１勝２敗とあと一歩のところで負けてしまいました。気持ちを切り替え２年連続の清瀬杯出場を懸けた試合に望んだものの、富士大学に３－２とこれもまた一歩のところで負けてしまいました。

後輩たちには、この悔しい結果をこれからのチームの土台としてチーム力を上げ、来年こそは全国大会に出場できるように頑張ってもらいたいです。

最後になりましたが、監督さんや部長先生、各理事の・学生理事の皆さま、チームメイト、多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

１部リーグ	青 森 大	福島医科大	学院大工学部	東北大医学部	岩 手 大	勝　敗	得失点	順位
青　森　大		19－12○ 12－３○	９－８○ 11－１○	11－０○ 12－２○	８－０○ 14－１○	８勝０敗	79	1
福島医科大	12－19● ３－12●		４－５● ６－４○	５－６● ９－２○	０－７● ３－２○	３勝５敗	－15	4
学院大工学部	８－９● １－11●	５－４○ ４－６●		11－１○ 12－11○	４－11● ３－10●	３勝５敗	－15	3
東北大医学部	０－11● ２－12●	６－５○ ２－９●	１－11● 11－12●		12－２○ ５－12●	２勝６敗	－35	5
岩　手　大	０－８● １－14●	７－０○ ２－３●	２－12● 12－５○	11－４○ 10－３○		４勝４敗	22	2

春季リーグ戦　東北リーグ二部

◎４月14日　涌谷球場

文化大	０００００００１１	２
東工大	００００３１０３×	７

（文）三船－高橋（幸）
（工）渡邉－平
☆二塁打　佐藤(拓)２・北谷・佐藤(和)・山田（工）

山大医	００２０２０３４１	12
東工大	０１０２００２１０	６

（山）櫻井・大関－高崎
（工）佐藤・渡邉－平
☆二塁打　須田・高崎・大関・櫻井（山）
北谷（工）

◎４月27日　福島県立医科大学グラウンド

文化大	１０１００１０００	３
山大医	０１０１２１０１×	６

（文）佐藤・三船－高橋（幸）
（山）大関・白川－高崎
☆本塁打　遠藤・菊池・桜井（山）
☆二塁打　高崎・桜井・真島・佐藤(健)（山）

◎４月28日　福島県立医科大学グラウンド

山大医	００１０１０３１０１	７
文化大	００２０３１０００００	６

（山）桜井・白川・大関－高崎
（文）三船・木藩－高橋（幸）
☆二塁打　菊池・高橋・白川（山）

◎５月11日　南郷球場

東工大	６６２００	14
山大医	０１３００	４（５回コールド）

（工）渡邉－平
（山）佐藤・三船－高橋（幸）
☆三塁打　山田・佐藤（拓）（工）
高橋（山）
☆二塁打　若山・渡邉・山田（工）

◎５月18日　南郷球場

東工大	１２００１０１３０	８
山大医	０００２００００００	２

（工）渡邉－平
（山）桜井－新井
☆三塁打　山田（工）
☆二塁打　高崎（山）

春季リーグ戦　入れ替え戦

◎６月15日　南郷球場

東工大　０００００１０００｜１
東北医　０００００２３×｜５
（工）渡邉－平
（医）荒川－加藤
☆三塁打　加藤（医）
☆二塁打　今野・佐藤（将）（工）
力山・加藤（医）

東北医　１１００２０１１０｜６
東工大　１００００１００｜２
（医）領木－加藤
（工）管・阿部・渡邉－平
☆二塁打　佐藤（将）・平（工）

※東北医が２勝で１部残留

清瀬杯代表決定戦

◎６月１日
１試合目
富士大学　１０００００１００１｜３
青森大学　０００００２００００｜２
（富士）泉谷－川村
（青森）和田・渡辺－氏家
☆本塁打　高橋（富）
☆三塁打　和田（富）
☆二塁打　高橋（富）
石川・佐藤・渡邉（青）
（戦評）富士大学が先制し投手戦が続いた６回裏青森大学が逆転し７回にすぐ富士大学が追いついた。延長10回表富士大学の４番高橋がホームランを打ち決勝点となった。

２試合目
仙台大学　１０００２０１００｜４
岩手大学　００１０００１００｜２
（仙台）関根・佐藤－鈴木
（岩手）小野寺－渡部
☆三塁打　岩本（仙）
（戦評）仙台大が５回に７番安部のタイムリーヒットで逆転し７回にも１点を加え逃げ切った。

◎６月２日
１試合目
富士大学　１０１０００００｜２
仙台大学　１０１００１００×｜３
（富士）佐藤・中坂－氏家
（仙台）須藤・関根－鈴木翔
☆二塁打鈴木郁（仙）、氏家・石川（富）
（戦評）どちらも一歩も譲らない試合。６回裏に仙台大学６番安部のタイムリーヒットが決勝打になった。

秋季リーグ戦　仙台リーグ

◎９月７日
第１試合
福島大学　０００００００１０｜１
仙台大学　００２００００×｜２
（福島）緑川－木下
（仙台）須藤・関根（敏）・高崎－福田
☆二塁打　福田－（仙）
（戦評）仙台大学は３回裏に２点を先制し、その後３人の継投で逃げ切った。福島大学は８回にミスで１点を返し、９回にもチャンスを広げるが、あと１本が出ず涙をのんだ。

第２試合
富士大学　２００００３１０｜６
東北大学　００２０００５０×｜７
（富士）鈴木・和田－氏家
（東北）名越・山崎－中野
☆本塁打　富田（東）
（戦評）初回富士大学が相手のエラーと四死球で２点先制。３回に東北大学も追いつく。６回までは投手戦であったが７回富士大学が３点を取り逆転に成功したが、その裏四球とエラーで２点を返し、４番の３ランホームランで一挙に５点をあげ東北大学が逆転した。８回表に１点を返すも及ばず東北大学が接戦をものにした。

第３試合
東北学院大学　０１００１３３｜８
東北薬科大学　００００００００｜０
（７回コールド）
（学院）前田－菅原
（薬科）栃窪－赤石
☆三塁打　大友・木村（学）
☆二塁打　高橋（拓）２・信夫（学）
（戦評）学院大学は２回に先制点を奪い、その後は守備のリズムを作り、流れを渡さずコールドで試合を決めた。

◎９月14日
第１試合
東北大学　１５１５１｜13
東北薬科大学　３００００｜３
（５回コールド）
（東北）山本、谷島－佐々木
（薬科）栃窪、赤羽－赤石
☆本塁打　名越（東）
☆三塁打　名越・澤田（東）
☆二塁打　谷島・中川・澤田・富田（東）
三橋（薬）
（戦評）東北大１点先制。その裏薬科大も３点を取り逆転をするが、東北大の強烈打戦で13点をとり５回コールドとなった。

第２試合
福島大学　０００００００００｜０
東北学院大学　００１０２０００×｜３
（福島）市川、鈴木－木下
（学院）鈴木、前田－菅原、渡邊
（戦評）学院の投手鈴木と前田がいい投球をみせて0封。エラーもあり得点した。

２部リーグ	東北工業大	山形大医学部	東北文化大	勝　敗	得失点	順位
東北工業大		６－12● ８－２○	７－１○ 14－１○	３勝１敗	19	1
山形大医学部	12－６○ ２－６●		６－３○ ７－６○	３勝１敗	６	2
東北文化大	１－７● ４－14●	３－16● ６－７●		０勝４敗	－30	3

第３試合
富 士 大 学　１２１１０１０００｜６
仙 台 大 学　１０２０００００１０｜４
（富士）佐藤・和田－氏家
（仙台）須藤・関根・高崎－福田
☆本塁打　福田（仙）
☆三塁打　木村（富）
☆二塁打　中坂（富）、小山（仙）
（戦評）前半戦は点の取り合い。そつなく点を積み重ねた富士大が逃げ切り勝利。

◎９月15日
第１試合
仙 台 大 学　０３１０００２００｜６
東 北 大 学　１００００００００×｜１
（仙台）須藤・高崎・関根・佐藤－福田
（東北）名越－中野
☆三塁打　鈴木・小山（仙）、清水（東）
☆二塁打　佐々木（東）
（戦評）東北大が先制したものの四死球と相手のエラーを活かして勝利。

第２試合
東北薬科大学　００００００｜０
福 島 大 学　１２２００｜５
（降雨５回コールド）
（東薬）赤羽、曽我－赤石
（福島）上柿、市村－木下
☆三塁打　菅原（福）
☆二塁打　遠藤・沢里（福）
（戦評）福島大がヒット４本で５得点。規定により５回雨天コールド。

◎９月21日
第１試合
東 北 大 学　０００１００００００｜１
福 島 大 学　２００００００００×｜２
（東北）名越－中野
（福島）市川・市村－沢里・木下
☆二塁打　中村（東）
（戦評）福島大が初回に２点先制。東北大も１点を返すも及ばず、福島大が辛勝した。

第２試合
富 士 大 学　５０１２１０２２０｜13
東北薬科大学　５２１０００００００｜８
（富士）熊谷・鈴木・和田－氏家
（東薬）栃窪・曽我－赤石
☆本塁打　山野辺(薬)
☆三塁打　照井（富）
☆二塁打　木村・照井２・村上（富）
（戦評）富士大は初回に５点を先制。しかし、裏に東北薬科大も５点を返した。その後は試合の流れを少しずつ掴んだ富士大が勝利した。

第3試合
東北学院大学　０００４２００００｜６
仙 台 大 学　３０００００１０１｜５
（東学）小畑－菅原
（仙台）関根－福田
☆三塁打　後藤（学）本田（仙）
☆二塁打　後藤（学）、小山・鈴木（仙）
（戦評）初回に仙台大学が３本のヒットで３点を先制。その後学院大学が３点差をひっくり返し６対５で勝利した。

◎９月22日
第１試合
東北学院大学　０１１０００｜11
東 北 大 学　０００００｜０
（５回コールド）
（東学）佐藤－渡邊
（東北）山本－中野
☆二塁打　作間・信夫（東学）
（戦評）東北学院大学が２回に10安打の集中打で11点をもぎ取り圧倒的強さを見せて勝利。

第２試合
東北薬科大学　３３００１００００１｜８
仙 台 大 学　００６１１２００×｜10
（東薬）赤羽－赤石
（仙台）小山・佐藤・福田－福田・舟山
☆三塁打　関根敏・本田（仙）２
☆二塁打　永澤（仙）
（戦評）序盤東北薬科大が６点を取りリードしていたが３回に仙台大学が一気に追いつく。そのあとも点をとりあったが仙台大学が一歩上回った。

第３試合
富 士 大 学　０００００００１０１４｜６
福 島 大 学　０００００１００００１０｜２
（延長11回）
（富士）佐藤涼－氏家
（福島）緑川・鈴木・市川・市村－沢里
☆二塁打　照井・村上（富）
（戦評）戦が続き１点ずつ取り延長戦へ。11回に富士大学が相手の四死球をいかして一挙に４点追加。そのまま逃げ切り接戦を制した。

◎９月23日
第１試合
東北学院大学　０００００１０３００｜４
富 士 大 学　１００００００００｜１
（東学）小畑－菅原
（富士）和田－氏家
☆二塁打　菅原（東学）
（戦評）東北学院大学主戦小畑の見事なピッチングで１失点にとどめ相手を寄せ付けず優勝をきめた。

秋のリーグ戦を終えて

東北学院大学準硬式野球部
主将　村上　優太

私達の秋のリーグ戦での目標は全勝で優勝することでした。旧チームからの主力が数多く残りまさに優勝候補筆頭でした。しかしチーム力がどうかと言うと点でバラバラの集団でした。思ったことが言えない、他人頼み、すべて私達最上級生に当てはまることをみんなで集まり話し合いチームを少しずつ変えていきました。その姿に下級生達も刺激を受け私達についてきてくれました。とても苦しいリーグ戦ではありましたが全員の気持ちが一つになり全勝優勝を果たすことができました。新チームになってからの苦しみを全員で味わったからこその結果になりました。しかしここで優勝したからといって気を緩めてはいけないことをチームにもっと浸透させていかなければいけません。少しの隙も見せず相手に漬け込ませないような圧倒的な力を春までにつけなければならないので、オフの過ごし方を大事にしいつでも挑戦者のつもりで秋、春全勝優勝を達成したいと思います。応援してくださったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

	学院大	仙台大	富士大	福島大	東北大	薬科大	勝敗	勝率	順位
学院大		6－5○	4－1○	3－0○	11－0○	8－0○	5勝0敗	5 1.000	1
仙台大	5－6●		4－6●	2－1○	6－1○	10－8○	3勝2敗	3 0.600	3
富士大	1－4●	6－4○		6－2○	6－7●	13－8○	3勝2敗	3 0.600	2
福島大	0－3●	1－2●	2－6●		2－1○	5－0○	2勝3敗	2 0.400	4
東北大	0－11●	1－6●	7－6○	1－2●		13－3○	2勝3敗	2 0.400	5
薬科大	0－8●	8－10●	8－13●	0－5●	3－13●		0勝5敗	0 0.000	6

秋季リーグ戦　東北リーグ一部

◎９月７日　福島県立医科大球場

学院工	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**
福島医	０	０	６	０	０	０	１		**７**

（７回コールド）

（学）小池・阿部－佐藤（和）・飯田
（福）桐花－渡邊
☆本塁打　渡邊（福）
☆二塁打　大貫（福）

◎９月14日　南郷球場

岩手大	３	００	１	０	２	０	００		**６**
福島医	０	１	０	００	１	０	３	０	**５**

（岩）小野寺－松田
（福）兼子・町野－渡邊
☆二塁打　杉本・小野寺２（岩）
大貫・渡邉・兼子（福）

青森大	１	００	３	０	１	０	００		**５**
東北医	１	００	３	００	００	００	０		**４**

（青）木村・澤田－川村
（医）領木－加藤
☆二塁打　石川・澤田・小松（青）
那波２（医）

◎９月15日　南郷球場

青森大	０	００	１	３	００	３	３		**10**
福島医	０	０１	０	００	００	００	１		**２**

（青）藤沢－川村
（福）桐花・佐藤・町野－渡邊
☆二塁打　石川・佐藤（青）、阿部（福）

◎９月21日　大鰐スタジアム

学院工	０	１	００	００	００	００	００		**１**
青森大	１	１	００	１	０	２	１×		**６**

（工）阿部・吉田－飯田
（青）澤田・木村－川村
☆三塁打　佐藤（青）
☆二塁打　横谷（青）

岩手大	１	０	００	１	１	００	００	０		**３**
東北医	０	１	０２	００	００	００	０	１		**４**

（延長10回）

（岩）松田・小野寺－鈴木・松田
（医）領木－加藤
☆二塁打　杉本・小野寺・鈴木（岩）

◎９月22日　大鰐スタジアム

東北医	１	１	５	２	００	８			**17**
学院工	０	０	０	０	０	１	０		**１**

（７回コールド）

（医）領木－加藤
（工）吉田・畠山－杉山・佐藤
☆本塁打　斎藤（医）
☆三塁打　良元・力山（医）
☆二塁打　加藤・佐藤（医）、石渡（工）

青森大	１	００	１	１	０	１	１	０	**５**
岩手大	０	００	２	００	００	０	０	２	**４**

（青）藤沢－川村
（岩）小野寺－松田
☆二塁打　佐藤･澤田２(青)､小野寺(岩)

◎９月23日　福島県立医科大球場

東北医	３	００	２	００	００	００	０		**５**
福島医	０	００	１	６	００	１×			**８**

（医）荒川・領木－加藤
（福）兼子・町野・佐藤－渡邊
☆本塁打　斎藤（医）、阿部（福）
☆二塁打　大貫（福）

◎９月23日　東北学院工学部野球場

岩手大	２	００	４	００	００	００	０		**６**
学院工	０	１	２	００	１	２２×			**８**

（岩）小野寺－松田
（工）阿部－飯田
☆本塁打　阿部（工）
☆三塁打　小池（工）鈴木（岩）
☆二塁打　阿部（工)､佐藤･小野寺（岩）

○表彰選手
最優秀選手　佐藤　康平（青森大学）
最優秀投手　領木　勇人（東北大学医学部）
敢　闘　賞　町野　　翔（福島大学医学部）
首 位 打 者　佐藤　康平（青森大学）

○ベストナイン
投　手　領木　勇人（東北大学医学部）
捕　手　加藤　裕司（東北大学医学部）
一塁手　澤田　晃樹（青森大学）
二塁手　那波　大輔（東北大学医学部）
三塁手　齋藤　方志（東北大学医学部）
遊撃手　小池　龍太（東北学院大学工学部）
外野手　杉本　亮介（岩手大学）
外野手　佐藤　康平（青森大学）
外野手　小松　智哉（青森大学）

秋季リーグ戦　東北リーグ二部

◎９月７日　福島県立医科大球場

山大医	１	０	４	３	０	１	６		**15**
文化大	０	２	０	５	１	０	０		**８**

（７回コールド）

（山）桜井・大関－高崎
（文）三船・木藩・佐藤－白土
☆本塁打　真島・大関（山）
佐々木・木村（文）
☆二塁打　真島・新井・小川（山）
白土（文）

◎９月14日　南郷球場

山大医	０	００	２	００	００	０	０		**２**
東工大	０	０３	０	１	０	００	０×		**４**

（山）桜井・大関－高崎
（東）渡邊－平
☆二塁打　山脇（山）

◎９月23日　福島県立医科大球場

東工大	１	００	３	００	００	３０			**７**
文化大	０	０１	１	０	１	０	００		**３**

（東）渡邊－平
（文）鈴木・佐藤－高橋
☆本塁打　北谷（東）
☆二塁打　田嶋・杉本（岩)、遠藤（文）

１部リーグ	青森大学	東北学院大学 工学部	福島県立 医科大学	東北大学 医学部	岩手大学	勝敗/得失点	順位
青森大学		6－1 ○	10－2 ○	5－4 ○	5－4 ○	4勝0敗 15	1
東北学院大学 工学部	1－6 ●		7－0 ●	1－17 ●	8－6 ○	1勝3敗 －12	5
福島県立医科大学	2－10 ●	7－0 ○		8－5 ○	5－6 ●	2勝2敗 1	3
東北大学医学部	4－5 ●	17－1 ○	0－7 ●		4－3 ○	2勝2敗 9	2
岩手大学	4－5 ●	6－8 ●	6－5 ○	3－4 ●		1勝3敗 －3	4

２部リーグ	山形大学 医学部	東北工業 大学	東北文化 大学	勝敗/得失点	順位
山形大学医学部		2－4 ●	15－8 ○	1勝1敗 5	2
東北工業大学	4－2 ○		7－3 ○	2勝0敗 6	1
東北文化大学	3－7 ●	8－15 ●		0勝2敗 -11	3

秋季リーグ戦　入れ替え戦

◎10月５日　仙台市民

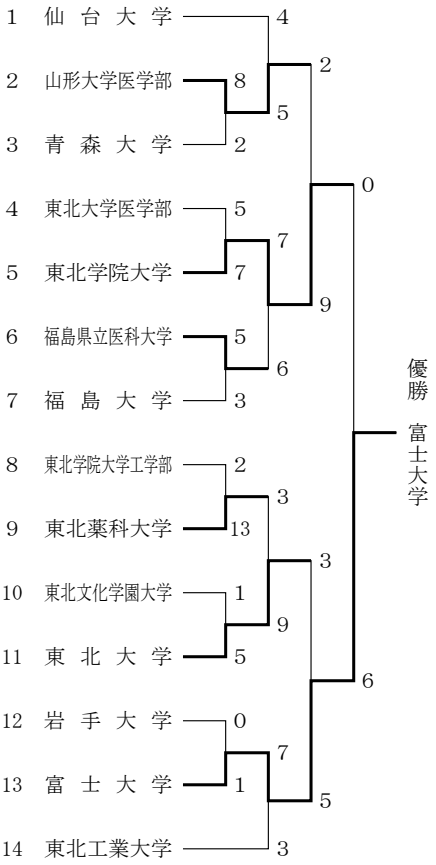
東工大　２１２２０００００｜**７**
学院工　００１００１０１０｜**３**
（東）渡邊―平
（学）阿部・越田―飯田
☆三塁打　渡邊（学）、横澤（工）
☆二塁打　佐藤・若山（東）

学院工　３０００００００｜**３**
東工大　１００２００１０×｜**４**
（学）畠山・佐貫―杉山
（東）管―平
☆三塁打　小池（学）
☆二塁打　佐藤・今野（工）

※東工大が２勝で１部昇格

関口杯　平成25年度東北地区大学準硬式野球トーナメント大会

会期：平成25年９月28日(土)、29日(日)
10月５日(土)、６日(日)
会場：仙台市民球場
利府町中央公園野球場
東北学院笠神野球場



◎９月28日　東北学院笠神野球場
第１試合
東北薬科大学　７１５００｜**13**
東北学院大学工学部　２００００｜**２**
（５回コールド）
（薬科）栃窪－赤石
（学工）渡邉－佐藤
☆三塁打　曽我（薬）
☆二塁打　三橋２（薬）
（戦評）薬科大学は相手投手の立ち上がりを攻めて一挙７得点。そのあとも追加点を加え13対２の５回コールドで初戦突破。

第２試合
東北大学　０００３００００２｜**５**
東北文化学園大学　０００００００１０｜**１**
（東北）山本－中野
（文化）鈴木、三船－白土
☆二塁打　澤田（東）、谷島（東）

第３試合
岩手大学　０００００００００｜**０**
富士大学　０００００１００×｜**１**
（岩手）小野寺－松田
（富士）佐藤－氏家
（戦評）両投手の投げ合い。６回裏にワンチャンスを活かした富士大学が１点をとり、佐藤涼平は完封の見事なピッチングで接戦をものにした。

◎９月28日　仙台市民球場
第１試合
青森大学　０１０１００００｜**２**
山形大学医学部　１００２００３２×｜**８**
（青森）藤澤・工藤・木村－川村
（山医）大関－高崎
（戦評）山形大学医学部は長打こそないがそつなく攻めて８点をとり勝利。

第２試合
東北学院大学　２１００１２０１０｜**７**
東北大学医学部　２０００２１０００｜**５**
（学院）前田・鈴木－菅原
（東医）領木－加藤
☆三塁打　小畑（学）
☆二塁打　後藤（学）、齋藤・加藤（東）
（戦評）学院大学が点をとっても東北大医学部が追いつくという試合展開。学院大学は６回表の３連打での得点が大きかった。

第３試合
福島県立医科大学　０１０４０００００｜**５**
福島大学　０００００２０１｜**３**
（福医）福田・桐花－渡邊
（福島）市川・市村－木下
☆三塁打　川島（福）
☆二塁打　木下（福）
（戦評）４回表連打と相手の四球を活かして４得点をあげた県立医科大が勝利。

◎９月29日　仙台市民球場
第１試合
東北工業大学　００３０００００｜**３**
富士大学　０００６００１０×｜**７**
（工大）渡邊－平
（富士）和田－氏家
☆三塁打　今野（工）
☆二塁打　村田（工）、村上（富）
（戦評）工大が先制点をとったが４回裏四死球やエラーで６失点。富士大学はその点数を守り切って勝利した。

第２試合
東北大学　０００１０３２０３｜**９**
東北薬科大学　２００１０００００｜**３**
（東北）名越－中野
（薬科）赤羽－赤石
（戦評）前半戦は薬科大の流れで３対１でリードしていたが、中盤から東北大の打線が活発になり９点をとり勝利。

◎９月29日　東北学院笠神野球場
第１試合
東北学院大学　１００１０３０１１｜**７**
福島県立医科大学　０００００４１１０｜**６**
（学院）佐藤－菅原
（福医）桐花・佐藤・兼子－渡邊
☆本塁打　新妻（福）
☆三塁打　信夫（学）
☆二塁打　後藤・小畑・大友・赤間（学）
大貫（福）

（戦評）両チームとも長打を含め安打を多く重ねシーソーゲームとなった。学院が最終回に４番信夫のタイムリースリーベースで決勝点となった。

第２試合

仙 台 大 学	１０２００１０００	４
山形大学医学部	０００１００００１3x	５

（仙台）高崎・佐藤－福田
（山医）桜井・大関－高崎
☆本塁打　大関・真島（山）
☆三塁打　小山（仙）
☆二塁打　本田２（仙）、 大関（山）
（戦評）２－４で迎えた最終回山大医の攻撃で本塁打を含む猛攻で劇的なサヨナラをみせた。

◎10月５日　利府町中央公園野球場
第１試合

東北学院大学	２０１００４２	９
山形大学医学部	１０００００１０	２

（７回コールド）
（学院）小畑－菅原
（山医）桜井・真島－高崎
☆本塁打　小畑（学）
☆三塁打　菅原（学）
☆二塁打　小畑・作間・大友（学）
（戦評）東北学院大は投げては７イニング２失点、打撃では本塁打をはなつなど投打にわたって活躍した小畑を軸に打線が続き７回コールドで東北学院大が勝利した。

第２試合

富 士 大 学	０１２０００２００	５
東 北 大 学	２０１０００００００	３

（富士）和田－氏家
（東北）名越－中野
☆三塁打　中坂・照井（富）
☆二塁打　冨田（東）
（戦評）序盤３回まではシーソーゲームで、３－３の同点で迎えた７回表富士大の４番照井のタイムリースリーベースで逆転した。

◎10月６日　仙台市民球場
第１試合（決勝戦）

富 士 大 学	００２０１１００２	６
東北学院大学	０００００００００	０

（富士）佐藤－氏家
（学院）前田・佐藤・小畑－菅原
☆二塁打　高橋３（富）、小畑（学）
（戦評）富士大は初回を除いては毎回安打となる11安打を放ち東北学院大を圧倒し、優勝を決めた。

第９回関口杯東北地区大学準硬式野球トーナメント大会を終えて

富士大学準硬式野球部
主将　村上　　蓮

今大会は、３年ぶり４度目の優勝ができたことに、大変喜びを感じています。

４年生が東北地区優勝決定戦を最後に引退。７月から新チームが始動し、私は主将を務めることとなりました。チーム目標を徐々にステップアップするために「秋季リーグ戦優勝」と決め、練習を再開しました。最初は全日本大会出場を逃した気持ちを切り替えることができず、なかなかチームが一つの方向に向かって進むことができませんでした。

苦しい中、手を貸してくれたのが３年生部員でした。３年生同士でいろいろと意見やアドバイスを出し合い、様々な場面で助け合いチームを引っ張ってくれました。それを見て、感じた後輩たちもしっかり付いてきてくれ、１ヶ月後にはチームは活気とともにまとまりがでてきたように感じました。練習そしてオープン戦の中から良い点、克服した点、課題を見つけ、ミーティングで確認し一人一人が目標に向かって頑張りました。

９月となり、迎えた秋季リーグ戦。順当に勝ち進み、最終戦は東北学院大学でした。春の屈辱を晴らすためにも戦いましたが、チャンスを生かすことができず敗戦となりました。しかし敗れたものの、課題ははっきりしていたこと、チームは次に向かってさらにまとまっていたことが、「関口杯優勝」という目標を明確にし、練習に取り組むことができました。

関口杯では、リーグ戦で足りなかった団結力、最後まで諦めない姿勢などが前面に出たと思います。その結果、決勝では秋季リーグ戦で負けた東北学院大学に完封で勝ち、優勝することができました。

今回の秋季リーグ戦、関口杯トーナメント大会を終え、これからに向けてのチーム、個人の課題や反省すべき点などたくさん出たと思います。この材料をそのままにせず、チームで話し合い、練習での意識付けを徹底し、小さなところから直していきたいと感じています。また野球以外にも、挨拶やマナーなどもしっかり守り行動をしていきたいです。

シーズンはもう間もなくオフとなりますが、身体を基礎から鍛え、東北また全国で負けないチームを目指していきます。来年度、４年生となりますが、ラストシーズンを最高の形で終えることができるよう頑張ります。

最後に、この結果を作ることができたのは同級生はじめチームメイト、そして監督、コーチの助けがあったからです。本当に感謝しています。また今大会を運営してくださった連盟の方々、審判の方々、各大学の運営委員の皆様に対し、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

全国大会出場を果たして

東北学院大学　主将　高橋　　巧

今年の私たちの目標は、全国大会に出場することではなく、全国大会で優勝することを目標に、日々練習に取り組んできました。地区のリーグ戦を勝ち抜き、二年連続での全国大会出場を果たすことができましたが、そこは通過点であり、さらに上を目指すべく部員一同練習に励みました。しかし、結果は５－８で惜敗し、初戦を突破することができずに引退という形になりました。負けた瞬間はすごく後悔が残り､あのときもっとこうすれば、など複雑な気持ちになりました。しかし、負けはしましたが相手をぎりぎりまで攻め、後半はこっちのペースでゲームを支配することができました。また、地区大会でも厳しい試合が続きましたが、こうして全国大会まで勝ち進むことができ、自分たちがしてきたことは間違っていなかったのだ、という気持ちになり今はまったく後悔ありません。大学野球を四年間続けてきて、高校野球とは異なり、一人一人の自立や意識の持ちようですべてが変わってきます。メリハリをしっかりつけ、仲間とコミュニケーションを図り、お互いの壁を取り払うことでさらにチームの結束力が高まり、レベルアップにもつながります。高校野球で学べない部分を、大学野球を多く学べたと思います。その学んできたことをこれから社会へ出てからも活かし、自信を持って何事にも取り組んでいきたいと思います。

また、後輩の部員には私たちの良い部分だけを吸収し、悪い部分は取り払い、来年も全国大会への出場を果たし､目標にしていた｢全国制覇｣を成し遂げてもらいたいと思います。

平成25年度
関 東 地 区 大 会 成 績

8

第22回関東地区大学 準硬式野球連盟指導者講習会

アナウンス講習会

第22回関東地区大学準硬式野球連盟指導者講習会が、平成25年２月17日に、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。今回で22回目を迎える講習会には、大塚製薬株式会社の阿部章則氏と、袋井商業高等学校の上村敏正氏をお招きし、講義戴きました。阿部氏には、「食べたものがあなたになります」－BCAAが及ぼす疲労に関するデーターをテーマとした、スポーツ栄養に関わる貴重なお話を賜りました。上村氏は関東地区準硬式野球連盟のＯＢであり、教員という立場から野球の特性を考えるをテーマとしたお話を賜りました。両氏のお話は、野球選手のコンディショニングや指導法に関わる内容であり、将来の指導者を目指す学生にとっては、非常に新鮮であったものと思われます。参加した学生からは、貴重なお話を聞くことができ、チームメイトに伝えたいとの声が上がっていました。指導者講習会は、野球の技術向上や野球に関わる知識の習得を目標に開催しています。今後も、実り多き講習会となるよう工夫していきたいものです。

また、同日には、本年度の全日本選手権大会を見据え、女子マネージャーに対するアナウンス講習会も開催されました。アナウンスの統一した方法の徹底がなされ、マネージャー同士が教え合う姿がみられました。野球を裏方で支える女子マネージャーの取り組みは、選手にとっても大きな力となり、準硬式野球の発展と普及に通ずるものと感じられました。

関東地区大学準硬式野球連盟
理事　田中　重陽

上村氏の準硬式野球への思い

野球少年ならば誰もが同じと思われますが、私も少年時代に憧れたのは、プロ野球選手になることと甲子園に出場することでした。しかし、中学生になるころには実力的にプロは無理であることぐらいは分かるようになっていましたが、次の目標であった甲子園には何が何でも出場したいと思う気持ちは消えずにありました。当然、高校進学は出場の可能性を求め、静岡県立浜松商業高等学校に入学、３年次には憧れであった甲子園に出場することができました。夢は叶った訳ですが、私はこの３年間で自分が目指す将来は「指導者として甲子園に出場すること」であると強く思うようになりました。「高校野球の指導者になりたい」そんな夢を持った私に進路を進めてくれた恩師が早稲田大学の準硬式野球部の出身でもあり、私は、早稲田大学教育学部を受験、運よく合格することができ、迷わず準硬式野球部に入部し、野球をやる傍ら教員をめざし大学生活を送りました。１年次より出場機会を与えていただき充実した部活動を経験することができ、リーグ戦では８シーズン中７回の優勝、４年次には全日本のメンバーに選ばれ第１回のブラジル遠征に４番・捕手として参加をさせてもらいました。私のように選手として大成したいと思うのではなく、指導者として野球に携わりたいと考える人たちにとって準硬式野球部はうって付けの部活動ではなかったかと思います。今でもその意志を持った選手が多く入部し活動していることと思われます。

卒業後、地元の静岡に帰り念願かなって高校の教員となりました。高校野球の監督になり甲子園を目指す毎日を過ごしていました。おかげさまで夢であった甲子園には８回出場（浜松商業にて夏３回、春４回、掛川西にて春１回）することができました。

そんな私も大学を卒業して30数年が過ぎました。恩返しとして何ができたかと言いますと、数少ない中のひとつとして、多くの教え子が、各大学の準硬式野球部にお世話になりました。今回の全日本大会にも出場24チーム中８チーム（早稲田、法政、中央、専修、日本、中京、愛知学院、立命）に教え子（掛川西高校出身）が所属し、連盟の仕事（関東学院）をしている者も含め、20数名が全日本大会の開会式に顔を出していました。また、清瀬杯に優勝した明治大学にも教え子がいて、それぞれが活躍してくれていてうれしく思っています。

今回、関東地区大学準硬式野球連盟指導者講習会（平成25年２月17日オリンピックセンターにて）に、当時の監督である横田様より代役として急遽、講話の依頼を受け、現役の大学生100人ほどの前で話をする機会をつくっていただきました。自分にとっては後輩にあたる学生たちに、少しでも後押しができればと思い話をさせていただきました。
話の内容は、私がどのような気持ちで野球と携わってきたのか、野球の持つ特性を生かすことで、力のない選手でも、チーム全員が知恵を使い、心の安定を図り状況をコントロールすればゲームに勝利することができることを話させてもらいました。力がない、環境がないと嘆いているのではなく、できる可能性を探るように指導して、負けないチームを作ることが私の信条です。野球は決して力があるチームが勝つスポーツではありません。そんな魅力を感じてもらえればと思っています。

最後になりましたが、準硬式野球連盟の益々の御発展と御活躍を祈念しています。

早稲田大学（Ｓ55卒業）　上村　敏正

◇◇

上村　敏正氏のプロフィール

昭和50年　浜松商業高校３年時に甲子園出場
昭和51年　早稲田大学教育学部入学、準硬式野球部に入部
昭和54年　第１回ブラジル遠征全日本チームに選抜される
昭和55年　早稲田大学卒業と同時に高校の指導者となる
昭和59年　浜松商業高校監督に就任と同時に夏の甲子園出場へと導き、13年間に春夏７回の甲子園出場を果たす
平成17年　掛川西高校監督に就任
平成21年　掛川西高校を11年振りに春の甲子園出場に導く
平成22年　静岡県総合教育センター指導主事に着任、教育現場での問題改善に取り組む
平成24年　袋井商業高校教頭に着任して現在に至る

準硬式野球出身の高校野球指導者

上記の上村氏は教員、監督としての指導のほか、近年の教育現場では、子供達の家庭環境やメンタルの問題、父母の教育への関心、教育の心の病など指導主事という立場から、学校教育の様々な改革に取りくむ傍ら、教員に戻っても東北大震災の被災地に足を運び野球教室を開催する等、その活動は教員としての職務のみならず、被災地支援、会社経営者への講演や野球解説、教育セミナーなど多岐にわたる。

昭和50年代は高校指導者を目指して準硬式野球部に入部してきており、高校野球指導者一覧表に掲載してある通り、多くの準硬式出身者が現在も全国で指導者として活躍しています。この間、会員増加及び準硬式野球の発展の一翼を担っていたと思います。

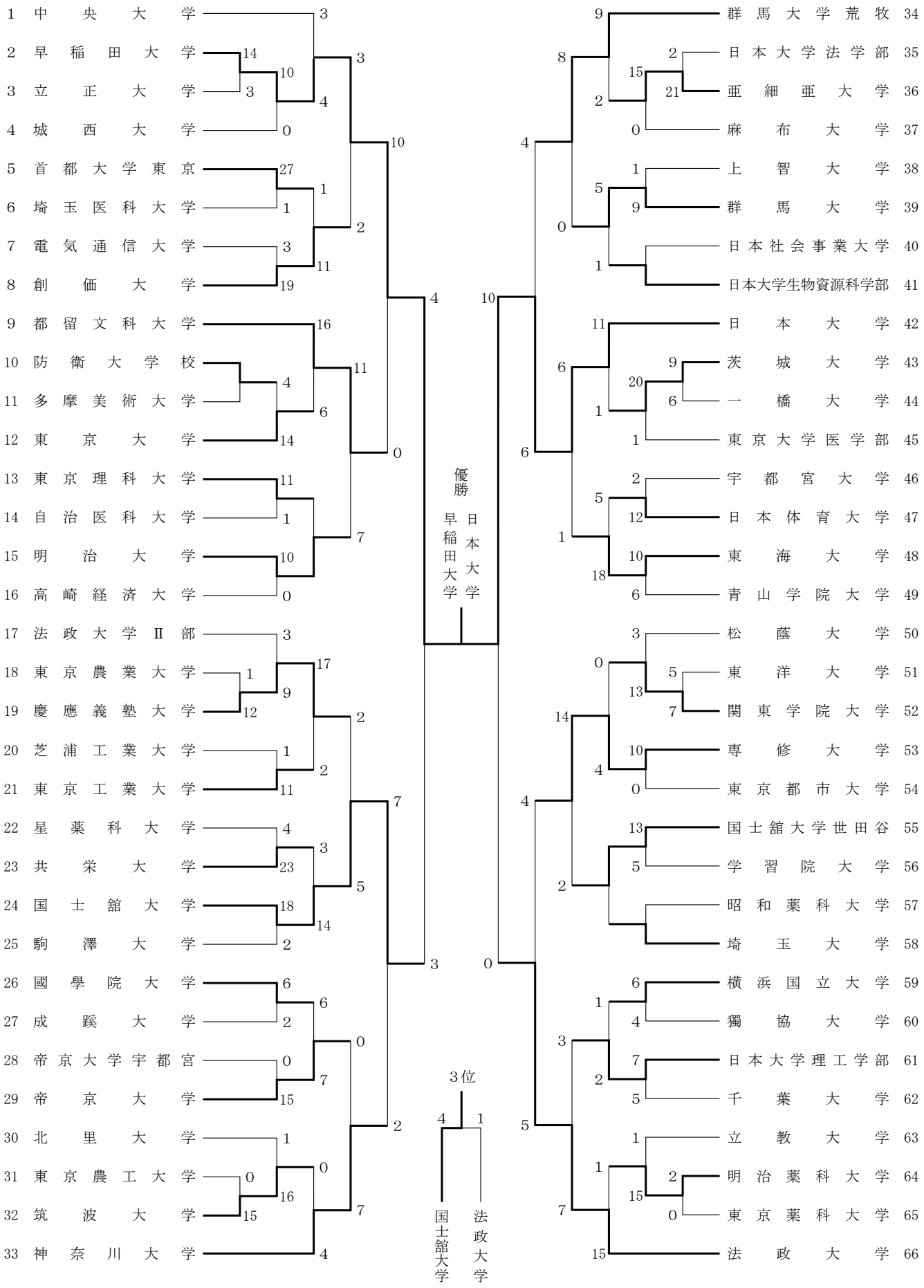
３人の県高野連理事長（早稲田大学準硬式野球部出身）

福島県高野連
　宗像　　治　（現職）　福島商業
　昭和51年卒　磐城高校出身
和歌山県高野連
　中村　尚登（現職）　和歌山商業
　昭和52年卒　桐蔭高校出身
栃木県高野連
　阿部　　司（現職）　宇都宮工業
　昭和55年卒　足利高校卒

（横田秀雄記）

第55回関東地区大学準硬式野球選手権大会

平成25年３月24日～４月２日



第55回関東地区大学準硬式野球選手権大会

◎３月24日　早稲田大学東伏見グラウンド
第１試合

早稲田大学	４０００１０９	14
立正大学	０２００００１	３

（７回コールド）
（早）石田－松下
（立）和田・塚越－川島
☆本塁打　駒田（早）、白井（立）
☆三塁打　南（早）
☆二塁打　上野２・沼田・木藤（早）
（戦評）初回に４点を挙げた早稲田大は、試合を優位に進めるかと思われたが、２回裏・立正大の攻撃で白井の２ランホームランで２点差まで詰め寄られる。その後、５回に嘉悦の犠牲フライで１点を追加した早稲田大は７回に一挙９点を追加し、試合を決めた。立正大は７回にヒットで出塁した白井が暴投でホームに生還するも反撃もそこまで。

第２試合

東京農業大学	００００００１	１
慶應義塾大学	２０１５０４×	12

（７回コールド）
（東）森田・猪俣・牛山－中里
（慶）中場・岩崎－小西
☆本塁打　辻（慶）
☆三塁打　原田（東）、辻・八田（慶）
☆二塁打　隈元・澁田（慶）
（戦評）初回に片山のタイムリーで２点を先制した慶應大は、４回にも隈元のバントヒットや辻のスリーベースで５点を追加し、試合を決めた。対する東農大は７回に田村のタイムリーで１点を返すも序盤に得点を重ねた慶應大が７回コールド勝ちを収めた。

◎３月24日　中央大学野球場
第１試合

東京農工大学	０００００	０
筑波大学	４１２５3x	15

（５回コールド）
（東農）高橋・土屋－佐藤
（筑波）田中－川崎
☆本塁打　沼田・中原・川崎
☆二塁打　清水・沼田・松井（筑）
（戦評）東京農工大学は初回に先頭打者がヒットで出塁するも、次打者のバント失敗でチャンスをいかすことができなかった。筑波大学は初回に中原選手の３点本塁打で４点を先制するとその後も川崎選手、沼田選手の本塁打が飛び出すなど毎回得点で５回コールドゲームとなった。

◎３月24日　千葉大学グラウンド
第１試合

日本大学理工学部	１００５００００１	７
千葉大学	００３２００００×	５

（日）三科・石田－石橋
（千）山下・長位－屋比久
☆三塁打　古谷（日）、岩間・中村（千）
☆二塁打　山野（日）、竹屋（千）
（戦評）１点を先制された千葉大は、３回に相手の敵失につけこみ、戸村・岩間の連続ヒットで３点をとり、逆転に成功する。続く四回にも二点を追加した千葉大は流れをつかんだように見えたが、５回に２失策が絡み、５点を失ってしまう。その後は日大理工学部投手陣が力投し、逆転勝ちを収めた。

第２試合

一橋大学	００３０００００３０	６
茨城大学	００３４００２０×	９

（一）黒田・都築・田嶋－伊藤
（茨）須賀・篠原・椎名－川又
☆本塁打　須賀（茨）
☆三塁打　榎戸・須賀（茨）
☆二塁打　長谷川・大形（一）、小川（茨）
（戦評）同点で迎えた４回、茨城大は敵失を足掛かりに４連打で４点を取り、勝ち越しに成功する。７回にも２点を追加した茨城大が８回の一橋大の追撃を振り切り、逃げ切った。

◎３月24日　首都大学東京野球場
第１試合

亜細亜大学	８３００３０７	21
日本大学法学部	２０００００００	２

（７回コールド）
（亜）古谷野－稲葉
（日）設楽－石野
☆三塁打　石野・小川（亜）
☆二塁打　石野・大屋・小川（亜）
江黒（日）
（戦評）亜細亜大学が初回に打者12人の猛攻で８点を奪い、７回コールド15安打21得点で快勝した。亜細亜大学の先発・設楽は初回に２本のヒットと味方のエラーにより２点を失ったものの、２回以降は立ち直り、７回を投げ２失点と好投。打撃では３番・石野が３打数３安打４打点と大活躍。日本大学法学部は先発の古谷野が７回で14四死球と制球が定まらず、苦しい展開となった。

第２試合

関東学院大学	０２０００００２１０２	７
東洋大学	００３００００２０００	５

（延長10回）
（関）戸津－石塚（裕）
（東）安部・木村－糸賀
☆三塁打　石塚裕（関）
☆二塁打　石塚裕・小林（関）
菅沼・石本（東）
（戦評）先制したのは関東学院大学。２回表に先頭の高橋が内野安打で出塁すると、８番安部川が適時打、さらに１番の柴田も適時打を放ち２点を先制。追いかける東洋大学は３回裏、７番深沢のヒットを足掛かりに３点を奪い逆転に成功。７回に両チーム２点を取り合い、続く８回表・関東学院の攻撃、途中出場の小林が適時二塁打を放ち同点とする。そして迎えた延長10回表、関東学院大学の３番石塚裕の三塁強襲安打によりついに勝ち越す。関東学院大学の先発・戸津は10回162球を投げ切り完投勝利。

◎３月25日　早稲田大学東伏見野球場
第１試合

城西大学	００００００００	０
早稲田大学	００６００４×	10

（７回コールド）
（城西）久保田・中村－相原・千坂
（早大）河合・向江－市堰
☆三塁打　嘉悦（早）
☆二塁打　土屋・南（早）
（戦評）城西大学は初回に先頭打者がヒットで出塁するも、次打者が送れずチャンスをいかせなかった。０－０で迎えた３回裏早稲田大学は、１番駒田選手がヒットで出塁すると５連打など打者１巡の猛攻で６点を奪い、６回にも４点を取り７回コールドゲームとなった。

第２試合

東海大学	０１０１０００３５	10
青山学院大学	２０１１００２００	６

（東）横沢・大井・入江－小野瀬・加藤太司
（青）根本・細山・武藤－杉江
☆本塁打　加藤大介（東）、横関（青）
☆三塁打　坂本（青）
☆二塁打　加藤太司・田村（東）
横関・根岸（青）
（戦評）点を取っては取られの好ゲーム。東海大学は１点ビハインドの最終回相手のミスにつけ込み大量５点をとった。青山学院は投手３人をつぎ込み攻撃をかわしてきたが最後の最後で力尽きた。

第３試合

東京都市大学	００００００００	０
専修大学	００４６００×	10

（７回コールド）
（東）秋元－坂井田
（専）渡邊・浅木・高橋陽－植田
☆本塁打　渥美（専）
☆二塁打　板谷・河口２・高本・牧（専）
（戦評）同点でむかえた３回専修大学はヒットと四球などで満塁のチャンスを作ると、２番の渥美が満塁ホームランを放ち４点を先制した。東京都市大学の打線は専修大学の３人の好投のまえにヒット２本に抑えられた。

◎３月25日　立川公園野球場
第１試合

国士舘大学	００６８０４	18
駒澤大学	０００１１０	２

（６回コールド）
（国）芦田・柳内－清水
（駒）高橋・塚越・野口－三枝
☆本塁打　吉田（国）
☆二塁打　高橋・小川（国）
（戦評）試合が動いた３回、国士舘大は清水が安打で出塁後、四球を挟み、松井の適時打で先制する。その後も安打を集中させた国士舘大が６点を先制する。その後も攻撃の手を緩めない国士舘大が６回コールド勝ち。

第２試合

高崎経済大学	０００００００	０
明 治 大 学	１０００４１4x	10

（７回コールド）

（高）橋本・三富・塩川－物江・梅田
（明）赤尾－伊藤
☆三塁打　成田（明）
☆二塁打　吉田・伊藤（明）

（戦評）明治大は初回、吉田の適時打で１点を先制する。５回にも一挙４点を奪い、順調に加点する。高崎経済大は明治大先発赤尾の前に安打を放てず、敗北を喫した。

◎３月25日　千葉大学グラウンド
第１試合

国士舘大学世田谷	００３０１５２２０	13
学 習 院 大 学	１０２００２０００	５

（国）並木－矢崎・白鳥
（学）藤井・窪田－阿部
☆本塁打　橋本・矢崎（国）
石川・割田（学）
☆二塁打　橋本・秋山２・高橋・矢崎・嶋田（国）

（戦評）同点で迎えた５回、国士舘大世田谷は、橋本がツーベースを放ち、暴投により生還する。その後も順調に加点した国士舘大世田谷が学習院大を振り切り、勝利した。

第２試合

共 栄 大 学	２０２10３６	23
星 薬 科 大 学	００１０２1x	４

（６回コールド）

（共）小川・佐川－鈴木
（星）長澤・大久保－槇
☆本塁打　川島・鈴木（共）
☆三塁打　川島（共）、木村（星）
☆二塁打　鈴木２・小川（共）

（戦評）共栄大が投打に圧倒した。３点をリードした共栄大は４回に川島・鈴木のホームラン等で10点を追加し、試合を決めた。星薬科大は４点をとるも、序盤の失点が響き、６回コールドで敗北した。

◎３月25日　横浜国立大学グラウンド
第１試合

関東学院大学	２１０４０４０２	13
松 蔭 大 学	１０００１００１	３

（８回コールド）

（関）本間・渡辺・小島－石塚
（松）緒方・須藤－吉田
☆本塁打　市川（関）
☆二塁打　市川・柴田・石塚・平田（関）
浅田・本間（松）

（戦評）初回に市川のホームランで先制した関東学院大は、４回にも４得点をあげ、引き離しにかかる。対する松蔭大学はランナーを出すも後続が続かない。８回にも２得点をあげた関東学院大が８回コールド勝ちを収めた。

第２試合

横浜国立大学	１０２０３０００	６
獨 協 大 学	０００００２０００２	４

（横）針金・炭吉－安藤
（獨）知念・三ヶ島－小野寺
☆本塁打　齊所（横）
☆二塁打　針金・原田（横）
志村・小野寺・福島・鈴木・緒方（獨）

（戦評）横浜国大は初回、齊所の先頭打者ホームランで先制する。効果的に得点を重ねる横浜国大は、危なげなく勝利するかと思われたが、９回裏の獨協大の反撃にあう。獨協大は４番緒方のタイムリーツーベースで２点差まで詰め寄るが後続が倒れた。

第３試合

防 衛 大 学 校	１００１０２０	４
東 京 大 学	１０１２４６×	14

（７回コールド）

（防）藤本・綱元－槙野
（東）岡部－小林
☆本塁打　酒井（東）
☆三塁打　吉井（防）
☆二塁打　中島（防）
酒井・宮田・浅井（東）

（戦評）同点で迎えた４回裏に東京大学は二死から敵失を足掛かりに連続タイムリーで２得点をあげた。さらに５回裏に制球の定まらない相手投手を攻め、一挙４点をとり、試合を決めた。対する防衛大学校は６回表に２点をあげ、追い上げるも万事休す。

◎３月25日　法政大学多摩グラウンド
第１試合

北 里 大 学	００００１０	１
筑 波 大 学	３４６１２	16

（５回コールド）

（北）豊田・松下－平井
（筑）木村僚・田中－川崎
☆三塁打　篠田・麿伊・中原（筑）
☆二塁打　豊田（北）、清水・梶川（筑）

（戦評）筑波大学が毎回得点14安打16得点で５回コールド勝利。４回表に北里大学・平井が右前適時打で１点を返すが反撃及ばず。

◎３月25日　群馬大学荒牧
第１試合

上 智 大 学	０００００００１０	１
群 馬 大 学	３０３００３００×	９

（上智）鎌倉・佐藤－菅野
（群馬）清水・吉原－縣
☆二塁打　猪俣・縣（群）

（戦評）群馬大学は初回、ヒットと四球で溜めたランナーを相手のエラーも絡み３点を先制。３回と６回にも矢嶋の２本のタイムリーを含む攻撃でそれぞれ３点ずつ追加点を奪い、終始群馬大学優位の流れとなった。上智大学も８回に奥山のタイムリーで１点を返すものの、反撃も及ばなかった。

第２試合

帝京大学宇都宮	００００００	０
帝 京 大 学	４２４１4x	15

（５回コールド）

（帝宇）田邊・臼井－岡田・山野井
（帝京）大薗－日吉
☆本塁打　今栄（帝）
☆二塁打　酒井・日吉・山野井（宇）

（戦評）四死球を足がかりにきっちりと得点した帝京大学が15－０の５回コールド勝ちを収めた。12安打の陰になってしまったが、エラーなどで出たランナーを送りバントでチャンスメイクしたところが光る。投げては先発大薗が散発１安打の好投でテンポ良く投げ込み、失策０と素晴らしい試合運びだった。

◎３月25日　首都大学野球場
第１試合

電気通信大学	３００００	３
創 価 大 学	０７５３4x	19

（５回コールド）

（電）菊野・城－田村
（創）市川－神野
☆本塁打　乙井・松田・小谷・和田（創）
☆三塁打　上田（電）、藤本（創）
☆二塁打　藤本・松田（創）

（戦評）初回、電通大は上田の適時三塁打で３点を先制する。追いつきたい創価大は２回に安打６本を集中させ、一挙７点を奪い、逆転に成功する。その後も順調に加点した創価大が逆転勝ち。

第２試合

首都大学東京	４１３８11	27
埼玉医科大学	００００１０	１

（５回コールド）

（首）新井田－小出
（埼）三村・林－西元
☆本塁打　小出（首）
☆三塁打　黒川（首）
☆二塁打　小出・吉川２・松下・石井・横家（首）

（戦評）首都大が終始圧倒した。初回、先頭の小出が二塁打で出塁すると、その後も敵失や適時打で４点を先制する。その後も攻撃の手をゆるめない首都大が５回コールド勝ち。

◎３月26日　早稲田大学東伏見グランド
第１試合

法政大学Ⅱ部	００００００００３	３
慶應義塾大学	０２３２１０１０×	９

（法）木村・丹野－大石・藤田
（慶）森・岩崎・塚本－小西・小田
☆二塁打　内野（法）、金田（慶）

（戦評）慶應大は２回に敵失で出塁したランナーが盗塁・暴投で生還し、１点を先制し、この回２点をあげる。対する法政大Ⅱ部は３回にヒットを集中させるも得点できない。その後順調に得点した慶應大が３回戦に駒を進めた。

◎３月26日法政大学多摩グラウンド
第１試合
茨 城 大 学　３７０１１８｜20
東京大学医学部　０００００１｜１
（茨）椎名－川又
（東）宮脇・斉藤－恒矢
☆三塁打　川又（茨）、伊藤（東）
☆二塁打　小川･佐藤･川又･椎名２（茨）
（戦評）茨城大学が16安打20得点で７回コールド勝ち。東京大学医学部は８失策と守備が乱れ、苦しい展開となった。

◎３月26日　群馬大学荒牧
第１試合
宇都宮大学　００１０１０｜２
日本体育大学　１０３６０２｜12
（６回コールド）
（宇）村上・竹内－宇賀神
（日）月田－樽井
☆三塁打　中島・佐藤洋（日）
☆二塁打　宇賀神・五十嵐・村上（宇）
中村･樽井･三浦･佐藤洋（日）
（戦評）日本体育大学は初回、エラーで出塁したランナーを２塁打で先制。３回、４回にもリズム良く得点し、６回に２点を追加し、10点差６回コールドゲームとした。投げては先発マウンドを託された月田が13奪三振の好投を見せた。

第２試合
麻 布 大 学　０００００｜０
亜 細 亜 大 学　０５３４3x｜15
（５回コールド）
（麻）渡辺－小林
（亜）設楽－石野
☆三塁打　舟越（亜）
☆二塁打　石野２・大屋・舟越（亜）
（戦評）亜細亜大学は２回、鳴海のタイムリーや押し出しを含む打者一巡の攻撃で一挙５点を先制。３回、４回にもヒットと四死球で溜めたランナーをタイムリーで返し、２ケタ安打の猛攻で完全に試合の主導権を握った。麻布大学打線は亜細亜大学の菊池の前にチャンスすら作れず、流れを引き込むことができなかった。

◎３月26日　千葉大学グラウンド
第１試合
芝浦工業大学　００００００１０｜１
東京工業大学　０２１１０２5x｜11
（７回コールド）
（芝）森・野末－武田・森
（東）山中－横山
☆本塁打　森（芝）
☆三塁打　和田・池田（東）
☆二塁打　原田（芝）
佐川・和田２（東）
（戦評）東京工業大が快勝した。２回、東京工業大は先頭の横山がヒットで出塁し、和田のタイムリーツーベースで生還する。その後も１点を追加した東京工業大は順調に加点する。対する芝浦工業大は、山中の前に森のホームランのみで、敗北した。

第２試合
自治医科大学　００００００１００｜１
東京理科大学　４１００４１０1x｜11
（８回コールド）
（自）勝又・阿部－坂田
（東）中村－渡辺
☆三塁打　渡辺（自）
☆二塁打　加藤木・武笠・渡辺（自）
（戦評）初回、東京理科大は、先頭の加藤木がツーベースで出塁、渡辺のタイムリー等で４点を先制する。対する自治医科大は東京理科大主戦中村の前に４安打に抑えられ、１点を得点するにとどまった。東京理科大は快勝で、次戦へ駒を進めた。

◎３月26日　立川公園野球場
第１試合
國學院大學　０００１１１３００｜６
成 蹊 大 学　０００００００２０｜２
（國）佐藤・井出・古越－根岸
（成）大塚－土橋・今村
☆三塁打　山田（國）
☆二塁打　大谷・根岸（國）
（戦評）國學院大は、４回表に山田の犠飛で１点を先制する。その後も効果的に安打を集中させた國學院大が追加点を重ねていく。一方、成蹊大は８回裏に４番渡辺の適時打で２点を返すも後続の打者が倒れ、万事休す。國學院大が勝利した。

第２試合
明治薬科大学　０００００００００｜０
立 教 大 学　０００００００２×｜２
（明）野口－栗山
（立）谷－奥山
☆本塁打　文字（立）
☆二塁打　安隨（立）
（戦評）両先発投手の好投が続き、試合が動いたのは８回裏の立教大の攻撃。先頭の１番神岡が出塁、二死後４番文字の本塁打で２点を奪取する。その後、９回表の明治薬科大はランナーを出塁させることができず、接戦を立教大が制した。

◎３月27日　市営浦和球場
第１試合
東 海 大 学　８１３１１４０｜18
日本体育大学　３１０１０００｜５
（７回コールド）
（東）横沢・大井・入江－小野瀬
（日）柏倉・津久井・河原－樽井
☆三塁打　寺嶋･小野瀬（東）、佐藤（日）
☆二塁打　古川･加藤大･田村･小野瀬（東）
三浦・榎本（日）
（戦評）雨天で行われた試合は、初回から大きく動いた。東海大学は初回、加藤太の押し出し四球・加藤大のタイムリーツーベース等で一挙８点を先制する。対する日体大も初回に３点をあげ、乱打戦になるかと思われたが、２回以降も大量得点をあげた東海大が７回コールド勝ち。

第２試合
東京理科大学　００００００１０｜１
明 治 大 学　１０７０１２×｜11
（７回コールド）
（東）磯田・渡辺－渡辺・磯田
（明）酒井・菊池・小出－伊藤
☆本塁打　三浦（明）
☆三塁打　成田・橋本２（明）
☆二塁打　豊田（明）
（戦評）明治大学は初回、伊藤の犠飛により１点を先制する。３回、明治大学は三浦のホームラン・成田のタイムリースリーベース等で７点を追加する。対する理科大は、明治大の継投の前に１点を得点するにとどまり、明治大は７回コールド勝ち。

◎３月27日　昭島市民球場
第１試合
茨 城 大 学　１０００００００｜１
日 本 大 学　０１４１３１１｜11
（７回コールド）
（茨）須賀・椎名－川又・須賀
（日）保母・岡島－今駒
☆三塁打　細野・鹿田（日）
☆二塁打　榎戸（茨）、竹林４（日）
（戦評）茨城大学は初回２アウトから死球、ツーベースでチャンスを作ると５番の須賀のタイムリーヒットで先制した。同点の３回日本大学は四死球でランナーをためると３本のヒットを集め逆転した。日本大学はヒット11本と打線が爆発した。

第２試合
東 京 大 学　００１０４１０｜６
都留文科大学　１８３０２２×｜16
（７回コールド）
（東）吉條・森田－小林
（都）平野・荷見－岩崎
☆本塁打　上矢・岡田・荷見（都）
☆三塁打　宮田・岡部（東）
上矢・岩崎（都）
☆二塁打　宮田２・岡部・高本（東）
上矢・北村２（都）
（戦評）都留文科大学は４番の荷見の満塁ホームラン含む５安打で８点得点でリードを広げた。東京大学も５、６回と得点したものの、都留文科大学の計３本ホームランを打った強力打線が上回った。

第３試合
日本大学生物資源科学部　０００００１０００｜１
群 馬 大 学　０１０００００４×｜５
（日）橋爪－山本
（群）清水・吉原－縣
☆二塁打　宮前・縣（群）
（戦評）両チーム、ノーエラーと非常に引き締まった投手戦となった。同点でむかえた８回群馬大学はヒットと四球でチャンスを作ると４番宮前のタイムリー２ベースで勝ち越しに成功した。日本大学生物資源科学部の橋爪は好投を続けたが最後の最後で力尽きた。

◎３月27日　法政大学多摩グラウンド
第１試合
立 教 大 学　０１００００００｜１
法 政 大 学　６３２２０２×｜15
（７回コールド）
（立）田原・加藤・山下－佐野
（法）松田－佐藤
☆本塁打　佐藤（法）
☆三塁打　文字（立）、縣（法）
☆二塁打　神岡（立）、縣２・落合（法）
（戦評）１回裏に法政大学が佐藤の満塁本塁打を含む打者一巡の猛攻で６点を先制。２回以降も攻撃の手を緩めずに着実に加点し、７回15得点でコールド勝ちを収めた。立教大学は法政大学の先発・松田を攻略できず、散発４安打に抑えられた。

第２試合
筑 波 大 学　０００００００００｜０
神奈川大学　００００００４０×｜４
（筑）田中・木村僚－川崎
（神）阿部－渡邊
☆二塁打　清水（筑）、中村（神）
（戦評）神奈川大学が完封勝利で筑波大学を下した。両チーム０対０で迎えた７回裏、神奈川大学が野並・中村・高村の連続適時打などで４点を奪い、均衡を破る。８回以降は神奈川大学の先発・阿部が４点のリードを守り切り、９回16奪三振の快投で完封勝利。筑波大学は序盤にチャンスを作るものの、あと一本が出なかった。

◎３月27日　群馬大学荒牧
第１試合
群馬大学荒牧　００１０６０２００｜９
亜 細 亜 大 学　０１００００１０００｜２
（群）大竹・茂木（良）－中野
（亜）設楽・渡辺（勇）－石野・斉藤
☆本塁打　小林（群）、石野（亜）
☆二塁打　山下（群）
（戦評）群馬大学荒牧は２回に先制されるもすぐに同点に追いつき、５回には６安打６得点の猛攻を見せ、試合の主導権を握った。亜細亜大学は６回に３番石野のソロホームランで１点を返したが、７回以降は四球やエラーでランナーを出すものの後続が続かず、得点に繋げることができなかった。

◎３月28日　市営浦和球場
第１試合
東京工業大学　２００００｜２
慶應義塾大学　２０５５１4x｜17
（６回コールド）
（東）山中・小林－横山
（慶）森・塚本－小西
☆本塁打　片山（慶）
☆三塁打　片山２（慶）
☆二塁打　渡辺・平井（慶）
（戦評）東工大は初回、制球の定まらない慶應大先発・森を攻め、２点を先制する。一方、慶應大は初回、死球で出したランナーをおいて、４番片山の２ランホームランで同点に追いつく。その後も着実に加点した慶應大が６回コールド勝ちを収めた。

第２試合
国士舘大学　００２４３２３｜14
共 栄 大 学　００３００００｜３
（７回コールド）
（国）西山・鈴木・柳内－清水・薗田
（共）矢野尾・小川－鈴木
☆三塁打　荒川・増田・吉田・宮井（国）
☆二塁打　箱田・野村（国）
斉藤・永島（共）
（戦評）国士舘大は３回、荒川の犠飛や清水のタイムリーヒットで２点を先制する。対する共栄大は斉藤・永島のタイムリーツーベースですぐさま逆転する。４回に野村・荒川・清水のタイムリーを集中させた国士舘大は逆転に成功し、着実に加点。７回コールド勝ちを収めた。

◎３月28日　昭島市民球場
第１試合
國學院大学　２００００１２１０００｜６
帝 京 大 学　２００００１００３０1x｜７
（延長11回）
（國）中村・古越－根岸
（帝）小池・大薗－吉田・日吉
☆本塁打　山田（國）
☆三塁打　秋本（國）
☆二塁打　塩見２（國）、安田（帝）
（戦評）３点ビハインドの９回裏、帝京大学・３番安田の２点適時打と５番今栄の犠飛で同点に追いつく。さらに延長11回に途中出場の日吉が左前適時打を放ち、サヨナラ勝ちを収めた。國學院大学は帝京大学を上回る９安打を放つものの、９回からリリーフの帝京大学・大薗に無安打と抑えられた。

第２試合
関東学院大学　０００００００００｜０
専 修 大 学　００２１０１００×｜４
（関）戸津－石塚
（専）高橋陽－植田
☆三塁打　石塚（関）、吉田（専）
☆二塁打　山岡・秋元（専）
（戦評）専修大学の先発・高橋陽が９回４安打無失点で関東学院打線を封じ込めた。丁寧に低めを突く投球で内野ゴロの山を築き、３つの併殺打でチャンスの芽を奪った。打線は３回裏、４番吉田の２点三塁打で先制すると４・６回にも１点ずつ奪い、主導権を渡さなかった。

第３試合
横浜国立大学　００００００００１｜１
日本大学理工学部　０００００１００1x｜２
（横）針金－安藤
（日）三村・石田－石橋
☆二塁打　安藤（横）
山野・古谷・石橋（日）
（戦評）同点で迎えた９回裏、日本大学理工学部は先頭打者の古谷が二塁打で出塁すると、続く石橋の左越二塁打でサヨナラ勝ちを収めた。横浜国立大学は９回表にチャンスを作り、捕手の悪送球で同点とするものの、先発・針金が踏ん張りきれなかった。

◎３月28日　早稲田大学東伏見グラウンド
第１試合
中 央 大 学　０００００００１２００００｜３
早稲田大学　００１１０１００００００１｜４
（延長13回）
（中）清水・小河原－勝又
（早）石田・河合・沼座－松下・市堰
☆本塁打　上野（早）
☆二塁打　大湾２・萩原２・高野（中）
駒田・栗田２（早）
（戦評）３回裏・二死後、早大は松井が安打で出塁すると一番駒田の適時打で先制する。４回裏にも上野の本塁打で加点した早大は７回終了時に３点差をつけてリードする。一方、中大は８回表にセーフティーバントで出塁したランナーを勝又がスクイズで返す。土壇場の９回表、中大は４番高野、５番萩原の連続適時打で同点に追いつく。13回裏、早大は安打で出塁したランナーを市堰の適時打で返し、サヨナラ勝ち。

第２試合
首都大学東京　００００００１０｜１
創 価 大 学　０４００１０6x｜11
（７回コールド）
（首）森口・安藤－小出
（創）芝－神野
☆二塁打　藤本（創）
（戦評）２回裏、創価大は敵失に適時打を絡め、一挙４点を先制する。一方、首都大はバントヒット一本に抑えられ、敵失によって１点を返すのみにとどまった。７回裏に安打を集中させた創価大がコールド勝ちを収めた。

◎３月29日　市営浦和球場
第１試合
創 価 大 学　０１１０００００００｜２
早稲田大学　０１１００００１０×｜３
（創）柴－神野
（早）向江・河合－松下
☆二塁打　松田・澤田（創）、嘉悦（早）
（戦評）両者譲らず同点で迎えた７回裏、４番栗田が安打で出塁。盗塁後、５番嘉悦の適時打で生還し、勝ち越しに成功した。その後、早大は河合が登板し、９回は３奪三振を奪う好投で、接戦を制した。

第２試合
都留文科大学　００１０００５３２｜11
明 治 大 学　０００１０２００４｜７
（都）平野・荷見－岩崎
（明）加賀谷・赤尾・小出－伊藤
☆二塁打　岩崎・武田（都）、加藤（明）
（戦評）同点で迎えた６回裏、明大は橋本の適時打・寶田の犠飛で２点を奪い、勝ち越しに成功する。対する都留文科大は７回表、敵失に乗じ、６連打で５点を奪い逆転に成功する。その後も追加点を効果的に奪った都留文科大は乱打戦を制した。

◎３月29日　上柚木公園野球場
第１試合
国士舘大学　０００００４０１｜５
慶應義塾大学　０１００１０００｜２
（国）小熊－清水
（慶）中場・岩崎－小西
☆三塁打　宮井・箱田（国）
☆二塁打　吉田（国）、小西（慶）
（戦評）慶應が２回に国士舘のエラーにより先制。５回にスクイズで追加点をあげるものの、国士舘の隠し玉により流れを断ち切られる。７回国士舘吉田の右前適時打により１点を返し、二死満塁。箱田の左中間適時三塁打により３点を追加し逆転。そのまま国士舘がリードを守り、小熊の完投勝利となった。

第２試合
神奈川大学　０２２０００１１１｜７
帝京大学　０００００００００｜０
（神）山崎－渡辺
（帝）大薗・紺野・小池－日吉・吉田
☆本塁打　中村（神）
☆二塁打　中村・高村（神）、横手（帝）
（戦評）２回神奈川大学は相手のボーク、渡辺のスクイズにより先制点をあげるとそのまま流れにのる。３回に高村の中前適時打により２点、７回に中村の本塁打で１点と計11安打で帝京大学を圧倒。投げる山崎も被安打１の好投。完封勝利となった。

◎３月29日　昭島市民球場
第１試合
群馬大学荒牧　２００４２００００｜８
群馬大学　０００００００００｜０
（荒牧）茂木（孝）－中野
（群大）吉原・大野－縣
☆三塁打　渋澤（荒）清水（群）
☆二塁打　山下・深澤（荒）
（戦評）群馬大学荒牧は初回４番山下選手の２点タイムリー二塁打で先制した。その裏群馬大学は先頭打者が三塁打で出塁するが、３番打者の空振りでランナーが飛び出しアウトとなりチャンスをいかせなかった。その後は４回、５回に群馬大学荒牧が得点を取り勝利した。

第２試合
東海大学　０１００００００００｜１
日本大学　３０３０００００００｜６
（東）家倉・入江－小野瀬
（日）山崎－今駒
☆二塁打　鹿田（日）
（戦評）日本大学は初回四球とエラーでチャンスを作ると、４番大崎、五番細野の連続タイムリーで３点を先取した。東海大学もすぐに１点を返すもののエラー６個と流れに乗れず日本大学山崎にヒット５本に抑えられた。

◎３月29日　法政大学多摩グラウンド
第１試合
専修大学　２０１２６３０｜14
埼玉大学　０００２０００｜２
（７回コールド）
（専）渡邉・浅木－植田
（埼）伊勢谷・加藤・三浦－池田・後藤
☆三塁打　椎谷（専）
☆二塁打　板谷・椎谷・吉田・牧（専）
（戦評）専修大学が15安打14得点の猛攻で7回コールド勝ちを収めた。２番・渥美は３打数３安打４打点と大活躍。埼玉大学は５回表に３失策と守備が乱れ、点差が大きく開いてしまった。

第２試合
法政大学　００１２０２０１１｜７
日本大学理工学部　０００００３００｜３
（法）大谷・安田－佐藤
（日）三科・石田－石橋
☆本塁打　舟木（法）
☆三塁打　橘・落合・佐藤（法）
☆二塁打　舟木（法）
（戦評）法政大学が序盤リードを奪い、その後も効果的に得点を重ね日本大学理工学部に勝利した。３回表に縣が相手のエラーで出塁すると盗塁と２つの内野ゴロの間にホームへ生還、１点を先制する。８回表にはダメ押しとなる主将・舟木のソロ本塁打で得点を重ねた。日本大学理工学部は２回裏・一死満塁のチャンスに併殺打と拙攻が響いた。

◎３月30日　上柚木公園野球場
第１試合
都留文科大学　０００００００００｜０
早稲田大学　０１１２２１２1x｜10
（８回コールド）
（都）平野・北村・武田－岩崎
（早）河合・村山－松下
☆本塁打　木藤・休波（早）
☆三塁打　岡田（都）、松下（早）
☆二塁打　松下・沼田・嘉悦・（早）
（戦評）初回以外毎回得点をした早稲田大学。木藤、休波の本塁打をはじめとし、計13安打で10点差をつけ８回コールドで都留文科大学を圧倒。投げる河合も７回被安打３四死球０の好投を見せ、続く村山も１つのヒットも許さず、都留文科大学の強打線を黙らせた。

第２試合
国士舘大学　２００１００１３０｜７
神奈川大学　０００１００１００｜２
（国）芦田－清水
（神）阿部－渡邉
☆本塁打　鈴木（神）
☆三塁打　箱田（国）
☆二塁打　清水・宮井２・永田・増田（国）
（戦評）初回国士舘は、神奈川の阿部の立ち上がりをつかまえ、清水・宮井の二塁打により２点を先制。８回先頭打者を四球で進めて塁に走者をため一死満塁、永田の適時二塁打によりダメ押しの２点を追加するなど、計10安打の猛攻を見せた。

◎３月30日昭島市民球場
第１試合
群馬大学荒牧　００３０００００１｜４
日本大学　２０００３００１×｜６
（群）茂木良太－中野
（日）保母・岡島－今駒
☆本塁打　竹林（日）
☆三塁打　関口（群）、大崎・細野（日）
☆二塁打　大崎・細野（日）
（戦評）日本大学は初回竹林の２ランホームラン、５回は連続タイムリーと効率よく得点をあげた。群馬大学荒牧は３回３本のヒットを集め一時逆転したものの、日本大学２番手岡島の前に５つの三振を喫するなどチャンスを作ることができなかった。

第２試合
専修大学　２０２０００００００｜４
法政大学　０３１０１０００×｜５
（専）高橋陽・渡邊－植田
（法）松田・大谷－佐藤
☆三塁打　舟木（法）
☆二塁打　縣・脇坂（法）
（戦評）序盤は点を取っては取られのシーソーゲーム。同点でむかえた５回法政大学は六番舟木のタイムリー３ベースで勝ち越した。両チームリリーフが好投した。専修大学はチャンスを作るものの得点することはできなかった。

◎３月31日　昭島球場
第１試合
国士舘大学　０００００１１１００｜３
早稲田大学　００１０１２００×｜４
（国士）小熊・鈴木－清水
（早大）石田・沼座－松下・市堰
☆本塁打　南（早）
☆三塁打　増田（国）
☆二塁打　上野（早）
（戦評）この試合は１点を争う好ゲームとなった。早稲田大学はヒットで出たランナーを送り、相手のミスで先制する。国士舘大学は相手の２つのミスで５回に得点するが、その裏早稲田大学は２番打者の犠牲フライで逆転する。６回裏には７番南選手の２点本塁打で点差を広げた。国士舘大学は早稲田大学の石田、沼座両投手を打ち崩すことができずに終わった。
※早稲田大学全日本大会出場決定

第２試合

日 本 大 学	６０１１１０１	10
法 政 大 学	０００００００	０

（７回コールド）

（日本）山崎－今駒
（法政）安本・大谷・蓮岡－佐藤
☆三塁打　大崎（日）
☆二塁打　槇原・鹿田・加藤（日）

（戦評）日本大学は初回に打者１巡の猛攻で６点を先制すると、その後は７回まで小刻みに得点を重ねていった。法政大学はランナーこそ出すも、日本大学山崎投手を中心とした堅い守りを崩すことはできず、１点も奪えずに試合が終了した。

※日本大学全日本大会出場決定

◎４月４日　法政大学多摩グラウンド
３位決定戦

国 士 舘 大 学	０００１０２０１	4
法 政 大 学	０００００００１	1

（国）芦田－清水
（法）松田－佐藤
☆本塁打　宮井（国）
☆二塁打　池田・野村・荒川・箱田（法）

（戦評）国士舘が法政を下し、３位を決めた。４回まで両チーム無得点であったが、５回国士舘の野村が右中間二塁打を放ち先制点をとる。７回には宮井の２ランと、国士舘が松田から計13安打４得点を奪い勝利。一方の法政も９回、芦田から杉本・落合・船木の連打により１点を返すものの追いつくことはできなかった。

全日本大会予選会

１次トーナメント

◎６月９日　法政大学多摩グラウンド
第１試合

群馬大学荒牧	２００００００００	2
法 政 大 学	００４１００００×	5

（群）大竹・茂木－中野
（法）大谷－佐藤
☆本塁打　関口（群）
☆二塁打　田代（群）

（戦評）法政大学が逆転勝利で全国大会への出場権を獲得した。初回、群馬大学荒牧の４番関口がライトへの２点本塁打を放ち先制。追う法政大学は３回裏、５番縣の犠飛で１点を返すと、さらに相手の守備の乱れで一挙３点、逆転に成功する。法政の先発・大谷は先制こそ許したものの、９回５安打２失点の好投で相手打線を封じた。

◎６月９日　上柚木公園野球場
第１試合

日大理工学部	０００００００００	0
中 央 大 学	０２０００００００×	2

（日）三科・石田－石橋
（中）笠継・小河原－福澤
☆二塁打　赤嶺（中）

（戦評）中央大学は２回ヒットと四球でチャンスを作ると、９番笠継のファーストゴロ、１番児玉のヒットで２点を先制した。しかしそのあとは日大理工のエース石田の前に得点することができなかった。中央大学は笠継、小河原の盤石の継投で日大理工打線を散発２安打に抑え込んだ。

第２試合

国 士 舘 大 学	０３２０１０１０２	9
関東学院大学	１３００００００００	4

（国）滝本・小熊－清水
（関）戸津－石塚（裕）
☆三塁打　箱田・河野・野村（国）
☆二塁打　箱田・清水（国）、戸津（関）

（戦評）国士舘大学は１点ビハインドの３回死球のランナーをバントで送り４番箱田のタイムリー二塁打、バッテリーエラーで勝ち越しに成功した。両チーム序盤はミスが多く出たが、中盤以降はしっかりと立て直した。関東学院の戸津は辛抱強く投げ続けたものの国士舘大学の強力打線の前に力尽きた。

２次トーナメント

◎６月15日　市営立川球場
第１試合

群 馬 大 学	０１０００００	1
明 治 大 学	４００１２３1x	11

（７回コールド）

（群）吉原・大野・横野－縣
（明）赤尾・小田・小出－伊藤
☆三塁打　橋本（明）
☆二塁打　船木（明）

（戦評）明治大学が７回11得点でコールド勝利を収めた。群馬大学は２回裏に１点を返したものの、明治大学の３投手による継投に狙いが定まらず、わずか２安打に終わった。

第２試合

創 価 大 学	０００００１１１００	3
関東学院大学	１０００８０００×	9

（創）柴・近藤－神野
（関）五村・渡辺・本間・五十嵐・戸津－石塚裕
☆二塁打　扇（関）

（戦評）関東学院大学が５回裏、５打者連続安打など打者14人８得点の猛攻で試合を決めた。創価大学は５回表、ヒットで出塁した正司が相手バッテリーのミスにより生還し一時は同点としたが、直後に大量失点により敗北を喫した。

◎６月15日　法政大学多摩球場
第１試合

日本大学理工学部	００２２００００００	4
神 奈 川 大 学	５１０００１０１×	8

（日）小泉－石橋
（神）阿部－島取
☆本塁打　小泉（日）
☆三塁打　田中（神）、中村正（神）
☆二塁打　大竹（日）、宮国（神）

（戦評）初回、神奈川大学が相手投手の立ち上がりを攻め、大量得点に成功した。日大理工学部も小泉の本塁打などで反撃するも、５回以降は阿部の好投に抑えられた。

第２試合

群馬大学荒牧	００００００００	0
専 修 大 学	３０１００４12x	10

（７回コールド）

（群）茂木（良）・茂木（孝）－中野
（専）髙橋（陽）－植田（博）
☆二塁打　関口・中野（群）、牧（専）

（戦評）１回裏、専修大学が四死球で満塁のチャンスから植田（博）、山岡の連続タイムリーで先制すると、その後も６回の打者一巡の猛攻などで大量点を挙げた。先発した高橋（陽）も４安打完封と好投を見せた。

◎６月16日　群馬大学荒牧球場
第１試合

群馬大学荒牧	０２００１０１７１	12
群 馬 大 学	０００２０００１０	3

（群荒）大竹・三上－中野
（群大）吉原・横野・北村－縣
☆本塁打　茂木（秀）・櫻井（群荒）
☆二塁打　中野･茂木（秀）･大竹２（群荒）
猪俣（群大）

（戦評）群馬大学は７回まで力投していた吉原が８回に突如崩れ、かわって登板した横野が期待に応えられなかった。打線も４回に５連打などで２点をとるも後が続かず攻めきれなかった。８回に２本の本塁打などで一挙７点をとった群馬大学荒牧が勝利した。

◎６月22日　法大多摩グラウンド
第１試合
専 修 大 学　３０００１０２０｜６
明 治 大 学　０３００００００２｜５
（専）高橋陽・渡邉－植田
（明）酒井一・小田・小出－伊藤
☆本塁打　金子（専）
☆二塁打　渥美・植田・山岡・渡邉（専）
小田（明）
（戦評）初回、安打で出塁した椎谷を一塁に起き、４番金子が特大の本塁打で２点を先制、その後も１点を追加した専修大が試合を優位に進める。一方、２回裏、明治大は、７番吉田・８番萩谷の連続適時打で同点に追いつく。その後も順調に加点した専修大は、９回裏にピンチを迎える。５番橋本の適時打で１点差に迫り、続く７番吉田も安打を放つも二塁走者が本塁で憤死。専修大の３年ぶりの全日本大会出場が決まった。

敗者復活戦

◎６月23日　法大多摩グラウンド
第１試合
日本大学理工学部　１０００１０００｜２
創 価 大 学　００１００２０２×｜５
（日）石田－石橋
（創）近藤・柴－神野
☆三塁打　高橋（創）
☆二塁打　高橋・三成（創）
（戦評）初回、日大理工は押し出し四球で１点を先制する。対する創価大は、３回裏に併殺間に三塁走者が生還、同点に追いつく。５回表に日大理工が再び押し出し四球で勝ち越すも、６回裏に６番三成の適時二塁打で創価大が逆転に成功。８回裏にダメ押しした創価大が清瀬杯出場権を獲得した。

第２試合
関東学院大学　０００００００００｜０
神 奈 川 大 学　００１１１０２１×｜６
（関）戸津・五十嵐－石塚裕
（神）阿部－鳥取
☆本塁打　鈴木（神）
☆二塁打　高村（神）
（戦評）３回裏、８番鈴木が右越本塁打を放ち、１点を先制する。その後も順調に加点した神奈川大は８回終了時点で六点をリードする。対する関東学院大は神大主戦阿部に10奪三振を奪われ、反撃できない。散発２安打に封じこまれ、神奈川大が全日本大会出場権を獲得した。

第35回関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦

◎11月２日　東京海上日動多摩総合球場
第１試合
東京海上日動　０１００００００１｜２
明 治 大 学　００２２００００×｜４
（東）曾田－荒畑
（明）赤尾・小田－伊藤
☆本塁打　河野・山根（東）、萩谷（明）
（戦評）東京海上日動は２回河野のホームランで先制した。しかし明治大学は３回萩谷の２ランホームランで逆転しそのまま逃げ切った。　明治大学の赤尾は丁寧な投球で東京海上日動の強力打線を抑え込んだ。

第２試合
東京三菱ＵＦＪ　０００１２００００１｜４
関東学院大学　３２０２１１００×｜９
（東）近藤・祝－秋山
（関）五十嵐・太田－金児
☆本塁打　森・荒浪（関）
☆二塁打　扇・柳田・山上・石塚（俊）（関）
（戦評）関東学院は初回ランナー１、３塁から４番の荒浪が３ランホームランで流れを掴むと４番森のホームランなどで合計９得点。東京三菱ＵＦＪは再三チャンスを作るも４、５回以外は得点を挙げることが出来ず打ちあぐねた。

◎11月２日　八王子市民球場
第１試合
三井住友海上火災保険　０００００００００｜０
中 央 大 学　０２３１００１０×｜７
（三）松尾・金子・高橋（哉）－船井
（中）清水－福澤・勝又
（戦評）中央大学は２回、ヒット２本とバントを絡め、２点を先制し、その後も小刻みに追加点を挙げた。三井住友海上火災保険は中央大学先発の清水を最後まで攻略できず散発４本に終わった。

第２試合
北 里 大 学　０００００００００｜０
茨 城 大 学　０００２１０４１×｜８
（北）三田・坂井－明石
（茨）高野・須賀－須賀・土田
☆本塁打　榎戸（茨）
☆三塁打　須賀（茨）
☆二塁打　松下（北）、土田・大久保（茨）
（戦評）４回、茨城大学は４番の榎戸のホームランで先制するとその後も得点を重ねた。北里大学はチャンスを何度も作ったがあと一本が出なかった。

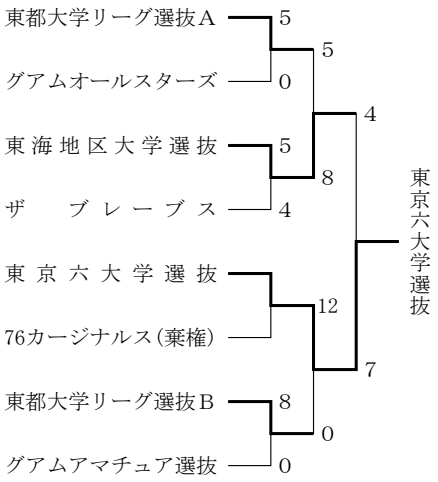
◎11月３日　東京海上日動多摩総合球場
第１試合
明 治 大 学　０３０１００００００｜４
関東学院大学　０１０００１０００｜２
（明）赤尾・小田－伊藤
（関）戸津－金児
☆本塁打　萩谷（明）、森（関）
（戦評）明治大学は２回四球とヒットでチャンスを作ると９番萩谷の３ランホームランで先制。すぐさま関東学院大学も森のホームランで反撃するも明治大学自慢の投手陣に抑え込まれてしまった。

第２試合
茨 城 大 学　０００００００００｜０
中 央 大 学　２０１４００１０×｜８
（茨）椎名・高野－須賀
（中）笠継－福澤・勝又
☆本塁打　勝山（中）
☆二塁打　赤嶺（中）
（戦評）中央大学は初回相手のミスからチャンスを作ると３番赤嶺、５番のタイムリーヒットで効率よく先制すると最後まで主導権を渡さなかった。茨城大学は中央大学エース笠継に散発２本と完全に抑え込まれてしまった。

◎11月９日　東京海上日動多摩総合球場
第１試合
明 治 大 学　０００００００２０｜２
中 央 大 学　０１１０１３００×｜６
（明）赤尾・小田・小出－伊藤
（中）笠継・清水－福澤・勝又
☆本塁打　萩谷（明）
高野・松嶋・勝山・上野（中）
☆二塁打　大湾・赤嶺（中）
（戦評）中央大学は２回４番の高野のホームランで先制するとその後も４本のホームランで明治大学寄せ付けなかった。明治大学も８回萩谷のホームランで２点を返すも反撃が遅かった。

第20回フレンドシップジュンコーベースボールトーナメント

会期：2013年11月30日・12月１日
会場：レオパレスリゾート野球場



◎11月30日

東　都　Ａ	０	１	０	０	１	２	１	０	０	５
オールスター	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（東）高橋・鈴木・篠原－今駒
（オ）FREDDY－SHANE

東　　海	０	２	１	０	０	０	１	１	０	５
ブレーブス	１	０	０	２	０	１	０	０	０	４

（東）吉田・長谷川・伊藤－倉知
（ザ）AGRON・JOHN・PAUL－HANK

東　都　Ｂ	４	１	２	１	０	０	０	０	０	８
アマチュア	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（東）根本・設楽・月田－片柳
（ア）JOHN・GRIAN・JESS－BROAD

◎12月１日
（準決勝）

東　都　Ａ	０	０	１	２	０	０	１	０	１	５
東　　海	０	０	０	８	０	０	０	０	×	８

（都）大井・鈴木－今駒
（海）岡田－古屋

六　大　学	４	１	２	０	０	０	５	００		12
東　都　Ｂ	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（六）河合・岡部－市堰・奥山
（都）小池・月田・塚越－石野・片柳
（決勝）

東　　海	０	０	０	１	００	１	２	０		４
六　大　学	５	１	１	００	０	０	０	０	×	７

（東）吉田・長谷川・伊藤・西村・平通－倉知
（六）田原・石田－奥山・市堰・由川

六大学選抜主将　駒田　　開（早稲田大）
「円滑な大会運営をしていただいた連盟の方々には感謝しております。東京六大学の強さを証明できて大変嬉しいです。」

大会MVP受賞　栗田　拓磨（早稲田大）
「優勝に加え、MVPを受賞できたことを大変嬉しく思います。共に戦った仲間に感謝しています。」

グアム遠征を終えて

東都大学Ａ選抜　主務　佐藤　駿太

私自身、外国人のチームと対戦するのは初めてで、スイングの速さや身体能力の高さに圧倒されていましたが、初戦は勝利することが出来ました。

準決勝は、試合途中にスコールに見舞われ、１時間近く試合が中断されましたが、大会役員の方や両チームのプレーヤーの整備のおかげで再開することが出来ました。試合は敗戦を喫し、３位という結果に終わりましたが、この選抜メンバーで普通では経験できない機会を与えていただき、浅田会長をはじめとする連盟の方々、大会を運営してくださった大会役員の方々、今回、東都選抜Ａチームを指揮してくださった佐野監督に感謝申し上げます。ありがとうございました。

東都大学Ｂ選抜　主務　金子　　佑

今回の遠征で、今までの野球人生がどれだけ多くの人々に支えられていたかを再認識しました。これまで当番校等を経験してこなかった私は、他の主務に迷惑をかけ、助けられてばかりでした。また、大会を円滑に進行する為、多くの方々が、私の知らない裏で、手配や準備に勤しんでくださっていたことを目の当たりにしました。その方々へ感謝とともに、少しでも力になれたらという思いで仕事をしました。

結果、大会の成功に加え、選手から感謝の言葉を頂き、少しは貢献できたのかと思っています。また、他者実現を果たすことの喜びを学ばせていただきました。この貴重な経験をさせてくださった運営の方々や選手、マネージャー、そして私の野球人生を支えてくださった皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

東海地区選抜　団長　松岡　弘記

第20回の記念大会ということで関東学連から参加させて頂けるとのご案内を頂いた。東海学連としては、今年は中国遠征も予定しており、経済的にもまた選手が集まるかも不安であったが、しかし、海外遠征は学生の良き経験となることから思い切って実施に踏み切った。

東海学連からは、１年生と２年生を中心とした選抜チームを派遣することができ、１回戦はグアムの社会人No.1チームの「モイランBRAVES」、準決勝は東都大学選抜Ａチーム、決勝は東京六大学選抜チームと対戦することができた。決勝では敗れたものの、いずれのゲームも怖いもの知らずの全員野球で精一杯やったことにより、ミラクルの連続であった。このグアム遠征では、この上ない大変貴重な経験をすることができ、田代監督をはじめ選手も女子マネージャーもチームの全員が大きく成長し、団長として最高の喜びに浸ることができた。これも関東学連の役員の方々、主務と女子マネージャー並びに東海トラベルの小幡氏による立派な大会運営のお陰であり、心より厚く感謝し、お礼申し上げます。その余韻に浸りながらの中部セントレア空港での解団式では、来年もグアム大会に参加したい人を尋ねると全員が手を挙げ、学生達の満足度はとても大きく、東京六大学選抜チームへのリベンジを全員で誓った。

東京六大学　春季リーグ戦

◎４月６日　早大東伏見グラウンド
第１試合
東京大学　０００００００１０｜１
法政大学　１０００２５１０×｜９
（東）岡部・森田－小林
（法）松田－佐藤
☆本塁打　橘（法政）
☆二塁打　杉本・佐藤（法政）
（戦評）法政松田、東大岡部の先発で始まったこのゲーム。初回、法政の４番小野がライト前のタイムリーヒットで法政が先制１－０。その後も法政は橘のホームランなどで得点を重ねる。東大は８回に宮田の内野安打で１点を返すが反撃及ばず９－１で法政が勝利をおさめた。

第２試合
立教大学　１０１１００００１０｜４
慶應義塾大学　０００００１０１０3x｜５
（立）谷－奥山
（慶）中場・岩崎・三浦－小西
☆本塁打　神岡（立教）
☆二塁打　山田・谷（立教）
小西・岩澤・深澤（慶應）
（戦評）初回、立教は１番神岡が先頭打者本塁打を放ちいきなり先制。立教の勝利が濃厚となった最終回、振り出した雨と疲労により制球が乱れ始めた谷をついに慶應打線が捉え、集中打で３点を追加。サヨナラ勝ちで慶應が初戦を取った。

◎４月８日　法大多摩グラウンド
第１試合
慶應義塾大学　０２００００００００｜２
立教大学　０００００１１０１×｜３
（立）田原・加藤－奥山
（慶）森・塚本・三浦－小西
☆三塁打　森（慶應）
☆二塁打　大津留・文字（立教）
辻（慶應）
（戦評）慶應森、立教田原の先発で始まったこのゲーム。慶應が２回、森のライトへのタイムリースリーベースで先制、２－０。しかし、立教も５回に１点を返すと、６回西野のタイムリーヒットで同点に追いつく。その後立教は８回、藤吉のセンターへのタイムリーで逆転、そのままスコア変わらず３－２で立教が勝利した。

第２試合
法政大学　０１２１００００００１｜５
東京大学　０００１００２１０００｜４
（延長11回）
（法）安本・阿部・蓮岡・大谷－佐藤
（東）吉條－小林
☆三塁打　佐野・橘（法政）
☆二塁打　舟木×２・佐藤（法政）
岡部×２（東京）
（戦評）法政大学が２回に先制し序盤は法政ペースだったが、終盤にかけての東京大学の猛攻により８回に４－４の同点となる。そのまま延長戦に突入したが、11回に法政大学が勝ち越し５－４で法政大学の勝利となった。

◎４月９日　法大多摩グラウンド
第１試合
立教大学　１０００１０１０５｜８
慶應義塾大学　０２００００２００１｜５
（立教）谷・田原・加藤－奥山
（慶應）中場・岩崎・三浦・森・塚本－小西
☆本塁打　大津留（立教）、辻（慶應）
☆三塁打　平井（慶應）
☆二塁打　藤吉（立教）
（戦評）勝ち点がかかった慶應立教第３戦。慶應は中場、立教は谷の両先発で試合は始まる。７回まではシーソーゲームであったが、９回に立教が一挙５点を獲得し逆転。９回裏に慶應も粘り１点を挙げるが、そのまま立教が逃げ切り、勝ち点を獲得した。

◎４月13日　大田スタジアム
第１試合
立教大学　００１００１０００｜２
早稲田大学　００００５３０３×｜11
（立）田原・加藤・高田－奥山・佐野
（早）河合・秋元・向江－木藤
☆二塁打　大津留（立教）
（戦評）５回裏早稲田は１番堂園がセンター前で出塁するとエラーや四球が絡みこの回一気に五点を奪う。立教大は６回に１点を返すが早稲田はヒット14本の猛攻で６回、８回に３点ずつ挙げ11－２で早稲田が快勝。

第２試合
東京大学　１００００００００｜１
明治大学　００００２０２０×｜４
（東）吉條－小林
（明）赤尾・菊池・小出－伊藤
☆二塁打　橋本（健）×２（明治）
（戦評）東大は初回、四死球で出たランナーを高本の適時打で返し１点を先制。４回までは東大の先発吉條がテンポよく明治打線を抑える。しかし５回、四球と安打で明治が逆転、更に７回には東大の失策も絡め２点を獲得。その後明治は菊池、小出の投手リレーで東大を無得点に抑え、勝利した。

◎４月14日　早大東伏見グラウンド
第１試合
明治大学　０００００１０１００｜２
東京大学　０００００８００×｜８
（明）加賀谷・菊池・赤尾－吉田
（東）岡部－小林
☆本塁打　加藤（明治）
☆二塁打　岡部・宮田（東京）
（戦評）東大先発・岡部から明治加藤がソロホームランを放ち、先制に成功する。対する東大は明治先発・加賀谷から打線がいまひとつつながらなかったが、６回、失策が絡んだのち、松高のヒットで同点に追いつくと、打線が爆発。東大はそのまま逃げ切り試合終了。

第２試合
早稲田大学　０００００１０００｜１
立教大学　０００００００００4x｜４
（早）石田－木藤
（立）谷－奥山
☆本塁打　佐々木（立教）
☆二塁打　文字（立教）
嘉悦・松本（早稲田）
（戦評）スコアレスのまま迎えた５回、早稲田は南のタイムリーで先制１－０。そのまま試合終了かと思われた９回、立教は満塁のチャンスを作ると代打佐々木のサヨナラ満塁ホームランで劇的な勝利をおさめた。

◎４月15日　早大東伏見グラウンド
第１試合
立教大学　０００００００３００｜３
早稲田大学　０３１００１３１×｜９
（立）田原・谷・高田・角森・山下・加藤－奥山
（早）河合・向江－木藤
☆三塁打　松井（早稲田）
☆二塁打　奥山（立教）、児玉（早稲田）
（戦評）立教は田原、早稲田は河合の両先発で始まった第３戦。２回裏に早稲田が３点を先取し、その後も得点を重ねる。立教も７回に３点を挙げるも、河合と向江に３安打に抑え込まれ得点はこの回のみ。早稲田は７、８回にも得点を重ね、３－９で早稲田が勝利、勝ち点を獲得した。

第２試合
東京大学　００１０２００００｜３
明治大学　１３０００００４１×｜９
（東京）吉條・森田－小林
（明治）赤尾・小出－吉田
☆本塁打　萩谷・橋本（健）・寶田（明治）
☆三塁打　橋本（健）（明治）
☆二塁打　赤尾・橋本（健）（明治）
松高（東京）
（戦評）１回裏明治は１番橋本が右中間を破るスリーベースでチャンスメイクをすると、２番寶田がライト前へタイムリーを放ち先制。一時東大が同点に追いつくも、明治は８回に追加点を挙げ９－３で試合終了。

◎４月20日　昭島市営球場
第１試合
明 治 大 学　１００００００２｜３
法 政 大 学　００１０００００｜１
（明）赤尾・小出－伊藤
（法）大谷・末次－佐藤
☆二塁打　杉本（法）
（戦評）明治対法政の第１戦は、両校エース同士の対決となった。両投手安定した試合作りをし終盤まで１－１の緊迫した展開続くも、９回表に法政・大谷が捕まり２失点。８回から登板した明治・小出がそのまま抑え明治大学が勝利した。

第２試合
早稲田大学　０２１０００００５｜８
慶應義塾大学　０１１１０１０００｜４
（早）河合・沼座・向江－木藤・市堰
（慶）森・中場－小西
☆三塁打　小西（慶）
☆二塁打　土屋・市堰（早）
（戦評）２回表、早稲田大学はヒットで出塁した走者を土屋の二塁打で還し先制点。その裏、慶應義塾大学は相手のエラーにより１点を返す。同点で迎えた６回に慶應義塾大学が逆転に成功する。１点差で迎えた９回表、早稲田大学がヒットと死球でランナーをためると市堰の二塁打で勝ち越し早稲田大学が勝利した。

◎４月22日　早大東伏見グラウンド
第１試合
慶應義塾大学　０００００００１０｜１
早稲田大学　００００１０００1x｜２
（慶）岩崎・坂本・塚本－小西・小田
（早）石田・沼座－市堰
☆二塁打　土屋（早）
（戦評）５回までは両先発投手の踏ん張りで０点行進が続くも、５回裏均衡を破って早稲田が先制。 早稲田の先発石田はランナーを出しながらも粘るが、８回表、慶應にホームスチールを許し同点。慶應の勢いで試合は決まるかとも思われたが、９回裏満塁からの四球で押し出し。早稲田が接戦を制した。

第２試合
法 政 大 学　０００００００００｜０
明 治 大 学　０００００００１×｜１
（法）松田・安本－佐藤
（明）酒井（一）－伊藤
（戦評）戦となった今試合の８回、明治は１アウトから代打滝沢がつまらせながらも内野安打で出塁、悪送球もありランナー２塁とすると、続く寶田がレフト前にヒットを放ち、待望の先取点を取ることに成功。９回、法政最後の攻撃も明治酒井の前に打線は沈黙。０－１で明治が勝利をおさめた。

◎４月27日　法大多摩グラウンド
第１試合
立 教 大 学　１００２０３００１｜７
法 政 大 学　０００００００３｜３
（立）谷・加藤－奥山
（法）松田・安本－佐藤
☆三塁打　安随・藤吉（立教）
☆二塁打　落合（法政）
（戦評）立教、法政の第１回戦は初回、立教が安随、大井の連打で鮮やかに先取点を挙げる。立教は４回、６回にも効果的なタイムリーが飛び出し試合を決定づけた。法政は最終回に３点を挙げる意地をみせたが序盤の失点が響いた。初戦は立教が勝利をおさめた。

第２試合
東 京 大 学　１０１０２００００｜４
慶應義塾大学　００１４０２０４×｜11
（東）岡部－小林
（慶）森・中場－小西
☆三塁打　小西・八田・平本（慶應）
宮田（東京）
☆二塁打　八田・中場（慶應）
（戦評）東大は初回に４番村田の適時打で先制し、３回にも追加点をあげ２－０とする。その後慶應が反撃し５点を得るが、東大も５回に宮田の長打で１点差に詰め寄る。しかし後半慶應が一挙６点をあげ４－11で慶應が勝利した。

◎４月28日　法大多摩グラウンド
第１試合
慶應義塾大学　３０２００８００３｜16
東 京 大 学　０００００００１１｜２
（慶）岩崎・塚本－小西・小田
（東）吉條・森田・細谷－小林
☆三塁打　辻（慶應）
☆二塁打　片山×２・八田（慶應）
酒井（東京）
（戦評）初回、慶應が安打と野選などで３点を先制。その後東大の先発吉條も踏ん張るが、終始慶應ペースが続き、７回終了時点で13－０。東大は８、９回に１点ずつあげるも慶應の大勝となった。

第２試合
法政大学　０００１１００００｜２
立教大学　０００００００００｜０
（法）末次－佐藤
（立）田原・加藤－奥山
☆二塁打　中村（法政）、文字（立教）

（戦評）序盤は末次、田原両投手の好投により両チーム無得点。４回表、法政は橘の中前安打で出した走者をショートのエラーで還し先制。打線の援護を得た法政の末次は立教打線を４安打12三振で完封勝利を飾った。

◎４月30日　法大多摩グラウンド
第１試合
立 教 大 学　０００００００００｜０
法 政 大 学　０００００００２０×｜２
（立）谷・加藤・田原－奥山
（法）大谷－佐藤
☆二塁打　橘・中村・佐藤（法政）
（戦評）法政大谷、立教谷の投げ合いとなった第３回戦。試合は中盤まで緊迫の投手戦となった。しかし７回、法政は中村、佐藤にタイムリーが飛び出し２点を先制。その２点を大谷が守りきり完封。法政が勝ち点を得た。

◎５月４日　駒沢公園野球場
第１試合
東 京 大 学　０００００００００｜０
早稲田大学　００２７００３１×｜13
（東）岡部・森田・細谷－小林
（早）石田・高橋－木藤・松下
☆本塁打　駒田（早稲田）
☆二塁打　松井×２・栗田・嘉悦（早稲田）
（戦評）３回、ヒットで出塁した走者が松井の二塁打で生還し早稲田が先制。そして４回に８本のヒットで早稲田が７得点し東大を引き離す。反撃に出たい東大だが、早稲田・石田と高橋の前に打線は沈黙。早稲田が勝利した。

第２試合
立 教 大 学　０００００１０００｜１
明 治 大 学　０００１００００1x｜２
（立）谷・加藤－奥山
（明）赤尾・菊池・小出－伊藤
☆二塁打　加藤（明治）
（戦評）試合を通して、投手戦で８回終了時点で１－１。９回表、立教は無得点で終わり、同裏明治も簡単に２死と追い込まれる。同点で引き分けになるかと思われたが、四球で寶田が出塁するとすぐに盗塁を決め２死二塁。その後３番の船木がアウトコースの球を詰まりながらもレフト線へ運び、明大のサヨナラ勝ち。

◎５月５日　早大東伏見グラウンド
第１試合
明 治 大 学　０００００２１１００｜４
立 教 大 学　０００２１０００２x｜５
（明）酒井（一）・小出・赤尾－伊藤
（立）田原・中川－奥山
☆本塁打　榛葉・文字（立教）
☆三塁打　寶田（明治）
☆二塁打　岡田・豊田・三浦（明治）
佐野（立教）
（戦評）明治は酒井（一）、立教は田原の先発で始まった、明治立教第２戦。８回終了時までは、明治が先発田原から10安打を挙げ４－３でリード。しかし９回裏、明治の中継ぎ

小出と赤尾の前に立教打線が襲い掛かる。立教が２点を挙げ、逆転サヨナラ。第二戦は立教が勝利した。

第２試合

早稲田大学	０	０	１	０	２	０	１	０	１	５
東京大学	０	０	０	０	０	１	０	０	０	１

（早）河合・向江－木藤・松下
（東）吉條－小林
☆二塁打　木藤（早稲田）、酒井（東京）
（戦評）３回表　早大、東大のエラーにより１点を先制。５回表　早大、スクイズにより２点追加。６回裏　東大、酒井のタイムリーで１点を返す。７回表と９回表に早大が１点ずつ追加し、勝利した。

◎５月６日　早大東伏見グラウンド
第１試合

立教大学	０	０	１	０	２	０	０	０	０	３
明治大学	０	０	６	０	０	０	１	×		７

（立）谷・中川・田原－奥山
（明）酒井（一）・赤尾・小出－伊藤
☆二塁打　船木（明治）
（戦評）立教が３回に１点を先制。対する明治は４回に打者一巡の猛攻で一挙６点を挙げ、試合を決定付けた。立教は終盤チャンスを作るもあと１本が出ず。明治が勝ち点を得た。

◎５月11日　法大多摩グラウンド
第１試合

早稲田大学	２	００	１	０	２	２	００	７
法政大学	０	００	０	０	１	００	１	２

（早）石田・向江・沼座－木藤
（法）末次・大谷－佐藤
☆三塁打　舟木（法）
☆二塁打　舟木（法）、駒田（早）
（戦評）早稲田の先発石田、法政の先発末次で始まった、法政早稲田第１戦。初回、早稲田は四球などで出たランナーを効率よく返し２点を先制。その後も早稲田はヒットエンドランを用いた作戦がうまくはまり、合計７得点。法政も６回に１点、９回にも１点を挙げ粘るが、及ばず。７－２で早稲田の勝利となった。

◎５月12日　早大東伏見グラウンド
第１試合

慶應義塾大学	０	１	００	００	２	２	０	５
明治大学	０	１	２	１	００	００	００	４

（慶）森・中場－小西
（明）赤尾・小出－伊藤
☆本塁打　小西・深澤・辻（慶）
☆二塁打　辻（慶）
（戦評）２回に慶應が先制するも、その後明治が逆転に成功し明治ペースで試合が進んだ。しかし、７回に小西、８回には深澤と辻が本塁打を放ち慶應が逆転に成功した。その後、慶應は明治打線をゼロに抑え、５－４で慶應義塾大学が勝利した。

第２試合

法政大学	０	１	００	００	１	００	２
早稲田大学	０	１	１	０	４	００	１	×		７

（法）大谷・松田－佐藤
（早）河合・向江・沼座－木藤
☆二塁打　嘉悦・木藤（早）
佐野×２（法）
（戦評）早稲田は河合、法政は大谷の両先発で始まった第２戦。２回法政は１点を先取するが、直後の裏に早稲田に１点を返される。その後も早稲田は５回に一挙４得点をあげるなど、クリーンナップを中心に得点を重ねる。法政は７回に１点を返すが及ばず、７－２で早稲田が再び勝利した。

◎５月13日　早大東伏見グラウンド
第１試合

明治大学	０	００	０	００	０	００	０
慶應義塾大学	０	００	２	１	２	０	１	×		６

（明）酒井（一）・小崎・小出－伊藤
（慶）岩崎－小西
☆本塁打　渡辺（慶）
☆二塁打　成田（明）
（戦評）明治は酒井（一）、慶應は岩崎の両先発で始まった第２戦。慶應は渡辺の本塁打など合計10安打をあげ、６得点。一方明治は慶應の先発岩崎の前に６安打７三振と沈黙し、無得点。岩崎の完封で慶應が勝利、勝ち点をあげた。

◎５月18日　早大東伏見グラウンド
第１試合

明治大学	０	００	０	１	１	０	１	０	３
早稲田大学	２	００	００	１	０	４	×			７

（明）酒井（一）・小崎・小出－伊藤
（早）石田・向江・沼座－木藤
☆本塁打　嘉悦・木藤（早稲田）
☆二塁打　加藤・伊藤（明治）
土屋（早稲田）
（戦評）明治の先発酒井（一）と早稲田の先発石田で始まった早明第一戦。明治は合計で10安打を挙げるもエラーなどが絡み失点。一方の早稲田は５安打ながらも２本塁打を含む長打で効率よく得点。明治に１度もリードされることなく３－７で勝利した。

◎５月18日　明大府中グラウンド
第１試合

東京大学	０	１	１	３	００	００	１	６
立教大学	０	００	０	１	０	３	００	４

（東）岡部－小林
（立）谷・中川・加藤－奥山
☆三塁打　酒井（東京）
☆二塁打　武井・小林（東京）
安随・文字（立教）
（戦評）東大は２回に武井の適時打で先制。その後も交代した投手から得点を重ね、計６得点。立教は５回と７回にそれぞれ得点をあげ反撃するが、追い付くことはできず６－４で東大が勝利した。

◎５月19日　早大東伏見グラウンド
第１試合

立教大学	１	０	４	６	３	２	０	16
東京大学	１	０	０	０	０	０	０	１

（７回コールド）
（立教）田原－奥山
（東京）吉條・細谷－小林
☆二塁打　安随・文字・奥山×２、神岡・大井（立教）
宮田（東京）
（戦評）立教田原、東大吉條の両先発で始まった試合は、初回からの均衡を立教が３回に破る。それ以降、打撃に勢いがついた立教のペースが続き、16－１の７回コールドで立教が勝利、勝ち点の決着は第３戦へ持ち込まれた。

第２試合

早稲田大学	０	２	００	２	３	０	２	０	３	12
明治大学	０	００	０	０	０	０	０	０	０	０

（早）河合－木藤
（明）赤尾・小崎・小出・渡辺－滝沢
☆本塁打　駒田（早稲田）
☆三塁打　加藤（明治）
☆二塁打　河合・南・栗田×３（早稲田）
（戦評）早稲田は２回、栗田の二塁打により２点を先制する。４回にも河合の二塁打で２点、５回には駒田の本塁打などで３点を追加。明治は４回無死で加藤が三塁打を放つも無得点。早稲田はさらに７回に２点、９回にも３点を挙げて12得点。早稲田の先発河合は明治打線を５安打に抑え完封勝利をあげた。

◎５月20日　早大東伏見グラウンド
第１試合

東京大学	０	００	０	０	４	０	００	４
立教大学	０	３	０	００	５	００	２	８

（東）岡部－小林
（立）谷、加藤－奥山
☆三塁打　大井（立教）
☆二塁打　田形・加藤・安随（立教）
酒井（東京）

順位	大学名	早稲田	法政	明治	立教	慶應	東京	勝	負	分	勝点	勝率
優勝	早稲田		○○	○○	○●○	○○	○○	10	1		5	0.9
2位	法政	●●		●●	●○○	○○	○○	6	5		3	0.54
3位	明治	●●	○○		○●○	●●	○●○	6	6		3	0.5
4位	立教	●○●	○●●	●○●		●○○	●○○	7	8		2	0.46
5位	慶應	●●	●●	○○	○●●		○○	5	6		2	0.45
6位	東京	●●	●●	●○●	○●●	●●		2	10		0	0.16

（戦評）東大先発の岡部は２回に連打を浴び３点を失う。一方の東大打線は６回に集中打で４点を奪い逆転に成功。その裏、立教が再逆転したところで雨が強まり、一時試合が中断。再開後、立教がさらに得点を重ねた。東大は追い付くことができず、そのまま試合終了。４－８で立教が勝ち点を獲得した。

◎５月25日　法大多摩グラウンド
第１試合

慶應義塾大学	０	１	０	０	０	０	１	０	１	**３**
法 政 大 学	０	０	３	２	０	１	０	１	×	**７**

（慶）岩崎・中場－小西
（法）大谷－佐藤
☆本塁打　宮川・橘（法）
☆二塁打　辻・八田（慶）、大谷・縣（法）
（戦評）立教の先発岩崎、法政の先発大谷で始まった慶應立教の準優勝争い。２回に慶應が先制点を挙げるも、３、４回にはエラーも絡み計５失点。法政は中盤、終盤にもそれぞれ得点を挙げ、計７得点。慶應も７、９回に１点ずつ返し粘るが及ばず。法政大谷の完投勝利となった。

◎５月26日　法大多摩グラウンド
第１試合

法 政 大 学	０	０	６	０	０	２	２	０	２	**12**
慶應義塾大学	０	０	０	０	１	０	０	０	０	**１**

（法）松田－佐藤
（慶）森・中場・三浦・岩崎－小西
☆本塁打　横山（法）
☆三塁打　佐藤（法）
☆二塁打　落合・小野・舟木（法）
辻（慶）
（戦評）法政が３回に６点を先制すると、６回７回そして９回にも得点を追加し、終始試合のペースを掴んだ。対する慶應は５回の１点だけに抑えられ､12対１で法政が勝利した。

最優秀選手　駒田　　開　早稲田大学
打率 0.395
最優秀投手賞　河合　亮太　早稲田大学
５勝０敗、防御率 1.00
首位打者　児玉　恵佑　早稲田大学
打率 0.481

◎ベストナイン

投手	河合	亮太	早稲田大学	
	５勝０敗、防御率 1.00			
捕手	木藤	俊英	早稲田大学	打率0.343
一塁手	片山	泰	慶應義塾大学	打率0.324
二塁手	駒田	開	早稲田大学	打率0.395
三塁手	栗田	拓磨	早稲田大学	打率0.310
遊撃手	嘉悦	嵩将	早稲田大学	打率0.390
外野手	児玉	恵佑	早稲田大学	打率0.481
	加藤	直起	明治大学	打率0.370
	寶田慎太郎		明治大学	打率0.326

春季リーグ戦に優勝して

早稲田大学主将　駒田　　開

平成25年度東京六大学春季リーグ戦を終えて、まずは連盟関係者の多くの方々のご尽力に感謝致します。

我々、早稲田大学は３季ぶり45度目のリーグ優勝を飾ることができました。目標でもありました「全勝優勝」とはいきませんでしたが、厳しい戦いの中、全チームから勝ち点をとることができ、このような成績を収められたことを大変嬉しく思います。新チーム発足から、「一体感」をテーマに取り組んできましたが、このリーグ戦を通じてより一層チームの絆が深まり、団結力ある集団へと成長できたように感じています。

開幕カードの立教大学２回戦、９回に逆転サヨナラ満塁本塁打を浴び敗戦。我々にとって、久々に味わう悔しさでした。関東選手権で良い成績を収め、強い自信になったのと同時にチーム全体に多少なりとも慢心の気持ちが漂っていたことに気付かされた試合となりました。そこでリーグ戦序盤が終わった頃にミーティングを開き、再度選手全員でチームを見つめ直す機会を設けました。各部員が当時のチーム状況を良いとは捉えておらず、全日本選手権への出場権を獲得していたことによって生じた、「挑戦心の欠如」「リーグ戦での危機感のなさ」「リーグ戦の位置づけの不明確さ」などの問題点について議論しました。時間をかけて話し合ったことで、大変意義深いミーティングになり、それからのリーグ戦は今まで以上に目的意識をはっきりさせながら試合に臨むことができ、チーム全体が同じベクトルに向かってもう一度邁進できるきっかけにもなりました。

終わってみれば、チーム打率も３割を超え、１試合の平均得点も７点以上、投手陣も防御率合計１点台と攻守にバランスのとれた野球を展開することができました。これに加え、今年から強化してきた走塁の成果をリーグ戦通して感じることができました。しかし、守備では失策数が大変多く、今後の課題として真摯に練習に取り組みたいと思います。

東京六大学　秋季リーグ戦

◎８月31日　早大東伏見球場
第１試合

早稲田大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**
東 京 大 学	０	０	１	２	２	０	２	０	×	**７**

（早）石田・秋本・向江－松下
（東）吉條・森田－小林
☆二塁打　南・嘉悦（早）
（戦評）開幕戦の先発を任された石田が７回無失点の好投。打線も小刻みに得点を重ね、リーグ戦初白星を飾った。

第２試合

慶應義塾大学	０	３	０	０	０	１	０	２	**６**	
明 治 大 学	０	１	０	０	０	０	０	０	**１**	

（慶）中場－小西
（明）小田・赤尾・小出－伊藤
☆本塁打　伊藤（明）
☆二塁打　辻・中場（慶）、橋本（明）
（戦評）慶應は２回に３点を挙げる猛攻。終盤にも得点を重ねた。慶應先発の中場は１失点完投。リーグ戦初白星を飾った。

◎９月１日　早大東伏見球場
第１試合

明 治 大 学	３	７	０	１	０	２	３			**16**
慶應義塾大学	０	０	０	０	０	０	０			**０**

（７回コールド）
（明）小田－伊藤
（慶）岩崎・森－小西
☆本塁打　伊藤（明）
☆三塁打　橋本（明）
☆二塁打　寳田・三浦・橋本・加藤・伊藤（明）
（戦評）明治は初回、伊藤のスリーランホームランで３点を先制。２回にも７点の猛攻で、序盤で試合を決めた。中盤にも得点を重ね、16対０で７回コールド勝ち。

第２試合

早稲田大学	２	０	０	１	０	０	０	１	０	**４**
東 京 大 学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**

（早）沼座・向江－松下・木藤
（東）岡部－小林・細谷
（戦評）早稲田は沼座、向江が走者を出しながらも要所を締める粘りの投球で完封リレー。打線は機動力を上手く使い、効率よく得点を重ねた。対する東大は、再三ランナーを出しながらも、好機であと１本が出なかった。

◎９月２日　早大東伏見球場
第１試合
慶應義塾大学　０００００１１２｜４
明 治 大 学　００１０９００１×｜11
（慶）中場・森・塚本・高木－小西
（明）赤尾・酒井（一）・渡辺・小出－伊藤・吉田・伊藤
☆本塁打　露木（明）
☆二塁打　大瀬、八田、渡邊（慶）
船木×２（明）
（戦評）明治が３回に１点を先制。５回には打者一巡の猛攻で９点を挙げる。対する慶應は終盤に得点を重ね、意地を見せるもあと一歩及ばなかった。

◎９月７日　大田スタジアム球場
第１試合
慶應義塾大学　００５０００２１０｜８
法 政 大 学　００１０１０００００｜２
（慶）中場・高木－小西
（法）松田・阿部－佐藤
☆三塁打　金田（慶）
☆二塁打　辻･片山×２（慶）､長田（法）
（戦評）慶應が３回に一挙５点の猛攻。法政は３回、５回に１点ずつ取り返すが、慶應が７回､８回に追加点で突き放しゲームセット。

第２試合
東 京 大 学　０００００００００｜０
立 教 大 学　００３００２２０×｜７
（東）岡部・森田－小林
（立）谷・中川－奥山
☆三塁打　神岡（立）
（戦評）今季の初戦の立教は１回、２回と硬さが見られたが、３回に３点を取ると６回、７回と追加点を続けた。投げては、谷、中川の完封リレーで勝利した。

◎９月８日　法政大学多摩球場
第１試合
立 教 大 学　２００００２０３１｜８
東 京 大 学　０００００００００｜０
（立）田原・加藤（章）－奥山・杉本（友）
（東）吉條－小林
☆三塁打　岡部（東）、大津留（立）
☆二塁打　岡部（東）
安随・文字・榛葉（立）
（戦評）初回２点を先制。その後も小刻みに得点を重ねる。先発の田原は危なげない投球で７回無失点。対する東大は好機を作るもあと１本が出ず。立教が勝ち点を得た。

第２試合
法 政 大 学　０００００１１２０１｜５
慶應義塾大学　０００１０００２１０｜４
（延長10回）
（法）末次・安本・阿部・大谷－山路
（慶）岩崎・高木・中場－小西
☆本塁　打谷上（慶）
☆二塁打　小野・脇坂（法）、八田（慶）
（戦評）慶應対法政の第２回戦は、慶應・岩崎、法政・末次の投げ合いで始まる。両投手６回までにピンチは作るものの共に１失点で切り抜ける。１・１で迎えた７回、慶應は高木が登板するも７・８回に３失点。しかし慶應は、８回の裏に６回から登板した法政・安本を捉え、２点を加点。４・３の法政リードで迎えた９回、法政の攻撃を０点で抑えた慶應は、その裏の攻撃の先頭に代打・谷上を送ると、スリーボールからの４球目を捉えた打球は左翼のフェンスを越える同点弾となる。ここで法政は投手・大谷を投入。後続を三人で断つ。すると10回の表、法政は安打と四球で一死満塁のチャンスを作り、１番の中村を迎えると、決勝打となるタイムリーを放つ。慶應対法政の第２戦は法政の勝利で終わった。

◎９月９日　法政大学多摩球場
第１試合
慶應義塾大学　０００１００００３｜４
法 政 大 学　０２０３０００００×｜５
（慶）中場・森－小西
（法）大谷－山路
☆三塁打　大谷（法）、片山・大瀬（慶）
☆二塁打　平本（慶）、中村・橘（法）
（戦評）２回法政は２点を先制、４回には一挙３点を挙げ、主導権を握る。慶應は９回に３点を挙げ見せ場を作るも、法政先発大谷が投げ切り完投勝ち。法政が勝ち点を得た。

◎９月14日　上柚木球場
第１試合
立 教 大 学　０２０００００００２｜４
早稲田大学　０００００００２００｜２
（延長11回）
（立）谷・加藤（章）－奥山
（早）石田・向江・沼座－木藤
☆二塁打　文字・榛葉（立）、南（早）
（戦評）立教は２回にタイムリーヒットで２点を先制。立教先発谷は要所を締める投球で早稲田打線を無失点に抑える。しかし９回に早稲田はヒットと相手のエラーで２点を返し延長に持ち込む。11回に立教は好機でタイムリーヒットが飛び出し、決勝点をあげる。４対２で立教が白星をあげた。

第２試合
明 治 大 学　００１００２００１｜４
法 政 大 学　０００００１０００｜１
（明）赤尾－伊藤
（法）松田・安本・末次－佐藤
☆二塁打　船木（明）
（戦評）３回に明治が１点を先制。中盤にも２点を追加し、主導権を握る。法政が６回に１点を返し、追い上げる。しかし９回明治は１点を挙げ、だめ押し。初戦は明治が白星を挙げた。

◎９月17日　早大東伏見球場
第１試合
法 政 大 学　０００００００００｜０
明 治 大 学　０００００４０２×｜６
（法）大谷－佐藤
（明）小田－伊藤
☆二塁打　加藤２・伊藤（明）
（戦評）法政大谷、明治小田の行き詰る投手戦となった。均衡が破られたのは６回。明治が二死から５連打で一挙４点をあげる。８回にも２点を追加しだめ押し。投げては先発小田が散発７安打完封。明治が勝ち点を挙げた。

第２試合
早稲田大学　０００１２００００｜３
立 教 大 学　０００００１０００｜１
（早）河合・向江－木藤
（立）田原・加藤（章）・中川－奥山・杉山
☆二塁打　嘉悦（早）
（戦評）４回４番の嘉悦がツーベースで出塁しバントでワンアウト三塁とするとセンター犠牲フライでホームへの送球が逸れる間に先制。続く５回２番の松本が先頭で出塁すると連打と相手のエラーで２点追加。立教は６回に１点を返すも反撃はここまで。両チーム１勝１敗で勝敗は第３戦に持ち越し。

◎９月18日　早大東伏見球場
第１試合
立 教 大 学　０００００２１００｜３
早稲田大学　０１００６０００×｜７
（立）谷・加藤（章）・中川－奥山・杉山
（早）石田・向江－木藤・松下
☆三塁打　木藤（早）、神岡（立）
☆二塁打　嘉悦・栗田・南（早）
安隨・谷（立）
（戦評）２回に早稲田は南の犠牲フライで１点を先制。５回には相手のエラーも絡み、一挙６点をあげる。対する立教は終盤に３点を返し、意地を見せるもあと一歩及ばなかった。

◎９月21日　早大東伏見球場
第１試合
慶應義塾大学　０００００００００｜０
早稲田大学　０００２００００２×｜４
（慶）中場・塚本－小西
（早）石田・沼座－木藤・松下
☆三塁打　駒田（早）
☆二塁打　嘉悦（早）、金田（慶）
（戦評）早稲田が４回にふたつのワイルドピッチで２点を先制。８回には駒田のタイムリースリーベース、上野のスクイズで貴重な追加点をあげた。慶應は早稲田先発石田、リリーフ沼座の前にチャンスを作るもあと一本がでなかった。

第２試合
東 京 大 学　０２００００１０１０｜４
明 治 大 学　３０１４０２００×｜10
（東）岡部・細谷－小林
（明）赤尾・酒井（一）・小出－伊藤
☆本塁打　岡部（東）
☆三塁打　船木・橋本２・伊藤（明）
宮田（東）
☆二塁打　橋本（明）、宮田（東）
（戦評）明治は初回、伊藤の犠飛、三浦の２点適時打で３点を先制。対する東京は３回、岡部の２点本塁打で２点を挙げ、追い上げる。その後、両校安打を重ね、終わってみれば、両校２桁安打の乱打戦となり、10対４で明治が勝利した。

◎９月22日　早大東伏見球場
第１試合
明 治 大 学　１０４００２１１２｜11
東 京 大 学　０００００２００×｜２
（明）小田・菊池・小崎・小出－伊藤
（東）吉條・細谷－小林
☆三塁打　寶田・船木（明）
☆二塁打　加藤・酒井（翔）・伊藤・成田・橋本・小出（明）
（戦評）明治は初回から安打を重ね、効率よく得点を挙げる。終わってみれば14安打11得点の大勝。投げても４人の継投で２失点に抑えた。東大は６回に２点を挙げ、意地を見せるも、大量失点が響いた。

第２試合
早稲田大学　１０２０２０２０２｜９
慶應義塾大学　０００００２０００｜２
（早）河合・向江・秋元－木藤・松下
（慶）岩崎・塚本・森・中場－小西
☆本塁打　土屋・南（早）
☆二塁打　木藤（早）
（戦評）早稲田が13安打９得点をあげ、９対２の大勝。好機での本塁打２本も大きかった。慶應は６回に２点を挙げ、意地を見せるも、大量失点が響いた。

◎９月28日　法政大学多摩球場
第１試合
東 京 大 学　０００００００１００｜１
法 政 大 学　００４０００００１×｜５
（東）岡部－小林
（法）松田－山路
☆本塁打　小野（法）
☆三塁打　橘（法）
（戦評）３回に法政が一挙４点を挙げる。対する東京も好機を作るが、７回に１点を挙げるのみ。８回に追加点を挙げた法政が初戦を制した。

第２試合
慶應義塾大学　０００００００２０｜２
立 教 大 学　０１００２１００×｜４
（慶）中場・塚本－小西
（立）谷・加藤（章）－奥山
☆二塁打　奥山・山田（立）、金田（慶）
（戦評）立教は２回先頭の奥山が二塁打で出塁すると、バントと山田の二塁打で先制。５回に２点、６回に１点の追加点で慶應を突き放す。対する慶應は８回先頭の金田が二塁打、片山の連続安打で２点を返すも反撃はここまで。４－２で立教が勝利した。

◎９月29日　法政大学多摩球場
第１試合
立 教 大 学　０１１１０２０１０｜６
慶應義塾大学　００１０００２００｜３
（立）田原・中川・加藤（章）－奥山
（慶）森・塚本・高木－小西
☆二塁打　山田、大津留（立）、才茂（慶）
（戦評）小刻みに得点を重ね、６点を挙げた立教が勝ち点を得た。投げても３人の継投で要所を締めた。慶應は好機を作るも、あと一本が出なかった。

第２試合
法 政 大 学　０００１３０２００｜６
東 京 大 学　０００００２００２｜４
（法）大谷・阿部・安本－山路
（東）吉條・細谷－小林
☆本塁打　小野・中村（法）
☆三塁打　落合・橘（法）
☆二塁打　村田（東）
（戦評）法政は２本の本塁打が出るなど、６点を挙げ快勝。勝ち点を挙げる。東大は６回に２点を返し、反撃。９回にも２点を挙げ、なお二死満塁まで攻めるが、あと１本が出なかった。

◎10月６日　早大東伏見球場
第１試合
明 治 大 学　１１００００１００｜３
立 教 大 学　０００００２００｜２
（明）赤尾－伊藤
（立）谷・加藤（章）－山路
☆二塁打　寶田・加藤（明）、佐野（立）
（戦評）明治赤尾、立教谷の両先発で始まった１回戦。明治は安打と失策で１・２回にそれぞれ得点、７回にも犠飛で１点を追加する。立教は７回に捕逸や犠飛で２点を追加し追い上げるも、８・９回は無得点。赤尾の２失点完投で、明治が勝利した。

第２試合

早稲田大学	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
法政大学	0	2	0	0	2	0	1	0	×	5

（早）石田・沼座・向江－木藤・松下
（法）松田・末次－山路
☆三塁打　橘（法）
☆二塁打　落合（法）、駒田（早）

（戦評）早稲田石田、法政松田の両先発で始まった１回戦。法政大学は相手の失策等もあり２回に２点、５回に２点、７回に１点とよりリズムで点を取った。対する早稲田は松田の前に７回まで２安打に抑えられていたが、７回からマウンドに上がった法政大学末次を攻め、３点取るがあと１本が出ず５対３と法政大学が勝利した。

◎10月７日　早大東伏見球場
第１試合

法政大学	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
早稲田大学	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1x	3

（延長10回）

（法）大谷・安本－山路
（早）河合・沼座－松下
☆本塁打　小野、脇坂（法）
☆二塁打　上野・河合・駒田・南（早）

（戦評）早稲田が３回、上野のタイムリーなどで２点を先制。その後は早稲田河合、法政大谷の緊迫した投手戦が続いた。７回、９回に法政は１点を返し、試合は延長に突入。10回裏、早稲田は満塁から衞藤のサヨナラヒット。早稲田が３対２で勝利した。

第２試合

立教大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明治大学	0	0	0	1	0	0	1	0	×		2

（立）田原・加藤（章）－奥山
（明）小田－吉田
☆三塁打　船木（明）
☆二塁打　酒井（翔）（明）
加藤（章）、山田（立）

（戦評）立教は初回、２回に連続安打で得点のチャンスを作るも、この日先発の小田を中心とした明治の堅い守りから得点を挙げられず。試合が動いたのは４回。明治ツーアウトから６番酒井がライト前ヒットで出塁すると、すかさず盗塁し、続く７番吉田のライト前に落ちるヒットで先制。７回にもキャプテン船木の三塁打などで１点追加。反撃に出たい立教は８回に、先頭の９番ピッチャー加藤が左中間を破る二塁打で出塁すると後続も繋がり、ワンアウト満塁一打同点のチャンスで４番文字。しかし、直球を強振するもセカンドゴロゲッツーでまたも得点に繋げられず、最終回も三者凡退。明治が接戦を制し、勝ち点を挙げた。

◎10月８日　早大東伏見球場
第１試合

早稲田大学	0	1	2	0	0	0	0	0	0		3
法政大学	0	0	0	2	0	0	0	0	2	x	4

（早）石田・沼座－松下・木藤
（法）松田・末次・安本－山路
☆本塁打　南（早）、橘（法）

（戦評）早稲田は２回６番南のソロホームランで先制し、続く３回に満塁から３番栗田のタイムリーで２点追加。４回法政は３番橘のツーランで３－２。試合は最終回へ突入。法政は２、３塁で４番小野のツーベースでサヨナラ。

◎10月12日　府中市民球場
第１試合

立教大学	2	0	2	0	0	2	0	0	0		6
法政大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1

（立）谷－奥山
（法）松田・安本－山路
☆本塁打　文字（立）
☆二塁打　佐野（立）

（戦評）立教が初回文字の本塁打で２点を先制。３回、６回にも２点ずつ加点し、６得点。投げても先発谷が13奪三振を奪う好投で１失点完投。立教が白星を挙げた。

第２試合

東京大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
慶應義塾大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1x	2

（延長13回）

（東）岡部－小西
（慶）中場・高木・森・塚本－小林
☆二塁打　岡部、宮田（東）

（戦評）先攻の東大は４回に先制。追う慶應は８回にエラー絡みで同点に追いつく。試合はそのまま延長戦へ突入。13回裏､慶應は２、３塁からセンターへサヨナラタイムリー。

◎10月13日　法政多摩球場
第１試合

慶應義塾大学	1	5	0	0	1	0	0	6	1		14
東京大学	2	0	0	0	4	1	1	1	0		9

（慶）岩崎・森・高木・土屋－小西
（東）吉條・細谷－小林
☆三塁打　濱崎・梅川（慶）
☆二塁打　金田・平本（慶）
酒井・宮田・松高×２（東）

（戦評）慶應対東京の試合は点の取り合いとなった。東大は６回に同点、７回に逆転するが８回に慶應は打者一巡の猛攻を見せ、６点を奪い突き放す。９回にも１点を追加し、17安打の慶應は東大との乱打戦に勝利。

第２試合

法政大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1
立教大学	0	0	0	0	3	0	0	0	×		3

（法）大谷－山路
（立）田原・加藤章－奥山
☆本塁打　脇坂（法）
☆二塁打　佐藤（法）

（戦評）投手戦となった法政と立教の試合。法政は３回にソロ本塁打で１点を先制するも、立教は５回に連続安打などで３点を奪い逆転。その後、法政は相手投手を抑えきれず試合終了。

◎10月19日　早大東伏見球場
第１試合

明治大学	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
早稲田大学	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

（延長11回）

（明）赤尾・小田－伊藤
（早）石田・向江・沼座・河合－松下
☆二塁打　嘉悦・駒田×２（早）

（戦評）延長11回、日没のため引き分けとなりました。

◎10月21日　早大東伏見球場
第１試合

早稲田大学	0	0	1	0	0	3	0	3	0		7
明治大学	0	0	0	0	0	0	3	0	0		3

（早）石田・向江・河合－松下
（明）小田・酒井一・小出－伊藤
☆本塁打　加藤（明）
☆二塁打　小出（明）

（戦評）雨天順延を１日挟んだ上での第２戦。早稲田は第１戦と同様先発に石田。対して明治は先発を赤尾から小田に変更。この変更が結果的に仇となる。早稲田は小田に６回途中までに11安打を浴びせマウンドから引きずり下ろすことに成功。その後も追加点を加える。投手も磐石のリレー。最後は河合が締め、早稲田が先勝した。

◎10月22日　早大東伏見球場
第１試合

明治大学	0	0	0	0	2	0	0	0	0		2
早稲田大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0		1

（明）赤尾・小田－伊藤
（早）河合・向江・石田・沼座－松下
☆二塁打　駒田（早）

（戦評）早稲田の１勝で迎えた第３戦。明治赤尾、早稲田は河合が先発。両投手の好投で試合はテンポ良く進んでいく。５回、試合が動く。酒井翔のタイムリーなどで明治が河合から２点を先制。その後１点を返されるも、赤尾・小田のリレーで最少失点に抑えた明治が勝利。第４戦に望みを繋いだ。

◎10月23日早大東伏見球場
第１試合

早稲田大学	０００００００２	２
明治大学	０１００００００	１

（早）向江・沼座・河合・石田－木藤・市堰
（明）酒井一・小崎・小出・小田－伊藤
☆二塁打　橋本（明）

（戦評）第４戦となるこの試合。共に本来中継ぎを務める向江、酒井一の先発で始まる。試合が動いたのは２回。明治が１点を先制する。その後は両チーム投手陣の好投、リレーがはまり膠着状態が続く。このまま試合が終わるかと思われた最終回、抑えでマウンドに上がった明治・小田を早稲田打線が打ち崩し、執念の逆転。最後はエース石田がきっちり締め、最終カードを早稲田が取った。

最優秀選手　赤尾　裕希　明治大学
５勝０敗、防御率1.00
最優秀投手賞　赤尾　裕希　明治大学
５勝０敗、防御率1.00
首位打者　嘉悦　嵩将　早稲田大学
打率　0.457

◎ベストナイン
投手　赤尾　裕希　明治大学
５勝０敗、防御率1.00
捕手　伊藤晋太郎　明治大学
打率0.244
一塁手　片山　　泰　慶應義塾大学
打率0.275
二塁手　橋本　健史　明治大学
打率0.365
三塁手　栗田　拓磨　早稲田大学
打率0.262
遊撃手　嘉悦　嵩将　早稲田大学
打率0.457
外野手　酒井　翔弥　明治大学
打率0.395
加藤　直起　明治大学
打率0.360
寶田慎太郎　明治大学
打率0.354

秋季リーグ戦に優勝して

明治大学　主将　船木　　翼

平成25年度東京六大学準硬式野球秋季リーグ戦を終え、８季ぶりの優勝をすることができました。リーグ戦の運営に携わって下さった、連盟の方々、OBの方々、審判団の方々、学生連盟のご支援、ご声援のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

春季リーグ戦を３位という結果で終えましたが、チームとして納得できるものではありませんでした。全日本出場権を逃し、チームでの全日本優勝という目標を達成できず、悔しい思いをしました。ですが、清瀬杯出場というチャンスを頂き、結果優勝することが出来ました。これも、清瀬杯前の夏合宿での取り組みの成果だと感じます。その勢いを止めず、秋季リーグ戦を戦うことができました。秋季リーグ戦を終えて、主将として感じたことは、このチームは個人の力では無く、チームとしての団結力や仲間への思いやりの強いチームだと思いました。

試合では、まず全員で先頭打者を抑えるということ、そして絶対に先取点を取ること、この２つを全員で実行出来るように徹底しました。これだけを頭に入れ、目の前の試合を全力で戦いました。そして何より、チーム全員が野手は投手の為に、投手は野手の為にという気持ちを持ちプレーしていた事が勝利へと繋がったと思います。

優勝することができましたが、４年生を中心に話し合い、悩んでここまで来られました。４年生にはすごく感謝していますが、何より４年生の言葉を素直に聞いてくれた後輩達に感謝したい。後輩達の４年生のために勝ちたいという気持ちを持ってくれたことを誇りに思います。後輩達に伝えたい事は、自分達のすべてを真似するのではなく、良い所だけを吸収し、チームカラーにあったやり方を実行し、とにかく楽しくやってほしいということです。最後にこの４年間を通して、ここまで成長できたのは、野球ができる環境を作って頂いた方々のおかげです。社会に出ても準硬式野球の名に恥じない様に頑張っていきます。本当にありがとうございました。

順位	大学名	明　治	早稲田	立　教	法　政	慶　應	東　京	勝	負	分	勝点	勝率
優勝	明　　治		△●○●	○○	○○	●○○	○○	9	3	1	4	0.692
２位	早稲田	△○●○		●○○	●○●	○○	○○	9	4	1	4	0.642
３位	立　　教	●●	○●●		○○	○○	○○	7	4		3	0.636
４位	法　　政	●●	○●○	●●		●○○	○○	6	6		3	0.5
５位	慶　　應	○●●	●●	●●	○●●		○○	4	8		1	0.33
６位	東　　京	●●	●●	●●	●●	●●		0	10		0	0

東都大学　春季リーグ戦

１部リーグ

◎４月14日　上柚木公園野球場
第１試合

中央大学	２０２００１０００	５
駒澤大学	０００００１０００１	２

（中）笠継・保坂－福澤・勝又
（駒）高橋－片柳
☆本塁打　高野（中）
☆三塁打　原田・緑川（中）、笠井（駒）
☆二塁打　緑川（中）、秋元（駒）

（戦評）中央大学は初回に４番高野のライトへ春季リーグ戦第１号となるツーランホームランで先制。３回には６番原田の２点タイムリーツーベース、６回に１番緑川のタイムリーツーベースで５点を取る。先発の笠継、二番手の保坂が１点ずつ取られるも抑え、勝利。駒澤大学は５回に２番の随行、最終回に１番の笠井がそれぞれタイムリーを打ち、高橋が９回を投げ切るも、及ばず初戦を落とした。

第２試合

専修大学	００１０００１００	２
國學院大學	０００００００００	０

（専）高橋（陽）－植田
（國）中村・古越－根岸
☆二塁打　渥美・板谷（専）、古謝（國）

（戦評）専修大学は３回に８番富田の内野安打から２番の渥美がレフトにタイムリーツーベース、７回にエラーで出塁した山岡を、１番の板谷が返し、２点を取る。國學院大學は、４番の亀谷が２安打を放つも専修大学先発の高橋（陽）の前に４安打完封に抑えられる。専修大学先発の高橋（陽）は４安打完封、奪三振10の投球で、國學院大學に三塁を踏ませること無く、勝利。

◎４月18日　上柚木公園野球場
第１試合

國學院大學	１００００００００１	２
専修大学	００２２１１０３×	９

（國）佐藤・古越・井出－根岸
（専）渡邉・藤後－植田
☆三塁打　内野（國）、金子翔２（専）
☆二塁打　吉田・椎谷（専）

（戦評）初回、國學院大學は３番内野のセンターにタイムリースリーベースを放ち、先制。しかし、３回に専修大学が２番金子のエラーが絡む２点タイムリーで逆転。それ以降、２番金子、４番吉田、５番椎谷、８番猪股によって計９点を取る。９回表には國學院大學が代打の福原が適時打を放つも反撃及ばず。この試合、専修大学の金子は４安打４打点の活躍を見せ、専修大学が勝ち点を得た。

第２試合

駒 澤 大 学	０００００００００	0
中 央 大 学	０００２０４２２×	10

（駒）塚越・野口・新沼－片柳・三枝
（中）小河原・保坂－福澤・勝又
☆二塁打　佐野（駒）、小貫（中）

（戦評）中央大学は４回裏に６番原田のエラー絡みのタイムリーで２点を先制。その後駒澤大学の投手陣が乱れ、四球でランナーを背負ってしまい、エラーも重なり、８点を失う。駒澤大学は、３番魚野、４番片柳がそれぞれ二安打を放つも、中央大学の小河原、保坂の前に得点を奪うことが出来ず、勝ち点を落とした。

◎４月19日　上柚木公園野球場
第１試合

日 本 大 学	１１００２２６６０	18
國學院大學	０２００００００００	2

（日）山崎・岡島－今駒
（國）中村・古越・越田・椎名－根岸
☆三塁打　大崎（日）
☆二塁打　槙原・大崎・加藤（日）
山田（國）

（戦評）日本大学は初回に４番大崎のレフトへの適時打で先制すると、続く２回には９番今駒のタイムリーで２点を取る。しかしその裏、國學院大學は９番斧木のバントヒット、１番塩見の打球がエラーを生み、同点に追い付く。５回から８回にかけて國學院大學の投手陣が日本大学の打線につかまり、１番牛谷、２番槙原、６番鹿田、７番加藤、代打二瓶らのタイムリーやエラーによって16点を奪われる。日本大学は先発の山崎が２回に２点を取られて以降抑え、続く岡島も無失点に抑え、國學院大學を破った。

第２試合

国士舘大学	１０２２００５１０	11
駒 澤 大 学	００１２３００２１	9

（国）小熊・鈴木龍・柳内－清水
（駒）高橋－片柳
☆本塁打　清水・宮井・松井（国）
秋元（駒）
☆三塁打　宮井・小岩井（国）
☆二塁打　荒川・宮井・森（国）
佐藤・藤本誠（駒）

（戦評）国士舘大学は初回に２番清水の本塁打で先制し、２回には４番宮井、５番箱田のタイムリーにより３点を先制する。しかし、国士舘大学先発の小熊が３回から５回にかけ、８番秋元の本塁打を含む駒澤大学の打線につかまり、４回に８番小岩井、１番荒川で２点を返すも５回裏で逆転を許してしまう。国士舘大学は６回、６番池田のタイムリーで同点とすると、途中出場の松井が１アウト満塁から本塁打を放ち逆転。８回には国士舘大学４番宮井が本塁打を放ち、計11点を取り勝利。駒澤大学は４番片柳のタイムリー等で２点差まで追いつくも、及ばず。

◎４月24日　上柚木公園野球場
第１試合

駒 澤 大 学	００１０１０１０１	4
国士舘大学	００２０２０３１×	8

（駒）塚越・高橋－片柳
（国）滝本・西山－清水
☆二塁打　魚野・片柳２（駒）

（戦評）駒澤大学は３回表に３番魚野のタイムリーツーベースで先制するも、その裏に国士舘大学は１番箱田の適時打、２番清水のバントで逆転。その後も駒澤大学は、５回に５番佐藤の犠牲フライ、７回に７番佐野のセカンドゴロ、９回に６番藤本耕のセカンドゴロで３点を入れるも、国士舘大学は、２番清水、４番宮井、８番増田のタイムリーによって５点を入れ、計８点を取る攻撃を見せ、駒澤大学に打ち勝ち、勝ち点１を得た。

第２試合

國學院大學	０００００１０００	1
日 本 大 学	１００１００００×	2

（國）佐藤・中村－根岸
（日）岡島－今駒・加藤

（戦評）日本大学は初回に３番鹿田のダブルプレーの間に先制。４回には、９番今駒のタイムリーで追加点を取る。國學院大學は６回に４番亀谷の犠牲フライで１点を返すも、日本大学の岡島の前に、抑えられ、日本大学が接戦を制し、勝ち点を得た。

◎４月28日　上柚木公園野球場
第１試合

中 央 大 学	０２００１２０１０	6
国士舘大学	２０１０００００１０	4

（中）保坂・小河原－福澤
（国）西山・鈴木龍－清水
☆三塁打　児玉（中）、宮井（国）
☆二塁打　児玉・赤嶺（中）
宮井・清水（国）

（戦評）国士舘大学は、初回に４番宮井の犠牲フライと、５番箱田のレフト前ヒットの失策の間に２点を先制。直後の２回に中央大学は８番福澤のタイムリーで同点とすると、５回に１番児玉のタイムリーツーベース、６回に７番赤嶺の適時打、８回に５番萩原のタイムリーツーベースで６点をとる。国士舘大学は失策、犠牲フライで計４点をとるも、中央大学の前に及ばず。

第２試合

専 修 大 学	００１００００００	1
日 本 大 学	００００００１００1x	2

（延長10回）

（専）高橋陽－植田
（日）山崎－今駒
☆三塁打　細野（日）

（戦評）専修大学は、３回にエラーの間に１点を先制。しかし、日本大学が７回に代打二瓶の適時打により同点。その後、両チーム譲らず、今リーグ戦初の延長戦に入る。延長10回に、日本大学が８番鹿田のヒットの後、９番牛谷のサードゴロの間に、失策により、サヨナラ勝ち。専修大学は悔やまれる敗戦となった。

◎４月29日　上柚木公園野球場
第１試合

日 本 大 学	００２０００００００００	2
専 修 大 学	００００００１１０００	2

（延長12回）

（日）保母・山崎－今駒
（専）渡辺－植田
☆本塁打　金子翔（専）
☆三塁打　竹林（日）

（戦評）日本大学は、３回にワイルドピッチ、３番竹林のタイムリーヒットで２点を先制。その後互いの投手陣が踏ん張るも、８回に専修大学はレフトのエラーによって一点を返すと、９回に３番金子翔のホームランにより同点に追いつく。延長戦に入り、互いにチャンスを作ることが出来ず、引き分けという結果に終わった。

第２試合

国士舘大学	０００００００００	0
中 央 大 学	０００１００２０×	3

（国）小熊・芦田－清水
（中）笠継・小河原－福澤
☆本塁打　箱田（国）、高野（中）

（戦評）中央大学は、４回に７番赤嶺の適時打によって先制。７回には、２番大湾、代打松嶋の連続タイムリーにより追加点を取る。国士舘大学は、中央大学の笠継、小河原の前に完封に抑えられ、勝ち点を落とした。

◎５月１日　上柚木公園野球場
第１試合

中 央 大 学	１２０１１００００	5
國學院大學	０００００２０００	2

（中）小河原・保坂－福澤・鈴木
（國）佐藤・古越・中村－根岸
☆二塁打　福澤・萩原（中）、内野（國）

（戦評）中央大学は、初回に４番高野のタイムリー、２回に８番福澤・１番児玉のタイムリーで３点を先制。その後４回に３番小貫のタイムリー、５回にフィルダーズチョイスで２点を追加。國學院大學は、その後の６回にファーストのエラー、６番秋本の犠牲フライで２点を返すも、その後チャンスを作れず、中央大学の前に敗れる。

第２試合

専 修 大 学	０００２０３０００	5
駒 澤 大 学	０００００００２	2

（専）高橋陽・藤後－植田
（駒）高橋－片柳・三枝

（戦評）専修大学は、４回に８番山岡・９番富田の連続タイムリーで２点を先制。６回には、エラーと１番金子の２点タイムリーで、追加点を奪う。その後、専修大学の高橋陽がしっかりと抑え、９回には代わった専修大学の藤後がエラー、１番笠井のタイムリーで２点を取られるも駒澤大学を破った。

◎５月２日　上柚木公園野球場
第１試合
駒澤大学　０００００００１１｜２
専修大学　０４０３２３００×｜12
（駒）塚越・新沼－片柳・三枝
（専）藤後・浅木－植田
☆本塁打　植田・吉田（専）
☆三塁打　藤本耕（駒）、金子翔（専）
☆二塁打　笠井・片柳（駒）
金子翔･板谷･山岡･渥美（専）
（戦評）専修大学は２回に７番山岡の２点タイムリーツーベース、１番金子翔の２点タイムリースリーベースにより４点を先制。４回に９番渥美・１番金子翔・２番板谷それぞれのタイムリーにより３点を追加。５回には５番植田、６回には４番吉田に本塁打を打ち、合計12点を取る猛攻を見せた。駒澤大学は８回に４番片柳、９回に９番藤本耕のタイムリーで２点を返すが、敗れる。

第２試合
國學院大學　１０２０００００｜３
中央大学　１１０００２１２×｜７
（國）中村－根岸
（中）笠継－福澤・勝又
☆本塁打　内野（國）
☆三塁打　福澤（國）
☆二塁打　萩原・藤倉・大湾２（中）
（戦評）國學院大學は、初回に４番亀谷の内野安打で先制すると、すかさず中央大学は初回、２回に３番國廣、１番児玉のタイムリーで逆転。直後の三回に國學院大學は３番内野のツーランホームランで逆転。しかし、６回に中央大学は８番福澤のタイムリーヒット、９番藤倉の犠牲フライで逆転すると、７回に４番高野のタイムリー、８回に１番児玉、代打の松嶋のタイムリーで追加点を奪い、７－３で勝利し、勝ち点を得た。

◎５月５日　上柚木公園野球場
第１試合
日本大学　００００３００１０｜４
駒澤大学　１００００２００｜３
（日）山崎－今駒
（駒）高橋－片柳
☆三塁打　加藤（日）、藤本耕（駒）
☆二塁打　鹿田・槙原（日）
（戦評）駒澤大学は４番片柳のタイムリーで先制。その後５回に日本大学は、９番大和田の盗塁の間に６番加藤が生還すると、２番槙原の２点タイムリーで逆転、７回に駒澤大学は９番藤本耕の２点タイムリーで同点に追い付く。しかし８回に日本大学は３番竹林のタイムリーで勝ち越し。日本大学が勝利。

第２試合
国士舘大学　２１０１７０００４｜15
國學院大學　００１０００００１｜２
（国）滝本・小熊・柳内－清水・薗田・佐藤
（國）古越・井出・椎名－根岸
☆三塁打　荒川（国）
☆二塁打　野村（国）、内野（國）
（戦評）国士舘大学は、初回に４番宮井・６番増田のタイムリーで２点を先制。２回には９番野村のタイムリーで追加点を取ると、エラーの間に追加点を奪うと、５回には打者一巡の猛攻を見せ、一挙７得点を奪う。９回にはエラー、途中出場の小笠のタイムリーで４点を奪い、15点と大きく差をつけて勝利。國學院大學は、３回の４番秋本のタイムリー、９回のパスボールのわずか２点で敗戦。

◎５月12日　上柚木公園野球場
第１試合
中央大学　１０３０６３００２｜15
日本大学　１００１０２０００｜４
（中）笠継・清水・小河原－福澤・勝又
（日）山崎・岡島・有馬－今駒
☆本塁打　高野（中）
☆三塁打　児玉・原田（中）
☆二塁打　萩原（中）
鹿田・槙原・大崎（日）
（戦評）中央大学は初回にワイルドピッチによって先制すると、その裏の日本大学は３番竹林のタイムリーヒットにより同点に追いつく。その後中央大学は３回に６番原田の２点タイムリースリーベースと押し出しにより３点を取る。５回には四死球で出したランナーを４番高野の満塁本塁打によってかえされ、計６点を取る。その後６回には１番児玉・２番大湾の連続タイムリー、９回に６番原田・７番萩原の連続タイムリーで日本大学から大量15点を奪った。日本大学は４回の７番今駒のタイムリー、６回の５番細野・６番加藤の連続タイムリーが出るも、及ばず。

第２試合
専修大学　０００００１０００｜１
国士舘大学　１１０００００４×｜６
（専）高橋陽・藤後－植田
（国）滝本・小熊－清水
☆三塁打　荒川・清水（国）
☆二塁打　宮井・鈴木翔（国）
（戦評）国士舘大学は初回に４番宮井のタイムリー、２回に７番川脇の犠牲フライで２点を先制。６回に専修大学は２番板谷のスクイズで１点を返すと、８回に国士舘大学は、専修大学の守備の乱れにつけ込み、３点を取り、１番荒川のタイムリースリーベースで計４点を取る。国士舘大学の投手滝本は１安打、小熊は２安打で専修大学を抑えた。

◎５月13日　上柚木公園野球場
第１試合
國學院大學　１１０１０４０００｜７
国士舘大学　０００２００００４｜６
（國）中村・佐藤－根岸
（国）芦田・柳内－清水
☆三塁打　塩見・小林（國）
☆二塁打　根岸・秋本（國）
（戦評）國學院大學は初回に４番内野のタイムリー、２回に８番秋本のタイムリーで２点を先制。４回に８番秋本のタイムリーヒットで追加点を取ると、その裏、国士舘大学は３番荒川・４番宮井・５番箱田の三者連続ヒットの後、死球と８番三浦の犠牲フライで２点を返す。國學院大學は６回に７番小林・８番秋本・１番塩見のタイムリーで４点を追加する。９回裏には押し出し、途中出場の吉田のタイムリー、３番荒川のショートゴロで４点を返すも反撃及ばず。

第２試合
駒澤大学　００２０００００｜２
日本大学　００２４００００×｜６
（駒）塚越・新沼・松本－三枝
（日）岡島－今駒
☆二塁打　鹿田・牛谷（日）
（戦評）駒澤大学は３回に２番随行の犠牲フライ、３番魚野のタイムリーヒットで２点を先制すると、直後の裏の攻撃に日本大学は１番鹿田・３番竹林のタイムリーで同点に追いつく。４回には、９番牛谷の二点タイムリーツーベース、１番鹿田のタイムリーツーベース、３番竹林のタイムリーヒットで４点を取るとそのまま両校チャンスを作ることができず、日本大学が勝利。

◎５月15日　上柚木公園野球場
第1試合
国士舘大学　００２０００００｜２
専修大学　００１０００００｜１
（国）小熊－清水
（専）高橋陽－植田
☆三塁打　渥美（専）
☆二塁打　清水・水垣・鈴木翔（国）
金子翔（専）
（戦評）国士舘大学は３回に１番荒川のダブルプレーの間に１点を先制し、３番箱田のタイムリーで２点目を取る。直後の裏に専修大学は、１番板谷のセカンドゴロの間に一点を返す。その後、国士舘大学の先発小熊、専修大学の先発高橋陽の投手戦となり、そのまま国士舘大学が接戦を制した。国士舘大学は勝ち点２を得た。

第２試合
日本大学　０００１００００１０｜２
中央大学　１０００３００１×｜５
（日）保母・山崎－今駒
（中）小河原－福澤
☆本塁打　鹿田（日）
（戦評）中央大学は初回に押し出しによって先制すると、４回日本大学は１番鹿田の本塁打により同点に追いつく。５回裏中央大学は代打若菜の２点タイムリーヒット、５番原田のタイムリーヒットによって３点を返す。日本大学は８回に４番大崎がタイムリーを放つも、その裏にエラーで一点を返され、中央大学が５－２で日本大学を制した。中央大学は勝ち点４を得る。

◎５月16日　上柚木公園野球場
第１試合
専修大学　０００１０２０００００｜３
日本大学　００２１００００００００｜３
（延長12回）
（専）渡辺・藤後－植田
（日）山崎－今駒
☆本塁打　牧（専）
☆二塁打　板谷（専）、槙原（日）
（戦評）日本大学は３回に２番槙原、３番竹林の連続タイムリーで２点を先制。４回に専修大学は７番椎谷のタイムリーで一点を返すと、すかさず日本大学は８番東條のタイムリーで１点を返す。６回に専修大学は６番牧のツーランホームランで同点に追いつく。その後、専修大学の渡邉・藤後、日本大学の山崎の投げ合いになり結局延長12回引き分けに終わった。

第２試合
国士舘大学　００１０５２１００｜９
國學院大學　０００００００３４｜７
（国）芦田・船木・柳内－清水・高橋勇
（國）佐藤・井出・古越・中村－根岸
☆本塁打　宮井（国）
☆三塁打　山田（國）
☆二塁打　清水２（国）、古謝･秋本（國）
（戦評）国士舘大学は３回に３番森のタイムリーにより先制。５回には國學院大學の守備のミスと７番鈴木翔のタイムリーヒット、８番池田の犠牲フライにより５点を取る。その後も６回に４番宮井のツーランホームラン。７回に８番池田のタイムリーヒットで計９点を奪う。國學院大學は、８回にエラー、犠牲フライにより３点を返すと９回には８番秋本のタイムリーヒット、２番山田の３点タイムリースリーベースにより４点を返すもあと一歩及ばず。国士舘大学が勝ち点３を得た。

◎５月22日　上柚木公園野球場
第１試合
日本大学　１００００１０００｜２
国士舘大学　０００００２００１｜３
（日）岡島・山崎－今駒
（国）芦田・鈴木龍－清水
☆三塁打　鹿田・竹林（日）
☆二塁打　清水（国）
（戦評）日本大学は３番竹林のタイムリーヒットにより先制。６回には４番大崎のタイムリーヒットで追加点を奪うと、直後の裏の攻撃、国士舘大学は５番箱田の２点タイムリーヒットにより同点に追いつく。９回の裏、国士舘大学は、５番箱田がヒットで出ると、犠打、四球でチャンスを作る。そして８番河野がサヨナラタイムリーを打ち、国士舘大学が勝利。

第２試合
國學院大學　１００００１４１０１｜８
駒澤大学　１０１０００２１０｜５
（國）中村・佐藤・椎名－根岸
（駒）高橋・今井・新沼－片柳
☆三塁打　山田（國）、笠井（駒）
☆二塁打　鈴木（駒）
（戦評）國學院大學は初回に４番亀谷のタイムリーヒットで先制すると、その裏駒澤大学は２番随行の内野安打により同点。３回に４番片柳の犠牲フライで駒澤大学が逆転するも、５回に３番内野のタイムリー、６回に１番塩見・２番山田のタイムリーとワイルドピッチで、７回に１番塩見のタイムリー内野安打で６点を追加。その裏、押し出し、４番片柳のダブルプレーの間に２点を返し、８回にエラーで一点を取るも、９回に國學院大學がワイルドピッチで一点を追加し、８－５で國學院大學が勝利。

◎５月23日　上柚木公園野球場
第１試合
駒澤大学　０００１００１０４｜６
國學院大學　１０１２００００１｜５
（駒）塚越・唐澤・今井・片柳・高橋－片柳・三枝
（國）中村・椎名・佐藤－根岸
☆本塁打　笠井（駒）、山田（國）
☆二塁打　笠井・佐藤（駒）、山田（國）
（戦評）國學院大學は初回に４番亀谷のタイムリーヒット、３回に２番山田の本塁打により２点を先制。４回に駒澤大学、國學院大學はエラーの間にそれぞれ得点を奪う。７回に駒澤大学は９番藤本誠の犠牲フライにより点を返すと、２点ビハインドで迎えた最終回、１番笠井の本塁打により、逆転し、勝利。裏に國學院大學の３番内野のタイムリーで１点を返すも及ばず。

第２試合
国士舘大学　０００００００００｜０
日本大学　０２０００３０３×｜８
（国）小熊・西山－清水・高橋勇
（日）山崎・柳川－加藤
☆二塁打　小岩井（国）、東條（日）
（戦評）２回裏、日本大学は８番東條の２点タイムリーツーベースで先制。６回裏には８番東條のタイムリーヒットとエラー、９番牛谷のタイムリーヒットで３点を追加、８回裏には、代打細野のタイムリー、３番竹林のスクイズ、４番大崎のタイムリーで３点を追加し、計８点を取る。国士舘大学は、日本大学の山崎、柳川の前に完封に抑えられる。

◎５月26日　上柚木公園野球場
第１試合
中央大学　００１１００００１０｜３
専修大学　０００００００００｜０
（中）笠継・保坂－福澤・鈴木
（専）高橋陽・渡邉－植田
☆二塁打　松嶋・高野・萩原・藤倉（中）
（戦評）中央大学は３回に２番大湾のスクイズによって先制すると、直後の４回７番藤倉のタイムリーヒットで追加点を奪う。そして、８回に９番武内のタイムリーヒットによって３点目を追加。専修大学は、中央大学の笠継・保坂の前に完封に抑えられる。笠継は８回を２安打に抑えるピッチングを見せた。

第２試合
國學院大學　３１００００００００｜４
駒澤大学　０２００００００１｜３
（國）佐藤・古越・中村－根岸
（駒）高橋・片柳－三枝
☆本塁打　亀谷（國）
☆三塁打　塩見（國）、川口（駒）
☆二塁打　内野・亀谷（國）
藤本誠・三枝２（駒）
（戦評）國學院大學は初回に３番亀谷のタイムリーツーベース、４番内野のツーランホームランで３点を先制。２回にはワイルドピッチで１点を追加。その裏に駒澤大学は７番秋元の犠牲フライと９番三枝のタイムリーツーベースで２点を返す。その後は互いに投手陣が踏ん張り、９回裏駒澤大学は９番三枝の四球から２番随行・途中出場の渡辺、４番藤本耕の３者連続ヒットで１点を返すも、反撃及ばず。國學院大學が勝ち点を得た。

◎５月27日　上柚木公園野球場
第１試合
専修大学　０００００１０２０００｜３
中央大学　０００００１１１００１｜４
（延長11回）
（専）藤後・高橋陽－植田
（中）小河原－福澤・勝又
☆三塁打　児玉（中）
☆二塁打　金子翔･山岡（専）、松嶋（中）
（戦評）試合開始から、専修大学藤後、中央大学小河原の投手戦となる。６回表に専修大学は５番植田のタイムリーヒットで先制するとすかさず中央大学はその裏に押し出しに

	中　大	専　大	日　大	国士大	國學大	駒　大	試合	勝	負	分	勝率	勝点	得失点	順位
中央大学		○○	○○	○○	○○	○○	10	10	0	0	1.000	5	＋43	1
専修大学	●●		●△△●	●●	○○	○○	12	4	6	2	.400	2	＋9	4
日本大学	●●	○△△○		●○●	○○	○○	13	7	4	2	.636	3	＋13	3
国士舘大学	●●	○○	○●○		○●○	○○	12	8	4	0	.667	4	＋19	2
國學院大学	●●	●●	●●	●○●		○●○	12	3	9	0	.250	1	－44	5
駒澤大学	●●	●●	●●	●●	●○●		11	1	10	0	.091	0	－40	6

よって同点にする。そして７回に２番大湾のタイムリーヒットで逆転すると、８回裏専修大学は３番金子翔のタイムリーツーベースで逆転に成功する。その裏中央大学はワイルドピッチにより同点とし、延長戦に入る。延長11回の裏、専修大学は押し出しにより、サヨナラ負けを喫してしまい､勝ち点を落とした。

第２試合

日本大学	１	０	０	０	０	０	０	０	０	**１**
国士舘大学	０	０	２	０	０	０	０	４	×	**６**

（日）保母、山崎－今駒
（国）芦田、小熊－清水
☆二塁打　鹿田・大崎（日）
森・河野・野村（国）

（戦評）日本大学は初回に４番大崎のタイムリーツーベースで先制。３回に国士舘大学は３番森・４番箱田の連続タイムリーで逆転に成功。その後日本大学保母、国士舘大学芦田の投手戦となるが、８回裏、代わった日本大学山崎が国士舘大学の打線につかまり、５番水垣の内野安打、８番河野の２点タイムリーツーベース、９番野村のタイムリーヒットで４点を失い、国士舘大学が勝利。勝ち点４を得た。

◎５月28日　上柚木公園野球場

第１試合

日本大学	１	０	１	０	０	０	０	０	０	０	**２**
専修大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**

（日）有馬・岡島・山崎－加藤
（専）渡邉－植田
☆本塁打　鹿田（日）
☆二塁打　片山（日）、金子翔（専）

（戦評）日本大学は初回に３番鹿田の本塁打によって先制すると、３回に２番槙原の犠牲フライによって追加点を奪う。専修大学は、日本大学の有馬・岡島・山崎の前に完封に抑えられる。専修大学の渡邉は９回を２失点に抑えるも打線の援護なく、日本大学が勝ち点を奪い、制した。

春季リーグ戦の運営にあたって

国士舘大学　松井　駿祐

今回、春季リーグ戦の学生委員長として運営にあたって、日程調整や試合の運営での苦労を経験した。

リーグ戦中に、怪我が発生したり、倒れてしまった選手がいたりと､様々なことが起こり、その対応についても苦労したが、他大学の学生役員の協力もあり、無事春季リーグ戦を終えることができた。また、私は選手としても試合に出場することがあり、その試合中の運営や対応を円滑に進めてくれた学生役員に感謝するとともに、兼任という立場での苦労も経験した。

日程の調整では、従来使用していた球場の一つが工事のために使用できないという状況になり、さらに限られた場所・日程での運営となり、日本大学対専修大学のカードでは、第５戦にまでもつれ込むこともあったため、非常に大変であったと考える。東都リーグ全体でみると、球場の関係上ファウルボールが多く出てしまうといったケースや、球場を他の部と使うといったケースもあったため、自分が所属している部だけでなく、それ以外の部の役員との連携をしっかりと取ることができたとともに、連携することの重要性を学ぶことができた。

今回春季リーグ戦の運営にあたり、私にとって、様々な経験ができたと考え、有意義な経験であったと感じる。この経験を活かし、今後の人生の糧にしていきたいと考える。

２部リーグ

◎４月８日　朝霞中央公園野球場

第１試合

筑波大学	０	０	０	１	０	２	５	０	０	**８**
獨協大学	０	０	０	０	３	０	１	０	０	**４**

（筑波）田中・木村僚－川崎
（獨協）木村・知念－小野寺
☆本塁打　中原（筑）
☆三塁打　鈴木（獨）
☆二塁打　緒方（獨）、中原（筑）

（戦評）先制点は筑波大。４回表、獨協大木村投手の乱調により、無安打で先取点を取る。その流れに乗り、筑波大が追加点を挙げ、そのまま試合の主導権を握り、開幕戦を白星で飾る。

◎４月９日東洋大学川越キャンパス野球場

第１試合

東海大学	１	０	１	０	０	０	３	１	０	**６**
亜細亜大学	０	０	０	０	０	０	２	１	０	**３**

（東海）家倉・入江・横沢－小野瀬・高野・斉藤
（亜細亜）設楽・渡辺勇－石野・斉藤
☆本塁打　古川（海）
☆二塁打　古川・渡辺（海）、船越（亜）

（戦評）試合開始直後、亜細亜大エース設楽の初級を東海大古川が、先頭打者ホームランを放つ。７・８回に亜細亜大が反撃するが、東海大の３投手に抑えこまれ、敗戦を喫する。

◎４月11日　朝霞中央公園野球場

第１試合

東海大学	０	０	１	０	０	１	０	０	０	０	０	０	**２**
青山学院	０	１	０	０	１	０	０	０	０	０	０	０	**２**

（延長12回）

（東海）横沢・大井・入江－小野瀬
（青学）根本－杉江
☆三塁打　寺島（海）
☆二塁打　橋本・横関（青）
上田・小池（海）

（戦評）両大学のエース対決はシーソーゲームにより、引き分けに終わる。

第２試合

東洋大学	０	０	０	０	３	０	０	０	２	**５**
獨協大学	１	０	０	０	０	０	０	０	１	**２**

（東洋）阿部－糸賀
（獨協）三ヶ島－小野寺
☆本塁打　緒方（獨）
☆三塁打　菅沼（洋）
☆二塁打　鈴木・小野寺・中村（獨）
菅沼・渡辺（洋）

（戦評）獨協大が先制するも、東洋大の猛攻に遇い逆転を許す。獨協大打線も東洋大エース阿部の前に思うように好機を作れず、敗れる。

◎４月12日　庄和市民球場
第１試合
獨協大学　０００００１００｜１
東洋大学　１０１０１０２０×｜５
（獨協）木村・知念－小野寺
（東洋）木村・梶・山岸－糸賀
☆二塁打　尾崎・根本・菅沼（洋）
志村・鈴木（獨）
（戦評）東洋大が効率よく得点を挙げ、獨協大の反撃の勢いを封じる。東洋大投手木村が７回１失点の好投で今季初勝利を挙げる。

第２試合
青山学院　００２０１２０００｜５
東海大学　０００６００１×｜７
（青山）安藤・細山－杉江
（東海）家倉・村上・入江－小野瀬・斉藤
☆本塁打　小池（海）、根岸（青）
☆三塁打　田村（海）
☆二塁打　渡辺（海）、菅野（青）
（戦評）第一戦とは打って変わり、乱打戦となる。東海大が４回に打者一巡の猛攻により一挙６点を挙げる。６回から東海大投手入江が青山学院の勢いを封じる。

◎４月16日　新座市総合公園野球場
第１試合
東洋大学　２００００００１００｜３
青山学院　０００００１０２００1x｜４×
（延長11回）
（東洋）阿部－糸賀
（青学）安藤・細山－杉江
☆二塁打　鳥山（洋）、橋本・横関（青）
（戦評）東洋大が初回に２点先制する。８回に逆転されたが、９回に追いつく。しかし、東洋大投手阿部の好投に打線がこたえることができず、延長11回青山学院９番倉田の鮮やかな流し打ちでサヨナラで負ける。

第２試合
筑波大学　０００００００００｜０
亜細亜大学　２００００５０２０｜９
（筑波）田中・木村僚－川崎
（亜細亜）設楽・渡辺勇－石野・斉藤
☆三塁打　中原・磨伊（筑）
☆二塁打　木村僚・清水（筑）
（戦評）筑波大が試合を有利に進める。筑波大、田中・木村僚の両投手の前に亜細亜打線は散発５安打に抑え込まれる。

◎４月18日　庄和市民球場
第１試合
筑波大学　１００１０００１０｜３
亜細亜大学　０００３００１０×｜４
（筑波）田中・木村僚－川崎
（亜細亜）渡辺勇・設楽－斉藤・石野
☆二塁打古里・舟越（亜）磨伊（筑）
（戦評）亜細亜大が接戦を制す。

第２試合
青山学院　１１２０００００１３｜８
東洋大学　００４２００００１｜７
（青学）根本－杉江
（東洋）岩田・梶－糸賀
☆三塁打　糸賀（洋）
☆二塁打　小室２・橋本（青）
鳥山・石本（洋）

◎４月22日　東洋大学川越キャンパス野球場
第１試合
筑波大学　０００１００００３０｜４
東洋大学　０００１３０００1x｜５×
（筑波）田中・木村僚－川崎
（東洋）木村－糸賀
☆二塁打　糸賀・深沢（洋）
中原・磨伊・沼田（筑）
（戦評）序盤は東洋大が有利に試合を進めるも、８回筑波大が執念で同点に追いつき延長戦突入かと思われたが、最終回東洋大２年の鳥山がサヨナラとなる犠牲フライを放ち、試合終了。

第２試合
東海大学　２１０１０４０１０｜９
獨協大学　００１０００１１０｜３
（東海）大井・入江－小野瀬・斉藤
（獨協）知念・木村－小野寺
☆本塁打　内海２（海）
☆三塁打　寺嶋（海）
☆二塁打　宮崎・加藤大（海）、志村（獨）
（戦評）東海大内海が２本の本塁打を放ち、獨協大に圧勝する。

◎４月23日　朝霞市総合公園野球場
第１試合
獨協大学　１００３０００２０｜６
東海大学　１３２１０００３０｜10
（獨協）三ヶ島－小野寺
（東海）家倉・入江・横沢・村上－小野瀬
☆三塁打　加藤大・内海（海）
☆二塁打　加藤大・内海・小野瀬・木村（海）、緒方（獨）
（戦評）東海大内海が攻守に大活躍する。

第２試合
東洋大学　０００００１００｜１
筑波大学　００００１１０００｜２
（東洋）山岸・梶－糸賀
（筑波）木村僚・田中－川崎
☆本塁打　篠田（筑）
☆二塁打　磨伊（筑）、根本（洋）
（戦評）筑波大は５回に９番篠田のソロホームランで先制すると、６回には６番中原の犠牲フライで追加点を挙げる。投げては木村僚・田中のリレーで東洋大打線を一点に抑える。

◎４月25　日庄和市民球場
第１試合
東海大学　２１３１００００１０｜８
筑波大学　０４００００００００｜４
（東海）大井・入江・黒澤－小野瀬
（筑波）木村僚・唐澤－田中
☆二塁打　内海・小野瀬２・上田・宮崎・渡辺・加藤大（海）
篠田（筑）
（戦評）東海大が４回まで毎回得点を挙げ、試合の主導権を握る。東海大・小野瀬が２本の２塁打を放ち攻守にわたり投手を盛り立てた。

◎４月30日　東洋大学川越キャンパス野球場
第１試合
東洋大学　０００００００１０２｜３
亜細亜大学　１０００００００００｜１
（延長10回）
（東洋）山岸・木村－糸賀
（亜細亜）設楽・石野－斉藤
☆本塁打　家入（洋）
☆二塁打　石野（亜）、家入・尾崎（洋）
（戦評）両チームなかなか点が入らない中、東洋大家入の５安打の活躍で終盤に東洋大が勝ち越す。

第２試合
青山学院　０３００３１００４｜11
獨協大学　００１１０１０２０｜５
（青学）荻島・安藤－杉江
（獨協）木村・三ヶ島・半澤－小野寺
☆三塁打　橋本（青）
☆二塁打　倉田・橋本・根岸（青）
小野寺・緒方・山口（獨）
（戦評）青山学院、橋本・根岸の猛打賞の活躍により、青山学院が乱打戦を制す。

◎５月１日　獨協大学越谷野球場
第１試合
獨協大学　０００００００００｜０
青山学院　０４００３５７０×｜19
（獨協）知念・半澤・後藤・三ヶ島－小野寺
（青学）細山－杉江
☆三塁打　坂本・小室（青）
☆二塁打　横関（青）
（戦評）青山学院が先発全員安打で19得点を挙げ、投げては先発細山が完封勝利を挙げる。

第２試合
亜細亜大学　０００１０１０００｜２
東洋大学　４００１００３０×｜８
（亜細亜）渡辺勇・石野・設楽－斉藤
（東洋）梶・木村－糸賀
☆三塁打　深沢・根本（洋）
☆二塁打　渡辺・鳥山（洋）
（戦評）東洋大が初回に４点を挙げ主導権を握ると、終盤にも追加点を挙げる。

◎５月７日　庄和市民球場
第１試合
筑波大学　０００００１００１３｜５
青山学院　０００１０１０００｜２
（青学）根本－杉江
（筑波）木村僚－川崎
☆本塁打　中原・篠田（筑）
☆二塁打　木村僚･梶川（筑）､横関（青）
（戦評）筑波大中原・篠田のホームランで試合を優位に進め木村僚が140球の熱闘で完投勝利を挙げる。

◎５月８日　庄和市民球場
第１試合
青山学院　０００００２４０｜６
筑波大学　０１０００１０１０｜３
（青学）細山－杉江
（筑波）田中・木村僚－川崎
☆二塁打　磨伊･梶川･木村雅･磨伊（筑）
橋本（青）
（戦評）筑波大・磨伊の猛打賞の活躍も実らず終盤に青山学院が打者一巡の猛攻を見せ逃げ切る。

第２試合
獨協大学　０００２００００｜２
亜細亜大学　００２１１２４０×｜10
（獨協）知念・木村・仁木－小野寺
（亜細亜）設楽・石野－石野・斉藤
☆本塁打　石野（亜）
☆三塁打　新谷（亜）
☆二塁打　鳴海・篠宮（亜）
鈴木大・中村（獨）
（戦評）両軍失策が目立つ試合だが亜細亜大・石野の本塁打などで効率良く得点を挙げた、亜細亜大に軍配が上がる。

◎５月10日　朝霞市民野球場
第１試合
亜細亜大学　２０００２０１００｜５
東海大学　１００００００１０１｜３
（亜細亜）設楽・石野－石野・斉藤
（東海）横沢・入江－小野瀬
☆本塁打　宮崎（海）石野（亜）
☆二塁打　金綱（亜）
（戦評）亜細亜大・石野が２試合連続となる本塁打を放つ。亜細亜大・エース設楽が東海大打線を７回２失点の好投で､勝利を挙げる。

第２試合
獨協大学　０００００００１０｜１
筑波大学　３００００２０１×｜６
（獨協）半澤・仁木・知念－小野寺
（筑波）木村僚・唐澤・田中－川崎
☆三塁打　梶川（筑）
（戦評）筑波大が相手のミスに漬け込み初回に一挙３得点を挙げる。終盤にも得点を重ねた筑波大が相手を全く寄せ付けず、勝ち点を取る。獨協大打線は先発木村に５回無安打無失点に抑えられる。

◎５月11日　獨協大学越谷野球場
第１試合
亜細亜大学　００４０４６０００｜14
獨協大学　２０１０００００００｜３
（亜細亜）石野・設楽－斉藤・石野
（獨協）木村・知念・仁木・星野－小野寺
☆本塁打　石野（亜）
☆三塁打　石野･設楽（亜）､鈴木大（獨）
☆二塁打　緒方・鈴木大・小野寺（獨）
大屋・清水（亜）
（戦評）亜細亜大・石野の３試合連続となる本塁打などで、獨協大に圧勝する。

◎５月13日　東洋大学川越キャンパス野球場
第１試合
東海大学　１００００００１００｜２
東洋大学　０００００１０００｜１
（東海）大井－小野瀬
（東洋）梶・木村－糸賀
☆二塁打　古川（海）
（戦評）初回、東海大先頭・古川が２塁打で出塁すると、２者凡退後４番宮崎のタイムリーで東海大が先制する。その後両チーム無得点のまま迎えた６回、東洋大・３番家入がタイムリーを放ち同点とする。直後の７回、好調の古川がタイムリーを放ち東海大が勝ち越す。

第２試合
青山学院　１００１０１０１０｜４
亜細亜大学　０００００００００｜０
（青学）細山－杉江
（亜細亜）設楽･渡辺勇･石野－石野･斉藤
☆二塁打　横関・根岸（青）
（戦評）青山学院・細山９回８安打無失点で完封勝利を収める。亜細亜大、頼みの石野も無安打に終わる。

◎５月14日　新座市総合公園野球場
第１試合
亜細亜大学　０２００００００００｜２
青山学院　０１００００００００｜１
（亜細亜）設楽－斉藤
（青学）武藤・安藤・細山－杉江
☆本塁打　松島（青）
（戦評）亜細亜大は２回に安打２本と四球を絡めて２点を先制する。しかしその裏、青山学院・主砲松島がソロホームランを放つ。３回以降は両軍無得点に終わる。亜細亜大・エース設楽は９回４安打１失点の完投勝利を収める。

第２試合
東洋大学　００１００００００２０｜３
東海大学　００１１０１０００1x｜４
（東洋）山岸・木村－糸賀
（東海）家倉・入江－小野瀬
☆本塁打　尾崎（洋）
☆三塁打　古川（海）
☆二塁打　根本・菅沼・家入（洋）
（戦評）先制は東洋大学。９番尾崎のソロホームランで均衡は破れるが、４回に東海大学が逆転する。後がない東洋大は、９回連続長打と、相手のミスにより同点とする。しかし、10回の裏、東洋大の守備の乱れで東海大がサヨナラ勝ちを収めた。

◎５月21日　新座市総合公園野球場
第１試合
東海大学　３０３０００００００｜６
亜細亜大学　０００００００１１｜２
（東海）大井・横沢・入江－小野瀬
（亜細亜）渡辺勇・設楽－石野
☆三塁打　寺嶋（海）
☆二塁打　宮崎２（海）
（戦評）序盤に東海大が６点を挙げる。亜細亜大も再三のチャンスを作りながらも、あと一本が出ず得点を挙げることができない。終盤に意地を見せるも万事休す。

◎５月23日　朝霞中央公園野球場
第１試合
筑波大学　０００４０００１０｜５
東海大学　１１１３１３０１×｜11
（筑波）唐澤・田中－川崎
（東海）家倉・村上・入江－小野瀬
☆本塁打　宮崎
☆二塁打　木村雅（筑）
小野瀬･内海･宮崎･内海（海）
（戦評）東海大が６回まで毎回得点を挙げ、試合を優位に進める。投げては入江が緩急自在の投球で筑波打線を翻弄した。

◎５月24日　朝霞市中央公園野球場
第１試合
筑波大学　０００００１００１｜２
青山学院　００１００３３０×｜７
（筑波）木村僚・田中－川崎
（青学）細山－杉江
☆本塁打　橋本（青）
☆二塁打　小島２・篠田（筑）
根岸・倉田（青）
（戦評）両軍同点で迎えた６回、青山学院の打者一巡の猛攻で３点を挙げ７回にも１番橋本のホームランなどで３点を追加した。青山学院・細山が４安打完投勝利を挙げた。

	亜　大	獨協大	青学大	東洋大	筑波大	東海大	試合	勝	負	分	勝率	勝点	得失点	順位
亜細亜大学		○○	●○●	●●	●○○	●○●	13	6	7	0	.462	2	＋１	3
獨協大学	●●		●●	●●	●●	●●	10	0	10	0	.000	0	−67	6
青山学院大学	○●○	○○		○○	●○○	△●●	13	8	4	1	.667	4	＋28	2
東洋大学	○○	○○	●●		○●●	●●	11	5	6	0	.455	2	＋３	5
筑波大学	○●●	○○	○●●	●○○		●●	13	6	7	0	.462	2	−１	4
東海大学	○●○	○○	△○○	○○	○○		12	10	1	1	.909	5	＋36	1

◎５月25日　青山学院大学町田野球場
第１試合
青山学院　０００３１１００｜５
亜細亜大学　０００００３０００｜３
（青学）根本－杉江
（亜細亜）渡辺勇・設楽・高木・石野－石野・斉藤
☆本塁打　石野（亜）
☆二塁打　桐井・小室・橋本・横関（青）
（戦評）亜細亜大・石野が今リーグ４本目のホームランを放つも、青山学院・好投手根本が要所を締め散発４安打に抑え勝利を挙げる。

◎５月29日　上柚木公園野球場
第１試合
筑波大学　０１００６０２００｜９
東洋大学　２０００００００｜２
（筑波）岩田・中村・梶・山岸－小泉・糸賀
（東洋）田中・唐澤－川崎
☆二塁打　中原（筑）
（戦評）東洋大学は初回に２者連続四球で出塁すると、４番藤原がセンター前にタイムリーヒットを放ち２点を先制する。しかし、５回に先発の岩田が突如崩れ、筑波大に主導権を握られる。筑波大は先発の田中が８回２失点に抑え、勝利を収める。

第２試合
東海大学　１０２０００２０２｜７
青山学院　１００００００００｜１
（東海）家倉－小野瀬
（青学）細山・根本－杉江
☆二塁打　宮崎・加藤大・小野瀬（海）
松島（青）
（戦評）優勝がかかった大一番。同点で迎えた３回、東海大学は四死球で出塁すると相手のミスにより勝ち越しに成功する。東海大は７回にも三者連続安打で追加点を挙げた。先発・家倉は７安打完投勝利を収める。

３部リーグ

◎４月15日　庄和球場
第１試合
日本体育大学　１００００３００｜４
一橋大学　２００００００００｜２
（日体）月田・柏倉－小野（泰）・樽井
（一橋）都筑－根元
☆三塁打　根元
☆二塁打　榎本
第２試合
帝京大学　１０１０１４０００｜７
千葉大学　０００００４０２｜６
（帝京）大菌・小池－吉田・日吉
（千葉）長位・香取・山下－金井
☆三塁打　瀧澤（帝）
☆二塁打　今栄２・安田（帝）、山下（千）

◎４月19日　庄和球場
第１試合
一橋大学　０２０００１４２０｜９
城西大学　０２０００００１１｜４
（一橋）都筑－根本
（城西）中村・齋藤譲・田辺－天野
☆本塁打　粕谷
☆三塁打　奥山・井上
☆二塁打　加藤・原口・栗山・天野・本間・大形・角谷
第２試合
帝京大学　０００００１３００｜４
法政大学Ⅱ部　００１１００００４×｜６
（帝京）大薗－吉田・兼松
（法Ⅱ）木村・松原－大石・藤田
☆本塁打　小岡
☆三塁打　金森
☆二塁打　種谷・井上２・相澤

◎４月23日　庄和球場
第１試合
千葉大学　０００００００２０００｜２
法政大学Ⅱ部　１０００００１０００1x｜３
（延長10回）
（千葉）山下・長位－屋比久
（法Ⅱ）池田・安田・丹野－大石
☆二塁打　戸村・勝治
第２試合
城西大学　４０２２２００００｜10
日本体育大学　２１００００１００｜４
（城西）斉藤嬢・久保田－井上・天野
（日体）柏倉・樽海・河原－樽井
☆本塁打　粕谷
☆三塁打　小高
☆二塁打　榎本・金山・加藤

◎４月26日　庄和球場
第１試合
帝京大学　１０００２００００４｜７
日本体育大学　４１０１００００００｜６
（帝京）大薗　小池－日吉　吉田
（日体）月田　河原－樽井
☆二塁打　榎本２・西野・今栄・金森・片山
第２試合
千葉大学　２０１０００００２｜５
一橋大学　０２１０００００００｜３
（千葉）長位　武藤－屋比久
（一橋）黒田－伊藤
☆三塁打　鹿嶋
☆二塁打　石田　清水

◎５月１日　庄和球場
第１試合
城西大学　０１００００２０２｜５
帝京大学　０１１０２２１０×｜７
（城西）中村・久保田－仙坂・井上
（帝京）大薗－日吉・吉田
☆本塁打　兼松
☆三塁打　種谷
☆二塁打　滝澤・金森・本間
第２試合
法政大学Ⅱ部　０００３００１２０１｜７
日本体育大学　０１１００３００１０｜６
（延長10回）
（法Ⅱ）松原・池田・丹野－大石
（日体）津久井・河原・樽海－樽井
☆本塁打　増田
☆三塁打　三浦・川島

◎５月３日　千葉大球場
第１試合
法政大学Ⅱ部　０００００２１０１０｜４
城西大学　０００００６０２×｜８
（法Ⅱ）木村　丹野－大石　藤田
（城西）中村－井上
☆三塁打　井上・斉藤（達）
☆二塁打　安達・井上・本間・小高・加藤・廣橋・栗原
第２試合
日本体育大学　３０２１００００｜６
千葉大学　０００００００００｜０
（８回コールド）
（日体）月田　柏倉　－樽井
（千葉）武藤　碓井－屋比久
☆三塁打　石井
☆二塁打　樽井２・我妻

◎５月４日　千葉大球場
第１試合
日本体育大学　０００００００００｜０
帝京大学　０８２００３００×｜13
（日体）津久井・河原・樽海・月田－樽井
（帝京）小池－日吉　吉田
☆三塁打　安田
☆二塁打　酒井２・日吉・種谷
第２試合
城西大学　１０１０１００００３｜６
一橋大学　０００００２０００２｜４
（城西）田辺－天野
（一橋）黒田－伊藤
☆三塁打　加藤
☆二塁打　本間・金山２・加藤

◎５月６日　千葉大球場
第１試合
日本体育大学　０００００００１｜１
法政大学Ⅱ部　００３０２０１０×｜６
（日体）河原・樽海・月田－樽井
（法Ⅱ）池田・松原・丹野－大石
☆本塁打　大石
☆三塁打　岡村
☆二塁打　井上
第２試合
千葉大学　０００００００１０｜１
帝京大学　１００００２７３×｜13
（千葉）武藤・碓井－屋比久
（帝京）大薗・紺野－日吉
☆三塁打　今栄・岡崎・片山
☆二塁打　今栄

◎５月９日　庄和球場
第１試合
一橋大学　０００００００００｜０
千葉大学　００００２４１２×｜９
（一橋）都筑・岸－伊藤
（千葉）山下・武藤・碓井－屋比久・鈴木・金井
☆二塁打　長位
第２試合
日本体育大学　０００００２３００１｜６
城西大学　００２２００１００｜５
（日体）月田－樽井
（城西）久保田・斉藤譲－井上
☆三塁打　仙坂
☆二塁打　栗原・西野・佐藤・三浦

◎５月10日　庄和球場
第１試合
一橋大学　１２１０３００００｜７
日本体育大学　０１００００２０００｜３
（一橋）工藤－根本
（日体）津久井　柏倉　河原－樽井
☆本塁打　大形
☆二塁打　根本・樽井・中村・高田
第２試合
法政大学Ⅱ部　０００００００００｜０
千葉大学　００１０１０００×｜２
（法Ⅱ）木村　松原－藤田　大石
（千葉）長位　武藤－屋比久

◎５月13日　庄和球場
第１試合
一橋大学　０１０００１１０１｜４
法政大学Ⅱ部　２５０４２１００×｜14
（一橋）工藤・岸・都筑－根本
（法Ⅱ）池田・丹野－大石・藤田
☆本塁打　増田
☆二塁打　安田　井上　今津　増田２
第２試合
千葉大学　０１００００００００｜１
日本体育大学　２００００００００×｜２
（千葉）山下－金井
（日体）月田－樽井
☆二塁打　榎本

◎５月14日　庄和球場
第１試合
城西大学　１０００００３３｜７
千葉大学　０００００１０００｜１
（城西）久保田・田辺－井上
（千葉）長位・武藤－金井
☆二塁打　岩間・金山
第２試合
法政大学Ⅱ部　１０１００１０００｜３
帝京大学　００２１２０００×｜５
（法Ⅱ）木村・池田・丹野－大石
（帝京）維野・大薗－日吉
☆三塁打　片山
☆二塁打　相澤

◎５月16日　庄和球場
第１試合
帝京大学　７１００６３４５２｜28
一橋大学　０００００００１１｜１
（帝京）小池・中島－日吉・吉田
（一橋）岸・大形・田下・根本－根本・伊藤
☆本塁打　大泉
☆三塁打　種谷・片山
☆二塁打　大形・種谷２・横手・金森・安田・今栄２
第２試合
千葉大学　００１００００２３｜６
城西大学　２３００００１００×｜15
（千葉）碓井　石田－鈴木
（城西）斉藤嬢・小高・田邊－関根・井上・天野
☆本塁打　小高・船越
☆三塁打　小高・井上・清水・中村
☆二塁打　粕谷

◎５月17日庄和球場
第１試合
帝京大学　１００００００１０｜２
城西大学　０００００２００３｜５
（帝京）大薗－日吉
（城西）斉藤嬢－関根・栗原
☆二塁打　安田・種谷・金山２・廣橋２
第２試合
法政大学Ⅱ部　３３００２０２３０｜13
一橋大学　０００００００２００｜２
（法Ⅱ）采澤・池田・松原・丹野－藤田・大石
（一橋）都筑－根本
☆三塁打　藤田・小岡
☆二塁打　安田２・小岡・石川・大都留・中村

	日体大	帝京大	城西大	法大Ⅱ	千葉大	一橋大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
日本体育大学		●●	●○	●●	○○	○●	10	4	6	0	.400	−20	4
帝京大学	○○		○●	●○	○○	○○	10	8	2	0	.800	+63	1
城西大学	○●	●○		○○	○○	●○	10	7	3	0	.700	+31	2
法政大学Ⅱ部	○○	○●	●●		○●	○○	10	6	4	0	.600	+15	3
千葉大学	●●	●●	●●	●○		○○	10	3	7	0	.300	−23	5
一橋大学	●○	●●	○●	●●	●●		10	2	8	0	.200	−66	6

４部リーグ

◎４月20日　東京農工大グラウンド
第１試合
東京農工大学　００００２２０００｜４
明治薬科大学　０４０００１００×｜５
（農）高橋・吾郷－佐藤
（明）野口－桑山
☆三塁打　西澤（農）
☆二塁打　土屋（農）、越前（明）
（戦評）明治薬科大学が序盤に４点を取り試合の主導権を握る。農工大も１点差まで差を縮めるもののあと一歩及ばなかった。

第２試合
立正大学　３００１０５０００｜９
学習院大学　００２６００２０×｜10
（立）小野・塚越－川島
（学）窪田－阿部
☆三塁打　白井（立）
☆二塁打　佐々木・宮下・岩舘・川島・白井・塚越（立）
古口・片山・石川（学）
（戦評）両チーム合わせて32安打19打点の乱打戦の末、学習院大学が勝利をつかんだ。

第３試合
首都大学東京　２１０１００２００｜６
上智大学　００３０２００３×｜８
（首）森口・安藤－小出
（上）上村・佐藤－菅野
☆本塁打　小出（首）
☆三塁打　牧（上）
☆二塁打　吉川・石井・大久保（首）
河野・川辺・林原・牧（上）
（戦評）首都大学東京は１番小出の先頭打者ホームランなどで先制するものの３回に追いつかれる。その後一進一退の攻防の末、上智大学が勝利した。

◎４月27日　東京農工大グラウンド
第１試合
首都大学東京　０００００１１１０２｜５
立正大学　２０２０００００１０｜５
（首）安藤・森口－小出
（立）小野・塚越－川島
☆二塁打　黒川・新井田（首）
小野（立）
（戦評）序盤に立正大学が４点を取り、流れをつかむ。９回表に首都大が粘りを見せ同点に追いついた。

第２試合
明治薬科大学　１０１０１０１０１｜５
上智大学　００２００１０１０｜４
（明）野口－桑山
（上）牧・扇谷－菅野
☆本塁打　河野（上）
☆三塁打　扇谷（上）
☆二塁打　釜澤・野口・牧野（明）
（戦評）明治薬科大学が先制するものの一進一退の攻防が９回まで続き引き分けに終わった。

第３試合
東京農工大学　４０００１００３１｜９
学習院大学　０００００１００１０｜２
（農）渡辺・久貝・高橋－佐藤
（学）窪田・藤井－阿部
☆本塁打　富田（農）、割田（学）
☆三塁打　高橋（農）
☆二塁打　吾郷・土屋・富田・佐藤（農）
（戦評）農工大が初回に富田の２ランも絡め４点を先制する。その後も中押し、ダメ押しと点数を重ね試合を決めた。

◎４月28日　東京農工大学グラウンド
第１試合
東京農工大学　２００００００００｜２
上智大学　２０１００２２０×｜７
（農）渡辺・久貝・高橋－佐藤
（上）鎌倉－菅野
☆本塁打　河野（上）
☆三塁打　高橋（農）
☆二塁打　川辺（上）
（戦評）上智大学が６・７回に２点ずつ点数を奪い試合を決めた。

第２試合
立正大学　３００００００１００｜４
明治薬科大学　０００００００２３｜５
（立）川島－古川
（明）野口・釜澤－桑山
☆二塁打　川島・塚越・小野（立正）
桑山・釜澤（明）
（戦評）立正大学は初回２本のツーベースなどで３点をもぎ取る。明治薬科大学は７回までヒット２本に抑えられるものの、終盤に粘りを見せ劇的なサヨナラで勝利をつかんだ。

第３試合
首都大学　００２３００００００｜５
学習院大学　００１２２０１０×｜６
（首）尾関・高橋・森口－小出
（学）藤井－阿部
☆二塁打富田、石川（学）
（戦評）拮抗した好ゲームの中で学習院大学が粘り勝ちした。

◎５月３日　農工大グラウンド
第１試合
上智大学　２００３２１１０１｜10
学習院大学　０００００３０００｜３
（上）牧－菅野
（学）窪田－阿部
☆三塁打　大竹（上）
☆二塁打　奥山・大竹（上）、割田（学）
（戦評）上智大学は３番大竹の４安打の活躍などで大量10得点で試合を決めた。

第２試合
立正大学　０２００１１０００｜４
東京農工大学　０００００００００｜０
（立）佐々木・小野－川島
（農）吾郷－佐藤
☆三塁打　小野（立）
☆二塁打　川島・和田（立）
（戦評）立正大学は佐々木・小野の継投で農工大学を完封し、勝利を収めた。

◎５月４日　学習院グラウンド
第１試合
学習院大学　１００００３０００２｜６
立正大学　２００２３００２×｜９
（学）藤井－阿部
（立）落合－川島
☆三塁打　宮下（立）
☆二塁打　和田（立）
片山・割田・大木・（学）
（戦評）拮抗したシーソーゲームの末、立正が逃げ切った。学習院も最終回に粘りを見せるもののあと一歩及ばなかった。

第２試合
東京農工大学　０３０１００００００｜４
明治薬科大学　１００００１０２０１｜５
（農）渡辺・久貝－佐藤
（明）野口－桑山
☆本塁打　土屋（農）
☆二塁打　吾郷・佐藤（農）
桑山・釜澤（明）
（戦評）序盤は４番土屋の本塁打などで農工大ペースだったが、終盤は明薬が粘りを見せ劇的なサヨナラで勝利をおさめた。

第３試合
上智大学　１００７００１｜９
首都大学東京　００００２００｜２
（７回雨天コールド）
（上）鎌倉ー佐藤－菅野
（首）森口ー安藤－小出
☆二塁打　小出（首）
（戦評）４回にビッグイニングを作った上智が継投で首都打線をかわし、そのまま逃げ切る。

◎５月６日　農工大グラウンド
第１試合
東京農工大学　０００００１００１０３｜５
首都大学東京　０００００００００２００｜２
（延長11回）
（農）吾郷ー高橋－佐藤
（首）尾関ー安藤－大久保ー島津
☆三塁打　関（農）
☆二塁打　富田・須加（農）
石井・吉川（首）
（戦評）９回に首都大が２点を返し延長戦へ。延長11回に農工大が関の三塁打で３点を奪い試合を決めた。

第２試合
明治薬科大学　００３０００００３｜６
学習院大学　０５００１０１０×｜７
（明）野口ー釜澤－桑山
（学）窪田ー藤井－安部
☆三塁打　姉川（学）
☆二塁打　正木（明）、割田・姉川（学）
（戦評）２回に大量５点を奪った学習院がそのまま逃げ切り試合を決めた。明薬も９回に１点差まで詰め寄るものの後１歩およばなかった。

◎５月11日　首都大グラウンド
第１試合
上 智 大 学　４１０１０１１｜８
立 正 大 学　０００００００｜０
（７回コールド）
（上）佐藤－菅野
（立）落合一小野－川島
☆三塁打　川辺・扇谷（上）
☆二塁打　河野・高田（上）、白井（立）
（戦評）上智大の佐藤が圧巻のピッチングで立正打線を完封した。

◎５月12日　農工大グラウンド
第１試合
明治薬科大学　００５１００００｜６
上 智 大 学　０００００１１００｜２
（明）野口－桑山
（上）鎌倉一村上－菅野
☆二塁打　桑山・釜澤・野口・北島（明）
（戦評）３回に５連打で５点を奪った明薬がそのまま逃げ切った。

第２試合
立 正 大 学　１３００００００｜４
首 都 大 学　１１００００００｜２
（立）川島一佐々木－古川
（首）森口一尾関－大倉
☆二塁打　宮下・塚越（立）、吉川（首）
（戦評）序盤に４点を奪った立正が３回以降首都大打線を０点に抑え勝利をつかんだ。

第３試合
東京農工大学　００２００２０００｜４
学 習 院 大 学　２０１０００００｜３
（農）渡辺・久貝・富田－佐藤
（学）窪田－阿部
☆二塁打　山田・関（農）、割田（学）
（戦評）拮抗した試合展開の中、農工大が１点差で逃げ切る。

◎５月18日　農工大グラウンド
第１試合
上 智 大 学　２０００１０００｜３
東京農工大学　０１３０００１２×｜７
（上）牧－菅野
（農）高橋・富田－佐藤
☆二塁打　大竹・佐藤・（上）
（戦評）中盤に逆転した農工大がそのまま逃げ切る。

第２試合
明治薬科大学　０１００１０００｜２
立 正 大 学　０００４００４０×｜８
（明）野口－桑山
（立）落合・佐々木－岩舘
☆本塁打　白井（立）
☆三塁打　菅原（立）
☆二塁打　設楽・越前・牧野（明）
白井（立）
（戦評）４回と７回に４点を奪った立正がそのまま逃げ切った。

◎５月18日　学習院グラウンド
第３試合
学習院大学　４１０２３０１｜11
首 都 大 学　０３０１００１｜５
（７回コールド）
（学）藤井・窪田－阿部
（首）尾関－大倉
☆本塁打　横家（首）
☆二塁打　古口・割田・石川（学）
小出（首）
（戦評）初回から点数を積み重ねた学習院がそのまま逃げ切った。

◎５月19日　農工大グラウンド
第１試合
上 智 大 学　２０１２１３０００｜９
学習院大学　１００００３０２００｜６
（上）佐藤・鎌倉・扇谷－菅野
（学）窪田・藤井－阿部
☆二塁打　河野（上）、下山（学）
（戦評）上智は中盤に点数を重ね試合を決めた。学習院も最後まで粘りを見せたがあと一歩及ばなかった。

第２試合
東京農工大学　０００００２０１｜３
立 正 大 学　１２０２１１０１×｜８
（農）渡辺・久貝－佐藤
（立）佐々木・川島－古川
☆二塁打　宮下・小野・古川（立）
（戦評）立正が中盤までに７点を積み重ね、そのまま試合を決めた。

第３試合
首都大学東京　０００００２２０００｜４
明治薬科大学　００２１１００００｜４
（首）森口・新田－大倉・高野
（明）野口・釜澤－桑山
☆二塁打　吉川・井・岡崎・黒川（首）
桑山（明）
（戦評）序盤は明薬のペースだったが６回に首都は３連打で試合を振り出しに戻した。試合そのまま引き分けに終わった。

◎５月25日　学習院グラウンド
第１試合
首都大学東京　００１１００００｜２
明治薬科大学　３１１１１００１×｜８
（首）尾関・佐藤・安藤・森口・新井田－大倉・高野
（明）野口・釜澤－桑山
☆本塁打　正木（明）
☆二塁打　大倉（首）
（戦評）明薬が序盤からペースを作り、そのまま逃げ切った。

第２試合
上 智 大 学　２０００４０００｜６
立 正 大 学　３００００００００｜３
（上）佐藤・村上－菅野
（立）小野・佐々木－川島
☆本塁打　塚越・小野（立）
☆二塁打　大竹・河野（上）、宮下（立）
（戦評）初回、立正は塚越、小野の本塁打で逆転に成功する。しかし６回に上智が一挙４点をあげ、そのまま逃げ切った。

◎５月26日　首都大グラウンド
第１試合
東京農工大学　００４０４０００１｜９
首都大学東京　１００００００３０｜４
（農）渡辺・吾郷・関－佐藤・土屋
（首）新井田・高橋・森口・尾関－高野・大倉
☆三塁打　関（農）、小出（首）
（戦評）農工大が序盤から点数を積み重ね、継投で首都大打線を最後まで抑えた。

第２試合
明治薬科大学　１４０１０１３００｜10
学 習 院 大 学　０００２０２００×｜４
（明）野口・鈴木・釜澤－桑山
（学）井上・藤井・久木田・渡辺・窪田－阿部
☆本塁打　石川（学）
☆三塁打　石川（学）
☆二塁打　釜澤・野口（明）
（戦評）初回から点数を重ねた明薬が最後まで逃げ切った。

	農工大	学習大	立正大	上智大	明薬大	首都大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
東京農工大学		○○	●●	●○	●●	○○	10	5	5	0	.500	＋4	4
学習院大学	●●		○●	●●	○●	○○	10	4	6	0	.400	−18	5
立正大学	○○	●○		●●	●○	△○	10	5	4	1	.556	＋7	3
上智大学	○●	○○	○○		△●	○○	10	7	2	1	.778	＋26	1
明治薬科大学	○○	●○	○●	△○		△○	10	6	2	2	.750	＋12	2
首都大学東京	●●	●●	△●	●●	△●		10	0	8	2	.000	−31	6

平成25年春季リーグ戦を終えて

明治薬科大学　釜澤　史明

春季リーグ戦を終え、期間中に全試合を消化できたことにひとまず安心しました。自分たちの大学のグラウンドが試合に使えないこともあり、グラウンドの確保や試合日程の決定には常に苦労しました。また、試合に出場しつつリーグ運営をしていくのはこんなにも辛いのかということをひしひしと感じました。

しかし、何事もなくリーグ戦を終えられたのはマネージャーや部員、それに各大学の主将、主務が積極的に協力してくれたおかげだと思います。

リーグ戦では上智大学が優勝を決め、入れ替え戦でも勝利し見事３部昇格を決めました。今回のリーグ戦では上位大学と下位大学との勝率に差がつく結果となりましたが、チーム力ではそれほど差があるようには感じませんでした。その中で上智大学が優勝できたのは投打のバランスがとれていたこともありますが、何より昇格への意思が他の大学よりも強かったためではないかと思います。

また例年以上に投手力や打撃の面で各大学が力をつけているように感じました。

最後に期間内にリーグ戦を終えることができたのはグラウンドを提供してくれた東京農工大学、首都大学、学習院大学をはじめ、各大学の協力があったからです。

本当にありがとうございました。

５部リーグ

◎４月27日　東京理科大学球場
第１試合

健康科学大学	０００００００１	１
東京工業大学	０００１０１２０×	４

（健）小松・宮本・小楠－木下・古清水
（工）山中－横山
☆三塁打　手塚２（工）
☆二塁打　小楠２（健）､手塚･池田（工）
（戦評）東京工業大学は４回に先制すると、その後も追加点をあげる。投げては山中が９回１失点で完投した。

◎４月28日　電気通信大学球場
第１試合

東京農業大学	１０４２０００２０	９
健康科学大学	０００００３０００	３

（農）井上・牛山・森田－中里・奈良井
（健）小松・相川－小楠
☆三塁打　浅香（農）
☆二塁打　丹羽・浅香（農）、相川（健）
（戦評）東京農業大学が初回に先制すると、その後も追加点をあげて５回までに７点を奪った。５回に健康科学大学が３点をかえすも反撃はここまで。その後も追加点をあげた東京農業大学が９－３で勝利した。

第2試合

電気通信大学	００００１００	１
成　蹊　大　学	１０４１０１０×	16

（７回コールド）
（電）上田・菊野・城－田村
（成）大塚・泉・辻－今村・中村
☆三塁打　今村（成）
（戦評）成蹊大学が13安打16得点で電気通信大学を圧倒し、勝利した。

◎５月５日　電気通信大学球場
第１試合

成　蹊　大　学	１００００１００	２
東京農業大学	１０００１００１×	３

（成）大塚－今村
（農）白鳥・森田－中里
☆三塁打　田村（農）
☆二塁打　今村（成）、中里（農）
（戦評）成蹊大学が１回に３番渡辺のタイムリーで先制すると、すぐさま東京農業大学がその裏に５番浅香のタイムリーで同点に追いつく。その後両チームとも１点ずつとり、迎えた８回。東京農業大学の８番中里が２塁打を放つと相手のミスが重なり、１点勝ち越した。これが決勝点となり、東京農業大学が勝利した。

第２試合

健康科学大学	２００００００２０	４
電気通信大学	００１００４００×	５

（健）小松・相川－古清水
（電）菊野－田村
☆本塁打　城（電）
☆三塁打　木下（健）、宮良（電）
☆二塁打　相川（健）
（戦評）健康科学大学は初回６番五味の２点タイムリーで先制。対する電気通信大学は１点をかえして迎えた６回。８番西のタイムリーで同点に追いつくとその後、代打城がランニングホームランを放ち、３点勝ち越しに成功した。健康科学大学は８回に２点をかえすも反撃はここまで。５－４で電気通信大学が勝利した。

◎５月６日東京理科大学球場
第１試合

東京理科大学	０１００３５００２	11
成　蹊　大　学	００１００２１００	４

（理）中村－北原
（成）大塚・泉・辻－今村
☆本塁打　磯田（理）
☆三塁打　磯田２（理）
☆二塁打　高瀬（理）、今村（成）
（戦評）東京理科大学は同点で迎えた５回、１死満塁から５番磯田が３点タイムリースリーベースを放ち勝ち越しに成功。その後、成蹊大学も反撃するも及ばず。東京理科大学の磯田がこの試合５打数３安打７打点と大活躍。

◎５月18日　東京理科大学球場
第１試合

成　蹊　大　学	０４０１０２００２	９
東京工業大学	０６０３２６００×	17

（成）辻・小野田・泉－今村・土橋
（工）山中・小林・武市－横山・細田
☆三塁打　池田（工）
☆二塁打　佐川・手塚３・後藤（工）
大野・土橋・渡辺（成）
（戦評）東京工業大学が２回に打者一巡の猛攻で４点先制。しかしその裏、成蹊大学も打者一巡のを見せ、逆転に成功。その後、両チームとも得点を重ねて終わってみれば17－９と成蹊大学が圧勝した。

第２試合

電気通信大学	０１０１００００００	２
東京農業大学	３５０４１１００×	14

（電）城－田村
（農）井上・丹羽－中里・奈良井
☆三塁打　福崎（農）
☆二塁打　青木（電）
斉東･岡田･丹羽･原田２（農）
（戦評）東京農業大学は初回に田村・丹羽・原田のタイムリーで３点を先制、その後１点返された２回、打者一巡の猛攻で５点を入れて序盤で大きなリードを奪った。その後も点を重ねた東京農業大学が14－２と圧勝した。

第３試合

東京理科大学	０１０２００２００	５
健康科学大学	０１０００１２０2x	６×

（理）渡辺・中村－北原
（健）宮本－小楠
☆三塁打　高瀬（理）、木下（健）
☆二塁打　加藤木・宮澤（理）
小楠・小林（健）
（戦評）東京理科大学は同点で迎えた４回、

高瀬・宮澤のタイムリーで２点の勝ち越しに成功。その後、両チームとも得点を加えて、１点差で迎えた９回。健康科学大学は相手のエラーで同点に追いつくと、その後２死満塁で木下がライトへタイムリーを放ちサヨナラ勝利を収めた。

◎５月19日　電気通信大学球場
第１試合

東京理科大学	２０００２０００	4
東京農業大学	０００１０１００２1x	5×

（延長10回）

（理）中村－北原
（農）白鳥・森田－中里
☆本塁打　高瀬（理）
☆二塁打　渡辺（理）、斉東（農）

（戦評）東京理科大学は初回、渡辺のタイムリーで２点を先制。その後、１点を返されるも６回に高瀬の２ランホームランでさらに突き放した。その後、２点差で迎えた９回。東京農業大学は相手のエラーで同点に追いつくと延長10回に中里が出塁すると、斉東が２塁打を放ち、サヨナラ勝利を収めた。

第２試合

電気通信大学	４１０２００００	7
東京工業大学	３２１０２００３×	11

（電）菊野－田村
（工）小林・山本－横山
☆本塁打　宮良（電）
☆三塁打　須加尾・池田・藤井（工）
☆二塁打　菊野（電）
横山・池田・藤井（工）

（戦評）電気通信大学は初回、無死満塁から４番宮良が満塁本塁打を放ち先制。その後点を取り合い１点差で迎えた５回。東京工業大学は藤井・後藤の連続タイムリーで逆転に成功。その後も点を加えた東京工業大学が11－７と勝利した。

◎５月25日　東京理科大学球場
第１試合

東京工業大学	０００００００２０	2
東京理科大学	００１００２２３×	8

（工）山中－横山
（理）中村－北原
☆本塁打　高瀬・磯田（理）
☆二塁打　後藤２･手塚･須加尾･藤井（工）
加藤木２（理）

（戦評）東京理科大学は３回加藤木のタイムリーで先制。その後高瀬・磯田のホームランなどで追加点を挙げた。投げては中村が９回２失点と好投をし、８－２で勝利した。

第２試合

成蹊大学	０００００５０００	5
健康科学大学	０００２１３３０×	9

（成）小野田・大塚－今村
（健）宮本・小松・小楠－小楠・古清水
☆三塁打　大野・渡辺（成）
小楠・田口（健）
☆二塁打　相川２・田口２（健）

（戦評）成蹊大学は2点ビハインドの5回、打者一巡の猛攻で５点を奪い、逆転。しかし、健康科学大学は１点返して迎えた６回。田口・相川のタイムリーで逆転。その後も追加点を加えた健康科学大学が９－５と勝利した。

◎６月１日　東京理科大学球場
第１試合

東京工業大学	００１０２１１００	5
東京農業大学	２００００００００	2

（工）山中－横山
（農）白鳥・伊藤（駿）・伊藤（健）・井上・森田・丹羽－中里
☆三塁打　田村（農）
☆二塁打　藤井（工）

（戦評）東京農業大学は初回、エラーやタイムリーで２点を先制。対する東京工業大学は１点を返し迎えた５回。５連打などで逆転。その後も追加点を加えた東京工業大学が５－２で勝利した。

第２試合

電気通信大学	００１１５００００４	11
東京理科大学	１２００１０１５２x	12×

（電）菊野・城・上田－田村
（工）中村・渡辺－渡辺・磯田
☆本塁打　鈴木（電）、宮澤（理）
☆三塁打　戸田・舟根（理）
☆二塁打　菊野・上田・田村・鈴木（電）
武笠２・戸田・高瀬２（理）

（戦評）電気通信大学は１点差で迎えた５回、一挙５点を加え逆転。その後、東京理科大学は２点を返し、８回に打者一巡で５点を奪い再逆転。９回に電気通信大学は四球を挟む４連打で４点を加え再々逆転。その裏、東京理科大学は武笠のタイムリーで同点に追いつくと１死満塁から舟根がタイムリーを放ちサヨナラ勝利した。

春季リーグ戦を終えて

東京理科大学　足立　貴紀

今季の春季リーグ戦はどのチームも力が拮抗していて接戦な試合が多く、終盤で逆転して勝利、という試合が多くありました。その中でも終盤に粘り強さを見せ、接戦を多くものにした東京農業大学が優勝した大会になりました。

自分自身の感想となりますが、無事リーグ戦を期間内に終えることができ、大変安心している状態です。今季のリーグ戦は日程の都合上、例年より1週少ない日程の中での運営となりました。しかも、今季も昨年の秋季リーグと同様に5部リーグが７校で行うこともあり、試合数が従来よりも多く、リーグ戦開始前は大変不安に思っていました。そんな中でリーグ戦が始まりました。始まってからも雨天のため２日も順延してしまいました。しかし、そんな中でも様々な人たちの力をお借りすることで、閉会式前日まで試合を行いましたが、何とか無事に期間内に終えることが出来ました。また、試合運営に置きましても、自分が連盟の試合規定を十分に把握できていなく、各大学チームにはいろいろとご迷惑をおかけしました。

今回の反省点としましては、試合会場の確保と試合時間の短縮があります。５部リーグの試合会場は各大学のグランドをお借りして試合を行っているのですが、今季は雨天順延などになった場合の予備日の試合会場が確保できていなく、リーグ戦中、あわただしくなってしまいました。ですから、次回は雨天などのリスク管理をしていかなければなりません。もう一つの問題は試合時間です。５部リーグは日程の都合上１日３試合が多くあります。そんな中試合時間が長いと３試合も行えない場合が出てきます。そこで、イニング間や試合間を短縮できるように各大学に促す必要があると思いました。以上の問題を今後、解決できるように、今回の問題を次回の当番校の方に伝えサポートしていきたいと思います。

最後になりますが、自分自身今季の当番校を務めさせていただいて、とても素晴らしい体験が出来ました。今回の運営に携わっていただい各大学の顧問、主務、主将、選手方、連盟の方々に深く感謝申し上げます。

	成蹊大	農　大	理科大	健康大	電通大	工業大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
成蹊大学		●	●	●	○	○	5	2	3	0	.400	＋15	4
東京農業大学	○		○	○	○	●	5	4	1	0	.800	＋17	1
東京理科大学	○	●		●	○	○	5	3	2	0	.600	＋6	2
健康科学大学	○	●	○		●	●	5	2	3	0	.400	－9	5
電気通信大学	●	●	●	○		●	5	1	4	0	.200	－31	6
東京工業大学	●	○	●	○	○		5	3	2	0	.600	＋2	3

東都大学　秋季リーグ戦

１部リーグ

◎８月31日　上柚木公園野球場
第１試合
國學院大學　００３１４０１００｜９
東 海 大 学　１１００００３０００｜５
（國）神・中村－根岸
（東）大井－小野瀬
☆三塁打　山田（國）
☆二塁打　塩見・古謝（國）
近持・上田・高林（東）
（戦評）國學院大學は３回から５回で８点、７回にはダメ押しの１点を取る。投手陣は、先発の神が２点、二番手の中村が３点取られるも抑え、勝利。

◎９月２日　上柚木公園野球場
第１試合
東 海 大 学　００１００５０００｜６
國學院大學　０００００１００｜１
（東）大井・家倉－小野瀬
（國）中村・池田・神・安生－根岸
☆三塁打　宮崎・寺嶋・古川（東）
☆二塁打　近持（東）、亀谷・古謝（國）
（戦評）東海大学が第２戦を制した。東海大学は３回に相手のワイルドピッチにより１点を先制する。６回には相手のミスなどから一挙５点を取る。投手陣は、先発の大井が７回を１失点に抑える好投を見せ、２番手の家倉も２回を無失点に抑えた。

◎９月６日　上柚木公園野球場
第１試合
中 央 大 学　２０００１００００１｜４
東 海 大 学　１００００２００００｜３
（中）清水・笠継－福澤・鈴木
（東）黒澤・家倉・大井－小野瀬
☆三塁打　勝山（中）、寺嶋（東）
☆二塁打　松嶋・赤嶺（中）
（戦評）中央大学が延長戦を制した。中央大学は初回、３番松嶋、５番赤嶺のタイムリーで２点を先制する。５回には相手のミスにより１点を取る。６回に同点となり延長戦に入るが、10回、途中出場の勝山のタイムリーが決勝点となり勝利。投手陣は先発の清水が６回で３失点を喫するも、２番手の笠継がその後を０点に抑える好投を見せた。

第２試合
国士舘大学　１００２２１０１０｜７
國學院大學　３００１０１３０×｜８
（士）舩木、篠原、鈴木龍－清水
（國）神、安生、中村－根岸
☆本塁打　荒川（士）
☆三塁打　小笠（士）、亀谷・古謝（國）
☆二塁打　小笠・箱田（士）、松本（國）
（戦評）國學院大學が接戦を制した。國學院大學は初回、亀谷のタイムリーなどで３点を先制する。４回と６回で得点を重ね、２点ビハインドの７回に６番古謝・７番秋本の連続タイムリーで逆転し、勝利。投手陣は先発の神が強打の国士舘大学を３失点に抑える好投を見せ、３番手の中村が最後を締めた。

◎９月10日　上柚木公園野球場
第１試合
國學院大學　１１１０１０００｜４
国士舘大学　００４０２１００×｜７
（國）神・中村・古謝－根岸
（士）鈴木龍－清水
☆二塁打　塩見・山田・亀谷・古謝（國）
清水・小笠２（士）
（戦評）国士舘大学が第２戦を制した。国士舘大学は３点ビハインドの３回に４点を取り逆転に成功する。その後も５回と６回で得点を重ね勝利。投手陣は先発の鈴木龍之介が４失点完投勝利。

第２試合
東 海 大 学　０１００００５１００｜７
中 央 大 学　０００００１１０３｜５
（東）大井－小野瀬
（中）保坂－勝又、福澤
☆本塁打　児玉（中）
☆三塁打　上田（東）
☆二塁打　古川・渡辺怜（東）
緑川・江間（中）
（戦評）東海大学が接戦を制した。東海大学は１点リードの６回、相手のミスなどが絡み一挙５点を取る。最終回、中央大学に２点差まで追い上げられるも逃げ切り、勝利。投手陣は先発の大井が９回に３失点を喫したものの、５失点完投勝利を挙げた。

◎９月11日　上柚木公園野球場
第１試合
日 本 大 学　３０００３０００１｜７
専 修 大 学　０００００１０００｜１
（日）保母－今駒
（専）高橋陽・渡邉－植田
☆二塁打　竹林・細野２（日）
（戦評）日本大学が初戦を制した。日本大学は初回、相手投手の立ち上がりを攻め、３点を先取する。その後、５回にも連打で３点を取り、勝利。投手陣は先発の保母が９回を10奪三振1失点に抑える好投を見せた。

第２試合
中 央 大 学　００２１１０１１０｜６
國學院大學　２００００００００｜２
（中）清水・笠継－勝又・田中・鈴木
（國）佐藤・中村・神・古謝－根岸
☆本塁打　赤嶺（中）
☆二塁打　高野･藤倉２（中）､亀谷（國）
（戦評）中央大学が初戦を制した。中央大学は１回に２点を先制されるも、３回に５番赤嶺の２点本塁打により同点にする。その後も着実に得点を重ねていき、勝利。投手陣は、先発の清水が初回に失点するもその後は８回まで危なげない投球を見せ、最終回は笠継が締めた。

◎９月12日　上柚木公園野球場
第１試合
国士舘大学　１１４１４００００｜11
東 海 大 学　４０００００２０１０｜７
（国）高橋俊・篠原－清水
（東）家倉・黒澤・大井－小野瀬
☆三塁打　河野（国）、古川（東）
☆二塁打　荒川･箱田（国）､渡辺怜（東）
（戦評）国士舘大学が初戦を制した。国士舘大学は初回に１点を先制する。その後も得点を重ね、５回までに11点を取る猛攻を見せ勝利。投手陣は先発の高橋俊が初回に４失点を喫するも、その後は立ち直り、２番手の篠原も安定した投球を見せた。

第２試合
専 修 大 学　０００１１００００００００｜２
日 本 大 学　０００２００００００００｜２
（延長12回引き分け）
（専）藤後・高橋陽－植田
（日）岡島・保母－今駒
☆本塁打　植田（専）
☆二塁打　安藤（日）
（戦評）２戦目は規定により引き分けに終わった。専修大学は４回、４番植田の本塁打で１点先制する。５回にも相手のミスが絡み１点を取るも、２番手の保母を最後まで捉えることが出来なかった。投手陣は先発の藤後が９回途中まで２失点、２番手の高橋陽も無失点の好投を見せた。

◎９月18日　上柚木公園野球場
第１試合
國學院大學　００１０２００００｜３
中 央 大 学　３０１０３００１×｜８
（國）神・安生・中村－根岸
（中）清水・保坂－鈴木・田中・勝又
☆二塁打　塩見・内野（國）
緑川・児玉（中）
（戦評）中央大学が勝ち点１を獲得した。中央大学は相手のミスなどから初回に３点を取る。その後も得点を重ねていき、５回には３連打で３点を取り、勝利。投手陣は先発の清水が７回を３点に抑える好投を見せ、２番手の保坂も無失点に抑えた。

第２試合
東 海 大 学　２０３０００００００００｜５
国士舘大学　０１１００００２１０００｜５
（延長12回引き分け）
（東）大井－小野瀬
（国）鈴木龍－清水
☆二塁打　近持･古川･上田･渡辺怜（東）
荒川２（国）
（戦評）規定により引き分けに終わった。東海大学は国士舘大学先発の鈴木龍の立ち上がりを捉え、初回に２点を先制する。３回にも相手のミスなどから３点を取るがその後は打線がうまくつながらなかった。国士舘大学は終始相手にリードされていたが、終盤に意地を見せ、９回、１番荒川のタイムリー二塁打で同点に追いついたが、その後は相手投手に抑えられてしまった。

◎９月19日　上柚木公園野球場
第１試合
中央大学　０００００１０１４｜６
専修大学　１００００００１０｜２
（中）笠継－福澤
（専）高橋陽・渡邉・藤後－植田
（戦評）中央大学が初戦を取った。中央大学は同点で迎えた８回に６番原田のレフト前ヒットで勝ち越しに成功する。８回裏に再び同点にされてしまうが、９回に相手の押し出し四球やヒットが絡み、４点を取り勝利。投手陣は先発の笠継が９回を２失点に抑える好投を見せた。

第２試合
国士舘大学　０００００００４｜４
日本大学　２００２１０００×｜５
（国）高橋俊・篠原－清水
（日）保母－今駒
☆三塁打　川浦・小川・森・石走２（国）
鹿田・細野（日）
（戦評）日本大学が接戦を制した。日本大学は初回、５番細野のレフトオーバーの２塁打で２点を先制する。その後も得点を重ねていき勝利。投手陣は先発の保母が最終回の国士舘打線の猛攻をなんとか抑え、逃げ切った。

◎９月23日　上柚木公園野球場
第１試合
日本大学　０００１００２０｜３
国士舘大学　１００００００００｜１
（日）保母－今駒
（国）鈴木－清水
☆二塁打　細野（日）、森（国）
（戦評）日本大学が２連勝で勝ち点１を獲得した。日本大学は１点ビハインドの４回、相手のエラーにより同点に追いつく。その後、８回に５番細野のセンターオーバーのタイムリーで２点を取り、勝利。投手陣は、先発の保母が初回に先制点を許したものの、その後は失点を許さなかった。

第２試合
専修大学　０００１００００４｜５
中央大学　１００００１０００｜２
（専）藤後・渡邉－植田
（中）保坂・清水－田中・福澤
☆二塁打　萩野・風見（専）
萩原・赤嶺（中）
（戦評）専修大学が勝利し第３戦に持ち込んだ。専修大学は１点ビハインドの４回、相手のエラーにより同点に追いつく。その後１点を勝ち越されるが、最終回に一挙４点を取り逆転勝利。

◎９月24日　上柚木公園野球場
第１試合
國學院大學　３００００３２００｜８
東海大学　３０１０２０２０１x｜９
（國）神・安生・中村－根岸
（東）家倉・黒澤・大井－小野瀬
☆本塁打　宮崎（東）
☆三塁打　古謝・松本（國）
☆二塁打　塩見（國）
古川２・宮崎・瀬籐（東）
（戦評）東海大学がサヨナラ勝ちで勝ち点を獲得した。東海大学は３点ビハインドの１回、５番宮崎の本塁打などで同点とする。その後も得点を重ねるが、６回に同点に追いつかれる。７回にも２点を失うが、すぐに同点に追いつき、最終回に代打の喜多がライト前ヒットで試合を決めた。投手陣は先発の家倉、２番手の黒澤は相手打線に捉えられていたが、３番手の大井が相手打線を封じ、サヨナラ勝ちを呼び込んだ。

第２試合
専修大学　０００００００００｜０
日本大学　００００００００１x｜１
（専）高橋陽－植田
（日）堤・岡島－今駒
（戦評）日本大学がサヨナラ勝ちで勝ち点を獲得した。両チームともになかなかチャンスをモノにすることが出来なかったが、最終回、日本大学は２番石原がヒットで出塁すると、次打者の鹿田もヒットで繋ぐ。その後、専修大学は満塁策をとるが、６番の今駒がレフト線に落ちるヒットで試合を決めた。投手陣は先発の堤が６回を無失点、２番手の岡島も３回を無失点の好投を見せた。

◎９月25日　中央大学グラウンド
第１試合
中央大学　４０００４６１００｜15
東海大学　０１００００２０００｜３
（中）笠継・保坂－福澤・鈴木
（東）大井・村上・東條・小野塚－小野瀬
☆本塁打　萩原２（中）、古川（東）
☆二塁打　赤嶺２・原田（中）
（戦評）中央大学が15得点で大勝した。中央大学は初回、６番萩原の３点本塁打などで４点を先制する。その後も得点を重ねていき勝利。萩原はこの試合２本塁打７打点の大当たり。投手陣は、先発の笠継が安定した投球を見せた。

◎９月27日　中央大学グラウンド
第１試合
中央大学　１１１２００２００｜７
専修大学　０００４００００｜４
（中）保坂・清水・笠継－福澤
（専）藤後・高橋陽－植田
☆三塁打　原田（中）
☆二塁打　原田・萩原・松嶋・福澤（中）
（戦評）中央大学が第３戦に勝利し、勝ち点１を獲得した。中央大学は初回から長短打を絡めながら得点を重ねていき、投手陣も相手打線を３安打に抑え勝利。

◎10月９日　小野路公園野球場
第１試合
東海大学　４０２４０２４００｜16
国士舘大学　１００３０６０３２｜15
（東）黒澤・小野塚・金子・東條・家倉・大井－小野瀬
（国）篠原・高橋・舩木－鈴木翔・清水
☆本塁打　宮崎（東）、箱田・清水（国）
☆三塁打　宮崎（東）、永田（国）
☆二塁打　上田・宮崎・櫛山２（東）
小川・箱田・吉原・石走（国）
（戦評）東海大学が乱打戦を制した。東海大学は初回、５番宮崎の満塁本塁打で４点を先制する。その後も得点を重ね16点を取り勝利。投手陣は最終回に１点差まで詰め寄られたものの、なんとか逃げ切った。なお、この試合で東海大学の宮崎がサイクル安打を達成した。

◎10月11日　小野路公園野球場
第１試合
国士舘大学　３００１４００００３｜11
國學院大學　０００００１０３５０｜９
（国）鈴木龍－清水
（國）中村・井出・安生・佐藤・神・古謝－根岸
☆本塁打　古謝（國）
☆三塁打　吉原（国）、伊藤（國）
☆二塁打　清水（国）、根岸・福山（國）
（戦評）国士舘大学が接戦を制した。国士舘大学は初回、６番吉原のタイムリー３塁打などで３点を先制する。序盤は完全に国士舘ペースだったが、終盤の國學院大學の猛攻で逆転されてしまう。しかし、９回に石走の２点タイムリーなどで再び逆転し、勝利。

◎10月15日　上柚木公園野球場
第１試合
日本大学　０００００００１１｜２
國學院大學　０００００１０００｜１
（日）保母－今駒
（國）神・安生・古謝－根岸
☆二塁打亀谷（國）
（戦評）日本大学が勝利した。日本大学は１点ビハインドの８回、内野ゴロの間に１点を取り試合を振り出しに戻す。そして９回、６番今駒のタイムリーヒットで１点を取り勝利。先発の保母は１点は取られたものの終始安定した投球を見せた。

第２試合
専修大学　００１００００｜１
東海大学　１０００００２２｜５
（雨天７回コールド）
（専）高橋陽、渡邉－植田
（東）大井－小野瀬
☆二塁打　内海・古川・上田（東）
（戦評）７回雨天コールドで東海大学が勝利した。東海大学は初回、内野ゴロの間に１点を先制する。その後、同点に追いつかれるが、終盤に打線がつながり４点を取る。７回を終了したところで天候が悪化し、雨天コールドとなった。

◎10月17日　八王子市民球場
第１試合
中央大学　４０００００１００００００｜５
国士舘大学　０００００１００４０００｜５
（延長12回引き分け）
（中）笠継・清水－福澤
（国）西山・篠原－清水
☆三塁打　川脇（国）
☆二塁打　児玉・大湾（中）
箱田・野村（国）

（戦評）規定により引き分けに終わった。中央大学は初回、相手のミスが重なり４点を先制する。その後、７回にも１点を取るが、最終回に同点とされ延長戦に突入した。終盤は完全に国士舘ペースであったが、あと一本が出ず、引き分けに終わった。

第２試合

東海大学	１	０	０	０	０	０	１	０	０	０	**２**
専修大学	０	０	０	０	１	０	０	０	１	１	**３**

（延長10回）

（東）家倉・金子・大井－小野瀬
（専）高橋陽－植田
☆本塁打　宮崎（東）
☆二塁打　内海･小野瀬（東）､椎谷（専）

（戦評）専修大学がサヨナラ勝ちで第三戦へと繋いだ。専修大学は１点ビハインドの５回に椎谷のタイムリー二塁打により同点とする。７回に１点を失うが、９回に１番椎谷のこの日二本目となるタイムリーで再び同点とする。試合は延長戦に突入し、10回１アウト１、２塁の場面で７番高本がレフト前にタイムリーヒットを打ち、勝利した。

◎10月18日　上柚木公園野球場
第１試合

国士舘大学	１	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**１**
東海大学	０	１	０	０	０	０	０	０	０	１	**２**

（国）鈴木龍－清水
（東）大井－小野瀬
☆三塁打　箱田（国）
☆二塁打　小川・箱田（国）
寺嶋・宮崎（東）

（戦評）東海大学がサヨナラ勝ちで勝ち点を獲得した。東海大学は１点ビハインドの２回、近持のタイムリーヒットで同点とする。試合は同点のまま最終回となり、最後は宮崎が試合を決めた。国士舘大学は４番箱田が４安打と気を吐いたが後続の打者が続かなかった。

第２試合

國學院大學	０	０	０	０	１	０	４	０	１	**６**	
日本大学	０	１	０	０	０	０	０	０	０	**１**	

（國）中村・神－根岸
（日）柳川・岡島・堤－今駒
☆二塁打　塩見・内野・亀谷・秋本（國）

（戦評）國學院大學が勝利した。國學院大學は１点ビハインドの５回、塩見のタイムリー二塁打により同点とする。７回には３番、４番の連続タイムリーヒットなどで４点を取り、投手陣が相手打線を１点に抑え勝利。

◎10月22日　小野路公園野球場
第１試合

専修大学	０	０	０	０	０	０	２	０	０	**２**	
東海大学	０	２	１	４	０	０	０	０	×	**７**	

（専）高橋陽・藤後・渡邉－植田
（東）大井・家倉・金子－小野瀬
☆二塁打　大信（専）

（戦評）東海大学が勝利し、勝ち点を獲得した。東海大学は２回に８番小野瀬のタイムリーにより２点を先制する。その後も得点を重ね、勝利。投手陣は先発の大井が足に打球が直撃するというアクシデントに見舞われながらも６回を無失点に抑える好投を見せた。

第２試合

中央大学	０	１	３	０	１	０	２	０	０	**７**	
国士舘大学	０	０	０	０	１	０	０	０	０	**１**	

（中）笠継・清水－福澤
（国）西山・篠原－清水
☆三塁打　松嶋・福澤（中）
☆二塁打　萩原・緑川（中）

（戦評）中央大学が勝利した。中央大学は２回、９番緑川のタイムリーにより１点を先制する。その後も長短打を絡めながら得点を重ね、勝利。投手陣は強打の国士舘打線に連打を許さず１失点に抑えた。

◎10月23日　八王子市民球場
第１試合

中央大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**０**
日本大学	０	０	１	０	０	０	０	０	×		**１**

（中）清水・笠継－福澤
（日）保母－今駒
☆二塁打　原田（中）、鹿田（日）

（戦評）日本大学が１点を守りきり勝利した。日本大学は３回、３番鹿田のタイムリー２塁打により１点を先制する。この１点を守りきり勝利。投手陣は先発の保母が中央大学を３安打に抑え完封した。

第２試合

国士舘大学	０	０	０	３	０	６	０	０	０	**９**	
専修大学	０	０	０	０	０	０	１	０	０	**１**	

（国）鈴木龍－清水
（専）渡邉・栗山－植田
☆三塁打　河野・野村（国）
☆二塁打　箱田・清水（国）、金子（専）

（戦評）国士舘大学が勝利した。国士舘大学は４回、９番野村のタイムリー２塁打などで３点を先制する。その後も得点を重ね、勝利。投手陣は先発の鈴木龍之介が相手打線を１点に抑え完投勝利。

◎10月24日　八王子市民球場
第１試合

専修大学	０	０	０	０	０	０	０	２	６	**８**	
国士舘大学	０	０	２	０	０	０	１	０	０	**３**	

（専）高橋陽－高橋寛・植田
（国）西山・篠原・鈴木龍・舩木－清水
☆二塁打　金子･渡邉（専）､箱田２（国）

（戦評）専修大学が逆転で勝利した。専修大学は１点ビハインドの最終回、打者一巡の猛攻で６点を取り、逆転勝利。

第２試合

日本大学	０	１	０	０	０	２	１	１	４	**９**	
中央大学	５	４	０	１	０	０	３	０	０	**13**	

（日）岡島・堤・柳川－今駒
（中）笠継－勝又、鈴木
☆本塁打　斎藤・細野（日）、松嶋（中）
☆三塁打　宗像（日）、児玉（中）
☆二塁打　宗像・細野（日）
高野・赤嶺３（中）

（戦評）中央大学が勝利した。中央大学は初回、松嶋の先頭打者本塁打などで５点を先制する。その後も得点を重ね13点を取り勝利。投手陣は先発の笠継が終盤日本大学の猛攻にあうも逆転を許さなかった。

◎10月28日　上柚木公園野球場
第１試合

日本大学	０	０	０	１	０	０	０	２	３	**６**	
東海大学	０	１	１	０	０	１	０	０	１	**４**	

（日）保母・岡島－今駒
（東）大井－小野瀬
☆三塁打　鹿田（日）、櫛山（東）
☆二塁打　竹林・細野（日）
古川・渡辺怜（東）

（戦評）日本大学が終盤に逆転し勝利した。日本大学は２点ビハインドの８回、５番細野と７番石原のタイムリーで同点とする。同点で迎えた最終回、４連続安打などで３点を取り、勝利。

第２試合

専修大学	０	０	０	０	０	０	０	０	２	**２**	
國學院大學	０	０	０	０	６	０	０	０	×	**６**	

（専）高橋陽・栗山－高橋寛
（國）中村・神－根岸
☆二塁打　猪股・渥美（専）
山田・亀谷（國）

（戦評）國學院大學が勝利した。國學院大學は５回、２番山田、３番内野のタイムリーなどで６点を取る。最終回にエラーにより２点を失うが後続を抑え、勝利。投手陣は、先発の中村が７回を無失点に抑える好投を見せた。

◎10月29日　上柚木公園野球場
第１試合

国士舘大学	０	０	０	０	３	０	０	０	０	**３**	
中央大学	５	３	０	０	０	０	０	０	×	**８**	

（国）西山・篠原・舩木－清水
（中）清水・小河原・笠継－勝又
☆三塁打　原田（中）
☆二塁打　小川･鈴木翔（国）､児玉（中）

（戦評）中央大学が序盤の大量得点で勝利した。中央大学は初回、先発の西山をとらえ、５連続安打などで５点を取る。２回にも３点を取り、投手陣がリードを守り勝利。

第２試合

東海大学	０	０	０	０	０	０	１	０	０	**１**	
日本大学	０	０	０	０	０	０	０	０	２	**２**	

（東）小野塚・大井－小野瀬
（日）堤－今駒
☆本塁打　宮崎（東）
☆二塁打　竹林・鹿田（日）

（戦評）日本大学がサヨナラ勝利した。日本大学は１点ビハインドの９回、代打平澤のスクイズにより同点とし、次打者の竹林がライトにサヨナラタイムリー２塁打を放ち勝利。投手陣は先発の堤が相手打線を本塁打による１失点のみに抑える好投を見せた。

◎10月30日　上柚木公園野球場
第１試合
日 本 大 学　０００００２２００｜４
國學院大學　２０３００００１×｜６
（日）水嶋・小板橋－阿部・平澤
（國）中村・神－根岸
☆二塁打　大野（日）、内野（國）
（戦評）國學院大學が勝利した。國學院大學は初回、４番亀谷のタイムリーヒットで２点を先制する。その後も得点を重ね、投手陣がリードを守りきり、勝利。

第２試合
国士舘大学　００１１２００００｜４
専 修 大 学　０００００００００｜０
（国）鈴木龍－清水
（専）藤後・高橋陽－植田
☆二塁打　小川・箱田・大澤（国）
（戦評）国士舘大学が完封で専修大学に勝利した。国士舘大学は３回、３番小川のタイムリー二塁打によって１点を先制する。その後も４番箱田のタイムリーなどで得点を重ね、投手陣が専修大学に得点を許さず、勝利。

◎10月31日　小野路公園野球場
第１試合
中 央 大 学　００１０１１０２０｜５
日 本 大 学　０００００１０００｜１
（中）笠継・清水－福澤
（日）保母・柳川・堤－今駒
☆本塁打　福澤（中）
☆二塁打　赤嶺（中）、安藤（日）
（戦評）中央大学が勝利し、秋季リーグ戦優勝を決めた。中央大学は３回、８番福澤の本塁打で先制する。その後も日本大学にリードを許さず、勝利。投手陣は先発の笠継が５回を１失点、２番手の清水が４回を無失点に抑えた。

第２試合
國學院大學　１０１１００３００｜６
専 修 大 学　０００００２０００｜２
（國）中村・神－根岸
（専）栗山－植田
☆本塁打　塩見（國）
（戦評）國學院大學が勝利した。國學院大學は初回、４番亀谷のタイムリーヒットで先制する。その後も得点を重ね、７回には相手のミスとヒットで３点を取り、投手陣がリードを守りきり勝利。

１・２部入れ替え戦

◎11月５日　上柚木公園野球場
（第１戦）
専修大学　０００１０１００１｜３
帝京大学　０００００００００｜０
（専）高橋陽－植田
（帝）小池－日吉
☆二塁打　渥美・渡邉２（専）
（戦評）１・２部入れ替え戦初戦は専修大学が勝利した。専修大学は４回、７番渡邉のタイムリー二塁打で１点を先制する。その後も得点を重ね９回までで３点を取り勝利。守っては先発の高橋陽が帝京打線に得点を許さず、９奪三振完封。

◎11月６日　上柚木公園野球場
（第２戦）
帝京大学　０００００００００｜０
専修大学　０１００１０００×｜２
（帝）森下・鶴田・小池－日吉・吉田
（専）藤後－植田
（戦評）１・２部入れ替え戦２戦目は専修大学が勝利し、１部残留を果たした。専修大学は２回、６番渥美の犠牲フライで１点を先制する。５回にも、３番大信の犠牲フライで１点を追加し、守っては先発の藤後が帝京打線に得点を許さず勝利。この試合で専修大学が２勝した為、専修大学の１部残留が決定した。帝京大学は２試合で得点を挙げることが出来なかった。

秋季リーグ戦を終えて

東都大学準硬式野球連盟学生委員長
國學院大學３年　佐藤　駿太

私はこの１年間、選手兼主務としてチームに携わりました。そして、今回の秋季リーグ戦において学生委員長を担当することになりました。運営を始めた当初は不安でいっぱいでしたが、リーグ戦の運営を終え、日程を無事に消化できたことにほっとしています。

私が学生委員長を経験させていただいて感じたことは、リーグ戦の運営が思っていた以上に大変だということです。学生委員長は球場の確保や日程調整、審判員の派遣要請などの仕事をリーグ戦が円滑に進むように行わなければいけません。今回はリーグ戦期間内に国民体育大会が開催されたこともあり、球場の確保や日程調整の面で苦労することもありましたが、１部の学生委員の方々にはご迷惑をおかけしながら、リーグ戦の運営に協力していただき、感謝しています。また、リーグ戦の運営を通じて、浅田会長をはじめとする連盟の方々の支えがあり、私たちは恵まれた環境で野球をすることができていると改めて感じました。私たちがこの感謝の気持ちを忘れずに全力でプレーすることが支えてくださっている方々への恩返しになると思います。

今回の秋季リーグ戦では東都リーグ一部のレベルの高さを改めて実感しました。最終戦まで優勝校が決まらない中、中央大学が８季連続の優勝を決め、今季１部に昇格したばかりの東海大学が３位となるなど、どの大学が優勝してもおかしくないほどの混戦となりました。しかし、年々東都大学準硬式野球のレベルも上がっている中で、野次や頭髪の問題、ユニフォームの着こなしなど、まだまだ改善すべき点もあります。今後、よりよいリーグ戦にしていくために学生委員一人一人に自覚を持って運営して欲しいと思います。最後になりましたが、今回、学生委員長という貴重な経験をさせていただき、浅田会長をはじめとする連盟の方々、サポートしていただいた学生委員、リーグ戦関係者の方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

	中 大	国士大	日 大	専 大	國學大	東海大	試合	勝	負	分	勝率	勝点	得失点	順位
中 央 大 学		△○○	●○○	○●○	○○	○●○	14	10	3	1	.769	5	＋42	1
国士舘大学	△●●		●●	○●○	●○○	○△●●	15	5	8	2	.385	2	－1	5
日 本 大 学	○●●	○○		○△○	○●●	○○	13	8	4	1	.667	3	0	2
専 修 大 学	●○●	●○●	●△●		●●	●○●	14	3	10	1	.231	0	－34	6
國學院大学	●●	○●●	●○○	○○		○●●	13	6	7	0	.462	2	－1	4
東 海 大 学	●○●	●△○○	●●	○●○	●○○		15	7	7	1	.500	3	－6	3

２部リーグ

◎８月31日　上柚木公園球場
第２試合
駒 澤 大 学　０００２０１０１６｜10
帝 京 大 学　０００１２１０００｜4
（駒澤）高橋・塚越－片柳
（帝京）小池－吉田・日吉
☆本塁打　今栄（帝）
☆二塁打　片柳・川口２・藤本耕（駒）
相澤・瀧澤・安田（帝）
（戦評）４回の駒澤の攻撃、７番沢田のタイムリーヒットで２点を先制したが、帝京も５回に今栄の本塁打などで逆転し６回までに４対３と帝京がリードした。対する駒澤も８回に同点に追いつくと９回には打者一巡の猛攻で帝京を10対４と大きく突き放し勝利した。

◎９月２日　上柚木公園球場
第２試合
青山学院大学　０００００１１１００｜3
東 洋 大 学　０００００００１００｜1
（青山）細山－杉江
（東洋）富澤－渡辺
☆二塁打　横関（青）、今泉・尾崎（東）
（戦評）４回まで青山、東洋の両投手の好投で点が入らなかった。５回の青山の攻撃四球やエラーでランナーを３塁に置くと、ワイルドピッチで１点を先制した。青山は続く６、７回も点数を重ねそのまま逃げ切り３対１で青山勝利した。

◎９月９日　庄和球場
第１試合
青山学院大学　０００００００００００｜0
筑 波 大 学　０００００００００００｜0
（青山）細山－杉江
（筑波）田中・秦－川崎・飯沼
☆二塁打　沼田２・磨伊（筑）
（戦評）青山の細山、筑波の田中の投手の投げ合いで始まり、両チームチャンスを作るもののあと１本がでず試合は延長戦までもつれ込んだ。10回裏の筑波の攻撃１アウト２、３塁のチャンスも０点に終わりそのまま決着がつかずに引き分けとなった。

第２試合
東 洋 大 学　０００００１０００｜0
帝 京 大 学　０００１００００１｜2
（東洋）富澤・松下－糸賀
（帝京）小池－吉田
☆二塁打　荻原（東）
種谷・今栄・瀧澤（帝）
（戦評）４回の帝京の攻撃、ヒットとエラーで１アウト満塁のチャンスを作ると７番瀧澤がスクイズを決め１点を先制したが、その後すぐに東洋もワイルドピッチで同点に追いついた。そして９回の帝京の攻撃、７番瀧澤が２塁打でチャンスを作ると９番横手のサヨナラヒットで勝利した。

◎９月12日　新座球場
第１試合
駒 澤 大 学　３０１１００００００｜5
筑 波 大 学　３００３２１０１０｜10
（駒澤）高橋・塚越・片柳－片柳・田中
（筑波）木村・秦－飯沼
☆三塁打　大風（駒）
☆二塁打　笠井・片柳・川口（駒）
篠田（筑）
（戦評）初回駒澤は３番片柳、６番大風のタイムリーで３点を奪うも、筑波もすぐに反撃４番木村、６番中原の活躍ですぐさま同点に追いついた。筑波は４、５、６回と点数を重ね、さらに８回にはダメ押しの１点を加え10対５で勝利した。

第２試合
青山学院大学　１００００２１０００｜4
亜 細 亜 大 学　０００１００００１０｜2
（青山）根本－杉江
（亜大）内沼・高木・設楽－石野
☆二塁打　小沼２・横関・松島・根岸（青）
石野・清水（亜）
（戦評）初回の青山の攻撃、２アウト２塁のチャンスで４番横関がタイムリーヒットを打ち１点を先制した。亜細亜も４回に同点に追いつくが、５回にすぐさま青山に逆転された。亜細亜は８回に１点を返すもそのまま青山が逃げ切り勝利した。

◎９月13日　新座球場
第１試合
亜 細 亜 大 学　０１０００００００００｜1
青山学院大学　０００００００１０００｜1
（延長12回引き分け）
（亜大）高木・設楽－石野
（青山）細山－杉江
☆二塁打　小倉（亜）
（戦評）２回の亜細亜の攻撃、８番の小倉のタイムリーヒットで１点を先制した。その後７回ま投手の好投により点は入らなかった。しかし、８回裏２アウトから３連打で点を返し青山は同点に追いつき延長戦となったが、決着はつかず引き分けとなった。

第２試合
筑 波 大 学　０００００００２０｜2
駒 澤 大 学　００２０００００２０｜4
（筑波）田中・秦－飯沼
（駒澤）柄澤－片柳
☆三塁打　随行（駒）
☆二塁打　笠井・片柳２
（戦評）先制したのは駒澤、３回に２アウトから３連打で２点を取った。筑波も８回にヒットとパスボールで２点を返し同点に追いつくも、その裏駒澤が３番片柳の２点タイムリーで４対２とし、最終回柄澤は筑波を３人で抑え勝利した。

◎９月17日　庄和球場
第１試合
駒 澤 大 学　０００３１１０００｜5
亜 細 亜 大 学　０００００２１０２０｜5
（駒澤）高橋・今井－片柳
（亜大）高木・内沼・設楽－石野
☆本塁打　片柳（駒）
☆二塁打　佐野（駒）
（戦評）４回の駒澤の攻撃、９番佐藤の活躍で３点を挙げると続く５、６回と点を重ね５対３とリードした。対する亜細亜は８回の攻撃２アウトからヒットやエラーで２点を返し同点に追いついた。そのまま９回まで決着はつかず引き分けとなった。

第2試合
帝 京 大 学　１０２０１２０２５｜13
東 洋 大 学　０００００００００｜0
（帝京）小池・鶴田－日吉・吉田
（東洋）松下・曽根・富澤・岩田－渡辺
☆本塁打　相澤（帝）
☆三塁打　片山（帝）
☆二塁打　安田・瀧澤・横手（帝）
（戦評）初回に東洋のピッチャー松下は３連続四球で押し出し、帝京は１点を先制する。３回にも帝京は２点を取り６回までで６対０と東洋を大きく突き放す。東洋は小池投手を前に反撃ができず最終的には13対０の大差で帝京が勝利した。

◎９月19日　新座球場
第１試合
青山学院大学　０３００１０００００｜4
帝 京 大 学　２００００２００００｜4
（延長11回引き分け）
（青山）根本・細山－杉江
（帝京）梶原・鶴田－吉田
☆三塁打　種谷（帝）
☆二塁打　松島・倉田・橋本（青）
酒井（帝）
（戦評）初回の帝京の攻撃、先頭の種谷が３塁打を放つと３番の相澤がタイムリーで先制した。青山も２回に反撃を開始し、ヒットやスクイズで３点を取り逆転に成功する。そして中盤、青山が１点を取り逆転するも帝京もすぐさま２点を返し同点となる。そのまま決着はつかず引き分けとなった。

第２試合
駒 澤 大 学　２１１００１０００｜5
東 洋 大 学　１００００００００｜1
（駒澤）柄澤－片柳
（東洋）梶・曽根・松下－糸賀
☆三塁打　荻原（東）
☆二塁打　片柳・笠井（駒）
（戦評）初回から駒澤は３番片柳のタイムリーなどで２点を先制すると、続く２、３回も１点ずつを加えた。東洋は初回に１点を取るもその後チャンスを活かすことができなかった。駒澤の柄澤は要所を締めるピッチングで勝利した。

◎9月20日新座球場
第１試合
帝 京 大 学　０００２００００００｜２
青山学院大学　００１１１００００３｜３
（帝京）小池－吉田
（青山）細山－杉江
☆三塁打　橋本（青）
☆二塁打　杉江（青）
（戦評）青山学院は３、４、５回に着実に点を重ね３点を取った。対する帝京も４回に３番相澤、６番瀧澤の活躍で２点を返すものの逆転することはできなかった。青山の細山は５回以降帝京打線を抑え込み３対２で青山が勝利した。

第２試合
東 洋 大 学　００１０２０２００００００｜５
駒 澤 大 学　００００００２２１００１｜６
（延長12回）
（東洋）松下・曽根－糸賀
（駒澤）塚越・今井・高橋－川口
☆本塁打　笠井（駒）
☆二塁打　佐藤（駒）
（戦評）３回に東洋が２番荻原のタイムリーヒットで先制すると、７回までに５対０とリードする。しかし駒澤も７回裏に反撃開始、７番佐藤のタイムリーで２点を返し９回には５対５の同点に追いつく。そして延長12回１アウト満塁のサヨナラの場面で佐藤がヒットを放ち勝利した。

◎９月24日　朝霞球場
第1試合
筑 波 大 学　３２３０００００１０｜９
青山学院大学　３００００１００｜４
（筑波）田中・秦－飯沼
（青山）細山・根本－杉江
☆三塁打　飯沼（筑）
☆二塁打　木村・中原・秦・沼田（筑）
松島・大森２・橋本（青）
（戦評）筑波は初回、エラーでチャンスを広げ５番沼田、７番秦のタイムリーで３点を先制する。さらに２、３回にも点を取り８対３と青山を突き放す。８回には２番木村雅のタイムリーでだめ押しの１点を追加し９対４で筑波が勝利した。

◎９月26日　庄和球場
第１試合
亜 細 亜 大 学　０１０００２０００｜３
帝 京 大 学　０００１０１１０１｜４
（亜大）高木・内沼・設楽－石野
（帝京）小池－吉田
☆二塁打　舟越・小倉（亜）
（戦評）２回に亜細亜が小倉のタイリーヒットで先制すると、６回にこにはさらに２点を追加し３対１とする。対する帝京は６、７回に点を重ね同点に追いつく。そして、９回裏の先頭の相澤が出塁しチャンスをつくる。２アウト１、２塁の場面でセカンドゴロをはじき点が入り帝京が勝利した。

◎９月27日　新座球場
第１試合
筑 波 大 学　０００００３００｜３
東 洋 大 学　０００００１３×｜４
（筑波）木村・田中－飯沼
（東洋）安田・松下－糸賀
（戦評）両投手ランナーを出しながらも要所を締めるピッチングで６回まで点が入らなかった。７回の筑波は相手のエラーでチャンスを広げ３点をとった。東洋は２点を追う８回１番根本、３番尾崎のタイムリーで３点を取り逆転し勝利した。

第２試合
帝 京 大 学　００００１００００｜１
亜 細 亜 大 学　０２２０００２０×｜６
（帝京）梶原・鶴田・森下－吉田
（亜大）設楽－石野
☆本塁打　清水（亜）
☆二塁打　相澤（帝）
（戦評）２回に亜細亜は５番清水のホームランなどで２点をとると、続く３回にも８番小倉のタイムリーで４対０とする。帝京は５回にチャンスをつくり１点を返すも反撃はここまで。最後は亜細亜の設楽に抑え込まれ亜細亜が６対１で勝利した。

◎９月30日　庄和球場
第１試合
東 洋 大 学　１１０１００３００｜６
青山学院大学　０００００１００｜１
（東洋）安田・松下－糸賀
（青山）根本・細山－杉江・桐井
☆本塁打　深沢・富澤（東）
☆三塁打　萩原（東）
☆二塁打　深沢２（東）
（戦評）初回に東洋の荻原のタイムリーヒットで１点を先制すると、深沢の本塁打などもあり４回までで３対０となる。さらに７回には３番富澤が３ランを放ち６対０となる。その裏青山も１点を返すも東洋が逃げ切り、６対１で勝利した。

第２試合
帝 京 大 学　１２３０４１１００｜12
駒 澤 大 学　０２００００３１０｜６
（帝京）小池・金子・森下－吉田
（駒澤）柄澤・今井・高橋・塚越－片柳・川口
☆本塁打　安田（帝）
☆三塁打　片山（帝）、魚野（駒）
☆二塁打　吉田（帝）川口（駒）
（戦評）１、２、３回帝京打線に火が付き６点を奪い序盤から大きくリードする。駒澤は帝京打線を抑えることができずエラーも重なり中盤から終盤にかけてさらに点差が広がる。駒澤も７、８回に点を取るものの、12対６で帝京が勝利した。

◎10月７日　庄和球場
第１試合
亜 細 亜 大 学　０００１０１０１２｜５
駒 澤 大 学　０００００２７１１０｜11
（亜大）高木・内沼・設楽－石野
（駒澤）柄澤・塚越－片柳・川口
☆三塁打　笠井（駒）
☆二塁打　大風・片柳・川口・魚野・鈴木（駒）
（戦評）亜細亜は１点を追う６回、２アウト満塁のチャンスで１点を返し同点に追いつくも、その裏駒澤に打者一巡の猛攻を受け７点を取られる。駒澤はその後も点数を重ね11点を取る。亜細亜も終盤に３点を取るが追いつくことはできずに駒澤が勝利した。

第２試合
青山学院大学　００１０００００００｜１
筑 波 大 学　０２０００００００×｜２
（青山）細山－杉江
（筑波）飯沼・木村－田中
☆二塁打　坂本（青）、秦・田中（筑）
（戦評）２回に筑波が９番田中のタイムリーで２点を先制すると、対する青山も３回に２番杉江がスクイズを決め１点を返す。しかし、そのまま試合は動かず両投手の投げ合いとなり１点を守り抜いた筑波が勝利した。

◎10月10日　新座球場
第１試合
駒 澤 大 学　０００００１００００｜１
青山学院大学　１１３１０２００×｜８
（駒澤）柄澤・高橋・片柳・塚越－片柳・川口
（青山）武藤・根本－杉江
☆二塁打　笠井・川口（駒）
横関・高橋・松島２（青）
（戦評）青山の初回の攻撃、４番の松島がタイムリーヒットを放ち１点を先制した。その後も点を積み重ね４回までに６点を取り駒澤を大きく突き放した。５回に駒澤は１点を返すも追いつけず、さらに２点を追加した青山が勝利した。

第２試合
亜 細 亜 大 学　０００００１００１０００｜２
筑 波 大 学　００１００１００００１｜３
（延長11回）
（亜大）設楽・内沼－石野
（筑波）飯沼・木村－田中
☆本塁打　中原（筑）
☆二塁打　篠宮（亜）、磨伊（筑）
（戦評）筑波は３回６番中原のソロで１点を先制する。対する亜細亜も５回にチャンスをつくり１点を返す。試合は２対２の同点となり延長になり、11回の筑波の攻撃。０アウト満塁のチャンスで３番磨伊が犠牲フライを放ち３対２で筑波が勝利した。

◎10月11日　新座球場
第１試合
筑 波 大 学　４３００００００００｜７
亜細亜大学　０１００００３１０｜５
（筑波）秦・唐澤・木村－飯沼
（亜大）高木・内沼－石野
☆本塁打　中原・木村（筑）石野（亜）
☆二塁打　清水２・梶川・篠田・秦（筑）
石野・清水（亜）
（戦評）初回の筑波は３番秦のタイムリーや６番中原の本塁打で一挙４点を挙げる。序盤に７対１と大きくリードする展開となった。対する亜細亜も終盤石野の本塁打などで２点差までおいついたが逆転できずに７対５で筑波が勝利した。

第２試合
青山学院大学　０３１１００９０｜14
駒 澤 大 学　０００００００００｜０
（青山）細山－杉江
（駒澤）塚越・今井・高橋・柄澤－片柳
☆三塁打　松島（青）
☆二塁打　竜崎（青）、笠井（駒）
（戦評）２回の攻撃８番坂本のタイムリーなどで３点を奪うと続く３、４回も点を重ね５対０と駒澤を突き放した。駒澤は相手投手細山を捕らえることができないまま０点終わる。８回に青山が打者一巡の猛攻で９点を奪い勝利した。

◎10月17日　新座球場
第１試合
亜細亜大学　０１００００００１｜２
東 洋 大 学　０００００３００５０｜８
（亜大）高木・内沼－石野
（東洋）松下－糸賀
☆本塁打　篠宮（亜）
☆三塁打　小倉（亜）
☆二塁打　荻原・糸賀・渡辺（東）
（戦評）２回に亜細亜が８番小倉のタイムリーで１点を先制するも、対する東洋は５回に５番尾崎のタイムリーなどで３点を取り逆転する。そして８回にも５点を追加し亜細亜を大きく突き放しそのまま逃げ切り、８対２で勝利した。

第２試合
筑 波 大 学　０００００００００｜０
帝 京 大 学　００３０１０００×｜４
（筑波）飯沼・秦・小野田－田中
（帝京）小池・鶴田－吉田
☆二塁打　田中（筑）
（戦評）３回に帝京は１番種谷のタイムリーと２番横手の犠牲フライ、さらにパスボールで３点を先制する。また５回筑波の守備の乱れから１点を追加した。筑波はチャンスを活せず得点することができなかった。４対０で帝京が逃げ切り勝利した。

◎10月19日　庄和球場
第１試合
東 洋 大 学　２１２０００１０５｜11
筑 波 大 学　０００００００１２｜３
（東洋）梶・曽根－糸賀
（筑波）木村・飯沼－田中
☆三塁打　渡辺（東）
☆二塁打　家入（東）、秦・田中（筑）
（戦評）序盤の東洋はヒットとエラーが絡み５点を取る。そして９回には筑波飯沼投手の制球が乱れかつエラーが重なり５点を取る。筑波は終盤に３番秦のタイムリーなどで３点を取るが追いつくことができずに11対３で東洋が勝利した。

◎10月22日　新座球場
第１試合
青山学院大学　１１００００００００｜２
亜細亜大学　０１１０００００２０｜４
（青山）細山・武藤－杉江
（亜大）設楽－石野
☆二塁打橋本・高橋（青）
（戦評）初回に青山は２アウト満塁のチャンスで６番小室がタイムリーを放ち１点を先制し、さらに２回にも１点を追加する。対する亜細亜は小倉のタイムリーで同点に追いつくと、終盤の８回に８番星が決勝タイムリーを放ち４対２と逆転勝ちした。

第２試合
駒 澤 大 学　０１００００２０００｜３
帝 京 大 学　０００４３００００｜７
（駒澤）柄澤・今井－片柳
（帝京）秦－田中
☆本塁打　木村・梶川（筑）
☆三塁打　佐藤（駒）
☆二塁打　磨伊２・秦（筑）
（戦評）駒澤は２回に８番佐藤のタイムリーで１点を取るが、対する筑波も４回に８番梶川の本塁打などで４点、５回には４番木村の本塁打などで３点を追加し大きく駒澤を突き放す。駒澤は６回に２点返すも筑波が逃げ切り勝利した。

◎10月23日新座球場
第１試合
駒 澤 大 学　２０１０００００１０｜４
亜細亜大学　０００００１０００｜１
（駒澤）塚越－片柳
（亜大）高木－内沼
☆二塁打　片柳（駒）
（戦評）初回に駒澤の３番片柳の２点タイムリーで先制すると、３回には６番佐藤のタイムリーで１点を追加する。さらに８回ダメ押しとなる１点を追加した。亜細亜は６回に石野のタイムリーヒットで１点返すも追いつけずに駒澤が勝利した。

第２試合
青山学院大学　０００００００１１０｜２
帝 京 大 学　１００００００２００｜３
（青山）細山・根本－杉江
（帝京）森下・鶴田・小池－吉田
☆三塁打　横手（帝）
☆二塁打　今栄・片山２（帝）
（戦評）先制したのは帝京、２番の横手が出塁すると３番の相澤がタイムリーを打った。対する青山も６回に押し出し四球で１点を取り同点に追いつくも、その裏帝京は２点を返し逆転する。７回に青山は１点を取り返したが逆転はできずに帝京が勝利した。

◎10月27日新座球場
第１試合
東 洋 大 学　０３００００００００｜３
亜細亜大学　０００００００１０｜１
（東洋）松下・安田－糸賀
（亜大）設楽・内沼－石野
☆三塁打　根本（東）
（戦評）２回東洋は２アウト満塁のチャンスで１番根本が３点を取るタイムリーヒットを放つ。また東洋の松下は亜細亜打線をさえ込み、８回１点を失うもののそのまま２点差を守り抜き３対１で東洋が守り勝った。

第２試合
駒 澤 大 学　２０００００２００１｜５
帝 京 大 学　０００００００００２｜２
（駒澤）塚越－片柳
（帝京）小池－吉田
☆二塁打　片山・吉田（帝）
（戦評）初回に駒澤がエラーと四球が絡み２点を先制した。帝京は駒澤の塚越投手に要所を抑え込まれ８回まで得点することができなかった。駒澤は６回にも９番藤本のタイムリーで２点を追加しさらに９回に１点を追加。そのまま逃げ切り勝利した。

◎10月29日　新座球場
第１試合
帝 京 大 学　０００００１００００１｜２
筑 波 大 学　０００００１００００００｜１
（帝京）森下－日吉
（筑波）秦－田中
（戦評）両投手の投げ合いで始まり試合が動いたのは５回、帝京が８番日吉のタイムリーで点を取るものの筑波もその裏チャンスで梶川がタイムリーを放ち１対１の同点。そして延長１０回帝京の攻撃、四球でチャンスをもらい１番の種谷がタイムリーを放ち逆転勝ちをした。

第２試合
亜細亜大学　００１０２００００００｜３
青山学院大学　０３００００００００１｜４
（延長10回）
（亜大）設楽－石野
（青山）根本－杉江
☆二塁打清水（亜）根岸・倉田（青）
（戦評）２回に青山は満塁のチャンスで９番倉田のタイムリーヒットなどで２点を取り、

さらにフライの落球で１点を追加する。３点を追う亜細亜は３回に２番金綱のタイムリーで１点を返し、５回には同点に追いつく。そして延長10回の青山の攻撃７番根岸がサヨナラヒットを放ち勝利した。

◎10月30日　新座球場
第１試合
帝 京 大 学　００１０５００００｜６
青山学院大学　００１００１００２｜４
（帝京）金子・鶴田・小池－日吉
（青山）武藤・細山－杉江
☆本塁打　安田（帝）、小室（青）
☆二塁打　大石（帝）、橋本（青）
（戦評）１対１の同点で迎えた５回帝京は３番今栄、５番大石のタイムリーで一挙５点を取り青山を大きく突き放す。対する青山も９回に５番小室の本塁打などで２点を返すも逆転には至らず、６対４で帝京大学が勝利した。

◎10月31日　新座球場
第１試合
青山学院大学　０１００４０００１｜６
東 洋 大 学　０００１００１００｜２
（青山）金子・萩島・細山－杉江
（東洋）安部・木村－小泉
☆二塁打　深沢（東）
（戦評）２回に青山の７番竜崎がタイムリーを放ち先制した。さらに５回には２番菅原、３番萩島、４番金子、５番相澤の連続安打などで４点を加え東洋を大きく突き放すとそのまま逃げ切り６対２で青山学院が勝利した。

第２試合
亜 細 亜 大 学　０００１０００１０｜２
帝 京 大 学　００１０００３００｜４
（亜大）高木・内沼・上石・石野－石野・古里
（帝京）小池－日吉
☆二塁打　石野（亜）、横手・今栄（帝）
（戦評）３回に帝京の先頭８番日吉がヒットで出塁すると、２番の横手がタイムリーを放ち１点を先制する。対する亜細亜も４回に１アウト２塁のチャンスで６番石野がタイムリーを放ち同点に追いつく。そして７回の帝京の攻撃、３番今栄のタイムリーなどで３点を奪い帝京が勝利した。

２・３部入れ替え戦

◎11月５日　上柚木公園球場
第２試合
亜 細 亜 大 学　００２１１１１００｜６
法政大学Ⅱ部　０００００００００｜０
（亜大）設楽－石野
（法Ⅱ）丹野・木村－中村
☆三塁打清水（亜）
☆二塁打小倉・舟越（亜）
（戦評）亜細亜大学は３回に３番清水のタイムリーで２点を先制しその後も相手の守備の乱れなどもあり４、５、６、７回と１点ずつ得点を重ね６点と点差を広げた。亜細亜の設楽投手がこの点差を守り、９回には１点を取られるも６対１で勝利した。

◎11月６日　上柚木公園球場
第２試合
法政大学Ⅱ部　１００００００２０｜３
亜 細 亜 大 学　０００１８０００×｜９
（法Ⅱ）三浦－中村
（亜大）内沼・設楽－石野
☆三塁打　勝冶（法）
☆二塁打　新谷・小倉・菊池・鳴海（亜）
（戦評）初回法政Ⅱは３番勝冶のタイムリーで１点を先制する。対する亜細亜は４回、６番新保のタイムリーで同点に追いつく。さらに５回には打者一巡の猛攻で一挙８点をあげ、法政Ⅱを大きく突き放すとそのまま逃げ切り９対３で勝利した。

３部リーグ

◎９月６日　四街道
第１試合
千 葉 大 学　３００００００３｜６
日本体育大学　０００００００００｜０
（千葉）長位・山下－屋比久
（日体）津久井・月田－樽井
☆二塁打　石田２・富田
（戦評）千葉大学が長位、山下の継投で日体大を無失点に抑え勝利。

第２試合
法政大学Ⅱ部　０１０１０００１０｜３
獨 協 大 学　０００００１０５×｜６
（法Ⅱ）丹野・松原・白井－中村豪
（獨協）木村－小野寺
☆本塁打　増田
☆二塁打　鈴木大・四戸
（戦評）８回裏、獨協大学が打者一巡の猛攻で５得点し逆転勝利を収めた。

◎９月８日　越谷獨協グラウンド
第１試合
獨 協 大 学　２０００１００１２｜６
上 智 大 学　３１２０００１０×｜７
（獨協）星野・知念－小野寺
（上智）佐藤－奥山
☆本塁打　川辺
☆二塁打　鈴木大・山口・中村・宮田・高嶋
（戦評）上智大学は序盤に川辺の本塁打などでリード。終盤１点差まで詰め寄られるも逃げ切った。

第２試合
城 西 大 学　１０４１０００｜６
千 葉 大 学　０００００００｜０
（降雨７回コールド）
（城西）久保田－相原
（千葉）香取－屋比久
☆本塁打　相原
☆二塁打　小高・船越・相原
（戦評）城西大学の久保田が千葉大打線を5安打完封し勝利。（雨天コールド）

◎9月10日　四街道
第１試合
獨 協 大 学　００１２００２００｜５
城 西 大 学　００１０００００２０｜３
（獨協）仁木・知念－小野寺・倉田
（城西）相澤・大阪－相原
☆本塁打　仙坂
☆三塁打　相原
（戦評）獨協大学は７回表に５連打で２点を追加。城西大学も８回裏に２点を返すも及ばず。

	駒　大	青学大	亜　大	筑波大	東洋大	帝京大	試合	勝	負	分	勝率	勝点	得失点	順位
駒澤大学		●●	△○○	●○●	○○	○●○	13	7	5	1	.583	3	－11	2
青山学院大学	○○		○△●○	△●●	○●○	△○●●	16	7	6	3	.538	3	＋15	4
亜細亜大学	△●●	●△○●		●●	●●	●○●	14	2	10	2	.167	0	－19	6
筑波大学	○●○	△○○	○○		●●	●●	12	6	5	1	.545	3	＋２	3
東洋大学	●●	●○●	○○	○○		●●	11	5	6	0	.455	2	－３	5
帝京大学	●○●	△●○○	○●○	○○	○○		14	9	4	1	.692	4	＋16	1

第２試合

千葉大学	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3
上智大学	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

（千葉）山下－屋比久
（上智）福田・佐藤－奥山
☆本塁打　石田
☆三塁打　岩間
☆二塁打　石田・中島・渕上
（戦評）千葉大学が長打を絡め３得点。上智大学を１得点に抑え勝利。

◎９月11日　四街道
第１試合

法政大学Ⅱ部	0	1	0	0	0	0	2	1	0	4
城西大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（法Ⅱ）三浦・木村・丹野－中村豪
（城西）久保田－相原
☆二塁打　増田・加藤
（戦評）法政大学の三浦が７回を散発４安打に抑え、続く木村・丹野がきっちりと締めた。

第２試合

獨協大学	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
日本体育大学	0	0	0	0	2	1	0	1	×	4

（獨協）木村・星野－小野寺
（日体）竹升・河原－我妻
☆二塁打　山口・緒方・我妻・西野・津久井
（戦評）獨協大学は３安打ながらも２得点するが、守備のミスにつけこんだ日体大学が勝利した。

◎９月12日　四街道
第１試合

法政大学Ⅱ部	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	1	2	×	3

（法Ⅱ）池田・白井・木村・丹野－中村豪
（日体）月田－樽井
☆二塁打我妻
（戦評）７回表、法政大学が２点を先制するが８回裏に日体大学が６連打で逆転勝利した

第２試合

城西大学	1	0	0	0	0	0	0	0	3	4
上智大学	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

（城西）大阪－相原
（上智）林原－奥山
☆二塁打粕谷・渕上
（戦評）城西大学は１点ビハインドで迎えた９回表に溝江、仙坂の適時打で逆転し勝利。

◎９月13日　四街道
第1試合

日本体育大学	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
法政大学Ⅱ部	0	4	0	0	2	0	8	1	×	15

（日体）樽海・河原・竹升・津久井・柏倉・月田－樽井
（法Ⅱ）三浦・木村－中村豪・大石
☆三塁打　佐藤・内野
☆二塁打　小野・増田・岡村・佐川
（戦評）法政大学が16安打15得点で大勝した。

第２試合

獨協大学	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
千葉大学	1	0	0	0	0	1	0	2	×	4

（獨協）知念－小野寺
（千葉）香取・山下－金井
☆三塁打　加藤
（戦評）千葉大学は１点差で迎えた８回裏、相手の守備の乱れでチャンスを作り武藤の適時打で逆転した。

◎９月18日　四街道
第１試合

城西大学	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
獨協大学	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3

（延長11回）
（城西投手久保田－相原
（獨協）木村・星野・知念－小野寺
☆三塁打　溝江
☆二塁打　山口・緒方２
（戦評）２対２で迎えた11回裏、獨協大学は死球で出たランナーを山口の犠飛で返し延長戦を制した。

第２試合

法政大学Ⅱ部	0	0	2	1	1	0	1	0	0	5
上智大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（法Ⅱ）三浦・白井・松原－中村豪
（上智）福田・扇谷・鎌倉・佐藤－奥山
☆二塁打中村信
（戦評）法政大学は12安打。三浦の好投と、白井・松原の継投で完封勝利。

◎９月19日　四街道
第１試合

日本体育大学	3	0	1	1	0	0	0	0	0	5
獨協大学	1	0	0	0	0	0	0	5	×	6

（日体）竹升・津久井・河原・樽海－樽井
（獨協）仁木・星野－小野寺・倉田
☆三塁打　西堀・西野・鈴木大
☆二塁打　中村
（戦評）獨協大学は最終回、４点を返し同点に。さらに緒方の適時打で見事なサヨナラ勝ちを収めた。

第２試合

千葉大学	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
城西大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

（千葉）長位・山下－屋比久
（城西）大阪－相原
☆三塁打粕谷
☆二塁打相原
（戦評）千葉大学は８回に清水の適時打で勝ち越し。最終回に同点のピンチを迎えるが凌ぎ、接戦を制した。

◎９月20日　四街道
第１試合

上智大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

（上智）佐藤－奥山
（千葉）香取・山下－金井
（戦評）両チームともに０点で迎えた７回裏、千葉大学の岩間が適時打を放ち決勝点となった。

第２試合

獨協大学	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
法政大学Ⅱ部	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	5

（獨協）木村・知念－小野寺・倉田
（法Ⅱ）池田・木村・丹野－中村豪
☆三塁打　清水
☆二塁打　四戸・増田
（戦評）両チーム譲らず迎えた13回裏、法政大学の岡村がスクイズを決めサヨナラ勝ち。

◎10月１日　青葉の森スポーツプラザ
第１試合

日本体育大学	2	1	0	0	0	1	0	0	0	4
千葉大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

（日体）月田－樽井
（千葉）香取・山下－金井
☆本塁打　石井
☆三塁打　富田
☆二塁打　我妻・萩原
（戦評）日体大学は石井の本塁打を含む４本の長打で４得点。月田は千葉大学を１点に抑える好投を見せた。

◎10月３日　青葉の森スポーツプラザ
第１試合

上智大学	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
法政大学Ⅱ部	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2

（上智）牧・佐藤－奥山
（法Ⅱ）三浦・丹野－中村豪
☆三塁打　河津
☆二塁打　杉崎
（戦評）２点を追う上智大学は６回表に打者一巡の攻撃。高田・河津の適時打で逆転しリードを守り切った。

第２試合

城西大学	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
日本体育大学	0	1	0	0	0	2	2	0	×	5

（城西）田中・大阪－相原
（日体）月田－樽井
☆二塁打　西野（２）
（戦評）日体大学は逆転された後の裏の攻撃で２点を取り返す。さらに７回にも２点追加し逃げ切った。

◎10月４日　青葉の森スポーツプラザ
第１試合

日本体育大学	1	0	0	0	1	1	0	1	0	4
上智大学	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3

（日体）津久井・樽海－樽井
（上智）佐藤・福田－奥山
☆本塁打牧
☆二塁打榎本・河津・扇谷
（戦評）シーソーゲームを繰り広げ同点で迎えた８回表、日体大学川島がランナーを返し決勝点となった。

第２試合
千 葉 大 学　００００００１０３００｜４
獨 協 大 学　０２０００１０１０１ｘ｜５
（延長10回）
（千葉）長位・香取・山下－屋比久・金井
（獨協）木村・知念－倉田・小野寺
☆三塁打　武藤・山口
☆二塁打　石田・岩間・戸村・福島
（戦評）８回表、千葉大学が勝ち越すも獨協大学はすかさず同点に。延長10回裏に後藤の適時打でサヨナラとなった。

◎10月11日　青葉の森スポーツプラザ
第１試合
上 智 大 学　００１０００１０１｜３
城 西 大 学　００１０００００００｜１
（上智）牧・佐藤－奥山
（城西）久保田－相原
☆二塁打　井上・粕谷
（戦評）上智大学が城西大学を１点に抑えた。４回から登板の佐藤は被安打１と素晴らしい投球であった。

第２試合
法政大学Ⅱ部　０１１２００００１｜５
千 葉 大 学　００００００００００｜０
（法Ⅱ）丹野・木村－中村豪
（千葉）香取－屋比久
☆二塁打　中村豪
（戦評）法政大学は相手のミスにヒットを重ね着実に得点していった。丹野・木村は千葉打線を３安打に封じ込めた。

◎10月12日　越谷獨協グラウンド
第１試合
法政大学Ⅱ部　００７４０３２２０｜18
城 西 大 学　００００００００００｜０
（法Ⅱ）三浦・池田・松原－中村豪・大石
（城西）栗原・金山・天野－溝江
☆三塁打今津
☆二塁打佐々木・中村豪・増田
（戦評）法政大学は20安打の猛攻。投手陣は城西大学を2安打に抑え快勝した。

第２試合
上 智 大 学　００００００００００｜０
日本体育大学　２６５０１００３×｜17
（上智）福田・鎌倉・村上－奥山
（日体）月田・河原－樽井
☆二塁打　大竹・我妻
（戦評）日体大学は18安打で大勝。上智打線を３安打完封。

◎10月22日　青葉の森スポーツプラザ
第１試合
千 葉 大 学　００００００００００｜０
法政大学Ⅱ部　００００００００１ｘ｜１
（千葉）山下－金井・屋比久
（法Ⅱ）丹野－中村豪
（戦評）激しい投手戦となった。10回裏法政大学、ランナー二塁で鳥畑の打球はライトを越えサヨナラとなった。

第２試合
日本体育大学　１０００００００００００｜１
城 西 大 学　０１０００００００００１ｘ｜２
（日体）月田－樽井
（城西）大阪・久保田－相原
☆二塁打　西堀・本間
（戦評）激しい投手戦となった。12回裏、城西大学はランナー二塁で仙坂が適時打。サヨナラ勝となり法政大学の優勝が決まった。

◎10月28日　越谷獨協グラウンド
第１試合
上 智 大 学　００１１００００００｜２
獨 協 大 学　００１０００００００｜１
（上智）福田・佐藤－奥山
（獨協）木村－小野寺
☆三塁打　高嶋
☆二塁打　奥山・清水
（戦評）４回表、上智大学橋田が適時打を放ち１点勝ち越し。その１点を最後まで守り切った。

	獨協大	城西大	法大Ⅱ	日体大	千葉大	上智大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
獨 協 大 学		○○	○●	●○	●○	●●	10	5	5	0	.500	＋２	3
城 西 大 学	●●		●●	●○	○●	○●	10	3	7	0	.300	－22	6
法政大学Ⅱ部	●○	○○		●○	○○	○●	10	7	3	0	.700	＋40	1
日本体育大学	○●	○●	○●		●○	○○	10	6	4	0	.600	＋７	2
千 葉 大 学	○●	●○	●●	○●		○○	10	5	5	0	.500	－５	4
上 智 大 学	○○	●○	●○	●●	●●		10	4	6	0	.400	－22	5

Ｈ25年度秋季リーグを終えて

千葉大学　主務　高橋　彬大

平成25年度の３部秋季リーグは、例年にも増して混戦となりました。首位の法政大学Ⅱが７勝、第二位の日本体育大学が６勝、獨協大学および千葉大学がともに５勝、上智大学が４勝、城西大学が３勝と勝ち数が一つずつ多い順位となり、リーグ戦半ばではどの大学が優勝、最下位になる可能性があり、例年以上に勝ち数にこだわる緊張感の高いリーグ戦になったと感じました。また首位打者や最優秀投手も、打率がわずかな差であったり、勝ち数および勝率が並んだりと力の拮抗したものとなりました。優勝した法政大学Ⅱは多彩な投手陣と各ポジションにおける選手層の厚さが目立ちました。また、最高学年だけでなく１、２年生の若い戦力が多く試合に出場し、来年度にも戦力の拡大が期待できます。他大学でも１、２年生の活躍によって試合が大きく動いたことが多くありました。来年度からの３部のさらなるレベルアップにつながることでしょう。

今回、平成25年度秋季リーグの当番校を任させていただいて、本当にいろいろなことがあり苦労の連続でした。試合が雨天により中止になってしまったり、自分が至らない部分が多く、連絡がうまく行き届いておらず他大学の方々にご迷惑をおかけしてしまったり、予備日が足りなくなってしまったりと様々なことがありました。しかし自分が困難に陥ってしまったり、いろいろなことに手が回らなくなってしまった時にはチームメイトやマネージャーが協力してくれ、各試合を滞りなく進めることができました。今回ほどチームメイトやマネージャーがいてくれることの素晴らしさと有り難さを感じたことはありません。本当にいくら感謝してもしきれません。また他大学の代表の方々にも大変協力していただきました。中でも各大学の主務の方々には本当にお世話になりました。この場をお借りしてお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

秋季リーグ戦の当番校の主務を務めるという経験は非常に貴重な経験であり、また自分にとって大きな財産となったと思います。失敗したこと、うまくいったこと、失敗から学んだこと、様々な方々と接する機会になったことなどこれらのすべての経験を自らの糧としてこれから人生に活かしていきたいと思います。最後に今回平成25年度３部秋季リーグに関してお世話なったすべての方々に感謝するとともにお礼を申し上げることで私の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

４部リーグ

◎９月８日　首都大学東京球場
第１試合
一 橋 大 学　０００００００００｜０
首都大学東京　０００３０４２０×｜９
（一）工藤－根本
（首）森口・高橋・尾関－大倉・高野
☆二塁打　根本（一）、吉川（首）
（戦評）首都大学東京は、４回・６回・７回に一橋大学のエラーを絡めて効果的に得点した。投げては、森口・高橋・尾関の完封リレーで一橋打線を抑え込んだ。

第２試合
東京農工大学　００５０２０１１３｜12
立 正 大 学　０１００２２００１｜６
（農）吾郷・渡辺・久貝－土屋
（立）川島・佐々木・加藤－古川・川島・上原
☆三塁打　関（農）　菅原（立）
☆二塁打　土屋２・西澤３（農）、川島（立）
（戦評）２回に立正大学が先制するも、３回に集中打で東京農工大学が逆転。その後も互いに点を取り合い、12対６で試合終了。東京農工大学７番西澤の３安打４打点の活躍が光った。

◎９月21日　学習院大学球場
第１試合
学 習 院 大 学　３０１０３０３００｜10
明治薬科大学　２２００１０５１×｜11
（学）藤井－阿部
（明）野口・釜澤－桑山
☆本塁打　桑山（明）
☆三塁打　阿部（学）
☆二塁打　割田・大木・石川・姉川・富田（学）、政木３（明）
（戦評）両チーム１回から点を取り合う乱打戦。学習院大学に流れが傾きかけた７回裏、明治薬科大学は一番桑山の満塁ホームランで同点に追いつくと、続く８回にもエラーで１点を追加し逃げ切った。

◎９月22日　東京農工大学球場
第１試合
明治薬科大学　１０３００００００｜４
東京農工大学　５４２０１１００×｜13
（明）野口・佐藤－桑山
（農）吾郷・渡辺－土屋
☆三塁打　桑山（明）、土屋・吾郷（農）
☆二塁打　桑山・北島（明）
川越２・須加・富田・西澤２（農）
（戦評）１回、明治薬科大学はエラーで先制するも、裏の攻撃で打者一巡６安打の猛攻で逆転される。東京農工大学は２回・３回にも得点し大量リードのまま逃げ切った。勝利投手は吾郷。

第２試合
学 習 院 大 学　２５１００１２１４｜16
一 橋 大 学　０００００００００｜０
（学）田坂－阿部
（一）工藤・都築－根本
☆本塁打　割田（学）
☆三塁打　渡辺（学）
☆二塁打　渡辺・下山２・割田２・大木２・姉川・富田（学）
（戦評）学習院大学打線19安打と大爆発。投げては田坂が２安打完封。

第３試合
首都大学東京　２００００００２０｜４
立 正 大 学　０２０２００００｜４
（首）尾関・高橋航・森口・高橋哲・新井田－大倉・高野
（立）川島・永田－小野里・川島
☆三塁打　紺谷（首）
☆二塁打　斉藤（首）、宮下（立）
（戦評）首都大学東京は、１回５番紺谷のタイムリーで２点先制。対する立正大学は２回に白井、４回に菅原のタイムリーで４点を奪い逃げ切りムードに。しかし好投していた先発川島が８回につかまり同点とされる。９回は両チームともに得点できず引き分けとなった。

◎９月29日　東京農工大学球場
第１試合
学 習 院 大 学　３３００００１０３｜10
東京農工大学　１０１００６１０2x｜11
（学）藤井・田坂－阿部
（農）吾郷・久貝・渡辺－土屋
☆二塁打　割田・大木・姉川（学）
須加・富田・山田（農）
（戦評）試合序盤は学習院大学のペースで進んでいたが、東京農工大学は６回裏に集中打で一挙６点を奪い流れを奪い返した。しかし、学習院大学も２点を追う９回に４連打で３点を奪い逆転に成功。裏の攻撃を押さえるだけだったが、一死満塁のチャンスを作られ、３番関にサヨナラタイムリーを打たれた。

第２試合
明治薬科大学　０１０４０００００｜５
首都大学東京　０００００２０１｜３
（明）野口・釜澤－桑山
（首）森口・高橋哲・小野・高橋航・安藤・佐藤・新井田－大倉・高野
☆本塁打　政木（明）、神矢（首）
☆三塁打　北島（明）
☆二塁打　桑山２・北島（明）、吉川（首）
（戦評）明治薬科大学は２回に６番政木のホームランで先制。４回にも４点を奪いいい流れで試合を進めた。首都大学東京は、７回に神矢のツーラン、９回に吉川のタイムリーで反撃するも、あと１本が出なかった。

第３試合
立 正 大 学　０００００５０００｜５
一 橋 大 学　０００００３０００｜３
（立）川島－古川
（一）都築・工藤－根本
☆三塁打　原口（一）
☆二塁打　田嶋２（一）
（戦評）両チーム無得点のまま迎えた５回、立正大学は打者一巡の攻撃で５点を先制する。その裏に一橋大学は、エラーを絡めて３点を奪い返す。６回以降両チームともチャンスがつくれずそのまま試合終了。

◎10月６日　東京農工大学球場
第１試合
学 習 院 大 学　００２１００９２５｜19
首都大学東京　１００００００５０｜６
（学）田坂・井上・藤井－阿部
（首）安藤・森口・佐藤・新井田－大倉・高野
☆本塁打　斉藤（首）
☆二塁打　下山・割田・大木・阿部・古口（学）
（戦評）学習院大学打線15安打と大爆発。首都大学投手陣は12四死球と大きく荒れた。

第２試合
一 橋 大 学　０００００００００｜０
東京農工大学　１１００３０１０×｜６
（一）都築・工藤－根本
（農）吾郷・渡辺－土屋・佐藤
☆二塁打　土屋・富田・吾郷２・西澤（農）
（戦評）東京農工大学は１回に先制。２回、５回、７回に追加点を挙げ６点を奪った。投げては先発吾郷が８回二死までノーヒットピッチング。９回は渡辺が抑えてゲームセット。一橋大学打線は、１安打と完璧に抑え込まれた。

第３試合
明治薬科大学　０００００３００２｜５
立 正 大 学　０００００１０２００｜３
（明）野口・釜澤・野口－桑山
（立）塚越・川島・佐々木－小野里
☆二塁打　桑山（明）、宮下・下村（立）

	一橋大	明薬大	立正大	農工大	学習大	首都大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
一 橋 大 学		●	●	●	●	●	5	0	5	0	.000	−40	6
明治薬科大学	○		○	●	○	○	5	4	1	0	.800	＋3	2
立 正 大 学	○	●		●	●	△	5	1	3	1	.250	−21	5
東京農工大学	○	○	○		○	○	5	5	0	0	1.000	+27	1
学 習 院 大 学	○	●	○	●		○	5	3	2	0	.600	+42	3
首都大学東京	○	●	△	●	●		5	1	3	1	.250	-11	4

（戦評）立正大学は、５回にい和田でのタイムリーで先制するも、６回に３つの四死球と２本のヒットで３点を奪われ逆転される。７回に犠飛ちエラーで同点とするも、９回表に決勝タイムリーを打たれ逃げ切られた。

◎10月13日　東京農工大学球場
第１試合
東京農工大学　０１０１０３２２１｜10
首都大学東京　００１００１０３０｜５
（農）吾郷・川越－土屋
（首）安藤－高野
☆本塁打　西澤（農）
☆三塁打　山田（農）､大久保･松下（首）
☆二塁打　川越２・吾郷（農）
大久保・松下（首）
（戦評）首都大学東京は、４番松下の打撃が目立ったものの打線がつながらず。東京農工大学は、相手のミスを逃さず得点に結びつけた。この試合で東京農工大学の全勝優勝が決定した。

第２試合
一　橋　大　学　０１０００１０００｜２
明治薬科大学　２０３００４００×｜９
（一）工藤・都築・田嶋－根本
（明）野口－桑山
☆二塁打　郷原（一）
桑山２・野口３・北島２・
牧野（明）
（戦評）明治薬科大学は連打で効果的に得点した。一方の一橋大学は、チャンスで１本が出ず流れを引き寄せることが出来なかった。

第3試合
立　正　大　学　０００１００００１｜２
学習院大学　０９０１４０３０×｜19
（立）佐々木・加藤・永田・川島－川島・
古川・上原
（学）藤井・田坂・井上・窪田－阿部
☆三塁打　薄井（立）
☆二塁打　本橋（立）
割田・大木・石川・姉川（学）
（戦評）２回の学習院大学の９点が試合を決定づける得点となった。立正はチャンスが作れず大敗となった。

５部リーグ

◎９月１日　東京工業大学グラウンド
第１試合
成　蹊　大　学　０００３０００２０｜５
東京農業大学　３０００１０２０×｜６
（成蹊）大塚－今村
（東農）森田－奈良井
☆三塁打　荒川（成）
☆二塁打　今村（成）
（戦評）初回、成蹊の守備の乱れにつけこみ農大が３点を奪うが、成蹊がヒットを集中させ同点に追いつく。５回と７回に、成蹊の守備が乱れたところでタイムリーが生まれ勝ち越しに成功する。８回、成蹊が四死球とヒットで２点を返すも及ばなかった。

第２試合
東京工業大学　０００００００１１｜１
東京理科大学　１２０１２００２×｜８
（東工）上條・山中－佐々木
（理科）田村・浦木－梶原
☆三塁打　佐々木（工）、磯田（理）
☆二塁打　小林・池田（工）
磯貝・川越（理）
（戦評）理科大がコンスタントに長短打を集め、終始理科大ペースで試合を運んだ。東工大は、得点圏にランナーを進めることはあったが、タイムリーが出ず流れを掴めずに終わった。

第３試合
健康科学大学　００００００２２｜４
電気通信大学　２８２００００×｜12
（８回コールド）
（健科）松野・相川・永野－木下
（電通）菊野・鈴木－田村
☆二塁打　丸山（健）、菊野・青木（電）
（戦評）序盤、健科大の投手の制球が定まらないところに、電通大がヒットを集め大量リードを奪った。中盤以降は健科大のピッチャーが持ち直し終盤タイムリーヒットを重ね４点を返したが及ばなかった。

◎９月７日　東京理科大学グラウンド
第１試合
東京薬科大学　３０００００００１｜４
成　蹊　大　学　０２３１０００１×｜７
（東薬）黒田・鈴木－氏家
（成蹊）大塚・小野田・辻－今村・土橋
☆三塁打　木村（薬）、折笠（成）
（戦評）東薬が初回エラーと長打で３点を先制した。２、３回に成蹊がヒットを集中させ５点を奪い逆転した。最終回、東薬が満塁のチャンスをつくり１点を返したが及ばなかった。

第２試合
電気通信大学　００３０００００００｜３
東京理科大学　１６１１０１９５×｜24
（電通）菊野・城－田村
（理科）磯田－梶原
☆本塁打　鈴木（電）、磯貝（理）
☆二塁打　青木（電）
磯田２・磯貝・高松２（理）
（戦評）理科大18安打の猛攻で終始理科大ペースで進んだ。電通も本塁打などで３点を返したが、理科大磯田の速球とスライダーの前に抑えられた。

◎９月８日　東京工業大学グラウンド
第１試合
電気通信大学　２０００００００１｜３
東京薬科大学　３５０１２０００×｜11
（電通）菊野・城－田村
（東薬）木村・池田－氏家
☆三塁打　氏家・盛岡（薬）
☆二塁打　岩間（電）
高野・氏家・池田（薬）
（戦評）電通が先発投手の制球が乱れで２点を先制したが、東薬がその後ヒットを重ね逆転した。電通は２番手ピッチャーの池田に抑えられ､９回に１点を返すのみにとどまった。

第２試合
東京工業大学　５２１１０００１０｜10
健康科学大学　０００００００００｜０
（東工）山中・武市・上條－佐々木・細田
（健科）宮本・小楠・永野－小楠・古清水
☆三塁打　手塚２・池田（工）
☆二塁打　山下（工）、丸山２（健）
（戦評）東工大が序盤に相手の守備の乱れと長打で大量にリードした。健科は、ヒットは出るもののランナーを溜められず無得点に終わった。

◎９月21日東京理科大学グラウンド
第１試合
東京農業大学　００１１２３０１０｜８
東京理科大学　０５１００１０３×｜10
（東農）牛山、森田－奈良井
（理科）田村、浦木－梶原
☆本塁打　原田・奈良井・田村（農）
☆三塁打　磯貝（理）
☆二塁打　丹羽（農）、川越（理）
（戦評）両チームあわせて23安打の打ち合いとなった。理科大が２回、磯貝のタイムリー３塁打などで５点を加えたが、農大も３本の本塁打などで逆転に成功した。しかし８回に理科大が４連打で再び逆転し勝負を決めた。

第２試合
東京工業大学　１０１３１００００｜６
成　蹊　大　学　２０１２００１０1x｜７
（東工）山中・上條－佐々木
（成蹊）大塚・小野田－今村
☆本塁打　柳町（成）
☆二塁打　佐々木･藤井･手塚･山下（工）
佐藤・佐竹・今村２（成）
（戦評）初回､押出しで東工大が先制したが、その裏成蹊大のタイムリーですぐさま逆転した。その後は一進一退の攻防を繰り返していたが、７回成蹊大がタイムリーで追いつき、９回裏に土橋のタイムリーで成蹊がサヨナラ勝ちを収めた。

第３試合
健康科学大学　０００２０００００｜２
東京薬科大学　００６０１３３０×｜13
（健科）永野・松野－松野・永野
（東薬）鈴木・黒田－氏家
☆二塁打　松野・名取（健）
（戦評）東薬大が３回単打を集め６点をとることに成功した。その後も、健科大の守備のミスもあって少しずつ点を加えて引き離していった。東薬大は鈴木が５回２失点でまとめ、黒田が４回無失点と好リリーフで試合の流れを渡さなかった。

◎９月28日　東京理科大学グラウンド
第１試合
東京理科大学　０００１１５０５０｜12
東京薬科大学　１００００００００｜１
（理科）田村・浦木－梶原
（東薬）鈴木・池田－氏家
☆本塁打　高松（理）
☆二塁打　磯貝・川越・高松（理）
（戦評）初回、東薬が相手投手の不安定な立ち上がりを攻め先制した。理科大は、ランナーを出すものの東薬の粘りで抑えられていたが、４回にホームランで追いつき流れを引き寄せて、その後一気に突き放した。

◎10月６日　成蹊大学グラウンド
第１試合
東京理科大学　４１０１４０３｜13
成　蹊　大　学　０２０１０１０｜４
（７回コールド）
（理科）田村・磯田－梶原
（成蹊）大塚・小野田－今村
☆本塁打　川越・川田（理）
☆三塁打　荒川（成）
☆二塁打　高瀬・磯貝・磯田（理）
福田（成）
（戦評）理科大がコツコツとヒットを重ね、効率よく得点していった。成蹊もランナーは出すものの、後１本が出ずなかなか大量得点を奪えずにいるなか、理科大が満塁ホームランを放ち勝負を決めた。

◎10月12日　東京工業大学グラウンド
第１試合
成　蹊　大　学　０２２００２００２｜８
電気通信大学　３００６０１００×｜10
（成蹊）泉・原・小野田－柳町・今村
（電通）菊野－田村
☆三塁打　岩間（電）
☆二塁打　西（電）
（戦評）電通大が投手の不安定な立ち上がりを攻め先制した。一度逆転されるも４回に７本の長短打を集中させ大量リードを奪った。成蹊大は後半巻き返すも序盤のリードが響き、電通の勝利となった。

第２試合
東京農業大学　１００２００００００｜３
東京工業大学　５０００６０１０×｜12
（東農）森田・伊藤・丹羽－福崎
（東工）山中・上條－佐々木・細田
☆二塁打　原田・星野（農）
池田・佐川・山下（工）
（戦評）東工大が１回と５回にヒットを集中させ試合を優位に進めた。農大は２アウトから連打を浴びてしまい粘れきれなかった。

◎10月19日　東京理科大学グラウンド
第１試合
東京理科大学　０３２０００００３３｜11
健康科学大学　０００００２２２０｜６
（理科）田村・磯田－川田・梶原
（健科）小松・小楠－松野
☆二塁打　小野田・川田・平栗・高瀬・高松（理）
小栗・斉藤（健）
（戦評）序盤、健科大のバッテリー間のミスが連続し、理科大が５点を奪った。健科大も最初は抑えられてたが徐々に流れを掴み追いついていった。しかし、８回に理科大が代打攻勢で点を奪いそのまま逃げ切る形となった。

◎10月27日　東京理科大学グラウンド
第１試合
東京農業大学　１００１４２０３０｜11
電気通信大学　３１１０１００００｜６
（東農）丹羽・井上－丹羽・奈良井
（電通）菊野・鈴木－田村
☆三塁打　田村（電）
☆二塁打　福崎・霜田・丹羽（農）
菊野・宮良・鈴木・青木（電）
（戦評）初回、農大がタイムリーで先制したが、その裏電通大が長打を重ね逆転し、その後も得点を重ねていった。しかし、農大が５回に一気に逆転し、電通も一度は追いついたが、農大の継投が功を奏し流れを掴みそのまま農大が勝利した。

第２試合
東京工業大学　３１０３０１６０６｜20
東京薬科大学　２０３２００４２０｜13
（東工）山中・武市・上條－佐々木・細田
（東薬）黒田・細川・池田・木村－氏家
☆本塁打　須加尾（工）､堀本･氏家（薬）
☆三塁打　手塚・池田（工）、上村（薬）
☆二塁打　小林２･落合･藤井･池田（工）
氏家２・畑山・高山（薬）
（戦評）序盤から激しい乱打戦となった。７回に長打を重ねて一気に６点を加えたが、東薬大もその後連打で追い上げをみせた。しかし９回に須賀尾の満塁ホームランなどで再び６点を追加し勝負を決めた。

◎11月２日　東京理科大学グラウンド
第１試合
東京工業大学　１３６０１０４００｜15
電気通信大学　０００１００３００｜４
（東工）山中・武市・上條－佐々木・細田
（電通）菊野・鈴木－田村
☆三塁打　池田・手塚（工）
☆二塁打　藤井・落合・山下・佐藤（工）
田村（電）
（戦評）東工大が15安打15得点、投げては先発山中が６回１失点とほぼ流れを掴みつづけ勝利した。電通大も後半粘りをみせたが、３点を返すにとどまり及ばなかった。

◎11月10日　成蹊大学グラウンド
第１試合
成　蹊　大　学　０１００００００３０｜４
健康科学大学　０２００００００００｜２
（成蹊）大塚－今村
（健科）小松・松野－松野・永野
☆二塁打　今村（成）、鷲澤（健）
（戦評）２回に成蹊大がタイムリーで先制したが、その裏に健科大がエラーと長打ですぐに逆転した。その後は、両チーム譲らず投手戦となったが、８回に健科大のミスにつけ込み成蹊大が３点を加え逆転し、そのまま逃げ切り勝利した。

◎11月16日　上柚木公園球場
第１試合
東京農業大学　２５４２２３２０｜20
健康科学大学　５１０８３０００｜17
（東農）井上・福崎－田子・牛山
（健科）相川・永野・斉藤－古清水
☆三塁打　牛山・福崎（農）
斉藤２・相川（健）
☆二塁打　田村・原田２（農）
名取・斉藤・永野・相川（健）
（戦評）序盤から激しい乱打戦になって、逆転してはし返すという展開になった。５回終わって健科大が15－17とリードしていたが、農大の守備交代が功を奏し６回以降０点に抑え農大が逆転し勝利を収める結果となった。

第２試合
東京農業大学　３４０10０１０｜18
東京薬科大学　２０３１３３０｜12
（東農）伊藤・浅香・牛山－牛山・田子
（東薬）黒田・池田・鈴木－氏家・鎌田
☆二塁打　田村２・田子・原田（農）
鎌田・堀本（薬）
（戦評）農大が４回に８安打10得点を集中させ一気に勝負を決めた。東薬も５回６回と３点ずつ返し反撃したが、序盤の失点が響き及ばなかった。

	農　大	理科大	工業大	成蹊大	健康大	電通大	東薬大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
東京農業大学		●	●	○	○	○	○	6	4	2	0	.667	＋4	3
東京理科大学	○		○	○	○	○	○	6	6	0	0	1.000	＋55	1
東京工業大学	○	●		●	○	○	○	6	4	2	0	.667	＋29	2
成蹊大学	●	●	○		○	●	○	6	3	3	0	.500	－6	4
健康科学大学	●	●	●	●		●	●	6	0	6	0	.000	－39	7
電気通信大学	●	●	●	○	○		●	6	2	4	0	.333	－35	6
東京薬科大学	●	●	●	●	○	○		6	2	4	0	.333	－8	5

神奈川リーグ　春季リーグ戦

◎４月６日　横浜国立大学野球場
第１試合

松 蔭 大 学	０００００００００	０
神奈川大学	０１００１００７ｘ	９

（８回コールド）
（松蔭）緒方－吉田
（神大）阿部－渡辺
☆本塁打　鈴木（神）
☆二塁打　渡部（松）、中村正・森住（神）（戦評）神奈川大学は、２回、５回と松蔭の守備のミスにつけこみ、得点をあげると、８回には鈴木の本塁打を含む打者８人で７点追加した。松蔭大学は、２回に連打でチャンスを作るも得点できず最後まで阿部を打ち崩すことは出来なかった。

第２試合

麻 布 大 学	００００１０	１
関東学院大学	１５００３×	18

（５回コールド）
（麻布）鍵和田・渡辺－国枝
（関東）渡邊・小島－石塚裕
☆三塁打　立和田（関）
☆二塁打　柴田・高橋・山上・平田・小林（関）
（戦評）関東学院大学は、初回から打者20人の猛攻で一挙15点をあげると、４回にも４本のヒットで３点上げ、快勝した。麻布大学は、４回に１点を返すも関東学院大学の投手陣に抑え込まれてしまった。

第３試合

防衛大学校	００００１	１
横浜国立大学	２３３３×	11

（５回コールド）
（防大）網元・龍－槙野
（国大）針金－安藤
☆本塁打　奥（国）
☆二塁打　齋所・渡辺・安藤・説田・針金（国）
（戦評）横浜国立大学は、初回からチャンスを作り２点を先制すると、その後も毎回得点で効率よく試合を進める。守りも、５回に１点を奪われるも後続をしっかりと打ち取り５回コールドで快勝した。

◎４月12日　横浜スタジアム
第１試合

横浜国立大学	０１１０００００００	２
関東学院大学	１２０００２０１×	６

（国大）針金・炭吉－安藤
（関東）渡邊・小島・本間－石塚裕
☆本塁打　石塚裕（関）
☆三塁打　市川（関）
☆二塁打　齋所（国）、立和田・山上（関）
（戦評）関東学院大学は、１回表に先制するが２回表にすぐさま追いつかれる。３回まで両者点の取り合いとなるが、終盤に関東学院大学が得点を重ね６－２で逃げ切った。

◎４月25日　横浜スタジアム
第１試合

横浜国立大学	００００００００００	０
神奈川大学	１００００００１０×	２

（国大）針金－安藤
（神大）阿部－渡辺
☆本塁打　鈴木（神）
☆三塁打　宮国・田中（神）
（戦評）神奈川大学は、初回、先頭の鈴木が看板直撃となるホームランを放ち先制する。しかし、その後は横浜国立大学の針金が粘りのある投球で得点を与えない。７回裏、先頭の宮国、田中の２連続右中間三塁打で１点追加しそのまま２－０で逃げ切った。

◎４月27日　横浜スタジアム
第１試合

防衛大学校	００００１００１	２
関東学院大学	００５４００１×	10

（７回コールド）
（防大）龍、藤本－槙野
（関東）五十嵐、戸津－石塚裕
☆三塁打　牛尾（防）
☆二塁打　小川（防）、平田（関）
（戦評）関東学院大学は、２回、３回と打者１巡の攻撃で９点あげ、試合の主導権を握る。攻撃から流れを作ると、五十嵐－戸津と下級生投手の継投でしっかりと試合を作り７回コールドで勝利した。

◎４月27日　横浜国立大学野球場
第１試合

松 蔭 大 学	００１０００００１０	２
横浜国立大学	１２１００２００×	６

（松蔭）渡部秀－吉田
（国大）炭吉・針金－安藤
☆二塁打　渡部秀（松）、奥・原田（国）
（戦評）横浜国立大学は、初回からチャンスを作り、タイムリーヒットで効率よく得点を重ねた。一方、松蔭大学もチャンスで得点を重ねるが横浜国立大学の投手陣に要所を抑えられ６－２で横浜国立大学が勝利した。

第２試合

麻 布 大 学	００００００	０
神奈川大学	１８１０×	10

（５回コールド）
（麻布）渡辺・鈴木－小林
（神大）山崎・高山－渡辺
☆本塁打　鈴木・高村（神）
☆二塁打　喜久山・中村（神）
（戦評）神奈川大学は、序盤から２本の本塁打が出るなど３回までに大量得点をあげる。守りでは、２人の投手陣と堅い守りでヒットを１本も許さず完封で勝利した。

◎４月28日　横浜国立大学野球場
第１試合

神奈川大学	００２３１１６	13
麻 布 大 学	００００００００	０

（７回コールド）
（神大）中村祐・高山・山崎－渡辺
（麻布）鈴木雄・小林－小林・国枝
☆二塁打　鈴木・喜久山・野並・宮国２・田中・山内・渡辺（神）
（戦評）麻布大学は、２回まで神奈川大学を抑えるが、３回以降、守備の乱れから主導権を握られリードを広げられた。攻撃も初回の先頭小林がヒットを打つもその後は神奈川大学の投手陣に完璧に抑えられた。

第２試合

横浜国立大学	２００３０１０００	６
松 蔭 大 学	００００００００００	０

（国大）針金－安藤
（松蔭）須藤、渡部－吉田
☆三塁打　説田（国）
☆二塁打　齋所２、新庄、原田（国）本間（松）
（戦評）横浜国立大学は、１回表先頭打者齊所の２塁打など５本の長打を放ち確実に点差を広げた。一方、守りでもピンチを作るが堅い守りでホームを踏ませず得点を与えさせなかった。

第３試合

関東学院大学	１３０２２２３	13
麻 布 大 学	００００００２０	２

（７回コールド）
（関東）杉山・渡邊・小島・本間－石塚裕
（麻布）渡辺－小林
☆三塁打　柴田（関）
☆二塁打　石塚裕・高橋２（関）
（戦評）関東学院大学は、４投手による継投で守りからリズムを作り攻撃の大量得点をよんだ。一方、麻布大学は、６回に２点を返し反撃を見せるも序盤の失点が最後まで響いた。

◎５月４日　防衛大学校野球場
第１試合

防衛大学校	００００００	０
神奈川大学	０２０８×	10

（５回コールド）
（防大）藤本－槙野
（神大）高山、阿部－渡辺
☆二塁打　田中・中村正・野並（神）
（戦評）神奈川大学は、２回ヒットと四球で満塁の場面を作り、押し出し四球とパスボールで２点を先制する。４回にも、四死球とヒットで効率よく得点を重ね、５回10－０のコールドで勝利した。

第２試合

横浜市立大学	１００００１０	２
日本大学生物資源科学部	００１０１１０	12

（６回コールド）

（市大）平吉・佐塚－嶋田
（日大）橋爪・松田－山本
☆二塁打　鍵山（市）、新井（日）

（戦評）日本大学生物資源科学部は、初回に１点先制されるも３回に同点にし、６回に打者一巡13人の攻撃で一挙10点をあげコールドで勝利した。

◎５月４日　横浜国立大学野球場

第１試合

関東学院大学	００００２２４	８
横浜国立大学	００００００１	１

（８回コールド）

（関東）戸津－石塚裕
（国大）炭吉、針金－安藤
☆二塁打　柴田・市川・高橋２（関）
渡辺・奥（国）

（戦評）５回まで両者投手陣が粘り強いピッチングで得点を与えない。しかし、６回以降、関東学院大学は市川、高橋の二塁打などで得点をあげ勝利した。

第２試合

松蔭大学	０１００００１００	２
麻布大学	００３０１１０２×	７

（松蔭）緒方・渡部憲－吉田
（麻布）渡辺－小林
☆二塁打　渡部秀２・菊池（松）
千葉・平原（麻）

（戦評）松蔭大学は、２回に相手のミスとヒットで先制する。７回に緒方、渡部秀の連打で２点目をあげる。麻布大学よりヒットを放つが、11四死球4失策が最後まで響き７－２で麻布大学が勝利した。

◎５月５日　横須賀スタジアム

第１試合

日本大学生物資源科学部	０４２１６	13
横浜市立大学	１００００	１

（５回コールド）

（日大）増田・下山田－山本・大村
（市大）小林・平吉・佐塚・平吉－嶋田
☆二塁打　新井・畔柳・増田２（日）
久保・小澤（市）

（戦評）初回、横浜市立大学が先制するも日本大学生物資源科学部が２回以降、長打４本を含む攻撃で13点をあげ６回コールドで日本大学生物資源科学部が勝利した。

第２試合

松蔭大学	０２０００５０２10	19
防衛大学校	０２０１０２０００	５

（松蔭）渡部秀－吉田
（防大）小柳、奥村－槙野
☆三塁打　緒方、井草2、館（松）
☆二塁打　吉田、井草（松）
久保田、松永（防）

（戦評）序盤から両者ともに点の取り合いとなる。両者合わせて10失策と荒れた試合になったが、終盤に井草の２打席連続三塁打を含む３長打で得点を重ねた松蔭大学が逃げ切った。

第３試合

横浜国立大学	０００３００７	10
防衛大学校	００００００２０	２

（７回コールド）

（国大）齋所－安藤
（防大）藤本－槙野
☆二塁打　渡辺・原田２・遠藤（国）

（戦評）序盤は、静かな立ち上がりとなったが４回表、渡辺、原田の長打を含む４連打で３点を先制する。７回表にも、打者一巡10人の攻撃で７点をあげる。今季初先発となる齋所は、要所を抑える投球で勝利に貢献した。

◎５月６日　横浜国立大学野球場

第１試合

松蔭大学	００１２０	３
関東学院大学	８４１０×	13

（５回コールド）

（松蔭）須藤・渡部憲－吉田
（関東）本間・五十嵐－石塚裕・金児
☆二塁打　市川・高橋２（関）

（戦評）初回、８つの四死球を含む打者13人の攻撃で８点あげると、その後も得点を重ね３回まで13点取るそつのない攻撃で松蔭大学に13－３のコールドで勝利した。

第２試合

神奈川大学	０００００００１１	２
横浜国立大学	０００１００００００	１

（神大）阿部－渡辺
（国大）針金－安藤
☆二塁打　渡辺（神）

（戦評）４回に横浜国立大学が先制し試合の主導権を握る。しかし、８回に２つの四球でピンチを作るとヒットで同点とされ、９回にも３連打で１点奪われた。先制するも終盤リードを守れず惜しくも惜敗した。

第３試合

麻布大学	００００１０	１
防衛大学校	６２０２１	11

（５回コールド）

（麻布）渡辺・平原－小林
（防大）藤本－槙野
☆二塁打　小林・平原（麻）
小川・槙野（防）

（戦評）防衛大学校は、初回四死球と槙野の二塁打を含む攻撃で６点をあげた。一方、麻布大学も１回表、４回表ともに先頭が２塁打で出塁するも１点しか返せず５回11－１のコールドで防衛大学校が勝利した。

◎５月８日　横浜スタジアム

第１試合

横浜市立大学	００００２１００	３
日本大学生物資源科学部	３４１００００２	10

（７回コールド）

（市大）平吉－嶋田
（日大）増田・松田－山本・大村
☆本塁打　岡本（日）
☆三塁打　滝沢２・埴生・増田悠（日）

（戦評）日本大学生物資源科学部は、序盤から攻撃の手を緩めず、４本の三塁打を放つなど点差を広げる。４、５回と失点をするが７回に２点をあげ７回コールドで勝利した。

◎５月10日　横須賀スタジアム

第１試合

関東学院大学	００２０００１４０	７
防衛大学校	１００００４０００	５

（関東）渡辺・小島・戸津－石塚裕
（防大）藤本・網元－槙野
☆二塁打　石塚裕（関）、槙野（防）

（戦評）防衛大学校は、初回に２四球と失策で先制するも３回に２点を取られ逆転される。その後、６回裏に打者一巡の攻撃で３点リードして終盤に入るものの、７、８回と失点を重ねリードを守れなかった。

◎５月11日　横浜市立大学野球場

第１試合

日本大学生物資源科学部	００６３００	９
横浜市立大学	０００００５	５

（６回雨天コールド）

（日大）杉本・下山田－大村
（市大）平吉・久保－嶋田
☆二塁打　滝沢（日）

（戦評）日本大学生物資源科学部が６回まで９点リードするが、６回裏に横浜市立大学が５四球と３失策で５点を返す。追い上げを見せると思われたが、天候不良のため、６回雨天コールドで日本大学生物資源科学部が逃げ切った。

第２試合

関東学院大学	１１３０２７	14
松蔭大学	０００００１０	１

（６回コールド）

（関東）本間・玉村－石塚裕・金児
（松蔭）緒方－吉田
☆二塁打柴田（関）

（戦評）関東学院大学が初回から徐々に点を重ねていき、６回までに14点を奪う。５回に関東学院大学の投手が玉村に代わり、松蔭大学が１点を取るが、その後は抑えられた。

◎５月12日　横須賀スタジアム
第１試合
神奈川大学　０００１０００００４｜５
防衛大学校　０００００００１０１｜２
（延長10回）
（神大）中村祐・高山－長富・渡辺
（防大）網元・藤本－槙野
☆二塁打　喜久山（神）
（戦評）４回に防衛大学が先制し、終始試合のペースを握った。８回にヒットと四球が絡み同点とされ、流れを失うと延長10回に４点を取られその裏に１点を返すが接戦を落とす結果となった。

第２試合
麻布大学　０００００１３０｜４
松蔭大学　０５０１０００３×｜９
（麻布）平原－小林
（松蔭）渡部－吉田
☆三塁打　本間・渡部（松）
☆二塁打　田中（麻）
緒方・井草・浅田（松）
（戦評）２回に松蔭大学が打者一巡の攻撃で５点を奪うがその後、麻布大学の猛攻をうけ一時は２点差まで詰め寄られるが、終盤に突き放して９－４で松蔭大学が勝利した。

第３試合
神奈川大学　２５３１０｜11
松蔭大学　０００００｜０
（５回コールド）
（神大）阿部・山崎－渡辺・鳥取・長富
（松蔭）緒方・渡部－吉田
☆二塁打　宮国２・砂田（神）
（戦評）神奈川大学は、初回から４回まで毎回得点でリードを広げると、守りでは２投手の継投で相手を抑え見事勝利した。

◎５月18日　中井総合公園野球場
第１試合
関東学院大学　０００００１０００００１｜２
神奈川大学　１００００００００００｜１
（延長12回）
（関学）戸津－石塚裕
（神大）阿部－渡辺・長富
☆三塁打　中村正・田中（神）
☆二塁打　立和田（関）、田中（神）
（戦評）全勝同士で迎えた一戦。神奈川大学は、初回先頭打者が四球で出塁すると３番中村の三塁打で先制する。しかし、６回表に３番を死球で出塁させるとヒットと犠飛で１点を返される。その後、両投手ともに粘り強いピッチングで得点を与えない。12回表、２死から２者連続死球でピンチを広げると１番柴田のヒットで関東学院大学が接戦を制した。

第２試合
横浜国立大学　３０００５１００｜９
麻布大学　２０００００１００｜３
（国大）炭吉－安藤
（麻布）小林・平原－国枝・小林
☆二塁打　奥（国）、田中・鈴木雄（麻）
（戦評）初回に四球とヒットで横浜国立大学が３点を奪う。その裏、麻布大学が２失策と田中の長打で２点を返し打撃戦になると思われたが、６回に横浜国立大学が連打で５点を奪い、１点を返されるが麻布大学の打線を抑え込み９－３で勝利した。

◎５月19日　横浜国立大学野球場
第１試合
防衛大学校　２１００２０３５｜13
麻布大学　０２０１００２１｜６
（８回コールド）
（防大）網元、小柳－槙野
（麻布）鈴木雄、渡辺－国枝
☆三塁打　渡辺・岡本（麻）
☆二塁打　槙野２・吉井・小柳（防）
渡辺（麻）
（戦評）初回から防衛大学が点を重ねていった。麻布大学も岡本、渡辺の長打で点を奪い返すが、失策と連打により５点を失い13－６の８回コールドで防衛大学が勝利した。

第２試合
麻布大学　００００００００｜０
横浜国立大学　０２１０３０１｜７
（７回コールド）
（麻布）平原－国枝
（国大）齊所－安藤
☆三塁打　奥・安藤（国）
☆二塁打　齊所・奥・原田・遠藤・安藤(国)
（戦評）横浜国立大学は、序盤から連打で得点を上げるなど効率的にリードを広げていく。攻撃では、７長打を含む７得点、守りは堅い守備で無失点と投打に麻布大学を圧倒した。

◎５月29日　横浜スタジアム
第１試合
神奈川大学　００００００１２｜３
関東学院大学　００００１０００２｜３
（球場規定によりサスペンデッドゲーム）
（神大）阿部－渡辺
（関学）戸津－石塚裕
（戦評）序盤は、両投手ともに好ピッチングが光る立ち上がりとなる。４回裏、２死３塁で立和田がヒットを放ち先制する。しかし、７回表に神奈川大学が追いつき８回表には３点を奪い逆転する。粘りを見せる関東学院大学はすぐさま同点とし尚も１死１、３塁とするが球場規定によりサスペンデッドゲームとなる。

◎６月１日　横浜国立大学野球場
第１試合
松蔭大学　００００００００｜０
麻布大学　００１１１００4x｜７
（８回コールド）
（松蔭）渡部－吉田
（麻布）渡辺・小林－小林・国枝
☆二塁打　小林・鈴木雄２・岡本・鍵和田（麻）
（戦評）麻布大学は、中盤に効率よく得点を重ね主導権を握る立ち上がりとなる。松蔭大学の投手陣も粘りを見せるが、８回に４点奪われ麻布大学が７－０の８回コールドで勝利した。

第２試合
神奈川大学　０００００１２１｜４
関東学院大学　０００１００００２０｜３
（８回裏１死１、３塁から継続試合）
（神大）阿部－渡辺
（関学）戸津－石塚裕
（戦評）５/29に行われた試合の継続試合。８回裏、１死１、３塁関東学院大学の攻撃から始まった試合は、神奈川大学が堅い守りでピンチを凌ぐ。そして、ヒットでチャンスを作るとバッテリー間のミスで逆転するとその１点を守り抜き神奈川大学が１勝１敗へと持ち込んだ。

第３試合
関東学院大学　０７０１０３０｜11
神奈川大学　００００００３０｜３
（７回コールド）
（関学）戸津－石塚裕
（神大）中村祐・阿部・高山・阿部－渡辺・鳥取
☆三塁打　扇（関）
☆二塁打　石塚裕・市川・高橋（関）
高村・鈴木（神）
（戦評）１勝１敗で迎えこの一戦が優勝決定戦となる。今までの投手戦とは違い、神奈川大学は投手陣が崩壊し２回に７点奪われるととその後も失点をを重ねた。関東学院大学は、終始試合を有意に進め勝利し、春季リーグ戦を制した。

順位	大学名	関学	神大	国大	松蔭	防大	麻布	勝	負	分	勝点	勝率
優勝	関東学院大学		○●○	○○	○○	○○	○○	10	1	0	5	0.909
2位	神奈川大学	●○●		○○	○○	○○	○○	9	2	0	4	0.818
3位	横浜国立大学	●●	●●		○○	○○	○○	6	4	0	3	0.600
4位	松蔭大学	●●	●●	●●		○○	●○●	3	8	0	1	0.273
5位	防衛大学校	●●	●●	●●	●●		○○	2	8	0	1	0.200
6位	麻布大学	●●	●●	●●	○●○	●●		1	10	0	1	0.091

◎６月２日　横浜国立大学野球場
第１試合

日本大学生物資源科学部	０	０	１	３	３	１	０	０	8
麻 布 大 学	９	０	０	２	０	０	２	２	15

（８回コールド）
（日大）増田真、下山田－山本
（麻布）平原、鈴木雄－小林
☆三塁打　岡本（麻）
☆二塁打　滝澤･大沢２･佐藤･藤崎（日）
小林･谷川･渡辺･鈴木雄（麻）
（戦評）１部の麻布大学と２部の日本大学生物資源科学部の入れ替え第１戦。初回に９点を奪い試合を決めたかと思ったが、中盤に日本大学生物資源科学部が一時は３点差となるまで追い上げた。しかし、最後は守備が踏ん張れず８回コールドで麻布大学が第１戦を制した。

◎６月８日　横浜国立大学野球場
第１試合

麻 布 大 学	３	０	０	５	０	１	４		13
日本大学生物資源科学部	１	１	０	０	０	１	１		4

（７回コールド）
（麻布）平原－小林
（日大）橋爪・松田・下山田－山本
☆二塁打　小林２・谷川・岡本（麻）
新井・増田・岡本（日）
（戦評）１部の麻布大学と２部の日本大学生物資源科学部の入れ替え第２戦。点の取り合いとなった試合だが、４回に５点、７回に４点とビッグイニングを作った麻布大学が第２戦も勝利し、２勝した麻布大学が１部に残留した。

最優秀選手　戸津　由博　関東学院大学
５勝１敗、防御率1.89
最優秀投手賞　戸津　由博　関東学院大学
５勝１敗、防御率1.89
首位打者　石塚　裕之　関東学院大学
打率　0.513

◎ベストナイン
投　手　阿部　直晃　神奈川大学
６勝２敗、防御率1.26
捕　手　石塚　裕之　関東学院大学
打率 0.513
一塁手　市川　拓弥　関東学院大学
打率 0.462
二塁手　扇　　惇平　関東学院大学
打率 0.394
三塁手　平田　俊輔　関東学院大学
打率 0.323
遊撃手　宮国　弥也　神奈川大学
打率 0.419
外野手　柴田恭史郎　関東学院大学
打率 0.350
鈴木　隼人　神奈川大学
打率 0.303
田中　宏嗣　神奈川大学
打率 0.400
Ｄ　Ｈ　高橋　卓也　関東学院大学
打率 0.483

春季リーグ戦に優勝して

関東学院大学　高橋　卓也

昨秋のリーグ戦では、神奈川大学に１勝することもなくリーグ戦が終わってしまい、１人１人がとても悔しい思いをしました。春には同じ思いをしたくないという一心から練習内容を見直し、冬の練習に取り組みました。そして春季リーグ戦を迎え、神奈川大学と３戦を行いましたが２勝１敗で勝ち越すことができ優勝することが出来ました。神奈川大学との試合は全てにおいて緊迫した展開であり１試合１試合がチームを成長させてくれたように思います。ここぞという時の１人１人の集中力や勝利へのこだわりの気持ちを前面に出すことが出来ました。それらは、今後の全国大会の予選会や全国大会で必要となってくるためチームにとって大事な試合となったように思います。

神奈川リーグとしては関東学院大学、神奈川大学が苦戦を強いられた試合もありましたが、まだまだ上位のチームと下位チームの差がある状態です。そのような状態では東京六大学リーグや東都リーグのような力が均衡したリーグになれば１点の重みももっと感じると思います。そのようになれば神奈川リーグ全体レベルの底上げにもつながると思います。

最後に、春季リーグ戦が円滑に進められたのも、理事を始めとした学生役員や女性マネージャーの協力があったからだと思います。リーグ戦を行うために球場を確保や試合日程の調整、朝早くから球場の準備に携わる人々、審判やボールボーイをしてくれる人々、試合の記録やアナウンスをしてくれる人々など多くの人々の支えがあって私たち選手はリーグ戦を行えているのだと感じました。そのような人々のためにも全力プレーをすることを心掛けていきたいと思います。

神奈川リーグ　秋季リーグ戦

◎９月１日　防衛大学校球場
第１試合

麻 布 大 学	２	０	０	０	０				2
関東学院大学	２	９	２	０	×				13

（５回コールド）
（麻布）鈴木雄・渡辺－国枝
（関東）大田・玉村－石塚
☆三塁打　扇（関）
☆二塁打　森・柳田（関）
鈴木雄・岡本（麻）
（戦評）１回表相手のエラーと２連打で麻布大学が効率よく先制するがその裏、関東学院がすぐさま同点にする。すると、２、３回と打線がつながり５回コールドで関東学院が勝利した。

第２試合

松 蔭 大 学	０	０	０	０	０	０	０	０	0
横浜国立大学	０	０	０	１	０	４	2x		7

（７回コールド）
（松蔭）緒方・渡部－吉田
（国大）針金－安藤
☆二塁打　小野寺（国）
（戦評）立ち上がり両投手が相手打線を抑える。しかし、４回裏エラーで出たランナーがヒットと内野ゴロの間に生還し国大が先制する。その後６、７回と四死球でチャンスを作ると連打で大量得点をとり国大が勝利した。

◎９月２日　横浜国立大学球場
第１試合

横浜市立大学	０	０	０	０	１	１	０		2
日本大学生物資源科学部	０	０	０	１	５	０	3x		9

（７回コールド）
（市大）小林、北井、平吉－嶋田
（日大）中谷－中村
☆三塁打　野田（日）
☆二塁打　小林（市）、中村（日）
（戦評）４回裏、３番から３連打で先制すると５回には、５連打を含む打者一巡の攻撃で５点を取り終始リードをした日大が勝利した。

第２試合

横浜国立大学	０	０	１	１	１	０	３	２	8
松 蔭 大 学	０	３	０	０	０	０	０	０	3

（国大）炭吉・宮田・高橋－安藤
（松蔭）渡部－吉田
☆三塁打　高橋（国）
☆二塁打　炭吉・針金・遠藤（国）
吉田・中尾（松）

（戦評）２回裏に３本のヒットと死球で打線がつながり松蔭が３点先制する。しかし、国大も３回表にヒットと相手の失策で１点を返すと５回まで毎回得点で同点とし終盤に５点をとり逆転勝利した。

第３試合

関東学院大学	２２５２００２	13
麻 布 大 学	２０００００１	３

（７回コールド）

（関東）玉村・坂本・五十嵐－石塚・荒
（麻布）渡辺－国枝
☆本塁打　森（関）
☆二塁打　石塚裕２・森・市川・金児（関）
竹田（麻）

（戦評）初回、３番森４番市川の２者連続の２塁打で関学が先制する。しかし、その裏麻布は相手の失策で先頭打者が出ると内野の守備の乱れとヒットですぐさま同点とする。２回以降は、11本のヒットと相手のミスにつけこみ大量得点で点を重ねる関学が勝利した。

◎９月８日　横浜国立大学球場

第１試合

防衛大学校	２０００１００３０	6
横浜国立大学	０１００１３３１×	９

（防大）藤本－小柳
（国大）針金－安藤・遠藤
☆本塁打　町田（防）
☆三塁打　槙野（防）、小野寺（国）
☆二塁打　奥・安藤・原田（国）

（戦評）防大は、初回に四球と２者連続のヒットで効率よく２点を先制する。４回まで国大に毎回のようにチャンスを作られるが１点に抑える。しかし、中盤以降国大の打線がつながりをみせリードを広げられる。８回に３点をあげ２点差まで防大も追い上げるも最後は国大が逃げ切った。

◎９月10日　横浜スタジアム

第１試合

松 蔭 大 学	００００００００	０
関東学院大学	１１１０３０1x	７

（７回コールド）

（松蔭）緒方－吉田
（関東）本間－金児
☆本塁打　森、平田（関）

（戦評）関学は、森と平田の本塁打が出るなど打線がつながり７回で７点とる。守りでは、先発した本間が松蔭打線にヒット１本も許さない投球と堅い守りで７回参考ではあるがノーヒットノーランの快投で関学が勝利した。

第2試合

防衛大学校	００００１０４０	５
神奈川大学	００４０００５3x	12

（８回コールド）

（防大）綱元－小柳
（神大）高山・中村健・斎藤・中村祐－渡辺・鳥取
☆二塁打　槙野（防）
高村・西條・鳥取・深澤（神）

（戦評）神大は、３回に５本のヒットで４点を先制する。しかし、防大が５回に１点を返すと７回に変わった投手の立ち上がりを責め打者８人の攻撃で４点とり一気に逆転する。逆転された直後、神大もすぐさま７回、８回と集中打で逆転しリードを広げ勝利した。

◎９月13日　横須賀スタジアム

第１試合

防衛大学校	００００００	０
関東学院大学	１４９２×	16

（５回コールド）

（防大）藤本・綱元－小柳
（関東）戸津・渡邉－
☆三塁打　市川・森（関）
☆二塁打　中沢（関）

（戦評）初回から勢いのある打線で主導権を握り14本のヒットで毎回得点の16得点をあげた関学が相手を寄せ付けることなく５回コールドで勝利した。

第２試合

麻 布 大 学	０１００１０	２
横浜国立大学	５１００５1x	12

（６回コールド）

（麻布）平原・小林－小林・国枝
（国大）炭吉・高橋－安藤
☆三塁打　平原（麻）
☆二塁打　斉所・安藤（国）

（戦評）初回から打者一巡の攻撃で５点をあげ試合の主導権を握ると５回にも打者一巡の攻撃でダメ押しとなる５点をあげた国大が６回コールドで勝利した。

◎９月14日　横浜国立大学球場

第１試合

横浜国立大学	０２１０００００	３
神奈川大学	００１０１２２０×	６

（国大）針金・炭吉－安藤
（神大）高山－鳥取・渡辺
☆三塁打　三原（神）
☆二塁打　小野寺（国）
大畑・高村・深澤（神）

（戦評）２回表、３つの四球と３つの失策など相手のミスを逃さなかった国大が２点先制し主導権を握ると３回までに３点をあげる。しかし、中盤以降国大針金を捉え始めた神大が連打などで徐々に点差を縮めると６回に逆転し７回の追加店で国大を突き放し神大が勝利した。

◎９月19日　横浜スタジアム

第１試合

神奈川大学	０００００１０００	１
関東学院大学	００１０００００1x	２

（神大）高山－渡辺
（関東）戸津－石塚
☆二塁打　深澤（神）、平田（関）

（戦評）両投手ともいい立ち上がりを見せるが、３回裏に四球と－の送球エラーが重なりチャンスを作ると２番扇の安打で関学が先制する。一方、神大は５回表にヒットと相手の失策で同点に追いつく。最後は、９回表１死から１塁からヒットと２つのパスボールで関学がサヨナラ勝ちをした。

◎９月21日　中井中央公園球場

第１試合

横浜国立大学	０４０００００００００	４
関東学院大学	０１１０１００００１０００	４

（国大）炭吉・針金－安藤
（関東）本間・太田・戸津－金児
☆二塁打　寺西（関）

（戦評）国大は２回表に３つの四球と相手の失策、連打が飛び出し、打者８人で４点を先制する。劣勢の立ち上がりとなった関学は、２回裏にすぐさま１点を返すとその後も１点ずつ返し９回２死から同点に追いつく。延長戦は、両投手が要所を抑え引き分けとなった。

第２試合

神奈川大学	１４３００００３	11
防衛大学校	００００００００	０

（７回コールド）

（神大）中村祐－鳥取
（防大）綱元・吉田－吉井
☆三塁打　田中（神）
☆二塁打　高村（神）

（戦評）神大は、初回からランナーをためるとタイムリーヒットで先制する。その後も攻撃の手を緩めることなく序盤に８点を奪う。守りもリズムの良い投球と堅い守りで点を与えず７回コールドで勝利した。

◎９月22日　横浜国立大学球場
第１試合

横浜国立大学	１００００００３	4
防衛大学校	５０００００６x	11

（８回コールド）
（国大）高橋・小野寺・針金－安藤
（防大）藤本－吉井
☆三塁打　吉田（防）
☆二塁打　小野寺（国）
小川２・小柳・山内（防）
（戦評）国大は、初回に先制し主導権を握ったかのように思われたが、その裏に防大が打者一巡の攻撃で５点を奪い逆転に成功する。８回表に国大が３点を奪い１点差まで追い上げるがその裏にまた打者一巡の攻撃で６点を奪い８回コールドで防大が勝利した。

第２試合

関東学院大学	４３３２２１	15
松蔭大学	４００１００	5

（６回コールド）
（関東）五十嵐－石塚
（松蔭）緒方－吉田・須藤
☆本塁打　森（関）
☆三塁打　石塚裕（関）
☆二塁打　森・平田（関）、館（松）
（戦評）関学が初回から打線がつながり６回まで毎回得点14安打で松蔭を圧倒して勝利した。松陰は、１回裏に打者一巡の攻撃で４点奪い同点に追いついたがその後の守備の乱れでなかなかリズムを掴むことができなかった。

◎９月28日
第１試合

日本大学生物資源科学部	１０００２０５	8
横浜市立大学	０１０００００	1

（７回コールド）
（日大）橋爪－中村、大村
（市大）小林、北井－嶋田、小林
☆三塁打滝澤（日）小林（市）
☆二塁打中村（日）
（戦評）日大が、初回に先制すると５回に２点、７回に５点と効率よく点をとって７回コールドで勝利した。

第２試合

関東学院大学	０１０００００４１４	10
防衛大学校	０１０００００２００	3

（関東）本間－石塚
（防大）藤本・上田・吉田－吉井・小柳
☆本塁打　市川・森（関）
☆二塁打　市川（関）、小川（防）
（戦評）お互いに２回に１点ずつを取るもののその後は、両投手の緩急のきいた投球に打線が抑えられる。しかし、終盤になり関学が相手投手を捉え始めると２本の本塁打などで防大を突き放した。

第３試合

神奈川大学	２２６００３	13
麻布大学	０００００３０	3

（６回コールド）
（神大）中村祐・斎藤・中村健・高山－平野・渡辺
（麻布）小林・鈴木雄－国枝・小林
☆三塁打　木村鋭２・石渡・田中（神）
☆二塁打　小林（麻）
（戦評）初回から打線が繋がり主導権を握った神大が３回までに10点差をつけ優位に試合をすすめると６回にも３連打と２つの四球と失策が立て続けに絡み３点を追加し勝利した。

◎９月29日　横浜国立大学球場
第１試合

横浜国立大学	０６０１０４	11
麻布大学	１００００００	1

（６回コールド）
（国大）小野寺・炭吉－遠藤
（麻布）小林・宮田－国枝・小林
☆本塁打　奥・小野寺・原田（国）
☆三塁打　奥（国）
☆二塁打　原田・小野寺（国）
（戦評）国大は２回に６点、６回に４点を取るなど３本の本塁打を含む２回のビックイニングで相手を突き放し６回コールドで勝利した。

第２試合

防衛大学校	２０３０００００	5
松蔭大学	０１０２２０００１x	6

（防大）綱元・藤本－吉井
（松蔭）緒方－吉田
☆二塁打　小柳（防）
渡部、菊地、須藤、井草（松）
（戦評）両チーム５回までに５点をとり点の取り合いとなる立ち上がりになる。しかし、中盤以降は両投手が要所を抑え投手戦となる。最後は、先頭打者が相手の失策で出塁しヒットと四球でチャンスを作りヒットで１点奪った松陰が勝利した。

◎10月６日　横浜国立大学球場
第１試合

神奈川大学	０００００２００４０	6
横浜国立大学	３０３１００００×	7

（神大）中村祐・高山－鳥取
（国大）針金・小野寺・炭吉－遠藤
☆二塁打　石渡２・高村（神）
小野寺・渡辺２（国）
（戦評）投手と守りの不安定な立ち上がりを攻めた国大が渡辺、小野寺の長打などで４回までに７点差をつけて優位に試合を進める。しかし、神大も５回に木村知、石渡、田中のヒットで２点を返す。８回に４点返し１点差まで追い上げ９回にも高村、深沢の連打で１死２、３塁のチャンスを作るがあと一歩及ばなかった。

第２試合

麻布大学	０１００００００１０	2
松蔭大学	００００２０２０×	4

（麻布）渡辺、平原－小林
（松蔭）緒方－吉田
☆二塁打谷川、田中２、平原、渡辺２（麻）
（戦評）麻布が２回に平原のタイムリーで先制する。しかし、松陰が５回に２点、７回にも２点をあげ逆転しそのリードを先発緒方が完投で守りきった。

第3試合

松蔭大学	１０００３００００	4
神奈川大学	００５００４１０×	10

（松蔭）渡部・緒方－吉田
（神大）中村祐・中村健・岡田－渡辺・吉田
☆三塁打　本間（松）宮国・田中（神）
☆二塁打　渡部秀（松）
（戦評）松陰が初回に２つの四球と相手の失策と渡部秀の長打で先制する。神大は、３回に５点を返し逆転を成功するが５回に守備と投手の制球の乱れで３点を失い１点差まで追

い詰められる。しかし、６回に４点を追加するとリズムを引き寄せ安定感を取り戻した守りでリードを守った。

◎10月11日　横須賀スタジアム
第１試合
横浜市立大学　０１００００００｜１
日本大学生物資源科学部　３２２１００×｜８
（７回コールド）
（市大）小林・平吉－嶋田・小林
（日大）下山田・松田・橋爪－大村
☆二塁打　藤崎（日）
（戦評）日大が初回から連打で得点を重ね４回までに８得点をあげる。守りも堅い守りで市大打線を１点に抑え勝利した。市大は、四死球や失策など守備が乱れリズムを掴むことができなかった。

第２試合
関東学院大学　０００１００００１０｜２
神奈川大学　０００００００００｜０
（関東）戸津－石塚
（神大）高山－鳥取
☆三塁打　石塚裕（関）
（戦評）両投手いい立ち上がりで試合が始まる。４回表、先頭が四球で出塁すると２連打で関学が先制する。続く８回表、先頭がヒットで出塁するとサードの２つの失策で関学が２点目を追加する。すぐさま８回裏に１死２、３塁のチャンスを作るが先発戸津の前に抑えられ２－０で関学が勝利した。

◎10月12日横浜国立大学球場
第1試合
麻布大学　０００００００００｜０
防衛大学校　０００００１００｜１
（麻布）渡辺－小林
（防大）綱元、上田－吉井
☆三塁打　渡辺（麻）
☆二塁打　平原（麻）、内田（防）
（戦評）序盤から両投手の要所を抑える投球と堅い守りで引き締まった試合となる。７回表、先頭が２塁打で出塁すると続く打者が相手の失策で出塁し無死１、３塁のチャンスを作るが続く打者の右飛で３塁走者が本塁でアウトとなり得点を上げることができない。その裏、２本のヒットで先制点をあげた防大が勝利した。

第２試合
松蔭大学　１００００００１３０｜５
防衛大学校　４００００００００｜４
（松蔭）緒方－吉田
（防大）上田・藤本－吉井
☆本塁打　小柳（防）
☆三塁打　本間（松）、牛尾（防）
☆二塁打　館（松）
（戦評）初回、１点を先制されるも小柳の本塁打などで４点を返し逆転に成功する。２回以降は、両投手に抑えられるが終盤に入ると松蔭打線が繋がり８回に逆転し勝利した。

第３試合
日本大学生物資源科学部　００３０１５０１５｜15
横浜市立大学　００３０２００００｜５
（日大）右田・中谷－大村・中村
（市大）小林・平吉・北井－嶋田・小林
☆三塁打　橋爪（日）
☆二塁打　岡本泰、埴生、滝澤（日）
小林（市）
（戦評）日大が18本のヒット15得点をあげ市大に勝利した。市大も10本のヒットを放ち５得点をあげるが、四球や失策でランナーをためて安打を打たれるなどミスがほとんど失点に絡むケースが多かった。

◎10月13日　横浜国立大学球場
第１試合
防衛大学校　０００００１２１０｜４
麻布大学　０００１００００２｜３
（防大）藤本・吉田・上田－吉井
（麻布）平原・渡辺－小林
☆三塁打　吉田（防）
☆二塁打　小川２・久保田・吉井（防）
（戦評）防大は、４回に先制を許すものの６回に同点にすると７回には３本のヒットで２点奪い逆転に成功し８回にはダメ押しの１点をあげ４－３で勝利した。麻布は、防大を上回る12本のヒットを放つものの内野の守備の乱れが失点に繋がりそれが最後に響いた。

◎10月14日　横浜国立大学球場
第１試合
横浜市立大学　１０２１０００｜４
日本大学生物資源科学部　１５００４３×｜13
（７回コールド）
（市大）小林・平吉－嶋田・小林
（日大）杉本・松田・中谷－中村・大村
☆二塁打　小林（市）
滝澤・中村・佐藤・増田２・藤崎（日）
（戦評）市大は、初回に１点を先制し３回にも小林の長打などで２点をあげる。しかし、日大も２回に５点をあげて逆転をするなど６本の二塁打が飛び出すなど長打が効果的に点に結びつき13－４の７回コールドで日大が勝利した。

第２試合
関東学院大学　００１００２７００｜10
横浜国立大学　０００１１１１００｜４
（関東）五十嵐・戸津－石塚
（国大）炭吉・小野寺－遠藤
☆本塁打　柳田（関）
☆二塁打　小池・森２・津野（関）
奥・関（国）
（戦評）関学が３回に先制点をあげる。しかし、国大も４回に同点に追いつくと５回に逆転する。その後も点の取り合いとなり同点のまま７回に入ったが、７回表に柳田の本塁打を含む打者11人の攻撃で７点をとった関学がそのまま逃げ切り勝利した。

最優秀選手　戸津　由博　関東学院大学
３勝０敗、防御率0.303
最優秀投手賞　高山　航　関東学院大学
２勝２敗、防御1.350
首位打者　石塚　裕之　関東学院大学
打率0.462

◎ベストナイン
投手　戸津　由博　関東学院大学
３勝０敗、防御率0.303
捕手　石塚　裕之　関東学院大学
打率 0.513
一塁手　奥　翔伍　横浜国立大学
打率 0.462
二塁手　扇　惇平　関東学院大学
打率 0.394
三塁手　深澤　大輝　神奈川大学
打率 0.323
遊撃手　国枝　巧　麻布大学
打率 0.419

順位	大学名	関東	神大	国大	松蔭	防大	麻布	勝	負	分	勝点	勝率
優勝	関東学院大学		○○	△○	○○	○○	○○	9	0	1		1.000
2位	神奈川大学	●●		○●	○○	○○	○○	7	3	0		0.700
3位	横浜国立大学	△●	●○		○○	○●	○○	6	3	1		0.667
4位	松蔭大学	●●	●●	●●		○○	○○	4	6	0		0.400
5位	防衛大学校	●●	●●	●○	●●		○○	3	7	0		0.300
6位	麻布大学	●●	●●	●●	●●	●●		0	10	0		0.000

外野手　小野寺　拓　横浜国立大学
　　打率 0.333
　　高村　悠斗　神奈川大学
　　打率 0.444
　　田中　宏嗣　神奈川大学
　　打率 0.345
Ｄ　Ｈ　森　　英伸　関東学院大学
　　打率 0.393

秋季リーグ戦に優勝して

関東学院大学　石塚　裕之

夏の清瀬杯が終わって新チームが始動しました。始動して約３ヶ月で秋季リーグを優勝という結果を出すことが出来て本当に嬉しく思います。前のチームからメンバーが殆ど残ったので期待と自信は有りました。しかし、試行錯誤しながらリーグ戦を戦い続けてきました。清瀬杯で一つのミスから失点し悔しい思いをしました。まずは守備力の強化から始めました。また、全日本大会や関東選手権と連日で行われる大会の時投手一人では勝てないと思い、投手力の強化もしてきました。一年生も多く試合に出場したり、ベンチ入りする中でチーム内の競争も激しくなりました。またチーム力も向上してきました。毎年、春季リーグ戦は優勝出来るのですが秋季リーグ戦は優勝出来なかったので、４年振りに優勝出来て本当に良かったです。しかし、リーグ戦優勝止まりではなく、関東選手権、全日本大会を優勝を目指して練習をしていきたいと思います。まだまだ課題が、チームとしても、個人としても有りますがこのオフシーズン、しっかりと身体を作っていき、基本練習を重ねていきチーム最高記録の、全国大会ベスト４を越えられるように頑張っていきたいと思います。

北関東　春季リーグ戦

東地区

◎４月14日　自治医Ｇ球場
第２試合

茨城大学	６	１	５	００				12
宇都宮大学	０	０	０	００				０

（５回コールド）
（茨）椎名－須賀
（宇）村上－宇賀神
☆本塁打　榎戸
☆三塁打　榎戸
☆二塁打　高野・佐藤・榎戸・宇賀神
（戦評）どちらのチームもバッティングが良く打撃戦でした。

第２試合

帝京大学	５	００	００	０	１	８	０	14
自治医科大学	１	００	５	２	００	０	２	10

（帝）田辺－岡野
（自）長尾・勝又－坂田
☆三塁打　臼井・大野
☆二塁打　宮田・前田・勝又・坂田
（戦評）１回に帝京大学が５点先制し、そこから自治医科大学が粘りを見せたのですけど、おしくも負けてしまいました。とても興奮する試合でした。

第３試合

帝京大学	０	２	１	００	０	１	１	０	５
宇都宮大学	０	００	０	２	６	０	１	×	９

（帝）大野・田部－岡野
（宇）村上・竹内－宇賀神
☆本塁打　平山
☆三塁打　宇賀神
☆二塁打　亀井・土屋
（戦評）粘って粘っての最後まで分からなく迫力のある試合でした。

◎４月20日　栃木県営Ｃ球場
第１試合

共栄大学	３	００	１	０	２	１	２	２	11
帝京大学宇都宮	０	００	０	０	０	３	００	３

（共）矢野尾・佐川・岡島－鈴木
（帝）臼井・大野・宮田－山野井
☆本塁打　鈴木（共栄）
☆三塁打　川島（共栄）
☆二塁打　関口貴・矢野尾（共栄）
　　山野井・大野（帝京）
（戦評）効果的に得点を重ねた共栄大学が快勝。３投手の継投により相手を３点に抑えた。

◎５月６日　栃木県営本球場
第１試合

宇都宮大学	００	１	００	３	５	００	９
帝京大学宇都宮	１	２	００	００	００	０	２	５

（宇）竹内－宇賀神
（帝）大野・田邉－岡田・徳川
☆三塁打　平山（宇都宮）
☆二塁打　土岐・土屋・平山（宇）
　　臼井・大野・佐藤（帝）
（戦評）宇都宮大学が14安打の猛攻で９得点。帝京大学宇都宮も最終回四連打で２点返すも反撃はそこまで。

◎５月11日栃木県営本球場
第１試合

宇都宮大学	０	６	０	１	０	１	０	２	０	10
自治医科大学	１	００	００	１	４	１	０	７

（宇）竹内・村上－宇賀神
（自）阿部・勝又－坂田
☆三塁打　平山（宇）
☆二塁打　邉田（自）
（戦評）宇都宮大学が序盤の大量得点で流れを引き寄せ勝利。自治医科大学は３点差まで詰め寄る粘りを見せるも一歩及ばず。

◎５月12日　栃木県営C球場
第2試合

帝京大学宇都宮	００	００	１	１
共栄大学	１	００	８	２	11

（５回コールド）
（帝）大野・田邉－岡野
（共）佐川・岡島－鈴木
☆二塁打　鈴木
（戦評）共栄大学は４回、相手のミスに安打、犠打を絡めて一挙８得点。帝京大学をコールドで封じた。

◎５月18日自治医大グラウンド
第１試合

茨城大学	００	０	２	４	０	０	１	10
帝京大学	００	０	２	０	１	２	００	５

（茨）須賀－椎名－川又
（帝）大野・田邊－岡野
☆本塁打　高野（茨）
☆二塁打　佐藤・榎戸２（茨）
　　大野・田邊２（帝）

西地区

◎４月13日　宮原球場
第１試合
高崎経済大学　００００１０６１０｜８
群馬大学荒牧　１０４３０２００×｜10
（高）橋本・三冨・茂木・野杁－梅田
（群）茂木（孝）・大竹－中野
☆本塁打　山田（高）、櫻井（群）
☆三塁打　綿貫（高）、山下・関口（群）
☆二塁打　宮本・梅田（高）、渋澤（群）
（戦評）長打の多い試合であった。前半は群大荒牧のペースでゲームが進んだ。後半、高経の粘りの攻撃によって２点差まで迫ったものの、群大荒牧が逃げ切った。

第２試合
群 馬 大 学　０３００１００５０｜９
埼 玉 大 学　３０００００００｜３
（群）清水・北村－縣
（埼）三浦・有門・伊勢谷－後藤
☆本塁打　矢嶋（群）
☆三塁打　矢嶋・縣（群）
☆二塁打　大野･須藤（群）､三ツ木（埼）
（戦評）初回に埼玉が３点を先制したが、直後の２回に群馬が追いつき５回に勝ち越し、８回に突き放すという展開になった。埼玉は２回以降群馬の投手陣を攻略することができなかった。

◎４月14日　群馬大学荒牧球場
第１試合
群馬大学荒牧　１０２０００４｜７
埼 玉 大 学　００００００００｜０
（８回コールド）
（群）茂木、大武－中野
（埼）加藤－池田
☆三塁打　関口（群）
☆二塁打　渋澤（群）
（戦評）群大荒牧が８回に４点の猛攻を見せコールドゲームとなった。

◎４月20日　伊勢崎球場
第１試合
高崎経済大学　０００１００２２１｜６
群 馬 大 学　１０１０００３００｜５
（高）橋本・野杁・三冨・塩川－梅田
（群）吉原・大野・北村－縣・横野
☆三塁打　山田（高）、縣（群）
☆二塁打　梅田（高）、和知（高）
（戦評）前半は両チームの投手が好投し、ロースコアのゲームであった。後半にゲームが大きく動いた。７、８、９回と追加点をとった高経が、群大を振り切り、勝利した。

◎４月20日　群馬大学荒牧球場
第１試合
足利工業大学　０００００００００｜０
埼 玉 大 学　００１３００００×｜４
（足）久保田・齋藤－眞藤
（埼）加藤－池田・後藤
☆三塁打　五十嵐（足）
（戦評）埼玉大は投手の加藤が９回を被安打１の見事な投球で抑え、勝利した。

◎４月28日　群馬大学荒牧球場
第２試合
群 馬 大 学　１０００００１０｜２
群馬大学荒牧　２４１１００1x｜９
（７回コールド）
（群）清水・吉原－縣・横野
（荒）大竹・茂木（良）－中野
☆本塁打　澁澤・櫻井２（荒）
☆二塁打　中野・関口・山下・小林（荒）
清水・宮前・吉原・松本（群）
（戦評）荒牧は櫻井が２本の本塁打を放つなど、強打で群馬を圧倒した。群馬は５回以降守備のリズムを取り戻すが、踏ん張りきれなかった。

第２試合
足利工業大学　１４００００００｜５
高崎経済大学　００３０１５３｜12
（７回コールド）
（足）斉藤・久保田－眞藤
（高）茂木・塩川－物江
☆本塁打　善如時（高）
☆二塁打　島田・斉藤（足）
綿貫・小野・山田（高）
（戦評）高崎経済大が序盤に大差をつけられるも粘りを見せ逆転で勝利した。高崎経済大は１点ビハインドの６回打者一巡の猛攻で５点をとり逆転。投げては２回途中登板の塩川は３回以降無失点の力投。足利工業大は２回島田の適時２塁打などで４点をとるも後が続かなかった。

◎４月29日　桐生広沢球場
第１試合
埼 玉 大 学　０２０２０１０００｜５
高崎経済大学　０００５１１１０×｜８
（埼）三浦－池田
（高）三富・橋本・野坈－梅田
☆三塁打　山田（高）
☆二塁打　三ツ木（埼）、小野（高）
（戦評）両大学ともにピッチャーの四球が多かったが、高経は、その四球で得たチャンスを活かせていた。

◎５月４日　伊勢崎市民球場
第１試合
群馬大学荒牧　２０１０００００｜３
高崎経済大学　００２０００００｜２
（群）大武－中野
（高）野杁・橋本－平山
☆本塁打　関口（群）
☆三塁打　山田（高）
☆二塁打　藤生（群）、小野（高）
（戦評）最終回に高崎経済大学がチャンスをつくるも一歩及ばず群馬大学荒牧の勝利となった。

第２試合
足 利 工 業　０００００｜０
群 馬 大 学　２８３０×｜13
（５回コールド）
（足）島田・武田・五十嵐・眞藤－眞藤・藤塚
（群）清水・山田・北村－縣・横野
☆二塁打　松本・須藤・萩原（群）
（戦評）３回までで13点をとった群馬大が大差で勝利した。群馬大は打っては須藤が３安打３打点、投げては清水、山田、北村の無失点リレーで勝利を呼び寄せた。足利工業大は群馬大の投手を前に４安打に抑えられた。

◎５月５日　あずまスタジアム
第１試合
群 馬 大 学　２０１００３０３３｜12
高崎経済大学　０１２０００００３｜６
（群大）吉原－縣
（高経）塩川・橋本・三冨・茂木－梅田
☆二塁打　松本・清水（群）、伊東（高）
（戦評）序盤からゲームが動く展開となった。両チームの投手が粘り強く投げていたが、後半に群大が大きくつきはなし、勝利した。

第２試合
埼 玉 大 学　２０００００１０００｜３
足利工業大学　００２１０１００×｜４
（埼）有門・三浦－後藤・池田
（足）斎藤－眞藤
☆三塁打　斎藤（足）
☆二塁打　田平・谷井・小林（埼）
眞藤２（足）
（戦評）足工が下位打線による集中打で逆転し、接戦を制した。埼玉も田平が３安打を放つなどチャンスを作ったが、後が続かなかった。

◎５月12日　群馬大学荒牧球場
第１試合
高崎経済大学　２６２１００１｜12
足利工業大学　０００３００２｜５
（７回コールド）
（高）塩川・三冨・塩沢－物江・梅田
（足）筒井・斉藤－斉藤・筒井
☆二塁打　山田・伊山・保坂（高）
島田（足）
（戦評）高崎経済大は２回に山田、伊山の連続適時打などで６点をとり、７回コールドゲームで勝利した。足利工業大は４回に櫻井の適時打などで３点、７回にも粘りを見せるが反撃はここまでで終わった。

第２試合
埼 玉 大 学　０００２０１０｜３
群馬大学荒牧　０２４３１２×｜12
（７回コールド）
（埼）三浦－後藤
（群）茂木（考）、茂木－中野
☆本塁打　山下（郡）
☆三塁打　山下（群）
☆二塁打　渋澤・櫻井・吉田（群）
鈴木・三ツ木（埼）
（戦評）点に絡んでいたのは、どれも四球、死球であった。

◎５月18日　あずま球場

第１試合

足利工業大学	００００００００	０
群馬大学荒牧	０００１３３×	７

（７回コールド）

（足）筒井・斉藤－眞藤

（群）茂木（良）－中野

☆三塁打　吉田（群大荒牧）

☆二塁打　小林・茂木（良）・吉田（群）

（戦評）投打がかみ合った群大荒牧が勝利した。

第２試合

埼玉大学	００００００００	０
群馬大学荒牧	００００１０２４	７

（７回コールド）

（埼）村野・有門・伊勢谷－後藤

（群）吉原－縣

（戦評）埼大は守備、投手の乱れから流れが悪くなっていた。

◎５月19日　伊勢崎球場

第１試合

群馬大学荒牧	０１０１３００２０	７
群馬大学	１００００００１０	２

（荒）大竹・茂木（孝）－中野

（群）山田・北村－縣・横野

☆三塁打　山下・木口（荒）

☆二塁打　山下・丸橋（荒）、松本（群）

（戦評）荒牧が４番山下の活躍などで逆転し、勝利を手にした。群馬は先制したものの、２回以降は大竹、茂木（孝）の両投手に抑え込まれ、なかなかチャンスを作ることができなかった。

第２試合

高崎経済大学	００２２００４０１	９
埼玉大学	００００２００１００	３

（高）三浦－後藤

（埼）橋本・野杁－梅田

☆三塁打　山田・善如寺（高）

☆二塁打　新井・梅田（高）、三浦（埼）

（戦評）４番梅田の３安打３打点を筆頭に猛攻を見せた高崎経済大が勝利した。

春季リーグ戦に優勝して

群馬大学荒牧主将　小林　竜成

私たちは、昨年の春季リーグ戦は準優勝ということで、優勝を逃すというとても悔いの残る結果に終わってしまいました。今回のリーグ戦では絶対に優勝しようと、チーム一丸となって、優勝に向かって一戦一戦戦いました。冬は例年以上に下半身強化に取り組み、きつく辛い練習も持ち前の明るさ、元気で全員で乗り越え、シーズンに入ってからは、少ない練習時間でも無駄にすることなく、一人一人が全力で意識高く野球に打ち込み、また、目標を全員で共有することで、チームとしてとても大きくなっていったことが目に見えて分かりました。その結果、１敗はしたものの、勝利を積み重ね、２季ぶりの優勝を勝ち取ることができました。ただ、リーグ戦では、ミスも出たり、気持ちの面で弱い部分が見えたりと、まだまだ上で同等もしくはそれ以上に戦う力はないとチーム全員が実感しました。そのような課題を今後は改善していき、自分たちの野球をしっかりとものにし、今夏出場させていただきます、清瀬杯にむけて連覇という目標を達成するためにも、よりいっそう、野球に本気で打ち込んでいこうと思います。そして、これからもこうしてリーグ戦に参加させていただけることに、感謝の気持ちを忘れずに野球ができることの喜びを感じながら、今後も野球にたいして真剣に取り組んでいきたいと思います。

北関東　秋季リーグ戦

東地区

◎８月24日

第１試合

帝京大学宇都宮	０００２０００	２
宇都宮大学	０１３５２０×	11

（７回コールド）

（帝）臼井・田邊・生島－岡野

（宇）村上－鈴木

☆二塁打　鈴木・宇賀神・村上（宇）

（戦評）村上が七回コールドながら完投。打線もうまくつながり宇都宮大学が快勝した。帝京大学は、三投手の継投が実らず。

第２試合

共栄大学	１３１０５	10
茨城大学	０００００	０

（５回コールド）

（共）石川－冨塚

（茨）小川・高野・椎名－須賀

☆二塁打　川島・関口（貴）・佐藤２・鈴木（共）、須賀（茨）

（戦評）共栄大学の打線がうまくつながり、大量得点。茨城大学は見せ場を作ることも出来ず、完敗。

◎８月31日

第１試合

宇都宮大学	０２０００２０	４
共栄大学	３１２３０１1x	11

（７回コールド）

（宇）村上・平山－鈴木

（共）岡島・石川－冨塚

☆三塁打　斉藤（共）

☆二塁打　川島・関口（堅）、鈴木（共）

（戦評）初回に３点をリードした共栄大学が快勝。宇都宮大学は村上が誤算。

第２試合

自治医科大学	２０２０００２００	６
帝京大学宇都宮	２０１０００００４×	７

（自）勝又・松浦・勝又－藤永

（帝）大野・臼井・鈴木－岡野

☆三塁打　邉田・勝又・森江

☆二塁打　内藤・徳川・亀井

（戦評）初回に２点ずつを奪う激しい展開。８回に３点差をひっくり返した帝京大学宇都宮の逆転勝利。

◎９月１日

第１試合

宇都宮大学	２１０１３５０	12
自治医科大学	００１０１２０	４

（８回コールド）

（宇）村上－宇賀神

（自）山本・阿部・邉田・阿部－藤永

☆本塁打　邉田（自）

☆二塁打　内藤（自）

（戦評）常に余裕をもって試合を作ってきた宇都宮大学が快勝。自治医科大学は邉田のランニングホームランなどで意地を見せたが、勝利することはできなかった。

第２試合

帝京大学宇都宮	３	３	０	１	０	４	11
茨 城 大 学	０	５	０	６	２	×	13

（６回コールド）

（帝）大野・臼井－岡野
（茨）椎名・高野－須賀
☆三塁打　長山（茨）
☆二塁打　久保田･山野井･宮田･佐藤(帝)
高野・佐藤・椎名（茨）

（戦評）一時は帝京大学が６点をリードしたものの、茨城大学が集中打で逆転。雷によりコールドゲームとなった。

◎９月７日
第１試合

茨 城 大 学	１	１	０	４	０	５	11
帝 京 大 学	０	０	１	０	０	０	１

（６回コールド）

（茨）小川－須賀
（帝）大野・臼井－岡野
☆本塁打　岡野（帝）
☆二塁打　川又・篠原（茨）

第２試合

自治医科大学	０	０	０	０	０	０	０	０
宇都宮大学	０	０	１	１	５	０	×	７

（７回コールド）

（自）松浦・山本－藤永
（宇）村上・大井川－宇賀神
☆三塁打　村上（宇）
☆二塁打　平山（宇）

◎９月14日
第１試合

宇都宮大学	０	２	０	０	０	０	０	２
茨 城 大 学	５	１	０	１	０	０	2×	９

（７回コールド）

（宇）村上－鈴木
（茨）椎名－須賀
☆二塁打　佐々木（茨）

第２試合

自治医科大学	０	０	０	３	０	１	４
共 栄 大 学	３	１	３	１	０	6×	14

（６回コールド）

（自）児玉・森江・阿部－藤永
（共）石川（正）・佐川－冨塚
☆本塁打　川島（共）
☆三塁打　石川（共）
☆二塁打　冨塚（共）

◎９月23日
第1試合

共 栄 大 学	３	２	1	０	０	０	15
帝 京 大 学	１	１	２	０	0×	４

（５回コールド）

（共）石川・永島－冨塚
（帝）田邊・岡田・鈴木－岡野
☆本塁打　亀井（帝）
☆三塁打　亀井（帝）
☆二塁打　川島・関口（共）
亀井・大野・山野井（帝）

第２試合

茨 城 大 学	２	３	１	１	０	１	１	４
自治医科大学	２	００	１	０	０	０	0×	３

（８回コールド）

（茨）小川・椎名－須賀
（自）山本・阿部・邉田－坂田
☆本塁打　佐々木（茨）
☆三塁打　川又・椎名（茨）
☆二塁打　西尾（自）

◎９月28日
第１試合

共 栄 大 学	４	０	２	００	１	０	２	２	11
自治医科大学	０	２	００	１	０	２	００	０	５

（共）永島・岡島・佐川・石川－冨塚
（自）阿部・松浦・山本・藤永－坂田
☆本塁打　冨塚（共）、松浦（自）
☆三塁打　山本・松浦（自）
☆二塁打　海野・川島・斉藤（共）
松浦（自）

第２試合

茨 城 大 学	０	０	０	３	１	０	００	４
宇都宮大学	７	００	０	２	０	００	０	×	９

（茨）椎名・高野－土田
（宇）村上－宇賀神・鈴木
☆本塁打　平山（宇）
☆二塁打　村上（宇）

◎10月12日
第１試合

茨 城 大 学	０	０	０	０	１	００	３	４
共 栄 大 学	１	００	２	０	０	０	０	２×	５

（茨）椎名・小川－須賀
（共）石川－冨塚
☆二塁打　小川（共）

第２試合

宇都宮大学	１	００	１	００	０	００	０	２
帝 京 大 学	００	３	００	０	０	２	０	×	５

（宇）平山・大井川－鈴木
（帝）生島・大野－岡野

◎10月14日
第1試合

共 栄 大 学	１	００	００	３	１	２	１	８
宇都宮大学	０	００	００	６	００	０	０	６

（共）岡島・石川－冨塚
（宇）村上・平山－宇賀神
☆三塁打　平山（宇）
☆二塁打　安東・村上（宇）

第２試合

帝 京 大 学	０	２	１	１	０	０	１	１	６
自治医科大学	１	２	２	００	３	３	2×	13

（８回コールド）

（帝）臼井・大野・岡野－岡野・岡田
（自）勝又－坂田
☆本塁打　亀井（帝）
☆三塁打　阿部（自）
☆二塁打　大野・前田（帝）
松浦・阿部（自）

◎10月19日
第１試合

自治医科大学	１	０	０	０	０	０	０	１
茨 城 大 学	２	１	０	０	５	０	×	８

（７回コールド）

（自）松浦・勝又－藤永
（茨）篠原・高野－須賀
☆三塁打　勝又（自）
☆二塁打　榎戸３・篠原・高野・佐藤・須賀（茨）

第２試合

帝京大学	０	０	０	０	２	０	０	１	３
共栄大学	３	１	０	０	１	０	１	4×	10

（８回コールド）

（帝）大野・生島－岡田
（共）永島・佐川－冨塚
☆本塁打　川島（共）
☆二塁打　久保田（帝）、永島･川島（共）

西地区

◎８月24日　栃木県営Ｃ球場
第１試合
足利工業大学　００３０３０００｜６
高崎経済大学　３０００３００２×｜８
（足）眞藤・島田・久保田－西岡
（高）野込・野口・小杉・橋本－物江
☆本塁打　西岡（足）
☆二塁打　原・西岡（足）
綿貫・山田・伊山（高）
（戦評）両チーム先発投手が６失点と試合をつくれなく、中継ぎ投手の活躍が勝敗を左右することとなった。足利工業大学は、チャンスこそあったがあと１本がでなかった。

第２試合
群馬大学　００２００００７｜９
埼玉大学　００００００１0x｜１
（８回コールド）
（群）吉原・横野－縣・加藤
（埼）高橋・伊勢谷・田尻－安井
☆二塁打　大野・須藤・横野（群）
清水（埼）
（戦評）群馬が８回に一挙にリードを広げ、勝利を掴んだ。埼玉は一時は１点差に迫ったものの、投手陣が踏ん張りきれなかった。

◎９月１日　群馬大学荒牧球場
第１試合
群馬大学　１００３１０３｜８
足利工業大学　００００００００｜０
（７回コールド）
（群）大野・山田・北村－縣
（足）斉藤・眞藤・島田・筒井－西岡
☆三塁打　坂口（群）
☆二塁打　大野（群）、島田（足）
（戦評）初回先制した群馬大学が試合を優位に進めた。４回群馬大学の攻撃、四球と３連打で３点を追加した。足利工業大学は６回、リリーフ登板した山田から得点圏に走者を進めるもあと１本がでなかった。

第２試合
埼玉大学　００５０００１０３｜９
群馬大学荒牧　０３１００１１１０｜７
（埼）高橋－安井
（群）三上・大竹－本間
☆三塁打　三上（群）
☆二塁打　鈴木・安井・三ツ木（埼）
関口・大竹（群）
（戦評）序盤から点の取り合いになるも埼玉大学が９回に３得点で逆転し勝利。

◎９月８日　群馬大学荒牧球場
第１試合
群馬大学荒牧　０００１２００００｜３
高崎経済大学　０００２２０００×｜４
（群）大竹－本間
（高）野口－物江
☆三塁打　佐藤（群荒）
☆二塁打　和知・宮本（高）、澁澤（群）
（戦評）失点こそ四死球や連打が絡んだものの両投手の好投が、光る試合であった。

◎９月14日　あずまスタジアム球場
第１試合
群馬大学荒牧　０００１２１０１１｜６
群馬大学　０００００１２０１｜４
（荒牧）大竹・茂木（孝）－本間
（群）吉原・横野・北村－縣
☆本塁打　加藤（群）
☆二塁打　関口・本間（荒）
（戦評）荒牧が着実に追加点を奪い、粘る群馬を振り切った。

第２試合
高崎経済大学　０００００６０１｜７
埼玉大学　０００００００１｜１
（高）橋本・野杁－物江
（埼）加藤・有門・田尻－安井
☆二塁打　橋本（高）、高橋（埼）
（戦評）中盤まで両先発が好投するも７回に高崎経済大学が６点を挙げ快勝。

◎９月22日　群馬大学荒牧球場
埼玉大学　１００００００００｜１
高崎経済大学　２００２００１０×｜５
（埼）野口・三富－安井
（高）加藤－物江
☆二塁打　三井（埼）、和知（高）
（戦評）序盤、中盤、終盤に加点した高崎経済大学が勝利した。初回鈴木のタイムリーヒットで先制したが、その後散発5安打で追加点を入れることができなかった。高崎経済大学は和知の二塁打や新井のタイムリーで試合を決めた。

◎９月23日　あずまスタジアム球場
第１試合
足利工業大学　００００００００｜０
群馬大学　０２３１１１×｜８
（７回コールド）
（足）筒井・島田－西岡
（群）横野・山田－坂口・加藤
☆三塁打　坂口（群）
☆二塁打　島田（足）、横野・江田（群）
（戦評）荒牧が着実に追加点を奪い、粘る群馬を振り切った。

第２試合
高崎経済大学　０１３０００００００｜４
群馬大学荒牧　０００００００２3x｜5x
（高）橋本・野杁・三富－物江
（群）三上・茂木孝－本間
☆三塁打　綿貫（高）
☆二塁打　栗原（高）、澁澤・茂木秀（群）
（戦評）群馬大学荒牧が８、９回に４点差を逆転しサヨナラ勝ち。

◎９月28日　桐生広沢球場
第１試合
群馬大学　１０１３０１０００｜６
群馬大学荒牧　１００００００５０｜６
（群）大野・横田・北村－坂口・加藤
（荒牧）三上・茂木－本間
☆三塁打　関口（荒牧）
☆二塁打　石崎（群）、村上・佐藤（荒牧）
（戦評）群大荒牧先発の三上君が初回からリズムが作れず、四死球がらみで４回５失点と序盤は群大医学部の一方的な試合運びとなった。その後茂木君がリズムを作り、８回に７回からマウンドに立つ横野を攻めたて一挙５点を取り引き分けとなった。

第２試合
足利工業大学　１７００００１２０｜11
埼玉大学　１１０１１００４０｜８
（足）筒井・久保田・島田－井出・西岡
（埼）有門・田尻・高橋－安井
☆三塁打　西岡（足）
小倉・青野・高橋（埼）
☆二塁打　久保田・竹田・矢木（足）
小柳・青野（埼）
（戦評）足利工業大学がリードし逃げ切る。

◎10月５日　伊勢崎球場
第２試合
群馬大学荒牧　０１０１２０１０２｜７
埼玉大学　０００００１００｜１
（群）大竹・三上－本間
（埼）田尻・加藤－安井
☆本塁打　関口（群）
☆二塁打　藤生（群）
（戦評）序盤から得点を重ねた群馬大学荒牧が快勝。

◎10月６日　群馬大学荒巻球場
第１試合
高崎経済大学　１０００６０４｜11
群馬大学　０００１００×｜１
（７回コールド）
（高）橋本－物江
（群）吉原・横江－坂口
☆二塁打　小野・綿貫・宮本・塩川（高）
（戦評）群大は、チャンスを貰いながらも活かせなかったのが、敗因だと思った。

第２試合
足利工業大学　００００００００｜０
群馬大学荒牧　０００１１１4x｜７
（７回コールド）
（足）久保田、島田－西岡
（荒牧）三上－本間
☆本塁打　関口（荒）
☆二塁打　藤生・櫻井（陽）・櫻井（慎）・秋田（荒）
（戦評）荒牧が攻守ともに足工を圧倒した。荒牧先発の三上は散発３安打に抑え、足工に付け入る隙を与えなかった。

◎10月13日　あずま球場
第１試合
高崎経済大学　４１０６００13｜24
足利工業大学　２０２００１１｜６
（７回コールド）
（高）小杉・野込・塩沢・茂木・三富－風間
（足）斉藤・島田－西岡
☆本塁打　保坂（高）
☆三塁打　北原（高）
☆二塁打　伊山（高）
新井・久保田・染谷・金子（足）

（戦評）高崎経済大学が打者一巡の猛攻を二回見せるなど、一方的な試合展開となってしまった。

第２試合

埼 玉 大 学	２５００００００	7
群 馬 大 学	０１００００５０	6

（埼）加藤・高橋・田尻－池田
（群）横野・山田・北村・清水－加藤
☆二塁打　池田･小倉･三ツ木･安井（埼）
石崎（群）

（戦評）群大は、後半においあげてきたが、三者凡退が多く、リズムが、悪くなっていた。

新関東大学　春季リーグ戦

１　部

◎４月13日　芝浦工業大学グラウンド
第１試合

東京都市大学	０３０１０００	4
都留文科大学	５０３２１０×	11

（７回コールド）
（東）秋元－上野・坂井田
（都）平野・北村－岩崎
☆本塁打　坂井田（東）
☆三塁打　岡田２・武田・平野（都）
☆二塁打　上矢２・北村・平野（都）
第２試合

芝浦工業大学	００００２	2
創 価 大 学	３２７２×	14

（５回コールド）
（芝）西脇－森
（創）市川－神野
☆三塁打　和田３・乙井（創）
☆二塁打　武富・高橋・神野（創）
第３試合

日本大学理工学部	２１１０１０１００	6
北 里 大 学	０００１１００１０	3

（日）三科－石橋
（北）豊田－平井
☆三塁打　小泉（日）、松下（北）
☆二塁打　石橋・小泉（日）

◎４月14日　北里大学三の原球場
第１試合

北 里 大 学	００００００１０	1
創 価 大 学	０１２１０４×	8

（７回コールド）
（北）小林－豊田
（創）佐野・近藤・柴－神野
☆本塁打　乙井（創）
☆二塁打　豊田・國本（北）
第２試合

日本大学理工学部	０００００００２０	2
東京都市大学	０００００１００４×	5

（日）石田－石橋
（東）秋元－坂井田
☆三塁打　石橋（日）
☆二塁打　石橋（日）、中井・永田（東）
第３試合

都留文科大学	３０３００２０	8
芝浦工業大学	００００００００	0

（７回コールド）
（都）平野－岩崎
（芝）古川－田代
☆本塁打　上矢・荷見（都）
☆二塁打　荷見（都）、西脇（芝）

◎４月20日　北里大学三の原球場
第１試合

創 価 大 学	０００３０１２２	8
東京都市大学	０００００００００	0

（創）近藤－神野
（東）秋元－坂井田
☆本塁打　小谷（創）
☆二塁打　藤本・神野（創）、中井（東）
第２試合

芝浦工業大学	１２００００８	11
北 里 大 学	００２００００	2

（７回コールド）
（芝）小池－田代
（北）小林・河野－平井
☆三塁打　田代（芝）
☆二塁打　隅田・谷中・西脇・武本（芝）
豊田（北）
第３試合

都留文科大学	１１１００００	3
日本大学理工学部	００６１３０×	10

（７回コールド）
（都）平野－岩崎
（日）三科・石田－西ヶ谷・石橋
☆二塁打　岡田・平野・荷見（都）
山野・石橋・山口（雄）２・
小泉・野中（日）

◎４月27日　北里大学三の原球場
第１試合

芝浦工業大学	１１００００００１０	3
東京都市大学	００１１０２１０×	5

（芝）小池－森
（東）平岩・秋元－上野・坂井田
☆三塁打　平井・永田（東）
☆二塁打　西脇（芝）、坂井田２（東）

第２試合

北 里 大 学	１０１１００００１	4
都留文科大学	００３３００３０×	9

（北）豊田－平井
（都）平野・北－岩崎
☆本塁打　松下・小林（北）
☆三塁打　小林（北）
☆二塁打　豊田・松下・國本（北）
岡田・北・中込（都）

第３試合

日本大学理工学部	０００２０２００８	12
創 価 大 学	０００００００００	0

（日）三科・石田－石橋
（創）市川・近藤・星－神野
☆本塁打　山口（雄）（日）
☆二塁打　山野２・小林・近藤・石橋・
大竹（日）、藤本（創）

◎４月28日　北里大学三の原球場
第１試合

北 里 大 学	１０２３００００００	6
日本大学理工学部	３６０００１１０×	11

（北）小林・三田－平井
（日）三科・原口・石田－石橋
☆三塁打　山口（雄）（日）
☆二塁打　豊田・松下・小林（北）
山野・小林（日）

第２試合

都留文科大学	０３１１００００２	7
東京都市大学	０００００１０００２	3

（都）平野－岩崎
（東）秋元－坂井田
☆三塁打　岡田（都）
☆二塁打　上矢・北村・岡田・岩崎（都）
平井（東）

第３試合
創 価 大 学　２４１１０１７｜16
芝浦工業大学　２０００００００｜２
（７回コールド）
（創）柴・星－神野
（芝）小池－田代
☆本塁打　高橋（創）
☆二塁打　澤田３･小谷･和田･小屋敷(創)

◎５月３日　北里大学三の原球場
第１試合
芝浦工業大学　０００１００００｜１
都留文科大学　３２０００００２×｜７
（芝）小池－田代
（都）平野－岩崎
☆本塁打　荷見・岡田（都）
☆三塁打　岡田（都）
☆二塁打　小川（芝）、上矢・山本（都）
第２試合
東京都市大学　０００００３００１｜４
日本大学理工学部　３０３１００００１×｜８
（東）秋元－坂井田
（日）三科－石橋
☆三塁打　永田（東）
☆二塁打　山野・小林・石橋（日）

第３試合
創 価 大 学　４２００００２００｜８
北 里 大 学　０２００００１００｜３
（創）近藤・市川－神野
（北）小林・三田－平井・小野寺
☆二塁打　和田２・正司（創）
小野寺（北）

◎５月５日北里大学三の原球場
第１試合
北 里 大 学　００７０２００４｜13
芝浦工業大学　０１０２０３００｜６
（８回コールド）
（北）三田－小野寺
（芝）小池－田代
☆二塁打　苅谷・三島・五十嵐２・國本・志村（北）
西脇・武田２・庄司（芝）
第２試合
東京都市大学　０００００００００｜０
創 価 大 学　１０２０００２２×｜７
（８回コールド）
（東）秋元－坂井田
（創）柴－神野
☆本塁打　澤田（創）
☆二塁打　坂井田（東）、志垣（創）
第３試合
日本大学理工学部　０００１２００４０｜７
都留文科大学　２００００１０１０｜４
（日）三科・石田－石橋
（都）平野－岩崎
☆本塁打　山野（日）
☆三塁打　岡田（都）
☆二塁打　大竹（日）
上矢・岩崎・荷見・武田（都）

◎５月11日　北里大学三の原球場
第１試合
創 価 大 学　１００４２０１００｜８
都留文科大学　００１１７３１０×｜13
（創）柴・佐野・近藤－神野
（都）平野－岩崎
☆本塁打　高橋２（創）
上矢・岡田・荷見（都）
☆二塁打　和田・三成（創）
岩崎・岡田・北村（都）
第２試合
芝浦工業大学　０００００００｜０
日本大学理工学部　２０４３０１ｘ｜10
（６回コールド）
（芝）小池－森
（日）田中－山口（浩）
☆二塁打　山野２・小林・西ヶ谷（日）

◎５月12日　北里大学三の原球場
第１試合
東京都市大学　５０１０１０６｜13
芝浦工業大学　１０００２０２｜５
（７回コールド）
（都）平岩－上野
（芝）森－田代
☆本塁打　永田（東）、隅田（芝）
☆二塁打　上野・平井・秋元２（東）
隅田・森・小川（芝）
第２試合
都留文科大学　１２００２００１１｜７
北 里 大 学　０００００３０００｜３
（都）平野－岩崎
（北）三田－小野寺
☆本塁打　松下（北）
☆二塁打　北村・平野２（都）
苅谷・國本・平井（北）
第３試合
創 価 大 学　００００１００｜１
日本大学理工学部　０６００２１×｜９
（７回コールド）
（創）市川・柴－神野
（日）三科・石田－石橋
☆三塁打　小泉（日）
☆二塁打　乙井・神野（創）
古谷・小林・須藤（日）

◎５月18日　北里大学三の原球場
第１試合
都留文科大学　１０００１００００｜２
創 価 大 学　１０５０００００×｜６
（都）平野－岩崎
（創）柴－神野
☆二塁打　岡田・荷見・山本（都）
正司・高橋（創）
第２試合
日本大学理工学部　１０００００００００｜１
芝浦工業大学　２０００３０１０×｜６
（日）石田－石橋
（芝）小池－田代
☆二塁打　森２・小川２（芝）
第３試合
北 里 大 学　１００１３１０３１｜10
東京都市大学　２００１００００３｜６
（北）三田・小林－小野寺
（東）平岩・秋元－坂井田
☆二塁打　苅谷２・松下２（北）
重富（東）

◎５月19日　北里大学三の原球場
第１試合
東京都市大学　０２００００００１０｜３
北 里 大 学　１３００１０３０×｜８
（東）秋元－坂井田
（北）小林－小野寺
☆三塁打　國本（北）
☆二塁打　坂井田・秋元・高木（東）
松下２（北）

◎５月25日　北里大学三の原球場
第１試合
創 価 大 学　１０１３００４００｜９
都留文科大学　４２００００２０００｜８
（創）柴・市川－神野
（都）平野－岩崎
☆本塁打　高橋（創）、荷見・中込（都）
☆二塁打　和田・高橋・神野（創）
山本・武田（都）

最優秀選手　小泉　勇人　日本大学理工学部
最優秀投手賞　石田　哲也　日本大学理工学部
首 位 打 者　岡田　大志　都留文科大学

◎ベストナイン
投　手　平野　卓都　留文科大学
捕　手　坂井田卓也　東京都市大学
一塁手　中込　涼都　留文科大学
二塁手　森　大貴　芝浦工業大学
三塁手　山口　雄也　日本大学理工学部
遊撃手　正司　貴久　創価大学
外野手　小林　秀将　日本大学理工学部
松下　雄　北里大学
澤田　亮平　創価大学
指名打者　西脇　一樹　芝浦工業大学

順位	大学名	日大理	創価大	都留文科	北里大	都市大	芝浦工業	勝	負	分
優勝	日本大学理工学部		○○	○○	○○	●○	○●	8	2	0
2位	創価大学	●●		●○○	○○	○○	○○	8	3	0
3位	都留文科大学	●●	○●●		○○	○○	○○	7	4	0
4位	北里大学	●●	●●	●●		○○	●○	3	7	0
5位	東京都市大学	○●	●●	●●	●●		○○	3	7	0
6位	芝浦工業大学	●○	●●	●●	○●	●●		2	8	0

春季リーグ戦に優勝して

日本大学理工学部　須藤　将太

まず、春季リーグを23年ぶりに優勝できたことを嬉しく思います。私たち日大理工学部は、学校が始まってしまうとチームの全体練習が出来なくなってしまうという中で、各自が責任を持って練習をしていて、この習慣はOBの方々が作った伝統であり、今年のチームは特に意識を持ってやっていた為、このような素晴らしい結果がついてきたと思っています。

春季リーグでは、野手・投手陣共によく頑張ってくれていました。野手陣は、今年は途中で途切れずに「打線」となっていたと思います。去年はチャンスであと１本が出ずに点が取れないということが多くありましたが、今年はどこからでも点が取れていたことが優勝という結果に繋がったと思います。その野手陣以上に今年は投手陣が良く頑張ってくれました。ピッチング練習ができない中で頑張ってくれたので守備のリズムが良くなってバッティングにも繋がったのかなと思いました。今リーグでは、優勝を目標にやってきた中、２戦目で早くも負けてしまったのですが、その敗戦のおかげで今のチーム状況を全員で考えることが出来たので、今となると良かったと思います。

リーグ戦の優勝の結果、久しぶりに全日本予選会にも出場できました。ここ２年位あと一歩という所で予選会に出ることが出来ていなかったのでやっとの思いでこの場所に来れてよかったです。３月の関東選手権、そしてこの予選会を経験したことで、私たちの実力の無さを痛感させられましたが、他リーグの強豪チームとの対戦したことが、これからさらに高い目標に向かって進めることが出来ると思うので、この悔しさを糧にして、さらにチーム力を上げてもっと勝てるように日々精進していきたいと思います。

これからは、秋季リーグ優勝、そしてその先の関東王座優勝という目標に向かって進んでいきます。私たちの代は関東王座を経験したのが誰もいないので、関東王座で今までの借りを返せるように必ず行きたいと思います。そのためには、リーグ春秋連覇という壁がありますが、この壁を越えられるように頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、私たちがこのような結果を収めることができたのも、新関東リーグの関係者の皆様、顧問の先生、そして日本大学理工学部準硬式野球部を応援してくださいましたOB・Oグラウンド、さらにはその他関係者の皆様のおかげでここまでくることが出来ました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。私たちはまだまだ発展途上で未熟なチームなので、これからも皆様にご迷惑をかけると思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

２　部

◎４月14日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

日本社会事業大学	１１２１０１６３	15
昭 和 大 学	００００００６０	６

（８回コールド）
（社）馬場－山本（樹）
（昭）荒川・石橋－廣瀬
☆本塁打　黒田（社）
☆二塁打　鍵和田・木村（社）
第２試合

昭和薬科大学	２００１１	４
日本大学法学部	２９８８×	27

（５回コールド）
（薬）大澤・神山－高橋（透）
（日）古谷野・近藤－稲葉
☆本塁打　山崎（日）
☆二塁打　神山（薬）
森・狩野・大島・古谷野・山崎（日）

◎４月28日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

日本社会事業大学	１３３１０１０	９
国士舘大学世田谷	９４１００２×	16

（７回コールド）
（社）馬場・鍵和田－山本（樹）
（国）田村・秋山・並木－白鳥・矢崎
☆本塁打　清成・竹之内２（社）
高橋（国）
☆二塁打　清成・木村（社）
橋本（将）・元吉（国）
第２試合

昭 和 大 学	１５０４１５０	16
日本大学法学部	０１００１５０	７

（７回コールド）
（昭）松田－廣瀬
（日）古谷野・近藤－稲葉
☆本塁打　安田（昭）、小田（日）
☆二塁打　森（日）

◎４月20日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

日本大学法学部	１３２２３００	11
国士舘大学世田谷	０２０１０００	３

（７回コールド）
（日）古谷野－稲葉
（国）並木・高橋・田村－矢崎
☆本塁打　狩野・古川・古谷野（日）
西澤２（国）
☆二塁打　江黒（日）

◎５月４日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

昭 和 大 学	１４０４１２	12
昭和薬科大学	００１０００	１

（６回コールド）
（昭）松田－廣瀬
（薬）大澤・吉村－高橋・岩崎
☆本塁打　井上・廣瀬・安田（昭）
☆二塁打　伊藤・平川・廣瀬・浜辺（昭）
第２試合

日本社会事業大学	００２００４１３０	10
日本大学法学部	０５０００７１×	13

（社）馬場－山本（樹）
（日）古谷野－稲葉
☆本塁打　清成・木村（社）
大島・江黒・古川・狩野（日）
☆二塁打　吉田（日）

◎５月６日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

国士舘大学世田谷	２７７４３	23
昭和薬科大学	００１０１	２

（５回コールド）
（国）田村・両田・並木－白鳥
（薬）高山・神子－堀井
☆本塁打　橋本(修)・橋本(将)・嶋田(国)
☆二塁打　高橋・西澤２・白鳥２・橋本（将）・嶋田（国）
第２試合

昭 和 大 学	１０４０２００	７
日本社会事業大学	００００００００	０

（７回コールド）
（昭）松田－廣瀬
（社）鍵和田・馬場－山本（樹）
☆本塁打　安田・米谷（昭）
☆二塁打　平川・廣瀬・米谷・武井（昭）

◎５月12日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

日本社会事業大学	１０１００１１	４
国士舘大学世田谷	００５２１３×	11

（７回コールド）
（社）馬場－山本（樹）
（国）田村－矢崎
☆本塁打　木村・但野（社）
橋本（修）・矢崎・西澤（国）
☆二塁打　高橋（国）
第２試合

昭 和 大 学	３０００６３１０５	18
昭和薬科大学	１１０４２００００	８

（昭）松田－廣瀬
（薬）神子・吉村－神山
☆本塁打　平川（昭）、山岸・神子（薬）
☆二塁打　米谷（昭）、池田（薬）

◎５月18日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

国士舘大学世田谷	４００４００２	10
日本大学法学部	０１０１０１０	３

（７回コールド）
（国）田村－矢崎
（日）古谷野－稲葉
☆本塁打　矢崎（国）、吉田（日）
☆二塁打　西澤・白鳥・橋本（修）（国）
江黒（日）

◎５月19日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
昭和薬科大学　００３３０４２００｜12
日本社会事業大学　１４１１００２２０｜11
（薬）大澤・吉村－神山
（社）馬場・鍵和田－山本（樹）
☆本塁打　神山（薬）、吉田（社）
☆三塁打　高橋（薬）
☆二塁打　大澤・嶋田（薬）
清成・鍵和田（社）
第２試合
昭 和 大 学　０１３０１０１｜６
日本大学法学部　０２５００２４｜13
（７回コールド）
（昭）水沼・原田・松田－廣瀬
（日）大島－稲葉
☆本塁打　稲葉（日）

◎５月25日　北里大学三の原球場
第１試合
日本大学法学部　０００００２４１１｜８
日本社会事業大学　００１０００００１｜２
（日）大島－稲葉
（社）鍵和田－山本（樹）
☆本塁打　大島（日）、竹之内（社）
☆二塁打　稲葉（日）、山本（樹）（社）

◎５月26日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
昭和薬科大学　０１２０００００００｜３
日本大学法学部　０２２４００１０×｜９
（薬）神子－神山
（日）近藤・古谷野－稲葉
☆本塁打　西村・高橋（薬）
大島・江黒・古川（日）
☆二塁打　狩野（日）
第２試合
国士舘大学世田谷　６２０２０｜10
昭 和 大 学　００００００｜０
（５回コールド）
（国）並木－矢崎・白鳥
（昭）松田－廣瀬
☆二塁打　西澤・橋本（将）（国）
廣瀬（昭）

◎６月２日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
昭和薬科大学　０００２０２００１｜５
日本社会事業大学　０００００００２０｜２
（薬）神子－神山
（社）鍵和田・清成－吉田
☆本塁打　西村・神子（薬）
☆二塁打　宮本（薬）、清成・木村（社）

第２試合
昭和薬科大学　２００２１２｜７
国士舘大学世田谷　４１１５３３｜17
（６回コールド）
（薬）大澤・吉村－神山
（国）並木・高橋－白鳥
☆本塁打　高橋・吉村（薬）
西澤・小笠原（国）
☆二塁打　西澤・嶋田２・横溝２（国）
第３試合
昭 和 大 学　３１００１０１１０｜７
国士舘大学世田谷　０１０１４１５１×｜13
（昭）松田－廣瀬
（国）田村－矢崎
☆本塁打　井上（昭）
高橋２・矢崎４・嶋田・阿部（国）
☆二塁打　井上・平川・廣瀬（昭）
嶋田（国）

最優秀選手　嶋田　頌吾　国士舘大学世田谷
最優秀投手賞　田村　勇樹　国士舘大学世田谷
首 位 打 者　西澤　光貴　国士舘大学世田谷

順位	大　学　名	国士舘大学世田谷	日本大学法学部	昭和大学	昭和薬科大学	日本社会事業大学	勝	負	分
優勝	国士舘大学世田谷		●○	○○	○○	○○	7	1	0
２位	日本大学法学部	○●		●○	○○	○○	6	2	0
３位	昭　和　大　学	●●	○●		○○	●○	4	4	0
４位	昭和薬科大学	●●	●●	●●		○○	2	6	0
５位	日本社会事業大学	●●	●●	○●	●●		1	7	0

３　部

◎４月14日　多摩美術大学グラウンド
第１試合
埼玉医科大学　００１２０３１５｜12
多摩美術大学　００１０１００１｜３
（８回コールド）
（埼）樋口－平田
（多）重本・矢野－平野
☆三塁打　三村・西元（埼）
☆二塁打　加藤・樋口（埼）、倉（多）
第２試合
東京大学医学部　０１２０１０２３０｜９
星 薬 科 大 学　００２０１０１５1x｜10
（東）齋藤・宮脇・齋藤－伊藤
（星）長澤・大久保－槇
☆二塁打　箱崎・宮脇・平川（東）
大木・瀧谷・川嶋・染谷（星）

◎４月28日　多摩美術大学グラウンド
第１試合
星 薬 科 大 学　０１００２０２００｜５
埼玉医科大学　０１０００３２４×｜10
（星）唐澤・帯津－小澤・大久保
（埼）樋口・平田－平田・三村
☆本塁打　三村（埼）
☆二塁打　小澤（星）
窪田・樋口・西元（埼）
第２試合
多摩美術大学　１０６10２１｜20
東京大学医学部　２５６５８×｜26
（６回コールド）
（多）重本・矢野・越智－平野
（東）齋藤・宮脇・荒井・宮脇・伊藤－恒矢
☆本塁打　箱崎（東）
☆二塁打　平野・副島・矢野（多）
伊藤２・佐藤・恒矢（東）

◎５月３日　多摩美術大学グラウンド
第１試合
東京大学医学部　００１０２００００｜３
埼玉医科大学　２０３１００２０×｜８
（東）宮脇・齋藤－恒矢
（埼）樋口－関
☆本塁打　伊藤（東）、三村（埼）
☆三塁打　窪田（埼）
☆二塁打　伊藤・佐藤（東）、西元（埼）
第２試合
星 薬 科 大 学　０
多摩美術大学　９
※星薬科大学不戦敗

◎５月５日多摩美術大学グラウンド
第１試合
東京大学医学部　００２００２０３０｜７
星 薬 科 大 学　２０００１３０１1x｜８
（東）斎藤・宮脇－恒矢
（星）唐澤－小澤
☆本塁打　川嶋（星）
☆二塁打　伊藤・山下２（東）
唐澤３・小澤（星）

第２試合

埼玉医科大学	０	11	15	３	20
多摩美術大学	０	０	１	５	０	６

（５回コールド）

（埼）三村－西元
（多）重本・越智－平野
☆本塁打　三村（埼）
☆二塁打　水澤・西元・樋口・加藤（埼）
矢野２・倉・田代（多）

◎５月12日　多摩美術大学グラウンド
第１試合

埼玉医科大学	０	０	０	２	０	０	０	０	０	２
星薬科大学	０	０	０	０	３	２	０	０	×	５

（埼）樋口－平田
（星）帯津・唐澤・瀧谷－小澤
☆二塁打　長澤（星）

◎５月26日　多摩美術大学グラウンド
第１試合

多摩美術大学	９
星薬科大学	０

※星薬科大学不戦敗
第２試合

東京大学医学部	１	０	１	０	１	０	２	０	０	５
埼玉医科大学	０	０	１	０	１	０	４	０	×	６

（東）斎藤－恒矢
（埼）樋口－平田
☆本塁打　三村（埼）
☆三塁打　平田（埼）
☆二塁打　鳥海（東）、平田・三村（埼）

最優秀選手　三村　和也　埼玉医科大学
最優秀投手賞　樋口　駿太　埼玉医科大学
首位打者　伊藤　　峻　東京大学医学部

入れ替え戦

◎６月９日　芝浦工業大学グラウンド
第１試合

日本社会事業大学	４	１	０	１	０	４	０	10
埼玉医科大学	０	０	０	１	２	０	０	３

（７回コールド）

（社）鍵和田・清成－吉田・山本（樹）
（埼）樋口－平田
☆三塁打　竹之内･鍵和田･吉田･飯田(社)
☆二塁打　清成・木村（社）
第２試合

国士舘大学世田谷	２	２	０	０	６	１	０	０	１	４	16
芝浦工業大学	０	１	４	３	０	０	１	３	０	０	12

（延長10回）

（国）田村・並木－矢崎
（芝）西本・小池－田代
☆本塁打　西澤・矢崎（国）、田代（芝）
☆三塁打　阿部・元吉２（国）
森・田代（芝）
☆二塁打　小笠原２（国）
隅田・西脇・小川（芝）

三連盟親善試合

◎11月10日伊勢崎市民球場球場
第１試合

新関東選抜	０	０	０	２	０	４	０	１	０	７
神奈川選抜	０	０	０	０	１	０	０	１	０	２

（新）鳥井・秋元・田宮－矢崎・石橋
（神）本間・渡邊(航)・針金－金児・安藤
☆三塁打　豊田（新）
☆二塁打　矢崎（新）、渡邊（浩）（神）

第２試合

新関東選抜	０	１	０	０	０	０	０	５	０	６
北関東選抜	１	０	１	０	１	０	０	０	０	３

（新）三科・平野・小泉－稲葉・石橋
（北）石川・村上・勝又－坂口・安井
☆三塁打　山野（新）
☆二塁打　森江・関口（北）

順位	大学名	埼医大	星薬大	東大医	多美大	勝	負	分
優勝	埼玉医科大学		○●	○○	○○	5	1	0
２位	星薬科大学	●○		○○	●●	3	3	0
３位	東京大学医学部	●●	●●		○○	2	4	0
４位	多摩美術大学	●●	○○	●●		2	4	0

新関東大学　秋季リーグ戦

1　部

◎９月８日　北里大学三の原球場
第１試合
東京都市大学　００１０１５２７｜16
創 価 大 学　１０１０１００２｜５
（８回コールド）
（東）平岩・込宮－阿久津
（創）鳥井・近藤（大）・藤田－志垣
☆本塁打　重富（東）、和田・澤田２（創）
☆三塁打　六本木（東）
☆二塁打　萩原２（東）、和田・乙井（創）

◎９月22日　北里大学三の原球場
第１試合
北 里 大 学　０５２００２３０３｜15
東京都市大学　０４０７００００００｜11
（北）三田－豊田
（東）平岩・太田・込宮－阿久津
☆本塁打　豊田・苅谷（北）
☆二塁打　國本・小野寺（北）、上野２（東）

第２試合
日本大学理工学部　０００００００１｜１
創 価 大 学　０００１０１００×｜２
（日）三科・小泉－石橋
（創）鳥井－志垣・神野
☆二塁打　三成（創）

第３試合
都留文科大学　２１０００００｜３
国士舘大学世田谷　０９０２０１×｜12
（７回コールド）
（都）大石－島田
（国）田宮－矢崎
☆本塁打　橋本・中山（国）
☆二塁打　上矢・濱屋・岡崎（都）
皆川・中山（国）

◎９月29日北里大学三の原球場
第１試合
東京都市大学　１３０００００２０｜６
都留文科大学　２０３０２２３1x｜13
（８回コールド）
（東）坂井田・小宮－阿久津
（都）武田・北村－島田
☆本塁打　中込（都）
☆二塁打　重富・上野（東）
北村・中込・濱屋（都）

第２試合
日本大学理工学部　１０００００００００｜１
国士舘大学世田谷　０００００００００００｜０
（日）石田－石橋
（国）田宮－矢崎

第３試合
北 里 大 学　１０２３０００１０｜７
創 価 大 学　０００１０１０００｜２
（北）三田－明石
（創）小野・近藤（大）・鳥井－志垣・時任・内田・神野
☆本塁打　松下（北）
☆二塁打　平井（北）、酒本・乙井（創）

◎10月６日　北里大学三の原球場
第１試合
都留文科大学　００１０２００００｜３
創 価 大 学　０２０３０００１×｜６
（都）武田・北村－島田
（創）鳥井－神野
☆本塁打　高橋（創）
☆二塁打　北村・山本（都）

第２試合
北 里 大 学　２０３０００００００｜５
日本大学理工学部　０００１００００００｜１
（北）三田－明石
（日）三科・石田－石橋
☆本塁打　山野（日）
☆二塁打　松下（北）

◎10月13日　北里大学三の原球場
第１試合
日本大学理工学部　１０００１０１００｜３
都留文科大学　０００００００００｜０
（日）石田・須藤－石橋
（都）北村・武田－島田
☆二塁打　小林（日）

第２試合
北 里 大 学　１００００４０３｜８
国士舘大学世田谷　４１００００００００｜５
（北）三田－明石
（国）田宮－矢崎
☆本塁打　塚本（国）
☆二塁打　明石・五十嵐・國本（北）
西澤（国）

◎10月27日　北里大学三の原球場
第１試合
北 里 大 学　２００００１００２０｜５
都留文科大学　０１３０１０１１×｜７
（北）小林－小野寺
（都）平野－島田
☆本塁打　豊田（北）
☆二塁打　小野寺（北）
岩崎２・荷見・島田（都）

第２試合
日本大学理工学部　０００００００２２０｜４
東京都市大学　０１０００００００２｜３
（日）石田・三科・石田－石橋
（東）坂井田－阿久津
☆三塁打　萩原（東）
☆二塁打　石井・石橋（日）、河崎（東）

第３試合
創 価 大 学　５０００００４０｜９
国士舘大学世田谷　１０００００００｜１
（７回コールド）
（創）鳥井－井上・神野
（国）末永・田宮－矢崎
☆本塁打　和田・乙井・三成（創）
☆二塁打　井上（創）、中山（国）

最優秀選手　國本　和希　北里大学
最優秀投手賞　三田　豪　北里大学
首位打者　矢崎丈一郎　国士舘大学世田谷

◎ベストナイン
投　手　石田　哲也　日本大学理工学部
捕　手　明石　開之　北里大学
一塁手　荻原　生吹　東京都市大学
二塁手　重富　健志　東京都市大学
三塁手　濱屋　崇　都留文科大学
遊撃手　豊田　雅幸　北里大学
外野手　橋本　将実　国士舘大学世田谷
渡部翔一郎　国士舘大学世田谷
小林　秀将　日本大学理工学部
指名打者　藤本　晃平　創価大学

順位	大学名	北里大学	創価大学	日本大学理工学部	国士舘大学世田谷	都留文科大学	東京都市大学	勝	負	分
優勝	北　里　大　学		○	○	○	●	○	4	1	0
2位	創　価　大　学	●		○	○	○	●	3	2	0
3位	日本大学理工学部	●	●		○	○	○	3	2	0
4位	国士舘大学世田谷	●	●	●		○	○	2	3	0
5位	都 留 文 科 大 学	○	●	●	●		○	2	3	0
6位	東 京 都 市 大 学	●	○	●	●	●		1	4	0

2　部

◎９月22日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
芝浦工業大学　０１３０００００２｜６
日本大学法学部　４００３００２４｜13
（８回コールド）
（芝）小池・森－田代
（日）坂寄－稲葉
☆本塁打　小川・田代（芝）
鈴木・稲葉・大島（日）
☆二塁打　田代（芝）
第２試合
埼玉医科大学　００００００｜０
昭和薬科大学　１５１５×｜12
（５回コールド）
（埼）樋口－平田
（薬）神子－神山
☆本塁打　山岸・高橋・吉村（薬）
☆二塁打　山岸・大澤（薬）
第３試合
日本社会事業大学　００５３０００１３｜12
昭 和 大 学　０００２０００１７｜10
（社）永江－山本（樹）
（昭）近藤・松田・原田－廣瀬
☆本塁打　吉田・木村（社）、浜辺（昭）
☆二塁打　佐藤・廣瀬（昭）

◎９月29日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
日本大学法学部　２１２１０００１０｜７
埼玉医科大学　０００００００１２｜３
（日）古谷野・坂寄－稲葉
（埼）樋口－平田
☆本塁打　鈴木・森（日）、平田（埼）
☆二塁打　鈴木・大島２（日）
第２試合
昭 和 大 学　０００１０００｜１
芝浦工業大学　０２０２００７｜11
（７回コールド）
（昭）松田－廣瀬
（芝）小池－田代
☆本塁打　田代・増田（芝）
☆二塁打　平川（昭）
第３試合
昭 和 大 学　０００１４７１１２｜16
昭和薬科大学　２１１２２００３３｜14
（昭）原田・近藤－廣瀬
（薬）神子・高山・吉村－神山
☆本塁打　浜辺（昭）、山岸・吉村（薬）
☆三塁打　神子（薬）
☆二塁打　知念・廣瀬・浜辺（昭）

◎10月６日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
日本社会事業大学　１００００｜１
日本大学法学部　０２９６×｜17
（５回コールド）
（社）永江・野村－山本（樹）
（日）坂寄－稲葉
☆本塁打　竹之内（社）
鈴木・大島・古川（日）
☆二塁打　鈴木（日）
第２試合
芝浦工業大学　０２００００４５３｜14
埼玉医科大学　１００００１０３２０｜７
（芝）小池－田代
（埼）森田－荒木
☆本塁打　津田・田代・伊藤（芝）
加藤（埼）
☆二塁打　森・津田（芝）、荒木（埼）

◎10月13日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
芝浦工業大学　１１２１０００２１｜８
昭和薬科大学　０００００００１０２｜３
（芝）小池－田代
（薬）大澤－神山
☆本塁打　森・増田・伊藤（芝）
高橋２（薬）
☆二塁打　武田・田代（芝）、西村（薬）
第２試合
昭 和 大 学　４００００２１０１｜８
埼玉医科大学　０１０００００００｜１
（８回コールド）
（昭）近藤－廣瀬
（埼）樋口－平田
☆本塁打安田（昭）
☆二塁打安田・廣瀬（昭）、窪田（埼）
第３試合
昭和薬科大学　００００２０｜２
日本大学法学部　１１３０２×｜16
（５回コールド）
（薬）神子－神山・宮澤
（日）古谷野－稲葉
☆本塁打　鈴木・板尾（日）
☆二塁打　高橋（薬）、古川（日）

◎10月19日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
日本社会事業大学　１０２１０｜４
埼玉医科大学　１４０００×｜14
（５回コールド）
（社）野村・永江－山本（樹）
（埼）樋口－平田
☆本塁打　竹之内・吉田（社）
大澤・深谷（埼）
☆二塁打　飯田（社）、平田（埼）

◎10月27日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合
昭和薬科大学　１１２０３０３０１｜11
日本社会事業大学　００１２００１０３｜７
（薬）神子－神山
（社）永江・野村－山本（樹）
☆本塁打　山岸２・高橋・牧田（薬）
清成・山本（樹）・永江（社）
☆二塁打　牧田（薬）
飯田・山本（敬）・永江（社）
第２試合
昭 和 大 学　３１１１３０｜９
日本大学法学部　０５１１１０｜８
（日没コールド）
（昭）松田・近藤－廣瀬
（日）坂寄・古谷野－稲葉
☆本塁打　廣瀬・米谷・井上（昭）
古川（日）
☆二塁打　武井（昭）
森・大島・古川（日）

◎11月２日日本社会事業大学グラウンド
第１試合
芝浦工業大学　１１２２０００００１｜７
日本社会事業大学　０００１００４０１２｜８
（延長10回）
（芝）小池－田代
（日）永江－山本（樹）
☆本塁打　森３（芝）、木村（社）
☆二塁打　野村・木村（社）

最優秀選手　稲葉　啓太　日本大学法学部
最優秀投手賞　古谷野拓海　日本大学法学部
首位打者　松倉　悠介　日本大学法学部

順位	大学名	日本大学法学部	芝浦工業大学	昭和大学	昭和薬科大学	日本社会事業大学	埼玉医科大学	勝	負	分
優勝	日本大学法学部		○	●	○	○	○	4	1	0
2位	芝浦工業大学	●		○	○	●	○	3	2	0
3位	昭和大学	○	●		○	●	○	3	2	0
4位	昭和薬科大学	●	●	●		○	○	2	3	0
5位	日本社会事業大学	●	○	○	●		●	2	3	0
6位	埼玉医科大学	●	●	●	●	○		1	4	0

3　部

◎９月29日　多摩美術大学グラウンド
第１試合

横浜薬科大学	０２１０２３００２	10
星 薬 科 大 学	０００１０２０３０	6

（横）坂井・大谷・坂井－玉城
（星）唐澤・染谷・唐澤－小澤
☆二塁打　大関･山口･玉城２･坂井２（横）
染谷（星）

第２試合

東京大学医学部	００２２００２３	9
多摩美術大学	０１０００００１０	2

（８回コールド）
（東）鳥海・齋藤－恒矢
（多）重本・轡田・宮路－平野
☆二塁打　野村・恒矢（東）

◎10月13日　多摩美術大学グラウンド
第１試合

多摩美術大学	００００００	0
星 薬 科 大 学	１０２１6x	10

（５回コールド）
（多）重本・轡田・宮路－平野
（星）唐澤－小澤
☆本塁打　正木・大木・小澤（星）
☆三塁打　土橋（多）

◎10月13日　東京大学グラウンド
第１試合

東京大学医学部	０２０１０	3
横浜薬科大学	４１０12×	17

（５回コールド）
（東）荒井・鳥海－恒矢
（横）坂井・小倉－玉城
☆本塁打　玉城（横）
☆二塁打　渡部・玉城・山口・浦和２・
小倉・平瀬（横）

◎10月27日東京大学グラウンド
第１試合

星 薬 科 大 学	２１００１５０４	13
東京大学医学部	４０４０４０２6x	20

（８回コールド）
（星）唐澤・藤田・正木・唐澤－小澤
（東）鳥海・齋藤－恒矢
☆本塁打　伊藤（東）
☆二塁打　伊藤・荒井（東）
大木･小澤２･藤田･宮崎（星）

第２試合

横浜薬科大学	１１８１０４	15
多摩美術大学	００２０００	2

（６回コールド）
（横）平瀬－玉城・坂井
（多）重本・宮路－宮路・越智
☆本塁打　小倉（横）
☆三塁打　大関・鍵田（横）
☆二塁打　大関・山口・鍵田（横）
田代（多）

順位	大学名	横浜薬科大学	東京大学医学部	星薬科大学	多摩美術大学	勝	負	分
優勝	横浜薬科大学		○	○	○	3	0	0
2位	東京大学医学部	●		○	○	2	1	0
3位	星薬科大学	●	●		○	1	2	0
4位	多摩美術大学	●	●	●		0	3	0

入れ替え戦

◎11月10日　日本社会事業大学グラウンド
第１試合

横浜薬科大学	０００００１１００	2
埼玉医科大学	１００１００００１	3

（横）坂井－玉城
（埼）樋口－平田
☆本塁打　浦和（横）、荒木・樋口（埼）
☆二塁打　大谷（横）

◎11月17日　芝浦工業大学グラウンド
第１試合

東京都市大学	０２０００００	2
日本大学法学部	２１００２２×	7

（東）秋元・平岩・萩原－阿久津
（日）坂寄－稲葉
☆本塁打　大島（日）
☆二塁打　鈴木・稲葉・木綿（日）

平成25年度
北信越地区大会成績

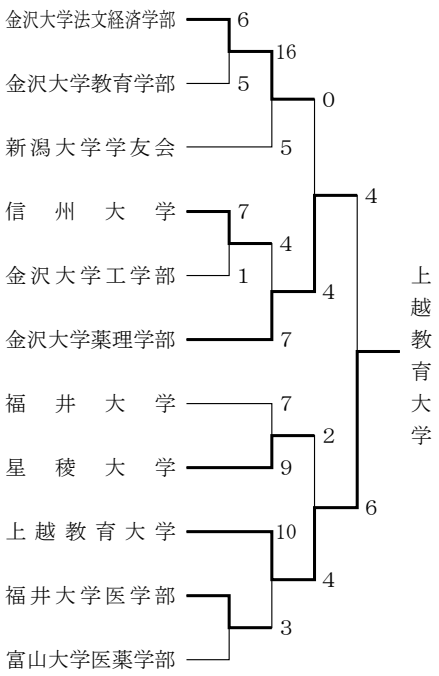
金沢大学
薬理学部
金大薬
10

ALL TOKAI
全北信越選抜

平成25年度春季北信越地区大学準硬式野球大会

【本戦】

会期　平成25年５月10日(金)～12日(日)
会場　加賀中央公園野球場・寺井球場



（本戦出場校）
新潟大学学友会・福井大学・福井大学医学部
上越教育大学・星稜大学・金沢大学薬理学部
富山大学医薬学部･信州大学･金沢大学工学部
金沢大学教育学部・金沢大学法文経済学部

◎５月10日　加賀中央公園球場
第１試合

金沢大学法文経済学部	０００４１０００１	6
金沢大学教育学部	０００００１０４０	5

（法文）畑中・高橋－石澤
（教育）大久保－和田
☆二塁打　田村・佐田・山野・小楠

第２試合

信　州　大　学	０１０１３０１１０	7
金沢大学工学部	１０００００００	1

（信州）漆谷・柘植－百瀬
（金工）佐藤・西川－山田
☆三塁打　小長谷
☆二塁打　小長谷

◎５月10日　寺井球場
第１試合

星　稜　大　学	３０１０１５００２	12
福井大学医学部	００１０３３０１０	8

（星稜）北川　堂田－町分
（福井）藤本　萩原－野本
☆三塁打　中山（星）、杉本（福）
☆二塁打　沢辺・中山・北川（星）
高橋・西川・藤本（福）

◎５月11日　加賀球場
第１試合

金沢大学法文経済学部	１７６２０	16
新潟大学学友会	２０１０２	5

（５回コールド）
（金沢）田村－石澤
（新潟）結城・滋野・澤田－高崎
☆三塁打　北村（金沢）
☆二塁打　長坂（金沢）

第２試合

金沢大学薬理学部	００２０００５００	7
信　州　大　学	３０００００１００	4

（金沢）五十嵐－城野
（信州）足場　柘植－丸山
☆三塁打　小長谷・丸山（信州）
☆二塁打　玉舘・城野（金沢）
春日・小長谷（信州）

第３試合

福井大学医学部	０００３０００００	3
上越教育大学	０１３１００３２	10

（８回コールド）
（福井）原田　藤本－蝶勢
（上越）千田－鈴木
☆本塁打　橋本（上越）
☆三塁打　山岸（上越）
☆二塁打　西川・原田・杉本（福井）
仲島（上越）

◎５月12日　加賀市中央公園球場
第１試合

金沢大学薬理学部	０００００４０００	4
金沢大学法文経済学部	０００００００００	0

（金薬）五十嵐－城野
（金法）畑中・高橋－石澤

第２試合

星　稜　大　学	０００００００００２	2
上越教育大学	０００２０１０１×	4

（星稜）北川－町分
（上越）千田－鈴木
☆本塁打　田川（上越）
☆三塁打　橋本（上越）
☆二塁打　宮下・中島（星稜）
仲島（上越）

第３試合

金沢大学薬理学部	０００００００４００	4
上越教育大学	２０２１００１０×	6

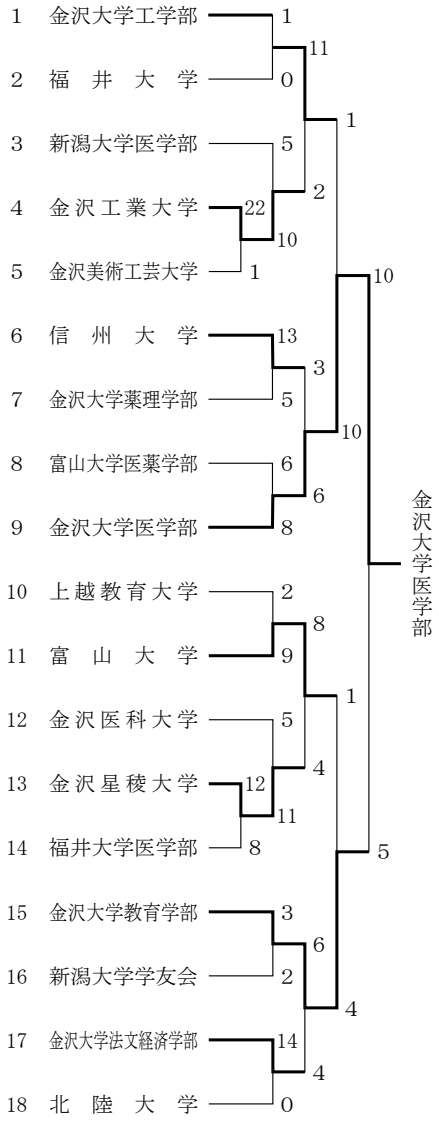
（金沢）五十嵐－城野
（上越）柳澤・大谷・千田－山下・鈴木
☆二塁打　丸山・佐藤（上越）

（総評）
平成25年度春季北信越地区大学準硬式野球大会は５月10日から12日に開催された。４月から行われた予選を通過した11チームが参加した。この大会は福井大学の主管のもと加賀市中央公園野球場と寺井球場で行われた。昨年度の準優勝校の上越教育大学は今大会も、エース千田の好投で勝ち進み、見事優勝を収め、昨年の雪辱を果たした。準優勝した金沢大学薬理学部も、エースの五十嵐の好投が光り、また４年生の最後の大会への意気込みを感じた。全国大会での両チームの活躍に期待したい。

北信越地区大学準硬式野球連盟
学生理事　相川　裕彦

平成25年度秋季北信越地区大学準硬式野球大会

会期：平成25年10月４日(金)～７日(月)
会場：石川県立野球場
金沢市民野球場
津幡運動公園野球場



◎10月４日　石川県立球場
第１試合

金沢星稜大学	３０１０１５００２	12
福井大学医学部	００１０３３０１０	8

（星）北川・堂田－町分
（福）藤本・荻原－野本
☆三塁打　中山（星）、杉本（福）
☆二塁打　沢辺２・中山２・北川（星）
高橋優・西川（福）

第２試合

上越教育大学	００２０００００	2
富　山　大　学	１０３１４０×	9

（７回コールド）
（上）佐藤・柳澤－鈴木
（富）出村・宮川－和田
☆二塁打　鈴木・大谷（上）
渡辺・宮川（富）

◎10月４日　金沢市民球場

第１試合

信 州 大 学	１０２００８２	13
金沢大学薬理学部	１０２１１００	５

（７回コールド）

（信）漆谷・足羽・柘植－丸山進

（金）五十嵐－棚橋

☆三塁打　田上（信）

☆二塁打　小塚・小長谷・田上・田上・春日（信）

多保田・寺崎（金）

第２試合

金沢美術工芸大学	００００１	１
金沢工業大学	５０１２５×	22

（５回コールド）

（美）谷・上荒磯優・塩崎－上荒磯翔

（工）新井・櫻井－八島・清田

☆三塁打　藤川・佐藤（工）

☆二塁打　的場・先森（工）

◎10月５日　石川県立球場

第１試合

金沢大学教育学部	１０００１００１０	３
新潟大学学友会	０００００００２０	２

（金）宮口・大久保－和田

（新）久保田・濱田－高崎

☆二塁打　岸（金）、吉岡・佐藤（新）

第２試合

金沢大学法文経済学部	１０５２６	14
北 陸 大 学	０００００	０

（５回コールド）

（金）畑中－石澤

（北）工田・佐飛－牧原

☆本塁打　田村（金）

☆三塁打　田村（金）

☆二塁打　長坂・北村・渋谷・水谷（金）

第３試合

金沢医科大学	０００２２０１００	５
金沢星稜大学	１９００００１０×	11

（医科）山谷・渡部－澤

（星）北川・堂田－町分

☆三塁打　福（医科）、古屋（星）

☆二塁打　見上・遠藤（医科）

五十嵐（星）

◎10月５日　金沢市民球場

第１試合

金沢大学工学部	００４０８０１	13
福 井 大 学	３０１１０１０	６

（７回コールド）

（金）佐藤・西川－山田

（福）扇田・濱島－池田

☆三塁打　新家（福）

☆二塁打　林（金）

新家・相馬・濱島（福）

第２試合

新潟大学医学部	４０００００１００	５
金沢工業大学	３０３０１１０２×	10

（新）高桑・森－八木

（金）新井－八島

☆二塁打　川上・中村（新）

新井・八島・浅井・先森（金）

第３試合

金沢大学医学部	３００２０３０００	８
富山大学医薬学部	１００３００２００	６

（金）武藤・橋本－相川

（富）猪野瀬・五十嵐－松田

☆二塁打　松田・松田（富）

◎10月６日　石川県立球場

第１試合

金沢大学法文経済学部	０００００２０２０	４
金沢大学教育学部	０２１２００１０×	６

（法）畑中・高橋－石澤

（教）大久保・磯・徳田・宮口－和田

☆二塁打　渋谷（法）

◎10月６日　津幡球場

第１試合

金沢大学工学部	１００１６２１	11
金沢工業大学	０００１００１	２

（７回コールド）

（金大）佐藤、西川－山田

（金工）和田、櫻井、新井－八島

☆本塁打　佐藤（金大）

☆二塁打　山田（金大）

第２試合

信 州 大 学	０００００１０２	３
金沢大学医学部	１１０００４００×	６

（信）漆谷・足羽・柘植－丸山

（金）坂口－相川

☆二塁打　丸山進（信）

第３試合

富 山 大 学	０１００４１００２	８
金沢星稜大学	３１００００００	４

（富）亀田・小山・出村－和田

（星）堀田・北川－町分

☆三塁打　谷口（星）

☆二塁打　斎藤・渡辺（富）

沢辺・田中（星）

◎10月７日　石川県立球場

第１試合

金沢大学工学部	００００１００	１
金沢大学医学部	４００５０１×	10

（７回コールド）

（工）佐藤－山田

（医）橋本－相川

☆二塁打　小野（医）

第２試合

富 山 大 学	０１００００００	１
金沢大学教育学部	２００００００２×	４

（富）出村・宮川－和田

（金）宮口・大久保－和田

☆二塁打　山野（金）

第３試合

金沢大学教育学部	１３００１００００	５
金沢大学医学部	２０３０００２３×	10

（教）小楠・磯・山本・徳田－織田・木下

（医）武藤・坂口－相川

☆二塁打　羽根・小楠（教）、服部（医）

（総評）

平成25年度秋季北信越地区大学準硬式野球大会が10月４日から７日の日程で北陸大学主管、金沢大学医学部副主管のもと石川県立野球場や金沢市民球場、津幡市民野球場の三会場で開催された。

今大会は主幹校の人数が少なく球場運営が厳しい中の大会運営であった。しかし、そんな状況の中でも主管の北陸大学や副主管の金沢大学医学部の選手やマネージャーの尽力の賜物で今大会は運営することができた。両校には大変な感謝を表したい。

今大会は、１回戦から決勝にかけて大量得点や、点の取り合いとなる試合の目立つ大会だった。決勝では、優勝した金沢大学医学部の本格派エースの坂口が、金沢大学教育学部の強力打線を、前回までの試合とはうってかわって遅い変化球中心の素晴らしいピッチングで抑えたのがとても印象的だった。また、金沢大学医学部においては、今大会で引退の三年生の保健学科がとても活躍しており、チーム全体で彼らの引退を優勝で飾りたいと盛り上がっていて、チームの雰囲気がよくみえたのも優勝を勝ち取った所以の一つであると思われた。

最後に今大会を無事に終わらせることができたのも、球場を使用させてくれた球場関係者各位や試合を進行してくれた審判団、大会運営を支えてくれた農協観光の方々の協力があったからこそであると思う。この場を借りて感謝を申し上げたい。

今大会で活躍した優秀選手たちが北信越選抜として９ブロック対抗準硬式野球大会に出場するので、その選手達の健闘を期待したい。

北信越準硬式野球連盟

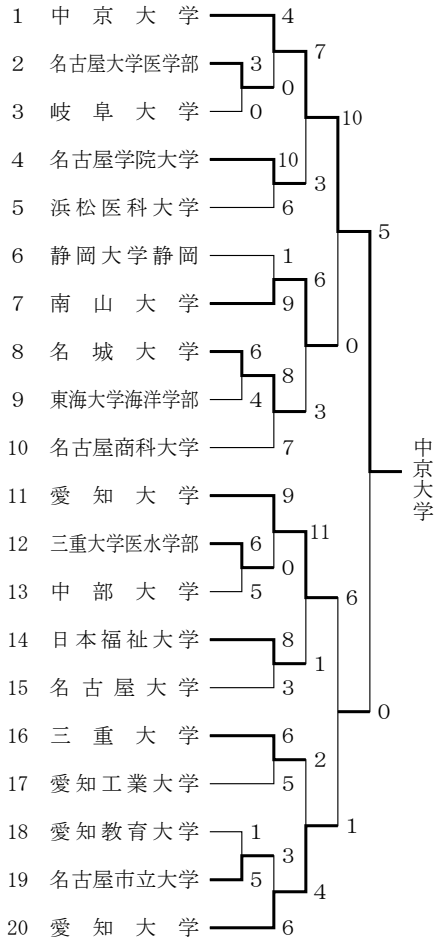
学生理事　相川　裕彦

平成25年度
東 海 地 区 大 会 成 績

南山大学
NANZAN

中京大学
Chukyo
10
Chukyo
1

第30回東海地区大学
準硬式野球選手権大会



◎３月21日　愛知大学球場

第１試合

三重医水	3	0	0	0	1	1	0	1		6
中部大学	0	0	0	1	0	0	3	0	1	5

（三）奥野－青木
（中）中田・長谷川－小野
☆二塁打　黒岩（三）、友澤（中）

第２試合

愛知教育大学	1	5	3	0	1	0	0	0	7	17
名古屋市立大学	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5

（愛）藤田・福間・繁竹－渡邊
（名）榊原－堀田
☆二塁打　樽谷・原田・手塚・長田（愛）
石田（名）

◎３月21日浜松球場

第１試合

岐阜大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名大医学部	1	0	0	1	0	0	1	0	×	3

（岐）花木－伊佐治
（名）坂下・高木－清水
☆二塁打　嶋谷（名）

第２試合

東海大海洋学部	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4
名城大学	0	0	0	0	0	2	0	4	×	6

（東）伊藤－見瀬
（名）後藤・田中・片山－山中
☆二塁打　稲葉・箕浦（名）

◎３月22日　愛知大学球場

第１試合

名古屋大学	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
日本福祉大学	0	0	0	1	3	1	3	0	×	8

（名）清水・徳田・西山－安永
（日）山下・神野－祢津
☆三塁打　渡辺（日）
☆二塁打　黒部２・間瀬（名）、鳥居（日）

第２試合

三重大学	0	0	0	0	2	0	2	2		6
愛知工業大学	2	3	0	0	0	0	0	0		5

（三）浅井－田中
（愛）加藤－勝
☆二塁打　籾山２（三）

◎３月22日　浜松球場

第１試合

名古屋学院大学	0	0	1	3	0	0	1	1	0	0	4	10
浜松医科大学	1	0	0	3	0	2	0	0	0	0		6

（延長11回）

（名）小河原・吉田－平松
（浜）杉本・神村－飯田
☆二塁打　加藤（名）、杉本（浜）

第２試合

南山大学	0	0	0	0	5	1	3			9
静岡大学静岡	0	0	0	0	0	1	0			1

（７回コールド）

（南）青山・谷口－多田
（静）大竹・土屋－内藤
☆二塁打　奥村（静）

◎３月23日　瑞穂球場

第１試合

三重医水	0	0	0	0	0	0	0			0
愛知大学	1	1	0	1	1	5	×			9

（三）坂口－青木
（愛）池田－古屋
☆三塁打小澤・里園・北河（愛）
☆二塁打加藤・犬飼・池田（愛）

第２試合

愛知学院大学	0	0	2	0	0	3	0	0	1	6
愛知教育大学	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3

（院）小松－平林・白谷
（教）繁竹・福間－渡邉
☆二塁打　新美・浦川（院）、樽谷（教）

◎３月23日　熱田球場

第１試合

中京大学	0	0	1	2	0	0	1	0	0	4
名大医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（中）間瀬・横島－小倉
（名）寺尾・磯－清水
☆二塁打　鈴木（中）、安藤２（名）

第２試合

名城大学	2	1	0	0	0	3	0	0	2	8
名古屋商科大学	1	0	1	0	1	2	0	0	2	7

（城）太田・田中－山中
（商）中岡・一尾－杉原
☆三塁打　萩原２（城）
☆二塁打　松井（城）

◎３月24日　熱田球場

第１試合

名古屋学院大学	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3
中京大学	4	1	0	2	0	0	0	0	×	7

（名）加藤・吉田－平松・奥村
（中）西崎・横島－大石
☆二塁打　池井戸・平松・長田（名）
蔭山（中）

第２試合

名城大学	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3
南山大学	1	0	0	0	0	0	2	3	×	6

（名）後藤・田中・片山－山中
（南）青山・大久保－多田
☆二塁打　梶原（南）

◎３月25日　瑞穂球場

第１試合

日本福祉大学	0	0	0	1	0	0				1
愛知大学	3	0	1	4	1	2				11

（日）山下・吉岡・梶田－祢津
（愛）岡田・平通－倉知
☆三塁打　高岸（愛）
☆二塁打　村上・丹羽（日）
犬飼・石原（愛）

第２試合

愛知学院大学	2	1	0	0	0	0	1	0		4
三重大学	2	0	0	0	0	0	0	0		2

（愛）小松－平林
（三）田中（智）・浅井－田中（雅）
☆三塁打　上原（愛）
☆二塁打　籾山（三）

◎３月27日　瑞穂球場

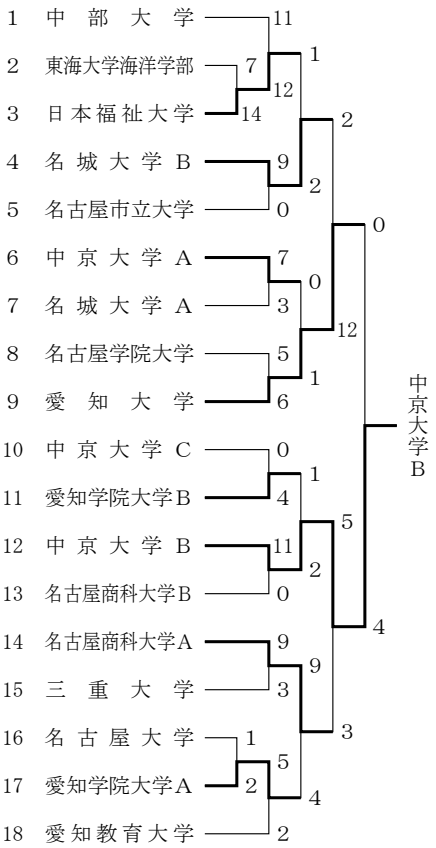
第１試合

愛知大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中京大学	0	0	0	2	0	1	2	0	×	5

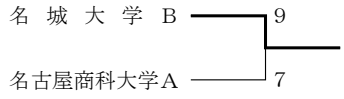
（愛）岡田・平通－古屋
（中）間瀬・横島・浅野－小倉・大石
☆二塁打　石原（愛）、宮澤２・小倉（中）

新人交流戦

会期：平成25年５月25日～６月９日
球場：熱田神宮公園野球場
　　愛知大学野球場、半田北部球場



３位決定戦



◎５月19日　愛知大学グラウンド
第１試合
東海大学海洋学部　００５０００２０×｜７
日本福祉大学　１１１６００２３　｜14
（東）伊藤・佐藤－見瀬
（日）林・吉岡－柏田
☆三塁打　林（日）
☆二塁打　神野・柏田・宮原（日）
山下・伊藤（東）
第２試合
名古屋大学　０００００１０００｜１
愛知学院大学A　０００００１０１０｜２
（　名）清水－安永
（院）飯塚・藤田－岩附・大澤
☆三塁打　鈴木・堂園（院）
☆二塁打　古川２・尾関・鈴木・土屋（院）
西川・加藤（名）

◎５月19日　熱田球場
第１試合
名城大学B　１１１５１００｜９
名古屋市立大学　００００００００｜０
（７回コールド）
（城）太田・足立－北野・谷口
（市）井上・柳原－萩野・堀田
☆二塁打　田中・北野（城）
第２試合
名城大学A　０１００１０１０｜３
中京大学A　２０３１０１０×｜７
（雨天８回コールド）
（城）田中・永瀬・田畑－山中・梅谷
（中）小林－小倉
☆本塁打　内田（中）
☆二塁打　稲葉（名）、坂口・小林（中）

◎５月25日　半田北部球場
第１試合
愛知教育大学　２００００００００｜２
愛知学院大学A　２１０００１１×｜５
（教）天野・山田－渡邉・手塚
（院）渡辺－岩附・大澤
☆三塁打　古川（院）
☆二塁打　藤田（教）、伊藤・三輪（院）
第２試合
中部大学　４２３０１１０００｜11
日本福祉大学　０００５２０４１×｜12
（中）翠川－小野
（日）鬼頭・林・山下－柏田
☆三塁打　翠川（中）、山下（日）

◎５月25日　愛知大学グラウンド
第１試合
名古屋学院大学　０１４０００００００｜５
愛知大学　２００００１１２×｜６
（名）森下・橋本－児玉・藤井（亮）
（愛）岡田（雄）・西村・池田－岡田（朋）
☆本塁打　児玉（名）
☆三塁打　藤井(亮)（名）
☆二塁打　小林・児玉（名）
里園・加藤（愛）
第２試合
中京大学C　０００００００００｜０
愛知学院大学B　０１０１００２０×｜４
（中）外園・伊藤(直)・仲－三川
（院）伊藤・藤吉－白谷
☆二塁打　白谷（院）

◎５月25日　熱田球場
第１試合
中京大学B　１０２０２６｜11
名古屋商科大学B　０００００００｜０
（中）足立－大石・長田
（商）岩本・毛利・木下・伏見・高山－河合・飯田
☆三塁打　大柳（中）
☆二塁打　須田（中）、鈴木(研)（商）
第２試合
三重大学　０２００１０００｜３
名古屋商科大学A　３０２００３０１｜９
（三）山本・後藤－田中
（商）中根・新實・斉藤・小林・奥村－山崎・金子・鈴木(敬)
☆二塁打　白井・惣坊（三）、福田（名）

◎５月26日　熱田球場
第１試合
愛知大学　０００００００１００｜１
中京大学A　０００００００００｜０
（愛）平通・内藤・西村－倉地
（中）小久保・小林(伸)－小倉
☆二塁打　高岸（愛）
第２試合
愛知学院大学B　１００００００００｜１
中京大学B　１００００００１｜２
（院）藤吉－白谷
（中）細江－大石
☆二塁打　安田（院）

◎６月１日　愛知大学グラウンド
第１試合
名古屋商科大学A　０１００１０００１｜３
中京大学B　０１０００１３０×｜５
（商）中根・斉藤・新實・小林－金子・鈴木(敬)
（中）細江・足立・渡辺－大石
☆本塁打　大柳（中）
☆二塁打　坂口・金子・原田（商）
山本（中）
第２試合
名城大学B　０００００２０｜２
愛知大学　０３３０６×｜12
（５回コールド）
（城）後藤・足立・片山－北野
（愛）池田－古屋
☆三塁打　林（城）、佐々木（愛）
☆二塁打　加藤・高岸（愛）

◎６月２日　愛知大学グラウンド
第１試合
名古屋商科大学A　０２０１０２２００｜７
名城大学B　０２４０００００３×｜９
（商）小林・斉藤・奥村・中根－鈴木(敬)・山崎・金子
（城）太田・足立・後藤・片山－北野
☆三塁打　神谷・原田（商）、松井（城）
☆二塁打　鈴木(敬)・福田（商）
北野（城）
第２試合
中京大学B　０００００１２１０｜４
愛知大学　０００００００００｜０
（中）細江－大石
（愛）岡田・平通・西村－古屋
☆三塁打　三好（中）
☆二塁打　田宅（中）

全日本代表決定戦

◎５月18日　熱田球場
第１試合
愛知学院大学　００２０１００１１｜５
南 山 大 学　０００００１０００｜１
（院）圃野・小松－平林
（南）青山－多田
☆二塁打　新美２・浦川・伊東
第２試合
三 重 大 学　００００００００｜０
愛 知 大 学　０３１０３０×｜７
（７回コールド）
（三）田中・川合・浅井－松井
（愛）池田・平通－古屋
☆二塁打　高岸・難波（愛）

春季１部リーグ戦

○３月29日～５月２日

◎３月29日　瑞穂球場
第１試合
中 京 大 学　１０２４０３｜10
愛知工業大学　０００００００｜０
（６回コールド）
（中）間瀬－小倉・大石
（愛）加藤・酒井－勝
☆二塁打　浅野（中）、北谷（愛）
第２試合
愛知学院大学　０００１２０００００１｜４
名 古 屋 大 学　０１１１０００００００｜３
（延長10回）
（院）藤吉・宮下・新美－平林
（名）西山・辻本－安永
☆二塁打　鈴木・上原（院）、黒部（名）

◎３月30日　瑞穂球場
第１試合
名 古 屋 大 学　４１００００００００｜５
愛知学院大学　１０００２００００００｜３
（名）清水－安永
（院）圃野－平林
☆三塁打　平林（院）
☆二塁打　間瀬（名）、伊東（院）
第２試合
愛知工業大学　００００００１００｜１
中 京 大 学　１００２３２×｜８
（７回コールド）
（愛）加藤－勝
（中）西崎・横島－小倉
☆二塁打　宮澤・浅野・小倉・望月

◎４月１日　瑞穂球場
第１試合
中 京 大 学　０１０９０｜10
名 古 屋 大 学　００００００｜０
（５回コールド）
（中）西崎－小倉
（名）西山・徳田－安永
☆三塁打　小倉（中）、黒部（名）
☆二塁打　西崎（中）
第２試合
愛 知 大 学　００２０００００００｜２
名古屋商科大学　０００００００００｜０
（知）池田－古屋
（商）高橋・一尾－杉原
☆二塁打　杉原（商）

◎４月２日瑞穂球場
第１試合
名古屋商科大学　０００００１０００｜１
愛 知 大 学　００１０００１０×｜２
（商）一尾・高橋－杉原
（知）岡田－古屋
☆二塁打　長谷川（商）
第２試合
名 古 屋 大 学　００００００１００１｜２
中 京 大 学　１０００１０１０×｜３
（名）清水－安永
（中）横島－小倉
☆三塁打　増谷（中）
☆二塁打　黒部・近藤（名）

◎４月４日　瑞穂球場
第１試合
中 京 大 学　００００００００１０｜１
愛 知 大 学　００００００００００｜０
（中）間瀬－大石
（知）岡田・池田－古屋
☆二塁打　高岸（知）
第２試合
名 古 屋 大 学　１０００００３１００｜５
愛知工業大学　２０００１００００２１｜６
（延長10回）
（名）清水－安永
（工）加藤－勝
☆三塁打　黒部・加藤・安永（名）
市野（工）
☆二塁打　間瀬（名）
森・市野・加藤（工）

◎４月５日　瑞穂球場
第１試合
愛知工業大学　０００００００００１｜１
名 古 屋 大 学　０００１００２０×｜３
（工）酒井・加藤－勝
（名）辻本・清水－安永
☆二塁打　田中（工）
第２試合
愛 知 大 学　３００００２０１｜６
中 京 大 学　２０１０１０１２×｜７
（知）池田・平通－古屋・倉知
（中）西崎・横島・間瀬－大石・小倉
☆二塁打　里園・古屋（知）
増谷・浅野（中）

◎４月９日　瑞穂球場
第１試合
中 京 大 学　１０２０００１０１｜５
名古屋商科大学　０００２００００００｜２
（中）間瀬－小倉
（商）一尾・高橋・岩本－杉原
☆二塁打　間瀬（中）、中川（商）
第２試合
愛知学院大学　００００００００｜０
愛 知 大 学　０２１３００1x｜７
（７回コールド）
（院）小松・飯塚－平林
（知）池田－倉知
☆三塁打　高岸（知）
☆二塁打　加藤（知）

◎４月13日　半田北球場
第１試合
愛 知 大 学　０００００００１０００｜１
愛知学院大学　０００００００００１0x｜２
（延長11回）
（知）池田・岡田－倉知
（院）飯塚・小松・新美－平林
☆三塁打　上原・貞包（院）
☆二塁打　川満・長田（知）、伊東（院）

第２試合
名古屋商科大学　０００００２００｜２
中 京 大 学　２２０００００００×｜４
（商）岩本・高橋－杉原
（中）横島・西崎－小倉
☆二塁打　杉原（商）

◎４月17日　瑞穂球場
第１試合
愛知学院大学　０００００２１０１｜４
愛知工業大学　０００００１０００１｜２
（院）團野－平林・白谷
（工）加藤－勝
☆二塁打　宮崎（院）
第２試合
名古屋商科大学　１１１００２２０２｜９
名 古 屋 大 学　０００００１０００｜１
（商）高橋－杉原
（名）清水・徳田－安永
☆三塁打　剱（商）、間瀬（名）
☆二塁打　安井・坂口（商）
黒部・清水（名）

◎４月18日　瑞穂球場
第１試合
名 古 屋 大 学　１００３００１００｜５
名古屋商科大学　００１１００２００｜４
（名）辻本－安永
（商）一尾・中根・岩本－杉原
☆二塁打　間瀬（名）、中川（商）
第２試合
愛知工業大学　００２０００００００｜２
愛知学院大学　１００００００２×｜３
（工）加藤・鈴木－勝
（院）飯塚・小松－平林
☆二塁打森（工）

◎４月20日　名古屋商科大学球場
第１試合
愛知学院大学　７１１１０｜10
名古屋商科大学　００００００｜０
（５回コールド）
（院）團野－平林・白谷
（商）高橋・中根－杉原
☆三塁打　尾関（院）
☆二塁打　伊藤・平林・宮崎・上原（院）
第２試合
愛 知 大 学　１１１００００４｜７
愛知工業大学　００００００００｜０
（７回コールド）
（知）岡田・内藤－倉知
（工）加藤－勝
☆三塁打　加藤（知）川出（工）
☆二塁打　長田（知）

◎４月22日　愛知学院大学球場
第１試合
愛知工業大学　００００００｜０
愛 知 大 学　４２２６×｜14
（５回コールド）
（工）加藤－勝
（知）池田・平通－倉知・岡田朋
☆三塁打　森（工）川満（知）
☆二塁打　鈴木（工）
加藤・長田・高岸・小澤・
里園・石原（知）

第２試合
名古屋商科大学　０６０６０｜12
愛知学院大学　００００００｜０
（５回コールド）
（商）中岡・一尾・高橋－杉原・中川
（院）團野・飯塚・佐藤－平林
☆三塁打　坂口（商）

◎４月25日　瑞穂球場
第１試合
愛 知 大 学　００００００００２０｜２
名 古 屋 大 学　００３００１００×｜４
（知）池田・岡田－古屋
（名）清水－岡
☆三塁打　高岸（知）、清水（名）
☆二塁打　加藤（知）
第２試合
名古屋商科大学　０００１２２０００｜５
愛知工業大学　００００００００００｜０
（商）中岡・高橋・一尾－杉原・中川
（工）鈴木・加藤－勝
☆二塁打　長谷川・剱・坂口（商）

◎４月26日　瑞穂球場
第１試合
愛知工業大学　１２００００１０００｜４
名古屋商科大学　０１００１００３×｜５
（工）加藤－勝
（商）剱・長谷川・森園・中川・深谷－
一尾・金子・西尾・中川
☆三塁打　酒井（工）
☆二塁打　杉原・中川（商）
第２試合
名 古 屋 大 学　０００７０１１６｜15
愛 知 大 学　０００００３１００｜４
（８回コールド）
（名）徳田・辻本－安永
（知）井戸・杉野－川満
☆三塁打　間瀬（名）
☆二塁打　高岸・春日井（知）

◎５月１日　瑞穂球場
第１試合
愛知学院大学　０００１００００００｜１
中 京 大 学　０１０２００００×｜３
（院）團野－平林
（中）間瀬－小倉
☆三塁打　望月（中）

◎５月２日　瑞穂球場
第１試合
中 京 大 学　０００００１２２０｜５
愛知学院大学　０００００００００｜０
（中）西崎－小倉
（院）小松・飯塚・新美－平林
☆二塁打　西崎（中）

１・２部入れ替え戦

◎５月１日瑞穂球場
第２試合
愛知教育大学　３０４１１２２０２｜15
愛知工業大学　０１０１１４０００｜７
（教）藤田・山田－渡邉
（工）加藤・酒井・鈴木－勝
☆本塁打　藤田（工）
☆三塁打　渡邉（教）武馬（工）
☆二塁打　福間・杉浦・渡邉（教）
鈴木（工）

◎５月２日瑞穂球場
第２試合
愛知工業大学　０００１１００００｜２
愛知教育大学　０００００１２０×｜３
（工）鈴木－立石
（教）繁竹－渡邉
☆三塁打　武馬（工）
☆二塁打　福間（教）

※２勝で愛知教育大学が１部昇格
愛知工業大学が２部降格

優勝　中京大学　10勝
２位　愛知学院大学　５勝５敗
３位　愛知大学　５勝５敗
４位　名古屋大学　５勝５敗
５位　名古屋商科大学　４勝６敗
６位　愛知工業大学　１勝９敗

《最優秀選手賞》
増谷　大輔（中京大学）
《敢闘賞》
平林　一浩（愛知学院大学）
《最優秀投手賞》
間瀬　翼（中京大学）
《首位打者賞》
宮澤　拓巳（中京大学）
打率.500（24打数12安打）

	中京大学	愛知学院大学	愛知大学	名古屋商科大学	名古屋大学	愛知工業大学
中京大学		○○	○○	○○	○○	○○
愛知学院大学	●●		●○	○●	○●	○○
愛知大学	●●	○●		○○	●●	○○
名古屋商科大学	●●	●○	●●		○●	○○
名古屋大学	●●	●○	○○	●○		●○
愛知工業大学	●●	●●	●●	●●	○●	

《最多勝》
　間瀬　翼（中京大学）５勝
◎ベストナイン
投　手　間瀬　　翼（中京大学）
捕　手　平林　一浩（愛知学院大学）
一塁手　加藤　健祐（愛知大学）
二塁手　坂口　裕輝（名古屋商科大学）
三塁手　宮澤　拓巳（中京大学）
遊撃手　鈴木　仁偲（中京大学）
左翼手　高岸　弘卓（愛知大学）
中堅手　浅野　泰樹（中京大学）
右翼手　蔭山　和哉（中京大学）

◎打率ベストテン
１位　宮澤　拓巳（中京大学）　.500
２位　平林　一浩（愛知学院大学）　.484
３位　加藤　健祐（愛知大学）　.452
４位　伊東　宗志（愛知学院大学）　.412
５位　蔭山　和哉（中京大学）　.382
６位　坂口　裕輝（名古屋商科大学）　.370
７位　高岸　弘卓（愛知大学）　.364
８位　黒部　公太（名古屋大学）　.355
９位　小倉　　凌（中京大学）　.333
９位　浅野　泰樹（中京大学）　.333
９位　中川　直人（名古屋商科大学）　.333

春季２部リーグ戦

○３月30日～５月８日

◎３月30日　日本福祉大グラウンド
第１試合
愛教大　１０３０２１０００｜７
日福大　０００１０１０００｜２
（愛）繁竹－渡邉
（日）吉岡・神野・福田・林－祢津
☆二塁打　樽谷・藤田・福間・渡邉・繁竹・石川（愛）
第２試合
名城大　０００００００１｜１
名学大　０１０００００１０×｜２
（城）後藤・片山－山中
（学）小河原・吉田－平松
☆二塁打　稲葉・萩原２・松井

◎３月31日　名古屋学院大グラウンド
第１試合
名学大　０００００２０３｜５
名城大　１００１０２０００｜４
（学）吉田・亀井・庄子－平松
（城）太田・片山・伊藤－山中
☆三塁打　赤堀・山中（城）
☆二塁打　小河原（学）、萩原（城）
第２試合
日福大　１０００１０００｜２
愛教大　００１００１２１×｜５
（日）山下・吉岡・林－祢津
（愛）藤田－渡邉
☆本塁打　藤田（愛）
☆二塁打　鳥居・丹羽（日）

◎４月１日　森林公園野球場
第１試合
南山大　０００００２０００｜２
中部大　０００００００００｜０
（南）利光－多田
（中）長谷川隼－小野
第２試合
愛教大　０００００２００｜２
名学大　１０００２０００×｜３
（愛）福間－渡邉・手塚
（名）加藤大・小河原－平松
☆二塁打　藤田（愛）、田中（名）

◎４月２日　森林公園野球場
第１試合
名学大　０００００００００｜０
愛教大　００１０００００×｜１
（名）小河原－奥村
（愛）繁竹・藤田・福間－手塚
☆二塁打　山田（愛）
第２試合
中部大　０００００００００｜０
南山大　０００００２２０×｜４
（中）中田－小野
（南）青山－多田
☆二塁打　小野（中）、梶原・多田（南）

◎４月４日　森林公園野球場
第１試合
南山大　０００００００｜０
名城大　３００１０１２x｜７
（７回コールド）
（南）谷口－菊川
（名）後藤－北野
☆二塁打　兵藤（南）、赤堀・萩原（名）
第２試合
中部大　００１１００００｜２
日福大　１２００２０００×｜５
（中）柴田・中田－小野
（日）福田・山下－弓立・祢津

◎４月５日　森林公園野球場
第１試合
日福大　３０００８｜11
中部大　００００００｜０（５回コールド）
（日）山下・林・梶田－祢津
（中）長谷川隼－小野
☆二塁打　弓立・丹羽・神野・渡辺（日）
第２試合
名城大　０００００２００２１｜５
南山大　０００００００３０｜３
（名）太田・田中薫－山中
（南）青山－多田
☆二塁打　川上・田中（名）
小島・兵藤・多田（南）

◎４月６日　中部大グラウンド
第１試合
愛教大　１０００００３００７｜11
中部大　０００００００３０｜３
（愛）繁竹・福間－渡邉
（中）中田・溝添－小野
☆本塁打　樽谷（愛）
☆三塁打　山田（愛）
☆二塁打　友澤（中）

◎４月13日　名古屋学院大グラウンド
第１試合
日福大　０００００００２３｜５
名学大　１０００３００００｜４
（日）山下・梶田－祢津・柏田
（学）小河原・吉田－奥村
☆本塁打　後藤（名）
☆二塁打　鳥居・弓立・丹羽（日）
第２試合
愛教大　２０００００００｜２
南山大　０００００３０００×｜３
（愛）繁竹－渡邉
（南）青山－多田
☆三塁打　山本（南）
☆二塁打　山田（愛）

◎４月14日名古屋学院大グラウンド
第１試合
南山大　０００００３００１｜４
愛教大　０１０１２１００×｜５
（南）利光・谷口－菊川
（愛）藤田・福間－渡邉
☆三塁打　福間（愛）
☆二塁打　菊川（南）、原田（愛）

第２試合
名学大　０１３０００１００｜５
日福大　００３０００００１｜４
（名）吉田・庄子－平松
（日）山下・福田・吉岡・梶田－祢津・柏田
☆三塁打　丹羽（日）
☆二塁打　弓立（日）

◎４月20日　名古屋学院大グラウンド
第１試合
南山大　００００１３０６｜10
名学大　００００００１２｜３
（８回コールド）
（南）青山－多田
（名）加藤大・吉田・庄子・安江・橋本－平松
☆本塁打　田中（名）
☆三塁打　桑原（南）、小林（名）
☆二塁打　池井戸・藤井（名）
第２試合
名城大　０００００００００｜０
中部大　２００００２００１｜５
（名）後藤－北野
（中）長谷川隼－小野
☆三塁打　小野（中）

◎４月22日　名城大グラウンド
第１試合
名城大　１３１０１００１１｜８
日福大　００００３３００１｜７
（名）太田・田中薫・伊藤・片山－山中
（日）山下・福田・吉岡－柏田
☆本塁打　箕浦（名）
☆三塁打　澤邉（名）

◎４月27日　名古屋学院大グラウンド
第１試合
中部大　０００００００００｜０
名学大　０００００００００｜０
（中）長谷川－小野
（名）小河原・加藤大－平松
☆三塁打　小林（名）
☆二塁打　山田（中）、安江（名）
第２試合
南山大　０００００１２２０｜５
日福大　００２０００２００｜４
（南）青山－多田
（日）山下・梶田－柏田
☆二塁打　立松・大久保・多田（南）
関谷・渡辺（日）
第３試合
名城大　０２００１３０００｜６
愛教大　０００００１１２０｜４
（名）後藤・足立・伊藤・田中薫・片山－山中・北野
（愛）繁竹・山田航－渡邉
☆三塁打　後藤（名）
☆二塁打　川上・山中２（名）
樽谷・藤田・福間・石川（愛）

◎４月28日名城大グラウンド
第１試合
日福大　０１１２０１１０１｜７
南山大　００００１３０２2x｜８
（日）吉岡・山下・梶田－祢津・柏田
（南）利光・谷口・青山－多田
☆二塁打　鳥居・柏田（日）、兵藤（南）
第２試合
名学大　１０００１０００｜２
中部大　０００００００３3x｜３
（名）吉田－平松
（中）中田－小野
☆三塁打長谷川麗（中）
第３試合
愛教大　０００００００２１｜３
名城大　０００００００００｜０
（愛）藤田－渡邉
（名）太田・伊藤・片山－山中

◎４月29日　名古屋学院大グラウンド
第１試合
日福大　０２２３００６｜13
名城大　０１００００３０｜５
（７回コールド）
（日）福田－柏田
（名）足立・田中薫・伊藤・片山－山中
☆本塁打　山中（名）
☆三塁打　鳥居・丹羽・渡辺（日）
☆二塁打　神野２・弓立２・渡辺（日）
第２試合
中部大　０００００００３｜３
愛教大　０１００２２１０×｜６
（中）長谷川隼・中田－小野
（愛）繁竹－渡邉
☆三塁打　渡邉（愛）
☆二塁打　小松・山田（中）
樽谷・藤田・渡邉（愛）

◎５月２日名古屋学院大グラウンド
第１試合
中部大　１００００００００｜１
名城大　２００１０３００×｜６
（中）高橋・柴田・中田－小野
（名）太田・足立・田中薫・伊藤・片山－山中・北野
☆本塁打　萩原（名）
☆二塁打　長谷川麗・吉田（中）
磯川（名）

◎５月８日森林公園野球場
第１試合
名学大　０００００１０００｜１
南山大　００４００００１×｜５
（名）小河原・加藤大－平松
（南）谷口・山本・西山－多田
☆本塁打梶原（南）

２部・３部入れ替え戦

◎５月６日　中部大グラウンド
第１試合
中部大　１０２０００３１｜７
名工大　０００００００００｜０
（８回コールド）
（中）長谷川隼－小野
（名）掘川・鬼頭－三宅・掘川
☆本塁打　小松（中）
☆三塁打　長谷川麗
☆二塁打　山藤（中）、鞍馬（名）

◎５月18日　中部大グラウンド
第１試合
名工大　１０２３０１０００｜７
中部大　０４０２００００６｜６
（名）掘・鬼頭－山本
（中）長谷川隼・中田－小野
☆三塁打　三宅（名）、長谷川麗（中）
☆二塁打　岩崎・掘・久留島（名）
小松２・高木（中）

◎５月19日　中部大グラウンド
第１試合
中部大　００２０１３１００｜７
名工大　０００４００１０２｜７
（中）翠川・河内－小野
（名）堀川－山本
☆三塁打　堀川（名）
☆二塁打　吉田・小松（中）
岩崎・山本・伊藤（名）

◎５月24日　森林公園野球場
第１試合
名工大　０００００１３０｜４
中部大　２０２００１００×｜５
（名）鞍馬・堀・鬼頭－堀川
（中）中田・河内・長谷川隼－小野
☆二塁打　掘川・加藤（名）
吉田・小松（中）

※２勝１敗１分で中部大学が２部残留
名古屋工業大学が３部残留

	愛知教育大学	南山大学	名城大学	名古屋学院大学	日本福祉大学	中部大学
愛知教育大学		●○	●○	●○	○○	○○
南山大学	○●		●●	○○	○○	○○
名城大学	○●	○○		●●	○●	●○
名古屋学院大学	○●	●●	○○		●○	△●
日本福祉大学	●●	●●	●○	○●		○○
中部大学	●●	●●	○●	△○	●●	

１位　愛知教育大学　　７勝３敗
２位　南山大学　　７勝３敗
３位　名城大学　　５勝５敗
４位　名古屋学院大学　４勝５敗１分
５位　日本福祉大学　　４勝６敗
６位　中部大学　　２勝７敗１分
※勝敗が同じ場合は前回順位が高い大学が上位

《最優秀選手賞》
原田　英治（愛知教育大学）
《敢闘賞》
水野　佑記（南山大学）
《最優秀投手賞》
繁竹　洋輔（愛知教育大学）
《首位打者賞》
鳥居　亮佑（日本福祉大学）
打率　.400（35打数14安打）
《最多賞》
青山　晃丈（南山大学）　５勝
《本塁打者賞》
萩原　太一（名城大学）

◎ベストナイン
投　手　青山　晃丈（南山大学）
捕　手　渡邊　尚佳（愛知教育大学）
一塁手　藤田悠太郎（愛知教育大学）
二塁手　鳥居　亮佑（日本福祉大学）
三塁手　丹羽　史人（日本福祉大学）
遊撃手　渡邊　俊輔（日本福祉大学）
左翼手　樽谷　哲幸（愛知教育大学）
中堅手　山本　大智（南山大学）
右翼手　福間　正希（愛知教育大学）

◎打率ベストテン
１位　鳥居　亮佑（日本福祉大学）.400
２位　山本　大智（南山大学）　.387
３位　丹羽　史人（日本福祉大学）.363
４位　藤田悠太郎（愛知教育大学）.350
５位　渡邊　尚佳（愛知教育大学）.333
６位　萩原　太一（名城大学）　.307
７位　樽谷　哲幸（愛知教育大学）.300
７位　小野　裕司（中部大学）　.300
９位　福間　正希（愛知教育大学）.297
10位　渡辺　俊輔（日本福祉大学）.294

春季３部リーグ戦

○３月30日～５月５日

◎３月30日　岐阜大球場
第１試合
岐阜経済大　１００００００１｜２
名大医学部　００４２０００3x｜９
（８回コールド）
（岐）原・佐藤－比嘉京・比嘉恵
（名）寺尾－清水
☆二塁打　比嘉恵（岐）
山本・清水・加藤２・寺尾（名）

◎４月６日　名古屋大球場
第１試合
三重大学　０１０１１００００１｜４
岐阜経済大　３００１０４００×｜８
（三）浅井・田中－田中
（岐）坂口・原・佐藤－髙江洲
☆二塁打　原・髙江洲（岐）

◎４月７日　岐阜大球場
第１試合
名古屋工業大　０１１４０３０｜９
岐大医学部　００００００１０｜１
（７回コールド）
（名）鬼頭・堀－堀川
（岐）下澤－磯谷
☆三塁打　鞍馬（名）
☆二塁打　岩崎・山本真・伊藤（名）

◎４月14日　岐阜大球場
第１試合
三重大医水学部　２２００００００００｜４
名大医学部　０２００００００００｜２
（三）奥野－青木
（名）寺尾、坂下－清水
☆二塁打　坂口（三）
第２試合
三重大学　３００００３０００｜６
岐大医学部　００１０００００００｜１
（三）田中－松井
（岐）下澤－磯谷
☆二塁打　籾山（三）
第３試合
岐阜経済大　１０４０００１００｜６
名古屋工業大　００２２００２００｜６
（岐）坂口・原－髙江洲
（名）鬼頭・堀－堀川
☆二塁打　住藤（岐）
堀・鞍馬・鬼頭（名）

◎４月27日　名古屋大球場
第１試合
三重大医水学部　００１１００２０２｜６
三重大学　００００００３００２｜５
（医）奥野－青木
（三）田中－松井
☆三塁打牛場（三）、福持（医）
☆二塁打籾山（三）
第２試合
名古屋工業大　２０２０１２２００｜９
名大医学部　３１３０００１００｜８
（工）鬼頭・堀川－堀川・三宅
（医）坂下－清水
☆本塁打安藤（医）
☆三塁打　岩崎（工）、嶋谷・松本（医）
☆二塁打　岩崎・堀２・伊藤・古村（工）
加藤・坂下（医）

◎４月28日　名古屋大球場
第１試合
三重大医水学部　０１０１０１３００｜６
岐大医学部　００００２０３０2x｜７
（三）坂口－青木
（岐）下澤－磯谷
☆三塁打　上原（岐）
☆二塁打　黒岩・青木（三）、加藤（岐）
第２試合
三重大学　０００００００１００｜１
名古屋工業大　００３００１０１×｜５
（三）浅井・余語－松井
（名）堀・古谷－堀川
☆三塁打　山本真（名）
☆二塁打　堀川（名）

◎４月29日　岐阜大球場
第１試合
岐大医学部　００１００１０２０｜４
名大医学部　００１０３１１０×｜６
（岐）後藤・磯谷－磯谷・上原
（名）嶋谷・坂下－加藤・清水
第２試合
三重大医水学部　００００００００｜０
名古屋工業大　０００１３０3x｜７
（７回コールド）
（三）奥野・矢嶋－青木
（名）鬼頭－堀川
☆本塁打　堀川（名）
☆三塁打　久留島（名）

	名工大	岐経大	三重医水	名大医	三重大	岐大医	勝敗数
名古屋工業大学		△	○	○	○	○	４勝１分
岐阜経済大学	△		△	●	○	○	２勝１敗２分
三重大学医水学部	●	△		○	○	●	２勝２敗１分
名古屋大学医学部	●	○	●		●	○	２勝３敗
三重大学	●	●	●	○		○	２勝３敗
岐阜大学医学部	●	●	○	●	●		１勝４敗

※勝敗数が同じ場合は規定により前回順位による

◎５月４日　愛知県立大球場
第１試合
三重大医水学部　１００００２１０｜４
岐阜経済大　３０００００１００｜４
（三）奥野－青木
（岐）坂口・原－髙江洲
☆三塁打　福持（三）
☆二塁打　坪内・比嘉恵（岐）
第２試合
三重大学　０２０１０４０００｜７
名大医学部　１００００１１０１｜４
（三）浅井－松井
（名）坂下・寺尾－加藤
☆二塁打　籾山・小関・山口（三）
加藤２（名）

◎５月５日　岐阜大球場
第１試合
岐阜経済大　０２１０００１２１｜７
岐大医学部　０１００００１１０｜３
（経）原－髙江洲
（医）下澤－磯谷
☆三塁打　加藤（医）
☆二塁打　比嘉京・原（経）、松浦（医）

★順位
１位　名古屋工業大学　　４勝１分
２位　岐阜経済大学　　２勝１敗２分
３位　三重大学医水学部　２勝２敗１分
４位　名古屋大学医学部　２勝３敗
５位　三重大学　　２勝３敗
６位　岐阜大学医学部　　１勝４敗
※勝敗数が同じ場合は規定により前回順位による

★個人表彰
最優秀選手　鞍馬　宏紀（名工大）
敢　闘　賞　佐藤　優光（岐経大）
最優秀投手　鬼頭　健斗（名工大）
奥野　郁斗（三大医）
首位打者賞　加藤　真司（岐大医）
本塁打賞　安藤　雅能（名大医）
堀川　琢心（名工大）

★ベストナイン
投　手　堀川　琢心（名工大）
捕　手　髙江洲恒平（岐経大）
一塁手　加藤　真司（岐大医）
二塁手　加藤　智裕（名大医）
三塁手　上原　弘崇（岐大医）
遊撃手　籾山　功士（三重大）
左翼手　松本　悠平（名大医）
中堅手　嶋谷　拓真（名大医）
右翼手　堀　　雅和（名工大）

★入れ替え戦
中部大vs名工大　（昇格戦）
中部大　１０２０００３１｜７
名工大　０００００００｜０
（８回コールド）
名工大　１０２３０１０００｜７
中部大　０４０２００００｜６
中部大　０００４００１０２｜７
名工大　００２０１３１００｜７

名工大　０００００１３０｜４
中部大　２０２００１００×｜５

中部大２勝１敗１分より名工大の残留

岐大医vs名市大（降格戦）
岐大医　０１４０００１００｜６
名市大　０００００３６０×｜９

岐大医　０００２３０３０｜８
名市大　０２２０７２０２ｘ｜15
（８回コールド）

市大２勝により岐大医の降格

春季４部リーグ戦

○３月31～４月28日

◎３月31日　名古屋市立大学球場
第１試合
岐阜全学　２０００３０１００｜６
名市大　２０１０３０１０×｜７
（岐阜）花木・成田－伊佐治
（名市）榊原・井上－堀田
☆二塁打　小関・鈴木・丹羽（岐）
金屋（名）
第２試合
愛学歯　０００００１５１０｜７
藤　田　０１１４０１１０×｜８
（愛歯）太田・荒木－大橋
（藤田）福岡－土居
☆三塁打　福谷（歯）
☆二塁打　水野（歯）、土居・生田（藤）

◎４月６日　岐阜大学球場
第１試合
愛　県　１００００４｜５
名　市　５１３００６ｘ｜15×
（６回コールド）
（愛県）上田・鳥塚－水野
（名市）井上－堀田
☆三塁打井上（名）
☆二塁打水野・松下（県）、原田（名）

◎４月14日　名古屋市立大学球場
第１試合
愛　県　０００００３１０｜４
藤　田　０２０００００３０×｜５
（愛県）鳥塚・江崎－水野
（藤田）福岡－土居
☆二塁打　土居（藤）、下村・安田（県）
第２試合
岐阜全学　０１２１００２０５｜11
愛　歯　００２０００００１０｜３
（岐阜）高木・鈴木－伊佐治
（愛歯）水野・太田－大橋
☆二塁打　木村２・田安・藤本・鈴木（岐）
荒木（歯）

◎４月20日　愛知県立大学球場
第１試合
岐阜全学　０４０１２００｜７
愛　県　００００００００｜０
（７回コールド）
（岐阜）花木、成田－伊佐治
（愛県）鳥塚、江崎－水野
☆二塁打　伊佐治、加藤、花木（岐）
第２試合
名　市　２４２１３｜12
愛　歯　００００００｜０（５回コールド）
（名市）榊原－堀田
（愛歯）水野・太田－大橋
☆三塁打　堀田（名）
☆二塁打　金屋・石田・谷（名）

◎４月27日愛知県立大学球場
第１試合
愛　県　５２０３０４３４｜21
愛　歯　１２２０４２００｜11
（愛県）江崎－水野
（愛歯）水野・荒木－江口
☆本塁打　下村（県）
☆二塁打　下村２・松岡・鳥塚・伊藤（県）
水野２（歯）
第２試合
藤　田　０３０１２０３｜９
名　市　０００１１３０2x｜16×
（７回コールド）
（藤田）福岡－土居
（名市）榊原－堀田
☆本塁打　堀田（名）
☆三塁打　服部（名）
☆二塁打　池田・金屋・服部（名）
高津・成瀬・福岡（藤）

◎４月28日　名古屋市立大学球場
第１試合
藤　田　０７１０１１０００｜10
岐　阜　００１００３４１１｜10
（藤田）福岡－土居
（岐阜）花木・高木・鈴木－伊佐治
☆二塁打　友澤２・土居・岩崎・谷口（藤）
小関２・丹羽・加藤（岐）

３部・４部入れ替え戦

◎５月12日　岐阜大学球場
第１試合
岐阜医　０１４０００１００｜６
名　市　０００００３６０×｜９
（岐医）下澤・磯谷－磯谷・上原
（名市）榊原－堀田
☆三塁打　服部（名）
☆二塁打　西脇・久保谷（岐）、山内（名）

◎５月18日　名古屋市立大学球場
第１試合
岐阜医　０００２３０３０｜８
名　市　０２２０７２０2x｜15×
（８回コールド）
（岐阜医）下澤・磯谷－磯谷・上原
（名市）榊原・井上－堀田
☆三塁打　西脇（岐）
☆二塁打　西脇・加藤（岐）
堀田・金屋２・山内・服部・
石田（名）

☆順位
優勝　名古屋市立大学　４勝０敗
２位　岐阜大学（全学）　２勝１敗１分
３位　藤田保健衛生大学　２勝１敗１分
４位　愛知県立大学　１勝３敗
５位　愛知学院大学歯学部　０勝４敗
※勝敗数が同じ場合、規定により前回順位による

☆個人表彰
最優秀選手　服部　涉（名市）
最優秀投手　榊原　彰仁（名市）
敢　闘　賞　土居　久允（藤田）
首位打者賞　土居　久允（藤田）
本塁打賞　堀田　長良（名市）
下村　勇人（愛県）

☆ベストナイン
投　手　榊原　彰仁（名市）
捕　手　土居　久允（藤田）
一塁手　丹羽　英典（岐阜）
二塁手　原田　貴仁（名市）
三塁手　鈴木　志雄（岐阜）
遊撃手　金屋　歳三（名市）
左翼手　山内　翔（名市）
中翼手　服部　涉（名市）
右翼手　池田　隼樹（名市）

☆入れ替え戦結果
岐阜医６－９名市
岐阜医８－15×名市
名市大が３部へ昇格、岐阜医が４部へ降格

	名市	岐阜	藤田	愛県	愛歯	勝敗数
名古屋市立大学		○	○	○	○	４勝０敗
岐阜大学（全学）	×		△	○	○	２勝１敗１分
藤田保健衛生大学	×	△		○	○	２勝１敗１分
愛知県立大学	×	×	×		○	１勝３敗
愛知学院大学歯学部	×	×	×	×		０勝４敗

※勝敗数が同じ場合、規定により前回順位による

秋季リーグ戦　１部

○８月28日～10月15日

◎８月28日　瑞穂球場
第１試合
中京大　０００１００３００｜４
愛教大　０１０１０００03x｜５
（中）細江－小倉
（教）藤田・繁竹－渡邉
☆本塁打　藤田（教）
☆三塁打　堀田（教）
☆二塁打　小倉・村瀬・細江（中）
第２試合
愛知大　１０００１００００｜２
名商大　２０１０３１００×｜７
（愛）池田・平通－倉知
（商）伏見・斉藤－金子
☆本塁打　坂口（商）
☆三塁打　佐藤（商）
☆二塁打　里園・高岸２（愛）
鈴木２（商）

◎８月29日　瑞穂球場
第１試合
名商大　２０００００００１｜３
愛知大　１０００１００００｜２
（延長10回）
（商）岩本－金子
（愛）西村・平通・池田－古屋
☆二塁打　高岸（愛）
第２試合
愛教大　００３００１００００４｜８
中京大　４０００００００００1x｜５
（延長11回）
（教）山田・繁竹－渡邉
（中）小久保・仲宗根・石丸・細江－小倉・
大石
☆三塁打　杉浦（教）、小倉（中）
☆二塁打　小林・三好・小倉（中）

◎９月３日　瑞穂球場
第１試合
中京大　０００００２０１２｜５
名商大　００１００１４０×｜６
（中）細江・神谷・外薗－小倉
（商）伏見・小林－金子
☆三塁打　村瀬（中）
☆二塁打　三好・小林（中）
山田・坂口・鈴木（商）
第２試合
愛学院　０２００００００１００２｜５
名　大　００１０００１１００００｜３
（延長12回）
（院）藤吉・飯塚・渡辺－白谷
（名）清水－安永
☆三塁打　新海（院）
☆二塁打　藤吉（院）、西川（名）

◎９月５日　瑞穂球場
第１試合
愛知大　４０１００１１００｜７
名　大　０００００２００３ｘ｜５
（愛）西村・内藤・平通－岡田
（名）西山・清水－金谷
☆三塁打　石原２・犬飼（愛）、間瀬（名）
☆二塁打　犬飼・里園・岡田・長田（愛）
第２試合
愛学院　３１０１００００００｜５
愛教大　０００００００３０｜３
（院）伊藤・飯塚－白谷
（教）山田・天野・繁竹－渡邉・岩附
☆三塁打　新海（院）
☆二塁打　杉浦（教）

◎９月６日　瑞穂球場
第１試合
愛教大　０００１０｜１
愛学院　２００４５ｘ｜11（５回コールド）
（教）藤田・天野・繁竹－渡邉
（院）藤吉－白谷
☆三塁打　伊東・所（院）
☆二塁打　尾関（院）
第２試合
名　大　２００００２１１００００１｜７
愛　大　１１４００００００００ｘ｜６
（延長11回）
（名）辻本・清水－安永
（愛）岡田（雄）・平通－岡田（朋）
☆本塁打　加藤（愛）
☆二塁打　黒部・岡（名）、恩田・高岸（名）

◎９月10日　瑞穂球場
第１試合
中京大　２０００００３１２｜８
名　大　１００００００１０ｘ｜２
（中）神谷・伊藤（直）－小倉
（名）清水・辻本・徳田－安永
☆三塁打　大柳2（中）
☆二塁打　横田・田宅（中）
第２試合
愛　大　０００００２４００｜６
学　院　０００００２０００ｘ｜２
（愛）池田－岡田（朋）
（院）藤吉・渡辺－白谷
☆本塁打　高岸（愛）
☆三塁打　長田（愛）
☆二塁打　加藤（愛）

◎９月11日　瑞穂球場
第１試合
学　院　０００００１１００｜２
愛　大　１００００００４×｜５
（院）伊藤・飯塚・藤吉－白谷
（愛）西村－岡田
☆三塁打　堂園（院）
☆二塁打　高岸・岡田（朋）・犬飼・西村（愛）
第２試合
名　大　１００００００１００｜２
中京大　０２００１００１×｜４
（名）西山・清水－安永
（中）細江－大石
☆二塁打　加藤（名）、大石・鰐渕（中）

◎９月12日　瑞穂球場
第１試合
愛　大　０００２１２２｜７
愛教大　０００００００ｘ｜０
（７回コールド）
（愛）池田・内藤－岡田（朋）
（教）山田・繁竹－渡邉
☆二塁打　高岸（愛）
第２試合
名　大　００１０５１０１２｜10
名商大　５１２０００２０１ｘ｜11
（名）清水・西山－金谷
（商）岩本・高山・斉藤・小林－金子
☆三塁打　竹本２（名）、原田（商）
☆二塁打　近藤・黒部・西山（名）
坂口・岩本（商）

◎９月13日　瑞穂球場
第１試合
名商大　０２０２０００３０｜７
名　大　００２０１０１０２ｘ｜６
（商）伏見・斉藤・小林－金子
（名）辻本・西山・清水－金谷
☆二塁打　黒部・金谷（名）
第２試合
愛教大　０００１０００２０｜３
愛　大　０００００５０００×｜５
（教）藤田・山田・天野－渡邉
（愛）岡田（雄）・平通・西村－倉知
☆二塁打　藤田（教）
北河・里園・長田（愛）

◎９月21日　名商大グラウンド
第１試合
中京大　１１８４０｜14
学院大　００００ｘ｜０（５回コールド）
（中）神谷・伊藤（直）－小倉
（院）藤吉・伊藤－白谷
☆本塁打　小倉（中）
☆二塁打　永田（中）
第２試合
名商大　０４１０００１０｜６
愛教大　００１２０１６３ｘ｜13
（８回コールド）
（商）岩本・伏見・高山・斉藤－金子
（教）藤田・山田・繁竹－渡邉
☆二塁打　鈴木（研）（商）
渡邉・福本（教）

◎９月22日　名商大グラウンド
第１試合
愛教大　２０１０１００４｜８
名商大　１００００００ｘ｜１
（８回コールド）
（教）天野・繁竹－渡邉
（商）中根・岩本・小林－金子
☆本塁打　福本（教）
第２試合
学院大　０００００２００｜２
中京大　０００１０００｜１
（院）飯塚－白谷・岩附・大澤
（中）細江・外薗－大石
☆本塁打　三輪（院）

◎９月28日　愛知学院大学グラウンド
第１試合
愛学院　４０２００１０｜７
名商大　０００００００ｘ｜０
（７回コールド）
（院）飯塚－白谷
（商）伏見・中根・斉藤－金子
☆三塁打　新海（院）
☆二塁打　尾関・鈴木（健）・臼井（院）
二ノ宮（商）
第２試合
名　大　０００００１０２｜３
愛教大　０００００００００｜０
（名）清水－安永
（教）藤田・繁竹－渡邉
☆二塁打　竹本（名）、渡邉（教）

◎９月29日　愛知学院大学グラウンド
第１試合
愛教大　０００００１１１０｜３
名　大　０００００００１１｜２
（教）天野・繁竹－渡邉
（名）辻本・清水－安永
☆二塁打　福本（教）、間瀬２（名）
第２試合
名商大　０００２００５１０｜８
愛学院　０１３００１００１｜６
（商）岩本・中根・斉藤・小林－金子
（院）伊藤・渡辺・藤吉・飯塚－白谷・岩附
☆二塁打　鈴木（研）・神谷（商）
尾関・杉浦・白谷（院）

	中京大学	愛知大学	愛知学院大学	名古屋商科大学	名古屋大学	愛知教育大学	勝　敗
中京大学		●●	○●	●○	○○	●●	４勝６敗
愛知大学	○○		○○	●●	○●	○○	７勝３敗
愛知学院大学	●○	●●		○●	○●	○○	５勝５敗
名古屋商科大学	○●	○○	●○		○○	●●	６勝４敗
名古屋大学	●●	○○	●○	●●		○●	４勝６敗
愛知教育大学	○○	●●	●●	○○	●○		５勝５敗

◎10月８日　瑞穂球場
第１試合
名　大　０１００５０１００｜７
愛学院　００１０１００１１｜４
（名）西山・徳田・辻本－金谷
（院）藤吉・渡辺・大澤－白谷・岩附
☆二塁打　間瀬２・西山・藤井（名）
貞包（院）
第２試合
名商大　０００３００１００｜４
中京大　００１０００１3x｜５
（商）中根・斉藤－金子
（中）神谷・伊藤・小久保・仲宗根－小倉
☆三塁打　竹内（中）
☆二塁打　佐藤・坂口・二ノ宮（商）

◎10月12日　中京大学グラウンド
第１試合
中京大　００５０００００｜５
愛知大　００２１００４０×｜７
（中）細江・伊藤（直）・石丸－大石・小倉
（愛）池田・岡田（雄）・西村－岡田・倉知
☆本塁打　大柳（中）
☆三塁打　小澤・長田（愛）

◎10月13日　中京大学グラウンド
第１試合
愛知大　１００００００１０｜２
中京大　０００００００００｜０
（愛）岡田（雄）・西村－倉知
（中）小久保－小倉
☆二塁打　犬飼（愛）

１、２部入れ替え戦

◎10月12日　中京大学グラウンド
第２試合
名　大　０００００１３５｜９
名城大　０００００００００｜０
（８回コールド）
（名）清水－安永
（城）後藤・伊藤・片山－山中
☆二塁打　間瀬・安永（名）

◎10月13日　中京大学グラウンド
第２試合
名城大　０１００１６００１｜９
名　大　２１８０００１０×｜12
（城）田中（薫）・伊藤・足立・後藤－山中
（名）辻本・西山・清水－安永
☆三塁打　林（城）
☆二塁打　萩原（城）、黒部（名）

※２勝で名古屋大学が１部残留
名城大学が２部残留

優勝　愛知大学　７勝３敗
２位　名古屋商科大学　６勝４敗
３位　愛知学院大学　５勝５敗
４位　愛知教育大学　５勝５敗
５位　中京大学　４勝６敗
６位　名古屋大学　３勝７敗

《最優秀選手賞》
小澤賢之助（愛知大学）

《敢闘賞》
神谷　奨太（名古屋商科大学）

《最優秀投手賞》
岡田　雄樹（愛知大学）

《首位打者賞》
黒部　公太（名古屋大学）
打率　.500（34打数17安打）

《最多勝》
伏見　夏樹（名古屋商科大学）３勝
岡田　雄樹（愛知大学）　３勝

《本塁打者賞》
加藤　健祐（愛知大学）
高岸　弘卓（愛知大学）
坂口　裕輝（名古屋商科大学）
三輪　剛士（愛知学院大学）
藤田悠太郎（愛知教育大学）
福本　雄大（愛知教育大学）
小倉　　凌（中京大学）
大柳　智暉（中京大学）

◎ベストナイン
投　手　岡田　雄樹（愛知大学）
捕　手　渡邊　尚佳（愛知教育大学）
一塁手　三好　巧真（中京大学）
二塁手　坂口　裕輝（名古屋商科大学）
三塁手　福本　雄大（愛知教育大学）
遊撃手　鈴木　健太（愛知学院大学）
左翼手　鈴木　研次（名古屋商科大学）
中堅手　近藤　健太（名古屋大学）
右翼手　黒部　公太（名古屋大学）

◎打率ベストテン
１位　黒部　公太（名古屋大学）　.500
２位　福本　雄大（愛知教育大学）　.454
３位　近藤　健太（名古屋大学）　.432
４位　藤田悠太郎（愛知教育大学）　.413
５位　坂口　裕輝（名古屋商科大学）　.404
６位　犬飼　将登（愛知大学）　.400
７位　佐藤真之介（名古屋商科大学）　.394
８位　村瀬　量一（中京大学）　.387
８位　渡邊　尚佳（愛知教育大学）　.387
10位　里園　公基（愛知大学）　.379

秋季リーグ戦　２部

◎８月31日　愛知工業大学球場
第１試合
愛工　１０００００１０２｜４
中部　００１０３００４×｜８
（愛工）鈴木・加藤－立石
（中部）翠川・中田－内藤
☆本塁打　小野（中）
☆二塁打　鈴木（愛）
吉田・山田・長谷川麗（中）
第２試合
南山　０００００００００｜０
日福　１００００２２１×｜６
（南山）青山・山本拓－廣瀬
（日福）山下－柏田
☆三塁打　柏田（日）
☆二塁打　家田（日）

◎９月７日　名城大学球場
第１試合
名城　０００３００１００｜４
名学　１００００００００｜１
（名城）後藤－山中
（名学）小河原・加藤大－平松
☆三塁打　山中（名城）
☆二塁打　林（名城）

◎９月11日　名古屋学院大学球場
第１試合
名城　０２１００２０００｜５
日福　０１１００００１１｜４
（名城）後藤・片山－山中
（日福）山下－柏田
☆二塁打　林（名）
第２試合
名学　０１００００００３｜４
中部　０００１１１００2x｜５
（名学）小河原・吉田－平松・児玉
（中部）翠川・中田・長谷川隼－内藤
☆本塁打　内藤（中）
☆二塁打　藤井（名）、吉田・春日（中）
第３試合
愛工　１０３０００２００｜６
南山　００１１００００１２｜５
（愛工）加藤－立石
（南山）大久保－廣瀬
☆本塁打　森（愛）、廣瀬（南）
☆二塁打　鈴木（愛）、梶原・桑原（南）

◎９月12日名古屋学院大学球場
第１試合
中部　１１０００３０｜５
名学　０２１２０２4x｜11（７回コールド）
（中部）翠川・中田・長谷川隼－内藤
（日福）吉田・加藤大・小河原－平松
☆三塁打　鎌田・安江（名）
☆二塁打　藤井・平松２（名）

第２試合
日福　００６２１０００｜９
名城　００２２２０２００｜８
（日福）乙部・林・吉岡－柏田
（名城）太田・足立・田中・伊藤・片山－山中
☆本塁打　萩原・山中（名）
☆三塁打　鳥居２・弓立（日）
☆二塁打　鬼頭２・丹羽（日）、林（名）
第３試合
南山　００２１００００｜３
愛工　００３０１０００×｜４
（南山）利光・青山－廣瀬
（愛工）加藤・小林－立石
☆三塁打　水野（愛）
☆二塁打　桑原・利光・山本大（南）
川出（愛）

◎９月17日　瑞穂球場
第１試合
愛工　０００２１０２００｜５
名学　３１１０００００｜５
（愛工）加藤大－立石
（名学）小河原・森下－鎌田
☆三塁打　川出（愛）
☆二塁打　加藤大（名）
第２試合
南山　０００１２００１１｜５
名城　０２０１００００｜３
（南山）青山－廣瀬
（名城）後藤・伊藤・片山－山中
☆二塁打　廣瀬（南）、赤堀（名）

◎９月18日　瑞穂球場
第１試合
名城　００６０１０００５｜12
南山　０００００２０００｜２
（名城）後藤・伊藤・片山－山中
（南山）利光・桝田・山本・杉浦・中西－廣瀬
☆二塁打　林（名）
第２試合
名学　００２１０００００４｜７
愛工　１００３００１００｜５
（名学）小河原・森下・加藤大－平松
（愛工）鈴木・川出－立石
☆三塁打森（愛）
☆二塁打小林・勝（愛）

◎９月19日瑞穂球場
第１試合
南山　００２０１２１０２｜８
日福　００００１０２１２０｜６
（南山）谷口・青山－廣瀬
（日福）山下・吉岡・乙部－柏田
☆三塁打　梶原（南）
☆二塁打　山本（南）
山下・丹羽・柏田（日）
第２試合
中部　０１２０００００３０｜６
愛工　０００１００１００｜２
（中部）翠川・中田－小松
（愛工）加藤－立石
☆三塁打　川出（愛）
☆二塁打　小松・溝添・翠川（中）

◎９月21日　名古屋学院大学球場
第１試合
南山　２１００５２２｜12
中部　００１０００００×｜１（７回コールド）
（南山）青山－廣瀬
（中部）長谷川隼・中田・高橋・翠川－内藤
☆本塁打　森裕（南）
☆二塁打　水野（南）・青山（南）
第２試合
名学　３０００００００｜３
日福　１２００００７×｜10
（名学）小河原－平松
（日福）山下－柏田
☆二塁打鎌田（名）、家田・山下（日）

◎９月22日　名古屋学院大学球場
第１試合
日福　１００００４０１００｜６
名学　０６０００００１×｜７
（日福）吉岡－柏田
（名学）小河原－平松
☆二塁打　鳥居・家田2・弓立（日）
加藤大・三宅（名）
第２試合
中部　０００００１０００｜１
南山　３０００００１×｜４
（中部）翠川－内藤
（南山）利光・谷口－廣瀬
☆三塁打　池田（中）
☆二塁打　志村（中）
梶原・兵藤・小島（南）

◎９月25日　瑞穂球場
第１試合
愛工　００１０００｜１
名城　０２２２２３×｜11（６回コールド）
（愛工）加藤・鈴木・小林－立石
（名城）後藤・太田－山中
☆三塁打　田中（名）
第２試合
日福　３０２３００１０２｜11
中部　００３０００００００｜３
（日福）山下・二村・乙部－柏田
（中部）翠川・中田・長谷川隼－内藤
☆三塁打　柏田（日）
☆二塁打　弓立・村上（日）

◎９月26日瑞穂球場
第１試合
中部　６０１２０１３１０｜14
日福　０２３０３１０００｜９
（中部）翠川・中田－内藤
（日福）田中・吉岡・山下・二村－弓立・柏田
☆本塁打　家田（日）
☆三塁打　池田（中）
☆二塁打　小野・小松２・内藤２・春日（中）
鳥居・弓立（日）
第２試合
名城　６０５１００００３０｜15
愛工　０４３１２００００｜10
（名城）後藤・太田・松井・足立・片山－山中
（愛工）小林・鈴木－東野・立石
☆三塁打　萩原（名）
☆二塁打　林２・稲葉（名）

◎９月27日　瑞穂球場
第１試合
名学　０２１１０００１０｜５
名城　０００００１００｜１
（名学）吉田－平松
（名城）後藤・伊藤・片山－山中
☆三塁打　後藤（名学）
☆二塁打　花井（名城）
第２試合
日福　１２０００００７｜10
愛工　００００００００×｜０（７回コールド）
（日福）乙部－柏田
（愛工）鈴木・小林－立石
☆二塁打家田（日）、勝（愛）

◎10月１日　瑞穂球場
第１試合
南山　０１０００３０１０｜５
名学　００３２００００×｜５
（南山）青山－多田
（名学）吉田－平松
☆三塁打　鎌田（名）
☆二塁打　青山（南）、加藤大（名）
第２試合
名城　０００００３０１２｜６
中部　０００００００００｜０
（名城）後藤－山中
（中部）中田－内藤
☆三塁打　萩原・田中（名）
☆二塁打　赤堀（名）

◎10月２日　瑞穂球場
第１試合
愛工　００１００２０｜３
日福　１０３４００２×｜10（７回コールド）
（愛工）加藤・小林－立石
（日福）二村・山下－柏田
☆三塁打　弓立（日）
☆二塁打　神野・鳥居（日）
第２試合
中部　３１００３０３０｜10
名城　６００１７００２×｜16
（８回コールド）
（中部）長谷川隼・翠川・中田－内藤・小松
（名城）片山・稲葉－山中
☆二塁打赤堀・稲葉（名）
第３試合
名学　２４１６００００００｜13
南山　２０００３６２０１｜14
（名学）小河原・平松－平松・小河原
（南山）西山・山田・水野・山本大・大久保・利光－小島・森匠・多田
☆二塁打　平松２・加藤大・鎌田（名）
森岡・森匠（南）

	名城大	日福大	名学大	南山大	中部大	愛工大
名城大		○●	○●	●○	○○	○○
日福大	●○		○●	○○	○●	○○
名学大	●○	●○		○●	●○	△○
南山大	○●	●●	●○		○○	●●
中部大	●●	●○	○●	●●		○○
愛工大	●●	●●	△●	○○	●●	

優勝決定プレーオフ
◎10月９日　瑞穂球場
日福　０００００２０１｜３
名城　００１１１２０００｜５
（日福）乙部・吉岡・山下－柏田
（名城）後藤・片山－山中
☆三塁　打稲葉（名）
☆二塁打　鳥居（日）

◎ベストナイン
投　手　後藤　大騎（名城大）
捕　手　平松　　夢（名学大）
一塁手　藤井　　亮（名学大）
二塁手　鳥居　亮佑（日福大）
三塁手　小野　裕司（中部大）
遊撃手　川上雄太郎（名城大）
左翼手　林　孝太郎（名城大）
中堅手　加藤　大騎（名学大）
右翼手　家田　幸典（日福大）

◎打率順位
１位　鳥居　亮佑（日福大）
２位　林　孝太郎（名城大）
３位　加藤　大騎（名学大）
４位　平松　　夢（名学大）
５位　家田　幸典（日福大）
６位　川上雄太郎（名城大）
７位　稲葉　卓郎（名城大）
８位　藤井　　亮（名学大）
９位　内藤　貴之（中部大）
10位　溝添　　歩（中部大）
10位　小野　裕司（中部大）

１位	名城大学	７勝３敗
２位	日本福祉大学	７勝３敗
３位	名古屋学院大学	５勝４敗１分
４位	南山大学	４勝６敗
５位	中部大学	４勝６敗
６位	愛知工業大学	２勝７敗１分

※勝敗が同じ場合は前回順位が高い大学が上位

《最優秀選手》
川上雄太郎（名城大）
《最優秀投手》
後藤　大騎（名城大）
《敢闘賞》
弓立　健太（日福大）
《首位打者賞》
鳥居　亮佑（日福大）
《本塁打賞》
小野　裕司（中部大）
内藤　貴之（中部大）
森　　祐樹（愛工大）
廣瀬　悠人（南山大）
萩原　太一（名城大）
山中雄一郎（名城大）
森　　裕隆（南山大）
家田　幸典（日福大）

秋季リーグ戦　３部

◎８月31日　名市大グランド
第１試合
三重大　１００００００００｜１
名市大　１２０００００３０×｜６
（三重）後藤・水谷－田中
（名市）榊原・井上－池田
☆二塁打　河野（名）
第２試合
三大医　０００００１０００｜１
名大医　０００００００１1x｜２
（三医）奥野・坂口－黒岩
（名医）坂下－佐々木
☆二塁打　奥野（三）、岡田（名）

◎９月１日　名市大グランド
第１試合
名工大　１０１１００２００｜５
三重大　００１１０２０００｜４
（名工）堀川・堀－三宅・堀川
（三重）後藤－前田
☆二塁打　堀（名）、松井・西田（三）
第２試合
岐経大　１０１０００１０１｜４
名大医　０００１２１００1x｜５
（岐経）古桐－佐藤・比嘉（恵）
（名医）寺尾・坂下－佐々木
☆二塁打　原・椙浦２・佐藤（岐）
加藤・山本（名）

◎９月７日　名市大グランド
第１試合
名工大　０００００２０００｜２
名大医　００２００００１×｜３
（名工）堀－三宅
（名医）寺尾・坂下－佐々木
☆本塁打　岡田（名医）
☆二塁打　岩崎２・堀（名工）
第２試合
名市大　０００７１００｜８
岐経大　１０００００００｜１
（７回コールド）
（名市）榊原－池田
（岐経）古桐・坂口－佐藤
☆二塁打　河野・原田・服部（名）

◎９月14日　名市大グランド
第１試合
名工大　３１００４１３｜12
名市大　００００００１０｜１
（７回コールド）
（名工）堀・鬼頭－堀川
（名市）榊原・牛田・井上－池田
☆二塁打　堀･鞍馬･木水･古谷２（名工）
河野２（名市）
第２試合
三重大　００２２００００００｜４
名大医　１０２００１２０×｜６
（三重）後藤－前田（耕）田中
（名医）寺尾・坂下－佐々木
☆二塁打　西田（三）、山本・加藤（名）

◎９月21日　名市大グランド
第1試合
名大医　０００００３００４｜７
名市大　００３０００００００｜３
（名医）寺尾・坂下－佐々木
（名市）榊原－池田
☆三塁打　原田（名市）
☆二塁打　生田・加藤（名医）
池田・金屋２（名市）

９月22日
第１試合
三重大　３０１００００００｜４
三大医　０００００１０１1x｜11
（７回コールド）
（三重）後藤・水谷－田中
（医水）奥野－黒岩
☆本塁打　西田・後藤（三重）
☆二塁打　西田・後藤（三重）
坂口（医水）
第２試合
名工大　１３５１５０１｜16
岐経大　０１５００２１｜９
（７回コールド）
（名工）堀・鬼頭－堀川
（岐経）坂口・古桐・大場－佐藤
☆本塁打　山本（真）・堀（名工）
☆二塁打　岩崎・伊藤・堀川（名工）
比嘉（恵）・髙江洲・坪岡・
住藤（岐経）

◎９月28日
第１試合
三大医　０００００３１００｜４
名市大　０００００１０１０｜２
（三医）坂口・青木・奥野－黒岩
（名市）榊原・井上－池田
☆二塁打　加藤（三医）、河野（名市）
第２試合
三重大　００１１００００３｜５
岐経大　０００１３００３×｜７
（三重）山本・後藤－田中
（岐経）佐藤・原－髙江洲
☆二塁打　西田・白井（三重）
髙江洲（岐経）

	名大医	名工大	岐阜経	三大医	名市大	三重大	勝　敗
名大医		○	○	○	○	○	５勝
名工大	●		○	○	○	○	４勝１敗
岐阜経	●	●		○	●	○	２勝３敗
三大医	●	○	●		●	○	２勝３敗
名市大	●	●	○	●		○	２勝３敗
三重大	●	●	●	●	●		５敗

◎９月29日
第１試合
岐経大　０００００３４１０｜８
三大医　１０１０３０１００｜６
（岐経）大場・比嘉（恵）原－髙江洲
（三医）奥野・矢嶋・坂口－黒岩
☆二塁打　小田・脇田（岐経）
青木（三医）

☆順位
１位　名古屋大学医学部　５勝
２位　名古屋工業大学　４勝１敗
３位　岐阜経済大学　２勝３敗
３位　三重大学医水大学　２勝３敗
３位　名古屋市立大学　２勝３敗
６位　三重大学　５敗

☆個人表彰
最優秀選手　岡田　裕史（名大医）
最優秀投手　坂下　勝哉（名大医）
首位打者賞　原　滉樹（岐経大）
髙江洲恒平（岐経大）
敢闘賞　堀　雅和（名工大）
本塁打賞　堀　雅和（名工大）
岡田　裕史（名大医）
西田　裕典（三重大）
白井　向考（名大医）
山本　真也（名工大）

☆ベストナイン
投手　坂下　勝哉（名大医）
捕手　池田　（名市大）
一塁手　鞍馬　宏紀（名工大）
二塁手　青木　一晃（三大医）
三塁手　岡田　裕史（名大医）
遊撃手　山本　亮（名大医）
左翼手　原　滉樹（岐経大）
中翼手　岩崎　凌（名工大）
右翼手　白井　向考（三重大）

秋季リーグ戦　４部

◎９月７日　岐阜大学グラウンド
第１試合
藤田保健衛生大学　００２００１０｜３
岐阜大学　４０２０１１2x｜10
（７回コールド）
（藤田）山崎－白石
（岐阜）花木－伊佐治
☆三塁打　白石（藤）
☆二塁打　森崎・高津（藤）
藤本・杉山（岐）

◎９月７日　愛知県立大学グラウンド
第1試合
愛知県立大学　１１５６０１｜23
愛知学院大学歯学部　０１２００｜３
（５回コールド）
（県）江崎・鳥塚－宮下
（歯）阿部・三宅・荒木－鵜飼
☆本塁打　江崎（県）、水野（歯）
☆三塁打　石川（歯）
☆二塁打　下村・上田・村瀬（県）

◎９月14日　愛知県立大学グラウンド
第１試合
藤田保健衛生大学　０００００１１１０｜３
愛知県立大学　１００００００03x｜４
（藤田）寺田－白石
（愛県）江崎－森
☆本塁打　山崎・寺田（藤）
☆三塁打　下村・鳥塚（県）
☆二塁打　下村・松岡（県）
第２試合
愛知学院大学歯学部　００００００｜０
岐阜大学医学部　４５２０×｜11
（５回コールド）
（愛歯）三宅－鵜飼
（岐医）下澤－青山
☆三塁打　磯谷（医）
☆二塁打　福谷（歯）、磯谷・久保谷（医）

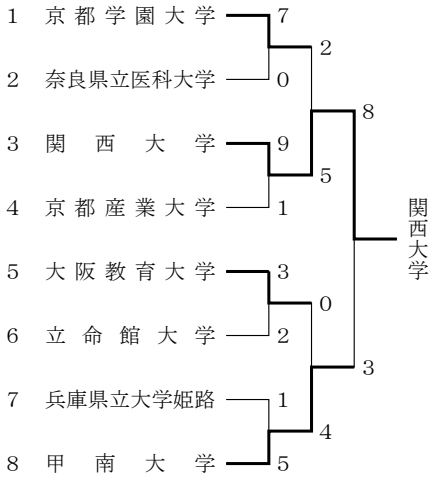
◎９月21日　岐阜大学グラウンド
第１試合
愛知学院大学歯学部　１３００００｜４
藤田保健衛生大学　４０３０４3x｜14
（６回コールド）
（愛歯）阿部・水野・古居－鵜飼
（藤田）山崎・寺田－白石
☆本塁打　山崎２（藤田）
☆二塁打　水野・古居（歯）
平尾・高津２・武内・寺田２・
山崎（藤）
第２試合
岐阜大学医学部　０１００３２０００｜６
岐阜大学　００１０１１００２｜５
（岐医）下澤・磯谷－青山
（岐阜）花木・成田・伊藤匠－伊佐治
☆二塁打　磯谷・久保谷・窪谷・青山（医）
藤樫・小関（岐）

◎９月28日　愛知県立大学グラウンド
第１試合
愛知県立大学　０００００００００｜０
岐阜大学医学部　０１０１０２００×｜４
（県大）江崎－宮下
（岐医）下澤－青山
☆二塁打　水野（県）、加藤・下澤（医）
第２試合
岐阜大学　１００１１０１１０｜５
愛知学院大歯学部　０３００２００１０｜６
（岐阜）伊藤匠・成田－伊藤健・伊佐治
（愛歯）太田・上野－江口
☆二塁打　丹羽・木村・鈴木（岐）
阿部・江口・荒木・水野（歯）

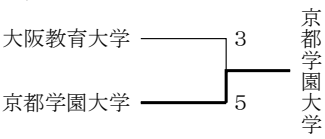
◎10月12日　愛知県立大学グラウンド
第１試合
岐阜大学　０１３０００００４｜８
愛知県立大学　１２２０００００２｜７
（岐阜）花木・成田－伊佐治
（愛県）江崎・鳥塚－宮下・森
☆本塁打　木村（岐）
☆二塁打　松岡２・上田・江崎（県）
第２試合
藤田保健衛生大学　５１０００３０｜９
岐阜大学医学部　００００００００｜０
（７回コールド）
（藤田）寺田－高津
（岐医）後藤・青山－青山・松浦
☆二塁打　國村・白石（藤）、長瀬（医）

平成25年度
関 西 地 区 大 会 成 績

第65回関西地区大学準硬式野球選手権大会



3位決定戦



◎５月13日㈪　舞洲ベースボールスタジアム

第１試合

京都学院大学	０	０	１	２	１	０	０	３	**7**
奈良県立医科大学	０	０	０	０	０	０	０	０	**0**

（京）高月－片山
（奈）前田勇－太田
☆三塁打　前田勇（奈）
☆二塁打　小松（京）

第２試合

								計
京都産業大学	０	０	１	０	０	０	０	**1**
関西大学	０	０	０	３	２	４	×	**9**

（７回コールド）
（京）川口・東島－深井
（関）辻・森本－上総
☆二塁打　深井翔（２本）・井出（２本）・上総・水津（関）、川口（京）

◎５月14日㈫

第１試合

											計
立命館大学	０	０	１	０	０	０	０	０	０	１	**2**
大阪教育大学	０	０	０	０	０	０	０	０	１	2x	**3**

（延長10回）
（立）堺・西村・古賀－福井
（大）大串・西本－田名瀬
☆二塁打　柴田（立）

第２試合

										計
兵庫県立大学姫路	０	０	０	０	０	０	０	１	０	**1**
甲南大学	１	０	１	０	２	０	０	１	×	**5**

（兵）中川・中務－中
（甲）宮脇・鈴木丘－土居
☆二塁打　畑野（姫路）、小林（甲南）

◎５月15日㈬

第１試合

										計
京都学園大学	０	０	０	０	０	２	０	０	０	**2**
関西大学	０	０	２	０	０	１	０	２	×	**5**

（京）石田－片山
（関）森本－上総
☆二塁打　濱名・森本（関）、河野（京）

第２試合

										計
甲南大学	０	２	０	１	１	０	０	０	０	**4**
大阪教育大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	**0**

（甲）香川・宮脇－土居
（大）大串・西本－田名瀬
☆二塁打　小林（甲）

◎５月16日㈭

第１試合　三位決定戦

										計
大阪教育大学	０	０	０	１	０	０	２	０	**3**	
京都学園大学	０	０	０	１	４	０	０	×	**5**	

（大）山口・西本－田名瀬
（京）高月－片山

第２試合　決勝戦

										計
関西大学	０	０	４	１	０	０	１	２	０	**8**
甲南大学	０	２	０	０	１	０	０	０	０	**3**

（関）辻－上総
（甲）香川・鈴木・香川－上林
☆三塁打　深井（関）
☆二塁打　鈴木彰（甲）、井手（関）

大会運営を終えて

学生委員長　小池　新平

第65回関西地区大学準硬式野球選手権大会は関西の頂点を決める大会であり、また全国大会への出場権がかかった大会なので、初日から最終日まで白熱した試合が行われました。運営面では私自身が慣れていない事もあり終始周りの方々にご迷惑をおかけしてしまったと思います。その中でも大会運営が無事に終えられたのは関西連盟の方々、審判団の方々、球場関係者の方々、そして各大学の選手の方々に協力していただき、支えていただいたおかげだと思います。これらのことに対する感謝の気持ちを今後も忘れずに物事に打ち込んでいきたいと思います。

第65回関西地区大学準硬式野球選手権大会を終えて

関西大学準硬式野球部
主将　川島　　拓

まずは目標にしていた関西選手権で優勝することが出来、率直に嬉しいです。ここに来ているチームは各リーグを一位で通過しているチームなので苦しい試合を覚悟してました。初戦から決勝戦まで関大の野球をすることが出来たことが勝てた大きな要因だったと思います。関西一位の誇りを胸に全国制覇を狙います。

関西地区トーナメント大会

１次予選トーナメント

◎５月４日㈯　関西学院大学軟式野球場

［第１試合］

										計
関西学院大学	１	０	０	０	０	０	０	０	０	**1**
龍谷大学	０	０	０	０	０	０	０	２	１	×	**3**

（関学）江澤・大西－斎藤
（龍谷）沖・光永－松村
☆二塁打　金田・斎藤（関）
山口・松村（龍）

［第２試合］

										計
滋賀医科大学	０	０	４	０	０	１	６	２		**13**
摂南大学	３	０	０	０	０	１	１	０		**5**

（８回コールド）
（滋医）居出上・伊藤・渡辺－田中
（摂南）安達・大畑－山口
☆三塁打　田村（滋）
☆二塁打　高原・伊藤・森・宮本（滋）
下木・山口（摂）

◎５月４日㈯　関西大学高槻キャンパス野球場

［第１試合］

										計
大阪市立大学医学部	０	０	０	０	２	０	０	０	０	**2**
近畿大学	０	０	０	１	０	２	２	０	×	**5**

（市医）河崎－佐々木
（近大）白川－井上
☆三塁打　西原（近）
☆二塁打　河崎（市）、籔内（近）

［第２試合］

										計
大阪商業大学	０	０	０	０	４	０	０	０	０	**4**
大手前大学	０	０	０	１	０	１	０	０	０	**2**

（大商）永井－森田
（大手）野中・長尾－迫田
☆二塁打　野中・迫田・福井（手）

◎５月４日㈯　大阪市立大学野球場

［第１試合］

												計
和歌山大学	０	０	０	１	０	０	０	１	１	０	１	**4**
大阪大学歯学部	１	０	０	１	０	０	０	１	０	０	０	**3**

（延長11回）
（和大）前田雄・小野・前田惇－前田惇・横田
（阪歯）佐伯－笠川
☆二塁打　坂口・宮田・河合・磁脇（和大）
大野・佐伯（阪歯）

［第２試合］

										計
兵庫教育大学	０	０	１	０	０	０	０	０	１	**2**
大阪市立大学	０	１	０	０	０	０	０	０	０	**1**

（兵教）諫山－遠藤
（市大）戸田－湯澤
☆二塁打　戸田２（市）

◎５月４日㈯　兵庫医科大学野球場

［第１試合］

										計
神戸大学	３	０	７	１	４					**15**
滋賀大学経済	３	０	０	０	１					**4**

（５回コールド）
（神戸）守田・内藤－梶木
（滋経）平井・荻田・長野－砂川
☆本塁打　稲垣（滋）
☆二塁打　吉田（神）、後山・内藤（滋）

［第２試合］

大 谷 大 学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
花 園 大 学	0	0	0	0	0	2	5	0	×	7

（大谷）宮地・新・高良－松本
（花園）島見・井用－吉田

◎５月５日㈰　関西学院大学軟式野球部
［第１試合］

和歌山大学	2	0	1	0	0	0	1	0	2	6
桃山学院大学	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2

（和大）前田惇・小野－前田雄
（桃山）正木・津田－田中
☆三塁打　小野（和）
☆二塁打　坂口３・髙島（和）
［第２試合］

滋賀医科大学	0	0	0	0	0	0	0	0		0
関西大学人間環境	1	3	0	0	1	0	2	×		7

（７回コールド）
（滋医）井出上・伊藤－田中
（関人）金田－上田
☆二塁打　堀井２・堀口（関）

◎５月５日㈰　龍谷大学野球場
［第１試合］

龍 谷 大 学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪経済大学	0	0	1	0	0	0	0	0	×		1

（龍谷）石井・光永・沖－松村
（大経）佐川－小川
［第２試合］

花 園 大 学	0	0	0	0	0	4	0	0		4
滋賀大学教育	0	0	1	0	0	0	0	0		1

（花園）高見－吉田
（滋教）足立・黒木－多賀野・伴
☆三塁打　髙田（滋）
☆二塁打　足立・伴（滋）

◎５月５日㈰　同志社大学軟式野球場
［第１試合］

近 畿 大 学	0	0	0	2	0	0	0	0		2
同志社大学	1	0	0	0	4	2	0	2	×	9

（８回コールド）
（近大）白川・小泉－井上
（同大）福留・川添－松本
☆本塁打　岡本（同）
☆二塁打　連・西原２（近）
山崎・川添（同）
［第２試合］

大阪商業大学	1	0	0	3	1	1	0	0	3		9
京都教育大学	0	0	3	0	0	0	0	1	0		4

（大商）永井・吉次－森田
（京教）川浦・藪内・眞崎－柳井
☆本塁打　勝浦（大）
☆二塁打　辻・勝浦・渡辺２・小松（大）

◎５月５日㈰　兵庫医科大学野球場
［第１試合］

神 戸 大 学	0	0	1	0	0	0	0	0	2		3
京都府立医科大学	0	0	0	0	0	2	0	0	0		2

（神戸）濱田・内藤－梶木
（京府）木村・亀山－堀田・小原
☆二塁打　吉田・北田（神）、板金（京）

［第２試合］

兵庫教育大学	3	0	2	1	0	0	0	1	0		7
和歌山県立医科大学	1	0	0	0	0	2	0	0	0		3

（兵教）諫山・真砂－遠藤
（和医）竹中・村田－川村
☆二塁打　藤原・小西（兵）

◎５月６日㈷　同志社大学軟式野球場
［第１試合］

大阪商業大学	0	0	0	0	1	0	0				1
同志社大学	1	1	2	0	3	3	×				10

（７回コールド）
（大商大）永井－森田
（同志社）長谷川・川添－松本
☆本塁打　岡本（同）
☆二塁打　松田・山崎２（同）
［第２試合］

兵庫教育大学	0	0	1	0	0	0	0				1
神 戸 大 学	3	0	4	0	0	1	×				8

（７回コールド）
（兵教大）諫山－遠藤
（神戸大）守田・渡辺－梶木
☆三塁打　小西（兵）
☆二塁打　真砂（兵）、米村・梶木（神）

◎５月６日㈷　関西大学高槻キャンパス野球場
［第１試合］

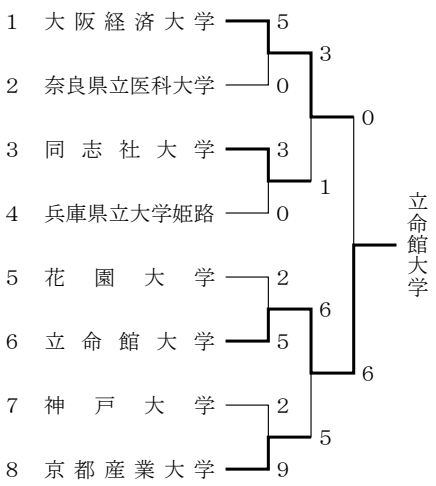
大阪経済大学	0	0	0	0	2	3	2				7
関西大学人間環境	0	0	0	0	0	0	0				0

（７回コールド）
（大経）生田－小川
（関人）金田－上田
☆二塁打　上田２・山下（関）、小川（大）
［第２試合］

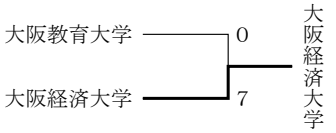
花 園 大 学	1	0	0	0	3	1	0	0	0		5
和歌山大学	0	0	0	0	0	0	0	2	1		3

（花園）島見・井田－吉田
（和大）前田惇・小野－前田雄
☆三塁打　河合・坂口（和）
☆二塁打　渡部（和）

２次予選トーナメント



第５代表決定戦



◎５月19日　神戸総合運動公園サブ球場
１回戦

立命館大学	0	0	0	2	0	2	0	0	1		5
花 園 大 学	0	0	0	0	2	0	0	0	0		2

（立）小田・堺－福井
（花）島見－吉田
☆三塁打　小平（立）

◎５月25日　あじさいスタジアム北神戸
１回戦

京都産業大学	0	0	0	3	1	0	2	0	3		9
神 戸 大 学	0	0	0	0	0	0	0	2	0		2

（京）川口・東島－深井
（神）守田・木俣・内藤・濱田－梶木
☆三塁打　川口（京）
☆二塁打　川口（京）、吉田（神）
準決勝　第１試合

大阪経済大学	0	2	0	1	0	0	0	0	0		3
同志社大学	0	0	0	0	1	0	0	0	0		1

（大）生田－小川
（同）長谷川・川添・福留・下田－松本
☆二塁打　生田（大）

◎６月１日　ベイコム野球場
準決勝　第２試合

京都産業大学	0	0	1	0	4	0	0	0	0		5
立命館大学	1	0	0	0	2	0	0	1	2	×	6

（京）東島・川口－深井
（立）堺・小田・古賀－福井
☆二塁打　増田・藤部（京）、内山（立）
◎６月８日　伊丹スポーツセンター野球場
決勝戦

立命館大学	0	0	1	0	3	0	0	2	0		6
大阪経済大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

（立）小田（健）－福井
（大）生田・佐川・田中－小川・岩崎
☆三塁打　畑谷（立）
☆二塁打　福井（立）
第５代表決定戦

大阪経済大学	0	0	2	0	0	0	0	5	0		7
大阪教育大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

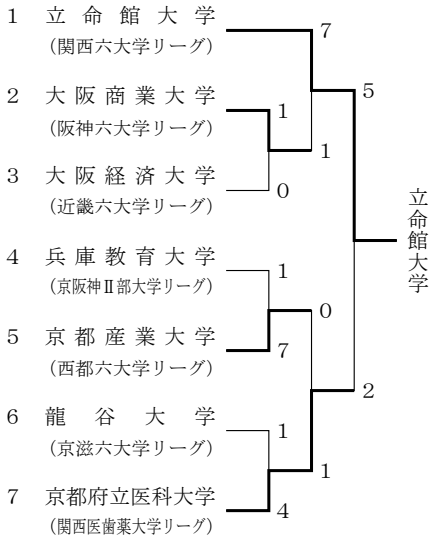
（大経）生田－小川
（大教）山口・西本－田名瀬

【第65回全日本大学準硬式野球選手権大会】
第１代表　関西大学
第２代表　甲南大学
第３代表　京都学園大学
第４代表　立命館大学
第５代表　大阪経済大学

【清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会】
第１代表　大阪教育大学
第２代表　京都産業大学
第３代表　同志社大学

平成25年度秋季関西地区大学準硬式野球大会

期間：平成25年11月７日(木)～10日(日)
会場：舞洲ベースボールスタジアム



◎11月７日　舞洲ベースボールスタジアム
①試合

大阪経済大学	０	０	０	１	０	０	０	０	０	１
大阪商業大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（大経）佐川－岩崎
（大商）越智・福家－森田
☆二塁打　原田（大経）、勝浦（大商）

②試合

兵庫教育大学	０	１	０	０	０	０	０	０	０	１
京都産業大学	０	０	０	２	２	０	３	０	×	７

（兵教）戸川・荻野・水落－中里
（京産）西川・西田・淡路－山浦
☆二塁打　山川・山浦（京産）

③試合

龍谷大学	０	０	０	０	０	０	１	０	０	１
京都府立医科大学	１	０	０	１	０	０	０	２	×	４

（龍谷）山口・光永・石井－吉田
（京医）木村－陣野

◎11月８日　舞洲ベースボールスタジアム
準決勝　①試合

大阪経済大学	０	０	０	０	０	１	０	０	０	１
立命館大学	３	０	１	０	０	０	１	２	×	７

（大経）田中・佐川－岩崎
（立命）小田・堺－中小路
☆二塁打　岩崎（大経）

準決勝　②試合

京都産業大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０
京都府立医科大学	１	０	０	０	０	０	０	０	×	１

（京産）西川・淡路－山浦
（京医）木村－陣野
☆二塁打　小川（京産）

◎11月10日　舞洲ベースボールスタジアム
決勝戦

京都府立医科大学	０	０	０	２	０	０	０	０	０	２
立命館大学	０	０	０	１	３	０	１	０	×	５

（京医）木村・亀山－陣野
（立命）鐘ヶ江・堺・小田－中小路
☆二塁打　柴田（立命）

第22回関西地区大学六リーグ対抗準硬式野球大会

◎11月９日(土)　南港中央野球場
第１試合

関西医歯薬選抜	０	０	０	０	０	０	０	１	０	１
京滋六大学選抜	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（医歯薬）西口－太田
（京滋六）井戸・山口－植原・伴

第２試合

西都六大学選抜	２	０	０	０	１	２	０	０	５	
京阪神Ⅱ部選抜	０	０	０	０	１	０	０	０	１	

（西都六）小川・山先・丸本・等々力－山口
（京阪神）宮地・中池・川浦－中・橋本
☆三塁打　佐藤（Ⅱ）
☆二塁打　境（祥）（Ⅱ）、小川幹（西）

第３試合

近畿六大学選抜	０	３	０	０	０	０	１	０	４	
阪神六大学選抜	０	０	０	０	０	０	３	8x	11x	

（８回コールド）
（近畿六）柴田・杉浦・小泉・石田－前田・日野・砂田
（阪神六）脇田・石田・西本・戸田－山形
☆三塁打　森・藤本輝（阪）
☆二塁打　家門（近）、森（阪）

◎11月16日(土)　ベイコム野球場
第１試合

阪神六大学選抜	０	０	２	０	３	２	０	０	０	７
関西医歯薬選抜	０	１	０	０	０	０	０	０	０	１

（阪神六）石田・脇田・永井－山形
（医歯薬）河崎・西口・佐伯・亀山・木村－佐々木・杉本・都丸
☆三塁打　森（阪）
☆二塁打　勝浦（阪）

第２試合

京阪神Ⅱ部選抜	０	０	０	０	１	０	０	０	０	１
近畿六大学選抜	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（京阪神）宮地・中池・田伏－松本・橋本・柳井
（近畿六）小泉・南出・石田・柴田－日野・前田

第３試合

西都六大学選抜	０	０	２	０	０	０	１	０	３	
京滋六大学選抜	１	５	０	０	０	０	０	０	６	

（西都六）山先・西川－山口
（京滋六）小松・萩田・井用・井戸－竹内・植原
☆本塁打　小松（京）
☆二塁打　中田（西）、黒田（京）

◎11月23日(土)　舞洲ベースボールスタジアム
第１試合

京滋六大学選抜	０	０	０	０	１	０	０	０	０	１
京阪神Ⅱ部選抜	１	０	０	０	０	１	０	０	×	２

（京滋六）山口・足立－伴
（京阪神）宮地・中池・中浦－松本・橋本・佐藤（芳）
☆二塁打　濱田（Ⅱ）

第２試合

近畿六大学選抜	１	０	０	０	１	０	０	０	１	３
関西医歯薬選抜	０	０	０	０	５	１	０	０	×	６

（近畿六）石田・南出・小泉－前田
（医歯薬）西口・前川勇・名古路－太田・西浦
☆二塁打　家門・西本（近）
太田・山仲（医）

第３試合

阪神六大学選抜	０	０	３	０	０	０	０	１	１	５
西都六大学選抜	０	０	２	０	０	０	０	０	０	２

（阪神六）戸田・永井・朴－山形
（西都六）等々力・山先－財前
☆三塁打　石原（西）
☆二塁打　藤本輝（阪）、財前（西）

◎11月24日(日)　舞洲ベースボールスタジアム
第１試合

京阪神Ⅱ部選抜	０	０	０	０	０	１	１	０	０	２
阪神六大学選抜	０	１	０	０	１	０	０	１	×	３

（京阪神）宮地・中池・田伏－松本・橋本・中
（阪神六）越智・西本－山形
☆三塁打　藤本輝（阪）
☆二塁打　山口（阪）、中池（Ⅱ）

第２試合

関西医歯薬選抜	０	０	０	２	１	０	０	０	０	３
西都六大学選抜	１	０	０	０	１	３	０	０	×	５

（医歯薬）佐伯・河崎－都丸・杉本
（西都六）小川・西川・丸本－山口
☆三塁打　土川（西）
☆二塁打　佐伯・岡田（医）、近藤（西）

第３試合

京滋六大学選抜	０	０	０	０	０	１	０	０	０	１
近畿六大学選抜	０	０	０	０	０	１	０	０	０	１

（京滋六）高田・萩田・井用・足立－竹内
（近畿六）柴田・田中－前田・日野
☆三塁打　松本（京）
☆二塁打　山本卓(京)、前田・日野２(近)

	阪	医	京	西	Ⅱ	近	勝　敗	勝点	順位
阪神六大学	－	○	●	○	○	○	４－１－０	12	優勝
関西医歯薬	●	－	○	●	○	○	３－２－０	9	２位
京滋六大学	○	●	－	○	●	△	２－２－１	7	３位
西都六大学	●	○	●	－	○	●	２－３－０	6	４位
京阪神Ⅱ部	●	●	○	●	－	○	２－３－０	6	５位
近畿六大学	●	●	△	○	●	－	１－３－１	4	６位

◎12月１日㈰　龍谷大学瀬田野球場

第１試合

近畿六大学選抜　１０１１２１０００｜６
西都六大学選抜　１０００１００００｜２

（近畿六）田中－前田
（西都六）等々力・山先・西川－財前・山口
☆三塁打　土川（西）
☆二塁打　田中・川嶋（近）

第２試合

京滋六大学選抜　５０００１３０｜９
阪神六大学選抜　０００００００｜０

（７回コールド）

（京滋六）山口・萩田・井用・足立－植原・竹内
（阪神六）朴・戸田・岡田・脇田－山形
☆三塁打　山本泰（京）
☆二塁打　植原（京）

第３試合

京阪神Ⅱ部選抜　０００００００００｜０
関西医歯薬選抜　１００００２０×｜３

（京阪神）田伏・中池・川浦－橋本・松本
（医歯薬）河崎・岡田・佐々木（康）－杉本・西浦
☆本塁打　前川（医）
☆三塁打　佐々木康（医）

【最終順位】

優勝　阪神六大学選抜　４勝１敗（勝点12）
２位　関西医歯薬選抜　３勝２敗（勝点９）
３位　京滋六大学選抜　２勝２敗１分（勝点７）
４位　西都六大学選抜　２勝３敗（勝点６）
５位　京阪神Ⅱ部選抜　２勝３敗（勝点６）
６位　近畿六大学選抜　１勝３敗１分（勝点４）

【表彰選手】

最優秀選手賞　勝浦　　誠（阪神六大学：大阪商業大）
優秀選手賞　塩見　和之（関西医歯薬：大阪市立大医学部）
優秀選手賞　小松　誠弥（京滋六大学：京都学園大）
優秀選手賞　高塚　健司（西都六大学：桃山学院大）
優秀選手賞　岡村　雄紀（京阪神Ⅱ部：大阪大谷大）
優秀選手賞　田中　大毅（近畿六大学：大阪経済大）

関西六大学準硬式野球連盟

春季リーグ

◎平成25年３月21日　わかさスタジアム京都

立命館　００１０１０１０１｜３
神戸大　０００００６０１０×｜７

（立）堺・西村－福井
（神）守田・内藤－梶木
☆三塁打　吉田（神）
☆二塁打　山下・大角（立）

関西大　０００００５００１｜６
同志社　０１１０００００００｜２

（関）辻・出口・森本－上総
（同）長谷川・川添・今井－松本・西垣
☆二塁打　猪田（関）

関学大　０００００３００１１｜５
大阪大　０００００１００３０｜４

（学）江澤・木村－斎藤
（阪）内田・増田・村岡－庄山
☆三塁打斎藤（学）
☆二塁打　松岡（学）、西郷２（阪）

◎３月22日　わかさスタジアム京都

同志社　０１００００００００｜１
関西大　０１００００００００｜１

（同）福留・長谷川－松本
（学）森本・辻・出口－上総
☆二塁打　嶋中・山崎（同）

大阪大　０１０００７０｜８
関学大　０００００００｜０

（７回コールド）

（阪）加藤－庄山
（学）大西・有・木村・江澤－斎藤

神戸大　０１００１００００｜２
立命館　１０２０００１０×｜４

（神）濱田・内藤・中尾－梶木
（立）小田・西村－福井
☆二塁打　濱田２・吉田（神）
森・内山・山下・柴田（立）

◎３月28日　わかさスタジアム京都

関学大　０００００００００｜０
同志社　１０１０１１００×｜４

（学）江澤・大西－斎藤
（同）長谷川・川添・今井－松本
☆二塁打　大隈（学）

立命館　０１００００００００｜１
大阪大　０００００００００｜０

（立）堺・古賀－福井
（阪）内田－庄山
☆二塁打　大角（立）

関西大　０００１０３０４｜８
神戸大　００１００００００｜１

（８回コールド）

（関）辻・出口－上総
（神）守田・渡辺・木俣－梶木
☆三塁打　猪田（関）
☆二塁打　深井（関）、溝口（神）

◎３月29日　わかさスタジアム京都

大阪大　０００００００１０｜１
立命館　４０００００１０３ｘ｜８

（８回コールド）

（阪）加藤・増田－庄山
（立）小田・古賀－福井
☆二塁打　小森（阪）、山下・小田（立）

神戸大　０００００００００｜０
関西大　０００００２０２１×｜５

（神）濱田・内藤・中尾・渡辺・木俣－梶木
（関）森本・出口・竹内－上総
☆二塁打　濱田・吉田（神）、井手（関）

同志社　０００１１０１００｜３
関学大　０００００００１０１｜２

（同）福留・今井・川添・長谷川－松本
（学）大西・有・江澤－斎藤
☆三塁打　松田（同）

◎４月４日　皇子山球場

関西大　３００１００００１０｜５
大阪大　２０００００００００｜２

（関）辻・出口－上総
（阪）内田・増田－庄山
☆二塁打　雀部・辻（関）

立命館　３０００００００１０｜４
関学大　００２０００００００｜２

（立）小田・西村・古賀－内山・大平
（学）江澤・大西・木村－斎藤
☆三塁打小平・内山（立）
☆二塁打　大角（立）、谷口周（学）

同志社　０００００００３００｜３
神戸大　０００００００００｜０

（同）福留－松本
（神）濱田・渡辺・中尾－梶木
☆二塁打　河野（同）

◎４月５日　皇子山球場

関学大　０００００００００１｜１
立命館　０１４０１００１×｜６

（学）大西・木村・守田・江澤－斎藤
（立）堺－福井
☆二塁打　山下・堀井（立）

神戸大　０１１６０００００｜８
同志社　０００００１１０１０｜３

（神）守田・内藤－梶木
（同）長谷川・今井・川添・福留・下田－松本・西垣
☆二塁打　北田３・濱田（神）

大阪大　０００００００００｜０
関西大　０００００００１０×｜１

（阪）加藤・内田－庄山
（関）森本－上総
☆二塁打　上総（関）

◎４月11日　大阪南港中央野球場

関学大　０００００００００｜０
神戸大　０００１００００×｜１

（学）江澤・大西－斎藤
（神）濱田・内藤－梶木
☆二塁打　谷口周（学）、北田２（神）

同志社　１１００００１１０｜４
大阪大　０００００１１００｜２
（同）長谷川・川添・下田・福留－松本
（阪）加藤・増田－庄山
☆三塁打　村岡・北川（阪）
☆二塁打　森（同）
立命館　０００００１０００｜１
関西大　０１２０００００×｜３
（立）堺－福井
（関）森本・辻－上総
☆本塁打　雀部（関）
（ランニングホームラン）

◎４月12日　大阪南港中央野球場
大阪大　０００１０００２０｜３
同志社　０００００００００｜０
（阪）内田－庄山
（同）福留・川添・下田－松本・西垣
関西大　０００００００２１｜３
立命館　１００００００００｜１
（関）辻・出口・森本－上総
（立）小田・古賀－福井
☆二塁打　山下（立）
神戸大　０００００００００｜０
関学大　０００００００２×｜２
（神）守田・中尾・渡辺－梶木
（学）江澤・大西－斎藤
☆二塁打　大隈（学）

◎４月17日　わかさスタジアム京都
立命館　０００００００００｜０
同志社　０１０００００１×｜２
（立）小田・古賀－福井
（同）福留－松本
☆二塁打　岡本・森（同）
大阪大　００１０００００００｜１
神戸大　０２０００００００×｜２
（阪）内田－庄山
（神）濱田－梶木
☆二塁打　濱田（神）
関西大　０１２０００２００｜５
関学大　０００１００１００｜２
（関）辻・出口・竹内－上総
（学）江澤・大西・木村－斎藤
☆二塁打　川嶋・雀部（関）、津田（学）

◎４月18日　わかさスタジアム京都
神戸大　０１００１００００｜２
大阪大　０００００１０００｜１
（神）守田・中尾・木俣・渡辺・内藤－田中・廣松
（阪）加藤・増田・内田－庄山
☆三塁打　吉田（神）
関学大　０２１０００００００｜３
関西大　０００００１０００｜１
（学）江澤・大西－斎藤
（関）竹内・出口－上総
☆二塁打　大隈（学）
同志社　０００００００１０１｜２
立命館　０００２０１００×｜３
（同）長谷川・川添・下田－松本
（立）堺・古賀－福井

◎個人表彰
最優秀選手　雀部　浩宜（関）
最優秀投手　福留　達努（同）
防御率　0.461
最多勝利投手　辻　大貴（関）５勝
最多奪三振賞　内田　一里（阪）23個
首位打者　雀部　浩宜（関）0.482
最多打点賞　雀部　浩宜（関）11打点
最多盗塁賞　深井　翔平（関）７個
本塁打賞　雀部　浩宜（関）１本
（ランニングホームラン）
敢闘賞　小田　健史（立）
新人賞　守田　智海（神）

◎打撃十傑
１位　雀部　浩宜（関）0.482
２位　津田　圭祐（学）0.400
３位　嶋中　謙（同）0.370
４位　北田宗太郎（神）0.333
５位　野田　暁（関）0.312
６位　吉田　智洋（神）0.296
６位　谷村　遼（阪）0.296
８位　山下　公輔（立）0.294
８位　松田　湧人（同）0.294
10位　松岡　純平（学）0.289

◎ベストナイン
投手　福留　達努（同）
捕手　斎藤　雄太（学）
一塁手　雀部　浩宜（関）
二塁手　森　飛鳥（立）
三塁手　松岡　純平（学）
遊撃手　深井　翔平（関）
外野手　北田宗太郎（神）
外野手　野田　暁（関）
外野手　吉田　智洋（神）

大会運営を終えて

学生委員長　田中　大地

この春リーグ戦は最上回生最後のリーグということもあって最後まで白熱した試合が行われました。運営面でも秋を経験したことによって非常にスムーズにこなせることができたと思います。秋に課題であった試合時間に関しても、決められた時間までに球場を出ることができ、この習慣を今後も続けていきたいと思いました。そして改めて思うのは、このように何事もなくスムーズに運営し野球をすることができたのは、球場関係者の方、OBの方々、審判団の方々、そして各大学の選手の方々に協力してもらい、支えてもらったおかげなのだということであり、その感謝の気持ちを忘れないように後輩たちにも指導していきたいと思います。

春季リーグ戦を終えて

関西大学準硬式野球部
主将　川嶋　　拓

今季のリーグ戦では、14季ぶりに優勝を果たすことができた。この優勝は、メンバーだけでなく、マネージャーやスタンドで応援してくれた部員の全員が一丸となり、勝利を目指した結果であると思う。試合では、投手陣を中心とした関大らしい野球を展開できたのではないかと思う。また、打撃陣も少ないチャンスを確実にものにすることができたので、新チームから取り組んできた打撃力向上の成果を出すことができた。このチームは全国でも十分に戦える力があると思うので、全国でも関大色を出して、全国の頂点を目指していきたい。

秋季リーグ戦

◎９月４日　京都わかさスタジアム
第１試合　５回降雨コールド
同志社　００１００｜１
神戸大　２００００｜２
（同）下田－松本
（神）守田－福井
☆二塁打　福井（神）

◎９月５日　京都わかさスタジアム
第１試合
関学大　０００１００００１｜２
立命館　０１００２０００×｜３
（学）有－長谷川
（立）小田－中小路
☆二塁打　中小路（立）
☆本塁打　大熊（学）
第２試合
大阪大　３００００００２０｜５
関西大　０１００００１０１０｜３
（阪）加藤・今泉－庄山
（関）能塚・竹内・出口－上総
☆二塁打　上総（関）、深井（関）
第３試合　７回コールド
神戸大　００００００｜０
同志社　２００１２４×｜９
（神）木俣・渡辺－福井
（同）下田・清瀬－松本
☆二塁打　山崎（同）、鈴木（同）
☆三塁打　松田（同）

◎９月12日　大阪南港球場
第１試合　７回コールド
関西大　３３１３４２３｜19
神戸大　０００２４００｜６
（関）林・能塚・吉田・渡部・竹内－上総
（神）森田・山本龍・伊藤・渡辺－福井・廣松
☆二塁打　甲斐・深井×２（関）
篠田・福井（神）
第２試合
同志社　１００００１００３０｜５
関学大　００００２０１００｜３
（同）下田－松本
（学）有・木村－長谷川
☆二塁打　岡本（同）
松岡・長谷川・村山（学）
☆三塁打　谷口×２（学）
第３試合
立命館　１００１３１２００｜８
大阪大　００００００２０００｜２
（立）小田・七條・古賀－中小路・大平
（同）加藤・秋山・佐藤・山本－庄山
☆二塁打　中小路、柴田（以上立命）
☆三塁打　米井（阪）
☆本塁打　柴田（立）

◎９月13日　大阪南港球場
第１試合
大阪大　０００００００００｜０
立命館　０１１００００００×｜２
（阪）今泉・加藤－庄山
（立）堺・鐘ヶ江・古賀－中小路
第２試合
神戸大　０００１００１００｜２
関西大　１３０１００１０×｜６
（神）木俣・守田－福井
（関）能塚・竹内・吉田－上総
☆二塁打　生駒（神）
☆三塁打　小椋（神）
第３試合
関学大　０００１２００００｜３
同志社　１３４０００００００｜８
（学）増成・木村・河野－長谷川
（同）清瀬・下田－松本
☆二塁打　大隈（学）、山崎（同）
☆三塁打　村山（学）

◎９月19日　皇子山球場
第１試合
関西大　０００００００００｜０
同志社　０００００００００1x｜１
（関）能塚・竹内－上総
（同）下田－松本
☆二塁打　深井･酒井宏（関）､松田（同）
第２試合
関学大　０００００００００２｜２
大阪大　０００００００００｜０
（学）石井－長谷川
（阪）加藤－庄山
☆二塁打　村岡（阪）
第３試合
立命館　００３１１００００２｜７
神戸大　０００００００００｜０
（立）堺－中小路
（神）守田・木俣・山本龍－福井
☆二塁打　中小路・柴田・畑谷（立）
☆三塁打　小平（立）

◎９月20日　皇子山球場
第１試合
大阪大　０００１００００２｜３
関学大　１００１３０００×｜５
（阪）今泉・山本－庄山
（学）有－長谷川
☆二塁打　西郷・今泉（阪）、村山（学）
☆本塁打　大隈（学）
第２試合　７回コールド
神戸大　００００００｜０
立命館　１０１１０１３｜７
（神）伊藤・木俣－福井
（立）小田－中小路
☆二塁打　中西（立）
第３試合
同志社　０００００２０００｜２
関西大　０００００００１０｜１
（同）清瀬－松本
（関）竹内・出口・能塚－上総
☆二塁打　松田（同）

◎９月26日　京都わかさスタジアム
第１試合
関西大　０１０２００００００｜３
立命館　０１１０１０００００｜３
（関）能塚・出口・竹内－上総
（立）堺・鐘ヶ江・古賀－中小路
☆二塁打　柴田・小平（立）
第２試合　７回コールド
同志社　１２１０４５０｜13
大阪大　０１００１００｜２
（同）下田・福留－松本・熊代
（阪）加藤・秋山－庄山
☆二塁打　岡本（同）
☆三塁打　松本（同）、西郷（阪）
第３試合
神戸大　０１０００２１００｜４
関学大　０１０４００００００｜５
（神）伊藤・木俣－福井
（学）有・河野・木村－長谷川
☆二塁打　木俣（神）、津田・有（学）
☆三塁打　小椋（神）

◎９月27日　京都わかさスタジアム
第１試合
関学大　１０００００００２０｜３
神戸大　０００３００００１x｜４
（学）石井・木村－長谷川
（神）山本龍・渡辺・木俣－福井
☆二塁打　福井・吉田（神）
第２試合
立命館　０００４０１０００｜５
関西大　０００００００１０｜１
（立）小田－中小路
（関）竹内・能塚・吉田・出口－上総
☆三塁打　中小路・堀井・松本（立）
第３試合
大阪大　００１１００００００｜２
同志社　１００４００２０×｜７
（阪）今泉・加藤－庄山
（同）清瀬－松本
☆二塁打　三木（阪）

◎10月２日　京都わかさスタジアム
第１試合
立命館　００１０２００００００｜３
同志社　００１０００００００｜１
（立）堺・古賀－中小路
（同）下田・福留－松本
☆三塁打　小平、中小路（立）
第２試合
神戸大　０１０４２００１０｜８
大阪大　３２０００００４０×｜９
（神）伊藤・渡辺・木俣・守田・山本龍－福井
（阪）加藤・今泉・秋山－庄山
☆二塁打　村野・渡辺・福井（神）
松本・三木・米井・庄山（阪）
☆三塁打　篠田（神）
第３試合　８回コールド
関西大　０２０００２０４｜８
関学大　０００１０００００｜１
（関）能塚－上総
（学）有・木村－長谷川
☆二塁打　酒井宏(関)､竹内･長谷川(学)
☆三塁打　酒井宏･上総･能塚･栗田（関）

◎10月３日　京都わかさスタジアム
第１試合
大阪大　１０１０４００１４｜11
神戸大　２００００００００｜２
（阪）今泉・秋山・加藤－庄山
（神）山本龍・渡辺・木俣－福井
☆二塁打　三木・米井・村岡（阪）
福井（神）
☆三塁打　篠田（神）
第２試合
関学大　３００１０２０００｜６
関西大　００４０００００１｜５
（学）石井・木村－長谷川
（関）出口・吉田・竹内－上総
☆二塁打　谷口･長谷川（学）､上総（関）
☆三塁打　村山・大隈（学）
第３試合
同志社　０００００２００｜２
立命館　００１００６０１×｜８
（同）清瀬・福留・下田－松本
（立）小田－中小路
☆二塁打　松田（同）､中小路･堀井（立）

大会運営を終えて

学生理事　村田　航椰

今回のリーグ戦では、例年にはない雨天コールド、順延等があったにも関わらず、大会を運営して頂いた役員、審判の皆様、そして各チーム選手の協力もあり、大会をスムーズに運営することができました。

優勝した立命館は投手陣、野手陣共に戦力が充実しており、優勝という結果は妥当だったと思います。また、その他のチームも夏の間の練習によって培われた技術が随所に見えており、レベルの高いリーグ戦でした。

秋季リーグ戦を終えて

立命館大学準硬式野球部
主将　柴田　篤人

旧チームから、クリーンナップとセンターラインという、攻守の要が抜けてスタートした現在のチーム。圧倒的な実力で勝てるというチームではない。そこで、あらゆる手を使って一点を取ろう、粘り強く守って、最少失点に抑えようというミーティングをした。また、「勝つにふさわしいチーム」になろうと、あいさつや練習に対する取り組みから見直した。

秋季リーグ戦では、９勝１分で優勝した。リーグ戦が始まる前と比べ、選手一人一人が、自分の役割を考えることができるようになったと実感した。勝ちに対する執念も、試合を追うごとに増していった。それは選手の顔つきを見ても明らかであった。

しかしながら、まだまだ道半ばである。次の目標は、秋季関西大会での優勝、二連覇の懸かった大事な戦いがそこに待っている。

近畿六大学準硬式野球連盟

春季リーグ戦

◎３月18日　明石トーカロ球場
①試合　７回コールド
兵神戸　０００００００｜０
大経大　０１０１２０3x｜７
（兵）柴田・白石－佐渡
（経）生田・田中－大本
☆二塁打　大本・福井・三宅・田中・物部（経）
②試合　５回コールド
和　大　０００００｜０
甲南大　０４０８×｜12
（和）朝倉－前田惇
（甲）阪本・宮脇－土居

◎３月21日　舞洲ベースボールスタジアム
①試合　８回時間コールド
和　大　００２５００１０｜８
近畿大　０２０２００００｜４
（和）前田雄－前田惇
（近）南出・白川－堀口
☆二塁打　宮田（和）、遠・西原（近）
②試合
神外大　３０００１０００｜４
兵神戸　１００１０１０００｜３
（神）倉本・足立－山田
（兵）高橋・柴田－佐渡
☆二塁打　足立（神）
③試合　８回コールド
甲南大　０００００００００｜０
大経大　０００００００００｜０
（甲）鈴木岳－土居
（経）生田－小川

◎３月27日　明石トーカロ球場
①試合　５回コールド
神外大　０００１０｜１
甲南大　１０３６1x｜11
（神）松本・倉本・足立－山田
（甲）宮脇・東川・鈴木岳－土居
☆三塁打　鈴木彰（甲）
②試合
兵神戸　００１０００００｜１
近畿大　０１０００１２０×｜４
（兵）白石・高橋－佐渡
（近）白川－井上
☆二塁打　田中（兵）、遠・白川（近）
③試合　５回コールド
和　大　０００００｜０
大経大　０４３０3x｜10
（和）前田雄－前田惇
（経）田中－小川
☆三塁打　小林（経）

◎４月１日　明石トーカロ球場
①試合　７回コールド
和　大　０１３０５００｜９
兵神戸　０００１００１｜２
（和）前田雄－前田惇
（兵）白石－佐渡

②試合　８回時間コールド
神外大　２０００００００｜２
大経大　２１０００００５｜８
（神）足立・山田－山田・松本
（経）生田・井上－小川
☆二塁打　山田（神）、桝谷・山本（経）
③試合
甲南大　０００２００１０｜３
近畿大　００１１０３０１×｜６
（甲）鈴木岳・宮脇－土居
（近）白川－井上

◎４月　ほっともっとフィールド神戸
①試合　６回コールド
兵神戸　０００００｜０
甲南大　０３００４3x｜10
（兵）柴田・白石・高橋－佐渡
（甲）香川・宮脇－土居
②試合
大経大　０００２００００｜２
近畿大　００００００４０×｜４
（経）生田－小川
（近）白川－井上
☆二塁打　山本武（経）、西原（近）
③試合
神外大　０１１０００２０１｜５
和　大　０１００００００３０｜４
（神）倉本－山田
（和）前田雄－前田惇
☆本塁打　宮治（神）

◎４月５日　明石トーカロ球場
①試合　５回コールド
近畿大　４０２３４｜13
神外大　００００｜０
（近）白川・小泉・湯本－井上・堀口
（神）足立・松本－山田
☆三塁打　武内・西畑（近）
☆二塁打　武内・烏藤・小見山（近）
山田（神）
②試合　５回コールド
大経大　０２０３６｜11
兵神戸　０００１０｜１
（経）井上・生田－小川
（兵）白石－佐渡
☆三塁打　福井（経）
☆二塁打　大西（経）
③試合　７回コールド
甲南大　０００１７４１｜13
和　大　０００００４０｜４
（甲）宮脇・鈴木岳・梅川・東川・阪本－
土居
（和）中井・小野－前田惇
☆二塁打　河合（和）

◎４月11日　ベイコム野球場
①試合
大経大　０００００００００｜０
甲南大　１００２２０００×｜５
（経）生田・田中－小川・岩崎
（甲）香川－土居
☆二塁打　土居・香川（甲）

②試合　７回コールド
近畿大　０００３００５｜８
和　大　００１０００×｜１
（近）白川・湯本－井上
（和）前田雄－前田惇
☆三塁打　小見山（近）
☆二塁打　西畑（近）
③試合　８回コールド
兵神戸　２０１１００１０｜５
神外大　００９０１００２｜12
（兵）柴田・白石－佐渡
（神）倉本・小合－山田

◎４月15日　ベイコム野球場
①試合　７回コールド
近畿大　２５０００１１｜９
兵神戸　００００００００｜０
（近）白川・小泉－井上
（兵）白石・柴田－佐渡
☆三塁打　森（近）
☆二塁打　堀口・西畑・武内・白川（近）
②試合　７回コールド
大経大　４０００１０４｜９
和　大　００００００００｜０
（経）佐川・田中－岩崎・山本武
（和）中井・下中・阪口侑－前田惇
③試合　７回コールド
甲南大　００１００７４｜12
神外大　１０００００００｜１
（甲）阪本・宮脇－土居
（神）倉本・足立－山田
☆二塁打　家門（甲）

◎４月18日　舞洲ベースボールスタジアム
①試合　７回コールド
大経大　１２３２０１１｜10
神外大　００００１１０｜２
（経）生田・井上－岩崎・小川
（神）足立・倉本－山田
☆三塁打　原（経）
☆二塁打　小川（経）、足立（神）
②試合　８回時間コールド
近畿大　２００１０２２０｜７
甲南大　００００１０１０｜２
（近）白川・小泉－井上
（甲）香川－土居
☆三塁打　香川（甲）
③試合
兵神戸　０００００１００２｜３
和　大　００２００２２０×｜６
（兵）柴田－佐渡
（和）小野－前田惇
☆二塁打　佐渡（兵）、前田惇・渡部（和）

◎４月23日　ベイコム野球場
①試合
和　大　０１１０００１０６｜９
神外大　１００００１０００｜２
（和）前田雄・下中－前田惇・横田
（神）倉本・足立－山田
☆三塁打　辻本（神）
☆二塁打　前田雄（和）

②試合
甲南大　２００１３０２２１｜11
兵神戸　０００００２０２００｜４
（甲）宮脇・鈴木岳・梅川・東川・阪本－
土居・小林
（兵）白石・橋垣・柴田－佐渡
☆二塁打　鈴木彰・川嶋・宮脇・本郷（甲）
③試合
近畿大　０００００００１０｜１
大経大　００１００００１×｜２
（近）白川－井上・堀口
（経）生田－小川
☆二塁打　烏藤（近）

◎４月25　ベイコム野球場
①試合
神外大　０００００００００｜０
近畿大　０２００４００００｜６
（神）倉本－山田
（近）湯本・尾崎・小泉－堀口・村田・井上
☆二塁打　久留米・白川（近）

【個人賞】
＊最高殊勲選手　土居　保輝　甲南大
＊最優秀防御率　生田　岳暉　大経大
防御率　0.64
＊最多勝利投手　白川　大樹　近畿大　６勝
＊首位打者　藪内　伸明　近畿大
打率　0.429
＊打点王　西山　竜太　甲南大
13打点
＊本塁打王　該当者なし
３本塁打以上不在のため
＊盗塁王　該当者なし
10盗塁以上不在のため
＊敢闘賞　上田　陽亮　大経大

【打撃十傑】
1　藪内　伸明（近畿大）　0.429
2　家門　倖佑（甲南大）　0.421
3　土居　保輝（甲南大）　0.414
4　前田　雄都（和　大）　0.409
5　小林　祐介（大経大）　0.400
6　福井　直之（大経大）　0.368
7　鈴木　彰博（甲南大）　0.364
8　上田　陽亮（大経大）　0.333
9　小野　大心（和　大）　0.324
10　小見山雄介（近畿大）　0.313

【ベストナイン】
投　手　香川　知正（甲南大）
捕　手　土居　保輝（甲南大）
一塁手　木村　　仁（和　大）
二塁手　藪内　伸明（近畿大）
三塁手　磯脇丈太朗（和　大）
遊撃手　西山　竜太（甲南大）
外野手　鈴木　彰博（甲南大）
外野手　福井　直之（大経大）
外野手　家門　倖佑（甲南大）

秋季リーグ戦

◎９月６日　ベイコム野球場
①試合　６回コールド
和　大　２１０１０１｜５
近畿大　２００５３5x｜15
（和）朝倉・井原・下中－前田惇
（近）小泉・尾崎－井上
☆二塁打　小野･前田惇（和）､橋田（近）
☆三塁打　森・谷田（近）
②試合　７回コールド
神外大　１００００００｜１
大経大　１０１１１０4x｜８
（神）大田・足立・柴山－久壽米木
（経）佐川・石田－岩崎・村上
☆二塁打　辻本（神）山本･大本２･(経)
☆三塁打　後藤（経）
③試合
兵神戸　０００００００００｜０
甲南大　０００１１０００×｜２
（兵）村田・柴田－佐渡
（甲）東川・林－小林
☆二塁打　小林・川嶋・高見（甲）

◎９月９日　ベイコム野球場
①試合
神外大　０００００００１１｜２
甲南大　０１０３０００１×｜５
（神）足立・柴山－久壽米木
（甲）鈴木・山川・下根－小林弘
☆二塁打　八尾（神）
小林弘・梅川・鈴木（甲）
②試合
近畿大　０００１２０１００｜４
大経大　０００００５０×｜５
（近）小泉・坂口－井上
（経）佐川・石田－岩崎
☆二塁打　大本・田中・岩崎（経）
③試合
兵神戸　１００００００００｜１
和　大　１００００１００×｜２
（兵）柴田－佐渡
（和）前田雄－前田惇
☆二塁打　才田（兵）

◎９月11日　ベイコム野球場
①試合　５回コールド
兵神戸　０００００｜０
大経大　０１３１5x｜10
（兵）村田・柴田・白石－才田
（経）石田・津留－村上
☆二塁打　山本・後藤・村上・三宅（経）
②試合　７回コールド
和　大　０００１１０１｜３
甲南大　２５２０００1x｜10
（和）前田雄・朝倉－前田惇
（甲）東川・鈴木－小林弘
☆二塁打　三原・家門・佐藤晋（甲）
☆三塁打　佐藤晋（甲）
③試合
神外大　２０５００００００｜７
近畿大　２１０１００４１×｜９
（神）大田・足立－久壽米木・八尾
（近）東野・南出・湯本・尾崎－堀口・井上
☆二塁打　宮治・八尾（神）橋田（近）
☆三塁打　森（近）

◎９月13日　ベイコム野球場
①試合
兵神戸　１０６０００００１｜８
神外大　２０００１１０１２｜７
（兵）柴田－佐渡・才田
（神）大田・柴山－倉本
☆二塁打　森川（兵）
宮治・八尾・大田（神）
☆三塁打　柴山・八尾（神）
②試合
和　大　０３００１０１００｜５
大経大　０１０２００３０×｜６
（和）朝倉・前田雄・下中－若山
（経）井上・田中・佐川－岩崎・村上
☆二塁打　河合（和）後藤（経）
③試合
近畿大　０００００２０００｜２
甲南大　０００２１１００×｜４
（近）小泉－井上
（甲）東川－小林弘
☆二塁打　三原・小林弘（甲）
☆三塁打　佐藤晋（甲）

◎９月19日　舞洲ベースボールスタジアム
①試合
大経大　０１００００００００｜１
甲南大　０００００００００｜０
（経）佐川－岩崎
（甲）東川－小林弘
②試合　６回コールド
兵神戸　０００１１０｜２
近畿大　１１２０１7x｜12
（兵）高橋・青木－佐渡
（近）湯本－井上
☆二塁打　堀口・木村（近）
☆三塁打　森（近）
③試合
神外大　０６０００００１０２｜９
和　大　１１１１０１０００｜５
（神）大田・柴山－倉本
（和）朝倉・和歌山・井原－前田惇
☆二塁打　宮治・八尾２（神）
北浦・横山・松井（和）

◎９月23日　神戸市総合運動公園サブ球場
①試合　７回コールド
近畿大　０１０３３０６｜13
和　大　２２０００１０｜５
（近）湯本・尾崎－井上
（和）和歌山・井原・中井－前田惇
☆二塁打　若間・久留米・坂本（近）
松波・高島（和）
☆三塁打　木村（近）、松波（和）
②試合　６回コールド
大経大　２０５２１２｜12
神外大　１０００００｜１
（経）佐川・石田－村上・日野
（神）大田・足立・柴山－山田
☆二塁打　武智・花村・加藤（経）
八尾（神）
③試合　７回コールド
甲南大　１００１００２｜４
兵神戸　０００００００｜０
（甲）林・東川－小林弘
（兵）村田・柴田－佐渡
☆二塁打　山川・小林弘（甲）

◎９月25日　明石トーカロ野球場
①試合
甲南大　２０１００３００１｜７
神外大　０００００００００｜０
（甲）鈴木・林・東川－小林弘・砂田
（神）足立・柴山・大田－山田・倉本
☆二塁打　小林弘・砂田・下根（甲）
②試合
和　大　０００１２１０００｜４
兵神戸　０００１１００００｜２
（和）若山－前田惇
（兵）村田－才田
③試合
大経大　０００００１００００｜１
近畿大　０１２０００２１×｜６
（経）佐川－岩崎
（近）湯本－井上
☆二塁打　岩崎（経）
堀口・井上・久留米（近）
☆本塁打　後藤（経）

◎10月１日　ベイコム野球場
①試合　５回コールド
甲南大　１５２１４｜13
和　大　００００００｜０
（甲）東川・佐川－小林弘
（和）朝倉・下中－前田惇
☆本塁打　香川（甲）
☆三塁打　小林弘（甲）
☆二塁打　家門・香川（甲）
②試合　６回コールド
近畿大　４４３１０４｜16
神外大　００３１００｜４
（近）坂口・南出・東野－堀口・井上
（神）大田・足立－倉本
③試合　８回時間コールド
大経大　２１０００１０１｜５
兵神戸　００１１００２２｜６
（経）石田・杉浦－村上・石崎
（兵）柴田－佐渡
☆三塁打　前田・田中（経）
☆二塁打　大西・村上（経）

◎10月３日　明石トーカロ野球場
①試合
神外大　２００００００１０｜３
兵神戸　２０２００２０２×｜８
（神）足立・柴山－倉本
（兵）村田－佐渡・才田
☆三塁打　柴山（神）才田（兵）

②試合
甲南大　０００００００１００｜１
近畿大　００１０００００００1x｜２
（甲）香川・東川－小林弘
（近）湯本－井上
☆三塁打　福井（近）
☆二塁打　木村（近）
③試合
大経大　２２００００１００３｜８
和　大　０００００１００１｜２
（経）佐川－村上
（和）井原－前田惇
☆二塁打　後藤（経）、前田惇（和）
☆三塁打　浅野・山本・村上（経）

◎10月９日　明石トーカロ野球場
①試合
近畿大　００４０００００１｜５
兵神戸　１００００００００｜１
（近）坂口・小泉－井上
（兵）柴田－佐渡
☆三塁打　森（近）
☆二塁打　吉田（近）
②試合
和　大　０００００００２０｜２
神外大　００３１００２０×｜６
（和）若山・井原－前田惇
（神）大田－山田
☆三塁打　小野（和）、柴山（神）
③試合
甲南大　０００００００００｜０
大経大　２１２００００００×｜５
（甲）東川・香川・林－小林弘
（経）佐川－岩崎

◎10月11日　ベイコム野球場
プレーオフ
大経大　００２０１１００２｜６
近畿大　１１００００１００１｜４
（経）田中・佐川－岩崎
（近）湯本・小泉－井上
☆二塁打　岩崎・小林・山本（経）
若間（近）

◎個人賞
＊最高殊勲選手　佐川　直紀　大経大
＊最優秀防御率　東川　航己　甲南大
防御率　0.60
＊最多勝利投手　佐川　直紀　大経大　６勝
＊首位打者　井上　大輔　近畿大
打率　0.429
＊打点王　森　晋亮　甲南大
八尾　康平　神外大
10打点
＊本塁打王　該当者なし
２本塁打以上不在のため
＊盗塁王　坂本　拓実　10盗塁
＊敢闘賞　八尾　康平　神外大

【打撃十傑】
1　井上　大輔（近畿大）　0.485
2　八尾　康平（神外大）　0.472
3　森川　大悟（兵神戸）　0.469
4　下根　佑弥（甲南大）　0.440
5　小林　弘昌（甲南大）　0.425
6　幸田　頌平（近畿大）　0.411
7　岩崎　滉大（大経大）　0.389
8　山川　雄大（甲南大）　0.387
9　若間　浩介（近畿大）　0.375
10　久留米拓実（近畿大）　0.370

【ベストナイン】
投手　東川　航己（甲南大）
捕手　井上　大輔（近畿大）
一塁手　森川　大悟（兵神戸）
二塁手　山川　雄大（甲南大）
三塁手　久留米拓実（近畿大）
遊撃手　森　晋亮（近畿大）
外野手　下根　佑弥（甲南大）
外野手　八尾　康平（神外大）
外野手　若間　浩介（近畿大）

優勝　大阪経済大学（44度目）

順位	大学名	大経大	近畿大	甲南大	兵神戸	和　大	神外大	勝　敗
優勝	大経大		○●	○○	○●	○○	○○	８勝２敗
2	近畿大	●○		●○	○○	○○	○○	８勝２敗
3	甲南大	●●	○●		○○	○○	○○	７勝３敗
4	兵神戸	●○	●●	●●		●●	○○	３勝７敗
5	和　大	●●	●●	●●	○○		●●	２勝８敗
6	神外大	●●	●●	●●	○○	●●		２勝８敗

阪神六大学準硬式野球連盟

春季リーグ戦

◎３月14日　住之江公園野球場
第一試合
大府大　０００００１０００｜１
関大堺　０００２１０００×｜３
（府）朴－藤田
（関）金田・脇田－上田・谷口
☆本塁打　藤田（府）
第二試合
大工大　０００００００｜０
大教大　２００５００×｜７
（７回コールド）
（工）成瀬・岡田－岡田・里見
（教）西本・安藤－田名瀬
☆本塁打　西本（教）
☆三塁打　山口（教）
☆二塁打　藤本、矢野（工）
第三試合
大市大　０１００００００００｜１
大商大　２０２０００３０×｜７
（市）寺町－湯澤
（商）永井－森田・久間
☆二塁打　寺町（市）、小松（商）

◎３月15日　住之江公園野球場
第一試合
大教大　０６００１１０００｜８
大市大　００２０００００００｜２
（教）大串・喜納－田名瀬
（市）戸田－湯澤
☆二塁打　中島（市）
第二試合
大商大　０１２０４１０｜８
大府大　０００００００｜０
（７回コールド）
（商）永井・川村－森田
（府）渡邊－藤田
☆本塁打　勝浦（商）
☆二塁打　勝浦・小林・小松２（商）
第三試合
関大堺　２０１１１００１０｜６
大工大　００１２００１００｜４
（関）寺田・金田－石川
（工）矢野・成瀬－西村
☆二塁打　井谷・吉村・岸野・冨川（関）
藤本・矢野（工）

◎３月20日　住之江公園野球場
第一試合
大府大　３０００００００｜３
大工大　００００３０００1x｜4x
（府）朴－藤田
（工）矢野・成瀬－大平
☆二塁打　柴田（工）
第二試合
大市大　００００００｜０
関大堺　０４３２1x｜10x（５回コールド）
（関）金田－上田
（市）戸田－湯澤
☆本塁打　寺田（関）
☆二塁打　井谷・松村・八木・上田（関）

第三試合
大商大　０００００１０３｜４
大教大　０００１１３２０｜７
（７回雨天コールド）
（商）永井－森田
（教）西本－田名瀬
☆本塁打　北田（教）
☆三塁打　西本・八木（教）
☆二塁打　辻・勝浦（商）、田名瀬（教）

◎３月23日　住之江公園野球場
第一試合
関大堺　０００２４３０｜９
大商大　１２０５０３１｜12
（時間規定により７回コールド）
（関）金田・脇田－石川
（商）永井－森田
☆二塁打　山下・中林（関）、笠井（商）
第二試合
大教大　０１０１００１１０｜４
大府大　０００００１１０｜２
（教）大串・喜納・西本－田名瀬
（府）渡邊・朴－藤田
☆二塁打　北田・田名瀬２（教）、圓山（府）
第三試合
大市大　００３０２０１０２｜８
大工大　０００００３１２０｜６
（市）寺町・戸田－湯澤
（工）矢野・成瀬－大平
☆本塁打　湯澤（市）
☆二塁打　福原（市）

◎３月31日　住之江公園野球場
第一試合
大府大　０００００００１０｜１
大市大　０００００００１０｜１
（府）渡邊・朴－藤田
（市）寺町・戸田－湯澤
第二試合
大教大　０１０００４００｜５
関大堺　０００００１００5x｜6x
（時間規定により８回コールド）
（教）西本・大串・喜納－田名瀬
（関）金田－上田
☆本塁打　上田（関）
☆二塁打　北田（教）堀井（関）
第三試合
大工大　０００００２１１｜４
大商大　００２４０００００｜６
（工）宮口・成瀬－大平
（商）永井－森田
☆二塁打　増井・岡田・藤本（工）
渡邉・車田（商）

◎４月２日　住之江公園野球場
第一試合
大教大　４３０１１１３｜13
大工大　００１００００｜１
（７回コールド）
（教）大串・吉光－田名瀬
（工）成瀬・岡田・宮口・成瀬－大平
☆本塁打　田名瀬（教）

第二試合
大商大　０１９０００００１｜11
大市大　０００４００００｜４
（商）福家・吉次・川村－久間・森田
（市）寺町・三木－湯澤
☆本塁打　勝浦（商）
☆二塁打　越智・勝浦・小松・渡邉（商）
第三試合
関大堺　０２０４０１０２｜９
大府大　０００１００００｜１
（８回コールド）
（関）脇田－上田・石川
（府）渡邊－藤田
☆本塁打　八木・上田（関）
☆二塁打　山下・八木（関）、齋藤（府）

◎４月３日　舞洲ベースボールスタジアム
第一試合
大府大　００１００４０００｜５
大商大　０００００５００｜５
（府）朴・渡邊－松田・藤田
（商）永井－小林・森田
☆二塁打　齋藤･朴（府）、小松･小林（商）
第二試合
大工大　０００００００１｜１
関大堺　３００００３０×｜６
（工）矢野・成瀬－大平
（関）金田－上田
☆二塁打　宮口・福田（工）
第三試合
大市大　００２０２３０２｜９
大教大　００００１００１｜２
（８回コールド）
（市）戸田－湯澤
（教）喜納・山口－田名瀬
☆三塁打　山口（教）
☆二塁打　小野田（市）

◎４月16日　舞洲ベースボールスタジアム
第一試合
大工大　０００１０１０１０｜３
大府大　１００１０１０００｜３
（工）岡田・成瀬－大平
（府）朴－藤田
☆二塁打　圓山（府）
第二試合
大教大　３００１１１｜15
大商大　１２０００｜３（５回コールド）
（教）大串－田名瀬
（商）永井・大石－森田
☆三塁打　田名瀬（教）
☆二塁打　田名瀬（教）、辻（商）

第三試合
関大堺　２０００３００００｜５
大市大　０００００００００｜０
（関）脇田・松居－谷口・寺田
（市）戸田・三木－湯澤
☆二塁打　谷口・中林（関）、福原（市）

◎４月17日　舞洲ベースボールスタジアム
第一試合
大工大　０００３００１１０｜５
大市大　０００００６００×｜６
（工）矢野・岡田－中谷
（市）寺町・戸田－湯澤
☆二塁打　藤本（工）、湯澤（市）
第二試合
大商大　０００００００００｜０
関大堺　０００００１３０×｜４
（商）福家・永井－森田
（関）金田－上田
☆二塁打　八木・山下２（関）
第三試合
大府大　００００００１｜１
大教大　２０３１００2x｜8x
（７回コールド）
（府）渡邊－藤田
（教）大串・西本－田名瀬
☆二塁打　大津（教）

◎４月25日　住之江公園野球場
第一試合
大商大　０００００１０００｜１
大工大　０００６００００×｜６
（商）渡邉・越智－森田
（工）矢野－岡田
☆二塁打　福田・矢野・成瀬（工）
第二試合
大市大　００１０００００００｜１
大府大　０２１１００３０×｜７
（市）三木・戸田・寺町－湯澤
（府）朴－藤田・松田
☆二塁打　渡邊・澤越・児玉２（府）
第三試合
関大堺　０００００００００｜０
大教大　２００２００００×｜４
（関）金田－上田
（教）山口・西本－田名瀬
☆二塁打　八木・上田（関）

優勝大阪教育大学（22回目）

順位	校 名	大教大	関大堺	大商大	大市大	大工大	大府大	勝	敗	分
優勝	大教大		●○	○○	○●	○○	○○	8	2	0
２位	関大堺	○●		●○	○○	○○	○○	8	2	1
３位	大商大	●●	○●		○○	○●	○△	5	4	1
４位	大市大	●○	●●	●●		○○	△●	3	6	1
５位	大工大	●●	●●	●○	●●		○△	2	7	1
６位	大府大	●●	●●	●△	△○	●△		1	6	3

◎５月１日　住之江公園野球場
優勝決定戦
関大堺　０００２００００｜２
大教大　４０１１００００×｜６
（関）脇田・金田－上田
（教）大串・西本－田名瀬
☆本塁打　松村（関）
☆二塁打　八木（関

◎個人表彰
最優秀選手　田名瀬雅史（大教大）
最優秀防御率　朴　悠志（大府大）0.99
最多勝利投手　大串　空太（大教大）
金田　淳史（関大堺）５勝
首位打者　八木　龍太（関大堺）
.484　31－15
打点王　勝浦　誠（大商大）10打点
本塁打王　勝浦　誠（大商大）
上田　純平（関大堺）２本
盗塁王　柴田　浩輔（大工大）16盗塁

◎打率十傑
１．八木　龍太（関大堺）　.484　31－15
２．谷口　文彦（大府大）　.475　40－19
３．田名瀬雅史（大教大）　.444　27－12
４．山下　健太（関大堺）　.441　34－15
５．勝浦　誠（大商大）　.415　41－17
６．笠井　翔太（大商大）　.414　29－12
７．小松　由明（大商大）　.406　32－13
８．増井　宏冴（大工大）　.393　28－11
９．小野田和晃（大市大）　.371　35－13
10．門田　知也（大商大）　.367　30－11

◎ベストナイン
投手　朴　悠志（大府大）
捕手　田名瀬雅史（大教大）
一塁手　勝浦　誠（大商大）
二塁手　谷口　文彦（大府大）
三塁手　小野田和晃（大市大）
遊撃手　八木　龍太（関大堺）
外野手　山下　健太（関大堺）
小松　由明（大商大）
柴田　浩輔（大工大）

大会運営を終えて

学生幹事　中島　光彬

今回のリーグを終えて、リーグ戦は誰かがやるのではなく、リーグ全体で協力してやらなければうまく運営できないというのを実感しました。幹事として、何をすればいいのか全くわからないなかで理事長や副理事長、前幹事のみなさんに支えられ今季リーグを終えられたと思います。又、学生のみなさんにもいろいろ助けていただきうまく運営できました。次回の秋季リーグ戦においてもより一層円滑なリーグ戦にできるよう精進していきたいと思います。

春季リーグ戦を終えて

大阪教育大学準硬式野球部
主将　安藤　洋平

今回のチームはとてもチームワークがよく、底力のあるチームでした。10戦を戦い抜く中で、スタメンだけでなく控えメンバーを含め全員が一丸となり、勝ちにこだわり続けた結果がリーグ優勝という形になったと思います。リーグ優勝は私たちにとって悲願だったので本当にうれしいです。

秋季リーグ戦

◎９月３日　久宝寺野球場
第一試合
大教大　０１００００１０１｜３
大市大　０００００００００｜０
（教）山口・吉光－下田
（市）戸田－湯澤
☆本塁打　波尻（教）
☆二塁打　山口（教）、藤岡（市）
第二試合
大府大　１０２００１０００｜４
関大堺　０００２６２００×｜10
（府）朴・塩路－藤田・知野見
（関）織田・脇田・細見－奥田・谷口
☆二塁打　今井、織田（関）
第三試合
阪南大　０００４００２００｜６
大工大　００２０４００１×｜７
（阪）石田・渡辺－山形
（工）矢野・福井・金田・成瀬－大平
☆本塁打　八木（阪）藤本（工）
☆三塁打　平田（阪）増井（工）
☆二塁打　平田・国領・石田（阪）
柴田（工）

◎９月４日　久宝寺野球場
第一試合
大工大　００００３１｜４
大商大　６０１０×｜７
（５回降雨コールド）
（工）谷口・福井－大平
（商）越智俊－森田
☆二塁打　岡・中島（工）
笠井２・越智一（商）

◎９月12日　住之江公園野球場
第一試合
関大堺　０１１１１１０２３｜10
大市大　００１０００２００｜３
（関）織田・福島・寺田・細見－安田・谷口・寺田
（市）寺町・三木－湯澤
☆二塁打　井谷・小石原・八木・佐野・松村・安田２（関）
第二試合
大教大　００１００１０４０｜６
阪南大　０００００１０２０｜３
（教）大串・吉光－下田
（阪）山科・藤田－山形
☆二塁打　山口・喜納・浜崎（教）
平田（阪）
第三試合
大商大　０１０５００００１１｜８
大府大　１００００００００｜１
（商）永井・福家・越智俊－森田・久間
（府）朴・塩路・山崎－藤田
☆本塁打　岸（商）
☆二塁打　森（商）、谷口２（府）

◎９月13日　住之江公園野球場
第一試合
大工大　０００００００００｜０
大市大　０１０００１００×｜２
（工）福井・成瀬－細川
（市）戸田－湯澤
☆二塁打　増井(工)
第二試合
阪南大　０１０２０１１００｜５
大府大　０００００００１３｜４
（阪）石田・藤田－山形
（府）塩路－藤田
☆本塁打　八木（阪）
☆三塁打　谷口（府）
☆二塁打　八木･横山（阪)、日比野（府）
第三試合
大商大　０００１０００２１｜４
関大堺　０００２００００００｜２
（商）越智俊－森田
（関）脇田－安田・谷口
☆二塁打　渡邉（商）

◎９月19日　住之江公園野球場
第一試合
関大堺　１４２００１２３｜13
大工大　０００００２０５０｜７
（８回コールド）
（関）松居・寺田・福島・八木－矢野・谷口・安田
（工）矢野・成瀬・岡田－大平
☆本塁打　井谷（関）
☆二塁打　八木･今井･井上２･井谷２(関)
岡（工）
第二試合
大教大　０００００００１｜１
大商大　０３００１０００×｜４
（教）大串－下田
（商）越智俊・渡邉・永井－森田
☆二塁打　喜納（教）
笠井・小松・森田（商）
第三試合
大市大　０２２０１１１００｜７
阪南大　３２００００００１｜６
（市）寺町・戸田－湯澤
（阪）石田・山科－山形
☆本塁打　山形（阪）
☆三塁打　松下（阪）
☆二塁打　藤本･小野田（市)、八木（阪）

◎９月20日　住之江公園野球場
第一試合
関大堺　２００００００１｜３
大教大　０００００２０００｜２
（関）脇田－矢野
（教）山口－下田
☆本塁打　八木（関）
第二試合
大市大　００３１０００｜４
大商大　９００００４×｜13
（７回コールド）
（市）堂脇・三木－小野田
（商）永井・渡邉・福家－森田
☆二塁打　藤本・大和田（市)、森（商）
第三試合
大府大　０２１０１００００｜４
大工大　０００００００２3x｜５x
（府）塩路・朴－松田
（工）成瀬・宮口・岡田－細川・大平
☆二塁打　東・松田・黒田２（府）
藤本（工）

◎９月25日　住之江公園野球場
第一試合
大市大　０００００００００｜０
大教大　０１０００００００×｜１
（市）戸田－湯澤
（教）山口・大串－下田
☆二塁打　喜納・浜崎（教）
第二試合
大工大　１００００００００｜１
阪南大　００００１０６０×｜７
（工）矢野・福井－細川
（阪）石田・山科－山形
☆二塁打　増井・矢野（工）
国領・石田（阪）
第三試合
関大堺　０１００００４００１｜６
大府大　２００００２０４×｜８
（関）松居・細見・織田－矢野
（府）塩路・朴－藤田・松田
☆二塁打　小石原・織田（関)、朴（府）

◎９月26日　住之江公園野球場
第一試合
大商大　０００００００１５０｜６
大工大　００１０１１１０４×｜７
（商）越智俊－岸・森田
（工）成瀬・宮口・矢野－大平・里見
☆本塁打　勝浦（商）
☆三塁打　増井（工）
☆二塁打　小松・門田（商）
第二試合
大教大　０００２００００００｜２
大府大　０１００３００１×｜５
（教）吉光・喜納－安藤
（府）朴－藤田
☆二塁打　長尾・安藤（教）
第三試合
関大堺　０３００２１３１０｜10
阪南大　０００００００３２０｜５
（関）脇田－矢野・寺田
（阪）山科・石田・藤田・松宮－山形
☆二塁打　小石原２・脇田２（関）
松下（阪）

◎９月27日　住之江公園野球場
第一試合
阪南大　０００００００２０｜２
大教大　０００００２０００1x｜３x
（阪）山科、松宮－山形
（教）大串－下田
☆二塁打　松下（阪)、喜納（教）
第二試合
大市大　１００１００００３｜５
関大堺　００１００１３２×｜７
（市）寺町・戸田－湯澤
（関）織田－矢野・寺田
第三試合
大府大　０００００００２｜２
大商大　０００１００００3x｜４x
（府）塩路－藤田
（商）福家－森田
☆本塁打　勝浦（商）
☆二塁打　五島・黒田・藤田（府）
小松（商）

◎10月１日　住之江公園野球場
第一試合
阪南大　０００００００００｜０
関大堺　０００００１２０×｜３
（阪）石田・山科－山形
（関）松居・脇田－矢野
☆本塁打　脇田（関）
☆二塁打　八木・平田（阪）
第二試合
大府大　０３００３１０２｜９
大教大　０００２００００｜２
（８回コールド）
（府）塩路－藤田
（教）大串・吉光－安藤
☆三塁打　谷口・五島（府）
☆二塁打　五島（府）

◎10月３日　住之江公園野球場
第一試合
大商大　３３００２００１１｜10
阪南大　０００１１０４０１｜７
（商）越智俊、福家－森田
（阪）山科、松宮、石田－山形
☆三塁打　笠井、辻（商）
☆二塁打　野崎、森田（商）平田、彦坂、石田、横山（阪）
第二試合
大市大　０００１００００００｜１
大府大　０００２００２３×｜７
（市）戸田－湯澤
（府）朴－藤田・知野見
☆二塁打　谷口・五島（府）
第三試合
大工大　０００００２０１１｜４
大教大　３００００００２×｜５
（工）矢野・成瀬－大平
（教）喜納・吉光・山口－池尾
☆二塁打　増井・藤本（工)、山口（教）

◎10月８日　久宝寺野球場
第一試合
大府大　０１００００２１０｜４
阪南大　１１３００００００×｜５
（府）塩路－藤田
（阪）石田・山科・石田－山形
☆二塁打　五島・圓山（府)、石田（阪）
第二試合
大市大　００２２０１１１０｜７
大工大　００５００００２１×｜８
（市）寺町・戸田－湯澤
（工）矢野・成瀬－大平
☆三塁打　谷口（市）
☆二塁打　増井・福田・大平・岡（工）

第三試合

関大堺　０００１００２｜３
大商大　２０１４０３×｜10

（７回コールド）

（関）松居・脇田－矢野
（商）越智俊－森田
☆本塁打　勝浦２（商）
☆三塁打　笠井（商）
☆二塁打　脇田（関）、笠井・辻（商）

◎10月11日　住之江公園野球場

第一試合

大工大　０００００００２０｜２
関大堺　２００００００００｜２

（工）福井・矢野・成瀬・岡田－細川・大平
（関）織田－矢野
☆二塁打　福田（工）

第二試合

大商大　２００００００００｜２
大教大　１１００３０００×｜５

（商）永井・越智俊－久間・岸
（教）山口・西本－池尾・下田
☆二塁打　笠井（商）

第三試合

阪南大　００００８０｜８
大市大　０００００００｜０

（７回コールド）

（阪）石田・山科－山形
（市）堂脇・戸田・古家－湯澤
☆三塁打　八木（阪）
☆二塁打　横山・彦坂・松下（阪）

◎10月17日　住之江公園野球場

第一試合

阪南大　１００００１１００｜３
大商大　００００１１０７０×｜９

（阪）石田・藤田－山形
（商）越智俊－森田
☆三塁打　門田（商）
☆二塁打　笠井・渡邉

第二試合

大教大　００３０００００｜３
大工大　００００００００｜０

（教）喜納・安藤・西本－池尾
（工）矢野・成瀬－大平
☆二塁打　大津（教）、増井・大平（工）

第三試合

大府大　００１１４００００｜６
大市大　００００００１０１３｜５

（府）朴－藤田・松田
（市）寺町－湯澤

◎10月24日　住之江公園野球場

第一試合

大工大　１００５００００２０｜８
大府大　１００００１０１０｜３

（工）福井・成瀬・岡田・矢野－細川・里見・中島
（府）朴・塩路－藤田
☆二塁打　柴田・矢野・藤本２（工）
黒田・五島（府）

第二試合

大商大　４４００３０２２｜15
大市大　０２０００５００｜７

（８回コールド）

（商）渡邉・上井田・笠井・森田－岸・永井・門田
（市）戸田・古家－水上
☆本塁打　岸（商）
☆三塁打　野崎（商）
☆二塁打　車田・上井田・小松（商）

第三試合

大教大　０００１００００１｜２
関大堺　０００００２００００｜２

（教）山口、喜納－池尾
（関）織田－谷口、奥田
☆二塁打　池尾・吉田・喜納２（教）
松村・小石原（関）

◎個人表彰

最優秀選手	勝浦　誠（大商大）	
最優秀防御率選手	山口　雅貴（大教大）	
最多勝利投手	越智　俊貴（大商大）	
首位打者	笠井　翔太（大商大）	.575　40-23
打点王	勝浦　誠（大商大）	14打点
本塁打王	勝浦　誠（大商大）	４本
盗塁王	勝浦　誠（大商大）	
	谷口　文彦（大府大）	７個

◎打率十傑

１．	笠井　翔太（大商大）	.575	40－23
２．	谷口　文彦（大府大）	.426	47－20
３．	小石原　暉（関大堺）	.417	48－20
４．	永目　享大（大市大）	.405	37－15
５．	森　太一（大商大）	.389	36－14
６．	石田　拳志（阪南大）	.357	42－15
７．	平田椋太郎（阪南大）	.338	46－16
８．	八木　龍太（関大堺）	.333	33－11
9.	勝浦　誠（大商大）	.326	43－14
10.	渡邊　智貴（大商大）	.325	40－13

ベストナイン

投手	越智　俊樹	（大商大）
捕手	山形　裕太	（阪南大）
一塁手	勝浦　誠	（大商大）
二塁手	谷口　文彦	（大府大）
三塁手	森　太一	（大商大）
遊撃手	八木　龍太	（関大堺）
外野手	笠井　翔太	（大商大）
	小石原　暉	（関大堺）
	八木　奨平	（阪南大）

優勝　大阪商業大学（63回目）

順位	校　名	大商大	関大堺	大教大	大工大	大府大	阪南大	大市大	勝	敗	分
優勝	大商大		○○	○●	○●	○○	○○	○○	10	2	0
２位	関大堺	●●		○△	○△	○●	○○	○○	7	3	2
３位	大教大	●○	●△		○○	●●	○○	○○	7	4	1
４位	大工大	●○	●△	●●		○○	○●	●○	5	6	1
５位	大府大	●●	●○	○○	●●		●●	○○	5	7	0
６位	阪南大	●●	●●	●●	●○	○○		●○	4	8	0
７位	大市大	●●	●●	●●	○●	●●	○●		2	10	0

大会運営を終えて

学生理事　中島　光彬

今季は、阪南大学が阪神リーグに戻ってきてくださり、７大学でリーグ戦を行うことになりました。大学数が増えることによって、リーグ戦の組み合わせ、球場の確保数増加、審判校、当番校の仕組みを変えるなど、今までとは違ったリーグ運営を行わなければなりませんでした。しかし、全役員とリーグ戦前、リーグ戦中、何度も連絡を取り合い、OB理事の方にもアドバイスをしていただき、全員が納得できる運営方針になるよう心がけました。話し合いの甲斐あって、今回のリーグ運営はスムーズに進みました。

また、今回はリーグ戦前に各大学対象の審判講習会という阪神リーグ初の試みをしました。試合の塁審にはなるべくこの講習会に参加した選手が務めるようにし、正確なジャッジを目指しました。実際、リーグ戦では以前よりも正確なジャッジ、動作で選手は思う存分にプレーできました。

私は、今回のリーグで理事を降りますが、次の理事に引き継ぎ、サポートをしっかり行い、今よりももっと素晴らしく、活気のあるリーグにしてほしいと思います。

秋季リーグ戦を終えて

大阪商業大学準硬式野球部
主将　小林幸太郎

春に行われた関西大会１次トーナメントでは健闘も虚しく代表決定戦で敗れ、全国大会出場を逃しました。しかし、この関西トーナメントで２回勝利したことで、チームは手応えをつかむことができました。

その後行われた秋季リーグでは、10勝２敗で３年ぶりの優勝を納めることができました。今回のリーグ戦は私の経験した中で充実したリーグ戦であったと感じます。全員でチームを盛り上げることができ、勝利の瞬間を全員で喜ぶことができました。

来年の春季リーグ戦では今よりレベルアップし、２期連続優勝を目指して、練習に取り組もうと思います。

京滋六大学準硬式野球連盟

春季リーグ戦

◎３月18日　わかさスタジアム京都
第一試合
滋大経　０２００００｜２
滋大教　０１５０２4x｜12（６回コールド）
（経）長野・平井・荻田－太田
（教）黒木－佐賀野・伴
☆三塁打　山本（教）
☆二塁打　古野（経）
第二試合
花園大　０００００００００｜０
京学大　１０００１０４０×｜６
（花）井用・島見－辻・吉田
（学）高月・石田－片山・竹内
☆二塁打　片山・小松（学）

◎３月19日　わかさスタジアム京都
第一試合
京学大　１０２０００００２｜５
龍谷大　００１０００００１０｜２
（学）高月－片山・竹内
（龍）石田・沖－松村
☆本塁打　小松（学）
☆二塁打　高月・竹林・松尾（学）
松本（龍）
第二試合
滋大教　０５０１０４０｜10
京都大　００００００１０｜１
（７回コールド）
（教）足立・矢野・廣瀬－佐賀野・伴
（京）橋本・井戸－増野
☆二塁打　吉田・竹上２（教）
第三試合
京薬大　００１００００００｜１
花園大　１０００４０２1x｜８
（８回コールド）
（薬）高松－山岡
（花）島見－辻
☆二塁打　堂崎（花）

◎３月22日　太陽が丘球場
第一試合
京学大　００３０００００９８｜20
京薬大　０１００４０１１０｜７
（学）石田－竹内
（薬）高松－山岡
☆本塁打　石田（学）、大槻（薬）
☆二塁打　原澤･石田２（学）､大槻（薬）
第二試合
滋大経　０１２０００００００｜３
花園大　００１１１００１×｜４
（経）荻田－上坂
（花）島見－辻
第三試合
京都大　０００００００００｜０
龍谷大　０００００１００×｜１
（京）井戸－増野
（龍）石井・沖－松村
☆二塁打　植原（京）、徳永（龍）

◎３月23日　太陽が丘球場
第一試合
龍谷大　１４１２００１｜９
花園大　０１０００００｜１
（７回コールド）
（龍）沖・光永－松村
（花）小林・井用－有本
☆三塁打　山口（龍）
☆二塁打　松村・上床・大石（龍）
有本（花）
第二試合
京薬大　２００２００００００｜４
滋大経　４２００２００１×｜９
（薬）高松・中島－山岡
（経）平井・長野・荻田－太田・上坂
☆二塁打　平井・古野（経）
第三試合
滋大教　００１２１１００２｜７
京学大　０００００００１０｜１
（教）黒木－伴
（学）高月－片山
☆二塁打　高岡・伴（教）、竹内（学）

◎３月25 太陽が丘球場
第一試合
花園大　００００００１｜１
京都大　３３００００2x｜８
（７回コールド）
（花）島見－吉田
（京）橋本－増野
☆三塁打　末永・植原（京）
☆二塁打　辻（花）、植原・河野（京）
第二試合
京学大　２０４０００００１｜７
滋大経　０００００１０２｜３
（学）石田－竹内・片山
（経）長野・荻田－上坂
☆本塁打　永田（経）
☆三塁打　原澤（学）
☆二塁打　石田（学）、古野（経）
第三試合
龍谷大　２０３０１３８｜17
京薬大　０００１０００｜１
（７回コールド））
（龍）沖・光永－松村・緒方
（薬）高松－山岡
☆本塁打　山口（龍）
☆二塁打　角村（龍）

◎３月26日　太陽が丘球場
第一試合
京薬大　０００００００２１｜３
滋大教　１００１１００３×｜６
（薬）高松－山岡
（教）足立・矢野・黒木－佐賀野・山口・伴
☆二塁打　高松・原田・巽（薬）
高田（教）
第二試合
京都大　０００２００００１｜３
京学大　０００００００２2x｜４
（京）井戸・橋本－増野
（学）高月・石田－片山・竹内

第三試合
滋大経　０００００１００３｜４
龍谷大　００１０１１１００｜４
（経）平井・長野・荻田－太田
（龍）石井・沖－松村
☆三塁打　古野（経）
☆二塁打　後山（経）

◎３月29日　守山市民球場
第一試合
滋大経　０１２１０３｜16
京薬大　１１２００｜４（５回コールド）
（経）荻田・平井－砂川
（薬）中島・巽・高松－樋口・山岡
☆二塁打　古野・善岡・平井（経）
第二試合
京学大　１０３１０２１０２｜10
花園大　０００００２０００｜２
（学）石田－片山・竹内
（花）井用・島見・小林－辻
☆本塁打　原澤（学）
☆二塁打　片山・高月・竹内・小松（学）
第三試合
京都大　１０００００１００｜２
滋大教　００１０２１０４×｜８
（京）井戸－増野
（教）黒木・矢野－伴・佐賀野
☆二塁打　野崎（京）
高岡・吉田・山本（教）

◎３月30日　守山市民球場
第一試合
滋大教　０００１０００００２｜３
滋大経　０００１０２１０×｜４
（教）矢野・足立・黒木－伴
（経）荻田・長野－砂川
☆二塁打　高田・北川（教）
後山・長野（経）
第二試合
龍谷大　０００００００００１｜１
京都大　０００００００１０｜１
（龍）石井・沖－松村
（京）橋本・井戸－増野
☆二塁打　松本（龍）、水沼・植原（京）
第三試合
京薬大　０００００００００｜０
京学大　０１００１２００×｜４
（薬）高松－山岡
（学）高月－片山

◎４月２日　皇子山球場
第一試合
京学大　０００００００５０｜５
京都大　１００００００００｜１
（学）高月－片山
（京）橋本－増野
☆二塁打　石田・小松・高月（学）
乾（京）
第二試合
龍谷大　１０００２００００｜３
滋大教　０００４０１３０×｜８
（龍）沖・光永・石井－松村
（教）黒木－伴
☆二塁打　松村・徳永（龍）
竹上・伴・堀・高田（教）

第三試合
花園大　０００００１００１｜２
滋大経　１０００３１２２ｘ｜９
（８回コールド）
（花）井用・小林－辻・吉田
（経）平井・長野－上坂
☆二塁打　古野２・上垣（経）

◎４月４日　太陽が丘球場
第一試合
京薬大　１００００００１０｜２
京都大　００３０２１００×｜６
（薬）高松－山岡
（京）清久・井戸－増野
☆二塁打　増野・広田（京）
第二試合
滋大教　０００００１５３｜９
花園大　０００００００００｜０
（８回コールド）
（教）堀・廣瀬－佐賀野・伴・山口
（花）井用・小林－吉田
☆二塁打　堀・吉田・高田（教）

◎４月５日　守山市民球場
京学大　００１０００００００｜１
滋大教　０００１００００００｜１
（学）高月－片山
（教）黒木－伴
第二試合
花園大　００００００｜０
龍谷大　５２０１２ｘ｜10（５回コールド）
（花）宗・井用－吉田
（龍）石井－松村
☆三塁打　上床（龍）
☆二塁打　島見（花）
松村･小山･大石･南･石井(龍)
第三試合
京都大　００４０２００００｜６
京薬大　００００００００００｜０
（京）橋本・井戸－増野
（薬）高松－山岡
☆二塁打　橋本・植原（京）、原田（薬）

◎４月８日　太陽が丘球場
第一試合
滋大教　００００００００００｜０
龍谷大　００００００００１｜１
（教）黒木－伴
（龍）石井・光永－松村
第二試合
花園大　００２５１５｜13
京薬大　０００００２｜２（６回コールド）
（花）宗－辻
（薬）高松－山岡
☆二塁打　清水・中井・吉川（花）
大槻（薬）
第三試合
滋大経　２０１０００００１０｜４
京学大　００１０３０００１ｘ｜５
（経）平井・長野・荻田－砂川
（学）石田・高月－竹内・片山
☆本塁打　古野（経）
☆二塁打　後山（経）、竹林（学）

◎４月９日　太陽が丘球場
第一試合
京都大　００００００００３０｜３
花園大　００００５０１０×｜６
（京）橋本・井戸－増野
（花）宗－吉田
☆三塁打　清水・吉田（花）
☆二塁打　辻・佐藤（花）
第二試合
滋大教　００９００００｜９
京薬大　００００１０００｜１
（７回コールド）
（教）足立・廣瀬・矢野－佐賀野・山口
（薬）高松－山岡
☆二塁打　吉田２（教）
第三試合
龍谷大　００００３３２１｜９
滋大経　００００００２｜２
（７回コールド）
（龍）石井・光永・大西－松村・緒方
（経）平井・長野・荻田－太田・上坂
☆二塁打　角村・大石・徳永・但田（龍）

◎4月11 守山市民球場
第一試合
京薬大　００００００００｜０
龍谷大　４２１１０１×｜９
（７回コールド）
（薬）高松－山岡
（龍）沖・光永－緒方
☆二塁打　今村・緒方・指原（龍）
第二試合
京都大　００００００２００｜２
滋大経　００１０００００１０｜２
（京）井戸－増野
（経）平井・荻田－上坂
☆二塁打　増野（京）、善岡・古野（経）

◎４月12日　太陽が丘球場
第一試合
龍谷大　００００００００００｜０
京学大　００００３１０００×｜４
（龍）石井・光永－松村
（学）高月－片山
☆二塁打　徳永（龍）、松尾（学）
第二試合
滋大経　００１０００１３０｜５
京都大　１１００００２０００｜４
（経）長野・平井－太田・上坂・砂川
（京）橋本・井戸－増野
☆二塁打　古野（経）、増野（京）
第三試合
花園大　２０００２００００｜４
滋大教　０１１０４０３０×｜９
（花）島見・井用・宗－吉田
（教）廣瀬・矢野・足立－佐賀野・山口
☆三塁打　清水（花）
☆二塁打　高岡（教）

◎各部門賞

最　多　勝	高月伸太郎	京学大	６勝
防御率一位	石井　　陽	龍谷大	1.04
首位打者	古野　　来	滋大経	0.447
最多打点	石田　健人	京学大	10打点
最多本塁打	該当者なし		
最多盗塁	高岡　源貴	滋大教	９盗塁
最多出塁	高岡　源貴	滋大教	27出塁

◎打撃十傑（規定打席　成立試合数×2.67）

1	古野　　来	滋大経	49	47	21	0.447
2	高岡　源貴	滋大教	54	46	20	0.435
3	竹上　　樹	滋大教	44	38	16	0.421
4	清水　自生	花園大	36	30	12	0.400
5	増野　駿太	京都大	48	43	17	0.395
6	石田　健人	京学大	56	47	18	0.383
7	小松　誠也	京学大	48	42	16	0.381
8	大槻　拓也	京薬大	42	37	14	0.378
9	野崎　佑馬	京都大	35	28	10	0.357
10	吉田　紘士	滋大教	48	41	14	0.341

◎ベストナイン

投　手	高月伸太郎	京学大
捕　手	増野　駿太	京都大
一塁手	吉田　紘士	滋大教
二塁手	古野　　来	滋大経
三塁手	山本　泰誠	滋大教
遊撃手	内藤　慎二	滋大経
外野手	高岡　源貴	滋大教
	竹上　　樹	滋大教
	小松　誠也	京学大

最優秀選手　高月伸太郎　京学大
最優秀投手　高月伸太郎　京学大
最優秀新人　大石　麻貴　龍谷大

春季リーグを終えて

京都学園大学　主将　片山　康宏

私たち京都学園大学は今回の春季リーグで10勝１敗１分けという結果で優勝し、４期連続優勝することができました。１年間の集大成である春季リーグではコールドで勝てる楽な試合がなく、先制され終盤まで負けている試合が多くありました。しかし、厳しい冬の練習を乗り越えた自信と粘り強く諦めない気持ちを持ち続けることで終盤に逆転し、勝つことができました。

そして関西大会では３位という結果を残し、１回生の頃から目標としていた『全国大会出場』をついに果たす事ができました。チーム全員で12名しかおらず、満足な練習ができない時期もありましたが、その分チームのまとまりは良く、ベンチも含めた『全員野球』で一年間良い雰囲気で自分たちの野球ができたと思っています。

１人１人が自分の役割を考え、行動することでチームとしてだけでなく、個人としても全員が大きく成長できた１年になったと思います。

全国大会では出場に満足するのではなく、『ただ単に強いだけのチーム』ではなく『良いチーム』を目指し、挑戦者の気持ちで全力で楽しくプレーすることで、１年間やってきたことを全て出し切り１つでも多く試合をしたいと思います。

また来年のチームの為にも残り３か月で、１つでも多くの良き伝統を残していきたいと思います。

最後になりましたが、僕たちが野球をするにあたって協力して頂いているリーグ関係者・保護者・大学・そして仲間等全ての方々に常に感謝の気持ちをもってプレーしていきます！

これからも応援よろしくお願い致します。本当にありがとうございました。

リーグ運営を終えて

学生委員長　京都大学　橋本　洋輔

春季リーグは全日、清瀬杯がかかったリーグということで前回の秋季リーグ以上に良い環境をつくり、選手が集中してプレーをできるようにしたいという思いで臨みました。

結果として各チームの主将や学生委員をはじめ、京滋連盟全体が協力し合ったことによって特に大きな問題もなく、良いかたちで終えることができたと思います。

今回のリーグで特筆すべきは時間制限によるコールドゲームが１試合も無かったことで、迅速に試合を進めるという意識が各チームに浸透していたからこその成果であったと思います。

１年間この役職についてリーグ運営を行ってきましたが、この１年間のリーグ戦が比較的良い環境の中で行われていたのは私が尽力した結果ということではなく、たまたま運良く自ら動いてくれる選手たちが多く集まっていたからだと感じています。なので次にリーグ運営を行う後輩には私を反面教師にして、しっかりと指導を行って良い雰囲気を作り上げ、素晴らしいリーグにしていってほしいと思っています。

		京学大	滋大教	龍谷大	滋大経	花園大	京都大	京薬大		勝率
1	京学大		●１－７ △１－１	○５－２ ○４－０	○７－３ ○５－４	○10－２ ○６－０	○４－３ ○５－１	○20－７ ○４－０	10勝１敗１分	0.909
2	滋大教	○７－１ △１－１		○８－３ ●０－１	○12－２ ●３－４	○９－０ ○９－４	○10－１ ○８－２	○６－３ ○９－１	９勝２敗１分	0.818
3	龍谷大	●２－５ ●０－４	●３－８ ○１－０		△４－４ ○９－２	○９－１ ○10－１	○１－０ △１－１	○17－１ ○９－０	７勝３敗２分	0.800
4	滋大経	●３－７ ●４－５	●２－12 ○４－３	△４－４ ●２－９		●３－４ ○９－２	△２－２ ○５－４	○９－４ ○16－４	５勝５敗２分	0.500
5	花園大	●２－10 ●０－６	●０－９ ●４－９	●１－９ ●１－10	○４－３ ●２－９		●１－８ ○６－３	○８－１ ○13－２	４勝８敗	0.333
6	京都大	●３－４ ●１－５	●１－10 ●２－８	●０－１ △１－１	△２－２ ●４－５	○８－１ ●３－６		○６－２ ○６－０	３勝７敗２分	0.300
7	京薬大	●７－20 ●０－４	●３－６ ●１－９	●１－17 ●０－９	●４－９ ●４－16	●１－８ ●２－13	●２－６ ●０－６		０勝12敗	0.000

西都六大学準硬式野球連盟

春季リーグ戦

◎３月25日㈪　寝屋川第２球場
第１試合
摂 南 大 学　１０３００００｜４
奈良教育大学　３１６０００×｜10
（７回コールド）
（摂南）蒲田・上村－山口
（奈教）岡本－土川
☆三塁打　大畑（摂）、坂本・坂尻（奈）
第２試合
京 都 橘 大 学　１００２０００｜３
大 手 前 大 学　２３０３２０×｜10
（７回コールド）
（京橘）近藤－渡辺
（大手）野中－迫田
☆二塁打　貝藤・渡辺（橘）、西坂（手）
第３試合
京都産業大学　０２１００２０００｜５
大阪産業大学　０００００１０３０｜４
（京産）川口・西川・東島－小谷
（大産）澤野・山先－財前
☆二塁打　山本（京）
筒井・石原・田中雄（大）

◎３月29日㈮　伊丹スポーツセンター野球場
第１試合
大阪産業大学　１０１０６００２１｜11
桃山学院大学　０１０１００１１０｜４
（大産）山先－財前
（桃山）正木・津田－田中
☆三塁打　石原（大）、高塚（桃）
☆二塁打　平田・筒井・田村（大）
加藤（桃）
第２試合
摂南大学　９
京都橘大　０　（棄権試合）
第３試合
大 手 前 大 学　０００５００２００｜７
京都産業大学　８００００００００×｜８
（大手）藤田・長尾－迫田
（京産）東島・川口－山浦
☆三塁打　野中（手）
☆二塁打　金光・長尾（手）
小田２・黒川（京）

◎４月３日㈬　伊丹スポーツセンター野球場
第１試合
奈良教育大学　００９２５｜16
京 都 橘 大 学　０１０１０｜２
（５回コールド）
（奈教）坂尻－土川
（京橘）長谷川・近藤－近藤・北原
☆本塁打　戸田（橘）
☆三塁打　石塚（奈）
☆二塁打　坂本・小椋（奈）
第２試合
京都産業大学　０５０００００１｜６
桃山学院大学　１０２１０４３２｜13
（８回コールド）
（京産）川口・西川－山浦・小谷
（桃山）川本・津田－田中
☆三塁打　増田（京）、高塚（桃）
☆二塁打　増田（京）
縞田・田中・加藤（桃）
第３試合
摂 南 大 学　０１１１００００５｜８
大 手 前 大 学　１００００００１｜２
（摂南）安達－小島
（大手）金光・長尾－迫田
☆本塁打　大畑（摂）
☆二塁打　宮崎・伊丹・今村（摂）
金光（手）

◎４月４日㈭　わかさスタジアム京都
第１試合
摂 南 大 学　１００００００３０｜４
京都産業大学　００００００００４｜４
（摂南）大畑・上村・安達－山口
（京産）川口－深井
☆二塁打　大畑（摂）、藤部（京）
第２試合
奈良教育大　０００１０００｜１
大阪産業大　３１００００３1x｜８x
（７回コールド）
（奈教）山本（大）・岡本－土川
（大産）山先－財前
☆三塁打　岡本（奈）
☆二塁打　神宅・土川・石塚（奈）
第３試合
大 手 前 大 学　０００００００００｜０
桃山学院大学　１０００５０００×｜６
（大手）野中・長尾－迫田
（桃山）正木－田中・加田
☆二塁打　加藤（桃）

◎４月９日㈫　伊丹スポーツセンター野球場
第１試合
奈良教育大学　１００００２０３｜６
桃山学院大学　００３０２０１００｜６
（奈教）山本大・岡本－土川
（桃山）津田－田中
☆三塁打　田中（桃）、坂本（奈）
☆二塁打　加藤（桃）、坂本（奈）
第２試合
摂 南 大 学　０００２１００３１｜７
大阪産業大学　０００００６０００｜６
（摂南）上村・大畑－山口
（大産）毎木・下村・山先－財前
☆三塁打　財前（大）
☆二塁打　下木・山口（摂）
筒井・田中雄（大）
第３試合
京 都 橘 大 学　０
京都産業大学　９　（棄権）

◎４月11日㈭　伊丹スポーツセンター野球場
第１試合
京 都 橘 大 学　１０１６０００１｜９
大阪産業大学　１１０１１０５1x｜10x
（８回時間切れ）
（京橘）杉山・長谷川－北原・近藤
（大産）下村・澤野・毎木－古井・財前
☆三塁打　沢田（大）
☆二塁打　筒井（大）
第２試合
奈良教育大学　２０１０００００２｜５
大 手 前 大 学　２０１０２００４×｜９
（奈教）山本大・坂尻－土川
（大手）野中・長尾・金光－迫田
☆二塁打　坂尻（奈）
第３試合
摂 南 大 学　０００００１０００｜１
桃山学院大学　０１０００００００｜１
（摂南）大畑－山口
（桃山）正木－田中
☆二塁打　伊丹（摂）、高塚（桃）

◎４月12日㈮　ベイコム野球場
第１試合
奈良教育大学　０００００１０００｜１
京都産業大学　２１０００００４０×｜７
（奈教）岡本－土川
（京産）川口・南出・鎌崎－深井・小谷
☆二塁打　石塚（奈）
深井・小谷・中田（京）
第２試合
京都橘大学　０
桃山学院大　９　（棄権）
第３試合
大手前大学　００１００１３１１｜７
大阪産業大　０００００００００｜０
（大手）野中－迫田
（大産）山先・澤野－財前
☆三塁打　福井（手）
☆二塁打　大野・金光（手）
田中・筒井（大）

◎４月16日㈫　ベイコム野球場
第１試合
奈良教育大学　０４００００００１０｜５
摂 南 大 学　０１００２１００2x｜６x
（奈教）坂尻・●岡本－石塚・土川
（摂南）安達・上村・○大畑－山口
☆二塁打　土川・森本（奈）、小島（摂）
第２試合
大 手 前 大 学　１２１３３００３｜13
京 都 橘 大 学　０００００４０００｜４
（８回コールド）
（大手）野中・金光－迫田
（京橘）長谷川・北原－矢部・渡辺・近藤
第３試合
大阪産業大学　０００２００３００｜５
京都産業大学　１００４０１００×｜６
（大産大）澤野・山先－財前
（京産大）東島－深井
☆三塁打　増田（京）
☆二塁打　増田・中田２（京）

◎４月17日㈬　伊丹スポーツセンター野球場

第１試合

桃山学院大学	０	１	０	０	２	１	０	１	０	5
大阪産業大学	０	３	１	５	０	０	０	１	×	10

（桃山）正木・津田・川本－田中

（大産）澤野・毎木・山先－財前

☆本塁打　財前（大）１号

☆二塁打　加藤･坂田（桃）､田中雄（大）

第２試合

京都橘大学	０	１	０	０	０	０				1
摂南大学	２	０	１	５	１	2x				11

（６回コールド）

（京橘）杉山・近藤－北原

（摂南）安達－山口

☆三塁打　大畑（摂）

☆二塁打　石田（橘）

石川・山口・大畑（摂）

第３試合

京都産業大学	０	０	０	２	０	０	０	０	０	2
大手前大学	０	０	１	０	０	０	０	2x		3x

（京産）南出－深井

（大手）野中－迫田

☆三塁打　藤村（京）

☆二塁打　西坂（手）

◎４月19日㈮　ベイコム野球場

第１試合

京都橘大学	１	１	０	１	０	１	０	０	２	6
奈良教育大学	２	０	１	０	０	０	１	１	2x	7x

（京橘）杉山・北原－北原・渡邊・近藤

（奈教）坂尻・土川－石塚

☆三塁打　土川（奈）

☆二塁打　石田・大橋・田中（橘）

坂尻・石塚・山本大（奈）

第２試合

桃山学院大学	０	１	０	０	２	０	１	０	０	4
京都産業大学	１	０	０	０	１	０	０	０	０	2

（桃山）川本－田中

（京産）川口－深井

☆本塁打　加藤（桃山）

☆三塁打　増田（京産）

☆二塁打　川口（京産）

第３試合

大手前大学	０	０	０	４	３	３				10
摂南大学	０	０	０	０	０	０				0

（６回コールド）

（大手）野中－迫田

（摂南）大畑・蒲田－山口

☆二塁打　野中・迫田（大手）

◎４月22日㈪　ベイコム野球場

第１試合

京都産業大学	０	２	３	１	０	０	０	０	４	10
摂南大学	０	０	０	０	０	１	０	０	０	1

（京産）東島－深井

（摂南）大畑－山口

☆本塁打　藤部１号（京産）

☆三塁打　藤村２（京産）

☆二塁打　深井･藤部２･岡田･中田（京）

山口（摂）

第２試合

大阪産業大学	０	３	０	０	０	０	０	０	０	3
奈良教育大学	３	０	０	１	０	０	０	１	×	5

（大産）山先・毎木－財前

（奈教）岡本－土川

☆三塁打　土川（奈教）

☆二塁打　坂尻（奈教）、財前（大産）

第３試合

桃山学院大学	０	０	０	０	０	０	３	０		3
大手前大学	３	０	０	０	０	０	２	×		5

（桃山）正木・津田・川本－田中京

（大手）野中－迫田

☆三塁打　坂田（桃山）

☆二塁打　高塚（桃山）

◎４月25日㈭　伊丹スポーツセンター野球場

第１試合

大阪産業大学	１	０	０	２	２	０	０	７		12
京都橘大学	０	０	０	２	１	０	０	０		3

（８回コールド）

（大産）平田－財前

（京橘）杉山・北原－北原・近藤

☆三塁打　筒井・財前（大）

☆二塁打　筒井（大）

石田・北原・長谷川（橘）

第２試合

大手前大学	０	１	０	０	０	０	０	０	０	1
奈良教育大学	０	０	０	１	１	０	０	０	×	2

（大手）野中－迫田

（奈教）岡本－土川

☆三塁打　坂尻（奈）

第３試合

桃山学院大学	１	３	１	０	０	０	２	０		7
摂南大学	１	３	０	１	０	０	０	２		7

（桃山）川本－田中

（摂南）安達－山口

☆二塁打　高塚（桃）、田北２（摂）

◎４月27日㈯　伊丹スポーツセンター野球場

第１試合

京都産業大学	０	１	５	２	０	２	３			13
奈良教育大学	０	０	１	１	１	０	０			3

（７回コールド）

（京産）東島・川口－深井・小谷

（奈教）大谷・岩川－土川

☆二塁打　増田・藤部・中田（京産）

小椋（奈教）

第２試合

桃山学院大学	１	０	０	１	５	０	０			7
京都橘大学	０	０	０	０	０	０	０			0

（７回コールド）

（桃山）横山－田中

（京橘）長谷川－北原

第３試合

大阪産業大学	０	０	０	０	５	０	１	０		6
大手前大学	１	０	０	１	０	０	０	０		2

（大産）財前－山先

（大手）野中・長尾－迫田

◎５月１日㈫　寝屋川第２野球場

第１試合

桃山学院大学	２	０	０	１	０	０	３	０	０	6
奈良教育大学	０	０	２	０	０	０	０	０	０	2

（桃山）津田・正木・横山・川本－田中京

（奈教）岡本・大谷－土川

☆二塁打　縞田・加藤・川本・石原（桃）

神宅（奈）

第２試合

大阪産業大学	０	１	２	０	０	０	０	０	０	3
摂南大学	１	２	１	０	０	０	０	０	５	×	9

（大産）山先－財前

（摂南）安達－山口

☆二塁打　財前・平田（大）、伊丹（摂）

第３試合

京都産業大　９

京都橘大学　０　（棄権試合）

【２位－３位決定戦】

◎５月２日㈭　寝屋川第２野球場

摂南大学	１	２	０	０	０	２	０			5
桃山学院大学	１	３	０	０	８	１	×			13

（７回コールド）

（摂南）上村－伊丹

（桃山）正木－大畑・徳本

☆本塁打　加藤（桃山）

☆二塁打　上村・伊丹（摂南）

加藤２（桃山）

優勝：京都産業大学（４季連続66回目）

	京　産	桃　山	奈　教	大　手	大　産	摂　南	京　橘	勝点	勝敗	順位
京産産業	－	●●	○○	○●	○○	△○	□□	25	8－3－1	優勝
桃山学院	○○	－	△○	○●	●●	△△	□○	21	6－3－3	2位
奈良教育	●●	△●	－	●○	●○	○●	○○	16	5－6－1	6位
大手前	●○	●○	○●	－	○●	●○	○○	21	7－5－0	4位
大阪産業	●●	○○	○●	●○	－	●●	○○	18	6－6－0	5位
摂　南	△●	△△	●○	○●	○○	－	□○	21	6－3－3	3位
京都橘	●●	●●	●●	●●	●●	●●	－	0	0-12-0	7位

※２－３位は、順位決定戦による。

※４位は、勝率による。

【春季リーグ戦最終結果】

優勝　京都産業大学　８勝３敗１分
（勝点25、勝率0.727）
２位　桃山学院大学　６勝３敗３分
（勝点21、勝率0.667）※１
３位　摂南大学　６勝３敗３分
（勝点21、勝率0.667）※１
４位　大手前大学　７勝５敗
（勝点21、勝率0.583）※２
５位　大阪産業大学　６勝６敗
（勝点18、勝率0.500）
６位　奈良教育大学　５勝６敗１分
（勝点16、勝率0.455）
７位　京都橘大学　12敗
（勝点０、勝率0.000）
※１　順位決定戦の結果による
※２　勝率による

最優秀選手賞　深井　陽平(京都産業大学)(初)
最優秀投手賞　川口　拓輝(京都産業大学)(３)
敢　闘　賞　岡本　太樹(奈良教育大学)(初)
新　人　賞　坂田　敏規(桃山学院大学)

【打撃部門】

首位打者　田村　祐二（大阪産業大学）
５割７分７厘（初）
打 点 王　筒井　達也（大阪産業大学）
12打点（初）
本塁打王　戸田　将太（京都橘大学）　２本
加藤　大樹（桃山学院大学）２本
盗 塁 王　坂尻　拓郎（奈良教育大学）
12盗塁（初）

【投手部門】

最多勝利投手賞　野中　俊希（大手前大学）
６勝（２）
防御率1位投手賞　川口　拓輝（京都産業大学）
1.89（４）

【打撃十傑】

１位	田村	祐二（大阪産業大学）	0.577
２位	坂尻	拓郎（奈良教育大学）	0.462
３位	増田	景介（京都産業大学）	0.461
４位	大畑	孝樹（摂南大学）	0.444
５位	長尾	豊史（大手前大学）	0.410
６位	高塚	健司（桃山学院大学）	0.408
７位	石塚	佳祐（奈良教育大学）	0.382
８位	加藤	大樹（桃山学院大学）	0.378
９位	縞田	征治（桃山学院大学）	0.375
10位	財前	弘治（大阪産業大学）	0.364

【ベストナイン】

投　手	野中	俊希（大手前大学）	（初）
捕　手	財前	弘治（大阪産業大学）	（２）
一塁手	石原	翔太（大阪産業大学）	（初）
二塁手	高塚	健司（桃山学院大学）	（２）
三塁手	加藤	大樹（桃山学院大学）	（初）
遊撃手	縞田	征治（桃山学院大学）	（２）
外野手	増田	景介（京都産業大学）	（２）
〃	長尾	豊史（大手前大学）	（初）
〃	坂本	克貴（奈良教育大学）	（初）

秋季リーグ戦

◎８月22日㈭　伊丹スポーツセンター

第１試合

大手前大学	０	０	０	０	０	１	０	０	０	１
桃山学院大学	１	０	２	０	０	０	０	２	×	５

（大手）上田－迫田
（桃山）川本－加藤
☆三塁打　高塚（桃山）
☆二塁打　高塚・加藤（桃山）

第２試合

奈良教育大学　０
摂 南 大 学　９　（棄権試合）

第３試合

京都橘大学	０	０	０	０	５	１	０	０	０	６
大阪産業大学	２	０	３	０	０	４	２	０	×	11

（京橘）等々力・伊家－高橋
（大産）丸本・下村・山先－田中
☆三塁打　筒井・田中（大産）
☆二塁打　吉村（京橘）
毎木・西村・丸本（大産）

◎８月26日㈪　伊丹スポーツセンター

第１試合

京都橘大学	１	０	０	０	０	４	０	０	２	７
京都産業大学	０	０	１	１	１	１	０	１	１	６

（京橘）高木－高橋
（京産）松本・淡路・西田－山浦
☆三塁打　山谷（京産）
☆二塁打　中筋・岸（京橘）
今竹・淡路・山谷（京産）

第２試合

大手前大学	３	０	５	２	０	０	０			10
奈良教育大学	０	０	０	０	１	０	０			１

（７回コールド）
（大手）上田－迫田
（奈教）中久保･岩川･山本(大)－山本(大)・中島
☆二塁打　大塚・野中・上田（大手）

第３試合

摂南大学	０	０	０	２	０	０	２	０	０	４
大阪産業大学	０	０	３	０	０	１	０	０	０	４

（摂南）小川－山口
（大産）山先・下村－財前

◎９月３日㈫　伊丹スポーツセンター

第１試合

桃山学院大学	０	０	０	０	５	１	０	０	２	８
奈良教育大学	１	０	０	３	０	０	３	３	×	10

（桃山）川本・津田－門林・加藤
（奈教）大谷－中島
☆三塁打　竹田・坂田（桃山）
土川・平田（奈教）
☆二塁打　正木（桃山）

◎９月５日㈭　ベイコム野球場

第１試合

大手前大学	０	０	０	１	０	０	０	１		２
大阪産業大学	０	３	０	０	２	０	１	０	×	６

（大手）上田・藤田－迫田
（大産）下村・毎木・丸本－財前
☆二塁打　福井（大手）

第２試合

京都橘大学	１	１	０	０	１	０	２	０		５
桃山学院大学	０	０	０	１	０	３	３	×		７

（８回時間切れ）
（京橘）等々力・高木－高橋
（桃山）横山・津田－田中
☆三塁打　近藤（京橘）
☆二塁打　加藤２・川本（桃山）

第３試合

摂南大学	０	０	０	０	１	０	０			１
京都産業大学	１	２	０	２	１	３	×			９

（７回コールド）
（摂南）小川・中世古－山口
（京産）西田・西川－山浦・大村
☆三塁打　小川（京産）
☆二塁打　下木・中世古（摂南）
江藤・岡田・藤部（京産）

◎９月９日㈪　伊丹スポーツセンター

第１試合

桃山学院大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０
京都産業大学	０	０	４	０	０	０	２	1x		7x

（８回コールド）
（桃山）横山・津田－加藤
（京産）西田・小濱－山浦
☆三塁打　正木（桃山）
☆二塁打　江藤・山浦・小川（京産）

第２試合

大手前大学	１	０	０	０	０	０	０	０	０	１
京都橘大学	１	１	０	０	０	０	０	３	×	５

（大手）藤田－迫田
（京橘）大平・高木－近藤
☆二塁打　高村（大手）
亀田・飯田（京橘）

第３試合

奈良教育大学	０	０	０	１	０	０	６	０	３	10
大阪産業大学	１	０	０	０	１	４	０	1x		11x

（奈教）大谷・中久保－石塚
（大産）丸本・毎木・下村・山先－財前
☆三塁打　石塚（奈教）
☆二塁打　山本達（奈教）、田中（大産）

◎９月10日㈫　ベイコム野球場

第１試合

奈良教育大学	０	０	０	０	０	０	０	５	１	６
京都橘大学	１	１	０	０	０	０	０	０	２	４

（奈教）大谷－増井
（京橘）大平・高木・等々力－近藤
☆三塁打　大谷（奈教）、高木（京橘）
☆二塁打　中久保・大谷・神宅２（奈教）
伊家・長谷川（京橘）

第２試合

桃山学院大学	０	４	１	２	０	１	０			８
摂南大学	０	０	０	０	０	０	０			０

（７回コールド）
（桃山）川本－加藤・加田
（摂南）小川・田北－山口
☆三塁打　坂田・川本（桃山）

第３試合
大手前大学　００１００｜０
京都産業大学　２６２２×｜12
（５回コールド）
（大手）高村・野中－迫田
（京産）松本・小濱－山浦
☆本塁打　中田（京産）
☆三塁打　岡田（京産）
☆二塁打　大塚（大手）、藤部（京産）

◎９月13日㈮　伊丹スポーツセンター
第１試合
桃山学院大学　００１０３０３００｜７
大阪産業大学　１１００００００１｜３
（桃山）川本－田中・加田
（大産）山先・下村・丸本－財前・柳
☆二塁打　加田・川本（桃山）
山先・筒井（大産）
第２試合
奈良教育大学　０００００｜０
京都産業大学　２１４０１２｜10
（６回コールド）
（奈教）大谷・中久保－増井
（京産）西田－山浦
☆二塁打　山谷・中田・小川・西田（京産）
第３試合
摂南大学　００３０２０００２｜７
京都橘大学　０００００１２１１０｜５
（摂南）山口－田北
（京橘）大平・等々力－近藤・高橋
☆三塁打　高木・岸（京橘）
☆二塁打　中世古（摂南）

◎９月18日㈬　ベイコム野球場
第1試合
京都産業大学　０００１２１００３｜７
京都橘大学　００１０００００｜１
（京産）小濱・南出・淡路－山浦
（京橘）大平・等々力－高橋
☆二塁打　山谷・藤部（京産）
高木２（京橘）
第２試合
奈良教育大学　２０１１２００００２｜８
大手前大学　０００６０２００１x｜９x
（奈教）大谷・中久保－山本（大）・中島
（大手）上田－迫田
☆二塁打　佐野・石塚（奈教）
第３試合
大阪産業大学　００５８１｜14
摂南大学　２００００｜２
（５回コールド）
（大産）財前－柳
（摂南）中世古・田北－山口・小島
☆二塁打　山先・田中２（大産）
生藤（摂南）

◎９月20日㈮　ベイコム野球場
第１試合
奈良教育大学　０００００００１１｜２
桃山学院大学　０００００００３x｜３x
（奈教）山本大－中島
（桃山）横山・津田・川本－田中
☆二塁打　中久保（奈教）
正木・加藤（桃山）

第２試合
京都産業大学　０００４００２００｜６
大阪産業大学　０００００１００｜１
（京産）西田－山浦
（大産）丸本－柳
☆三塁打　江藤（京産）、財前（大産）
☆二塁打　江藤・藤部・西田（京産）
柳（大産）
第３試合
摂南大学　００１０２０４００｜７
大手前大学　２１１００２１００｜７
（摂南）山口－小島
（大手）上田・野中－迫田
☆二塁打　長尾（大手）

◎９月23日㈪　伊丹スポーツセンター
第１試合
大阪産業大学　０２０１０１１１０｜６
大手前大学　０００１０２３１×｜７
（大産）山先・財前－財前・山先
（大手）上田・野中－迫田
☆三塁打　田中（大産）、野中（大手）
☆二塁打　石原（大産）、大塚（大手）
第２試合
京都橘大学　０
桃山学院大学　９　（棄権試合）
第３試合
京都産業大学　２０２３７０３｜17
摂南大学　００３３０１０｜７
（７回コールド）
（京産）西田・小濱－山浦
（摂南）山口・田北－田北・小島
☆二塁打　岡田・小川・西田（京産）
奥川（摂南）

◎９月25日㈬　伊丹スポーツセンター
第１試合
大阪産業大学　０００００００１０１｜11
奈良教育大学　０００００１２２１｜６
（大産）毎木・丸本・下村・財前－財前・田中
（奈教）岩川・佐野・大谷－増井・中島
☆三塁打　奥田（大産）、櫻井（奈教）
第２試合
京都橘大学　０
大手前大学　９　（棄権試合）
第３試合
京都産業大学　０４２０１００１０｜８
桃山学院大学　００１０８０００×｜９
（京産）小濱・鎌先－山浦
（桃山）川本－田中
☆本塁打　小川（京産）、高塚（桃山）
☆三塁打　小川（京産）
川本・門林（桃山）
☆二塁打　岡田２（京産）、高塚（桃山）

◎10月１日㈫　伊丹スポーツセンター
第１試合
京都橘大学　０
奈良教育大学　９　（棄権試合）

第２試合
摂南大学　００３０２１０１１｜８
桃山学院大学　０００００１０３２１｜７
（摂南）小川－山口
（桃山）津田・川本－田中
☆三塁打　生藤（摂南）
☆二塁打　下木・小川（摂南）
竹田（桃山）
第３試合
京都産業大学　００３０２１０１１｜８
大手前大学　０００００１０３２１｜７
（京産）西川・小濱・淡路－山浦
（大手）高村・藤田－迫田
☆三塁打　小川・山浦（京産）
☆二塁打　中田・岡田（京産）
藤田（大手）

◎10月６日㈰　桃山学院大学野球場
第１試合
桃山学院大学　３３０１０００１０｜８
大手前大学　１０２０００３０１｜７
（桃山）福原・田中－杉本
（大手）上田・藤田－迫田
☆三塁打　川本（桃山）、大塚（大手）
☆二塁打　川本（桃山）
阿南・大塚・野中（大手）
第２試合
摂南大学　００３０４００００｜７
奈良教育大学　１２１０２００００｜６
（摂南）瀧川・中世古－小島・田北・山口
（奈教）岩川・大谷－中島
☆本塁打　石塚（奈教）
☆二塁打　中久保・大谷（奈教）
第３試合
大阪産業大学　２０１１２０１｜７
京都橘大学　０００００００｜０
（７回コールド）
（大産）丸本・毎木－財前
（京橘）大平・等々力－近藤
☆三塁打　財前（大産）
☆二塁打　石原・丸本（大産）

◎10月７日㈪　伊丹スポーツセンター
第１試合
大阪産業大学　２１４０２５｜14
桃山学院大学　０００００１｜１
（６回コールド）
（大産）毎木・山先－財前
（桃山）津田－加田・田中
☆三塁打　筒井（大産）、宮崎（桃山）
☆二塁打　山先・財前３・西村（大産）
第２試合
京都産業大学　１４００３８｜16
奈良教育大学　０００００００｜０
（６回コールド）
（京産）西川・小川耕－山浦
（奈教）山本大・佐野・大谷－中島
☆三塁打　山谷（京産）、土川（奈教）
☆二塁打　山谷・中田・小川幹・西川（京産）
第３試合
京都橘大学　０
摂南大学　９　（棄権試合）

◎10月10日㈭　伊丹スポーツセンター
第１試合
大阪産業大学　０２００００４１０｜７
京都産業大学　００１０００００５１｜７
（大産）丸本・下村・毎木・山先－財前
（京産）小川耕・吉村・南出－山浦
☆三塁打　財前・田村（大産）
筧（京産）
☆二塁打　小谷（京産）
第２試合
大手前大学　０２０１００００００｜３
摂南大学　０００００００００｜０
（大手）野中－迫田
（摂南）瀧川・中世古・小川－田北・山口
☆三塁打　上田（大手）

《各表彰者》
最優秀選手賞　小川　幹弘（京都産業大学）（初）
最優秀投手賞　西田　晶也（京都産業大学）（初）
敢闘賞　野中　俊希（大手前大学）（２）
新人賞　大塚　周平（大手前大学）

〈打撃部門〉
首位打者　小川 幹弘（京都産業大学）
５割２分７厘　（初）
打点王　中田　共哉（京都産業大学）
14打点　（初）
〃　山谷　友希（京都産業大学）
14打点　（初）
本塁打王　該当者なし
盗塁王　今竹　広至（京都産業大学）（初）

〈投手部門〉
最多勝利賞　西田　晶也（京都産業大学）
５勝　（初）
最優秀防御率賞　川本　健太（桃山学院大学）
2.415　（初）

〈打撃十傑〉
１位　小川　幹弘（京都産業大学）0.527
２位　川本　健太（桃山学院大学）0.438
３位　藤部　慎也（京都産業大学）0.432
４位　加藤　大樹（桃山学院大学）0.417
４位　田村　裕二（大阪産業大学）0.417
６位　岡田　晃汰（京都産業大学）0.410
７位　田中　雄大（大阪産業大学）0.405
８位　財前　弘治（大阪産業大学）0.390
９位　山先　泰弘（大阪産業大学）0.381
９位　大塚　周平（大手前大学）　0.381

〈ベストナイン〉
投手　西田　晶也（京都産業大学）（初）
捕手　財前　弘治（大阪産業大学）（３）
一塁手　加藤　大樹（桃山学院大学）
（３：捕手と三塁手で各１度）
二塁手　山谷　友希（京都産業大学）
（２：三塁手で１度）
三塁手　田村　裕二（大阪産業大学）（初）
遊撃手　縞田　征治（桃山学院大学）（３）
外野手　田中　雄大（大阪産業大学）（２）
外野手　小川　幹弘（京都産業大学）（初）
外野手　櫻井　均（奈良教育大学）（初）

【連盟学生功労者賞】
川口　拓輝（京都産業大学）
長尾　豊史（大手前大学）

優勝：京都産業大学（５季連続67回目）

	京産	桃山	大産	摂南	大手	奈教	京橘	勝敗分	勝点	勝率	順位
京都産業	－	○●	○△	○○	○○	○○	●○	９－２－１	28	0.818	優勝
桃山学院	●○	－	○●	○●	○○	●○	○□	８－４－０	24	0.667	２位
大阪産業	●△	●○	－	△○	○●	○○	○○	７－３－２	23	0.700	３位
摂南	●●	●○	△●	－	△●	□○	○□	５－５－２	17	0.500	４位
大手前	●●	●●	●○	△○	－	○○	●□	５－６－１	16	0.455	５位
奈良教育	●●	○●	●●	■●	●●	－	○□	３－９－０	9	0.250	６位
京都橘	○●	●■	●●	●■	○■	●■	－	２－10－０	6	0.167	７位

関西医歯薬準硬式野球連盟

春季リーグ戦　一部

◎３月９日　大阪市立大学グラウンド
第一試合
滋医大　２２００２２００２｜10
阪大歯　２０１１０１０００｜５
（滋）居出上、伊藤、居出上－田中
（阪）佐伯－笠川
☆二塁打　田村・森（滋）、田村２（阪）
☆三塁打　高原（滋）
第二試合
市大医　０００００１０００｜１
奈医大　０１２０００００００｜３
（市）河崎－佐々木
（奈）前川勇－井上・太田
☆二塁打　佐々木・谷（市）
太田２・名古路（奈）

◎３月16日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
滋医大　０００２１００１０｜４
府医大　０３０００００１１×｜５
（滋）居出上、伊藤－田中
（府）木村－小原
☆二塁打　安土・木村・高田（府）
森・高原２・渡辺・村尾（滋）
第二試合
和医大　３１０１００００００｜５
大医大　０００００００００｜０
（和）村田－川村
（大）村上－杉本

◎３月17日　滋賀医科大学グラウンド
第一試合
近大医　１０００００００００｜１
市大医　２０００００１０×｜３
（近）甲賀－都丸
（市）河崎－佐々木
☆二塁打　河村、佐々木２（市）
森川（近）
☆三塁打　河村（市）
第二試合
阪大歯　０００００００００｜０
奈医大　０００２００００×｜２
（阪）佐伯－笠川
（奈）久保－井上
☆二塁打　前川亮、大西（奈）

◎３月23日　滋賀医科大学グラウンド
第一試合
市大医　００２０３０３０１｜９
和医大　０００００５０２｜７
（市）河崎－佐々木
（和）福岡・村田－川村
☆二塁打　中居・村田・下薗（和）
河村･河崎･佐々木･塩見（市）
第二試合
近大医　１００００００２０｜３
府医大　０５００１０３1x｜10
（８回コールド）
（近）甲賀－都丸
（府）木村・亀山－小原・堀田
☆二塁打　坂田・丹正（近）

◎３月25日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
大医大　０００００１０００｜１
阪大歯　００１０００００1x｜２
（大）村上－杉本
（阪）佐伯－笠川
☆二塁打　佐伯（阪）
第二試合
府医大　０００１６００１０｜８
市大医　０１０１１１０００｜４
（府）木村・亀山－小原・堀田
（市）河崎－佐々木
☆二塁打　谷口・安土２（府）
☆三塁打　塩見（市）
☆本塁打　河崎（市）

◎３月27日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
近大医　０００００２０１｜３
奈医大　１１０００００１１×｜４
（近）甲賀－都丸
（奈）前川勇－太田
☆二塁打　前川亮・名古路（奈）
田下（近）
☆三塁打　松林・太田（奈）
第二試合
市大医　０００００１１１｜３
大医大　０００００４１×｜５
（市）河崎－佐々木
（大）村上－杉本
☆二塁打　村上（大）、佐々木（市）
☆三塁打　牧２、松本（大）

◎３月30日　滋賀医科大学グラウンド
第一試合
滋医大　０４１１１００１｜８
近大医　０１０００００００｜１
（８回コールド）
（滋）伊藤、渡辺－田中
（近）丹正－都丸
☆二塁打　森・村尾（滋）、柴森（近）
第二試合
府医大　０００００１００｜１
阪大歯　０００００２００×｜２
（府）木村－小原
（阪）佐伯－笠川
☆三塁打　曽根（府）

◎３月31日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
滋医大　０００００１００｜１
大医大　１２０００００２０×｜５
（滋）居出上・伊藤－田中
（大）村上－杉本
第二試合
阪大歯　０００２００２００｜４
近大医　０００００１１１０｜２
（阪）佐伯－笠川
（近）甲賀－都丸
☆二塁打　森川・都丸（近）
☆三塁打　佐伯（阪）
第三試合
和医大　００２００１００１｜４
奈医大　０００００２３０×｜５
（和）村田－川村
（奈）前川勇－太田
☆二塁打　中居・落合・中井（和）

◎４月６日　紀三井寺球場
第一試合
阪大歯　２０２００｜４
和医大　２０００3x｜5x
（５回雨天コールド）
（阪）佐伯－笠川
（和）福岡・村田－川村
☆二塁打　落合（和）
☆三塁打　福岡（和）

◎４月13日　滋賀医科大学グラウンド
第一試合
滋医大　０００１００１０１｜３
奈医大　０１００００１０００｜２
（滋）居出上・伊藤－田中
（奈）久保・前川勇－太田
☆二塁打　松林（奈）
第二試合
市大医　１０００００００｜１
阪大歯　００１０００００｜１
（市）河崎－佐々木
（阪）佐伯－笠川
☆二塁打　長谷川（市）、佐伯（阪）

◎４月14日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
府医大　１００００４０４｜９
大医大　０００００００００｜０
（府）木村－小原
（大）村上・植田・西村－杉本
第二試合
和医大　１３０３１００｜８
近大医　０００００１0x｜１
（７回コールド）
（和）村田－川村
（近）甲賀－都丸
☆二塁打　森川（近）
中居・村田・植田・下薗（和）
☆三塁打　堀内（和）

◎４月20日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
和医大　０００１００１００｜２
府医大　０３２０００３×｜８
（和）村田－川村
（府）亀山－堀田
☆三塁打　瀬谷（府）
☆本塁打　亀山（府）
第二試合
大医大　００２００００｜２
奈医大　１１００１06x｜９
（７回コールド）
（大）村上－杉本
（奈）久保－太田
☆二塁打　久保（奈）
☆三塁打　久保（奈）

◎４月21日　滋賀医科大学グラウンド
第一試合
滋医大　０３０００１０００｜４
市大医　０１００１００４×｜６
（滋）居出上・伊藤－田中
（市）河崎－佐々木
☆二塁打　河崎２（市）
☆三塁打　渡辺（滋）
第二試合
奈医大　２０００００２０｜４
府医大　００１０００２００｜３
（奈）前川勇－太田
（府）木村－小原
☆二塁打　太田（奈）、安土（府）
☆三塁打　木村（府）

順位		奈医大	府医大	和医大	阪大歯	市大医	滋医大	大医大	近大医	総合成績	勝ち点
１位	奈医大		○４－３	○５－４	○２－０	○３－１	●２－３	○９－１	○４－３	６勝１敗	18
２位	府医大	●３－４		○８－２	●１－２	○８－４	○５－４	○９－１	○10－３	５勝２敗	15
３位	和医大	●４－５	●２－８		○５－４	●７－９	○７－０	○５－０	○８－１	４勝３敗	12
４位	阪大歯	●０－２	○２－１	●４－５		△１－１	●５－10	○２－１	○４－２	３勝３敗１分	10
５位	市大医	●１－３	●４－８	○９－７	△１－１		○６－４	●３－５	○３－１	３勝３敗１分	10
６位	滋医大	○３－２	●４－５	●０－７	○10－５	●４－６		●１－５	○８－１	３勝４敗	9
７位	大医大	●１－９	●１－９	●０－５	●１－２	○５－３	○５－１		△２－２	２勝４敗１分	7
８位	近大医	●３－４	●３－10	●１－８	●２－４	●１－３	●１－８	△２－２		０勝６敗１分	1

＊４－５位は失点率による
＊近畿大学医学部は２部降格

◎４月29日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
滋医大　０００００００｜０
和医大　１００２３１×｜７
（７回コールド）
（滋）伊藤・居出上・渡辺－田中
（和）村田－中田
☆二塁打　田中（滋）
☆三塁打　堀田（和）
第二試合
近大医　１０００１０００｜２
大医大　０００００２０００｜２
（近）甲賀－都丸
（大）村上－杉本
☆二塁打　森（近）、村上（大）
☆本塁打　森川（近）
【打撃十傑】
１．下薗　涼太（和医大）　0.474
２．太田　　徹（奈医大）　0.440
３．丹正　幸佑（近大医）　0.440
４．河村　章人（市大医）　0.429
５．前川　　亮（奈医大）　0.423
６．安土　佳大（府医大）　0.417
７．川村　晃大（和医大）　0.389
８．落合　智貴（和医大）　0.381
９．河崎　顕治（市大医）　0.370
10．松本　康一（大医大）　0.370

【一部ＭＶＰ】
前川　　亮　（奈医大）
【ベストナイン】
投　手　村田　鎮優（和医大）
　　佐伯　直哉（阪大歯）
捕　手　太田　　徹（奈医大）
一塁手　森　　和徳（滋医大）
二塁手　安土　佳大（府医大）
三塁手　河村　章人（市大医）
遊撃手　塩見　和之（市大医）
外野手　下薗　涼太（和医大）
　　丹正　幸佑（近大医）
　　落合　智貴（和医大）

春季リーグを終えて

奈良県立医科大学野球部
主将　松林　和磨

春リーグ運営に携わった方々、並びに主幹の和医大さんありがとうございました。悪天候の日も多かったですが、皆様の協力のおかげで無事春リーグを終えることができました。代表として出場いたしました関西選手権では思うような結果が残せず申し訳ありませんでした。これからまた新たなスタートラインにたって夏に向けて頑張っていきたいと思います。

春季リーグ戦　二部

◎３月10日　兵庫医科大学グラウンド
神院薬　０２１０１５１０｜10
神薬大　４００００２２０｜８
（神院薬）前田・西口－海老原
（神薬大）久土・若木－若木・高木
☆本塁打　西口（神院薬）
☆二塁打　奥村・森・海老原（神院薬）
久土（神薬大）

◎３月17日　兵庫医科大学グラウンド
①試合
兵医大　０００２２２３０５｜14
兵療大　５０００００１０１０｜７
（兵医大）堺－矢野（雄）
（兵療大）北川・富田・島田・亀井－中谷
☆二塁打　矢野（翔）・堺（兵医大）
斉藤・中谷（兵療大）
②試合　５回コールド
近大薬　２０６５３｜16
京大医　００２１１｜４
（近大薬）越智－搗本
（京大医）森野・中尾－小川（惇）
☆二塁打　尾崎・上村・小川・尾崎・上村・
小川・木場・小川（近大薬）
野村・小川（惇）（京大医）

◎３月20日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　７回コールド
京大医　０７０００２０｜９
兵医大　００００１００｜１
（京大医）森野－小川
（兵医大）岡田・堺－矢野
☆本塁打　小池・小池（兵医大）
☆二塁打　矢野・大野・山仲（兵医大）
②試合　７回雨天コールド
神院薬　００２１０１０｜４
関医大　００００００２０｜２
（神院薬）前田・西口－海老原
（関医大）大石－林
☆二塁打　河田（神院薬）

◎３月23日　摂南大学グラウンド
①試合
関医大　００２０００２００｜４
摂枚方　１１０１００１３０｜７
（関医大）中山・大石－林
（摂枚方）柴垣－北浦
☆二塁打　北浦・小松原・矢野（摂枚方）
②試合　８回コールド
神大医　００１０００００｜１
兵療大　２０２１１００２｜８
（神大医）福石－若松
（兵療大）北川・島田－中谷
☆本塁打　中谷（兵療大）
☆二塁打　丸尾（兵療大）

◎３月24日　兵庫医科大学グラウンド
①試合
兵医大　０３２０１００１０｜７
近大薬　１０００００００｜１
（兵医大）堺・岡田－矢野
（近大薬）越智・木場－搗本
☆本塁打　小池（兵医大）
☆三塁打　遠藤（近大薬）
②試合
阪大医　０００００１００２０｜３
神薬大　０２１１２００００｜６
（阪大医）岡田－城戸・鈴江
（神薬大）久土・若木－若木・高木
☆三塁打　阪上（阪大医）
☆二塁打　小佐見（神薬大）

◎３月30日　摂南大学グラウンド
①試合
神薬大　０００００２０２４１｜９
摂枚方　１３１０２００００１｜８
（神薬大）若木・国富・若木－高木・若木・
高木
（摂枚方）柴垣・尾西・柴垣－北浦・田中
☆二塁打　松浦・山内（神薬大）
②試合
兵療大　００２０００００１｜３
京大医　００００００００１０｜１
（兵療大）北川・島田－中谷
（京大医）森野－小川（惇）
☆二塁打　仲井（兵療大）
小川（裕）・境内（京大医）

◎３月31日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　５回コールド
兵医大　１００５14｜20
神大医　１００００｜１
（兵医大）岡田－矢野
（神大医）福石・平田・琴－若松
☆本塁打　大野・堺（兵医大）
☆二塁打　小池・矢野（兵医大）
②試合
関医大　００１０００５２０｜８
阪大医　２３００００１１０２｜９
（関医大）中山・大石－林
（阪大医）岡田－城戸
☆本塁打　大石（関医大）
☆三塁打　濱田・濱田（阪大医）
☆二塁打　武田・高瀬・高瀬（阪大医）
中山・中山（関医大）

◎４月６日　摂南大学グラウンド
①試合　６回コールド
摂枚方　０１０００００｜１
神院薬　０１１６００｜８
（摂枚方）柴垣・尾西－北浦
（神院薬）西口－海老原
☆本塁打　西口（神院薬）

◎４月14日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　７回コールド
近大薬　００００００２０｜２
兵療大　４０００４２０｜10
（近大薬）木場・越智－搗本
（兵療大）北川・島田－中谷
☆本塁打　仲井（兵療大）
☆二塁打　中谷（兵療大）、搗本（近大薬）
②試合　５回コールド
神大医　０１１３０１｜15
京大医　１００３０｜４
（神大医）福石－若松
（京大医）中尾・山本－小川
☆二塁打　森田・平田・古川（神大医）
堀江（京大医）

③試合
阪大医　０００００００００｜０
神院薬　００２０００００１０｜３
（阪大医）岡田－城戸
（神院薬）西口－海老原

◎４月21日　兵庫医科大学グラウンド
①試合
摂枚方　０００００１１００１｜３
阪大医　２０２００４０００｜８
（摂枚方）岡田－城戸
（阪大医）柴垣－北浦
☆本塁打　田中（摂枚方）
☆二塁打　濱田・常松（阪大医）
②試合　７回コールド
神大医　０００２０００２｜４
近大薬　０００９１０１｜11
（神大医）福石・平田－若松
（近大薬）木場・越智－搗本
☆三塁打　森本（近大薬）
☆二塁打　搗本･小川･上村･土本（近大薬）
森田（神大医）
◎４月27日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　決勝トーナメント
Ｂリーグ１位対Ａリーグ２位
兵療大　０００００００００｜０
神院薬　２１１００００００｜４
（兵療大）北川・島田－中谷・清水
（神院薬）西口－海老原
☆本塁打　西口（神院薬）
☆三塁打　東一（神院薬）
②試合　決勝トーナメント
Ａリーグ１位対Ｂリーグ２位　８回コールド
兵医大　００１０２４０５｜12
阪大医　０１０００２００｜３
（兵医大）堺・岡田－矢野
（阪大医）西浦・岡田－城戸・西浦
☆二塁打　矢野・小池・堺（兵医大）
岡田（阪大医）
③試合
神薬大　６０１００００００３｜10
関医大　０１００００５０００｜６
（神薬大）国富・小佐見－若木
（関医大）中山－林
☆三塁打　大石（関医大）
☆二塁打　中山・山本（関医大）
◎５月12日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　決勝トーナメント
決勝戦
兵医大　０００００１１００｜２
神院薬　０００１００００００｜１
（兵医大）堺－矢野
（神院薬）西口－海老原
☆本塁打　矢野（兵医大）
☆二塁打　笹川（神院薬）
②試合　決勝トーナメント
３位決定戦
兵療大　０４１０００００１｜６
阪大医　０００００００１０｜１
（阪大医）岡田－城戸・西浦
（兵療大）北川・島田－中谷
☆二塁打　斎藤･仲井･鎌田･斎藤（兵療大）

◎５月18日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　入れ替え戦
一部７位対二部２位　６回コールド
神院薬　０１０１０１｜３
大医大　１１２０６３｜13
（神院薬）前田－海老原
（大医大）村上－杉本
☆本塁打　村上（大医大）
☆二塁打　植田・亀岡・松本・杉本・
杉本（大医大）
東一・若林（神院薬）
②試合　入れ替え戦　一部６位対二部３位
滋医大　０００２００１００｜３
兵療大　００１０２００００１｜４
（滋医大）居出上－田中
（兵療大）北川・島田－中谷
☆二塁打　森・宮本（滋医大）
丸尾・丸尾・丸尾（兵療大）

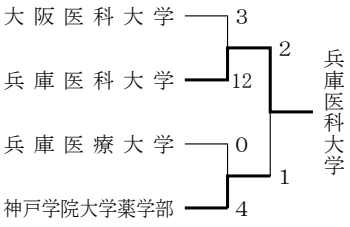
◎５月19日　摂南大学グラウンド
①試合　順位決定戦
Ａリーグ４位対Ｂリーグ４位
神大医　００５００００１００｜６
摂枚方　００１０１００３０｜５
（神大医）福石－若松
（摂枚方）尾西・吉田・柴垣・北浦－北浦・
田中
☆三塁打　森田（神大医）
☆二塁打　田中（摂枚方）
②試合　順位決定戦
Ａリーグ５位対Ｂリーグ５位
京大医　０００００１０１１｜３
神薬大　００４０００１００｜５
（京大医）中尾－小川
（神薬）若木－高木
☆本塁打　松浦（神薬大）
☆二塁打　高木（神薬大）
境内（京大医）

◎６月１日　摂南大学グラウンド
順位決定戦
Ａリーグ３位対Ｂリーグ３位
近大薬　１００００２０１１｜５
関医大　４２０２００００１｜９
（近大薬）山口・節・木場－中西・搗本
（関医大）中山・大石－林
☆二塁打　搗本（近大薬）
中渡瀬･大石･池田･池田（関
医大）

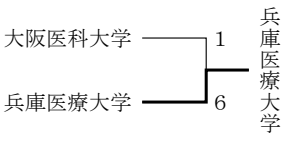
	兵医大	兵療大	近大薬	神大医	京大医
兵医大		○	○	○	○
兵療大	●		○	○	○
近大薬	●	●		○	○
神大医	●	●	●		○
京大医	●	●	●	●	

	神院薬	阪大医	関医大	摂薬大	神薬大
神院薬		○	○	○	○
阪大医	●		○	○	●
関医大	●	●		●	○
摂薬大	●	●	○		●
神薬大	●	○	●	●	

決勝トーナメント



３位決定戦



秋季リーグ戦　一部

◎９月７日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
阪大歯　２００２２００２｜８
兵療大　０００００００００｜０
（８回コールド）
（阪）佐伯－笠川
（療）中谷･白幡･中谷･北川･谷口－本城･中谷
☆二塁打　崎谷（療）
☆三塁打　笠川（阪）
第二試合
兵医大　１１０１０００００｜３
大医大　０００１０００５×｜６
（兵）堺・汐田－矢野雄
（奈）村上－杉本
☆二塁打　大野（兵）

◎９月14日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
兵医大　００２０４００｜６
奈医大　３４０２１３×｜13
（７回コールド）
（兵）堺・汐田－矢野雄
（奈）名古路－太田
☆二塁打　堺・山仲（兵）、大西（奈）
第二試合
阪大歯　０１００００００００｜１
市大医　２０００３００１×｜６
（阪）佐伯－笠川
（市）河﨑－佐々木

◎９月14日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
京府医　１００１１１１０４｜９
大医大　０００００２０００｜２
（京）木村・安土－堀田
（大）村上・内海・杉本－杉本・松本
☆二塁打　亀山・板金・瀬谷（京）
杉本・松本（大）
☆三塁打　亀山（京）
第二試合
兵療大　２００００１００｜３
和医大　１２０００３２２｜10
（８回コールド）
（療）白幡・北川・谷口－中谷
（和）中田・川村－川村・中田
☆二塁打　白幡（療）
桑田・印藤２・山本・上野・田畑（和）
☆三塁打　中田（和）
☆本塁打　中谷（療）

◎９月21日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
大医大　００００００２０｜２
和医大　７０００００３×｜10
（７回コールド）
（大）村上－杉本
（和）中田－川村
☆二塁打　村上（大）、中田・上野（和）
☆三塁打　桑田（和）
第二試合
京府医　６０３００００００｜９
市大医　１０００００００｜１
（京）木村・佐々木－堀田
（市）河崎－佐々木
☆二塁打　亀山・佐々木（京）
☆三塁打　佐々木（京）
☆本塁打　木村（京）

◎９月21日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
阪大歯　００００１０１０｜２
兵医大　０３０３０１０２｜９
（８回コールド）
（阪）佐伯・田村・佐伯－笠川
（兵）堺－矢野
☆二塁打　小池・黒岩（兵）
第二試合
兵療大　１０２０２００００｜５
奈医大　１０３００２５０×｜11
（療）北川・白幡・中谷－中谷・本城
（奈）久保－太田
☆二塁打　丸尾・中谷２（療）
太田・名古路（奈）

◎９月23日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
京府医　０００００１０００｜１
奈医大　０００００００００｜０
（京）木村－堀田
（奈）名古路－太田
☆二塁打　板金（京）
☆本塁打　曽根（京）
第二試合
市大医　００４１００５｜10
和医大　００００００３０｜３
（７回コールド）
（市）河崎－佐々木
（和）川村・下薗－竹中・川村
☆二塁打　河崎２（市）、印藤（和）
☆本塁打　長谷川（市）

◎９月28日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
兵医大　００２０００１０｜３
市大医　００２５０１０2x｜10
（８回コールド）
（兵）堺－矢野雄
（市）河﨑－佐々木
☆二塁打　河﨑・足立（市）
第二試合
京府医　１０１１０００１０｜４
阪大歯　０００００００００｜０
（京）亀山－堀田
（阪）田村－笠川
☆二塁打　木村・板金（京）

◎９月29日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
大医大　０００００｜０
兵療大　０２４３０1x｜10
（６回コールド）
（大）村上、内海－杉本
（療）北川、中谷－中谷、本城
☆二塁打　冨田・中谷・春名（療）
☆本塁打　仲井
第二試合
和医大　０１０００００｜１
奈医大　３３０００２×｜８
（７回コールド）
（和）中田－川村
（奈）名古路－太田
☆二塁打　上林・前川・中島（奈）
☆本塁打　大西・太田（奈）

◎10月５日　大阪医科大学グラウンド
第一試合
兵療大　００３０３３０１０｜10
兵医大　１１２２１０２００｜９
（療）白幡・中谷・北川－本城
（兵）堺・矢野雄也－矢野雄也・矢野雄大
☆二塁打　仲井・冨田・北川・清水（療）
矢野雄也・小池２（兵）
☆三塁打　冨田（療）、小池（兵）

順位		京府医	奈良医	市大医	和医大	阪大歯	兵療大	大医大	兵医大	勝点
１位	京府医		○１-０	○９-１	○５-４	○４-０	○７-６	○９-２	○７-０	21
２位	奈良医	●０-１		○２-１	○８-１	○５-１	○11-５	○４-３	○13-６	18
３位	市大医	●１-９	●１-２		○10-３	○６-１	○３-１	○13-０	○10-３	15
４位	和医大	●４-５	●１-８	●３-10		●３-12	○10-３	○10-２	○７-０	９
５位	阪大歯	●０-４	●１-５	●１-６	○12-３		○８-０	●６-７	●２-９	６
６位	兵療大	●６-７	●５-11	●１-３	●３-10	●０-８		○10-０	○10-９	６
７位	大医大	●２-９	●３-４	●０-13	●２-10	○７-６	●０-10		○６-３	６
８位	兵医大	●０-７	●６-13	●３-10	●０-７	○９-２	●９-10	●３-６		３

＊５-７位は失点率による
＊兵庫医科大学は２部降格

第二試合
奈医大　００１０００１３０｜５
阪大歯　０００００１００｜１
（奈）名古路－太田
（阪）田村・佐伯－笠川
☆二塁打　上林・太田・曽我（奈）
佐伯（阪）
☆三塁打　松林（奈）

◎10月６日　大阪市立大学グラウンド
第一試合
京府医　０００２００３００｜５
和医大　０００００３００１０｜４
（京）木村・亀山－堀田
（和）中田・川村－川村・中田・中居
二塁打　川村・印藤（和）
三塁打　印藤（和）
第二試合
大医大　００００５｜０
市大医　４４０５０｜13
（５回雨天コールド）
（大）内海・村上・植田・内海・杉本－杉本・松本
（市）河﨑－佐々木
☆二塁打　河村・長谷川（市）
☆三塁打　足立（市）

◎10月12日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
奈医大　１００００３０００｜４
大医大　２００００００１｜３
（奈）前川－太田
（大）村上－杉本
☆二塁打　渡邊（奈）、清水（大）
☆三塁打　松本（大）
☆本塁打　清水（大）
第二試合
兵医大　００００００００｜０
京府医　１２１０２０１x｜７x
（７回コールド）
（兵）堺・矢野雄也－矢野雄也・矢野雄大
（京）木村－堀田
☆二塁打　木村（京）
☆本塁打　板金（京）

◎10月14日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
兵療大　０００３０００３｜６
京府医　０００４０００３x｜７x
（療）北川・谷口－本城
（京）佐々木・亀山－陣野
☆三塁打　瀬谷・佐々木（京）
第二試合
市大医　０００００００１｜１
奈医大　１００００１０×｜２
（市）河崎－佐々木
（奈）名古路－太田
☆二塁打　河崎（市）、大西（奈）

◎10月26日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
阪大歯　００２０２１１００｜６
大医大　３２０１０１００×｜７
（阪）佐伯－笠川
（大）村上－杉本
☆二塁打　田村・櫻井・佐伯（阪）
村上（大）
☆本塁打　村上（大）
第二試合
兵医大　００００００００｜０
和医大　００００２０５｜７
（７回コールド）
（兵）堺－矢野雄
（和）中田－川村
☆二塁打　印藤・田畑（和）
☆三塁打　桑田（和）

◎10月27日　兵庫医科大学グラウンド
第一試合
市大医　０００１１００１０｜３
兵療大　０００１００００００｜１
（市）河﨑－佐々木
（療）北川・白幡－本城
☆二塁打　河村・佐々木（市）
第二試合
阪大歯　２４００１０２３｜12
和医大　０００２０１００｜３
（８回コールド）
（阪）佐伯－笠川
（和）石本・疋田・桑田・中田・川村－川村・中田
☆二塁打　中山（阪）
☆三塁打　大野（阪）
☆本塁打　山本（和）

秋季リーグ戦　二部

◎９月７日　摂南大学枚方キャンパスグランド
①試合
阪大医　０１００００００００｜１
滋医大　０４０１００００×｜５
（阪）阪上－城戸
（滋）伊藤・居出上－田中
☆二塁打　武田・美馬（阪）、森（滋）
②試合
京大医　１２２０２０３０１｜11
神大医　３１００００００２｜６
（京）山本嵩・中尾－小川惇
（神）福石・森田－若松
☆二塁打　山本嵩・小川裕・稲山・小川惇（京）
中松・長野２・琴・福石（神）

◎９月14日　滋賀医科大学グラウンド
①試合
滋医大　００１１２００００｜４
神薬大　３００００００００｜３
（滋）伊藤・居出上－田中
（神）小佐見・若木－若木・久土
☆三塁打　杉野（神）
☆二塁打　田村（滋）
②試合
神院薬　５１２０１３４０１｜17
神大医　０６０００２９１×｜18
（院）三好・奥村－向井
（医）福石・森田－若松
☆三塁打　佐藤・松良（院）、琴×２（医）
☆二塁打　奥村×２・北川（院）
古川・長野（医）

◎９月21日　摂南大学枚方キャンパスグランド
①試合　７回コールド
摂枚方　５０３００１０｜９
神薬大　００００００２０｜２
（摂）森岡－田中皓
（神）小佐見・若木－若木・久土
☆本塁打　森岡（摂）
☆三塁打　山内（神）
☆二塁打　久土・杉野（神）
②試合　６回コールド
近大薬　２３０１０７｜13
神院薬　００００００｜０
（近）越智－搗本
（神）三好・西口－向井
☆三塁打　松谷（院）
☆二塁打　友近・搗本×２（近）

◎９月22日　滋賀医科大学グラウンド
①試合　７回コールド
関医大　００２１００１｜４
滋医大　１３１１２３×｜11
（関）　中山－林
（滋）　伊藤・居出上－田中
☆三塁打　森（滋）
☆二塁打　高原・長谷川（滋）
②試合
京大医　０００００００００｜０
近大医　０００００００００｜０
（京）中尾－小川惇
（近）甲賀－都丸

◎９月28日　滋賀医科大学グラウンド
①試合
関医大　０４０１０１１００｜７
神薬大　０１００００３２０｜６
（関）中山－林
（神）小佐見・松浦・若木－若木・久土
☆三塁打　山本（関）、久土（神）
☆二塁打　山崎（関）、若木（神）
②試合
滋医大　１００１１０１０１｜５
摂枚方　００２０１００００｜３
（滋）　居出上－田中
（摂）　森岡－田中皓
☆三塁打　田中皓（摂）
☆二塁打　森・居出上（滋）

◎９月29日　摂南大学枚方キャンパスグランド
①試合
京大医　１０３２３０１０１｜11
近大薬　２１０００００４０×｜７
（京）中尾－小川惇
（近）節・越智－中西
☆二塁打　境内・小川裕・中尾・山本（京）
太田（近）
②試合　７回コールド
神大医　００１２０００｜３
近大医　２５２０１０×｜10
（神）福石－若松
（近）丹正・都丸・甲賀－都丸・久保
☆二塁打　平位（神）
都丸・森・田中・大森（近）

◎10月５日　摂南大学枚方キャンパスグランド
①試合
阪大医　０１４０００００００｜５
摂枚方　４００２０１０１×｜８
（阪）阪上－城戸
（摂）尾西・森岡－田中皓
☆二塁打　常松（阪）
②試合　７回コールド
京大医　５１００１１０｜８
神院薬　００００００００｜０
（京）中尾－小川惇
（神）奥村－向井
☆二塁打　境内（京）

◎10月６日　摂南大学枚方キャンパスグランド
①試合
神薬大　００２０００１００｜３
阪大医　０００００３１０×｜４
（神）若木－久土
（阪）阪上－城戸
☆二塁打　久土・若木（神）
②試合　７回コールド
近大医　０２２００３０｜７
神院薬　００００００００｜０
（近）　甲賀－都丸
（神）　奥村－向井
☆本塁打　森川（近）
☆二塁打　森川（近）、奥村（神）
③試合
近大薬　０１０１０１１００｜４
神大医　１０１００１０１０｜４
（近）木場・越智－揚本
（神）入中・福石－若松
☆二塁打　尾崎（近）、琴（神）

◎10月12日　滋賀医科大学グラウンド
①試合　７回コールド
関医大　００１００００｜１
摂枚方　３０３１００１｜８
（関）中山－林
（摂）森岡－田中皓
☆二塁打　田中皓・宮地（摂）

◎10月27日　摂南大学枚方キャンパスグランド
①試合　７回コールド
関医大　３００２００３｜８
阪大医　００００００００｜０
（関）中山－林
（阪）鈴江・阪上－米田
☆三塁打　阪上（阪）
☆二塁打　友田・山崎・山本・福崎（関）
②試合
近大薬　１０００００２０００｜３
近大医　００００１０１１００｜３
（薬）越智－揚本
（医）甲賀－都丸
☆本塁打　森川（医）
☆二塁打　尾崎×２（薬）、市川（医）
③試合（９・10位決定戦）
神院薬　３０００２４１００｜10
神薬大　３４００００２００｜９
（院）奥村・三好－向井
（薬）小佐見・国富・若木－若木・久土
☆二塁打　奥村・笹川（院）
久土・有本・杉野（薬）

◎11月３日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　７回コールド
（Ａリーグ２位対Ｂリーグ１位）
京大医　００１００００｜１
摂枚方　０６１００２×｜９
（京）山本・中尾－小川惇
（摂）森岡・吉田－田中皓
☆本塁打　森岡（摂）
☆二塁打　境内×２（京）
田中皓・田中祥（摂）

②試合　８回コールド（７・８位決定戦）
神大医　００００００００｜０
阪大医　０５０００１１０｜７
（神）入中・福石－平位・若松
（阪）阪上・鈴江－城戸
☆二塁打　常松×２（阪）

◎11月10日　摂南大学枚方キャンパスグランド
①試合（Ａリーグ１位対Ｂリーグ２位）
滋医大　１１００００００１｜３
近大医　０００００１００｜１
（滋）村尾－田中
（近）甲賀－都丸
☆二塁打　田村×２・宮本（滋）
丹正（近）
②試合（５・６位決定戦）
近大薬　０００５００００００｜５
関医大　５００２０１００×｜８
（近）山口・友近－中西
（関）中山－林
☆二塁打　中西（近）、山崎・中山（関）

◎11月17日　兵庫医科大学グラウンド
①試合　三位決定戦
京大医　００００２００２０｜４
近大医　００２１０２０２×｜７
（京）中尾・山本嵩－小川惇
（近）甲賀－都丸
☆二塁打　都丸×２
②試合　優勝決定戦
滋医大　００１０００００００｜１
摂枚方　２０００２００００｜４
（滋）居出上－田中
（摂）森岡－田中皓
☆本塁打　森岡（摂）

◎11月23日　摂南大学枚方キャンパスグラウンド
①試合　入れ替え戦
兵療大　００００１００１０｜２
近大医　２０００４００１×｜７
（兵）北川・白幡－本城
（近）甲賀－都丸
☆二塁打　中谷（兵）、森川・柴森（近）

A	滋医大	摂枚方	関医大	阪大医	神薬大	勝　敗	勝点
滋医大		○	○	○	○	４勝	12
摂枚方	×		○	○	○	３勝１敗	9
関医大	×	×		○	○	２勝２敗	6
阪大医	×	×	×		○	１勝３敗	3
神薬大	×	×	×	×		４敗	0

B	京大医	近大医	近大薬	神大医	神院薬	勝　敗	勝点
京大医		△	○	○	○	３勝１分	10
近大医	△		△	○	○	２勝２分	8
近大薬	×	△		△	○	１勝１敗２分	5
神大医	×	×	△		○	１勝２敗１分	4
神院薬	×	×	×	×		４敗	0

②試合　入れ替え戦
大医大　０００１０１０００｜２
滋医大　０００１０００００２｜３
（大）村上－杉本
（滋）居出上－田中
☆二塁打　松本・清水（大）、宮本（滋）

結果
１位　摂南大学枚方キャンパス
２位　滋賀医科大学
３位　近畿大学医学部
４位　京都大学医学部
５位　関西医科大学
６位　近畿大学薬学部
７位　大阪大学医学部
８位　神戸大学医学部
９位　神戸学院大学薬学部
10位　神戸薬科大学

秋季リーグを終えて

摂南大学枚方キャンパス野球部
主将　岡田宗一郎

今回の秋季リーグで優勝できたことは、チームにとって非常に大きな一歩であると感じています。新チームになった当初は先輩方が抜けたことで戦力が大幅に落ちました。しかし、部員一人一人が危機感を持ち始め、それぞれが今何をすべきかを考え、限られた時間の中で意識して練習に取り組めたことが今回の結果につながったのだと思います。春季からは１部リーグで戦うことになりますが、より一層野球について考え、自分たちに足りないものを補いながら優勝を目標に頑張りたいと思います。

京阪神・Ⅱ部準硬式野球連盟

春季リーグ戦

◎３月３日　大阪市立大学グラウンド
①試合
県立　００４０００００１０｜５
兵教　０００１００００００｜１
（県）中川－中
（兵）諫山－遠藤
☆二塁打　中村・江崎・岡本拓（県）
②試合
近Ⅱ　０００００００２１｜３
京教　０００００１００１｜２
（近）森屋－橋本
（京）川浦－柳井
☆三塁打　竹村（近）

◎３月６日　寝屋川第一球場
①試合　※７回コールド
大谷　００００００２０｜２
近Ⅱ　２２０００００5x｜９
（大）高良－松本
（近）中池－山田
☆二塁打　塚尾・森屋（近）
②試合　※５回コールド
神Ⅱ　００００１｜１
兵教　２０３６×｜11
（神）川端－澤田
（県）真砂－遠藤
☆二塁打　福井（兵）
☆三塁打　福井（兵）
③試合　※５回コールド
獨協　００００００｜０
県立　２２０５１1x｜10
（獨）石坂・坪井－西脇
（県）中務・光岡－中
☆二塁打　高・岡本（県）

◎３月10日　兵庫教育大学グラウンド
①試合　※６回コールド
神Ⅱ　１０５１３２｜12
獨協　１００１００｜２
（神）柴田・川端－澤田
（獨）石坂・山崎－西脇
☆二塁打　澤田・柴田・中川・大坂（神）
萩原・垣花（獨）
☆三塁打　福田２（神）坪井（獨）
②試合　※５回コールド
京教　２５１０２｜10
大谷　００００００｜０
（京）川浦・平畠－柳井
（大）新・高良－松本
☆三塁打　眞崎（京）

◎３月13日　太陽が丘第１野球場
①試合　※５回コールド
神Ⅱ　００００００｜０
県立　６５０２×｜13
（神）川端－澤田
（県）中川・中務－中
☆二塁打　高・岡本拓（県）
☆三塁打　岡本拓（県）
②試合　※８回コールド
獨協　００００００１０｜１
京教　０１０２００４1x｜８
（獨）坪井・山崎－西脇
（京）薮内・眞崎－元田
☆本塁打　中辻（獨）
③試合　※８回雨天コールドにより引き分け
兵教　００００１００００｜１
大谷　０１０００００００｜１
（兵）諫山－遠藤
（大）梅村－松本

◎３月17日　兵庫教育大学グラウンド
①試合　※規定により近Ⅱの不戦勝
近Ⅱ　９
神Ⅱ　０
②試合
兵教　１０３０００００１１｜６
獨協　００００００００００｜０
（兵）諫山・真砂－遠藤
（獨）杉村・山崎－西脇
☆二塁打　青木・荻野（兵）、西脇（獨）
☆三塁打　田中２（兵）

◎３月20日　兵庫教育大学グラウンド
①試合　※５回コールド
神Ⅱ　００００１｜１
京教　０４０５２2x｜11
（神）柴田－澤田
（京）薮内－元田
☆二塁打　川浦・山中・山本・山田純（京）
☆三塁打　眞崎（京）
☆本塁打　眞崎（京）
②試合
近Ⅱ　０００１０１０００｜２
県立　１０１０４００１×｜７
（近）森屋－橋本
（県）光岡－中
☆二塁打　江崎・中・高・光岡（県）
☆三塁打　岡本拓（県）
③試合
大谷　０５２５０１０３６｜22
獨協　２００１２０８０２｜15
（大）新・大矢・高良・松本－松本・下園
（獨）坪井・近藤・山崎－西脇
☆二塁打　下園・岡本・西川・新３（大）
坪井・石坂・近藤２（獨）
☆三塁打　藤田・新（大）、近藤（獨）

◎３月24日　兵庫教育大学グラウンド
①試合　※延長12回
近Ⅱ　０００００１００００｜１
兵教　１００００００００００｜１
（近）中池－橋本
（兵）諫山－遠藤
☆二塁打　依藤（近）
②試合
県立　０００１０３０１０｜５
京教　００２０００００×｜２
（県）中川－中
（京）川浦・眞崎－柳井
☆二塁打　畑野・高（県）
☆三塁打　畑野（県）

◎３月31日　兵庫教育大学グラウンド
①試合
兵教　０００２００００｜２
京教　１１００１０００×｜３
（兵）諫山－遠藤
（京）川浦－柳井
☆二塁打　荻野・青木・田中・諫山（兵）
川浦２・眞崎（京）
②試合　※５回コールド
大谷　００００｜０
県立　４２２２×｜10
（大）高良－松本
（県）中務－光岡
☆二塁打　藤田・新（大）、光岡（県）
☆三塁打　畑野・椿本・大木（県）

◎４月３日　兵庫教育大学グラウンド
①試合
近Ⅱ　１０００５００１｜７
獨協　０００４００００｜４
（近）河嶋・中池・依藤・森屋－橋本
（獨）坪井・山崎－西脇
☆二塁打　浅野（近）、萩原（獨）
☆三塁打　肥後（近）、杉村（獨）
②試合
神Ⅱ　０００００２００４｜６
大谷　００２００２２０1x｜７
（神）川端－澤田
（大）新－松本
☆二塁打　柴田（神）
杉本・高良・大矢２（大）

◎４月13日　兵庫教育大学グラウンド
①試合　プレーオフ１回戦
近Ⅱ　０００１００００｜１
京教　００００００２×｜２
（近）森屋・中池－橋本
（京）眞崎－柳井
☆二塁打　肥後・中村（近）
☆三塁打　元田（京）

◎４月14日　兵庫教育大学グラウンド
県立　００３０１３０００｜７
京教　０００１１０２００｜４
（県）中川・光岡－中
（京）薮内・川浦・平畠－柳井
☆二塁打　大木・高・光岡・岡本拓（県）
川浦・元田・柳井・眞崎２（京）

◎最終順位（プレーオフ終了時）
１位　兵庫県立大学姫路校
２位　京都教育大学
３位　近畿大学Ⅱ部
４位　兵庫教育大学
５位　大阪大谷大学
６位　神戸大学Ⅱ部
７位　姫路獨協大学

◎表彰選手
最優秀選手　高　翔吾（県）
最多勝　中川陽一郎（県）３勝
最優秀防御率　中川陽一郎（県）0.32
最多奪三振　中川陽一郎（県）15個
諫山　和秀（兵）15個
首位打者　眞崎　貴史（京）0.478
最多本塁打　眞崎　貴史（京）１本
中辻　康太（獨）１本
最多打点　高　翔吾（県）12点
最多盗塁　小西　康一（兵）９個
打率５傑　眞崎　貴史（京）0.478
高　翔吾（県）0.476
新　碩志（大）0.471
大木　康平（県）0.471
柴田　武志（神）0.426
ベストナイン　投手　中川陽一郎（県）
捕手　松本　祐典（大）
一塁手　高　翔吾（県）
二塁手　田中　慧（兵）
三塁手　大木　康平（県）
遊撃手　眞崎　貴史（京）
外野手　小西　康一（兵）
新　碩志（大）
岡本　拓也（県）

春季リーグ戦を振り返って

兵庫県立大学姫路校準硬式野球部
主将　大木　康平

主将として最後、野球人生としても最後の気合の入った春のリーグ戦で、全勝で優勝を果たすことが出来ました。秋のリーグ戦からの反省点を生かし、練習を重ねてチームの士気も上がって行き、一人ひとりがやることを理解し、何を言わなくてもメンバー全員が自ら野球に対して真摯に取り組んでくれた結果だと思います。秋に比べ、リーグ全体のレベルも上がって行き、気の抜けない中、主将としてはチームを勝たせないといけないので、秋リーグに比べ控えのメンバーの出場機会が少なくなってしまったのは申し訳ないと思っていますが、試合に出られくても文句も言うことなく、頑張ってくれました。本当にいいチームになったと思います。

僕はこのチームで主将として認めてくれ支えてくれたメンバーにとても感謝しています。野球が出来ることの喜び、主将としての責任、チームをまとめることの難しさ、様々な事を感じたリーグ戦でした。この経験は必ずこれからの人生にも役に立ってくると思います。ありがとうございました。

リーグ運営を終えて

京都教育大学準硬式野球部
学生委員長　川浦　大輝

今季から京阪神Ⅱ部リーグの学生委員長に就任いたしましたが、理事のかたを始め、京阪神Ⅱ部リーグの方々には色々とご迷惑をお掛けしました。なんとか、無事に春季リーグ戦を終えましたが、問題は山積みで解決していかなくてはならないことが多々あります。秋季リーグは少しでも迷惑を掛けることのないように心がけ、他の大学との協力を行い円滑なリーグ運営を進めていけるように精進します。

順位		県立	近Ⅱ	京教	兵教	大谷	神Ⅱ	獨協	総合成績
1	県立		○	○	○	○	○	○	６勝
2	近Ⅱ	●		○	△	○	○	○	４勝１敗１分
3	京教	●	●		○	○	○	○	４勝２敗
4	兵教	●	△	●		△	○	○	２勝２敗２分
5	大谷	●	●	●	△		○	○	２勝３敗１分
6	神Ⅱ	●	●	●	●	●		○	１勝５敗
7	獨協	●	●	●	●	●	●		６敗

秋季リーグ戦

◎９月４日　寝屋川第一球場
①試合
大谷　２２０１０１０００｜６
近大　０００２００００｜２
（大）宮池－松本
（近）依藤・北添－橋本
☆二塁打　中村・佐々木（近）
☆三塁打　大矢(大)
②試合　※７回コールド
獨協　００００２０｜２
兵教　２１３１１２×｜10
（獨）濱田・石坂－山崎
（兵）水落・荻野・戸川－中里
☆二塁打　佐藤･荻野２･田中･池田星(兵)
☆本塁打　境祥（獨）

◎９月11日　寝屋川第一球場
①試合
神大　０００００１０１｜２
近大　２０００１２００×｜５
（神）川端－佐藤
（近）川村・北添－橋本・日和
☆二塁打　肥後・松林・北村・浅野（近）
福田・佐藤（神）
☆三塁打　杖村（近）、柴田（神）
②試合　※５回コールド
京教　１５０４１｜11
獨協　０１０００｜１
（京）田伏・藪内・中村－川原・田伏
（獨）坪井・濱田－山崎
☆二塁打　前出（京）境康（獨）
③試合　※規定により引き分け
大谷　３００３０００００｜６
兵教　１３１０１００００｜６
（大）宮池－松本
（兵）水落・荻野－中里
☆二塁打　鹿野（大）､佐藤･池田祥（兵）
☆三塁打　稲田（大）
☆本塁打　大矢・湧井（大）

◎９月18日　住之江球場
①試合　※５回コールド
神大　００００｜０
京教　３１５６×｜15
（神）川端－佐藤
（京）田伏－元田
☆二塁打　田伏２・前出・川浦・山中・
木谷（京）
②試合
大谷　２００２２００００１｜７
獨協　１００００３００２｜６
（大）宮地・湧井－松本
（獨）石坂－道下
☆二塁打　坂元・松本（大）、濱田（獨）

◎９月22日　兵庫教育大学
①試合　※７回コールド
兵教　０００１０００｜１
近大　０００００４０４ｘ｜８
（兵）荻野・水落－中里
（近）川村－橋本
☆二塁打　浅野・河嶋・中池（近）
田中（兵）
②試合
神大　０００００１０００｜１
大谷　００１０００００１０｜２
（神）川端－佐藤
（大）宮池－松本
☆二塁打　大矢（大）
☆三塁打　柴田（神）、稲田（大）
③試合　※５回コールド
近大　５０９０１｜15
獨協　１１０００｜２
（近）川村・杖村－橋本・日和
（獨）石坂・杉村・道下－道下・中辻
☆二塁打　佐々木（近）
☆三塁打　川村（近）

◎10月５日　兵庫教育大学
①試合
近大　０００００２４０｜６
京教　２０３０００２００｜７
（近）川村・杖村－橋本・日和
（京）田伏・平畠・藪内－元田・田伏
☆二塁打　平畠・川浦（京）、中池（近）
☆三塁打　平畠
☆本塁打　光岡（県）
②試合　※６回コールド
獨協　０００００｜０
県立　３００３０４ｘ｜10
（獨）山崎・濱田－道下
（県）光岡－中
☆二塁打　境祥（獨）、高･船見･中（県）
③試合
獨協　０００００５００３｜８
神大　０００００００００｜０
（獨）濱田－道下
（神）川端・渡辺－佐藤
☆二塁打　境祥２・境康・道下（獨）
☆三塁打　花（獨）

◎10月19日　兵庫教育大学
①試合　プレーオフ１回戦
大谷　０００００３０００｜３
京教　０００００００１００｜１
（大）宮地－松本
（京）田伏・平畠－元田
☆二塁打　坂元２・大矢・山内（大）
田伏（京）

◎10月20　兵庫教育大学
①試合　プレーオフ２回戦
雨のため規定により兵庫教育大学優勝

最終順位（プレーオフ終了時）
１位　兵庫教育大学
２位　大阪大谷大学
３位　京都教育大学
４位　兵庫県立大学姫路校
５位　近畿大学Ⅱ部
６位　姫路獨協大学
７位　神戸大学Ⅱ部

◎表彰選手

最優秀選手	荻野　優（兵）	
最多勝	田伏悠一朗（京）	４勝
	宮地　絢斗（大）	４勝
最優秀防御率	荻野　優（兵）	2.13
最多奪三振	田伏悠一朗（京）	24個
首位打者	川浦　大輝（京）	0.500
	田伏悠一朗（京）	0.500
最多本塁打	北村　崇至（近）	２本
	光岡　航希（県）	２本
最多打点	鹿野　雅大（大）	12打点
最多盗塁	坂元　尚貴（大）	６個
打率５傑	川浦　大輝（京）	0.500
	田伏悠一朗（京）	0.500
	濱田　翔貴（獨）	0.476
	境　祥吾（獨）	0.444
	平畠　紳也（京）	0.444
ベストナイン	投手　田伏悠一朗（京）	
	捕手　元田　大志（京）	
	一塁手　北村　崇至（近）	
	二塁手　鹿野　雅大（大）	
	三塁手　川浦　大輝（京）	
	遊撃手　荻野　優（兵）	
	外野手　光岡　航希（県）	
	大矢　勝久（大）	
	宮田　広太（兵）	

順位		兵教	京教	大谷	県立	近Ⅱ	獨協	神Ⅱ	総合成績
1	兵教		○	△	○	●	○	○	４勝１敗１分
2	京教	●		○	△	○	○	○	４勝１敗１分
3	大谷	△	●		○	○	○	○	４勝１敗１分
4	県立	●	△	●		○	○	○	３勝２敗１分
5	近Ⅱ	○	●	●	●		○	○	３勝３敗
6	獨協	●	●	●	●	●		○	１勝５敗
7	神Ⅱ	●	●	●	●	●	●		６敗

秋季リーグ戦を振り返って

兵庫教育大学大学準硬式野球部
主将　荻野　　優

前の世代、リーグ戦では秋準優勝、春４位と悔いが残る結果となり、今年は「チームメイト全員でうれし涙を流そうという」というスローガンを掲げ、全国大会へ出場するため、まずは関西レベルで勝てるチームを作ることを目標に新チームが発足しました。そして、主将という立場として、思うように勝てないという現実に少し焦りと不安を感じる中で始まったリーグ戦。1戦1戦重ねるごとにみるみるチームが強くなっていく姿を、身を持って感じることができました。これは、夏場の苦しい練習を乗り切ったことや、近畿国立大学体育大会での悔しい敗戦を経験し、そこから少しでも強くなりたいという気持ちで毎日の練習に励むことが出来たからこそ、手に入れることが出来た力であると感じています。結果、リーグでは優勝という大きな結果を得ることが出来ましたが、その後に京阪神Ⅱ部リーグの代表として出場した関西選手権大会では、あっさりと1回戦敗退という結果に終わってしまい、他のリーグとの力の差を痛感させられました。関西レベルでの勝利を目標にしているなかでの選手権での敗退は悔しいものではありましたが、その分関西レベルで勝つための課題がたくさん露呈された良い機会であったとも思っています。この負けをしっかりと個々人として受け止め、関西レベルで勝つために、自分に何が必要とされているのかをしっかりと考えることが、これからの冬の厳しい練習や、春に輝く大きな姿につながっていくのではないかと考えています。

新チームが発足し、関西選手権を戦うまでを経験していく中で、このチームの成長していく過程や、チームとしてのカラーは、少しずつではありますがしっかりと現れてきています。しかし、このままでは、全国出場という大きな目標はまだまだ手の届くところにあるとは思っていません。次の春リーグを迎えるまでに、これまでに出てきた課題をしっかりとみつめ直し、春リーグまでには、もっともっと実力のあるチームになり、もう１度選手権で関西レベルのチームへリベンジしたいと思っています。最終目標は全国大会に出場し、チームメート全員でうれし涙を流すことです。そのために、いまできる精一杯を出し切ることが１番の近道ではないかと思っています。あとは、チームメートに精一杯を出さるチームを作る事が僕にとっての大きな責任です。チームの活気を上げ、春には全国大会へ出場し、チーム全員でうれし涙をながしたいと思っています。

リーグ運営を終えて

京都教育大学準硬式野球部
学生委員長　川浦　大輝

秋リーグでは、雨で日程がうまく消化できなく、日程の変更などがあり、各大学や審判に迷惑をかけてしまったことを本当に反省しています。リーグ戦では新チームの体制になって、４連覇中の兵庫県立大学が４位に終わるなど、順位の変動が多々あり、その中、守備をベースとした守り勝つ野球の兵庫教育大学が優勝しました。春リーグでは、完成されたチーム同士で対決するので、力が拮抗している今のリーグ状態からみて、どの大学が優勝するのか楽しみになってくるようなリーグ戦でした。

この一年を振り返ってみて感じたことは、一つのリーグを運営するのは本当に大変で難しく思えました。試合に関しては、グランドのことはもちろんのこと、時間・試合日程・対戦相手などチームの事情を考えながら決めなければならなかった。運営に関しては理事の方はもちろんリーグ役員の方々・各チームの選手・マネージャーの方々に協力しながら、なんとかやり繰りしていきました。しかし、こういう運営する側に立ってみて改めて難しさ・大変さを理解できたこともそうだが協力してくれる方々のありがたさを理解できたことが、自分自身よかったと思います。リーグ委員長を通じて、人としてさまざまな部分で成長することができました。

本当に充実した一年間でした。ありがとうございました。

平成25年度
中 国 地 区 大 会 成 績

春季リーグ戦１部

◎３月27日　玉島の森球場
第１試合
岡 山 大 学　０００００２００｜２
岡山大学医学部　０００００１１４×｜６
（岡）岩崎－石原
（岡医）嶋﨑－長田
☆本塁打　岩崎（岡）
☆三塁打　吉田２・嶋﨑２（岡医）
☆二塁打　岩崎（岡）、宮脇（岡医）
第２試合
広島修道大学　０×
下関市立大学　０
（降雨により１回コールド）
（修）普喜－花岡
（下）小川－中川

◎３月28日　玉島の森球場
第１試合
広島修道大学　００１０００００｜２
下関市立大学　１４０００００００×｜５
（修）普喜・平田－花岡
（下）小川－中川
☆本塁打　高垣（修）
☆二塁打　花岡（修）
河野・亀井・板谷（下）
第２試合
広 島 大 学　０００００１０００｜１
東 亜 大 学　０００３００３０×｜６
（広）横井・印出－元木
（東）三ヶ島－上川路
☆二塁打　横井・中野（広）
松本・幸地（東）

◎３月29日　玉島の森球場
第１試合
東 亜 大 学　１２００００２０００｜５
広島修道大学　０００００００００｜０
（東）幸地－上川路
（修）花岡・普喜－平田・花岡
☆二塁打　末廣２・松本（東）
第２試合
下関市立大学　０１００１２０００｜４
岡山大学医学部　００１８００００２×｜11
（下）上田・三田・丸尾－中西・中川
（岡医）嶋﨑－長田
☆本塁打　井上（岡医）
☆二塁打　上村・三田（下）
吉田・片山（岡医）
第３試合
岡 山 大 学　１１００００１００｜３
広 島 大 学　０００００４００×｜４
（岡）岸越・岩崎－石原
（広）辻－元木
☆三塁打　高田（岡）
☆二塁打　大西（岡）、辻（広）

◎３月30日真　庭やまびこ球場
第１試合
東 亜 大 学　６０２００００｜８
下関市立大学　０００００００｜０
（７回コールド）
（東）幸地・三ヶ島－上川路
（下）小川・丸尾－中川
☆二塁打　田村（東）、河野２・丸尾（下）
第２試合
岡山大学医学部　０００２０００００｜２
広 島 大 学　０００００００００｜０
（岡医）嶋﨑－長田
（広）横井・辻－元木
☆二塁打　長田・嶋﨑（岡医）
鷺坂・横井（広）
第３試合
岡 山 大 学　０００３００１０｜４
広島修道大学　０００００２０００｜２
（岡）宇都宮－石原
（修）花岡・普喜－平田・花岡
☆二塁打　和田（岡）

◎４月20日　中山球場
第１試合
東 亜 大 学　５２００００３｜10
岡山大学医学部　０００００００｜０
（６回コールド）
（東）幸地－上川路
（岡医）嶋﨑－長田
☆本塁打　江藤（東）
☆二塁打　幸地（東）、長田（岡医）

第２試合
広 島 大 学　０００００００００｜０
広島修道大学　００１１００００×｜２
（広）横井－元木
（修）平田－花岡
☆三塁打　辻（修）
☆二塁打　元木（広）
第３試合
岡 山 大 学　０００００００００｜０
下関市立大学　００００１２０２×｜５
（岡）宇都宮・岩崎－石原
（下）丸尾・三田－中川
☆三塁打　三田・板谷（下）
☆二塁打　高田（岡）　中村（下）

◎４月21日
第１試合
東 亜 大 学　０００２１０２００｜５
岡 山 大 学　０００２０２１００｜５
（東）三ヶ島・幸地－上川路
（岡）岩崎・岸越・宇都宮－齋藤
☆二塁打　江藤（東）
佐治・大西・齋藤（岡）
第２試合
広 島 大 学　０００００００５０｜５
下関市立大学　０００２０１１０１｜５
（広）辻－元木
（下）丸尾・三田－中川
☆本塁打河野・中村（下）
第３試合
岡山大学医学部　０２３１３００００｜９
広島修道大学　３３０１０３０１×｜11
（岡医）平野・宮脇・石原・尾下－長田
（修）平田・普喜－花岡
☆本塁打　高垣・花岡（修）
☆三塁打　嶋﨑・坂本（岡医）、辻（修）
☆二塁打　尾下・宮脇（岡医）、普喜（修）

✪個人賞

最高殊勲選手	幸地　貴弥	東亜大	4
敢闘選手	嶋﨑　岳	岡大医	3
最多勝利投手	幸地　貴弥	東亜大	4
	嶋﨑　岳	岡大医	3
最優秀防御率	幸地　貴弥	東亜大	4
本塁打王	高垣　和征	修道大	4
打点王	池上　雄亮	東亜大	4
	坂本　洋輔	岡大医	4
首位打者	花岡　宏輝	修道大	4

✪ベストナイン

投手	幸地　貴弥	東亜大	4
捕手	花岡　宏輝	修道大	4
一塁手	高田　陵平	岡山大	3
二塁手	池上　雄亮	東亜大	4
三塁手	三田　勇嗣	下市大	3
遊撃手	河野　義貴	下市大	4
外野手	松本　行正	東亜大	4
外野手	坂口　隆大	東亜大	3
外野手	山成　翔太	岡山大	3

順位		東亜大	岡大医	下市大	修道大	広島大	岡山大	勝	負	分	勝点
1	東亜大学		○	○	○	○	△	4	0	1	13
2	岡山大学医学部	●		○	●	○	○	3	2	0	9
3	下関市立大学	●	●		○	△	○	2	2	1	7
4	広島修道大学	●	○	●		○	●	2	3	0	6
5	広島大学	●	●	△	●		○	1	3	1	4
6	岡山大学	△	●	●	○	●		1	3	1	4

５位６位は、直接対決の勝敗による。
１位の東亜大学は全日本選手権、２位の岡山大学医学部は清瀬杯に出場。

春季リーグ戦運営を終えて

中国地区大学準硬式野球連盟
学生理事　佐治　知樹

今回の春季リーグ戦は、私が中心となって運営する最後のリーグ戦となりました。最初の方は理事の仕事に対して至らない点も多くあったかと思いますが、各チーム並びに中国地区連盟の方々のご協力もあり、最後までスムーズにリーグ戦を運営することが出来たのではないかと思います。

試合におきましては毎回雨の影響を受け、調整等難しい面もありましたが、どの試合も学生らしい白熱した試合が繰り広げられました。今回のリーグ戦では２部から上がってきたチームが健闘し、中国地区のレベルも上がってきたように思います。

最後になりましたが、運営、補助に協力してくださった中国地区連盟の方々をはじめ、審判の方々、各大学の皆様並びに球場関係者の方々ありがとうございました。

春季リーグ戦を終えて

東亜大学準硬式野球部
主将　田村　拓也

私たち東亜大学野球部はリーグ戦を５戦４勝一引き分けで優勝することが出来ました。去年のように全勝優勝できませんでしたが、チームメイトの強い気持ちと関係者や応援してくださった皆さんのおかげで選手権大会出場という目標を達成することが出来たと思います。

この大会では、前大会の秋のリーグ戦とは違い、打線が奮起し試合を優位に進めることができました。これは秋の悔しさをバネに冬から春にかけての練習や練習試合に意識高く取り組んだ選手たちの活躍があったからこそだと思っています。

最後になりますが、自分たちが優勝できたのは一生懸命プレーした選手たち、その選手を支えてくれたベンチのチームメイト、試合や練習のサポートをしてくれたマネージャーの方々、大会運営に関わった関係者の皆様、そして応援してくださった保護者をはじめ、多くの人々のおかげであり、深く感謝しています。これからも野球ができることに感謝し、信頼できる仲間とともに楽しくプレーしたいと思っています。

春季リーグ戦２部

◎３月27日　真庭やまびこ球場
第１試合
海上保安大学校　１４００２０｜７
川崎医科大学　０００１２０｜３
（降雨により６回コールド）
（海）関口－小川
（川）伊藤・北川－北川・伊藤
☆二塁打　高山・酒居（海）、伊興部（川）

◎３月28日　真庭やまびこ球場
第１試合
広島大学医学部　０３０４１３｜11
広島国際大学　００００００｜０
（６回コールド）
（広医）片岡・高田－藤田
（広国）猪山－陶山
第２試合
吉備国際大学　０１０００００｜１
島 根 大 学　０２１０００5x｜８
（７回コールド）
（吉）来海－松田
（島）今福－川上
☆三塁打　松田（吉）、野村・川上（島）
☆二塁打　今福・山口（島）
第３試合
海上保安大学校　０００００５００｜５
山 口 大 学　０２００４００１×｜７
（海）関口・藤本・関口・上原－小川
（山）村田－加治
☆三塁打　加治（山）
☆二塁打　岩田・鮫島・藤本（海）
加治（山）

◎３月29日　真庭やまびこ球場
第１試合
海上保安大学校　３３０１０４０１｜12
鳥取大学医学部　０１３００２０１｜７
（８回コールド）
（海）関口・高山・渡辺・上原・岩田－小川
（鳥医）野坂・加藤－小椋
☆三塁打　佐藤（海）
☆二塁打　小椋・山村（鳥医）

第２試合
広島国際大学　５２００１｜８
吉備国際大学　12110３×｜26
（５回コールド）
（広国）深見・横田－陶山
（吉）橘・上田－松田
☆本塁打　糸賀（広国）
☆三塁打　深見・三上・中村（広国）
大久保（吉）
☆二塁打　上田・松田（吉）
第３試合
広島大学医学部　２２１１０１０３｜10
島 根 大 学　１０７０１１０１｜11
（大会規定により８回コールド）
（広医）初鹿・片岡・久原－藤田
（島）今福－川上
☆本塁打　山口（島）
☆三塁打　原田・松村（広医）
児玉・野村・前田（島）
☆二塁打　藤田・原田（広医）、杉浦（島）

◎４月20日　玉島の森球場
第１試合
山 口 大 学　６０００２０００｜８
川崎医科大学　０１０４００１００｜６
（山）安藤・沖田－加治
（川）伊藤・伊興部－戸早
☆本塁打　伊藤（川）
☆三塁打　伊藤（川）
☆二塁打　千葉２・加治・安藤・沖田（山）
第２試合
海上保安大学校　００１５０１０１０｜８
鳥 取 大 学　６１００００１００｜８
（海）関口・岩田・高山－小川
（鳥）橋本・上島－上島・岩田
☆三塁打　上原（海）、谷・橋本（鳥）
☆二塁打　増井（海）、田中・戸田（鳥）
第３試合
鳥 取 大 学　２０００３０００１｜６
吉備国際大学　０００００２４００｜６
（鳥）野坂・加藤・前田－安田
（吉）来海・上田－松田
☆三塁打　茅原（鳥）
☆二塁打　安田２（鳥）、上田（吉）

順位		島根大	山口大	海保大	広大医	鳥大医	吉国大	広国大	川医大	鳥取大	勝	負	分	勝点
1	島 根 大 学				○		○	○		○	4	0	0	12
2	山 口 大 学			○	●		○		○		3	1	0	9
3	海上保安大学校		●			○			○	△	2	1	1	7
4	広島大学医学部	●	○			●		○			2	2	0	6
5	鳥取大学医学部			●	○		△			△	1	2	2	5
6	吉備国際大学	●	●			△		○			1	2	1	4
7	広島国際大学	●			●		●		○		1	3	0	3
8	川崎医科大学		●		●			●		○	1	3	0	3
9	鳥 取 大 学	●		△		△			●		0	2	2	2

７位、８位は直接対決によるによる。
１位の島根大学は１部６位の岡山大学と、２位の山口大学学は１部５位の広島大学と入れ替え戦を行う。

◎４月21日　玉島の森球場
第１試合
川崎医科大学　１０００１１３０｜６
鳥 取 大 学　３０００１０００｜４
（川）北川・徳永－戸早・北川
（鳥）上島・大平－岩村
☆三塁打　長妻２・徳永（川）、谷（鳥）
☆二塁打　安田（川）
上島・谷・岩村（鳥）
第２試合
広島大学医学部　００１０００００２｜３
山 口 大 学　０００１００００００｜１
（広医）片岡・高田－藤田
（山）村田－加治・野村
☆三塁打　原田（広医）、河相（山）
☆二塁打　中本２（広医）
第３試合
広島国際大学　１１００１｜３
島 根 大 学　９１１３×｜14
（５回コールド）
（広国）赤松－陶山
（島）今福－川上
☆三塁打　幡司（広国）、前田（島）
☆二塁打　幡司・深見（広国）、野村（島）

◎５月３日真庭やまびこ球場
第１試合
広島大学医学部　００３００｜３
鳥取大学医学部　３1000×｜13
（５回コールド）
（広医）片岡・高田・初鹿－藤田
（鳥医）野坂－安田
☆三塁打　山村（鳥医）
☆二塁打　小椋・茅原・長友（鳥医）
第２試合
川崎医科大学　１００２００００｜３
広島国際大学　０１００２４２1x｜10
（８回コールド）
（川）徳永・北川－戸早
（広国）猪山・今中－陶山
☆三塁打　幡司（広国）
☆二塁打　今中・陶山（広国）
第３試合
鳥 取 大 学　０００００００１｜１
島 根 大 学　０００００１０1x｜２
（鳥）橋本・上島－上島・岩村
（島）今福－川上
☆三塁打　橋本（鳥）
☆二塁打　上島（鳥）、児玉・福田（島）

◎５月４日　真庭やまびこ球場
第１試合
鳥取大学医学部　４０００００１１｜６
鳥 取 大 学　０００３０２０１０｜６
（鳥医）野坂・前田－安田
（鳥）橋本・上島－上島・岩村
☆三塁打　小椋・安田・角（鳥医）
谷（鳥）
☆二塁打　小椋・前田・山口（鳥医）
戸田・上原・岩村（鳥）
第２試合
山 口 大 学　００３１３｜７
吉備国際大学　０８２０７｜17
（５回コールド）
（山）村田－加治
（吉）来海－松田
☆三塁打　長野（吉）

春季リーグ戦入れ替え戦

◎５月11日　真庭やまびこ球場
第１試合
島 根 大 学　０００００００００｜０
岡 山 大 学　０００００１０３×｜４
（島）今福－川上
（岡）岩崎－齋藤
☆二塁打　今福（島）
第２試合
広 島 大 学　０００００２０３１｜６
山 口 大 学　１００００００００｜１
（広）辻－元木
（山）村田－加治
☆三塁打　福成（山）
☆二塁打　長岡（広）、沖田（山）

秋季リーグ戦１部

◎９月３日　倉敷市営球場
第１試合
広島修道大学　４０００２１００２｜９
岡 山 大 学　０１０００３０００｜４
（修）平田・田中・普喜－中川
（岡）富岡・岩崎－齋藤
☆二塁打　豊原（修）、齋藤（岡）
第２試合
下関市立大学　０３５２０００｜10
岡山大学医学部　０１００００００｜１
（７回コールド）
（下）丸尾－河津
（岡）宮脇・嶋崎－住井
☆三塁打　古山・小笠原（下）
☆二塁打　古山・板谷（下）

◎９月５日　倉敷市営球場
第１試合
東 亜 大 学　００３００３０００｜６
広 島 大 学　００２００１１１０｜５
（東）三ヶ嶋・西之原・江藤－上川路
（広）辻－元木
☆本塁打　江藤（東）
☆三塁打　長岡（広）
☆二塁打　西・銅城・上川路・丸塚２・
穴井（東）
脇本・鷺坂・森（広）

◎９月９日倉敷市営球場
第１試合
下関市立大学　１１００１１００１｜５
広 島 大 学　０１１０１０２００｜５
（下）丸尾・上田浩－河津
（広）辻－元木
☆二塁打　河津（下）
脇本・鷺坂・辻・佐竹（広）
第２試合
岡 山 大 学　０００００１１０１１｜４
東 亜 大 学　０００００１００００｜１
（岡）岩崎－齋藤
（東）西之原・三ヶ島－上川路
☆二塁打　高田・指方（岡）
第３試合
下関市立大学　０１０２０５０｜８
広島修道大学　００００００００｜０
（７回コールド）
（下）上田将－河津
（修）平田・田中－中川
☆二塁打　三田（下）

第４試合
広 島 大 学　３０００００１００１｜５
岡山大学医学部　１０００１０００００｜２
（広）横井－元木
（岡）嶋崎－住井
☆二塁打　津村（広）

◎９月10日　倉敷市営球場
第１試合
広島修道大学　０５００００１０１｜７
広 島 大 学　０１００００３１００｜５
（修）正田・横井・崎山・田中・平田－中川
（広）横井・辻－元木
☆三塁打　高橋智（修）
☆二塁打　豊原・平原（修）
第２試合
東 亜 大 学　０００００１１０３｜５
岡山大学医学部　０００００１４０２×｜７
（東）江藤－上川路
（岡）宮脇・嶋崎－岡田
☆二塁打　上川路（東）
三井・皆木（岡）
第３試合
下関市立大学　３４４００｜11
岡 山 大 学　０００００｜０
（５回コールド）
（下）上田将・三田－河津
（岡）岸越・伊賀－齋藤
☆二塁打　小笠原（下）
第４試合
広島修道大学　１０００００１００２｜４
東 亜 大 学　０１００１００２００｜４
（修）三次・普喜・田中－中川
（東）三ヶ島－上川路
☆二塁打　辻・豊原（修）、上川路（東）

◎９月11日　倉敷市営球場
第１試合
岡山大学医学部　０００３１００００｜４
岡 山 大 学　０００００２０２０1x｜５
（医）嶋崎・宮脇－住井
（岡）岩崎－齋藤
☆二塁打　尾下（医）
大西・坂口・岩崎（岡）
第２試合
東 亜 大 学　０１００００２２１０｜６
下関市立大学　１０００１００００｜２
（東）三ヶ島－上川路
（下）丸尾・三田・丸尾・三田－河津
☆二塁打　安藤（東）

第３試合
岡 山 大 学　０００１０００００４｜５
広 島 大 学　０００１２１２０×｜６
（岡）富岡・伊賀・岩崎－齋藤
（広）辻－元木
☆本塁打　森（広）
☆二塁打　片矢（岡）、森（広）
第4試合
広島修道大学　１１００３０２１｜８
岡山大学医学部　０００００１００｜１
（８回コールド）
（修）普喜・平田・正田－中川
（岡）平野・清水・嶋崎－住井
☆二塁打　高橋・普喜（修）
井上・住井・宮脇（岡）

✪個人賞

最高殊勲選手	三田　勇嗣	下市大	3
敢闘選手	豊原　拓也	広修大	3
最多勝利投手	三ヶ島尚亮	東亜大	3
	岩崎　将也	岡山大	2
	上田　将平	下市大	2
最優秀防御率	岩崎　将也	岡山大	2
本塁打王	江藤　雅彦	東亜大	3
	森　紳介	広島大	2
打点王	古山　太一	下市大	3
首位打者	古山　太一	下市大	3
盗塁王	河津　隆哉	下市大	1

✪ベストナイン

投手	上田　将平	下関市立大学	2
捕手	齋藤　大暉	岡山大学	2
一塁手	森　紳介	広島大学	2
二塁手	坂口　孝大	岡山大学	2
	小笠原一秀	下関市立大学	1
三塁手	三田　勇嗣	下関市立大学	3
遊撃手	尾下　遼	岡山大学医学部	3
外野手	古山　太一	下関市立大学	3
	辻　翔太	広島修道大学	2
	豊原　拓也	広島修道大学	3

順位		下市大	修道大	東亜大	広島大	岡山大	岡大医	勝	負	分	勝点
1	下関市立大学		○	●	△	○	○	3	1	1	10
2	広島修道大学	●		△	○	○	○	3	1	1	10
3	東亜大学	○	△		○	●	●	2	2	1	7
4	広島大学	△	●	●		○	○	2	2	1	7
5	岡山大学	●	●	○	●		○	2	3	0	6
6	岡山大学医学部	●	●	○	●	●		1	4	0	3

１位２位及び３位４位は直接対決の結果による。

秋季リーグ戦２部

◎８月27日　真庭やまびこスタジアム
第１試合
鳥 取 大 学　１０００００００００｜１
広島大学医学部　００１１０１００×｜３
（鳥）橋本－上島
（広）田中－藤田
第２試合
島 根 大 学　００２００６００｜８
吉備国際大学　０００００００００｜０
（８回コールド）
（島）今福－川上
（吉）来海・上田－松田
☆三塁打　川島（島）
第３試合
鳥取大学医学部　７０００２１｜10
広島国際大学　０００００００｜０
（６回コールド）
（鳥）野坂－安田
（広）猪山－島田
☆三塁打　胡（鳥）
☆二塁打　野坂・安田（鳥）

◎８月28日　真庭やまびこスタジアム
第１試合
島 根 大 学　３００１３１４｜12
広島国際大学　０００００００１｜１
（７回コールド）
（島）仲田・市川－川上
（広）佐藤－島田
☆三塁打　仲田・川上・歳秀（島）
☆二塁打　三上（広）
第２試合
川崎医科大学　０００３２０４００｜９
鳥 取 大 学　００１０１０２２０｜６
（川）北川・伊藤・伊與部－戸早・北川
（鳥）少林・上島－川田・少林
☆二塁打　杉生（川）、田中・川田（鳥）
第３試合
鳥取大学医学部　０１０３３０10｜17
吉備国際大学　１２００５１０｜９
（７回コールド）
（鳥）野坂・中村－安田
（吉）上田・来海－松田
☆三塁打　胡・山口（鳥）
上田・来海・成上（吉）
☆二塁打　安田（鳥）、来海（吉）

◎９月７日　真庭やまびこスタジアム
第１試合
海上保安大学校　１１００００１００｜３
広島大学医学部　４１００１０１２×｜９
（海）高山－平塚
（広）田中－藤田
☆三塁打　高山・酒居（海）
☆二塁打　松井・平塚（海）、原田（広）

第２試合
吉備国際大学　００００００１１｜２
山　口　大　学　２２００１０４ｘ｜９
（７回コールド）
（吉）来海－松田
（山）加泄－後
☆三塁打後（山）
第３試合
鳥取大学医学部　０１２０２１２３０｜11
鳥　取　大　学　１００１０１０４０｜７
（医）中村－安田
（大）上島－少林
☆三塁打　長友・中村・朝比奈（医）
上島（大）
☆二塁打　胡（医）、田中（大）

◎９月８日　真庭やまびこスタジアム
第１試合
島　根　大　学　００１００４３｜８
川崎医科大学　００００００００｜０
（７回コールド）
（島）今福－川上
（川）北川・鈴木－戸早・北川
☆三塁打　野村・川上・今福（島）
第２試合
海上保安大学校　１０１０００００｜２
広島国際大学　２００００２１×｜５
（海）藤本・岩田－小川
（広）佐藤－陶山
☆本塁打　深見（広）
☆三塁打　三上（広）
☆二塁打　高山（海）、佐藤（広）
第３試合
山　口　大　学　１０１０２３００１｜８
広島大学医学部　０００００２３１０｜６
（山）村田－加治
（広）田中・初鹿－藤田
☆三塁打　村松（広）
☆二塁打　松井・河相・後（山）

◎９月14日　真庭やまびこスタジアム
第１試合
吉備国際大学　０４３００２０００｜９
鳥　取　大　学　１００３０２２４×｜12
（吉）上田・田中－松田
（鳥）橋本・上島－川田
☆三塁打　上田（吉）
洲濱・上島・戸田・福田（鳥）
☆二塁打　小山（吉）、福田（鳥）
第２試合
山　口　大　学　０１００００００１｜２
鳥取大学医学部　０００００１０００｜１
（山）後・村田－加治
（鳥）野坂・中村－安田
☆三塁打　安田（鳥）
第３試合
川崎医科大学　３２４０２０１１｜13
海上保安大学校　０３１２００００｜６
（８回コールド）
（川）長妻・伊與部・鈴木－戸早
（海）関口・岩田・藤本－小川
☆本塁打　平塚（海）
☆三塁打　杉生・鈴木（川）
☆二塁打　長妻・北川（川）、鮫島（海）

◎９月15日　真庭やまびこスタジアム
第１試合
広島大学医学部　３００００１０００｜４
広島国際大学　００００２０４００×｜６
（医）田中－藤田
（国）佐藤－島田
☆二塁打　藤田・重原（医）、猪山（国）
第２試合
島　根　大　学　９
海上保安大学校　０
海上保安大学放棄。
第３試合
川崎医科大学　０４２０１３０００｜10
山　口　大　学　０３００００１０４０｜８
（川）北川・伊藤・鈴木－戸早・北川
（山）安藤・村田・後－野村・加治
☆二塁打　杉生・磯野（川）
野村・蛍原（山）

秋季リーグ戦入れ替え戦

◎９月21日　やまびこ球場
第１試合
岡　山　大　学　２０１００３１｜７
鳥取大学医学部　００００００００｜０
（７回コールド）
（岡）富岡・岩崎－齋藤
（鳥）野坂・加藤－安田
☆三塁打　指方（岡）
第２試合
島　根　大　学　１０００１０１１０｜４
岡山大学医学部　０００００１００２１｜４
（引き分け）
（島）宮脇・嶋崎・宮脇－住井
（岡）今福－川上
☆二塁打　杉浦（島）、宮脇（岡）

順位		島根大	鳥大医	山口大	川医大	広国大	広大医	鳥取大	吉国大	海保大	勝	負	分	勝点
1	島　根　大　学		—	—	○	○	—	—	○	○	4	0	0	12
2	鳥取大学医学部	—		●	—	○	—	○	○	—	3	1	0	9
3	山　口　大　学	—	○		●	—	○	—	○	—	3	1	0	9
4	川崎医科大学	●	—	○		—	—	○	—	○	3	1	0	9
5	広島国際大学	●	●	—	—		○	—	—	○	2	2	0	6
6	広島大学医学部	—	—	●	—	●		○	—	○	2	2	0	6
7	鳥　取　大　学	—	●	—	●	—	●		○	—	1	3	0	3
8	吉備国際大学	●	●	●	—	—	—	●		—	0	4	0	0
9	海上保安大学	●	—	—	●	●	●	—	—		0	4	0	0

２位３位４位及び８位９位は得失点率差
５位６位は直接対決の結果による

平成25年度
四 国 地 区 大 会 成 績

徳島大学
医学部

全四国選抜
全中

春季リーグ戦１部

◎４月６日　宮窪球場
第１試合
愛 媛 大 学　１１０５０｜７
徳島文理大学　１３３７3x｜17
（５回コールド）
（愛媛）安倍・岡崎－藤村
（徳文）幸良・田上－安部
☆本塁打　幸良・中野（徳文）
☆三塁打　安倍（愛）
細田・伊藤（徳文）
☆二塁打　益原（愛）
宮城・細田・杉本・氏田・中野・田上・幸良（徳文）
第２試合
徳島文理大学　０００１００１｜２
松 山 大 学　１１０２２２1x｜９
（７回コールド）
（徳文）田上・船越・宮城－安部
（松山）大西智－篠原
☆三塁打　三重野（松）
☆二塁打　篠原（松）
第３試合
松 山 大 学　７１１００１０｜10
愛 媛 大 学　０００００３０｜３
（７回コールド）
（松山）大西博－篠原
（愛媛）井上拓－梶山
☆三塁打　篠原（松）
☆二塁打　増羽・山田（松）、伊藤（愛）

◎４月13日　香川県営第二球場球場
第１試合
愛 媛 大 学　２００００００｜２
香 川 大 学　１２０４０４×｜11
（７回コールド）
（愛媛）安倍・下久保－藤村
（香川）山内－岡田
☆三塁打　戸高（愛）
☆二塁打　池庄司・中田（愛）
第２試合
愛 媛 大 学　１１３１０２０００｜８
香 川 大 学　２００１１０１００｜５
（愛媛）和氣坂・河崎－藤村
（香川）林・中本・高重－岡田
☆三塁打　上本（愛）、岡田・河上（香）
☆二塁打　武川・吉田（愛大）

◎４月13日　愛媛宮窪球場
第１試合
松 山 大 学　００１００｜１
徳島大学医学部　９１１１×｜12
（５回コールド）
（松山）大西智・橘－篠原
（徳医）福良－石谷
☆二塁打　大西博・橘（松）、中野（徳医）
第２試合
徳島文理大学　１４０４０００｜９
徳島大学医学部　００１００１０｜２
（７回コールドゲーム）
（徳文）田上－安部
（徳医）鳥山・日笠－石谷
☆本塁打　秋本（徳医）
☆二塁打　稲田・伊藤（徳文）
第３試合
徳島文理大学　０１４００００００｜５
松 山 大 学　０２０２００１01x｜６
（徳文）田上・金城－安部
（松山）大西智－篠原
☆二塁打　大西博（松）

◎４月14日　香川大学経済グランド
第１試合
徳島大学医学部　０００００００２２｜４
香 川 大 学　０００００１１００｜２
（徳医）福良－石谷
（香川）川上－岡田
☆三塁打　河上（香）
第２試合
香 川 大 学　１６３３４｜17
徳島大学医学部　３００００｜３
（５回コールド）
（香川）山内－岡田
（徳医）鳥山・日笠・松尾・中川－石谷
☆三塁打　河上・清水・林・山内（香）
☆二塁打　日笠（徳医）

◎４月20日　香川県営第二球場
第１試合
香 川 大 学　０１１００４２２０｜10
松 山 大 学　００５００１０００｜６
（香川）山内・中本－岡田
（松山）大西智・大西博－篠原
☆本塁打　大西博（松大）
☆二塁打　岡田（香）、船越・大西智（松）
第２試合
香 川 大 学　０１００７００｜８
松 山 大 学　０００００１００｜１
（７回コールド）
（香川）川上－岡田
（松山）橘・倉宗・河村－篠原
☆三塁打　河村（松大）
☆二塁打　河上・岡田（香大）

◎４月20日　愛媛東予球場
第１試合
徳島文理大学　１４３０００００００｜８
愛 媛 大 学　１０１０００００００｜２
（徳文）幸良－安部
（愛媛）和氣坂・河崎－藤村
☆本塁打　上本（愛大）
☆二塁打　稲田・幸良（徳文）、中田（愛）
第２試合
徳島文理大学　０１０００２１１０｜５
徳島大学医学部　０２１４０００１×｜８
（徳文）田上・金城－安部
（徳医）福良－石谷
☆三塁打　福良（徳医）
☆二塁打　氏田（徳文）、福良・秋本（徳医）
第３試合
愛 媛 大 学　００００００００｜０
徳島大学医学部　０３１０００3x｜７
（７回コールド）
（愛媛）安部－梶山
（徳医）福良－石谷
☆二塁打　小原（愛）、中野・日笠（徳医）

◎４月27日　徳島蛇王球場
第１試合
徳島文理大学　０００００００３０１｜４
香 川 大 学　２００４００００１×｜７
（徳文）幸良・田上－安部
（香川）川上・中本－岡田
☆二塁打　河上・岡田・倉本・久山・福田（香大）
第２試合
徳島文理大学　００００００００｜０
香 川 大 学　３０２４００×｜９
（７回コールド）
（徳文）金城・田上・船越－安部
（香川）山内－岡田
☆三塁打　林・岡田（香）
☆二塁打　大城（徳文）、倉本・山内（香）

順　位		香川大	徳大医	松山大	徳文大	愛媛大	勝ち点	勝　敗	得失点差
優　勝	香 川 大 学		●○	○○	○○	○●	12	６勝２敗	＋41
準優勝	徳島大学医学部	○●		○●	●○	○○	10	５勝３敗	＋11
第３位	松 山 大 学	●●	●○		○○	○○	10	５勝３敗	－５
第４位	徳島文理大学	●●	○●	●●		○○	６	３勝５敗	±０
第５位	愛 媛 大 学	●○	●●	●●	●●		２	１勝７敗	－47

◎４月27日
第１試合
愛 媛 大 学　５１００１１０００｜８
松 山 大 学　５００１１２００×｜９
（愛媛大）河崎・安倍－藤村
（松山大）大西智・大西博－篠原
☆本塁打　大西智（松）
☆三塁打　小原（愛）、大西博（松）
☆二塁打　高橋・大西博（松）
第２試合
愛 媛 大 学　００００４｜４
徳島大学医学部　２２１９×｜14
（５回コールド）
（愛媛）下久保・安倍・上本－梶山
（徳医）福良・鳥山・福良－石谷
☆二塁打　伊藤（愛）
松尾・日笠・河合（徳医）
第３試合
松 山 大 学　００１１００１０１｜４
徳島大学医学部　０１００００１０１｜３
（松山）大西博・大西智－篠原
（徳医）福良－石谷
☆二塁打　白石・山田勝（松）
石谷・中川（徳医）

春季リーグ戦２部

◎３月30日　観音寺総合運動公園
第１試合
四国学院大学　３０１１０１０００｜６
高知大学医学部　０００３２００３×｜８
（四学）廣玉－高橋
（高医）中村・森本－伊藤
☆二塁打　高橋・廣玉・越智・石村（四学）
森本・窪（高医）
第２試合
高知大学医学部　０１００１００４２｜８
四国学院大学　０００００１２００１｜４
（高医）芝－伊藤
（四学）高橋－越智
☆二塁打　窪２・大山（高医）

◎４月13日　愛媛山越グランド
第１試合
四国学院大学　０００００１１００｜２
愛媛大学医学部　０００００２０００1x｜３
（四学）廣玉－高橋
（愛医）森内－井上
☆二塁打　石村（四学）
露口・澤田（愛医）
第２試合
愛媛大学医学部　１００１０３１００｜６
四国学院大学　０１０２０１０００｜４
（愛医）中川・石村・森内－大野・井上
（四学）高橋－越智
☆三塁打　佐藤（四学）
☆二塁打　澤田２・坂本（愛医）
矢野（四学）

◎４月13日
第１試合
高知大学医学部　０００２１０｜３
香川大学医学部　０２５３０3x｜13
（６回コールド）
（高医）中村・森本・河江－鮫島
（香医）丹羽－矢田
☆三塁打　鈴木（香医）
☆二塁打　鮫島（高医）、秋田（香医）
第２試合
香川大学医学部　０２０００００｜２
高知大学医学部　３２３０００1x｜９
（７回コールド）
（高医）芝（佑）－大山
（香医）畑田・丹羽－矢田
☆三塁打　森本（高医）

◎４月20日　高知窪川運動公園野球場
第１試合
愛媛大学医学部　０３１４０６｜14
高知大学医学部　２０１０００｜３
（６回コールド）
（愛医）森内－井上
（高医）中村・森本－伊藤
☆本塁打　黒河・井上（愛医）
☆三塁打　佐藤（愛医）
☆二塁打　中川・露口・黒河（愛医）
鮫島（高医）
第２試合
高知大学医学部　１１０００００｜２
愛媛大学医学部　３０４００２×｜９
（７回コールド）
（高医）芝－伊藤
（愛医）中川・石村－大野
☆三塁打　澤田（愛医）
☆二塁打　澤田・露口・山本（愛医）

◎４月20日
第１試合
四国学院大学　０００００｜０
香川大学医学部　６００２2x｜10
（５回コールド）
（四学）廣玉－高橋
（香医）丹羽－矢田
☆三塁打　鈴木（香医）
☆二塁打　越智２（四学）
戸田・森（香医）
第２試合
香川大学医学部　２０１１０１５｜10
四国学院大学　００００００００｜０
（７回コールド）
（香医）丹羽－矢田
（四学）高橋－越智
☆三塁打　丹羽（香医）

◎４月28日　みろく自然公園野球場
第１試合
香川大学医学部　０１０１１５０００｜８
愛媛大学医学部　０００６２０１０×｜９
（香医）丹羽－矢田
（愛医）森内－井上・大野・井上
☆三塁打　丹羽（香医）
黒河・澤田（愛医）
☆二塁打　藤綱（香医）、山本（愛医）
第２試合
愛媛大学医学部　０７００００００４｜11
香川大学医学部　１７００００１００｜９
（愛医）五藤・石村－井上・大野
（香医）田中・掛本－矢田
☆三塁打　井上・坂本（愛医）
☆二塁打　露口（愛医）
丹羽・桑田（香医）

順　位		愛大医	香大医	高大医	四学大	勝ち点	勝　敗	得失点差
優　勝	愛媛大学医学部		○○	○○	○○	12	６勝０敗	＋25
第２位	香川大学医学部	●●		○●	○○	6	３勝３敗	＋19
第３位	高知大学医学部	●●	●○		○○	6	３勝３敗	－15
第４位	四国学院大学	●●	●●	●●		0	０勝６敗	－29

春季リーグ戦入れ替え戦

◎５月11日　香川県津田球場
第１試合
徳島文理大学　３０４０００５｜12
香川大学医学部　０２００００４｜６
（７回コールド）
（徳文）田上－安部
（香医）丹羽－矢田
☆三塁打　戸田（香医）、田上（徳文）
☆二塁打　幸良（徳文）
第２試合
愛媛大学　０００３２０３１０｜９
愛媛大学医学部　００２０１０４００｜７
（愛媛）河崎－梶山
（愛医）森内、石村－井上
☆三塁打　岡崎（愛）
坂本・井上（愛医）
☆二塁打　岡崎（愛）

この結果、徳島文理大学、愛媛大学ともに１部残留。

春季リーグ戦を終えて

昨年入れ替え戦で勝利し、今年度から１部リーグとなった香川大学が６勝２敗という成績で見事優勝した。

上位チームの力は均衡していたが、投打にバランスのとれた香川大学が接戦を制した結果となった。

２部リーグでは愛媛大学医学部が持ち味である打力を発揮し６勝０敗という結果で、他を圧倒していた。しかし、入れ替え戦では１部リーグの２チームが底力を見せつけ、勝利しチームの入れ替えには至らなかった。来年度も上位争奪戦は激戦となるだろう。

インカレ大会

◎７月５日　徳島県鳴門オロナミンＣ球場
第１試合　徳島大学医学部－松山大学
松山大学　１０００００１２０｜４
徳島大学医学部　２００２００００１x｜５
（延長10回）
（松山）谷川･石船･平田･倉宗－篠原･谷川
（徳医）福良－早澤
☆二塁打　増羽・藤本（松）
中野・日笠（徳医）
第２試合　高知大学医学部－高知県立大学
高知大学医学部　１０４１０２０２１｜11
高知県立大学　２００１００３００｜６
（高医）中村・森本・尾崎－伊藤
（高県）平島・岡野・鮫島－鮫島・冨永
☆三塁打　尾崎･森本（高医）、中田（県）
☆二塁打　田部（県）

◎７月５日　徳島県ＪＡバンク蔵本球場
第１試合　徳島文理大学－四国学院大学
徳島文理大学　１０４１１６０００｜13
四国学院大学　０００００１１０００｜２
（６回コールド）
（徳文）田上・船越・濱田・宮城－杉本
（四学）曽我部・松岡－久保・桑島
☆本塁打　杉本（徳文）
☆三塁打　宮城・幸良（徳文）
☆二塁打　大城（徳文）、久保（四学）
第２試合　香川大学－愛媛大学
愛媛大学　００２１１０１００｜５
香川大学　２００００００００｜２
（愛媛）河崎・植田－藤村
（香川）中本・福田健－岡田
☆二塁打井村（愛大）

◎７月６日　徳島県オロナミンＣ球場
準決勝　第１試合
徳島大学医学部　０００００００００００４｜４
高知大学医学部　０００００００００００２｜２
（延長13回）
（徳医）中川・日笠－石谷
（高医）尾崎－伊藤
☆二塁打　松尾（徳医）、芝･尾崎（高医）
準決勝　第２試合
愛媛大学　１０１００｜２
徳島文理大学　５２７０×｜14
（５回コールド）
（愛媛）河崎・植田・水崎－藤村・石橋
（徳文）金城祐－杉本
☆三塁打　中川・大城（徳文）
☆二塁打　安倍（愛大）、宮城（徳文）

◎７月７日　徳島県オロナミンＣ球場
決勝戦
徳島文理大学　１００２０００００１｜４
徳島大学医学部　００１０００００００｜１
（徳文）幸良・田上－杉本
（徳医）福良－石谷
☆三塁打　大城（徳文）
☆二塁打　大城・岸（徳文）

四国地区準硬式野球秋季大会

Ａブロック
◎10月12日（土）　香川県　津田球場
香川大学　００２００１２２０｜７
高知県立大学　０００００２１０｜３
（香川）中本・福田（健）・小佐々・川上－岡田
（高県）岡野･平島･松澤･伊東･鮫島－鯖江
☆二塁打　田中・倉本２・岡田（香）
松澤（高）
この結果、香川大学はＡブロック代表で、決勝トーナメントに進出決定。

Ｂブロック
◎10月12日（土）　香川県　津田球場
徳島大学医学部　２００１００１１３｜８
四国学院大学　００１２０００２０｜５
（徳医）中川－石谷
（四学）木山－桑島
☆本塁打　久保（四学）
☆三塁打　宮本（四学）
☆二塁打　豊田・木山（四学）
この結果、徳島大学医学部はＢブロック代表で、決勝トーナメントに進出決定。

Ｃブロック
◎10月12日（土）　愛媛県　宮窪球場
松山大学　１４０２００１０１｜９
高知大学医学部　００２０００１０７｜10
（松山）白石（裕）･橘・徳永・橘－谷川
（高医）尾崎－伊藤
☆本塁打　尾崎（高医）
☆三塁打　河村（松）
☆二塁打　三重野・上村・木内（松）
尾崎・白石（高医）
第２試合
香川大学医学部　１１０３００００１｜６
高知大学医学部　２００００００００｜２
（香医）掛本－矢田
（高医）中村－伊藤
☆三塁打　掛本（香医）
☆二塁打　戸田･矢田（香医）､鈴木（高医）
第３試合
香川大学医学部　３５０３１０３｜15
松山大学　４０００００００｜４
（７回コールド）
（香医）丹羽－掛本
（松山）平田・石船・徳永・大西（博）－篠原
☆三塁打　田中・丹羽（香医）
☆二塁打　森・矢田・鈴木（香医）
徳井・篠原・船越（松）
この結果、香川大学医学部はＣブロック代表で、決勝トーナメントに進出決定。

Dブロック
◎10月12日（土） 徳島県 みろく球場
第１試合
徳島文理大学　００２０００１１３｜７
愛媛大学医学部　２００２３００００｜７
（徳文）幸良・金城（裕）－杉本
（愛医）石村・井上－大野
☆本塁打　佐藤（愛医）
☆三塁打　大野・澤田（愛医）
☆二塁打　杉本（徳文）、澤田（愛医）
第２試合
愛 媛 大 学　１０００００００｜１
愛媛大学医学部　２４０００１０１×｜８
（愛媛）水崎・池田－石橋
（愛医）佐藤・森内－三島
☆三塁打　大野（愛医）
☆二塁打　戎田（愛）
黒河・澤田（愛医）
第３試合
徳島文理大学　１８００００００１｜10
愛 媛 大 学　２０００００３０｜５
（徳文）金城（裕）・宮城－杉本
（愛媛）植田・水崎・安部－石橋・武田
☆二塁打　大城・宮城・幸良（徳文）
戎田（愛大）
この結果、愛媛大学医学部はDブロック代表で、決勝トーナメントに進出決定。

準決勝戦１
◎10月14日（月） 香川県営第２球場
第１試合
香 川 大 学　２３１０４｜10
愛媛大学医学部　０００００｜０
（５回コールド）
（香川）川上・福田（健）－岡田
（愛医）佐藤・森内－三島
☆三塁打　福田（晋）（香大）
☆二塁打　林・倉本・福田（晋）（香）
三島（愛医）

準決勝戦２
第２試合
香川大学医学部　２０６２０１０１０｜12
徳島大学医学部　０００４０１１０１｜７
（香医）掛本・丹羽－矢田
（徳医）中川・日笠－石谷
☆二塁打　矢田（香医）

決勝戦
香川大学医学部　０００００２｜２
香 川 大 学　０２３０４3x｜12
（６回コールド）
（香医）丹羽・畑田－矢田・山重
（香川）川上－岡田
☆三塁打　犬飼（香大）
☆二塁打　辻・丹羽（香医）
川上２・福田（晋）（香）

優 勝 香 川 大 学
準優勝 香川大学医学部

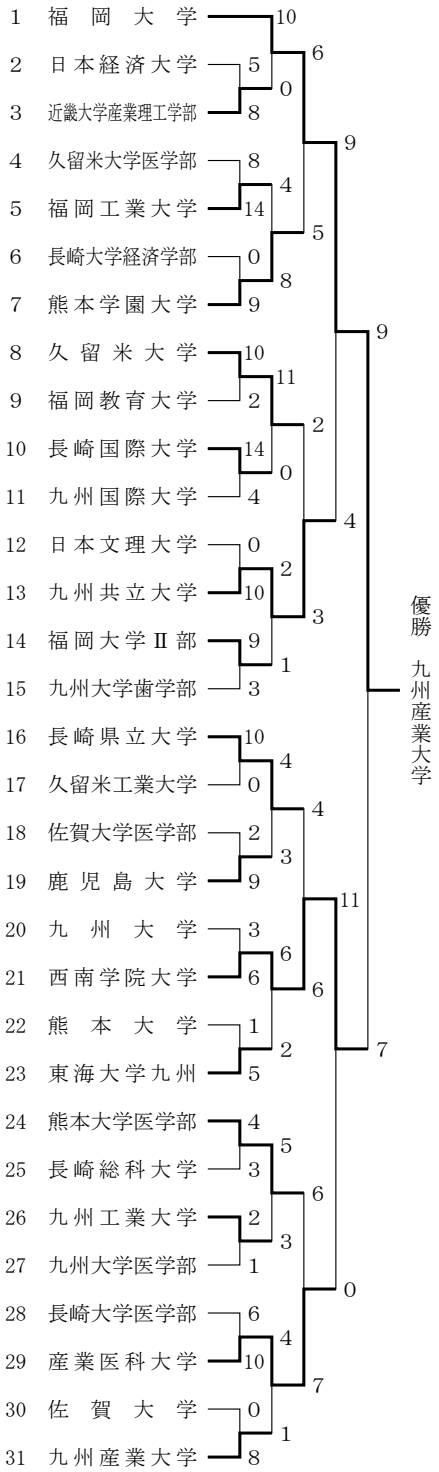
平成25年度
九 州 地 区 大 会 成 績

九州共立大学
上越教育大学

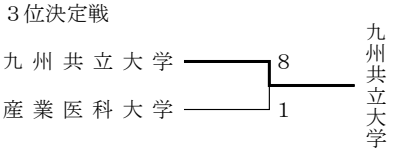
福岡大学
国士舘大学
FUKUOKA

第65回全日本大学準硬式野球
九州選手権大会

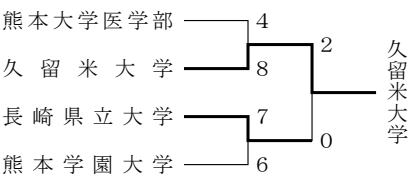
会期：平成25年５月17日㈮
～５月22日㈬
会場：春日球場・桧原球場
筑豊緑地球場・汐井球場
西部運動公園野球場



３位決定戦



５位決定戦



◎一回戦
５月18日　春日球場
第１試合

日本経済大学	０	０	０	５	０	０	０	０	０	**５**
近大産業理工	１	１	１	２	０	０	３	０	×	**８**

（日経）熊野・元見・藤本－毛利
（近大）仙頭・清水・安楽－伊藤
☆二塁打　鈴木（日経）

〈戦評〉
近畿大学産業理工学部は序盤試合を有利に進め、中盤日本経済大学に逆転されるものの決定機をものとし勝利を収めた。

第２試合

福岡工業大	２	２	００	３	６	０	１	０		**14**
久留米大医学部	０	０	２	１	２	３	０	００		**８**

（福工）原田・錦戸－谷
（久医）野津原・相良悠－森下
☆三塁打　樋口・大坪（福工）
☆二塁打　谷・嶋田（福工）

〈戦評〉
序盤は福岡工業大学がリードするものの中盤から両校とも点の取り合いとなったが終盤に得点し勝利した。

第３試合

熊本学園大学	１	００	０	１	０	１	１	５		**９**
長大経済学部	０	００	０	０	０	０	０	００		**０**

（熊学）馬渡－川野
（長経）比田勝・山下－益丸・飯盛
☆本塁打　宮本（熊学）
☆二塁打　川野・行武・阿南・馬渡・宮本（熊学）

〈戦評〉
初回、熊本学園大学一番宮本の初回先頭打者ホールラン以降は両チーム一点を争う投手戦となっていたが、終盤に長崎大学経済学部の投手を熊本学園大学の打者が攻略し勝利した。

５月18日　汐井球場
第１試合

久留米大学	０	００	００	０	７	００	３			**10**
福岡教育大学	０	０１	０	１	０	００	０			**２**

（久大）中村・御厨・山口－松本
（福教）福山・渡邊・小堀－渡真利
☆三塁打　山路（久大）
福山・渡真利（福教）
☆二塁打　松元（久大）

〈戦評〉
序盤は福岡教育大学が先制、追加点を挙げ勢いに乗っていたが、６回にミスや連打などで一気に７点を挙げ久留米大学が逆転し勝利した。

第２試合

長崎国際大学	２	４	１	４	００	３				**14**
九州国際大学	０	２	００	０	１	１x				**４**

（７回コールド）

（長国）崎田－松下
（九国）徳永・安永－松下・中津留
☆本塁打　長橋（長国）
☆三塁打　長橋・村岡（長国）
☆二塁打　大石（長国）、友寄（九国）

〈戦評〉
序盤に長崎国際大学は集中打で４回までに11点を挙げた。九州国際大学は、二人の投手で継投したものの踏ん張ることができなかった。

第３試合

日本文理大学	０００００００	０
九州共立大学	１０４４００×	９

（７回コールド）

（日文）下地・麻生－東
（九共）笠井・濱松－村上
☆三塁打　津久江（九共）
☆二塁打　津久江･村上･小山･笠井(九共)

〈戦評〉

九州共立大学は序盤から攻撃の手を止めず、計９得点を挙げ７回コールドと日本文理大学に圧勝した。

５月18日　筑豊緑地球場

第１試合

九州大学歯学部	０１００００００２０	３
福岡大学Ⅱ部	２０００３１０３０	９

（九歯）越智－鎮寿
（福Ⅱ）小島・松下－腰
☆三塁打　腰（福Ⅱ）
☆二塁打　清水・越智（九歯）

〈戦評〉

福岡大学Ⅱ部がチャンスをしっかりと活かすことができ得点を重ね、投手も３失点と試合を作り勝利した。

第２試合

久留米工大学	００００００	０
長崎県立大学	０２１０７x	10

（５回コールド）

（久工）江崎・川棚－神坂
（長県）松尾－水田
☆三塁打　本種（長県）
☆二塁打　谷口（長県）

〈戦評〉

５回に相手のエラーもあり、長崎県立大学が大量得点をとり10対０と５回コールドゲームで下した。

第３試合

佐賀大学医学部	０２０００００	２
鹿児島大学	５０１０００3x	９

（７回コールド）

（佐医）納所・照屋－島田
（鹿大）大田－前田
☆二塁打　照屋（佐医）、前田（鹿大）

〈戦評〉

鹿児島大学が初回に５点をとり、その後も投手がしっかりと佐賀大学医学部打線を抑え、７回コールドで勝利した。

５月18日　西部運動公園球場

第１試合

西南学院大学	０１１０００２０２	６
九州大学	０１１０００００１０	３

（西南）師岡・貝揃・竹原－伊藤
（九大）森脇－蔦尾
☆本塁打　末松（西南）
☆二塁打　杉谷２・饒平名（西南）
田尻（九大）

〈戦評〉

序盤は一進一退の攻防が続いたが、９回表の西・末松の本塁打で勝負を決めた。九州大学は８回裏に逆転の好機を作ったが、西南学院大学遊撃手の杉谷の攻守に阻まれ決定機を逃した。

第２試合

熊本大学	０００１００００００	１
東海大学九州	０００００４０１０×	５

（熊大）永山・寺岡－神田
（東九）高野－堀
☆二塁打　鶴・岡山（熊大）

〈戦評〉

熊本大学が４回に先制したが、５回裏に東海大学九州が５得点を挙げ試合を優位に進めた。

第３試合

長崎総科大学	０００１０００１１	３
熊本大学医学部	０００１００３０×	４

（総科）作江・金井田－清田
（熊医）末永・笹栗－河野
☆三塁打　河上（熊医）

〈戦評〉

序盤は両投手の好投による投手戦となった。熊本大学医学部は７回裏、４番河上と５番後生川のタイムリーで決勝点を挙げた。長崎総合科学大学はリードを許すも、粘り強い攻撃で１点差まで追い上げたが、あと一歩届かなかった。

５月18日　桧原球場

第１試合

九州大学医学部	０００００００１００	１
九州工業大学	０００００００２０×	２

（九大）上ノ瀬－三田
（九工）利田－橋野

〈戦評〉

均衡していた投手戦だったが７回に九大医学部の利田が崩れて、九州工業大学に軍配が上がった。

第２試合

長崎大学医学部	２３００００１００	６
産業医科大学	００１００２１６×	10

（長医）高木－福田
（産医）今野・森－森・日下
☆三塁打　森（産医）
☆二塁打　河原林・中前・高木（長医）
瀧川２・今野（産医）

〈戦評〉

序盤は長崎大学医学部が主導権を握っていたが、８回に産業医科大学の打線が爆発し勝利した。

第３試合

佐賀大学	００００００００	０
九州産業大学	００２６００×	８

（７回コールド）

（佐大）寺戸・黒木－萩尾
（九産）岩井・野口・平野－河村・高坂
☆二塁打　松尾（九産）

〈戦評〉

九州産業大学が終始試合の主導権を握り、試合を優位に進め７回コールドで佐賀大学に勝利した。

◎二回戦

５月19日　春日球場

第１試合

福岡大学	２１０２５	10
近大産業理工	００００００	０

（５回コールド）

（福大）西依・平山－笠井
（近大）白土・仙頭・安楽－伊藤
☆二塁打　山本（近大）
西・高井・西田（福大）

〈戦評〉

福岡大学は、毎回チャンスを作り５回までに10点をあげた。また、投げては西依が近畿大学産業理工学部打線を４回までに３安打に抑え勝利した。

第２試合

熊本学園大学	０００５０００２１	８
福岡工業大学	０３０１０００００	４

（熊学）馬渡－川野
（福工）佐藤・錦戸－谷
☆本塁打　馬渡（熊学）
☆三塁打　福田２・宮本（熊学）
☆二塁打　宮本２・川野（熊学）
佐藤（福工）

〈戦評〉

福岡工業大学は２回に３点を先制したものの、終盤にチャンスを作れなかった。熊本学園大学は、馬渡のホームランを機に４回に大量５得点を挙げた。８回９回にも追加点を挙げ勝利を収めた。

第３試合

長崎国際大学	００００００	０
久留米大学	３１１６×	11

（５回コールド）

（長国）崎田－松下
（久大）田代・御厨－松本
☆三塁打　七種（久大）
☆二塁打　森岡・吉松（久大）

〈戦評〉

１回から４回までコンスタントに得点をあげた久留米大学が５回コールド勝ちを収めた。投げては田代、御厨の継投で長崎国際大学打線をノーヒットに抑えた。

５月19日　筑豊緑地球場

第１試合

福岡大学Ⅱ部	１０００００００００	１
九州共立大学	０００００００１００1x	２

（延長12回）

（福Ⅱ）松下・重－腰
（九共）上岡・笠井－村上
☆二塁打　小山・笠井（九共）

〈戦評〉

福岡大学Ⅱ部が先制しそれ以降は均衡した試合展開となるが、９回裏に九州共立大学が同点に追いつき延長12回にサヨナラで勝利した。

第２試合

長崎県立大学	１００００２００１	４
鹿児島大学	１００００００１１	３

（長県）松尾・楠本－水口・熊脇
（鹿大）大田－前田
☆二塁打　平原・日高・宮崎（鹿大）

〈戦評〉

両投手の好投により均衡したまま試合終盤を迎え、９回裏に長崎県立大学が勝ち越し鹿児島大学に勝利した。

５月19日　桧原球場

第１試合

西南学院大学	０００１２０１１１	６
東海大学九州	０００００１０１	２

（西南）師岡・竹原－伊藤
（東九）村山・高野－堀
☆本塁打　伊藤（西南）
☆二塁打　松崎（西南）
木原２・石原（東九）

〈戦評〉

西南学院大学がコンスタントに点を取り、投手もしっかりと継投して、６対２で東海大学九州を下した。

第２試合

熊本大学医学部	１０２０１１０００	５
九州工業大学	０００００１０１１	３

（熊医）呉屋・朔・笹栗－河上
（九工）上ノ瀬・椎葉－三田
☆三塁打　椎葉（九工）
☆二塁打　谷村（熊医）

〈戦評〉

熊大医学部がランナーをためしっかりとタイムリーで得点を重ねていった。九州工業大学も最後に粘りを見せたが、あと一歩及ばなかった。

第３試合

九州産業大学	０１００００００	１
産業医科大学	０１０００００３×	４

（九産）平倉・岩井－高坂
（産医）岸上・森
☆本塁打　森（産医）
☆三塁打　日下（産医）
☆二塁打　本田（九産）

〈戦評〉

九州産業大学が優位と思われたが、両先発の力投で緊迫した投手戦となった。８回表に、九州産業大学は２死３塁の好機を逃すと、その裏、丸野のスクイズと主将、日下の２点タイムリー三塁打で勝ち越され敗れた。

◎準々決勝

５月20日　春日球場

第１試合

福岡大学	３０００１２０００	６
熊本学園大	０００４０００１０	５

（福大）平野・倉田・西依－笠井・松永
（熊学）梶取－川野
☆本塁打　仲間（福大）
☆三塁打　福田（熊学）
☆二塁打　西田・平野・大久保（福大）

〈戦評〉

初回、仲間のバックスクリーンに飛び込む３ランホームランで先制し、そのまま勝利するかと思われたが、熊本学園大学が４回に走者一掃のタイムリーを含む４点を取り逆転したが、その後、中盤に福岡大学が追加点を挙げ勝利した。

第２試合

九州共立大学	０００００１１００１	３
久留米大学	１０００００１００	２

（九共）笠井－村上
（久大）田代・中村－松元
☆二塁打　吉松・島崎（久大）

〈戦評〉

初回に久留米大学が先制したものの、その後のチャンスであと１本が出なかった。九州共立大学はチャンスを確実にものにし、笠井の力投に打線が応じた。

５月20　桧原球場

第１試合

西南学院大学	０００６００００００	６
長崎県立大学	０００００１３０×	４

（西南）師岡・財前－伊藤
（長県）松尾・今西・楠本－水田
☆二塁打　杉谷（西南）、宮崎（長県）

〈戦評〉

西南学院大学は、４回２死走者３塁から、四球２つをはさみ５連続タイムリーで一挙６点をとり、試合を優位に進めた。長崎県立大学は７回、本種、川端のタイムリーで２点差まで追い上げたが、続く２死満塁の好機で逆転できず、惜しくも敗れた。

第２試合

熊本大学医学部	１	１	１	２	０	０	０	１	０	**６**
産業医科大学	０	２	０	０	０	０	４	０	１x	**７**

（熊医）末永・藤崎・呉屋・笹栗－河上
（産医）今野・森・岸上－森・日下・森
☆本塁打　岸上（産医）
☆二塁打　瀧川・岸上・森（産医）

〈戦評〉

産業医科大がサヨナラで、シーソーゲームを制した。３点を追う７回裏、産業医科大学は、１点を返した後、途中登板しているエースの岸上が逆転３点本塁打を放った。直後に同点に追いつかれるも、９回裏岸上の二塁打で好機を作り、最後は、７番・平川の中越えサヨナラ打で勝負を決めた。

◎準決勝
５月21日　春日球場
第１試合

九州共立大学	０	３	０	０	０	０	０	１	０	**４**
福 岡 大 学	１	３	１	０	０	０	０	４	×	**９**

（九共）上岡・濱松－村上
（福大）西依－笠井
☆本塁打　大久保（福大）
☆三塁打　新垣（九共）、大久保（福大）
☆二塁打　村上（九共）
西２・西依２（福大）

〈戦評〉

序盤に両校とも点を取り合うが、その後は１点を争う均衡した試合展開となった。終盤、九州共立大学の投手、上岡がアクシデントにより降板、２番手の濱松が力投するものの８回裏に福岡大学の大久保が３ランホームランを打ちこの試合を制した。

第２試合

西南学院大学	２	０	０	４	０	３	２			**11**
産業医科大学	０	０	０	０	０	０	０			**０**

（７回コールド）

（西南）内山－伊藤
（産医）鈴木・今野－森
☆三塁打　伊藤（西南）
☆二塁打　大津留（西南）

〈戦評〉

西南学院大学は初回に先制すると、チャンスで得点を重ね７回までに11点を奪いコールドで勝利した。産業医科大学もチャンスは作るものの、あと一打がでず、西南学園大学投手、内山の前に０点に抑えられ敗退した。

◎５位決定戦予選（敗者復活戦）
５月21日　桧原球場
第１試合

久 留 米 大 学	１	１	２	０	０	２	１	１	０	**８**
熊本大学医学部	１	０	０	２	１	０	０	０	０	**４**

（熊大）御厨－松元
（熊医）呉屋・藤崎－河上
☆三塁打　佐藤（熊医）
☆二塁打　末松・谷村（熊医）
牧山・島崎２・森岡（久大）

〈戦評〉

序盤は均衡していたが、６回以降無失点で切り抜けた久留米大学が打ち勝った。

第２試合

長崎県立大学	０	１	０	０	５	０	１	０	０	**７**
熊本学園大学	３	０	２	０	１	０	０	０	０	**６**

（長県）松尾・今西・楠木－水田
（熊学）馬渡・高橋－川野
☆三塁打　水田（長県）
☆二塁打　松尾・谷口（長県）
川野・宮本（熊学）

〈戦評〉

序盤、熊本学園大学がリードしていたものの、５回に粘りを見せた長崎県立大学打線が爆発し、接戦を制した。

◎５位決定戦
５月22日　春日球場

久 留 米 大 学	０	０	０	０	０	１	１	０		**２**
長崎県立大学	０	０	０	０	０	０	０	０		**０**

（久大）田代－松元
（長県）松尾－水田
☆二塁打　山路（久大）

〈戦評〉

初回から互いにランナーを出すものの、両チームの投手の好投、好守備により６回まで無失点。久留米大学が７回にエラーでチャンスを広げ、再び二死からセカンドの悪送球を誘い先制し、８回にも追加点を挙げ清瀬杯出場を手にした。

◎三位決定戦

九州共立大学	５	１	０	１	０	１	０			**８**
産業医科大学	０	０	０	０	０	０	１x			**１**

（７回コールド）

（九共）笠井－村上
（産医）岸上・森
☆本塁打　岡田（九共）
☆三塁打　笹冨２（九共）
☆二塁打　笠井（九共）、眞鍋（産医）

〈戦評〉

初回から九州共立大学ペースで試合が進んだ。九州共立大学先発の２年生投手、笠井は初回からストライク先行の好ピッチングで７回を投げて１失点の完投。九州共立大学が全日本大会への切符を掴んだ。

◎決勝戦

西南学院大学	４	１	０	０	０	２	０	０	０	**７**
福 岡 大 学	０	０	０	１	２	０	１	２	１x	**９**

（西南）師岡・財前・竹原－伊藤
（福大）平野・倉田・平山・山長・西依－笠井・松永・辰野
☆本塁打　大津留２（西南）、仲間（福大）
☆二塁打　大津留（西南）
松永・西・河野・西田（福大）

〈戦評〉

初回、西南学院大学が大津留のホームランを始めとする集中打で４点を奪い試合を優位に進めたが、福岡大学も粘りをみせ終盤までに１点差まで追いつくと９回には西田の同点タイムリー、延長10回には仲間のサヨナラ２ランホームランで勝利し今大会を制覇した。

◎表彰
優　勝　福岡大学
準優勝　西南学院大学
３　位　九州共立大学
４　位　産業医科大学
５　位　久留米大学

◎表彰選手
最優秀選手　仲間　俊貴　福岡大学
優 秀 選 手　大津留拓己　西南学院大学
敢 闘 選 手　岡田　　築　九州共立大学
敢 闘 選 手　岸上　赳大　産業医科大学
敢 闘 選 手　田代　貴裕　久留米大学

◎ベストナイン
投　手　笠井　良平　九州共立大学
捕　手　伊藤　滉治　西南学院大学
一塁手　権原　良介　九州共立大学
二塁手　大津留拓己　西南学院大学
三塁手　青佐　陽仁　久留米大学
遊撃手　西田　侑矢　福岡大学
外野手　山路　敏展　久留米大学
　　西　　勇治　福岡大学
　　笹冨　友宏　九州共立大学

九州選手権に優勝をして

福岡大学主将　笠井　亮佑

３年ぶり39回目の優勝でした。

今大会は例年と違い、近年全国大会に出場できていなかった大学が勢いを付けて勝ち上がり全国大会出場を決めていた中、今年も全国大会の出場権を獲得し、そして、昨年は３位、一昨年は準優勝と近年優勝から遠ざかっていたなかでの優勝だったので嬉しかったです。優勝することができましたが、今大会は各大学レベルが均衡していて試合は一時も油断することができなかったなと感じました。しかし、ピンチの時もチャンスの時もスタンドの応援の声が常に聞こえました。現在部員が100名を超え、半数以上がベンチに入れないという現状ではありますが、お互い切磋琢磨し、メンバーに入れなかった人が大会前には練習のサポートをしてくれたということで、試合に出ているメンバーも出ていない人の分まで頑張ろうという気持ちが各選手の全力プレーに繋がったと思います。この優勝は部員全員で勝ち取ったものでした。

最後に大会運営に関わったすべての方にこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

九州選手権大会を終えて

九州地区学生幹事長　松下　晋也

幹事を一新して、初の大会運営ということで、入念な打ち合わせを行い大会運営に挑みました。大会２日目で、天候不良により延期の恐れもありましたが、幹事及び理事の皆さんのおかげで無事、予定通り大会を終えることができました。決勝戦は劇的な試合展開で福岡大学が優勝し、西南大学が去年の雪辱を晴らす結果となりました。また、今大会を通して幹事が大きく成長した大会だと感じました。一人一人が、幹事会というチームのために努力することの大切さを、学ぶいい機会となりました。幹事の皆さんには今回学んだことを、今後に役立てていってほしいと思います。また、この場をお借りして、今大会において、協賛、ご支援頂いた関係各所に感謝申し上げます。ありがとうございました。

主将会議

組み合わせ抽選会

第17回九州地区大学
準硬式野球秋季大会

◎11月８日　春日球場
第１試合

福岡大学	０	０	１	２	１	０	０	０	０	**４**
九州共立大学	０	０	２	１	２	０	０	０	×	**５**

（福）西依・倉田－松永
（九）濵松・笠井－村上
☆本塁打　小山（九）
☆三塁打　津久江（九）
☆二塁打　田中・藤田（福）

第２試合

九州国際大学	０	２	２	０	０	２	１			**７**
佐賀大学	０	０	０	０	０	０	０			**０**

（７回コールド）
（九）池原・徳永－池田
（佐）黒木・荒木－萩尾
☆三塁打　照屋（九）
☆二塁打　犬塚（九）

◎11月９日　春日球場
第１試合

長崎県立大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	１	**１**
久留米大学	０	０	０	０	０	０	０	０	０	２×	**２**

（延長10回）
（長）松尾－水田
（久）田代－高木
☆本塁打　本種（長）
☆二塁打　松尾（長）

第２試合

熊本学園大学	１	０	０	０	０	０	０	０	０	１	**２**
九州共立大学	０	０	０	４	０	２	１	０	×		**７**

（熊）高橋・伊瀬・岡本－諸富
（九）青柳・津久江－村上
☆三塁打　新垣（九）
☆二塁打　森・宮本（熊）
津久江・新垣（九）

◎11月９日　桧原球場
第１試合

東海大学九州	０	０	０	０	０	０	０	０			**０**
九州産業大学	０	０	５	０	１	３	×				**９**

（７回コールド）
（東）村山・高野－堀
（九）岩井－矢田
☆三塁打　堤田（九）
☆二塁打　池田（九）

第２試合

産業医科大学	１	２	０	０	０	０	０	０	０	０	**３**
九州国際大学	０	０	０	１	０	０	０	１	０	０	**２**

（産）鈴木－日下
（九）安永・徳永－池田
☆二塁打　富田（産）、犬塚・池田（九）

◎11月11日　　春日球場
準決勝　第１試合

九州共立大学	０	１	１	０	３	０	０	０	０		**５**
久留米大学	０	０	０	１	０	０	０	１	０		**２**

（九）笠井－村上
（久）御厨・山口陽・小野－高木
☆本塁打　岩田（九）、青佐（久）

準決勝　第２試合

産業医科大学	０	０	０	１	０						**１**
九州産業大学	５	０	５	０	１	０	０	０	１×		**11**

（５回コールド）
（産）鈴木－日下
（九）平倉－矢田
☆二塁打　平倉（九）

◎11月23日　春日球場
決勝

九州共立大学	５	０	０	１	１	０	０	０	０		**７**
九州産業大学	０	３	０	０	０	０	０	５	×		**８**

（九共）青柳－村上
（九産）平倉・岩井－河村
☆三塁打　椎原（九共）
☆二塁打　平屋（九産）

◎表彰
優　勝　九州産業大学
準優勝　九州共立大学

最優秀選手　長尾　宗樹　九州産業大学
敢闘選手　青柳　政潔　九州共立大学

秋季大会を優勝して

九州産業大学　主将　河村　隆太

秋季大会を終え、優勝という最高の形で今シーズンを終えることができました。

春の大会では優勝することができずに、５月に新チームがスタートしました。なんとか勝てるチームになりたい，その一心で練習、反省、そしてまた練習の繰り返しでした。選手や学生コーチ、マネージャーがそれぞれに苦しさを感じていて、優勝するチームには程遠いものでした。しかし、今回の決勝戦ではその頃とは別人のような成長した姿を全部員が見せてくれたと思います。優勝したことも嬉しかったですが、なによりその成長を感じることができたのが主将としての１番の喜びです。

優勝した瞬間から、次の目標に向かってまた精進していかなければならないと思っております。この優勝に決して驕らず、前回負けた春にリベンジして、全国大会で優勝できるチームを作っていきます。

優勝校　九州産業大学　主将　河村　隆太

秋季九州大会運営を終えて

学生幹事長　松下　晋也

今回の第17回秋季大会は、９ブロック大会の運営を任されている１週間前に行われて、幹事、マネージャーが大いに活躍をしてくれたお陰で大会を無事の終えることができたと思います。

春の選手権大会を経験していたので、幹事、マネージャーが各自、自分の任せられている仕事を難なくこなしてくれたことに、この場を借りて感謝します。大会自体は優勝九州産業大学、準優勝　九州共立大学となりましたが、この２チーム以外のチームも来年度の選手権大会で是非とも、奮闘して頂き、全国大会への切符を獲得していただきたいと思います。

また、たくさんの助言と協力を頂きました、横山理事長をはじめ理事の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

九州地区連盟　学生幹事長　松下　晋也

福岡県連盟主催交流試合

◎11月23日　春日球場

第一試合

福岡県選抜	０００００００００	０
長崎県選抜	０００１１１００×	３

（福）徳永・河原・内野・川原－矢田・池田

（長）末永－水田

第二試合

長崎県選抜	０００２００	２
福 岡 大 学	００２１７×	10

（６回日没コールド）

（長）平尾・浜口・泊－村岡

（福）瀬戸口・重富・山下－内野・船越

☆二塁打　内野・橋本・真島（福）

◎11月24日　桧原球場

第一試合

福 岡 大 学	１０００００２３１０	７
福岡県選抜	０００４００１００	５

（福大）高柳・内堀・中原・西－五反田

（福県）池原・川原・内野－池田・矢田

☆三塁打　賀茂（福大）

☆二塁打　伊藤（福大）

第二試合

医歯薬選抜	０００００００００	０
福岡県選抜	００１００２００×	３

（医）納所・鈴木・高橋－島田・橋野

（福）松下・徳永・河原－矢田・池田

☆二塁打　平屋（福）

福岡県大学準硬式野球連盟選抜チーム

九州六大学準硬式野球

春季リーグ戦

◎３月16日　桧原球場
第１試合
西南学院大　１００００００００｜１
福　岡　大　２１０００１０４ｘ｜８
（８回コールド）
（西）師岡・内山－伊東
（福）平野－笠井
☆二塁打　日高（福）
第２試合
佐　賀　大　０００１００００００｜１
九　州　大　０００１００１０１ｘ｜３
（佐）中村優・黒木－萩尾
（九）森脇－蔦尾
☆二塁打　森脇・山木（九）
第３試合
福岡教育大　００００１｜１
久留米大　００７２２ｘ｜11
（５回コールド）
（教）小堀・上杉－渡真利
（久）中村－松元
☆二塁打　山路・松元（久）

◎３月19日　鳥栖球場
第１試合
九　州　大　０６０７０１０｜14
佐　賀　大　００２０３０２｜７
（７回コールド）
（九）森脇・児島－蔦尾
（佐）黒木・中村優・中村将－萩尾
☆本塁打　山木（九）
☆三塁打　渡部（九）
☆二塁打　諏訪下・森脇・永松（九）
杉原（佐）
第２試合
久留米大　５１００１００００｜７
福岡教育大　０００００２３００｜５
（久）田代・御厨・中村－松元・森岡
（福）上杉・小堀－渡真利
☆二塁打　上野（久）、渡真利（福）

第３試合
福　岡　大　０８００００３｜11
西南学院大　０００００００｜０
（６回コールド）
（福）西依－松永
（西）砂川・竹原・近藤－野口
☆三塁打　高井・松永（福）
☆二塁打　河野（福）

◎３月23日　田尻グリーンフィールド
第１試合
福岡教育大　０００００１００１｜２
福　岡　大　０２０００１００×｜３
（教）小堀－渡真利
（福）平野・山長・倉田－笠井
☆三塁打　渡真利（教）
☆二塁打　平野（福）
第２試合
西南学院大　０００００１００００｜１
九　州　大　０００１０２００×｜３
（西）師岡－野口
（九）森脇－蔦尾
☆三塁打　吉柳（西）、森脇（九）
☆二塁打　野口（西）、山木・森脇（九）
第３試合
佐　賀　大　０００００００２０００｜２
久留米大　０００００００１１０１ｘ｜３
（延長10回）
（佐）黒木－萩尾・山下
（久）中村－松元
☆本塁打　古賀（佐）
☆二塁打　上野（久）

◎３月24日　佐賀ブルースタジアム
第１試合
久留米大　１００３００００００｜４
佐　賀　大　０００００００００｜０
（久）田代・御厨－松元
（佐）中村優－萩尾
☆三塁打　青佐・上野（久）
☆二塁打　吉松（久）
第２試合
福　岡　大　４０１０１００００｜６
福岡教育大　０００１１００００｜２
（福）西依・瀬戸口・平山・倉田－笠井・
松永・辰野
（教）上杉・福山－渡真利
☆三塁打　竹原・久貝（福）
第３試合
九　州　大　０１１０００００１０｜３
西南学院大　１０２０００３１×｜７
（九）岡田－蔦尾
（西）内山・竹原－伊東
☆二塁打　山木（九）、末松（西）

◎３月29日　鳥栖球場
第１試合
西南学院大　０１００４３２｜10
福岡教育大　０１０００００ｘ｜１
（７回コールド）
（西）師岡・近藤－伊東
（福）小堀・福山・岡－渡真利
☆二塁打　師岡・大園・末松・大津留・
伊東（西）

第２試合
九　州　大　００１００００１０２｜４
久留米大　０００００１１０００３ｘ｜５
（九）森脇－蔦尾
（久）中村－松元
☆二塁打　山路・吉松・上野・松元（久）
第３試合
佐　賀　大　００００００１｜１
福　岡　大　４０００００２ｘ｜８
（７回コールド）
（佐）黒木・中村優・中村将－萩尾
（福）平野－笠井
☆本塁打　久保田（福）
☆三塁打　大久保（福）
☆二塁打　河野・田中（福）

◎３月30日　鳥栖球場
第１試合
久留米大　０３５００１３｜12
九　州　大　１０００３００｜４
（７回コールド）
（久）田代・御厨－松元
（九）岡田・児島－蔦尾
☆三塁打　森脇（九）
☆二塁打　田中（九）
第２試合
福　岡　大　４００００００５｜９
佐　賀　大　００００１０００｜１
（８回コールド）
（福）山長・倉田・西－笠井・松永
（佐）寺戸－萩尾
☆二塁打　河野（福）
第３試合
福岡教育大　０００２０００｜２
西南学院大　２０２１２２×｜９
（７回コールド）
（教）上杉－渡真利
（西）内山－伊東
☆本塁打　大津留（西）
☆三塁打　吉柳（西）
☆二塁打　進藤・琴岡（教）
吉木・伊東（西）

◎４月13日　筑豊球場
第１試合
久留米大　０２１００１０４｜８
福　岡　大　０１０００００ｘ｜１
（８回コールド）
（久）田代－松元
（福）平野・山長・倉田－笠井・松永
☆二塁打　中村･山路（久）、大久保（福）
第２試合
西南学院大　１０５０４００｜10
佐　賀　大　０２００００ｘ｜２
（７回コールド）
（西）師岡－伊東
（佐）寺戸－山下
☆二塁打　末松・伊東（西）
矢野・黒木（佐）

第３試合
福岡教育大　０００００１０００｜１
九　州　大　１０１０１０００×｜３
（教）小堀－渡真利
（久）森脇－蔦尾
☆三塁打　渡真利（教）
☆二塁打　正願（九）

◎４月14日　筑豊球場
第１試合
佐　賀　大　０４００００００｜４
西南学院大　０００００００００｜０
（佐）黒木－萩尾
（西）内山－伊東
☆二塁打　萩尾（佐）内山（西）
第２試合
九　州　大　７１１０００００｜９
福岡教育大　０７０００００２０｜９
（九）岡田・森脇－蔦尾
（教）上杉・倉内・小堀－渡真利
第３試合
福　岡　大　０００００００１２｜３
久留米大　０００００００２０｜２
（福）西依・山長・倉田－松永・辰野
（久）田代－松元
☆三塁打　藤田（福）
☆二塁打　山路・河村（久）

◎４月27日　桧原球場
第１試合
福岡教育大　０１１０００００１０｜３
佐　賀　大　０１０２１０２２×｜８
（教）上杉－渡真利
（佐）黒木・高橋・中村優－萩尾
☆三塁打　上田・進藤（教）
矢野・片山（佐）
☆二塁打　黒木（佐）
第２試合
九　州　大　０００００００２｜２
福　岡　大　０１０００２２×｜５
（九）岡田・島田－蔦尾・平岡
（福）西依－笠井
☆二塁打　田尻（九）、大久保（福）

第３試合
西南学院大　００２０００００｜２
久留米大　３０３２００００×｜８
（西）師岡・竹原－伊東
（久）中村・御厨－松元
☆本塁打　山路（久）
☆三塁打　末松・大津留（西）
☆二塁打　吉柳（西）、上野・森岡（久）

◎４月28日　桧原球場
第１試合
福　岡　大　００００１２００２｜５
九　州　大　０００００００００｜０
（福）山長・倉田－笠井・松永
（九）森脇－蔦尾
☆本塁打　西（福）
☆三塁打　河野・藤田（福）
☆二塁打　笠井・仲間（福）
第２試合
久留米大　１１３２１４｜12
西南学院大　１００００００｜１
（６回コールド）
（久）田代－松元
（西）内山・師岡・竹原－伊東
☆三塁打　牧山（久）
☆二塁打　吉松・山路・森岡・松元（久）
杉谷・伊東（西）

第３試合
佐　賀　大　０１０３２２０００｜８
福岡教育大　１０２０４００００｜７
（佐）中村優・黒木－萩尾
（教）上杉・倉内・渡真利－渡真利・琴岡
☆本塁打　山崎（教）
☆三塁打　黒木（佐）
☆二塁打　萩尾（佐）、上田･渡真利（教）

◎５月３日　桧原球場
優勝決定戦
久留米大　５０００１００００｜６
福　岡　大　００２０００１００｜３
（久）田代・御厨・中村－松元
（福）山長・平山・西・内堀－笠井・松永
☆本塁打　松永（福）
☆二塁打　上野・森岡・牧山（久）
河野（福）

◎表彰選手
最優秀選手　松元　貴志　久留米大学
優秀選手　西田　侑矢　福岡大学
敢闘選手　森脇　健太　西南学院大学
最優秀防御率　中村　優佑　久留米大学0.95
最多勝利投手　田代　貴裕　久留米大学５勝
最多奪三振　森脇　健太　九州大学　49個
首位打者　吉松　謙太　久留米大学.500
本塁打王　該当者なし
打点王　山路　敏展　久留米大学10点
盗塁王　吉松　健太　久留米大学８個

◎ベストナイン
投手　中村　優佑　久留米大学
捕手　松元　貴志　久留米大学
一塁手　吉柳　諒一　西南学院大学
二塁手　上野　諒介　久留米大学
三塁手　該当者なし
遊撃手　西田　侑矢　福岡大学
外野手　末松　幹雄　西南学院大学
吉松　謙太　久留米大学
山路　敏展　久留米大学

◎打率十傑

1位	吉松	謙太	久留米大学	0.500
2位	伊東	滉治	西南学院大学	0.441
3位	末松	幹雄	西南学院大学	0.422
4位	山路	敏展	久留米大学	0.405
5位	西田	侑矢	福岡大学	0.400
6位	松元	貴志	久留米大学	0.375
7位	上野	諒介	久留米大学	0.371
8位	吉柳	諒一	西南学院大学	0.359
9位	渡真利	将平	福岡教育大学	0.389
10位	西	勇治	福岡大学	0.326

春季リーグ戦の運営を終えて

学生幹事長　九州大学　村井　雄星

今回のリーグ戦は、優勝争いや３位争いが最終戦までわからない白熱したリーグ戦となった。特に久留米大学と福岡大学の優勝争いはリーグ戦の日程では決まらず、優勝決定戦で久留米大学が優勝を決めた。久留米大学はＭＶＰに輝いた松元捕手が中村、田代を中心とした投手陣を好リードし、打撃陣は首位打者を獲得した吉松を筆頭に打撃10傑に４人が入るという抜け目のない打線が印象的だった。惜しくも準優勝に終わった福岡大学も控え選手の代打やリリーフで貢献し、選手層の厚さが際立っていた。

リーグ戦を通して、４年生の活躍が目立った。打撃10傑には、伊東（西南）末松（西南）松元（久留米）渡真利（福教）西（福大）の５人が入り、それぞれがチームを引っ張った。次の秋季リーグ戦ではこれまで主力だった４年生の穴をどれだけ埋めることができるのかに注目したい。

今大会も陰で裏方の仕事をしてくれた学生幹事、マネージャー達がいたからこそ、素晴らしい大会にすることができた。幹事一人一人がそれぞれの仕事を全うし、白熱したリーグ戦を目に見えないところでしっかりと支えてくれた。リーグ戦中に第１試合の前に来て第３試合が終わってから帰るというだけではなく、リーグ戦前や後もパンフレット作成やトロフィーの発注などを確実にこなしてくれた幹事たちに心から感謝したい。

優勝：久留米大学

	久留米大学	福岡大学	九州大学	西南大学	佐賀大学	福岡教育大学	勝敗
①久留米大学		○８－１ ●２－３	○５－４ ○12－５	○８－２ ○12－１	○３－２ ○４－０	○11－１ ○７－５	９勝１敗
②福岡大学	●１－８ ○３－２		○５－２ ○５－０	○８－１ ○11－０	○８－１ ○９－１	○３－２ ○６－２	９勝１敗
③九州大学	●４－５ ●５－12	●２－５ ●０－５		○３－１ ●３－７	○３－１ ○14－７	○３－１ △９－９	４勝５敗１分
④西南学院大学	●２－８ ●１－12	●１－８ ●０－11	●１－３ ○７－３		○10－２ ●０－４	○10－１ ○９－２	４勝６敗
⑤佐賀大学	●２－３ ●０－４	●１－８ ●１－９	●１－３ ●７－14	●２－10 ○４－０		○８－３ ○８－７	３勝７敗
⑥福岡教育大学	●１－11 ●５－７	●２－３ ●２－６	●１－３ △９－９	●１－10 ●２－９	●３－８ ●７－８		０勝９敗１分

秋季リーグ戦

◎９月６日　桧原球場

第１試合

福岡教育大	０	０	０	０	０	０	０	０	0
久留米大	３	０	０	２	０	１	１x	7

（７回コールド）

（教）倉内・福山・上田－塩田

（久）田代・山口陽－高木

☆三塁打　福嶋（教）

☆二塁打　山路・原・高木（久）

第２試合

西南学院大	０	０	０	０	０	０	２	１	３	6
九州大	０	０	０	０	０	０	０	０	０	0

（西）竹原・中村－藤田

（九）岡田－高橋憲

☆二塁打　大園・西依（西）

第３試合

佐賀大	０	５	０	０	１	０	２	０	8
福岡大	０	０	０	０	０	２	０	０	2

（８回日没コールド）

（佐）荒木・黒木－萩尾

（福）倉田・西・瀬戸口－松永

☆三塁打　清田（佐）、久貝（福）

☆二塁打　萩尾（佐）、松永（福）

◎９月７日　田尻グリーンフィールド

第１試合

九州大	０	０	１	０	０	０	０	０	０	1
西南学院大	０	０	１	０	０	０	６	×	7

（九）田中雄・岡田・児島・田中雄－高橋憲

（西）山崎・財前－藤田

☆二塁打　土屋・高橋憲（九）

第２試合

福岡大	３	０	３	４	１	０	３	14
佐賀大	１	０	０	０	１	０	１	3

（７回コールド）

（福）的野－松永

（佐）中村優・黒木－萩尾

☆本塁打　久貝（福）

☆三塁打　大久保（福）、藤田（佐）

☆二塁打　松永（福）、中島（佐）

第３試合

久留米大	０	０	０	０	０	０	１	０	０	1
福岡教育大	０	１	０	０	１	０	０	０	×	2

（久）御厨・小野－七種

（教）上田・福山－塩田

☆二塁打　七種（久）

◎９月14日　田尻グリーンフィールド
第１試合
西南学院大　０１１２２００００｜６
福　岡　大　１００００１２０｜４
（西）竹原・財前－野口・田中優
（福）倉田・内堀・西－松永・辰野
☆本塁打　河野（福）
☆二塁打　吉柳・高野（西）、田中（福）
第２試合
佐　賀　大　０２００１０２２｜７
久留米大　０００００００｜０
（８回コールド）
（佐）黒木－萩尾
（久）田代－岩本
☆本塁打　清田（佐）
☆二塁打　橋本・野田（佐）
第３試合
福岡教育大　００１５０００｜６
九　州　大　０２３２８０×｜15
（７回コールド）
（教）倉内・西本・渡辺・上田－琴岡・中村
（九）岡田－高橋憲・平岡
☆三塁打　児島（九）

◎９月15日　筑豊緑地球場
第１試合
久留米大　００２１５０４｜12
佐　賀　大　００００００｜０
（７回コールド）
（久）御厨・山口陽－高木
（佐）荒木・黒木－萩尾
☆三塁打　山路（久）
☆二塁打　山路・島崎（久）
第２試合
九　州　大　０１０１５０３００｜10
福岡教育大　０３０００５１２×｜11
（九）田中雄・児島－高橋憲
（教）上田・福山－中村・塩田
☆二塁打　村井・吉田・山木・土屋（九）
芳野（教）
第３試合
福　岡　大　０１００１０５｜７
西南学院大　３００１０００｜４
（７回日没コールド）
（福）的野・内堀・西・倉田－辰野
（西）財前・中村・竹原－野口・田中優
☆三塁打　大久保・久貝（福）
☆二塁打　大津留（西）

◎９月21日　春日球場
第１試合
福岡教育大　０００２０００００｜２
佐　賀　大　００１０１００００｜２
（延長10回時間規定）
（教）福山－塩田
（佐）黒木－萩尾
☆本塁打　中島（佐）
☆三塁打　渡邊（教）
☆二塁打　藤田・橋本（佐）
第２試合
九　州　大　００００００｜０
福　岡　大　２００３１１×｜７
（７回コールド）
（九）岡田・島田－高橋憲
（福）倉田・城本－辰野
☆三塁打　土屋（九）河野（福）
☆二塁打　大久保・久貝（福）
第３試合
西南学院大　００００１６２｜９
久留米大　１０６００５×｜12
（７回日没コールド）
（西）竹原・山崎・中村－藤田
（久）田代・小野・山口陽－高木
☆二塁打　砂川（西）、青佐・山口桂（久）

◎９月22日　桧原球場
第１試合
福　岡　大　００１１００２００｜４
九　州　大　０００００００００｜０
（福）的野－松永
（九）児島・田中雄－高橋憲
☆三塁打　松永（福）
☆二塁打　河野（福）、山木・土屋（九）
第２試合
久留米大　１１００２００００４｜８
西南学院大　１０１０００００００｜２
（久）田代・御厨－高木
（西）財前－砂川
☆三塁打　上野・山路（久）
☆二塁打　森岡・島崎・田代（久）
高野・砂川（西）
第３試合
佐　賀　大　０００００００１０｜１
福岡教育大　０００００００１０｜１
（９回時間規定）
（佐）荒木・中村・黒木－萩尾
（教）上田・福山－琴岡・中村
☆二塁打　森山（教）

◎９月28日　鳥栖市民球場
第１試合
佐　賀　大　００１０２００００１｜４
西南学院大　００００２０３０×｜５
（佐）荒木・黒木－萩尾
（西）竹原・財前－砂川・藤田
☆三塁打　江口（佐）
☆二塁打　萩尾・中島（佐）
第２試合
九　州　大　０００００００４００｜４
久留米大　０１１０３２０２×｜９
（九）岡田・島田・田中雄・近藤－高橋憲
（久）田代・小野・山口陽－七種
☆本塁打　山路（久）
☆三塁打　山路（久）
☆二塁打　山路・山下仁（久）
第３試合
福岡教育大　０００００００００｜０
福　岡　大　１２０００１１２｜７
（８回コールド）
（教）井原・福山－中村
（福）西・城本－松永
☆三塁打　西（福）
☆二塁打　河野・松永（福）

◎９月29日　佐賀市民球場
第１試合
久留米大　０１１５２００｜９
九　州　大　０００１０００｜１
（７回コールド）
（久）御厨・山口陽－高木
（九）児島・田中雄－高橋憲
☆二塁打　田中雄（九）

第２試合

福　岡　大	0	0	0	1	3	1	0	0	0	5
福岡教育大	3	0	1	0	0	2	0	0	×	6

（福）的野・倉田－松永
（教）福山・上田－中村
☆三塁打　大久保・岩田（福）
上田・西本（教）
☆二塁打　大久保・西田（福）
福嶋（教）

第３試合

西南学院大	0	0	1	0	0					1
佐　賀　大	0	4	0	0	7	x				11

（５回コールド）
（西）山崎・竹原－砂川
（佐）中村優・黒木－萩尾
☆三塁打　清田・萩尾（佐）、砂川（西）

◎10月12日　春日球場
第１試合

福　岡　大	0	1	0	1	2	0	0	2	0	6
久留米大	1	0	0	0	3	0	0	0		4

（福）内堀・西・倉田・西依－辰野
（久）田代・御厨－高木
☆二塁打　岩田（福）、森岡（久）

第２試合

福岡教育大	0	0	3	1	0	0	3			7
西南学院大	0	0	0	0	0	0	0			0

（７回コールド）
（教）福嶋－中村大
（西）竹原・財前－藤田
☆二塁打　福嶋（教）
第３試合

佐　賀　大	2	3	0	1	1	0	0			7
九　州　大	0	0	0	0	0	3	0			3

（７回時間規定）
（佐）黒木・中村優－萩尾
（九）島田・田中雄－平岡・高橋憲
☆本塁打　清田（佐）
☆三塁打　藤田（佐）
☆二塁打　黒木（佐）、吉田（九）

◎10月13日　桧原球場
第１試合

西南学院大	1	2	0	2	3	0				17
福岡教育大	0	0	0	2	0					2

（５回コールド）
（西）中村－砂川
（教）井原・上田・福山－塩田・中村大
☆本塁打　大津留（西）
☆二塁打　大津留（西）
第２試合

九　州　大	0	0	0	1	0	0	0			1
佐　賀　大	0	2	4	0	2	0	×			8

（７回コールド）
（九）近藤・児島・岡田－高橋憲
（佐）荒木・黒木－萩尾・間部
☆三塁打　高橋憲（九）、萩尾（佐）
第３試合

久留米大	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
福　岡　大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

（久）御厨・田代－高木
（福）的野・倉田・西・西依－辰野
☆三塁打　島崎（久）
☆二塁打　御厨（久）

◎表彰選手

最優秀選手	山路　敏展	久留米大学	
優秀選手	萩尾　聖彦	佐賀大学	
敢闘選手	大久保賢太郎	福岡大学	
最優秀防御率	黒木　悠貴	佐賀大学	2.35
最多勝利投手	該当者なし		
最多奪三振	田代　貴裕	久留米大学23個	
首位打者	高野　郁史	西南学院大学	
	打率.500		
本塁打王	清田　　一	佐賀大学	２本
打点王	山路　敏展	久留米大学11点	
	大久保賢太郎	福岡大学	11点

盗塁王	青佐　陽仁	久留米大学７個	
	中島　達矢	佐賀大学	７個

◎ベストナイン

投手	黒木　悠貴	佐賀大学
捕手	萩尾　聖彦	佐賀大学
一塁手	島崎　悠太	久留米大学
二塁手	河野　　雄	福岡大学
三塁手	橋本　亮太	佐賀大学
遊撃手	藤田　和宏	佐賀大学
外野手	高野　郁史	西南学院大学
	中島　達矢	佐賀大学
	大久保賢太郎	福岡大学

◎打率十傑

１位	高野　郁史	西南学院大学	0.500
２位	大久保賢太郎	福岡大学	0.485
３位	吉柳　諒一	西南学院大学	0.412
４位	島崎　悠太	久留米大学	0.405
５位	中島　達矢	佐賀大学	0.371
６位	河野　　雄	福岡大学	0.370
７位	山路　敏展	久留米大学	0.343
８位	萩尾　聖彦	佐賀大学	0.333
９位	吉松　謙太	久留米大学	0.303
10位	藤田　和宏	佐賀大学	0.297
	橋本　亮太	佐賀大学	0.297

優勝：久留米大学

	久留米大	佐賀大	福岡大	西南大	福教大	九州大	戦績
①久留米大学		●0－7 ○12－0	●4－6 ○3－1	○12－9 ○8－2	○7－0 ●1－2	○9－4 ○9－1	７勝３敗
②佐賀大学	○7－0 ●0－12		○8－2 ●3－14	●4－5 ○11－1	△2－2 △1－1	○7－3 ○8－1	５勝３敗２分
③福岡大学	○6－4 ●1－3	●2－8 ○14－3		●4－6 ○7－4	○7－0 ●5－6	○7－0 ○4－0	６勝４敗
④西南学院大学	●9－12 ●2－8	○5－4 ●1－11	○6－4 ●4－7		●0－7 ○17－2	○6－0 ○7－1	５勝５敗
⑤福岡教育大学	●0－7 ○2－1	△2－2 △1－1	●0－7 ○6－5	○7－0 ●2－17		●6－15 ○11－10	４勝４敗２分
⑥九州大学	●4－9 ●1－9	●3－7 ●1－8	●0－7 ●0－4	●0－6 ●1－7	○15－6 ●10－11		１勝９敗

秋季リーグ戦の運営を終えて

学生幹事長　西南学院大学
辻村　健司

４年生が引退し、新チームで迎えた秋季リーグ戦は最終節まで順位がわからないという接戦のリーグ戦となった。優勝した久留米大学は、主将で最優秀選手に輝いた山路敏展が、プレーだけではなくベンチワークも最終節まで引っ張った。

これまでの大会では下位に低迷していたチームが今大会では、上位争いに加わることが目立った。

佐賀大学は、ベストナイン５人、打率１０傑４人と結果からも素晴らしい成績を残したことがわかる。３年生のバッテリー黒木、萩尾を中心に１，２年生の活躍がチームに大きな影響を与えた。福岡教育大学は、久留米大学・福岡大学に勝利するなどチーム力が確実に上がってきているということを今大会で証明した。

春季リーグ戦では、成長した選手達がどのようなプレーを見せてくれるかが楽しみだ。今大会も陰で裏方の仕事をしてくれた学生幹事、マネージャー達がいたからこそ、素晴らしい大会にすることができた。野球をするだけではなく、野球を通して、支えてくださっている両親、監督、学生コーチ、学生幹事、マネーシャーに感謝できるような選手が１人でも多く増えればよりよいリーグ戦になっていくと思う。リーグ戦でいえば、第１試合の前に来て第３試合が終わってから帰るというだけではなく、リーグ戦前や後もパンフレット作成やトロフィーの発注などを確実にこなしてくれた幹事たちに心から感謝したい。

福岡県大学準硬式野球

春季リーグ戦　Ⅰ部

◎３月16日　春日球場
第１試合

福工大	０	０	０	０	１	１	０	０	０	**２**
九産大	０	０	０	２	０	１	０	０	×	**３**

（福工）原田－山口
（九産）野口－八頭司
☆本塁打　野口（九産）
☆三塁打　松尾（九産）
☆二塁打　山口・原口慎（福工）

第２試合

九国大	００	２	６	２		10
九共大	００	０	０	０	０	０

（５回コールド）
（九国）徳永－松下
（九共）木原・岡田－村上
☆二塁打　安永・犬塚・岩崎（九国）
津久江（九共）

第３試合

近大工	３	０	０	４	１	０	１	０	０	**９**
福大Ⅱ	０	０	２	０	１	３	２	２	×	**10**

（近大）清水・白土－水永
（福Ⅱ）小島・久保田・松下－山崎・山田
☆本塁打　樋口３（近大）
☆二塁打　樋口・水永・阿部（近大）
田尻・橋本・重２（福Ⅱ）

◎３月17日　　筑豊緑地球場
第１試合

九共大	４	５	０	７	０					**16**
九国大	０	１	０	０	０					**１**

（５回コールド）
（九共）岡田・木原－村上・吉松
（九国）徳永・岩下・安永－松下
☆本塁打　村上（九共）
☆三塁打　岡田２・寺岡・津久江（九共）
☆二塁打　小山（九共）
喜友名・松下（九国）

第２試合

福大Ⅱ	３	０	０	０	０	６	５			**14**
近大工	１	０	１	０	０	０	０			**２**

（７回コールド）
（福Ⅱ）小島・松下－山崎
（近大）白土・清水－水永
☆本塁打　内布（福Ⅱ）
☆二塁打　南・田尻２・美口（福Ⅱ）

第３試合

九産大	０	１	０	１	０	２	０	４	０	**８**
福工大	０	０	０	１	０	０	５	０	０	**６**

（九産）杉澤・清川－高坂
（福工）錦戸－山口
☆二塁打　寺地（福工）
池田・月宮（九産）

◎３月25日　春日球場
第１試合

福工大	１	１	１	１	０	０	２	０	１	０	**７**
福大Ⅱ	０	０	１	０	２	３	１	０	０	０	**７**

（延長10回引き分け）
（福工）原田・錦戸－山口
（福Ⅱ）松下－山崎
☆三塁打　原田（福工）
☆二塁打　土井・嶋田（福工）

第２試合

九国大	０	１	０	０	０	１	０	０	０		**２**
九産大	０	１	３	１	０	０	０	５	×		**10**

（８回コールド）
（九国）徳永－中津留
（九産）奥田－川村
☆本塁打　徳永（九国）、松尾（九産）
☆三塁打　本田・中田（九産）
☆二塁打　中田（九産）

第３試合

近大工	０	０	０	１	０	２	０	０	**３**
九共大	１	１	０	２	２	０	２	2x	**10**

（８回コールド）

（近大）白土－水永
（九共）上岡－小山
☆本塁打　白土（近大）
☆二塁打　津久江・小山・寺岡（九共）

◎３月26日　　桧原球場

第１試合

九産大	０	１	０	１	８	０	２		**12**
九国大	０	１	０	０	０	０	０		**１**

（７回コールド）

（九産）野口・清川－高坂・村上
（九国）松下・安永・岩崎－中津留
☆三塁打　野口（九産）
☆二塁打　月宮２・松本・高坂・吉野（九産）
池田（九国）

第２試合

九共大	１	１	１	０	２	０	３	１	１	**10**
近大工	１	０	１	２	０	０	４	０	０	**８**

（九共）木原・岡田・上岡－小山・岡田・小山
（近大）清水・伊佐・白土－藤城
☆本塁打　小山（九共）
☆二塁打　青柳（九共）、阿部（近大）

第３試合

福大Ⅱ	１	０	０	０	１	０	０	０	３	**５**
福工大	０	１	０	０	０	１	０	４	×	**６**

（福Ⅱ）小島・久保田－山田
（福工）錦戸－山口
☆三塁打　嶋田（福工）
☆二塁打　石川・土井（福工）

◎３月31日　　桧原球場

第１試合

福大Ⅱ	０	０	１	０	０	０	０	０	１	**２**
九共大	３	０	０	０	０	１	０	０	×	**４**

（福Ⅱ）小島・重・小島－山崎
（九共）上岡－小山
☆二塁打　南（福Ⅱ）

第２試合

福工大	３	０	１	０	０	０	０	０	０	**４**
九国大	３	１	１	２	０	０	０	０	×	**７**

（福工）原田・下坂・錦戸－山口
（九国）徳永－松下
☆本塁打　石川（福工）
☆三塁打　犬塚（九国）
☆二塁打　嶋田（福工）
喜友名２・池田（九国）

第３試合

近大工	０	１	０	０	０						**１**
九産大	０	３	５	５	×						**13**

（５回コールド）

（近大）白土－樋口
（九産）奥田・岩井－八頭司・河村
☆本塁打　白土（近大）、本田・中田（九産）
☆三塁打　本田・尾形・八頭司（九産）

◎４月１日　　筑豊緑地球場

第１試合

九国大	０	２	１	１	１	１	０	２	６	**14**
福工大	１	２	３	３	０	０	０	０	１	**10**

（九国）岩崎・徳永－松下
（福工）錦戸・下坂・諫山－佐藤
☆本塁打　喜友名・池田（九国）
嶋田（福工）
☆三塁打　徳永（九国）、原口崇（福工）
☆二塁打　徳永・高田・久原（九国）
原口慎（福工）

第２試合

九産大	３	２	４	０	９						**18**
近大工	１	０	０	２	０						**３**

（５回コールド）

（九産）清川・平倉－高坂・河村
（近大）清水・伊佐・高森・伊佐－藤城
☆本塁打　河村（九産）
☆三塁打　松本・吉野・中田（九産）
☆二塁打　福田・河島・石津・河村（九産）

第３試合

九共大	１	０	０	２	５	５	５				**18**
福大Ⅱ	０	０	３	０	２	０	１				**６**

（７回コールド）

（九共）岡田－小山
（福Ⅱ）内布・松下・久保田－腰・山田
☆三塁打　新垣（九共）
☆二塁打　津久江・小山・西田・新垣（九共）
重・南２（福Ⅱ）

◎４月３日　春日球場

第１試合

九国大	０	０	０	０	２	０	４	０	０	**６**
近大工	１	０	４	１	１	０	１	０	×	**８**

（九国）徳永・岩崎・松下－松下・中津留
（近大）白土－藤城
☆本塁打　喜友名（九国）
☆二塁打　高田・池田（九国）
樋口・山本・船越（近大）

第２試合

福工大	０	０	０	０	２	０	１				**３**
九共大	１	１	３	１	２	０	2x				**10**

（７回コールド）

（福工）錦戸・下坂－佐藤
（九共）上岡－小山
☆本塁打　青柳（九共）
☆三塁打　岡田・青柳（九共）
☆二塁打　青柳（九共）、下坂（福工）

第３試合

福大Ⅱ	０	０	０	０	０	０	０	０	１	１
九産大	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（近大）安楽－高森重－山崎
（九産）
☆二塁打　紫垣・高坂・尾形（九産）

◎４月13日　春日球場
第１試合

九共大	０	０	０	１	０	０	０	０	０	１
九産大	０	０	０	０	４	２	０	０	×	６

（九共）上岡－小山
（九産）平倉・野口・平野－河村・八頭司
☆三塁打　本田（九産）
☆二塁打　横山（九産）

第２試合

福工大	３	０	０	０	０	０	２	０	０	５
近代工	２	１	３	０	２	０	０	０	×	８

（福工）原田・下坂・錦戸－白土・藤代
（九共）木原・松井－吉松
☆二塁打　原口慎・原口崇・山口（福工）
船越（近大）
第３試合

九国大	０	２	０	０	０	１	０	０	０	３
福大Ⅱ	０	０	０	４	０	０	０	２	×	６

（九国）徳永－松下・中津留
（福Ⅱ）久保田・内布・松下・田尻・重－山崎
☆本塁打　南（福Ⅱ）
☆二塁打　喜友名（九国）
山崎・重（福Ⅱ）

◎４月14日　筑豊緑地球場
第１試合

近代工	０	５	２	１	１	０	０	０	１	10
福工大	２	０	４	０	０	０	０	３	2x	11

（近大）清水・高森－若林
（福工）錦戸・関戸－寺地・錦戸
☆二塁打　坂井（近大）
佐藤・嶋田（福工）
第２試合

福大Ⅱ	０	０	０	０	１	０	０	０	０	１
九国大	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

（福Ⅱ）小島－山田
（九国）安永－中津留

第３試合

九産大	１	０	１	０	０	１	５			８
九共大	０	０	０	０	０	０	０			０

（７回コールド）
（九産）岩井・平倉－八頭司
（九共）岡田－小山
☆三塁打　本田・中田（九産）
☆二塁打　中田（九産）
笹冨・寺岡（九共）

◎表彰選手

最優秀選手	本田　健人	九産大	
敢闘選手	津久江公章	九共大	
最優秀投手	野口　竜次	九産大	
本塁打王	樋口　大介	近大工	３本
打点王	津久江公章	九共大	15打点
首位打者	津久江公章	九共大	0.541
盗塁王	美口　拓哉	福大Ⅱ	15個

◎ベストナイン

投手	上岡	勝美	九共大
捕手	山崎	健生	福大Ⅱ
一塁手	南	貴之	福大Ⅱ
二塁手	津久江公章		九共大
三塁手	新垣	優斗	九共大
遊撃手	青柳	政潔	九共大
外野手	岡田	築	九共大
	笹冨	友宏	九共大
	石川	拓弥	福工大

春季リーグ戦を優勝して

九州産業大学　主将　本田　健人

春季リーグ戦を振り返ると、一試合として納得のいく試合はなく苦しいリーグ戦となりました。その結果としてベストナインに１人として選ばれることはありませんでした。苦しい試合を重ねていく中で課題を痛感しましたがチームとして意識の共有ができ、結果として成長できたのではないかと思います。この経験を九州選手権で活かし勝ちあがりたいと思います。最後に、春季リーグ戦を行う中で私たちが不自由なく野球に打ち込めたのも運営スタッフや連盟の方々の尽力があるからだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れることなく、この福岡県リーグが発展していくように頑張っていきます。

Ⅰ部リーグ　　優勝　九州産業大学

	九産大	九共大	福大Ⅱ	九国大	近大産	福工大	戦績	順位
九州産業大学		○６－１ ○８－０	●０－１ ○９－０	○10－２ ○12－１	○13－１ ○18－３	○３－２ ○８－６	９勝１敗	1
九州共立大学	●１－６ ●０－８		●４－２ ○18－６	０－10 ○16－１	○10－３ ○10－８	○10－３ ○11－２	７勝３敗	2
福岡大学Ⅱ部	●１－０ ●０－９	●２－４ ●６－18		○６－３ ○１－０	○10－９ ○14－２	△７－７ ●５－６	５勝４敗１分	3
九州国際大学	●２－10 ●１－12	○10－０ ●１－16	●３－６ ●０－１		●６－８ ●５－11	○７－４ ○14－10	３勝７敗	4
近畿大学産業理工学部	●１－13 ○18－３	●３－10 ●８－10	●９－10 ●２－14	●８－６ ○11－５		○８－５ ○10－11	３勝７敗	5
福岡工業大学	●２－３ ●６－８	●３－10 ●２－11	△７－７ ○６－５	●４－７ ●10－14	●５－８ ○11－10		２勝７敗１分	6

春季リーグ戦　Ⅱ部

◎３月14日　桧原球場
第１試合
九工大　０１００３２５００｜11
九歯大　２００４０１３４×｜14
（九工）上ノ瀬－三田
（九歯）上田・山根－山根・横田
☆三塁打　山口・山内・椎葉（九工）
升井・高橋（九歯）
☆二塁打　山口・岡山・上ノ瀬・小林(九工)
井上・吉田（九歯）
第２試合
日経大　０００１０｜１
久工大　３０６３×｜12（５回コールド）
（日経）毛利・元見－熊野
（久工）川棚－岡部
☆三塁打　川棚（久工）
☆二塁打　元見（日経）
日高・毎熊・将粛（久工）

◎３月15日　桧原球場
第１試合
久工大　１０１００１０２５｜10
日経大　０００１１００００｜２
（久工）日高・江崎－岡部
（日経）熊野・鍬農－毛利
☆三塁打　井上（九歯）
☆二塁打　井上・横田・吉田（九歯）
山口（日経）
第２試合
九歯大　４１６４２｜17
九工大　２３０１０｜６（５回コールド）
（九歯）山根－横田
（久工）田中・椎名－三田・小林
☆本塁打　井上（九歯）
☆二塁打　井上・横田・吉田（九歯）
山口（九工）

◎３月21日　桧原球場
第１試合
久工大　０１１２００００００｜４
九歯大　００１０２０１０1x｜５
（久工）江崎－緒方
（九歯）升井－山根
☆二塁打　緒方（久工）
折田・上田・升井・平岡（九歯）
第２試合
日経大　００００００００｜０
九工大　００７１１０×｜９
（７回コールド）
（日経）鈴木－渋田
（九工）上ノ瀬－小林
☆二塁打　中野（九工）

◎３月22日　筑豊緑地球場
第１試合
日経大　００３１０１００３０｜17
九歯大　０２０１６０３００｜12
（日経）元見－毛利
（九歯）上田－妹尾
☆三塁打　大心地（九歯）
☆二塁打　管２（日経）、吉田２（九歯）

第２試合
九工大　１０１４００｜６
久工大　２１００１２｜６
※６回雨天コールドにより引き分け
（九工）田中・上ノ瀬－三田
（久工）江崎－岡部
☆三塁打　山口（九工）
☆二塁打　上ノ瀬（九工）

◎３月28日　桧原球場
第１試合
久工大　２０８０１０００００｜11
九歯大　５００００１３１０｜10
（久工）川棚－岡部
（九歯）山根－横田
☆三塁打　吉田・大心地（九歯）
☆二塁打　安武（久工）
上田・横田（九歯）
第２試合
九工大　２１１００１０１０｜６
日経大　１６４０００００×｜11
（九工）山口・上ノ瀬－三田
（日経）鎌江・小川－熊野
☆三塁打　熊野（日経）
☆二塁打　熊野・元見（日経）
山口（九工）

◎３月29日　筑豊緑地球場
第１試合
日経大　１０１０３６３｜14
九工大　００２０２００｜４
（７回コールド）
（日経）鍬農－毛利
（九工）岡山－上ノ瀬
☆三塁打　済木（九歯）、毎熊（久工）
☆二塁打　前田・鎌江・済木（日経）
岡山（九工）

第２試合
九歯大　０３３０１０１１０｜９
久工大　３００００４０１０｜８
（九歯）上田－山根
（久工）江崎－岡部
☆三塁打　井上（九歯）、毎熊（久工）
☆二塁打　升井・上田（九歯）

◎表彰選手
最優秀選手　毎熊　将粛　久工大
最優秀投手　川棚　健史　久工大
首位打者　毎熊　将粛　久工大　0.677
升井　享宗　九歯大　0.677
本塁打王　該当者なし
打点王　升井　享宗　九歯大　10打点
盗塁王　廣瀬　新伍　久工大　９個

◎ベストナイン
投手　江崎　祐弥　久工大
捕手　熊野　圭祐　日経大
一塁手　廣瀬　新伍　久工大
二塁手　升井　享宗　九歯大
三塁手　岡山　真哉　九工大
遊撃手　元見　誠也　日経大
外野手　毎熊　将粛　久工大
椎葉　穂高　九工大
鎌江　晃平　日経大

Ⅱ部リーグ　　優勝　久留米工業大学

	久工大	九歯大	日経大	九工大	戦績	順位
久留米工業大学		○11－10 ●８－９	○12－１ ○10－２	△６－６ ○４－３	４勝１敗１分	1
九州歯科大学	●10－11 ○９－８		●12－17 ○９－８	○14－11 ○17－６	４勝２敗	2
日本経済大学	●１－12 ●２－10	○17－12 ●８－９		○11－６ ○14－４	３勝３敗	3
九州工業大学	△６－６ ●３－４	●11－14 ●６－17	●６－11 ●４－14		０勝５敗１分	4

※入替戦の結果、福岡工業大学が８対５で久留米工業大学に勝利し、福岡工業大学の秋季リーグ戦でのⅠ部残留が決定。

入れ替え戦

◎４月27日　光陵グリーンスタジアム

久工大　１００００４００｜５
福工大　１０１１１０２２×｜８

（久工）川棚・緒方－岡部・毎熊将嗣
（福工）佐藤・錦戸－山口
☆三塁打　嶋田（福工）
☆二塁打　緒方２・毎熊将嗣・岡部（久工）
山口（福工）

春季リーグ戦の運営を終えて

学生幹事長　阿部　弘義

今回の春季リーグ戦では優勝九州産業大学、準優勝九州共立大学であったが、どのチームも特に打力のアップが見られるリーグ戦であった。今まではあまりでていなかったHRが今回はⅠ部、Ⅱ部合わせて23本でおり、また、近畿大学産業理工学の樋口が１試合３HRという記録を達成した。運営に関しては新旧交代して初めての大会だったので、わからないことが多くあたふたすることが多々あった。秋は春のリーグ戦の反省を活かし成功させたいと思います。

特別賞　～１試合３HR～

近畿大学産業理工学部　樋口　大介

今回１試合３本ホームランが打てたのは野球人生で初めてだったのでとても嬉しかったです。今まで４番の活躍を全くできなくて悩んでいました。やっと４番としての役割を果たしてほっとしました。これからも一生懸命練習して頑張っていきたいです。

秋季リーグ戦　Ⅰ部

◎９月２日　春日球場

①福工大　１００２０００００１｜４
九産大　１１１０１０１１×｜６

（福工）錦戸・内野－坂田
（九産）平倉・木下
☆本塁打　平倉・平屋・木下（九産）
☆三塁打　樋口（福工）、有安（九産）
☆二塁打　樋口・嶋田（福工）

②近大工　００１０１００｜２
九共大　４２００５０×｜11
（７回コールド）

（近大）白土・仙頭・河原
（九共）青柳・村上
☆三塁打　青柳（九共）
☆二塁打　仙頭・新田（近大）
津久江・岩田（九共）

◎９月５日　春日球場

③九国大　１０１０００００２０｜４
福大Ⅱ　１０００１００１２｜５

（九国）安永－池田
（福Ⅱ）松下－小島
☆三塁打　犬塚（九国）
☆二塁打　久原・池田・中津留（九国）
小津和（福Ⅱ）

◎９月９日　春日球場

①福工大　２０００００１１００｜４
福大Ⅱ　００２０２０１０×｜５

（福工）内野－坂田
（福Ⅱ）鍋田・小島－小島・腰
☆二塁打　樋口・財津（福工）
美口・平井（福Ⅱ）

②近大工　００００００｜０
九産大　３６０５×｜14（５回コールド）

（近大）清水・仙頭・河原－伊藤
（九産）岩井－木下・矢田
☆三塁打　木下・林田（九産）
☆二塁打　池田・川野（九産）

③九国大　０００１０００｜１
九共大　２０４０３０×｜９
（７回コールド）

（九国）安永・徳永・池原－池田
（九共）濱松－村上
☆三塁打　津久江（九共）
☆二塁打　比嘉（九国）
青柳２・岩田・小山・新垣・
濱松（九共）

◎９月10日　筑豊緑地球場

①九産大　１０１０００２３｜７
近大工　０００００００００｜０
（８回コールド）

（九産）野口－木下・矢田
（近大）白土・河原－樋口・伊藤
☆三塁打　平屋（九産）
☆二塁打　長尾・有安・矢田（九産）

②九共大　２０００００３００｜５
　九国大　０００００３００００｜３
（九共）濱松・青柳－村上
（九国）池原・安永・徳永－池田
☆三塁打　青柳（九共）、徳永（九国）
☆二塁打　村上（九共）
　　池田・犬塚（九国）

③福大Ⅱ　００１０００３０３｜７
　福工大　１２０３２００１×｜９
（福Ⅱ）松下－小島
（福工）錦戸・原田－坂田
☆三塁打　美口（福Ⅱ）、原口慎（福工）
☆二塁打　小島・内布（福Ⅱ）
　　佐護・樋口（福工）

◎９月12日　　筑豊緑地球場
①九共大　０４３０１２２｜12
　近大工　００１００００｜１
（６回コールド）
（九共）村上・大村－小山
（近大）仙頭・上間・清水・伊藤－樋口・藤代
☆三塁打　吉岡・吉本（九共）
☆二塁打　山本（近大）

②福大Ⅱ　１０１０１０００｜３
　九国大　００００７０１２×｜10
（８回コールド）
（福Ⅱ）小島・美口・吉永－吉永・腰
（九国）安永－池田
☆二塁打　小島（福Ⅱ）
　　中津留・喜友名（九国）

③九産大　０１００１４００１｜７
　福工大　１００００００００｜１
（九産）岩井・河原－木下・矢田
（福工）内野・錦戸・諫山－坂田
☆三塁打　木下（九産）
☆二塁打　池田（九産）

◎９月13日　　春日球場
①福大Ⅱ　０００００２１０｜３
　九共大　０００５１３３１×｜13
（８回コールド）
（福Ⅱ）内布・松下－小島
（九共）笠井－村上
☆本塁打　山下（九共）
☆三塁打　美口（福Ⅱ）
　　椎原・笠井（九共）
☆二塁打　岩田２（九共）

②福工大　０１３２０００００｜６
　近大工　０００００１０４００｜５
（福工）錦戸・原田－坂田・谷
（近大）上間・川原－伊藤
☆二塁打　財津（福工）
　　船越・山本（近大）

③九国大　０１１００｜２
　九産大　２０１４５×｜12（５回コールド）
（九国）徳永・安永－池田
（九産）平倉－木下
☆本塁打　平倉（九産）
☆三塁打　有安（九産）
☆二塁打　長尾・木下（九産）

◎９月21日　　桧原球場
①近大工　０１０１００００１０｜３
　福工大　１００２００１０×｜４
（近大）白土・仙頭・河原－樋口・伊藤
（福工）内野－坂田
☆二塁打　樋口２（近大）、原口慎（福工）

②九産大　２０００３０２１１｜９
　九国大　００１１００００００｜２
（九産）野口・岩井・河原・平倉－矢田
（九国）池原・安永－池田
☆三塁打　長尾２・池田（九産）
　　久原（九国）
☆二塁打　平屋（九産）

③九共大　０００００３５００｜８
　福大Ⅱ　０００００００００｜０
（８回コールド）
（九共）濱松・村上－村上・小山
（福Ⅱ）松下・鍋田－小島
☆三塁打　青柳・岩田・津久江・村上（九共）
☆二塁打　岩田（九共）

◎９月28日　　筑豊緑地球場

①近大工　０７０３０１２｜13
**　九国大　０００００１１０｜２**
（７回コールド）
（近大）清水・上間－樋口
（九国）池原・安永－池田
☆三塁打　清水（近大）
☆二塁打　神崎・阿部・樋口３

②福工大　００３０００００００｜３
**　九共大　７００００１００×｜８**
（福工）錦戸－坂田
（九共）濱松－村上
☆二塁打　樋口・嶋田（福工）
　　岩田・濱松（九共）
③福大Ⅱ　２０００００００００｜２
**　九産大　００４１００１０×｜６**
（福Ⅱ）小島－腰
（九産）平倉－矢田
☆三塁打　堤田２（九産）
☆二塁打　美口・腰・南（福Ⅱ）
　　有安（九産）

◎９月29日　　筑豊緑地球場

①九共大　０００００３１０１０｜５
**　福工大　０００００００２０｜２**
（九共）青柳・濱松－小山
（福工）内野－坂田
☆本塁打　山口（福工）

②九産大　１０４１４００｜10
**　福大Ⅱ　００００１２０｜３**
（７回コールド）
（九産）岩井・野口・川原－矢田
（福Ⅱ）鍋田・松下－小島
☆本塁打　平野（九産）
☆三塁打　岩井・西村（九産）
☆二塁打　堤田・西村（九産）

③九国大　００５００００１２０｜８
**　近大工　１３００００４０００｜８**
（九国）池原－池田
（近大）白土・河原－樋口・船越
☆本塁打　喜友名（九国）
☆二塁打　伊佐・山本・船越（近大）

◎10月12日　　桧原球場

①九共大　００００００００｜０
**　九産大　２００３２０×｜７**
（７回コールド）
（九共）濱松－村上
（九産）平倉－矢田
☆三塁打　西村（九産）
☆二塁打　岩田（九共）

②福工大　２００１００００１｜４
**　九国大　００２０２００３×｜７**
（福工）内野－坂田
（九国）安永・徳永－池田
☆三塁打　安永（九国）
☆二塁打　樋口・原口慎（福工）
　　岩崎（九国）
③近大工　０００００１０００１｜２
**　福大Ⅱ　１０３１１０００×｜６**
（近大）河原・清水－船越
（福Ⅱ）松下・小島－小島・吉永
☆二塁打　吉永（福Ⅱ）

◎10月13日　筑豊緑地球場

①九国大　６３６２０｜17
**　福工大　２１０００｜３**（５回コールド）
（九国）安永・池原・徳永－池田
（福工）原田・錦戸・内野－坂田
☆本塁打　中津留（九国）
☆二塁打　中津留（九国）、樋口（福工）
②福大Ⅱ　０００００１０００｜１
**　近大工　０００１００００３×｜４**
（福Ⅱ）小島・鍋田－腰
（近大）仙頭・白土・清水・上間・河原－
　　船越・樋口・伊佐
☆三塁打　小津和（福Ⅱ）
☆二塁打　腰（福Ⅱ）、阿部（近大）

優勝　九州産業大学

Ⅰ部リーグ	九産大	九共大	九国大	福工大	福大Ⅱ	近大産	戦　績	順位
九州産業大学		○７－０ ●６－７	○12－２ ○９－２	○６－４ ○７－１	○６－２ ○10－３	○14－０ ○７－０	９勝１敗	1
九州共立大学	●０－７ ○７－６		○９－１ ○５－３	○８－３ ○５－２	○10－３ ○８－０	○11－２ ○12－１	９勝１敗	2
九州国際大学	●２－12 ●２－９	●１－９ ●３－５		○７－４ ○17－３	●４－５ ○10－３	●２－13 △８－８	３勝６敗１分	3
福岡工業大学	●４－６ ●１－７	●３－８ ●２－５	●４－７ ●３－17		●４－５ ○９－７	○６－５ ○４－３	３勝７敗	4
福岡大学Ⅱ部	●２－６ ●３－10	●３－10 ●０－８	○５－４ ●10－３	○５－４ ●７－９		○６－２ ●１－４	３勝７敗	5
近畿大学 産業理工学部	●０－14 ●０－７	●２－11 ●１－12	○13－２ △８－８	●５－６ ●３－４	●２－６ ○４－１		２勝７敗１分	6

※優勝決定戦の結果、九州産業大学が優勝
※得失点差により福岡工業大学が４位、福岡大学Ⅱ部が５位

③九産大　１１０２０２０００｜６
　九共大　００１００１５０×｜７
（九産）岩井・川原・野口－矢田
（九共）青柳・津久江－村上
☆本塁打　小山（九共）
☆三塁打　平野（九産）、新垣（九共）
☆二塁打　長尾・平屋・矢田（九産）

◎表彰選手
最優秀選手　平倉　伸太　九産大
敢闘選手　青柳　政潔　九共大
最優秀投手　岩井　竜次　九産大
首位打者　椎原　良介　九共大　0.476
本塁打王　平倉　伸太　九産大　２本
打点王　池田　飛鳥　九産大　12打点
盗塁王　池原　元樹　九国大　15個

◎ベストナイン
投手　平倉　伸太　九産大
捕手　池田　貴彦　九国大
一塁手　平屋　秀樹　九産大
二塁手　長尾　宗樹　九産大
三塁手　吉永　光男　福工大
遊撃手　青柳　政潔　九共大
外野手　池田　飛鳥　九産大
　　吉岡新一郎　九共大
　　樋口　健斗　福工大

秋季リーグ戦Ⅰ部　優勝決定戦

◎10月19日　桧原球場
①九共大　０００００１０００｜１
　九産大　０００００００２×｜２
（九共）笠井－村上
（九産）平倉－河村

春季リーグ戦を優勝して

九州産業大学　主将　河村　隆太

新チームになってから初の公式戦となる秋季リーグ戦を、優勝という形で終えることができ、非常に喜びを感じております。

優勝決定戦を含み、全11試合の中でチームとしても、個人としてもたくさんの経験を積むことができたと思います。特にそれまで試合に出ていなかった１、２年生が試合を重ねるごとに成長し、リーグ戦開始時と終了時では見違えるほどにたくましくなっていたように思えます。

私たち九州産業大学準硬式野球部がいつも集中して野球ができるのも、大学関係者の皆様、OB・OGの方々、たくさんの方々の応援のおかげだと思います。有難うございます。

これからもこの優勝に満足せず、さらに良いチーム、勝てるチームを目指して参ります。ご支援、ご協力の程、よろしくお願いします。

秋季リーグ戦　Ⅱ部

◎８月20日　筑豊緑地球場
①久工大　０００００００００｜０
　九工大　００１２００００×｜３
（久工）上ノ瀬－三田
（九工）川棚－神坂
☆二塁打　三田（久工）、富永（九工）
②日経大　１００００｜１
　九歯大　００２２２５×｜11
（６回コールド）
（日経）松田・鍬農－熊野・菅
（九歯）升井－横田
☆本塁打　山根（九歯）
☆二塁打　高橋・井上・平岡（九歯）

◎８月21日　筑豊緑地球場
①久工大　４０７０１３｜15
　九工大　２０１２００｜５
（６回コールド）
（久工）日高－神崎
（九工）田中・佐藤－三田・田中
☆二塁打　川棚・神坂(久工)、井上(九工)
②九歯大　２０１０３０１０５｜12
　日経大　００１０２１０８０｜12
（九歯）高橋・山根－横田
（日経）松田・熊野
☆本塁打　山根（九歯）
☆三塁打　山根・平岡（九歯）
　　元見・済木（日経）
☆二塁打　山根・平岡・谷川（九歯）
　　元見・熊野・松田（日経）

◎８月28日　春日球場
①日経大　１０００１０１１０｜４
　久工大　０００００２０１｜３
（日経）松田－熊野
（久大）川棚－蒲池
☆二塁打　菅（日経）、楠田（久大）
②九工大　２５０４００１０２｜14
　九歯大　３４００００００３｜10
（九工）田中・上ノ瀬・富田・椎葉－三田
（九歯）升井・上田－横田
☆三塁打　椎葉（九工）
☆二塁打　岡山・椎葉・上ノ瀬（九工）
　　吉田（九歯）

◎８月29日　筑豊緑地球場
①九歯大　１０１０１１０００｜４
　九工大　３２３０００１０×｜９
（九歯）高橋・山根－横田
（九工）上ノ瀬－田中
☆二塁打　岡部（久工）

②久工大　0150１１｜17
　日経大　３００１１｜５（５回コールド）
（久工）川棚－神坂
（日経）小川・松田・鎌江－熊野
☆本塁打　元見・熊野（日経）
☆三塁打　富永２（久工）
☆二塁打　毎熊粛・楠田・岡部（久工）

◎９月５日　春日球場
①日経大　３０１０７｜11
　九工大　０００００｜０（５回コールド）
（日経）松田－熊野
（九工）上ノ瀬・富田－三田
☆本塁打　鎌江（日経）
☆二塁打　元見・蒼井・熊野２（日経）
　　三田（九工）
②久工大　０１００２０４５｜12
　九歯大　３００００００｜３
（８回コールド）
（久工）日高－毎熊粛
（九歯）山根・高橋－横田
☆三塁打　毎熊嗣
☆二塁打　小西（久工）

◎９月６日　　筑豊緑地球場
①九工大　１００００００３０｜４
　日経大　０００００００００｜０
（九工）上ノ瀬－三田
（日経）松田－熊野
☆二塁打　三田（九工）
②九歯大　１２０１１０００２｜７
　久工大　４２０２００１２×｜11
（九歯）升井・高橋－横田
（久工）川棚－神坂・蒲池
☆本塁打　毎熊嗣（久工）
☆三塁打　牛島（久工）
☆二塁打　横田・平岡（九歯）

◎表彰選手
最優秀選手　神坂　雄基　久工大
最優秀投手　上ノ瀬翔吾　九工大
首位打者　元見　誠也　日経大　0.480
本塁打王　山根　　悠　九歯大　２本
打点王　毎熊　将嗣　久工大　11打点
盗塁王　井上　雅葵　九歯大　９個

◎ベストナイン
投　手　川棚　健史　久工大
捕　手　熊野　圭祐　日経大
一塁手　富永　健人　久工大
二塁手　今泉　勇平　九工大
三塁手　岡山　真哉　九工大
遊撃手　元見　誠也　日経大
外野手　楠田　智弘　久工大
　　井上　雅葵　九歯大
　　平岡　大暉　九歯大

秋季リーグ　入れ替え戦

◎10月19日　　桧原球場
②久工大　０００００１０００｜１
　近大工　０００００１０４×｜５
（久工）川棚－毎熊
（近大）白土・河原－樋口・船越
☆二塁打　川棚（久工）
　　神坂・高木（近大）

※入替戦の結果、近畿大学産業理工学部が５対１で久留米工業大学に勝利し、近畿大学産業理工学部の春季リーグ戦でのⅠ部残留が決定

優勝　久留米工業大学

Ⅱ部リーグ	久工大	九工大	日経大	九歯大	戦績	順位
久留米工業大学		○３－０ ●15－５	●３－４ ○17－５	○12－８ ○11－７	５勝１敗	1
九州工業大学	●０－３ ●３－15		●０－11 ○４－３	○14－10 ○９－４	３勝３敗	2
日本経済大学	○４－３ ●３－17	○11－０ ●３－４		●１－11 △12－12	２勝３敗１分	3
九州歯科大学	●３－12 ●７－11	●10－14 ●４－５	○11－１ △12－12		１勝４敗１分	4

※入替戦の結果、近畿大学産業理工学部が５対１で久留米工業大学に勝利し、近畿大学産業理工学部の春季リーグ戦でのⅠ部残留が決定

秋季リーグ運営を終えて

学生幹事長　阿部　弘義

今回のリーグ戦は九産大と九共大の１位争いが熾烈で、優勝決定戦までもつれこみ、九産大が優勝しました。３位以下のチームはほぼ横一線で実力的には例年よりはるかに劣ってきています。そのため、春は３位以下のチームがもっと力をつけて試合に臨むことに期待します。

今年で自分は県リーグの幹事長として最後の仕事でしたが、この１年間本当に周りに支えられて感謝しています。やりがいのある仕事でこの経験を今後社会に出たときに活かしたいと思います。本当にありがとうございました。

南九州地区

春季リーグ戦

◎３月16日　藤崎台球場
第１試合
熊　本　大　１０００２００００｜３
熊大医学部　０１０１００００００｜２
（熊大）永山・寺岡－神田
（熊医）末永・朔－河上
☆三塁打　平川（熊大）
第２試合
熊大薬学部　０００１０００｜１
熊本学園大　０１０２２０３ｘ｜８
（７回コールド）
（熊薬）沖田－中嶋
（熊学）高橋・梶取－稲田
☆二塁打　新屋（熊薬）、三浦（熊学）
第３試合
東海大九州　０００１４３０｜８
宮大医学部　０００００００｜０
（７回コールド）
（東海）村山－堀
（宮医）古賀・瀧口－松本
☆二塁打　日下部（宮医）

◎３月17日　藤崎台球場
第１試合
宮大医学部　０００００００００｜０
熊大医学部　０００１２００１×｜４
（宮医）瀧口－松本
（熊医）呉屋－河上
☆二塁打　河上・呉屋（熊医）
第２試合
熊　本　大　０００２００００００｜２
東海大九州　１００００３００×｜４
（熊大）永山・寺岡・窪田－神田
（東海）高野祥・速水－堀
☆二塁打　上妻（熊大）、速水（東海）
第３試合
宮大医学部　１０００００｜１
熊本学園大　３１１１２×｜17
（５回コールド）
（宮医）菅沼・神谷・古賀－松本
（熊学）高橋・岡本・小野－稲田・川野

◎３月23日　西合志グランド
第１試合
熊本学園大　２０００００００３２｜７
熊大医学部　０１０１２００１１｜６
（熊学）梶取－稲田
（熊医）藤崎・呉屋・末永－河上
☆三塁打　河上（熊医）
☆二塁打　福田・梶取・行武（熊学）
第２試合
熊　本　大　０００３０００｜３
宮大医学部　１２１３１４×｜12
（７回コールド）
（熊大）井元－神田
（宮医）田村－松本
☆三塁打　永山（熊大）
☆二塁打　長友（宮医）
第３試合
熊大薬学部　０１００２｜３
宮大医学部　５０３３２｜13
（５回コールド）
（熊薬）木庭－中嶋
（宮医）神谷－田村
☆三塁打　木庭（熊薬）
☆二塁打　羽立・小谷・米満（熊薬）
神谷２・高橋・長友（宮医）

◎３月24日　西合志グランド
第１試合
熊大医学部　００１１０１２００｜５
熊大薬学部　００１０１００００１｜３
（熊医）呉屋・末永－末松
（熊薬）沖田・羽立－中嶋
☆二塁打　後生川（熊医）
第２試合
熊本学園大　０００００００００２｜２
東海大九州　０００００１１１×｜３
（熊学）梶取・岡本－川野
（東海）村山・高野祥－堀
☆二塁打　梶取（熊学）、村山・堀（東海）
第３試合
熊　本　大　０００００１０００４｜５
熊本学園大　０００００００００｜０
（熊大）窪田・永山－神田
（熊学）高橋－稲田

◎３月30日　西合志グランド
第１試合
熊大薬学部　００２０００｜２
東海大九州　１４０３１３ｘ｜12
（６回コールド）
（熊薬）米満－羽立
（東海）上田－堀・濱田
☆二塁打　沖田（熊薬）

◎３月31日　西合志グランド
第１試合
熊大薬学部　００４００００｜４
熊　本　大　７３０３００×｜13
（７回コールド）
（熊薬）荒武・木庭－中嶋
（熊大）永山・寺岡－神田
☆二塁打　米満（熊薬）
鶴・高橋・上妻（熊大）

	東海大九州	熊本大学	熊本学園大	熊大医学部	宮大医学部	熊大薬学部
東海大九州		○４－２	○３－２	○７－５	○10－６	○12－２
熊本大学	●２－４		○５－０	○３－２	●３－12	○13－４
熊本学園大	●２－３	●０－５		○７－６	○17－１	○８－１
熊本大学医学部	●５－７	●２－３	●６－７		○４－０	○５－３
宮大医学部	●６－10	○12－３	●１－17	●０－４		○13－３
熊大薬学部	●２－12	●４－13	●１－８	●３－５	●３－13	

※日本文理大学、鹿児島大学は不参加

秋季リーグ戦

◎４月１日　西合志グランド
第１試合
熊大薬学部　０００００００５０｜５
東海大九州　０００３０００４×｜７
（熊薬）藤崎・呉屋－河上
（東海）高野祥・村山－堀
☆二塁打　谷村（熊薬）

◎表彰選手
最優秀選手賞　速水　康輔　東海大学九州
優秀選手賞　窪田　大祐　熊本大学
優秀選手賞　濵田　純平　東海大学九州

◎10月６日　西合志グランド
第１試合
宮大医学部　１００１０００１１｜４
東海大九州　０００００００３０｜３
（宮医）瀧口－松本
（東海）村山・高野－堀
☆本塁打　瀧口（宮医）
☆二塁打　石原・堀（東海）
第２試合
熊大薬学部　０００００００２１｜３
鹿児島大学　００１１５００３x｜10
（８回コールド）
（熊薬）平山・羽立・山田－中嶋
（鹿大）安楽・益満－江崎・村川
☆二塁打　山田・中嶋（熊薬）
森山（鹿大）
第３試合
熊大医学部　０１００１００１１｜４
宮大医学部　１４００３０００×｜８
（熊医）朔・藤崎－酒匂・末松
（宮大）神谷－松本
☆三塁打　佐藤（熊医）
☆二塁打　松本（宮医）

◎10月12日　合志市野球場
第１試合
熊本学園大　００２０００１００｜３
宮大医学部　０００１１００００｜２
（熊学）高橋－諸冨
（宮医）瀧口－松本
☆三塁打　宮本・馬渡（熊学）
☆二塁打　落合（宮医）
第２試合
鹿児島大学　０００００１０００｜１
東海大九州　０１０１３２００×｜７
（鹿大）安楽・浅田－江崎
（東海）高野祥・村山－堀
☆三塁打　堀・木原・高野祥（東海）
☆二塁打　渡邉・内村（鹿大）
堀（東海）

第３試合
熊本大学　０３１０１０２００｜７
宮大医学部　００１１０１０００｜３
（熊大）鮫島－神田
（宮医）神谷・小島－松本
☆三塁打　菅（熊大）
☆二塁打　合田・神田・菅・楠・板倉（熊大）
猪口（宮医）

◎10月13日　西合志グランド
第１試合
熊本大学　２００142｜18
鹿児島大学　００２０１｜３
（５回コールド）
（熊大）井元－神田
（鹿大）安楽・浅田－江崎
☆三塁打　菅・永松
☆二塁打　宮崎
第２試合
熊大薬学部　０３３１２１１０１｜12
宮大医学部　２２０１３０１０１｜10
（熊薬）羽立・山田－中嶋
（宮大）菅沼・田村－津田・松本
☆本塁打　平山（熊薬）
☆三塁打　高橋・松本（宮医）
☆二塁打　岩下・山田（熊薬）
瀧口・中山（宮医）
第３試合
鹿児島大学　１００００００｜１
熊本学園大　２１０２０２1x｜８
（７回コールド）
（鹿大）森山・安楽－村川・江崎
（熊学）高橋・伊瀬－諸冨
☆三塁打　良井
☆二塁打　森・馬渡・行武

◎10月14日　合志市野球場
第１試合
鹿児島大学　１０２０４００２０｜９
宮大医学部　００３５３０００×｜11
（鹿大）安楽・浅田－江崎
（宮医）田村－松本
☆三塁打　内村（宮医）
☆二塁打　良井・江崎２・宮崎（鹿大）
田村・猪口（宮医）
第２試合
熊本学園大　００１０７０２｜10
熊大医学部　０００１０２０｜３
（７回コールド）
（熊学）岡本・馬渡－諸冨
（熊医）呉屋・藤崎－末松
☆二塁打　宮本（熊学）

第３試合
熊 本 大 学　１００００００｜１
東海大九州　６２１００２ｘ｜11
（６回コールド）
（熊大）鮫島－神田
（東海）村山－堀
☆二塁打　菅２（熊大）
速水・木原（東海）

◎10月19日　合志市野球場
第１試合
熊本学園大　０００００００００２｜２
東海大九州　０００００００００００｜０
（延長10回以降タイブレーク）
（熊学）高橋－諸冨
（東海）高野祥－堀
☆二塁打　森
第２試合
熊大薬学部　０００１０００｜１
熊大医学部　０２１３００２ｘ｜８
（７回コールド）
（熊薬）羽立・山田－中嶋
（熊医）笹栗－酒匂
☆三塁打　末松・佐藤（熊医）
☆二塁打　村田２・井形・後生川（熊医）

第３試合
鹿児島大学　００５０１００｜６
熊大医学部　０２１２７２×｜14
（７回コールド）
（鹿大）安楽・浅田－江崎
（熊医）藤崎－酒匂
☆三塁打　江崎（鹿）、田嶋（熊医）
☆二塁打　末松（熊医）

◎10月19日　西合志グランド
第１試合
熊大薬学部　００００００｜０
熊本学園大　５１１４×｜11
（５回コールド）
（熊薬）木庭・新屋－中嶋・松本
（熊学）伊瀬・西－諸冨
☆三塁打　宮本（熊学）
☆二塁打　平山（熊薬）
弥頭・阿南（熊学）
第２試合
熊 本 大 学　００５００００００３｜８
熊大医学部　０１００１０００３００｜５
（延長10回以降タイブレーク）
（熊大）鮫島・井元・隈元－神田
（熊医）末永・呉屋－酒匂
☆三塁打　岡山（熊大）
☆二塁打　神田（熊大）

第３試合
熊大薬学部　００００００｜０
東海大九州　３５２０×｜10
（５回コールド）
（熊薬）平山・山田－中嶋
（東海）村山・濱田・野村－堀・石原
☆三塁打　木原（東海）
☆二塁打　村山・堀（東海）

◎10月27日　西合志グランド
第１試合
熊 本 大 学　０００００｜０
熊本学園大　００００４５１ｘ｜10
（６回コールド）
（熊大）鮫島・隈元－神田
（熊学）高橋・西－諸冨
☆三塁打　高橋・諸冨（熊学）
☆二塁打　宮本・馬渡（熊学）
第２試合
熊大医学部　００００１００｜１
東海大九州　４０４０００×｜８
（７回コールド）
（熊医）笹栗・呉屋－酒匂
（東海）濱田・高野祥・速水
☆三塁打　後生川（熊医）
堀・野村（東海）
☆二塁打　久村（東海）
第３試合
熊大薬学部　０００００００｜０
熊 本 大 学　０００２０４０１ｘ｜７
（８回コールド）
（熊薬）山田－中嶋
（熊大）井元－神田
☆三塁打　岡山（熊大）
☆二塁打　神田（熊大）

◎順位
優勝　熊本学園大学　６勝０敗
２位　東海大学九州　４勝２敗
３位　熊　本　大　学　４勝２敗
４位　宮崎大学医学部　３勝３敗
５位　熊本大学医学部　２勝４敗
６位　鹿 児 島 大 学　１勝５敗
７位　熊本大学薬学部　１勝５敗

◎表彰選手
最優秀選手　高橋　熊本学園大
優 秀 選 手　堀　東海大九州
最　多　勝　高橋　熊本学園大　４勝
首 位 打 者　宮本　熊本学園大　0.521
打　点　王　木原　東海大九州　10打点
盗　塁　王　濵田　東海大九州　８個
本 塁 打 王　瀧口　宮大医学部　１本
平山　熊大薬学部　１本

◎ベストナイン
投　手　高橋　熊本学園大
捕　手　酒匂　熊大医学部
一塁手　木原　東海大九州
二塁手　石原　東海大九州
三塁手　菅　熊本大学
遊撃手　宮本　熊本学園大
外野手　山田　熊大薬学部
良井　鹿児島大学
合田　熊本大学

	学園大	東海大	熊　大	宮大医	熊大医	鹿児島大	熊大薬
熊本学園大学		○２－０	○10－０	○３－２	○10－３	○８－１	○11－０
東海大学九州	●０－２		○11－１	●３－４	○８－１	○７－１	○10－０
熊　本　大　学	●０－10	●１－11		○７－３	○８－５	○18－３	○７－０
宮崎大学医学部	●２－３	○４－３	●３－７		○８－４	○11－９	●10－12
熊本大学医学部	●３－10	●１－８	●５－８	●４－８		○14－６	○８－１
鹿 児 島 大 学	●１－８	●１－７	●３－18	●９－11	●６－14		○10－３
熊本大学薬学部	●０－11	●０－10	●０－７	○12－10	●１－８	●３－10	

※日本文理大学は不参加

長崎県大学準硬式野球連盟

春季リーグ戦

◎３月19日　諫早球場
第１試合
長大経済学部　０００２００００｜２
長崎県立大学　０３０２００２2x｜９
（８回コールド）
（経済）比田勝－飯盛
（県大）林・松尾－水田
☆三塁打　五貫２・松本(県大)
☆二塁打　長森（経済）
本田・谷口・安達（県大）
第２試合
長崎総科大　００００００｜０
長崎国際大　９１２４×｜16
（５回コールド）
（総科）宇山・末永－吉原
（国際）崎田・浜口－松下
☆三塁打　松下（国際）
☆二塁打　村岡・浜口（国際）

◎３月21日　みゆき球場
第１試合
長崎総科大　００００２３０｜５
長崎県立大　６０００００7x｜13
（７回コールド）
（総科）末永－金井田
（県大）林・松尾－水田
☆三塁打　坂本（総科）
☆二塁打　本種・本田・古賀・井上（県大）

第２試合
長崎国際大学　０００００００２３０００｜５
長大経済学部　０００１０２００２０００｜５
（延長12回引き分け）
（国際）中村・崎田－松下
（経済）長森－飯盛
☆二塁打　長橋(国際)、大嶋・黒崎(経済)

◎３月22日　柿泊球場
第１試合
長崎県立大　１３００１０１００｜６
長崎国際大　００１０００００００｜１
（県大）松尾－水田
（国際）崎田－松下
☆三塁打　橋川（国際）
☆二塁打　本種２・安達（県大）

第２試合
長大経済学部　０００００００２１｜３
長崎総科大学　０００００００００｜０
（経済）比田勝－益丸
（総科）金井田－吉原
☆二塁打　堺・前田（経済）

◎３月28日　みゆき球場
第１試合
長崎国際大　１００１１２０２０｜７
長崎総科大　３０００００２０１｜６
（国際）浜口・中村・崎田－松下
（総科）金井田－小林・松永
☆三塁打　橋川・松下（国際）
☆二塁打　長橋・松下・村岡（国際）
第２試合
長崎県立大学　０１００１０００３｜５
長大経済学部　０１０００００１｜２
（県大）林－水田
（経済）益丸・比田勝－飯盛・益丸
☆二塁打　谷口・宮崎（県大）
野中（経済）

◎３月29日　みゆき球場
第１試合
長大経済学部　０１０１１２｜５
長崎国際大学　２２００３1x｜８
（時間により６回コールド）
（経済）長森－益丸
（国際）崎田・浜口・崎田－松下
☆本塁打　崎田（国際）
☆三塁打　松下・中村（国際）
☆二塁打　長森・大嶋・前田（経済）
大石・崎田（国際）

第２試合
長崎県立大　１００１１10｜13
長崎総科大　１００１００｜２
（６回コールド）
（県大）楠本－水田
（総科）末永－金井田
☆三塁打　宮崎・松本（県大）
☆二塁打　宮崎・谷口（県大）

◎３月30日　みゆき球場
第１試合
長崎国際大学　０００１０００００｜１
長崎県立大学　１０００２００５x｜８
（８回コールド）
（国際）中村－松下
（県大）松尾－水田
☆二塁打　川畑・泊（県大）
第２試合
長崎総科大学　１００１００００００｜２
長大経済学部　００２０００１１×｜４
（総科）松本－小林
（経済）益丸－飯盛
☆三塁打　黒崎（経済）
☆二塁打　益丸・飯盛・大嶋・前田（経済）

◎表彰選手

最優秀選手	宮崎　康介	長県大
最優秀投手	林　真生	長県大
首位打者	宮崎　康介	長県大
打点王	松本　拓也	長県大
本塁打王	崎田健太郎	国際大
盗塁王	橋川　祐介	国際大

◎ベストナイン

投手	松尾　昂輝	長県大
捕手	松下　将大	国際大
一塁手	長橋　修平	国際大
二塁手	黒崎滉一郎	長大経
三塁手	本種　一喜	長県大
遊撃手	大石　恭次	国際大
外野手	長森　大樹	長大経
	中村　夏樹	国際大
	安達　明大	長県大

優勝　長崎県立大学

	長県大	長国大	長大経	長総大	順位
長崎県立大学		○６－１ ○８－１	○９－２ ○５－２	○13－５ ○13－２	1
長崎国際大学	●１－６ ●１－８		△５－５ ○８－５	○16－０ ○７－６	2
長崎大学経済学部	●２－９ ●２－５	△５－５ ●５－８		○３－０ ○４－２	3
長崎総合科学大学	●５－13 ●２－13	●０－16 ●６－７	●０－３ ●２－４		4

秋季リーグ戦

◎９月９日　鹿島市民球場

第１試合

長大経済学部　０１１４３２２｜13
長崎総科大学　０１４００００｜５
（７回コールド）

（長大）長森－益丸
（総科）横川・金井田・末永－清田
☆三塁打　前田（長大）
末永・横川（総科）
☆二塁打　納富・前田・田中（長大）

第２試合

長崎国際大　００２０００００｜２
長崎県立大　１０００３４００×｜８
（国際）浜口・橋川－村岡祐
（県大）五貫・泊－水田
☆三塁打　松尾（県大）
☆二塁打　橋川２（国際）、本種（県大）

◎９月10日　佐世保球場

第１試合

長崎国際大　３２０２０３１００｜11
長崎総科大　３０２１０２０００｜８
（国際）橋川－村岡祐
（総科）作江・小林・金井田－金井田・清田
☆二塁打　石山・川副・浜口（国際）
金井田・小林（総科）

第２試合

長大経済学部　０００２０００２０１｜５
長崎県立大学　１００３０００００｜４
（延長10回）
（長大）益丸・長野－明石・飯森
（県大）松尾・泊－平尾・水田
☆三塁打　坂本(県大)
☆二塁打　五貫・平尾（県大）

◎９月11日　佐世保球場

第１試合

長大経済学部　０２４５０６｜17
長崎国際大学　０３１０１０｜５
（６回コールド）
（長大）比田勝－益丸
（国際）浜口・橋川・浜口・橋川－村岡祐
☆二塁打　納富・前田（長大）

第２試合

長崎県立大　０５０１２００｜８
長崎総科大　００００００００｜０
（７回コールド）
（県大）平尾－水田
（総科）末永－清田
☆二塁打　友松・五貫（県大）

◎９月12日　佐世保球場

第１試合

長崎県立大　１００２２００００｜５
長崎国際大　０１００００００１｜２
（県大）松尾－水田
（国際）浜口・村岡祐
☆三塁打　宮崎（県大）
☆二塁打　五貫（県大）、村岡良（国際）

第２試合

長崎総科大学　００３０００００２０｜５
長大経済学部　１１００２１００１｜６
（総科）作江－清田
（経済）益丸－前田
☆三塁打　織田・納富（長大）
☆二塁打　納富・橋本（長大）

◎９月15日　みゆき球場

第１試合

長崎県立大学　６２１２０００｜11
長大経済学部　２０００１００｜３
（７回コールド）
（県大）五貫・平尾－水田
（長大）比田勝－飯森
☆三塁打　本種・五貫（県大）
☆二塁打　松本・泊（県大）
納富・黒崎(長大)

第２試合

長崎総科大　０１１０００｜２
長崎国際大　１６００１４｜12
（６回コールド）
（総科）横川－清田
（国際）中村・橋川－村岡祐
☆三塁打　石山（国際）
☆二塁打　清田（総科）
村岡良・吉澤（国際）

◎９月16日　みゆき球場

第１試合

長崎総科大　００００００｜０
長崎県立大　３０９１×｜13
（５回コールド）
（総科）金井田・末永－清田
（県大）松尾－水田
☆三塁打　水田（県大）
☆二塁打　五貫・水田（県大）

第２試合

長崎国際大学　０１００１１０｜３
長大経済学部　０５４１００×｜10
（７回コールド）
（国際）中村・橋川－村岡祐
（長大）益丸－飯盛
☆三塁打　石山（国際）、納富（長大）
☆二塁打　納富２（長大）

◎表彰選手

最優秀選手　松尾　昴輝　長県大
最優秀投手　平尾　亘裕　長県大
首位打者　五貫　健一　長県大
打点王　納富　大輔　長大経
本塁打王　該当者なし
盗塁王　橋川　祐介　国際大

◎ベストナイン

投手　益丸　和憲　長大経
捕手　水田　皓介　長県大
一塁手　横川　航一　総科大
二塁手　五貫　健一　長県大
三塁手　本種　一喜　長県大
遊撃手　橋川　祐介　国際大
外野手　友松　晃佑　長県大
古賀　拓也　長県大
納富　大輔　長大経

優勝：長崎県立大学

	長県大	長大経	長国大	長総大	戦績	順位
長崎県立大学		●４－５ ○11－３	○８－２ ○５－２	○８－０ ○13－０	５勝１敗	1
長崎大学経済学部	○５－４ ●３－11		○17－５ ○10－３	○13－５ ○６－５	５勝１敗	2
長崎国際大学	●２－８ ●２－５	●５－17 ●３－10		○11－８ ○12－２	２勝４敗	3
長崎総合科学大学	●０－８ ●０－13	●５－13 ●５－６	●８－11 ●２－12		０勝６敗	4

医歯薬学部大学準硬式野球

秋季リーグ戦（Ⅰ部リーグ）

◎９月23日　春日球場
第１試合
長大医　２００１０３２０｜８
佐大医　０１００１０１１｜４
（長大医）高木－福田
（佐大医）納所－島田
☆本塁打　島田（佐大医）
☆三塁打　近松（長大医）
☆二塁打　照屋（佐大医）

第２試合
九大医　０１０２２０００｜５
福大医　３００２２０００｜５
（九大医）溝上－橋野
（福大医）大澤－西
☆二塁打　石原・蛯原（九大医）
　　木戸（福大医）

◎９月28日　西部運動公園野球場
第１試合
九大歯　７０００２０｜９
長大医　００４０００｜４
（九大歯）中村－永井
（長大医）新谷・山本－福田
☆三塁打　石田（長大医）
☆二塁打　木谷（長大医）

第２試合
九大医　００００１２２｜５
佐大医　０００２２３１｜８
（九大医）藤－伊田
（佐大医）納所－島田
☆本塁打　島田（佐大医）
☆二塁打　照屋・小田切（佐大医）

◎９月29日　西部運動公園野球場
第１試合
九大歯　２０００１０３｜６
九大医　２０００１２３｜８
（九大歯）水田・中村－永井
（九大医）溝上・藤－伊田
☆三塁打　山崎・清水（九大歯）
☆二塁打　藤２（九大医）、清水（九大歯）
第２試合
長大医　００００４０１１｜６
福大医　００００３００００｜３
（長崎医）高木・山本－福田
（福大医）大澤－西
☆三塁打　石田（長大医）
☆二塁打　石田（長大医）

◎10月５日　みゆき球場
第１試合
佐大医　１２５２１｜11
福大医　００００００｜０（５回コールド）
（佐大医）納所－島田
（福大医）木戸－西
☆三塁打　照屋（佐大医）
第２試合
佐大医　００１１０００｜２
産業医　１３４０１０×｜９
（７回コールド）
（佐大医）筒井－島田
（産業医）鈴木－日下
☆三塁打　日下（産業医）
☆二塁打　斎藤（産業医）、松尾（佐大医）

◎10月12日　汐井球場
第１試合
長大医　１１００１００２０｜５
産業医　１０２００４００×｜７
（長大医）高木－福田
（産業医）鈴木－日下
第２試合
福大医　１０１０１０００｜３
九大歯　０００００００１｜１
（福大医）大澤－西
（九大歯）中村・水田－小浜

◎10月14日　春日球場
第１試合
九大歯　１１００１２０６｜11
産業医　０００００２０｜２
（九大歯）水田－小浜
（産業医）鈴木・花田－日下
☆三塁打　水田（九大歯）
☆二塁打　清水・津留・小浜（九大歯）
第２試合
産業医　０１１０００１１０｜４
九大医　１４０２０００２×｜９
（産業医）今野－日下
（九大医）藤－橋野
☆三塁打　橋野（九大医）
☆二塁打　藤・石原（九大医）

優勝　佐賀大学医学部

Ⅰ部リーグ	佐大医	産業医	長大医	九大医	九大歯	福大医	戦　績	順位
佐賀大医学部		●２－９	●４－８	○８－５	○11－６	○11－０	３勝２敗	1
産業医科大学	○９－２		○７－５	●４－９	●２－11	○12－０	３勝２敗	2
長崎大医学部	○８－４	●５－７		○11－５	●４－９	○６－３	３勝２敗	3
九州大医学部	●５－８	○９－４	●５－11		○８－６	△５－５	２勝２敗１分	4
九州大歯学部	●６－11	○11－２	○９－４	●６－８		●１－３	２勝３敗	5
福岡大医学部	●０－11	●０－12	●３－６	△５－５	○３－１		１勝３敗１分	6

◎10月20日　みどり球場
第１試合
長大医　１４０００５｜10
九大医　１１００１2x｜５
（長大医）高木－福田
（九大医）藤－橋野
☆三塁打　石田（長大医）
☆二塁打　中前（長大医）
第２試合
九大歯　０１３０１１｜６
佐大医　０４３１３0x｜11
（九大歯）中村－小浜
（佐大医）納所・照屋－島田
☆二塁打　清水（九大歯）
照屋・島田（佐大医）
第３試合
産業医　１２０４０５｜12
福大医　０００００0x｜０
（産業医）鈴木－日下
（福大医）大澤－山門
☆二塁打　斎藤・藤瀬・真鍋舜（産業医）

◎表彰選手
最優秀選手　照屋翔太郎　佐賀大医学部
敢 闘 選 手　鈴木　貴博　産業医科大学

医歯薬リーグを優勝して

佐賀大学医学部　主将　小田切優也

リーグ戦を振り返ってみると、今季より参加チームも増え例年より厳しいリーグ戦になりました。最終戦までどのチームが優勝するかわからない状況で、最後は得失点差での優勝となりました。どの試合も、私たちにとって課題の残るプレーが数多く出て、練習不足や野球に取り組む意識の低さを痛感しました。しかし、結果として優勝することができたのは、私たちにとって非常に貴重な経験となりました。最後に、連盟の方々にはリーグ戦のみならず、その後も多大なるご迷惑をおかけし、またご尽力をいただきました。この場をお借りして、お詫びとお礼を申し上げます。今後も医歯薬リーグを支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、優勝した経験を十分に活かし更に成長していきたいと思います

秋季リーグ戦（Ⅱ部リーグ）

◎９月16日　筑豊緑地球場
第１試合
大分医　０４５６２｜17
長大薬　３０１００｜４
（大分医）野辺－滝本
（長大薬）加藤－廣瀬
☆三塁打　内田（大分医）
☆二塁打　吉永・河原・野辺（大分医）

◎９月23日
第１試合
長大薬　３２３１００５｜14
長国薬　００４０１０４｜９
（長大薬）加藤－堀
（長国薬）松下・野口－佐藤
☆三塁打　大浦（長大薬）
☆二塁打　佐藤・合原（長国薬）
沼田（長国薬）
第２試合
大分医　０００１１００１４｜７
久大医　００１００１００６｜８
（大分医）野辺・安高・中野－滝本・秋山
（久大医）相良－森下
☆本塁打　内田（大分医）
☆三塁打　野辺（大分医）
☆二塁打　加藤・吉永（大分医）
第３試合
第一薬　００２０３２０｜７
福大薬　２１００５０×｜８
（第一薬）大神－山野
（福大薬）田代・川渕・土井－前田
☆三塁打　坂本（第一薬）
☆二塁打　香月（第一薬）
土井・衛藤（福大薬）

◎９月28日　みゆき球場
第１試合
長国薬　０００２｜２
久大医　10４００｜14
（長国薬）野口・大浦－佐藤
（久大医）野津原－森下
☆三塁打　清松（久大医）
☆二塁打　野津原・有馬（久大医）
池田（長国薬）
第２試合
大分医　３００４０２０｜９
第一薬　１００００００｜１
（７回コールド）
（大分医）中野－秋山
（第一薬）大神－山野
☆三塁打　中野（大分医）
☆二塁打　野辺（大分医）
第３試合
長大薬　２０３４００００｜９
福大薬　２００１０２２１｜８
（長大薬）加藤－森井
（福大薬）川渕・衛藤－前田
☆三塁打　平山・米澤・中村（長大薬）
川渕（福大薬）
☆二塁打　加藤・沼田（長大薬）
萩尾（福大薬）

◎９月29日　　西部運動公園野球場
第１試合
福大薬　１10２２１｜16
長国薬　００００００｜０（５回コールド）
（福大薬）田代－前田
（長国薬）岡・佐藤－佐藤・岡
☆二塁打　前田（福大薬）

◎10月５日　みゆき球場
第１試合
第一薬　０００００００｜０
久大医　２０６０１1x｜10
（第一薬）大神－香月
（久大医）相良－森下

◎10月６日　みゆき球場
第１試合
第一薬　５13００１｜19
長国薬　０５０００｜５（５回コールド）
（第一薬）坂本－山野
（長国薬）野口－岡

第２試合
大分医　１０１１００５｜８
福大薬　００１０００００｜１
（７回コールド）
（大分医）野辺－滝本
（福大薬）衛藤－前田
☆三塁打　野辺・内田（大分医）
☆二塁打　滝本（大分医）
第３試合
長大薬　００５０００１３｜８
福大薬　００００１５０２０｜８
（長大薬）平山－加藤
（久大医）野津原－森下
☆三塁打　平山・米澤（長大薬）
清松（久大医）
☆二塁打　平山（長大薬）

◎10月12日　汐井球場
第１試合
久大医　５０００００１８｜14
福大薬　０１０００２０｜３
（久大医）相良－森下
（福大薬）白石・衛藤－萩尾・宮下
☆三塁打　萩尾・衛藤（福大薬）
☆二塁打　森下・西（久大医）

◎10月14日　桧原球場
第１試合
長大薬　１０１０５２０｜９
第一薬　５０００２０３｜10
（長大薬）平山・加藤－森井
（第一薬）山野・協山－大神
☆三塁打　平山（長大薬）
☆二塁打　山野･峰･大津･大神（第一薬）
第２試合
大分医　３５０５３｜16
長国薬　０００１０｜１（５回コールド）
（大分医）池田－佐藤
（長国薬）木下－逸見
☆二塁打　安高（大分医）
森永（長国薬）

◎表彰選手
最優秀選手　野辺　亮丞　大分医
敢　闘　賞　清松　光貴　久大医

入れ替え戦

◎10月26日　汐井球場
福大医　００１１０１０｜３
大分医　３０１０３０３｜10
（福大医）大澤－山門
（大分医）野辺－滝本
☆三塁打　野辺・内田（大分医）
☆二塁打　川端・大澤・川口（福大医）

優勝　大分大学医学部

	大分医	久大医	長大薬	福大薬	第一薬	長国薬	戦　績	順位
大分大医学部		●７－８	○17－４	○８－１	○９－１	○16－１	４勝１敗	1
久大医学部	○８－７		●８－９	○14－３	○10－０	○14－２	４勝１敗	2
長崎大薬学部	●４－17	○９－８		○９－８	●９－10	○14－９	３勝２敗	3
福岡大薬学部	●１－８	●３－14	●８－９		○８－７	○16－０	２勝３敗	4
第一薬科大学	●１－９	●０－10	○10－９	●７－８		○19－５	２勝３敗	5
長国大薬学部	●１－16	●２－14	●９－14	●０－16	●５－19		５敗	6

医歯薬リーグの運営を終えて

学生幹事長　川端　祐太

今回の医歯薬リーグ戦では優勝佐賀大学医学部、準優勝産業医科大学であったが、今年は最終戦までどこが優勝するのかが分からない混戦であった。今大会は比較的２塁打、３塁打の長打が多く打撃面のレベル向上が全体的に見られた。また佐賀大学医学部の島田は２試合連続のHRを記録した。

運営に関しては分からない事が多く反省点が多かった。この反省点を来年の医歯薬リーグに活かしたいと思う。

平成25年度加盟校一覧

北海道地区（20チーム）

1 旭川医科大学
2 小樽商科大学
3 釧路公立大学
4 札幌大学
5 札幌医科大学
6 札幌学院大学
7 東海大学札幌校
8 東京農業大学生物産業学部
9 北星学園大学
10 北海学園大学
11 北海道大学
12 北海道大学医学部
13 北海道大学歯学部
14 北海道医療大学
15 北海道教育大学釧路校
16 北海道教育大学札幌校
17 北海道教育大学函館校
18 北海道薬科大学
19 室蘭工業大学
20 酪農学園大学

東北地区（14チーム）

1 青森大学
2 岩手大学
3 仙台大学
4 東北大学
5 東北大学医学部
6 東北学院大学
7 東北学院大学工学部
8 東北工業大学
9 東北文化学園大学
10 東北薬科大学
11 富士大学
12 福島大学
13 福島県立医科大学
14 山形大学医学部

関東地区（71チーム）

1 慶應義塾大学
2 東京大学
3 法政大学
4 明治大学
5 立教大学
6 早稲田大学
7 亜細亜大学
8 青山学院大学
9 学習院大学
10 健康科学大学
11 國學院大学
12 国士舘大学
13 駒澤大学
14 首都大学東京
15 上智大学
16 城西大学
17 成蹊大学
18 専修大学
19 千葉大学
20 中央大学
21 筑波大学
22 帝京大学
23 電気通信大学
24 東海大学
25 東京工業大学
26 東京農業大学
27 東京農工大学
28 東京薬科大学
29 東京理科大学
30 東洋大学
31 獨協大学
32 日本大学
33 日本体育大学
34 一橋大学
35 法政大学Ⅱ部
36 明治薬科大学
37 立正大学
38 麻布大学
39 神奈川大学
40 関東学院大学
41 松蔭大学
42 日本大学生物資源科学部
43 防衛大学校
44 横浜国立大学
45 横浜市立大学
46 足利工業大学
47 茨城大学
48 宇都宮大学
49 共栄大学
50 群馬大学
51 群馬大学荒牧
52 埼玉大学
53 自治医科大学
54 高崎経済大学
55 帝京大学宇都宮
56 北里大学
57 国士舘大学世田谷
58 埼玉医科大学
59 芝浦工業大学
60 昭和大学
61 昭和薬科大学
62 創価大学
63 多摩美術大学
64 都留文科大学
65 東京大学医学部
66 東京都市大学
67 日本大学法学部
68 日本大学理工学部
69 日本社会事業大学
70 星薬科大学
71 横浜薬科大学

東海地区（31チーム）

1 愛知大学
2 愛知学院大学
3 愛知学院大学歯学部
4 愛知教育大学
5 愛知県立大学
6 愛知工業大学
7 岐阜大学
8 岐阜大学医学部
9 岐阜経済大学
10 中京大学
11 中部大学
12 名古屋大学
13 名古屋大学医学部
14 名古屋学院大学
15 名古屋工業大学
16 名古屋市立大学
17 名古屋商科大学
18 南山大学
19 日本福祉大学
20 藤田保健衛生大学
21 三重大学
22 三重大学医水学部
23 名城大学
24 静岡大学静岡
25 静岡大学浜松
26 静岡県立大学
27 静岡産業大学
28 東海大学海洋学部
29 常葉大学浜松
30 日本大学国際関係学部
31 浜松医科大学

北信越地区（18チーム）

1 金沢大学医学部
2 金沢大学教育学部
3 金沢大学工学部
4 金沢大学法文経済学部
5 金沢大学薬理学部
6 金沢医科大学
7 金沢工業大学
8 金沢星稜大学
9 金沢美術工芸大学
10 上越教育大学
11 信州大学
12 富山大学
13 富山大学医薬学部
14 新潟大学医学部
15 新潟大学学友会
16 福井大学
17 福井大学医学部
18 北陸大学

関西地区（56チーム）

1 大阪大学
2 大阪大学医学部
3 大阪大学歯学部
4 大阪医科大学
5 大阪大谷大学
6 大阪教育大学
7 大阪経済大学
8 大阪工業大学
9 大阪産業大学
10 大阪市立大学
11 大阪市立大学医学部
12 大阪商業大学
13 大阪府立大学
14 大手前大学
15 関西大学
16 関西大学人間健康学部

17 関西医科大学
18 関西学院大学
19 京都大学
20 京都大学医学部
21 京都学園大学
22 京都教育大学
23 京都産業大学
24 京都橘大学
25 京都府立医科大学
26 京都薬科大学
27 近畿大学
28 近畿大学医学部
29 近畿大学薬学部
30 甲南大学
31 神戸大学
32 神戸大学医学部
33 神戸学院大学薬学部
34 神戸市外国語大学
35 神戸薬科大学
36 滋賀大学教育学部
37 滋賀大学経済学部
38 滋賀医科大学
39 摂南大学
40 摂南大学枚方
41 同志社大学
42 奈良教育大学
43 奈良県立医科大学
44 花園大学
45 阪南大学
46 姫路獨協大学
47 兵庫医科大学
48 兵庫医療大学
49 兵庫教育大学
50 兵庫県立大学神戸校
51 兵庫県立大学姫路校
52 桃山学院大学
53 立命館大学
54 龍谷大学
55 和歌山大学
56 和歌山県立医科大学

中国地区（15チーム）

1 岡山大学
2 岡山大学医学部
3 海上保安大学校
4 川崎医科大学
5 吉備国際大学
6 島根大学
7 下関市立大学
8 東亜大学
9 鳥取大学
10 鳥取大学医学部
11 広島国際大学
12 広島修道大学
13 広島大学
14 広島大学医学部
15 山口大学

四国地区（10チーム）

1 愛媛大学
2 愛媛大学医学部
3 香川大学
4 香川大学医学部
5 高知大学医学部
6 高知県立大学
7 四国学院大学
8 徳島大学医学部
9 徳島文理大学
10 松山大学

九州地区（40チーム）

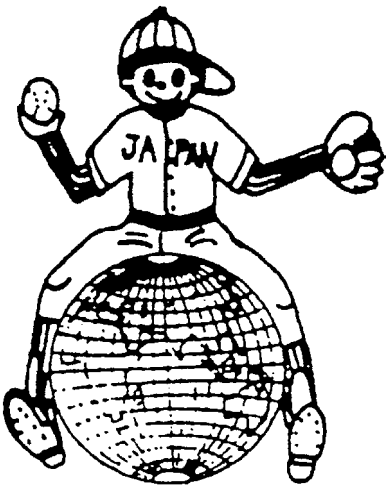
1 大分大学医学部
2 鹿児島大学
3 九州大学
4 九州大学医学部
5 九州大学歯学部
6 九州共立大学
7 九州工業大学
8 九州国際大学
9 九州産業大学
10 九州歯科大学
11 近畿大学産業理工学部
12 久留米大学
13 久留米大学医学部
14 久留米工業大学
15 熊本大学
16 熊本大学医学部
17 熊本大学薬学部
18 熊本学園大学
19 佐賀大学
20 佐賀大学医学部
21 産業医科大学
22 西南学院大学
23 第一薬科大学
24 東海大学九州
25 長崎大学医学部
26 長崎大学経済学部
27 長崎大学薬学部
28 長崎県立大学
29 長崎国際大学
30 長崎国際大学薬学部
31 長崎総合科学大学
32 日本経済大学
33 日本文理大学
34 福岡大学
35 福岡大学Ⅱ部
36 福岡大学医学部
37 福岡大学薬学部
38 福岡教育大学
39 福岡工業大学
40 宮崎大学医学部

大学準硬式野球連盟出身　高校野球指導者一覧表

氏　名	所属高校	出身大学	卒業	更　新	氏　名	所属高校	出身大学	卒業	更　新
木谷　忠弘	西脇工業	仙台	Ｈ８	H25	宮嶌　孝一	東海大学付属高輪台	東海	H12	H25
多胡信太郎	相模原	明治	H20	H25	村田　升	大阪栄真学園	〃	H12	H25
徳重　雄平	糸島農業(軟式)	立教	Ｈ９	H25	中村　圭介	松戸馬橋	〃	H15	H25
西脇　昌則	金沢(ソフトボール)	法政	H13	H25	雨宮　隆介	東海大学甲府	〃	H16	H25
藤井　大	慶應義塾(軟式)	慶應義塾	H14	H25	黒田　浩司	東海大学付属仰星	〃	H16	H25
船川　誠	静岡市立	早稲田	Ｓ47	H25	角石　佑太	東海大学付属仰星	〃	H17	H25
村上　満雄	今治工業	〃	Ｓ49	H25	小坂　仁	穂高商業	東洋	Ｓ58	H25
大塚　博	尽誠学園	〃	Ｓ51	H25	山口登志成	伊勢崎商業	〃	Ｓ60	H25
宗像　治	福島商業	〃	Ｓ51	H25	田中　淳一	盛岡北	〃	Ｈ元	H25
近藤　圭郎	桐蔭	〃	Ｓ52	H25	湯原　貴博	朋優学院	國學院	H13	H25
斉藤　精一	浜松大大平台	〃	Ｓ52	H25	國仲　真司	大成	〃	H14	H25
中村　尚登	和歌山商業	〃	Ｓ52	H25	石川　浩史	新田暁	〃	H16	H25
船橋　博敏	川越	〃	Ｓ52	H25	後藤　健史	岩槻	〃	H17	H25
中　伸一	簑島	〃	Ｓ53	H25	島根　修二	太田第一	日本	Ｓ61	H25
鈴木　和彦	志木	〃	Ｓ53	H25	澤村　史郎	拓殖大学紅陵	〃	Ｈ元	H25
山内　克之	磐田東学園	〃	Ｓ53	H25	門脇　公喜	仙台商業	〃	Ｈ５	H25
武田　隆	鎌倉学園	〃	Ｓ53	H25	阿彦　祐幸	酒田南	〃	Ｈ７	H25
大山　望	藤沢翔陵	〃	Ｓ54	H25	林　和成	星陵	〃	H10	H25
阿部　司	宇都宮工業	〃	Ｓ55	H25	峯　岸聡	小高工業	〃	H14	H25
上村　敏正	袋井商業	〃	Ｓ55	H25	鈴木　和也	栄東	〃	H15	H25
山田　忠	島田商業	〃	Ｓ59	H25	白窪　秀史	日本大学第三	〃	H16	H25
表　隆則	聖望学園	〃	Ｓ59	H25	赤澤　雄祐	広島商業	〃	H16	H25
福井　聡	香川西	〃	Ｓ59	H25	臼井　弘輔	松商学園	〃	H18	H25
谷藤　正樹	名取北	〃	Ｓ60	H25	栗原　光	市川南	〃	H23	H25
阿部　宙	野田中央	〃	Ｓ60	H25	河西　竜太	大宮東	中央	Ｈ８	H25
福田　圭一	武蔵越生	〃	Ｓ62	H25	工藤　明	能代松陽	〃	H10	H25
佐々木　幹	能代	〃	Ｓ63	H25	大石　卓哉	三ヶ日	〃	H15	H25
中村　裕之	八千代西	〃	Ｈ２	H25	豊田　和晃	金谷	〃	H19	H25
泉　喜文	都立三商	〃	Ｈ２	H25	森田　裕貴	伊勢崎商業	〃	H22	H25
大橋　徹	安積	〃	Ｈ２	H25	池田　利成	明大付属中野	国士舘	Ｓ44	H25
高橋　忠良	早稲田実業	〃	Ｈ３	H25	本木　幹男	東京学館浦安	〃	Ｓ50	H25
桑原　健二	浜田	〃	Ｈ５	H25	渡邊　徹	正則	〃	Ｓ54	H25
菅　勝	長岡	〃	Ｈ８	H25	浅井　純哉	鵬学園	〃	Ｓ54	H25
米沢　守	盛岡中央	専修大学	Ｓ55	H25	松田　貴	多賀	〃	Ｓ57	H25
山田　誠治	市立岐阜商業	〃	Ｓ59	H25	飯岡　剛	市立船橋東	〃	Ｓ58	H25
見富　昭	袖ヶ浦	〃	Ｓ60	H25	鈴木　良	時習館	〃	Ｓ58	H25
工藤　昌義	土岐商業	〃	Ｓ62	H25	高橋　昇	佐伯鶴城	〃	Ｓ59	H25
伊藤　暢康	豊橋商業	〃	Ｈ２	H25	辻川　正彦	浦和実業学園	〃	Ｓ62	H25
永島　良幸	大月短期大学附属	〃	Ｈ２	H25	青柳　伸二	盛岡第四	〃		H25
藤田　明宏	県立岐阜商業	〃	Ｈ２	H25	大木　秀一	黒沢尻北	〃	Ｈ６	H25
泥谷　耕二	幡多農業	〃	Ｈ２	H25	山浦　秀一	本庄第一	〃	Ｈ６	H25
小川　信和	岐阜城北	〃	Ｈ６	H25	奥村	野洲	〃	H11	H25
井田　友喜	相馬農業	〃	H10	H25	奥山　峰志	都立蒲田	〃	H13	H25
荒井　藍	上田千曲	〃	H18	H25	岸本　淳	正則	〃	H13	H25
太田　純也	専修大学北上	〃	H21	H25	渡邊　喜満	本庄第一	〃	H15	H25
森下　倫明	東海大学付属浦安	東海	Ｓ61	H25	池田　泉	国士舘	〃	H16	H25
加藤　隆司	飛龍	〃	Ｓ61	H25	塩原　元気	明和県央	〃	H22	H25
原　文良	東海大学付属浦安	〃	Ｈ４	H25	竹林　和史	生田東	〃	H22	H25
濱崎　雄作	東海大学付属望洋	〃	Ｈ７	H25	渋谷　玲浩	湘南学院（コーチ）	〃	Ｈ９	H25
井村　茂雄	金沢西	〃	H11	H25	三島　航平	静清（部長）	〃	H15	H25

氏　名	所属高校	出身大学	卒業年	更　新	氏　名	所属高校	出身大学	卒業年	更　新
森岡健太郎	専修大学松戸(部長)	神奈川	Ｈ８	H25	玉村　拓史	福井県立美方	同志社	H19	H24
阿久沢　毅	勢多農林	群馬	Ｓ57	H25	吉長　珠輝	福井県立敦賀	〃	H20	H24
境原　尚樹	高崎	〃	Ｓ60	H25	田上　浩司	神奈川県立山北	〃	Ｓ58	H24
星野　英司	尾瀬	〃	Ｈ５	H25	堀井　真生	京都府立桂	〃	Ｈ２	H24
高田　茂	桐生西	〃	H20	H25	松隈　史郎	八幡南	岡山	Ｈ７	H25
毒島　健一	新田暁	〃	Ｈ４	H25	吉川　祐司	小野工業	〃	Ｈ９	H25
柳澤　英希	桐生工	〃	H16	H25	定常　弘顕	倉吉東	〃	H15	H25
吉田　義之	岐阜西工業	中京	Ｓ50	H24	西村慎太郎	西日本短大付属	福岡	Ｈ６	H21
金城　孝夫	長崎日大	〃	Ｓ50	H24	塔鼻　充	大分工業	西南学院	Ｓ53	H23
木下　秋次	星城	〃	Ｓ55	H24	横手　文彦	熊本県立宇土	西南学院	H10	H23
松島　晃	松川	〃	Ｓ55	H24	藤井　智	沖縄県立宮古	福岡	H24	H24
原　次彦	前橋育英	〃	Ｓ57	H24	古川　敦朗	三重県立上野	福岡	H24	H24
清水　保延	神戸弘陵	〃	Ｓ57	H24					
羽鳥　均	地球環境	〃	Ｓ60	H24					
彦坂　明人	享栄	〃	Ｓ61	H24					
池澤　和宏	浪速	〃	Ｓ61	H24					
服部　幹和	加納	〃	Ｓ63	H24					
斉藤　雄大	札幌平塚	〃	Ｓ63	H24					
杉澤　哲	桜丘	〃	Ｈ７	H24					
渡邊　修一	名城大付属	中京	Ｈ９	H24					
白木　良尚	大垣日大	〃	Ｈ９	H24					
鈴木　将吾	愛産大工業	〃	H10	H24					
加藤　剛	四日市工業	〃	H13	H24					
伊志嶺大吾	沖縄尚学	〃	H18	H24					
玉置大治朗	佐野工科	〃	H19	H24					
永田　伸晃	名古屋市立工業	〃	H20	H24					
渡辺　義朗	土岐商業	名古屋商科	Ｓ47	H24					
浅井　勇吾	松商学園	〃	Ｓ53	H24					
渡辺　俊樹	東濃実業	〃	Ｓ55	H24					
見城　喜哉	静岡商業	〃	Ｓ59	H24					
松下　健二	関商工	〃	Ｓ62	H24					
高田　昌史	土岐商業	〃	Ｈ１	H24					
曲田　雄三	清水東	〃	H18	H24					
佐藤　慶一	倉敷商業	愛知	H20	H24					
木村　剛	東邦学園	立命館	H14	H21					
脇山　宏樹	東福岡	〃	H15	H21					
赤木　祐一	莵進	京都	H15	H21					
西岡　義夫	彦根総合	滋賀	Ｓ34	H21					
田部　勝彦	彦根翔陽	〃	Ｓ56	H21					
今井　義尚	彦根東	〃	Ｓ57	H21					
志賀　武司	八日市	〃	Ｓ59	H21					
松井　清隆	水口東	〃	Ｓ62	H21					
田濃　良和	彦根西	〃	Ｓ63	H21					
竹川　明治	比叡山	〃	Ｈ４	H21					
津田　正治	湖南農業	〃	Ｈ９	H21					
小俣　太志	岐阜県立大垣北	〃	H15	H23					
筒井　哲也	大阪市立	大阪市立	H22	H24					
吉田　俊介	市立西宮	近畿	H19	H24					
小川　浩徳	浪速	大阪商業	Ｓ59	H23					
河井　泰晴	志貴	龍谷	Ｓ60	H21					
中岡　隆児	北条	〃	Ｈ４	H21					
安野　俊一	瓊浦	同志社	Ｓ53	H21					

海 外 遠 征（国及び試合都市）



韓　国
1968（９月17日～30日）
1973（９月13日～26日）

中　国
2005（12月18日～24日）

○広州

台　湾
1970（11月14日～24日）
2008（11月26日～12月１日）

フィリピン
1980（１月８日～14日）

ブラジル
1979（11月８日～26日）
1983（６月21日～７月10日）
1988（11月23日～12月６日）
1995（12月６日～20日）

全日本大学準硬式野球選手権大会戦績表

回数	開催地	戦	績
第1回 (昭和24年)	兵庫県 明石市	関西大学 2 慶應大学 4 — 0 同志社大学 4 — 3× 法政大学 1	代表8校　準決勝以後 優勝　同志社大学
第2回 (昭和25年)	長野県 飯田市	明治大学 6 法政大学 3 — 1 慶応大学 4× — 9 立命館大学 1	代表12校　準決勝以後 優勝　慶應義塾大学
第3回 (昭和26年)	三重県 宇治山田市	和歌山大学 0 法政大学 8 — 2× 関西大学 3 — 0 慶応大学 5	代表12校　準決勝以後 優勝　法政大学
第4回 (昭和27年)	北海道 札幌市	関西大学 1 同志社大学 3× — 0 三重大学 1 — 3 早稲田大学 13	代表16校　準決勝以後 優勝　早稲田大学
第5回 (昭和28年)	奈良県 天理市	浜松短期大学 1 近畿大学 13 — 5 関西大学 0 — 14× 明治大学 1	代表16校　準決勝以後 優勝　明治大学
第6回 (昭和29年)	東京都 八王子市	立命館大学 2 中央大学 1 — 2 大阪経済大学 6 — 3× 岡山大学 0	代表16校　準決勝以後 優勝　大阪経済大学
第7回 (昭和30年)	東京都 八王子市	立命理大 0 中京短大 10 — 3× 関西大学 0 — 2 関西学院大学 4	代表16校　準決勝以後 優勝　中京短期大学
第8回 (昭和31年)	東京都 八王子市	東北学院大学 2 立教大学 4 — 0 日本大学 3 — 1 早稲田大学 12	代表16校　準決勝以後 優勝　早稲田大学
第9回 (昭和32年)	東京都 八王子市	東北学院大学 1 中央大学 9 — 5× 同志社大学 5 — 3 北海道大学 2	代表16校　準決勝以後 優勝　中央大学
第10回 (昭和33年)	東京都 八王子市	関西学院大学 0 中京大学 7 — 0 立命館大学 1 — 2 東北学院大学 2	代表16校　準決勝以後 優勝　東北学院大学
第11回 (昭和34年)	東京都 八王子市	近畿大学 2 立教大学 1 — 1 慶応大学 2× — 3 中央大学 0	代表16校　準決勝以後 優勝　慶應義塾大学
第12回 (昭和35年)	山形県 鶴岡市	中央大学 1 法政大学 5 — 4 明治大学 1 — 1 早稲田大学 2	代表16校　準決勝以後 優勝　法政大学
第13回 (昭和36年)	東京都 神宮球場	早稲田大学 2× 関西大学 0 — 4 慶応大学 2 — 2 法政大学 3×	代表16校　準決勝以後 優勝　早稲田大学
第14回 (昭和37年)	東京都 神宮球場	東京農業大学 5 福岡大学 6 — 10 中央大学 2 — 5 慶応大学 0	代表16校　準決勝以後 優勝　福岡大学
第15回 (昭和38年)	東京都 神宮球場	立教大学 1 北海学園大学 2 — 3 日本大学 6× — 7× 早稲田大学 4	代表16校　準決勝以後 優勝　日本大学
第16回 (昭和39年)	東京都 神宮球場	立教大学 2 東京農業大学 6 — 0 福岡大学 0 — 7 早稲田大学 3	代表16校　準決勝以後 優勝　早稲田大学
第17回 (昭和40年)	東京都 神宮球場	中央大学 2 広島大学 0 — 4× 福岡大学 3 — 1 関西学院大学 2	代表20校　準決勝以後 優勝　中央大学
第18回 (昭和41年)	東京都 神宮球場	法政大学 3 立教大学 1 — 1 中京大学 4 — 5 大阪経済大学 0	代表21校　準決勝以後 優勝　中京大学

回数	開催地	戦	績
第19回 (昭和42年)	東京都 神宮球場	東北学院大学 1 中京大学 3 — 4 立教大学 0 — 0 名古屋商科大学 5	代表21校　準決勝以後 優勝　中京大学
第20回 (昭和43年)	東京都 神宮球場	同志社大学 4 北海学園大学 5× — 2 中京大学 4× — 5× 琉球大学 1	代表24校　準決勝以後 優勝　中京大学
第21回 (昭和44年)	和歌山県	中京大学 8 関東学院大学 0 — 3 関西大学 3 — 2 甲南大学 2	代表24校　準決勝以後 優勝　中京大学
第22回 (昭和45年)	岩手県 陸前高田市	近大二部 0 福岡大学 1 — 2 熊本大学 1 — 1 専修大学 0	代表24校　準決勝以後 優勝　福岡大学
第23回 (昭和46年)	北海道 室蘭市	熊本大学 0 近大二部 1 — 4 山形大学 2 — 3 中央大学 5	代表24校　準決勝以後 優勝　近大二部
第24回 (昭和47年)	福岡県 福岡市	中京大学 0 早稲田大学 2 — 1 青山学院大学 3 — 4 沖縄大学 4	代表24校　準決勝以後 優勝　沖縄大学
第25回 (昭和48年)	東京都 神宮球場	専修大学 1 沖縄大学 4 — 7 日本大学 3 — 0 同志社大学 0	代表24校　準決勝以後 優勝　沖縄大学
第26回 (昭和49年)	徳島県 徳島球場 鳴門球場	日本大学 2 別府大学 0 — 4 福岡大学 2 — 3 沖縄大学 4	代表16校　準決勝以後 優勝　日本大学
第27回 (昭和50年)	宮城県 仙台市 県営宮城球場	早稲田大学 2 日本大学 1 — 6 東北学院大学 4 — 2 福岡大学 2	代表16校　準決勝以後 優勝　早稲田大学
第28回 (昭和51年)	愛媛県 宇和島市 丸山球場	福岡大学 2 東北学院大学 1 — 6 専修大学 0 — 0 早稲田大学 3	代表16校　準決勝以後 優勝　福岡大学
第29回 (昭和52年)	北海道 釧路市 市営球場	中京大学 1 福岡大学 2 — 4 京都産業大学 2 — 0 愛知学院大学 3	代表16校　準決勝以後 優勝　福岡大学
第30回 (昭和53年)	岐阜県 大垣市 市営球場	大阪経済大学 3 福岡大学 1 — 1 中央大学 0 — 6 青山学院大学 1	代表24校　準決勝以後 優勝　青山学院大学
第31回 (昭和54年)	大阪府 大阪市	東北学院大学 1 中京大学 0 — 3 名古屋商科大学 2 — 6 福岡大学 0	代表16校　準決勝以後 優勝　名古屋商科大学
第32回 (昭和55年)	香川県 高松市 高松中央球場	同志社大学 1 早稲田大学 8 — 5 専修大学 6 — 7 青山学院大学 4	代表16校　準決勝以後 優勝　専修大学
第33回 (昭和56年)	福岡県 平和台球場	近大二部 3 名古屋商科大学 1 — 2 東北学院大学 6 — 0 群馬大学 1	代表16校　準決勝以後 優勝　近大二部
第34回 (昭和57年)	福井県 福井市営球場	愛知学院大学 3 福岡大学 1 — 4 青山学院大学 0 — 6 明治大学 2	代表16校　準決勝以後 優勝　明治大学
第35回 (昭和58年)	宮城県 仙台市 宮城県営球場	名古屋商科大学 3 専修大学 2 — 3 東北学院大学 2 — 0 京都産業大学 4	代表25校　準決勝以後 優勝　名古屋商科大学
第36回 (昭和59年)	北海道 栗山町公園球場	早稲田大学 1 中京大学 0 — 7 立教大学 0 — 0 札幌学院大学 4	代表20校　準決勝以後 優勝　早稲田大学
第37回 (昭和60年)	愛知県 豊橋市民球場	同志社大学 1 専修大学 5 — 4 福岡大学 6 — 6 大阪経済大学 0	代表20校　準決勝以後 優勝　福岡大学

回数	開催地	戦	績
第38回 (昭和61年)	栃木県 宇都宮市 栃木県営球場	中京大学 2 中央大学 1 福岡大学 3 東海大学 7 中京大学 2 福岡大学 1	代表20校　準決勝以後 優勝　中京大学
第39回 (昭和62年)	岡山県 岡山県営球場 岡山市営球場	早稲田大学 4 中京大学 7 名古屋商科大学 3 東北学院大学 4 中京大学 6 名古屋商科大学 4	代表21校　準決勝以後 優勝　中京大学
第40回 (昭和63年)	兵庫県 グリーンスタジアム 神戸	立命館大学 2 早稲田大学 4 福岡大学 4 愛知学院大学 5 早稲田大学 2 愛知学院大学 9	代表20校　準決勝以後 優勝　愛知学院大学
第41回 (平成元年)	北海道 滝川市営球場 滝の川球場	関西学院大学 6 福岡大学 7 九州東海大学 9 立命館大学 8 福岡大学 8 九州東海大学 0	代表21校　準決勝以後 優勝　福岡大学
第42回 (平成２年)	福井県 福井県営球場 福井市営球場	中央大学 8 中京大学 0 福岡大学 2 法政大学 1 中央大学 2 福岡大学 0	代表20校　準決勝以後 優勝　中央大学
第43回 (平成３年)	高知県 春野球場 高知市営球場	中央大学 5 愛知学院大学 0 日本大学 6 名古屋商科大学 3 中央大学 3 日本大学 2	代表22校　準決勝以後 優勝　中央大学
第44回 (平成４年)	福岡県 平和台球場	同志社大学 9 東洋大学 7 京都産業大学 5 中京大学 6 同志社大学 4 京都産業大学 2	代表23校　準決勝以後 優勝　同志社大学
第45回 (平成５年)	宮城県 仙台市 県営宮城球場	神奈川大学 8 明治大学 0 福岡大学 4 同志社大学 5 神奈川大学 2 同志社大学 3	代表23校　準決勝以後 優勝　同志社大学
第46回 (平成６年)	愛知県 瑞穂運動公園野球場	中央大学 8 桜美林大学 2 関東学院大学 3 関西大学 0 中央大学 6 関東学院大学 2	代表23校　準決勝以後 優勝　中央大学
第47回 (平成７年)	神奈川県 平塚球場 相模原球場	関西大学 0 九州産業大学 2 大阪経済大学 8 香川大学 1 九州産業大学 1 大阪経済大学 3	代表23校　準決勝以後 優勝　大阪経済大学
第48回 (平成８年)	岡山県 マスカットスタジアム	同志社大学 3 神奈川大学 1 日本大学 1 桜美林大学 0 神奈川大学 4 日本大学 3	代表23校　準決勝以後 優勝　同志社大学
第49回 (平成９年)	石川県 石川県営球場 金沢市民球場	東北学院大学 3 関西学院大学 2 日本大学 5 九州産業大学 0 関西学院大学 0 日本大学 3	代表23校　準決勝以後 優勝　日本大学
第50回 (平成10年)	宮城県 県営宮城球場 東北電力愛島球場	日本大学 4 近畿大学 5 東北学院大学 4 桜美林大学 1 近畿大学 2 東北学院大学 0	代表32校　準決勝以後 優勝　近畿大学
第51回 (平成11年)	香川県 香川県営球場 津田球場	桜美林大学 7 中京大学 6 九州産業大学 5 法政大学 2 中京大学 3 九州産業大学 5	代表23校　準決勝以後 優勝　九州産業大学
第52回 (平成12年)	長崎県 ビッグNスタジアム 市営かきどまり球場	九州産業大学 0 中央大学 8 亜細亜大学 5 愛知大学 3 中央大学 5 亜細亜大学 0	代表23校　準決勝以後 優勝　中央大学
第53回 (平成13年)	大阪府 舞洲ベースボール スタジアム	桜美林大学 4 九州産業大学 3 法政大学 5 龍谷大学 1 九州産業大学 3 法政大学 5	代表23校　準決勝以後 優勝　法政大学
第54回 (平成14年)	北海道 札幌市麻生球場 野幌総合運動公園野球場	中京大学 1 九州産業大学 7 龍谷大学 1 福岡大学 4 九州産業大学 1 龍谷大学 0	代表23校　準決勝以後 優勝　九州産業大学
第55回 (平成15年)	愛知県 瑞穂運動公園野球場 熱田球場	日本大学 6 大阪教育大学 0 九州産業大学 3 関西学院大学 4 大阪教育大学 5 九州産業大学 4	代表23校　準決勝以後 優勝　日本大学
第56回 (平成16年)	茨城県 水戸市民球場 ひたちなか市民球場	東海大学 2 福岡大学 0 立命館大学 1 甲南大学 0 福岡大学 4 立命館大学 3	代表24校　準決勝以後 優勝　東海大学

回数	開催地	戦績	
第57回 (平成17年)	岡山県 マスカットスタジアム	関西学院大学 3 桜美林大学 2 福岡大学 2 日本大学 3 6 4	代表25校　準決勝以後 優勝　関西学院大学
第58回 (平成18年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	中京大学 1 桜美林大学 0 福岡大学 1 東亜大学 0 6 3	代表25校　準決勝以後 優勝　中京大学
第59回 (平成19年)	宮城県 フルキャストスタジアム宮城 仙台市民球場	東北学院大学 3 専修大学 2 桜美林大学 3 中京大学 1 1 6	代表25校　準決勝以後 優勝　桜美林大学
第60回 (平成20年)	香川県 サーパススタジアム 県営第二球場 志度球場・津田球場	日本大学 1 中央大学 2 関西学院大学 1 法政大学 0 3 2	代表25校　準決勝以後 優勝　中央大学
第61回 (平成21年)	佐賀県 みどりの森県営球場 佐賀市立球場・鹿島市民球場 嬉野みゆき球場	専修大学 2 関西学院大学 1 中央大学 1 岡山大学 0 0 1	代表25校　準決勝以後 優勝　中央大学
第62回 (平成22年)	大阪府・兵庫県 舞洲ベースボールスタジアム 尼崎記念球場・明石公園球場 三田城山運動公園野球場 淡路佐野運動公園野球場	関東学院大学 2 同志社大学 4 早稲田大学 3 法政大学 4 6 4	代表25校　準決勝以後 優勝　同志社大学
第63回 (平成23年)	北海道 札幌市円山球場 札幌市麻生球場 道立野幌総合運動公園硬式野球場 千歳市民球場	東亜大学 2 福岡大学 8 九州産業大学 0 中央大学 2 0 1	代表25校　準決勝以後 優勝　中央大学
第64回 (平成24年)	愛知県 瑞穂公園野球場 熱田神宮公園野球場 半田市民球場 瀬戸市民球場 豊田運動公園野球場	九州産業大学 0 甲南大学 3 大阪経済大学 1 中央大学 2 2 7	代表25校　準決勝以後 優勝　中央大学
第65回 (平成25年)	東京都 昭島市民球場 八王子市民球場 立川公園野球場 上柚木公園野球場	中央大学 1 関西大学 2 甲南大学 5 早稲田大学 1 4 2	代表24校　準決勝以後 優勝　関西大学

清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会戦績表

回数	開催地	戦績	
全日本大学選抜準硬式野球大会 第1回(昭和44年)	東京都 神宮球場	立教大学 3 島根大学 2 明治大学 1 日本大学 2 3-4	優勝 日本大学
第2回 (昭和45年)	東京都 神宮球場	名城大学 2 青山学院大学 4 東海大学 6 福岡教育大学 0 4-5	優勝 東海大学
第3回 (昭和46年)	東京都 神宮球場	立正大学 3 東海大学 4 国士舘大学 4 熊本商科大学 3 5-1	優勝 東海大学
第4回 (昭和47年)	東京都 神宮球場	日本大学 7 関東学院大学 0 高崎経済大学 1 岡山大学 4 6-4	優勝 日本大学
第5回 (昭和48年)	愛知県 名古屋市	島根大学 1 高崎経済大学 5 久留米大学 2 亜細亜大学 4 1-10	優勝 亜細亜大学
第6回 (昭和49年)	和歌山県 田辺市	関東学院大学 3 和歌山県立歯科大学 0 愛知学院大学 3 中央大学 1 2-4	優勝 愛知学院大学
第7回 (昭和50年)	栃木県 宇都宮市	福岡教育大学 2 愛知学院大学 1 足利工業大学 7 九州大学 0 0-2	優勝 足利工業大学
第8回 (昭和51年)	長野県 諏訪市	名古屋学院大学 3 札幌大学 4 神奈川大学 3 徳島大学医学部 0 1-3	優勝 神奈川大学
第9回 (昭和52年)	神奈川県 横須賀市	名城大学 1 神奈川大学 2 関東学院大学 0 専修大学 9 5-9	優勝 専修大学
第10回 (昭和53年)	福岡県 久留米市	名古屋学院大学 3 慶應義塾大学 1 福岡医科大学 0 専修大学 14 0-2	優勝 専修大学
第11回 (昭和54年)	和歌山県 和歌山市	愛知教育大学 1 足利工業大学 10 関西大学 0 東北学院大学工学部 1 3-1	優勝 足利工業大学
第12回 (昭和55年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	福岡教育大学 3 足利工業大学 2 関東学院大学 4 日本大学理工学部 6 8-2	優勝 福岡教育大学
第13回 (昭和56年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	中央大学 8 浜松医科大学 2 京都産業大学 1 足利工業大学 2 2-0	優勝 中央大学
第14回 (昭和57年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	神奈川大学 12 大阪大学歯学部 0 群馬大学 5 東北大学工学部 2 2-3	優勝 群馬大学
第15回 (昭和58年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	早稲田大学 1 下関市立大学 0 東北学院大学工学部 0 慶應義塾大学 5 4-1	優勝 早稲田大学
第16回 (昭和59年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	慶應義塾大学 7 愛知学院大学 2 浜松医科大学 3 明治大学 2 5-2	優勝 慶應義塾大学
第17回 (昭和60年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	法政大学 8 亜細亜大学 4 滋賀医科大学 3 東洋大学 2 1-0	優勝 法政大学
第18回 (昭和61年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	花園大学 1 亜細亜大学 9 早稲田大学 5 駒沢大学 2 0-2	優勝 早稲田大学

回数	開催地	戦績
第19回 (昭和62年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	仙台大学 1 熊本商科大学 2 — 4 三重大学医水学部 13 — 0 東洋大学 3 優勝 熊本商科大学
第20回 (昭和63年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	桜美林大学 10 帝京大学 2 — 4 日本大学 9 — 7 明治大学 1 優勝 日本大学
第21回 (平成元年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	静岡大学 2 専修大学 4 — 11 滋賀大学教育学部 4 — 0 東洋大学 3 優勝 専修大学
清瀬杯全日本大学 準硬式野球大会 第22回(平成2年)	栃木県宇都宮市 栃木県営球場 宇都宮市営球場	近畿大九州工学部 2 東北学院大学 8 — 2 名古屋商科大学 19 — 4 神奈川大学 1 優勝 名古屋商科大学
第23回 (平成3年)	群馬県営球場 前橋市営球場	福岡工業大学 0 帝京大学 7 — 4 福岡教育大学 4 — 10 大阪商業大学 0 優勝 福岡教育大学
第24回 (平成4年)	群馬県営球場 前橋市営球場	九州産業大学 0 立教大学 4 — 1 富士大学 3 — 4 早稲田大学 5 優勝 早稲田大学
第25回 (平成5年)	群馬県営球場 前橋市営球場	群馬大学 1 下関市立大学 7 — 3 愛媛大学医学部 1 — 2 札幌大学 7 優勝 下関市立大学
第26回 (平成6年)	北海道千歳市 千歳市民球場 青葉球場	東海大学 2 法政大学 4 — 9 日本大学 2 — 2 青山学院大学 7 優勝 法政大学
第27回 (平成7年)	北海道苫小牧市 市営緑ヶ丘球場 市営オーロラ球場	国士舘大学 5 常葉学園浜松大学 1 — 1 中央大学 8 — 5 武蔵工業大学 4 優勝 中央大学
第28回 (平成8年)	北海道苫小牧市 市営緑ヶ丘球場 市営オーロラ球場	北海学園大学 2 専修大学 19 — 3 愛知大学 5 — 5 群馬大学 1 優勝 愛知大学
第29回 (平成9年)	愛知県名古屋市 瑞穂公園野球場 熱田球場	中央大学 7 関東学院大学 0 — 9 常葉学園浜松大学 11 — 5 創価大学 5 優勝 中央大学
第30回 (平成10年)	愛知県名古屋市 瑞穂公園野球場 熱田球場	帝京大学 6 創価大学 11 — 1 中京大学 1 — 8 中央大学 6 優勝 中央大学
第31回 (平成11年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	日本体育大学 5 神奈川大学 1 — 3 東海大学 5 — 4 早稲田大学 2 優勝 東海大学
清瀬杯全日本大学 選抜準硬式野球大会 第32回(平成12年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	東海大学 1 専修大学 2 — 9 福島大学 1 — 7 中京大学 5 優勝 専修大学
第33回 (平成13年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	東海大学 6 明治大学 3 — 7 関西大学 3 — 1 立命館大学 0 優勝 東海大学
第34回 (平成14年)	宮城県 県営宮城球場	愛知学院大学 11 奈良県立医科大学 2 — 11 岡山大学 0 — 0 桜美林大学 12 優勝 愛知学院大学
第35回 (平成15年)	宮城県 県営宮城球場	富士大学 2 法政大学 7 — 18 名城大学 7 — 0 近畿大九州工学部 3 優勝 法政大学
第36回 (平成16年)	京都府 西京極球場 太陽が丘球場	熊本学園大学 10 東亜大学 8 — 1 国士舘大学 6 — 2 早稲田大学 4 優勝 国士舘大学
第37回 (平成17年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	東亜大学 1 法政大学 4 — 2 甲南大学 3 — 3 東海大学 2 優勝 甲南大学

回数	開催地	戦績			
第38回 (平成18年)	愛知県名古屋市 瑞穂公園野球場 熱田球場	青森大学 2 福岡教育大学 3 日本大学理工学部 0 関西学院大学 10	5 1	優勝	福岡教育大学
第39回 (平成19年)	埼玉県 県営大宮公園野球場 さいたま市川通公園野球場	早稲田大学 5 都留文科大学 3 立教大学 6 東海大学 9	5 2	優勝	早稲田大学
第40回 (平成20年)	北海道 札幌市円山球場 札幌市麻生球場 道立野幌総合運動公園硬式野球場	東北学院大学 5 東海大学 2 九州産業大学 0 愛知教育大学 5	1 0	優勝	東北学院大学
第41回 (平成21年)	北海道 札幌市円山球場 札幌市麻生球場 道立野幌総合運動公園硬式野球場	龍谷大学 2 熊本大学 1 滋賀大学教育学部 1 久留米大学 3	4 0	優勝	龍谷大学
第42回 (平成22年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	名城大学 0 福岡大学Ⅱ部 5 九州産業大学 9 明治大学 1	1 5	優勝	九州産業大学
第43回 (平成23年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	国士舘大学世田谷 8 愛知教育大学 6 日本大学 3 鹿児島大学 2	0 3	優勝	日本大学
第44回 (平成24年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	金沢大学医学部 0 群馬大学教育学部 5 国士舘大学 1 愛知教育大学 2	5 4	優勝	群馬大学教育学部
第45回 (平成25年)	宮城県 仙台市民球場 Kスタ宮城 名取市民球場	明治大学 10 釧路公立大学 0 関東学院大学 0 久留米大学 2	7 1	優勝	明治大学

全日本大学９ブロック対抗準硬式野球大会戦績表

回数	開催地	戦績
第１回 （昭和58年）	栃木県 西武球場	上越教育大学 1 九州六大学選抜 3 10 全東北選抜 2 0 関西選抜 3 優勝　九州六大学
第２回 （昭和59年）	高知県 春野球場	全東海選抜 7 全四国選抜 6 1 全関東選抜 4 0 全中国選抜 2 優勝　全東海選抜
第３回 （昭和60年）	福岡市 平和台球場	全東海選抜 0 全関東選抜 1 0 全東北選抜 5 1 全中国選抜 3 優勝　全東北選抜
第４回 （昭和61年）	岡山県 倉敷市営球場	全関西選抜 8 全東海選抜 0 0 全関東選抜 4 3 全中国選抜 3 優勝　全関東選抜
第５回 （昭和62年）	名古屋市 熱田球場 瑞穂球場	全東海選抜 15 全北海道選抜 4 4 全関東選抜 9 6 全東北選抜 8 優勝　全関東選抜
第６回 （昭和63年）	沖縄県 奥武山球場 糸満西崎球場 宜野湾球場	全関東選抜 4 全中国選抜 1 8 全九州選抜 1 2 全東海選抜 4 優勝　全関東選抜
第７回 （平成元年）	香川県 県営第一・第二球場	全関東選抜 4 全東海選抜 3 2 全関西選抜 3 1 全四国選抜 2 優勝　全関東選抜
第８回 （平成２年）	福岡市 平和台球場	全九州選抜 全関東選抜 0 1 7 全東海選抜 1 優勝　全東海選抜
第９回 （平成３年）	岡山市 岡山県野球場 市営奥市球場	関西 2－0 6－3 6 8 3 1 東海 0－2 1－1 1 1 3 2 関東 3－6 1－1 1 4 7 3 優勝　全関西選抜
第10回 （平成４年）	香川県 県営第一・第二球場	北海道 3－18 0－11 0 3 29 3 関東 18－3 0－0 3 18 3 2 東北 11－0 0－0 3 11 0 1 優勝　全東北選抜
第11回 （平成５年）	名古屋市 瑞穂球場 小牧市民球場 日進運動公園球場	東北 3－1 3－6 2 6 7 2 関西 1－3 3－6 0 4 9 3 関東 6－3 6－3 4 12 6 1 優勝　全関東選抜
第12回 （平成６年）	グアム島 パセオ球場	全関東選抜 10 全九州選抜 4 1 全四国選抜 5 5 全東海選抜 9 優勝　全東海選抜
第13回 （平成７年）	和歌山県 田辺市民球場 南部千里ヶ丘球場	全東北選抜 4 全中国選抜 1 1 6 全関東選抜 優勝　全関東選抜
第14回 （平成８年）	福岡県 久留米市営球場 小郡市営球場	東海 1－4 － 0 1 4 2 関東 4－1 13－4 4 17 5 1 東北 － 4－13 0 4 13 2 優勝　全関東選抜
第15回 （平成９年）	香川県 県営第一球場 第二球場	全関東選抜 1 全関西選抜 0 6 全九州選抜 8 4 全関東選抜 2 優勝　全関東選抜
第16回 （平成10年）	岡山県 マスカットスタジアム・同補助球場 岡山県野球場	四国 5－3 0－3 2 5 6 3 九州 3－5 2－0 2 5 5 2 関西 3－0 0－2 2 3 2 1 優勝　全関西選抜
第17回 （平成11年）	大阪府 舞洲ベースボールスタジアム 南港中央球場	東北 3－3 4－1 3 7 4 2 東海 3－3 6－1 3 9 4 1 関西 1－4 1－6 0 2 10 3 優勝　全東海選抜
第18回 （平成12年）	名古屋市 瑞穂運動公園野球場 熱田球場	関西 16－3 19－5 4 35 8 1 四国 3－16 － 0 3 16 2 東北 5－19 － 0 5 19 2 優勝　全関西選抜

回数	開催地	戦績	
第19回 (平成13年)	千葉県 市原市臨海球場 習志野市営秋津球場 千葉市営青葉の森公園球場	関東 / 九州 / 東海 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 関東 / 6－2 / 4－4 / 3 / 10 / 6 / 2 九州 / 2－6 / 8－13 / 0 / 10 / 19 / 3 東海 / 4－4 / 13－8 / 3 / 17 / 12 / 1	優勝　全東海選抜
第20回 (平成14年)	愛媛県 松山市営坊ちゃんスタジアム 松山市営堀之内球場	全関東選抜 1 全中国選抜 0 3 全九州選抜 6	優勝　全九州選抜
第21回 (平成15年)	岡山県 岡山県野球場 玉野市民総合運動公園野球場 山陽町桜が丘野球場	東北 / 関西 / 九州 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 東北 / 4－2 / 1－6 / 2 / 5 / 8 / 3 関西 / 2－4 / 3－1 / 2 / 5 / 5 / 2 九州 / 6－1 / 1－3 / 2 / 7 / 4 / 1	優勝　全九州選抜
第22回 (平成16年)	佐賀県 県営みどりの森球場 鹿島市営市民球場 嬉野町みゆき球場	九州 / 東北 / 関西 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 九州 / 7－3 / 0－6 / 2 / 7 / 9 / 2 東北 / 3－7 / 2－19 / 0 / 5 / 26 / 2 関西 / 6－0 / 19－2 / 4 / 25 / 2 / 1	優勝　全関西選抜
第23回 (平成17年)	香川県 オリーブスタジアム 香川県営第二球場 さぬき市志度球場	九州 / 関東 / 北海道 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 九州 / 7－1 / 1－2 / 2 / 8 / 3 / 1 関東 / 1－7 / 3－0 / 2 / 4 / 7 / 3 北海道 / 2－1 / 0－3 / 2 / 3 / 4 / 2	優勝　全九州選抜
第24回 (平成18年)	福岡県 県営春日球場 福岡市営桧原球場 小郡市営小郡球場	九州 / 関東 / 中国 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 九州 / 4－3 / 4－5 / 3 / 8 / 8 / 2 関東 / 3－4 / 3－1 / 3 / 6 / 5 / 1 中国 / 5－4 / 1－3 / 3 / 6 / 7 / 3	優勝　全関東選抜
第25回 (平成19年)	大阪府 舞洲ベースボールスタジアム 南港中央野球場 豊中ローズ球場	九州 / 東北 / 関東 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 九州 / 2－2 / 2－3 / 1 / 4 / 5 / 2 東北 / 2－2 / 2－6 / 1 / 4 / 8 / 3 関東 / 3－2 / 6－2 / 6 / 9 / 4 / 1	優勝　全関東選抜
第26回 (平成20年)	岡山県 倉敷運動公園野球場 総社市スポーツセンター野球場 倉敷マスカット補助球場	九州 / 関東 / 関西 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 九州 / 1－1 / 1－1 / 2 / 2 / 2 / 1 関東 / 1－1 / 1－1 / 2 / 2 / 2 / 3 関西 / 1－1 / 1－1 / 2 / 2 / 2 / 2	優勝　全九州選抜
第27回 (平成21年)	愛知県 熱田神宮公園野球場 瑞穂公園野球場 半田市民球場	九州 / 関西 / 東海 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 九州 / 0－2 / 9－5 / 3 / 9 / 5 / 2 関西 / 2－0 / 5－0 / 6 / 7 / 0 / 1 東海 / 5－9 / 0－5 / 0 / 5 / 14 / 3	優勝　全関西選抜
第28回 (平成22年)	東京都 八王子市民球場 昭島市民球場 あきる野市民球場	東海 / 関西 / 中国 / 勝点 / 得点 / 失点 / 順位 東海 / 0－2 / 6－8 / 0 / 6 / 10 / 3 関西 / 2－0 / 1－2 / 3 / 4 / 2 / 2 中国 / 8－6 / 2－1 / 6 / 10 / 7 / 1	優勝　全中国選抜
第29回 (平成23年)	岡山県 岡山県野球場 倉敷マスカットスタジアム 倉敷マスカット補助球場	全関西選抜 1 全関東選抜 2 9 全四国選抜 2	優勝　全関東選抜
第30回 (平成24年)	香川県 レグザムスタジアム 県営第二野球場 志度球場	全関西選抜 1 全東海選抜 2 2 全九州選抜 1 4 全関東選抜 2	優勝　全関東選抜 ※ワイルドカード制導入（全関東）
第31回 (平成25年)	佐賀県 嬉野市みゆき球場 鹿島市民球場 伊万里市国見台球場	全九州選抜 2 全関東選抜 5 1 全北海道選抜 2 3 全関西選抜 7	優勝　全関西選抜 ※ワイルドカード制導入（全北海道）

平成25年度全日本大学準硬式野球連盟役員名簿

全日本大学準硬式野球連盟

顧問		大森一人	宗像豊巳	大内敬哉		
会長		井野智				
副会長		石井格一				
理事長		横田秀雄				
副理事長		松岡弘記				
理事	北海道	児玉正輝	村上清志			
	東北	澁谷隆	古澤忍			
	関東	浅田實	今泉博	中畑稔		
	東海	鈴木眞雄				
	北信越	牧田忠良	三田晃史			
	関西	芝田勝利	芳田茂樹			
	中国	太田嘉務	榊原康史			
	四国	堀井愃暢	丸吉章			
	九州	牛島敏	奥村浩正			
監事	東日本	清水健吾				
	西日本	薬師神芳洋				
評議員	北海道	石川健	林和範			
	東北	八島康治	伏見善成			
	関東	桜井正	長島幸雄	成瀬承司	鈴木和夫	鈴木豊
		柳原尚久	藤崎信一			
	東海	柴田育利	中野将	三村優易		
	北信越	清水健吾	小川恭一			
	関西	髙島日出雄	佐々木忠	辻延浩	王子喜章	甘田外成
	中国	竹下浩一				
	四国	薬師神芳洋				
	九州	一ノ瀬大一	溝口準也			

全日本大学軟式野球協会規約

平成４年４月１日制定
平成12年４月１日制定
平成13年４月１日制定

第１章　総　　則

第１条　本協会は全日本大学軟式野球協会と称する。

第２条　本協会の事務所は東京都渋谷区千駄ヶ谷４丁目27番７号におく。

第２章　目的及び事業

第３条　本協会は(公財)全日本軟式野球連盟（以下(公財)全軟連という）の支部として、その指導のもとに大学の準硬式野球及び軟式野球を通じ学生生活の健全明朗化、体力の錬磨と人格の形成をはかり大学の準硬式野球・軟式野球の発展普及をはかることを目的とする。

第４条　本協会は前条の目的達成のため、次の事業を行う。

１．全国的及び地方的大学準硬式・軟式野球大会の後援

２．準硬式野球・軟式野球の指導、普及に関する事業

３．準硬式野球・軟式野球に関する調査研究及び刊行物の発行

４．その他本協会の目的に必要な事業

第３章　組　　織

第５条　本協会は全日本大学準硬式野球連盟及び全日本大学軟式野球連盟（以下連盟という）を所属団体とする。連盟の構成に関する決まりは、両連盟規約でこれを定める。

第４章　役　　員

第６条　本協会に次の役員をおく。

会　　長	１　名	副 会 長	若干名	顧　　問	若干名	参　　与	若干名
理 事 長	１　名	副理事長	１　名	理　　事	若干名	監　　事	若干名

なお、必要に応じ名誉会長をおくことができる。

第７条　名誉会長・会長・副会長は理事会の決議で推薦する。

会長は本協会を代表し、会務を統括する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

第８条　顧問・参与は理事会の推薦により会長が委嘱する。

顧問・参与は会長の諮問に応じて会議において意見を述べることができる。

第９条　理事は全日本大学準硬式野球連盟及び全日本大学軟式野球連盟より選出する。

理事長・副理事長は理事会の互選により選出し、理事長は理事会を代表して会務を執行する。理事長に事故あるときはその指名理事が職務を代行する。

理事長は緊急を要する事項が生じた場合はこれを施行し、次回理事会の承認を得る。

第10条　監事は理事会において選出する。監事は会計を監査し理事会において意見を述べることができる。

第11条　役員の任期は２年間とする。ただし、再任は妨げない。

第12条　この協会（業務）の事務を処理するため、職員をおく。

１．職員は、会長が任免する。

２．職員は、有給とする。

第５章　会　　議

第13条　本協会の会議は理事会とし、重要事項を審議する。理事総数の過半数をもって成立する。

第14条　理事会は理事長が必要に応じ招集し、議長となる。

第15条　本協会の事業計画及び収支予算並びに年度決算は、理事会の議決を経なければならない。

第16条　会議の議決は出席者の過半数をもって決定する。

可否同数の場合は議長が決定する。

第６章　会　　計

第17条　本協会の経費は、連盟負担金・(公財)全軟連よりの交付金、寄付金その他をもってこれにあてる。

第18条　連盟負担金の割合は両連盟で協議し、理事会承認の上期日までに納入しなければならない。

第19条　本協会の会計年度は、毎年４月１日より翌年３月31日までとする。

第20条　本協会の規約は、理事会出席者の３分の２の同意を得なければならない。

第７章　附　　則

この規約施行についての細則は理事会の議を経て別に定める。

本規約は平成13年４月１日より改正し施行する。

全日本大学準硬式野球連盟規約

第１章　総　　則

第１条　本連盟は全日本大学準硬式野球連盟と称する。

第２条　本連盟の事務所は、東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番７号に置く。

第２章　目的及び活動

第３条　本連盟は準硬式野球を通じて、学生生活の健全明朗化とともに体力の錬磨と人格の向上をはかり併せて準硬式野球の発展普及と加盟校の融和親睦を目的とする。

第４条　本連盟は前条の目的達成のため、次の活動を行う。

１．大学準硬式野球の全国的及び地方的大会の主催及び後援

２．準硬式野球の指導・奨励・普及に関する活動

３．各種運動競技団体と連絡協調に関する活動

４．準硬式野球に関する刊行物の発行

５．その他本連盟の目的に必要なる活動

第３章　組織及び会員

第５条　本連盟は(公財)全日本軟式野球連盟の傘下の全日本大学軟式野球協会に所属し、大学又は大学承認の準硬式（軟式）野球部又は大学承認の準硬式野球部をもって組織する。

第６条　本連盟の会員は次の通りとする。

正会員となることのできるチームは同一大学（校）又は同一学部に在学するもので編成し、登録できる期間は学校教育法によって大学が定めるか、又は監督官庁によって定められた最短修業年限内とする。

但し、硬式野球部員・Ａ号軟式野球部員との二重登録は認められない。

監督・コーチについては登録を必要とするが在学する者に限らない。

第４章　役　　員

第７条　本連盟に次の役員を置く。

会　　長	１名
副 会 長	若干名
顧　　問	若干名
参　　与	若干名
評 議 員	地区連盟毎にそれぞれの加盟校数に応じて決定
理 事 長	１名
副理事長	若干名
理　　事	地区連盟毎にそれぞれの加盟校数に応じて決定
指名理事	若干名
監　　事	２名

なお、必要に応じ名誉会長をおくことができる。

第８条　名誉会長・会長・副会長は評議員会の決議で推薦する。

会長は本連盟を代表して会務を総括する。

副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその職務を代行する。

名誉会長・会長・副会長は理事とし評議員の資格を有する。

第９条　顧問・参与は理事会の推薦により会長が委嘱する。
顧問は会長の諮問に応じ、必要に応じて会議において意見を述べることができる。

第10条　理事長、副理事長は理事会の互選により選出する。理事長は理事会を代表し、会務を執行する。副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故ある時はその職務を代行する。

第11条　評議員は各地区連盟より選出する。選出数は各地区連盟の登録チーム数に基づき、改選前年度１月以降に開催される理事会で決定する。
評議員は学生野球指導者としての適任者であることを要する。
評議員は評議員会を構成し本連盟の重要事項を審議する。

第12条　１．理事は各地区連盟選出評議員の中から選出する。選出数は各地区連盟の登録チーム数に基づき、改選前年度１月以降に開催される理事会で決定する。
２．会長が必要と認めた時には、評議員会の承認を得て理事を指名委嘱することができる。
（以下指名理事という）指名理事は評議員の資格を有する。
３．理事（指名理事含）は、理事会を構成して評議員会の決議に基づき会務を執行する。
４．監事は評議員会において選出する。監事は当該年度の終了後、評議員会の開催される前に会計を監査し、評議員会に報告する。また、理事会に出席して意見を述べることができる。

第13条　１．役員の任期は２年間とする。但し、再任をさまたげない。役員の任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行う。
２．役員は満80歳を越える年度をもって退任する。
３．理事長又は会長の歴任者で理事を30年以上務め、役員を退任された方は、評議員会の承認を得て「盟友」として遇することとし、処遇については別途定める。

第５章　会　　議

第14条　本連盟の会議は、評議員会及び理事会とし、構成員の過半数の出席をもって成立する。

第15条　評議員会は毎年１回以上、会長がこれを招集し、議長となる。
会議に出席できない者は、代理人によりその権利を行使することができる。
評議員会は、評議員、監事、顧問をもって構成する。

第16条　１．理事会は、理事長が必要に応じ招集しその議長となる。緊急を要する事項で理事会に諮る余裕のないときは、理事長の権限において執行することができる。この場合には次の理事会の承認を必要とする。理事会は理事（指名理事含）、監事、顧問をもって構成する。
２．会議に出席できない理事は、選出地区連盟の評議員を代理人としてその権利を行使することができる。

第17条　会議の議決は出席者の過半数をもって決定する。
可否同数のときは、議長が決定する。

第６章　地 区 連 盟

第18条　本連盟は次に定める地区ごとに１つの地区連盟を置く。

１．北海道地区　　全域
１．東北地区　　青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
１．関東地区　　茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
１．東海地区　　静岡・愛知・三重・岐阜
１．北信越地区　　新潟・長野・富山・石川・福井
１．関西地区　　滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
１．中国地区　　鳥取・島根・岡山・広島・山口
１．四国地区　　香川・徳島・愛媛・高知
１．九州地区　　福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

第19条　地区連盟は当該地区内の会員をもって組織する。

第20条　地区連盟はこの規約に準拠し、別に地区連盟規約を定める。

第７章　会　　計

第21条　加盟団体は毎年加盟金及び会員登録費を地区連盟を通じて本連盟に納入しなければならない。

第22条　本連盟の経費は、加盟団体が本連盟に納入する加盟金及び会員登録費、連盟主催の事業収益金、寄付金、基金その他預貯金等の利子をもってこれにあてる。

本連盟は必要に応じ、理事会の決議をもって基金を設けることができる。

第23条　加盟金は１団体につき、年額３万円、並びに会員登録費は年額１名1,000円とする。

各地区連盟は毎年加盟団体より前項の加盟金を徴収し、加盟団体の登録名簿を添えて本連盟に定められた期日までに納入しなければならない。

第24条　役員拠出金は、地区連盟が責任を持って指定された期日までに本連盟に納入し、基金に繰り入れる。また、基金とすることを指定して寄付されたものは、その意向に従う。

第25条　本連盟の基金、現金は理事会の決議を経て定期預金とする等確実な方法により保管する。

第26条　基金の取り崩しを行う場合には、理事会の承認を経て年次会計に繰り入れなければならない。

第27条　１．本連盟の事業計画及びこれに伴う収支予算及び年度決算は、理事会が編成し、評議員会の議決を経なければならない。

２．本連盟の収支決算に余剰金があるときは、理事会の議決を経てその一部もしくは、全部を基金に編入し、または翌年に繰り越すものとする。

第28条　本連盟の会計年度は、毎年４月１日に始まり翌年３月31日終了とする。

第29条　本連盟会計に関し、別に会計処理規則を定める。

第８章　専門委員会及び事務局

第30条　１．本連盟の活動遂行のため、理事会は各種の専門委員会を設けることができる。各委員会の運営に関することは、理事会の議を経てその事項の処理にあたるものとする。

２．会長、理事長の業務を補佐し、連盟の会務を円滑に運営するため事務局を設けることができる。

３．専門委員会、事務局の組織・担当業務については別に定める。

第９章　規約の変更

第31条　本連盟の規約は、評議員会に於いて出席者の３分の２の同意を得なければ変更することができない。

第10章　附　　則

第32条　１．本規約の施行について必要な事項の細目は、理事会において別に定める。

２．この規約に定めがない事項については、(公財)日本体育協会が制定するスポーツ憲章および(公財)全日本軟式野球連盟の制定する諸規定（連盟規約、同細則、競技者規定、同細則）に基づくものとする。

昭和24年12月２日　制定	昭和40年４月４日　改正	昭和57年４月４日　改正	平成７年４月９日　改正
昭和26年８月９日　改正	昭和49年４月７日　改正	昭和58年４月３日　改正	平成８年４月14日　改正
昭和28年４月16日　改正	昭和50年４月13日　改正	昭和59年４月８日　改正	平成９年４月13日　改正
昭和29年４月28日　改正	昭和54年４月13日　改正	平成２年４月８日　改正	平成12年４月９日　改正
昭和31年４月18日　改正	昭和55年４月６日　改正	平成３年４月７日　改正	平成15年４月13日　改正
昭和33年４月６日　改正	昭和56年４月５日　改正	平成５年４月18日　改正	平成24年４月22日　改正

編　集　後　記

今年も№65のアウト＆セーフを発行する運びとなりました，発刊に当りましては全国大会を主管した関東地区連盟(文部科学大臣杯第65回全日本大学準硬式野球選手権大会)，東北地区連盟(清瀬杯第45回全日本大学選抜準硬式野球大会)，九州地区連盟(第31回全日本大学９ブロック対抗準硬式野球大会)から大会の主将会議風景，開会式の風景・閉会式の風景や大会の記録の投稿，各地区連盟からはそれぞれの地区の春秋のリーグ戦あるいは地区の選手権，地区の優秀選手などの投稿をいただきました。有難うございました。ただ原稿提出が遅く最後が慌ただしい状態がここ数年続いています，その分発刊に関わっている岡山大学準硬式野球部員の諸君には大変世話になっています，岡大準硬野球部の諸君苦労様。

ご協力よろしくお願いします。

発　　行　　全日本大学準硬式野球連盟

〒151－0051 東京都渋谷区千駄ケ谷４－27－７

軟式野球会館５Ｆ

TEL 03－3401－0824

編集責任者　　石　井　格　一

発　行　日　　平成26年３月31日

asics
sound mind, sound body

こだわりを包み込むカタチ。

自分自身のパフォーマンスを最大に活かすため、
生まれる用具への強い「こだわり」。
アシックスは、そのさまざまな「こだわり」に応え、
プレーヤーがパフォーマンスを発揮できる用具を届けていきたい。
「こだわり」を「カタチ」に変えて。

株式会社アシックス
http://www.asics.co.jp/yakyu/ 0120-77-6338

アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。
※当社イージーオーダーシステム、スペシャルオーダーシステムで作製したシューズです。

プロが語る技と道具のこだわり 原寸.com 検索
http://gensun.com/

ZETT
0120-276-010 custinfo@zett.ne.jp http://zett.jp/

終わりなき挑戦。

品質、機能性、開発力。歴史と共に培った誇り高きプロイズム。

今なお、頂点を目指すプロたちの飽くなき要求をカタチにし、
さらなる進化を遂げていく。

勝つために。

DESCENTE BASEBALL

DESCENTE

デサントは千葉ロッテマリーンズと東北楽天ゴールデンイーグルスのオフィシャルサプライヤーです。

株式会社デサント お客様相談室／東京:TEL.03-5979-6101
大阪:TEL.06-6774-0359 www.d-league.jp

攻める一歩。

盗塁王が体感した「一歩目の速い」。

2012年
セ・リーグ盗塁王
中日ドラゴンズ
大島洋平選手

マキシライトMG10 NSL295 ¥9,975
【サイズ】23.5～29.0cm
マキシライトシリーズ全6モデル展開

SSK

マキシライト
Maxi Light

sskbaseball.com

株式会社エスエスケイ フリーダイヤル 0120-50-7789 受付時間(月)～(金)午前9:30～午後5:30(祝日を除く)

MIZUNO
明日は、きっと、できる。
本気で挑んだことだけが、
自分の力になる。
その力を信じて、
進化に挑み続ける。
MIZUNO BASEBALL
mizuno.jp 0120-320-799

TOP COLLEGE TEAMS PLAY WITH
TPX
Louisville Slugger
How Winners Play The Game.™
株式会社ルイスビル・スラッガー・ジャパン
〒101 東京都千代田区神田錦町2-7 三洋ビル1階 -0054
TEL:03(5282)8901
FAX:03(5282)8902

嬉しい顔も。
悔しい顔も。
Sports 共同
SINCE 1972
思い出のプレーをかたちに残してパネルに、スナップに…
URL : http://www.kyodo-photo.co.jp
FOREVER MY MEMORIES
瞬間(かがやき)をみつめて・・・
試合にのぞむ子供の姿に魅了され、カメラを向け続けた日々。
星の数ほどの写真に残る子供たちの輝きに、時間の経過はありません。
ずっと生きる思い出を、私たちはみつめ続けます。
全日本軟式野球連盟指定 ／ その他各種競技団体写真担当
株式会社 共同写真企画
東京支社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7(軟式野球会館) TEL:03(5474)0741 FAX:03(5474)2417
KYODO NETWORK
■大阪本社 ■東京支社
■中部支店 ■九州支店
FUKUOKA
OSAKA
NAGOYA
TOKYO

ISSN 2185-4130

(財)全日本軟式野球連盟 公認球

KENKO BALL

ケンコーボール A号・B号・C号・D号・H号

ナガセケンコー株式会社 www.nagase-kenko.com

ボールの意匠が変わりました。
ボールのロゴマークカラーは、イメージです。